開講科目表

授業回数…◎＝週２回、○＝週１回、●＝週１回・２時限連続を表しています。
DP及び学修成果の項目については、「英語科卒業認定･学位授与の方針と開講科目との関連」（履修要覧P.53）および「英語科卒業認定・学位授与の方針及び学修成果獲得の観点」（履修要覧P.65 ～ 67）を参照してください。

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
英語必修科目									講義内容（シラバス）→ P.1 ～ P.119		
ENG101	英語Ⅰ	2			◎		1	永野、平野、近藤、C.Oliver、神谷、T.Gould、Thomas、M.Lupas、岩崎	クラス指定	3	3-①
ENG102	英語Ⅱ	2				◎	1	神谷、Thomas、M.Lupas、岩崎、クラーク、O.Ilina、小林(美)、O.Massoud、P.McQuilling、K.Shimizu、M.Tasseron	クラス指定	3	3-①
ENG201	英語Ⅲ	2			◎		2	R.Burton、N.Cook、G.Freddes、A.Garin、A.Goli、O.Ilina、小林(美)、O.Massoud、P.McQuilling、K.Shimizu、M.Tasseron	クラス指定	3	3-①
ENG202	英語Ⅳ	2				◎	2	岩崎、R.Burton、クラーク、N.Cook、G.Freddes、A.Garin、小金沢、O.Massoud、P.McQuilling、M.Tasseron	クラス指定	3	3-①
ENG111	TOEIC対策講座Ⅰ	1			○		1	C.Oliver、神谷、T.Gould、Thomas、M.Lupas、クラーク	クラス指定	3	3-②
ENG112	TOEIC対策講座Ⅱ	1				○	1	N.Cook、O.Ilina、K.Shimizu	クラス指定	3	3-②
英語選択必修科目（英語スキルズ）									講義内容（シラバス）→ P.120 ～ P.177		
ENG121	基礎英語スキルズ(生活の英語)		2		◎	◎	1･2	(春) 小林(美) (秋) A.Goli	[人]各30名	3	3-③
ENG123	基礎英語スキルズ(ライティング･文法)		2		◎	◎	1･2	(春) クラーク (秋) 狩野	[人]各30名	3	3-③
ENG124	基礎英語スキルズ(リーディング･語彙)		2		◎	◎	1･2	石原	[人]各30名	3	3-③
ENG125	基礎英語スキルズ(旅行の英語)		2		◎		1･2	小金沢	[人]30名	3	3-③
ENG150	標準英語スキルズ(職場の英語)		2		◎		1･2	N.Cook	[人]30名	3	3-③
ENG160	標準英語スキルズ(メディアの英語)		2		◎	◎	1･2	(春) 小金沢 (秋) 仲沢	[人]各30名	3	3-③
ENG159	標準英語スキルズ(パブリックスピーキング)		2		◎		1･2	M.Tasseron	[人]30名	3	3-③
ENG158	標準英語スキルズ(ディスカッション)		2		◎	◎	1･2	(春) O.Ilina (秋) 小金沢	[人]各30名	3	3-③
ENG162	標準英語スキルズ(ライティング･文法)		2		◎	◎	1･2	(春) R.Burton (秋) A.Goli	[人]各30名	3	3-③
ENG163	標準英語スキルズ(リーディング･語彙)		2		◎	◎	1･2	石原	[人]各30名	3	3-③
ENG161	標準英語スキルズ(編入対策)		2		◎		1･2	岩崎	[人]30名	3	3-③
ENG164	標準英語スキルズ(アメリカの文化と社会)		2		◎		1･2	A.Goli	[人]30名	3	3-③

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
ENG165	標準英語スキルズ(テクノロジーと科学の英語)		2		◎		1･2	K.Shimizu	[人]30名	3	3-③
ENG166	標準英語スキルズ(ホスピタリティの英語)		2			◎	1･2	小林(美)	[人]30名	3	3-③
ENG167	標準英語スキルズ(日本の文化)		2			◎	1･2	宮崎	[人]30名	3	3-③
ENG180	準上級英語アカデミックスキルズ(諸学問領域)		2			◎	1･2	T.Gould	[人]30名	3	3-③
ENG181	準上級英語アカデミックスキルズ(社会学)		2			◎	1･2	C.Oliver	[人]30名	3	3-③
ENG182	準上級英語スキルズ(TOEICスピーキング･ライティング対策)		2		◎		1･2	P.McQuilling	[人]30名	3	3-②,3-③
ENG183	準上級英語スキルズ(多読速読)		2		◎		1･2	M.Lupas	[人]30名	3	3-③
ENG184	準上級英語スキルズ(アカデミックライティング)		2			◎	1･2	R.Burton	[人]30名	3	3-③
ENG225	上級英語スキルズ(編入対策)		2		◎		1･2	平野	[人]30名	3	3-③
ENG226	上級英語スキルズ(TOEICスピーキング･ライティング対策)		2			◎	1･2	A.Garin	[人]30名	3	3-②,3-③
ENG227	上級英語スキルズ(TOEIC ４技能対策)		2		◎		1･2	O.Massoud	[人]30名	3	3-②,3-③
ENG228	上級英語スキルズ(時事英語)		2		◎		1･2	A.Garin	[人]30名	3	3-③
教養必修科目									講義内容（シラバス）→ P.178 ～ P.179		
SCH100	人間学Ⅰ	2			○		1	丹木、小林(宏)、島村	・クラス指定 ・履修要覧P.62(7)の履修上の注意参照	1,2	1-①,2-①
教養選択科目									講義内容（シラバス）→ P.180 ～ P.251		
SCH101	人間学Ⅱ			2		○	1･2	岩崎	[人]40名	1,2	1-①,2-①
HST201	歴史学Ａ			2	○		1･2	森下	[人]80名	2	2-①
HST202	歴史学Ｂ			2		○	1･2	森下	[人]30名	2	2-①
PHL203	哲学Ａ			2	○	○	1･2	丹木	[人]各40名	1,2	1-①,2-①
PHL204	哲学Ｂ			2	○	○	1･2	丹木	[人]各40名	1,2	1-①,2-①
REL201	宗教学Ａ			2	○	○	1･2	小林(宏)	[人]各30名	1,2	1-①,2-①
REL202	宗教学Ｂ			2		○	1･2	(春) 休講 (秋) 小林(宏)	[人]30名	1,2	1-①,2-①
MUS201	音楽Ａ			2		○	1･2	北村	[人]95名	2	2-①
MUS202	音楽Ｂ			2		○	1･2	北村	[人]40名	2	2-①
SOC201	社会学Ａ			2	○	○	1･2	李	[人](春) 80名 (秋) 95名	2	2-①
SOC202	社会学Ｂ			2	○	○	1･2	李	[人](春) 80名 (秋) 95名	2	2-①
LAW211	日本国憲法Ａ			2	○		1･2	矢島	[人]30名	2	2-①
LAW212	日本国憲法Ｂ			2	○		1･2	矢島	[人]30名	2	2-①

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
LAW201	法学A			2		○	1･2	牧	[人]30名	2	2-①
LAW202	法学B			2		○	1･2	牧	[人]30名	2	2-①
EDU201	教育学A			2	○	○	1･2	(春) 杉村 (秋) 青木	[人](春) 100名 (秋) 40名	2	2-①
EDU202	教育学B			2	○	○	1･2	(春) 杉村 (秋) 青木	[人](春) 100名 (秋) 40名	2	2-①
ECN201	経済学A			2	○		1･2	孫	[人]95名	2	2-①
ECN202	経済学B			2		○	1･2	孫	[人]100名	2	2-①
BUS201	経営学A			2	○		1･2	杉山	[人]100名	2	2-①
BUS202	経営学B			2		○	1･2	杉山	[人]100名	2	2-①
SWF201	社会福祉入門A			2	○		1･2	栃本	[人]40名	2	2-①
SWF202	社会福祉入門B			2		○	1･2	小山	[人]40名	2	2-①
JRN202	マスメディア論A			2	○	○	1･2	吉武	[人](春) 80名 (秋) 40名	2	2-①
JRN203	マスメディア論B			2	○	○	1･2	吉武	[人](春) 80名 (秋) 40名	2	2-①
COM101	基礎コンピューター演習			2	○	○	1･2	(春) 森本 (秋) 津垣	[人]各18名	2	2-②
MTH201	数学A			2		○	1･2	津垣	[人]40名	2	2-①
MTH202	数学B			2		○	1･2	津垣	[人]40名	2	2-①
PSY201	心理学A			2	○	○	1･2	奥村	[人]各100名	2	2-①
PSY202	心理学B			2	○	○	1･2	奥村	[人]各100名	2	2-①
PED100	体育理論 (ウエルネスと身体)			2	○	○	1･2	髙橋	[人]各40名	2	2-③
PED113	体育A			1	○	○	1･2	若松	[人]各20名	2	2-③
PED114	体育B			1	○	○	1･2	若松	[人]各20名	2	2-③
基礎選択科目（異文化理解領域）									各領域の基礎科目は1年次履修が望ましい 講義内容（シラバス）→ P.252 ～ P.255		
REL210	キリスト教文化入門			4		◎	1･2	小林(宏)（輪講）	[人]100名	1,4	1-①,4-②
IDS210	異文化間 コミュニケーション			4	◎		1･2	C.Oliver	[人]95名	3,4	3-④,4-②
基礎選択科目（英米文学研究領域）									各領域の基礎科目は1年次履修が望ましい 講義内容（シラバス）→ P.256 ～ P.257		
LIT201	英文学概論			4	◎	◎	1･2	飯田	[人]各40名	4	4-②
基礎選択科目（言語研究領域）									各領域の基礎科目は1年次履修が望ましい 講義内容（シラバス）→ P.258 ～ P.261		
LNG200	言語学概論			4	◎	◎	1･2	(春) 近藤 (秋) 神谷	[人]各40名	4	4-②
基礎選択科目（言語教育領域）									各領域の基礎科目は1年次履修が望ましい 講義内容（シラバス）→ P.262 ～ P.263		
EDU205	児童英語教育概説			4	◎		1･2	仲沢	[人]100名	4,5	4-②,5-②

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
基礎選択科目									講義内容（シラバス）→ P.264 ～ P.287		
GMN101	ドイツ語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	工藤	[人]各30名	4	4-①
GMN102	ドイツ語Ⅱ			2	◎		1･2	工藤	[人]30名、ドイツ語Ⅰ既修者か、それに相当する者	4	4-①
FRN101	フランス語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	鈴木	[人]各30名	4	4-①
FRN102	フランス語Ⅱ			2	◎		1･2	鈴木	[人]30名、フランス語Ⅰ既修者か、それに相当する者	4	4-①
SPN101	スペイン語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	大堂	[人]各30名	4	4-①
SPN102	スペイン語Ⅱ			2	◎		1･2	大堂	[人]30名、スペイン語Ⅰ既修者か、それに相当する者	4	4-①
CHN101	中国語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	廣重	[人]各30名	4	4-①
CHN102	中国語Ⅱ			2	◎		1･2	廣重	[人]30名、中国語Ⅰ既修者か、それに相当する者	4	4-①
JPN250	日本語表現法			2	○	○	1･2	大山	[人]各30名	4	4-①
SEF200	キャリアプランニング			2		○	1･2	森下（輪講）	[人]100名 同窓会寄附講座	4	4-①
SEF100	アカデミックスキルズ･フォローアップ講座			1		○	1･2	森下	[人]30名	2	2-④
ENG252	留学準備Ａ			1			1･2	2022年度休講		3,4	3-④,4-①
ENG253	留学準備Ｂ			1		○	1･2	狩野	[人]40名	3,4	3-④,4-①
専門必修科目									講義内容（シラバス）→ P.288 ～ P.365		
SES100	基礎ゼミナール	2			○		1	平野、丹木、森下、宮崎、杉村、小林(宏)、岩崎	クラス指定	2	2-④
SES150	プレ・ゼミナール(永野)	2				○	1	永野	原則として2年次に履修するゼミナールⅠ・Ⅱ担当教員と同一であること。但し、教員のサバティカルにより同一教員のゼミナールを履修できない場合がある。詳細は6月のゼミナール説明会で説明。	4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(平野)	2				○	1	平野		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(近藤)	2				○	1	近藤		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(丹木)	2				○	1	丹木		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(森下)	2					1	2022年度休講		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(宮崎)	2				○	1	宮崎		4,5	4-③,5-①
SES150	プレ・ゼミナール(狩野)	2				○	1	狩野		4,5	4-③,5-②
SES150	プレ・ゼミナール(Oliver)	2				○	1	C.Oliver		3,4	3-④,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(神谷)	2				○	1	神谷		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(Gould)	2				○	1	T.Gould		3,4	3-④,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(杉村)	2					1	2022年度休講		4	4-③

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SES150	プレ・ゼミナール(小林)	2				○	1	小林(宏)	原則として2年次に履修するゼミナールⅠ・Ⅱ担当教員と同一であること。但し、教員のサバティカルにより同一教員のゼミナールを履修できない場合がある。詳細は6月のゼミナール説明会で説明。	4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(Thomas)	2				○	1	Thomas		3,4	3-④,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(Lupas)	2				○	1	M.Lupas		3,4	3-④,4-③
SES200	ゼミナールⅠ(永野)	2			○		2	永野	原則として、ゼミナールⅠとゼミナールⅡは同一教員の担当科目を履修。	4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(平野)	2			○		2	平野		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(近藤)	2			○		2	近藤		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(丹木)	2			○		2	丹木		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(森下)	2			○		2	森下		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(宮崎)	2			○		2	宮崎		4,5	4-④,5-①
SES200	ゼミナールⅠ(狩野)	2					2	2022年度休講		4,5	4-④,5-②
SES200	ゼミナールⅠ(Oliver)	2			○		2	C.Oliver		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(神谷)	2			○		2	神谷		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Gould)	2			○		2	T.Gould		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(杉村)	2					2	2022年度休講		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(小林)	2			○		2	小林(宏)		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Thomas)	2			○		2	Thomas		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Lupas)	2			○		2	M.Lupas		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(岩崎)	2			○		2	岩崎		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(永野)	2				○	2	永野	原則として、ゼミナールⅠとゼミナールⅡは同一教員の担当科目を履修。	4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(平野)	2				○	2	平野		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(近藤)	2				○	2	近藤		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(丹木)	2				○	2	丹木		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(森下)	2				○	2	森下		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(宮崎)	2				○	2	宮崎		4,5	4-④,5-①
SES300	ゼミナールⅡ(狩野)	2					2	2022年度休講		4,5	4-④,5-②
SES300	ゼミナールⅡ(Oliver)	2				○	2	C.Oliver		3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(神谷)	2				○	2	神谷		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(Gould)	2				○	2	T.Gould		3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(杉村)	2					2	2022年度休講		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(小林)	2				○	2	小林(宏)		4	4-④

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SES300	ゼミナールⅡ(Thomas)	2				○	2	Thomas	原則として、ゼミナールⅠとゼミナールⅡは同一教員の担当科目を履修。	3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(Lupas)	2				○	2	M.Lupas		3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(岩崎)	2				○	2	岩崎		4	4-④
専門選択科目（異文化理解領域）									講義内容（シラバス）→ P.366 ～ P.383		
HST310	東洋研究			4	◎		1･2	玉置	[人]100名	4	4-⑤
HST302	西洋研究			4	◎		1･2	森下	[人]40名 隔年開講	4	4-⑤
JPN311	日本文化			4		◎	1･2	森下	[人]100名 隔年開講	4	4-⑤
HST301	英米史			4			1･2	2022年度休講	隔年開講	4	4-⑤
HST300	比較社会史			4			1･2	2022年度休講	隔年開講	4	4-⑤
INT301	国際関係論			4	◎	◎	1･2	大木	[人]各95名	4	4-⑤
ANT200	文化人類学			4		◎	1･2	C.Oliver	[人]100名	3,4	3-④,4-⑤
ART200	現代美術			4	◎		1･2	G.Freddes	[人]80名	3,4	3-④,4-⑤
EDU302	比較・国際教育学			4	◎		1･2	杉村	[人]100名	4	4-⑤
PHL210	倫理学			4		◎	1･2	丹木	[人]40名	1,4	1-①,4-⑤
SOC301	平和と開発			4		◎	1･2	Thomas	[人]80名	3,4	3-④,4-⑤
専門選択科目（英米文学研究領域）									講義内容（シラバス）→ P.384 ～ P.391		
LIT323	イギリスの文化と文学			4	◎		1･2	山本	[人]80名	4	4-⑤
LIT310	英詩研究			4			1･2	2022年度休講	隔年開講	4	4-⑤
LIT320	演劇研究			4		◎	1･2	飯田	[人]95名 隔年開講	4	4-⑤
LIT321	小説研究			4		◎	1･2	永野	[人]95名	4	4-⑤
LIT322	映画と文学			4	◎		1･2	飯田	[人]95名	4	4-⑤
専門選択科目（言語研究領域）									講義内容（シラバス）→ P.392 ～ P.401		
LNG310	社会言語学			4	◎		1･2	神谷	[人]40名	4	4-⑤
LNG305	音声学			4		◎	1･2	奥澤	[人]100名	4	4-⑤
LNG330	日本語学			2		○	1･2	大山	[人]95名	4	4-⑤
LNG302	語用論			4		◎	1･2	近藤	[人]95名	4	4-⑤
ENG360	英語史			4		◎	1･2	山本	[人]80名	4	4-⑤
専門選択科目（言語教育領域）									講義内容（シラバス）→ P.402 ～ P.423		
LNG320	バイリンガル教育			2	○		1･2	宮崎	[人]40名	4,5	4-⑤,5-①
EDU310	初等教育			4			1･2	2022年度休講		4	4-⑤

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
LNG325	第二言語習得			4		◎	1･2	T.Gould	[人]80名	3,4,5	3-④,4-⑤,5-②
EDU300	児童英語教育演習Ａ			4	●		2	仲沢	[人]各25名 児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位を修得済であることが履修の条件	4,5	4-⑤,5-②
EDU301	児童英語教育演習Ｂ			4		●	1･2	狩野		4,5	4-⑤,5-②
EDU206	児童英語指導者養成講座			4		◎	1･2	仲沢	[人]40名	4,5	4-⑤,5-②
SLE201	サービスラーニング入門講座			1	○	○	1･2	宮崎	[人]各95名	4,5	4-⑤,5-①,5-②
SLE301	サービスラーニング(小中学校日本語支援A)			3	◎		1･2	大山	[人]各20名 ・履修要覧P.61(4)、P.63(13)の履修上の注意参照	4,5	4-⑤,5-①
SLE302	サービスラーニング(小中学校日本語支援B)			3		◎	1･2	宮崎		4,5	4-⑤,5-①
SLE303	サービスラーニング(地域日本語支援Ａ)			3	◎		1･2	宮崎		4,5	4-⑤,5-①
SLE304	サービスラーニング(地域日本語支援Ｂ)			3		◎	1･2	大山		4,5	4-⑤,5-①
EDU322	リテラシーと多文化教育			4		◎	1･2	M.Lupas	[人]95名	3,4	3-④,4-⑤
専門選択科目（その他）											
SES399	インデペンデント・スタディ			2			1･2	担当教員	詳細は履修要覧P.63参照	3,4	3-④,4-⑤
ENG260	海外短期語学講座			2			1･2	短期留学制度	詳細は履修要覧P.42参照	3	3-④

上智大学短期大学部の必修英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

1. 目標 Goals

- 「他者のために、他者とともに」という本学の精神を持つ責任ある地球市民となるために必要な様々な問題について理解を深める
- 複眼的かつ分析的に物事を考える力をつける
- 他者の考えを理解し、自分の考えを効果的に表現する英語力をつける
- 自律した英語学習者となるための知識とスキルを身につける

2. 内容 Contents

◆英語Ⅰ　他者と共に生きる：人とのつながりと人生の意味を探究する

English I. Living with others: Exploring relationships and life values

英語Ⅰでは自分自身、身近な他者との関係、人生設計などに関する内容を扱います。

◆英語Ⅱ　異文化との遭遇：他者を理解し尊重する

English Ⅱ. Crossing cultures: Understanding and respecting others

英語Ⅱでは世界の様々な国の多様な文化について扱います。

◆英語Ⅲ　日本における社会問題：より良いコミュニティーを目指して

English Ⅲ. Social issues in Japan: Toward a better community

英語Ⅲでは地域社会や日本全体にかかわる問題を扱います。それらの問題は必ずしも日本特有のものではないかもしれませんが、日本でどのように問題が顕在化し捉えられているかに焦点を当てます。

◆英語Ⅳ　日本と世界：国際社会で生きる

English Ⅳ. Japan and the world: Living in an international community

英語Ⅳでは世界が直面している重要な問題について扱います。必ずしも全ての問題が日本と大きな関係があるとは限りませんが、世界の重要な問題について日本と日本人がどのような役割を果たすことができるのかについて考えます。

科目名	ENG101:　英語Ⅰ			担当教員	永野　良博，平野　幸治，近藤　佐智子，C. Oliver，神谷　雅仁，T. Gould，Thomas，M. Lupas，岩崎　明子
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** **英語Ⅰ　他者と共に生きる：人とのつながりと人生の意味を探究する** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. Examples of topics that might be included: ・family, friends, interpersonal relationships; ・love, marriage, children; ・growing up, growing older, growing old; ・school, work, independence, lifestyle changes; ・illness, caring for others; ・service learning; ・ethical challenges faced in life; ・life goals, aspirations, dreams; ・the value of life, the meaning of death.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ			担当教員	神谷　雅仁，Thomas，M. Lupas，岩崎　明子，クラーク　美紀，O. Ilina，小林　美文，O. Massoud，P. McQuilling，K. Shimizu，M. Tasseron
開講期	秋	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** **英語II　異文化との遭遇：他者を理解し尊重する** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. Examples of topics that might be included: ・cultural traditions, myths, folklore; ・holidays, celebrations, rituals; ・world religions, religious beliefs and customs; ・art, literature, music, popular culture; ・humor in different countries; ・food, clothing, housing, daily life; ・mass media, media language, media images; ・stereotypes, ethnocentrism; ・cultural identity, ethnic identity, national identity.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ			担当教員	R. Burton, N. Cook, G. Freddes, A. Garin, A. Goli, O. Ilina, 小林 美文, O. Massoud, P. McQuilling, K. Shimizu, M. Tasseron
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	2年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English Ⅲ. Social issues in Japan: Toward a better community** **英語Ⅲ　日本における社会問題：より良いコミュニティーを目指して** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan. Examples of topics that might be included: ・Japan's aging population; ・sex-based discrimination; ・crime, youth crime; ・homelessness; ・Japan's high suicide rate; ・victims of natural disasters; ・depopulation of the countryside; ・child abuse, elder abuse, animal abuse; ・volunteerism.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG202:　英語Ⅳ			担当教員	岩崎　明子，R. Burton，クラーク 美紀，N. Cook，G. Freddes，A. Garin，小金沢 裕美子，O. Massoud，P. McQuilling，M. Tasseron
開講期	秋	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	2年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** **英語IV　日本と世界：国際社会で生きる** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. Examples of topics that might be included: ・human rights, animal rights; ・immigration, refugees; ・religious freedom, religious suppression; ・environmental destruction, environmental activism; ・NGOs, NPOs, JICA, the UN; ・international conflicts, terrorism, war, peace; ・overpopulation; ・famine, poverty; ・child labor; ・AIDS.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student’s final grade.

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（1）					担当教員	T. Gould
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4209
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student should be able to summarize reading passages in writing and participate fully in a conversation with another student based on a wide range of level appropriate reading and listening passages. Students will also be able to participate in a presentation / discussion from outline to final performance and answer questions from students and instructor.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, online work, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: demonstration of attention during lectures, willingness to actively participate during pair work, display understanding and follow conversation guidelines; Writing: find main and supporting ideas in passages and present summaries in clear paragraphs, show best effort to help other students during peer editing; Homework: complete in timely fashion, display understanding of and use lesson contents; Testing: complete online coursework; Independent Learning: complete all required activities in student workbook.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to course, text, and classroom management; self-introductions, conversations	Listening practice, asking questions, conv.	Read syllabus and get familiar with textbook, write p'graph
2	Talking about recent activities; present perfect continuous; reading passage	Conversation, group discussion, pair-work	Exercises in SC3: pages 2-5
3	Saying statements as questions; people talk about their hobbies; writing an email	Reading aloud, pair-work, discussion	Exercises in SC3: pages 6-9
4	What are the values we learn from television? What shows do you watch and why?	Pair-work, conversation, group	Exercises in SC3: pages 10-13
5	Indirect questions: reduction of *do* and *can*; Reading: The secret to staying on top	Conversation, peer-editing, short lecture	Exercises in SC3: pages 14-17
6	Public art and the influence of art on society; Conversation: do you know a lot about art?	Short lecture, discussion, Pair-work	Exercises in SC3: pages 18-21
7	Grammar: passives; pronunciation: reduction of *don't* and *did;* Talking about museums	Reading aloud, pair-work, discussion	Exercises in SC3: pages 22-25

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Pair presentation 1	Conversation, peer-editing, short lecture	Practice and prepare for presentation, do presentations
9	Adjectives describing personalities; talk about people in your life; relative clauses	Pair-work, discussion, peer-editing,	Exercises in SC3: pages 28-31
10	In-class writing: linking sounds with / w / ; Reading: friendship in the modern world	In-class writing, peer-editing, discussion, pairs	Exercises in SC3: pages 32-35
11	In modern life, can we survive without technology? Infinitives and gerunds	Conversation, pair-work, discussion	Exercises in SC3: pages 36-39
12	Reduction of *have got to*; Reading: is it time for a digital detox? How do you use technology?	In-class reading, pair-work, group discussion	Exercises in SC3: pages 40-43
13	Reflective travel; conversation: talk about a recent travel experience; past perfect	Conversation, peer-editing, short lecture	Exercises in SC3: pages 44-47
14	Reduction of had in the past perfect; a beautiful beach house; write a fictional travel story	Reading aloud, pair-work, discussion	Exercises in SC3: pages 48-51
15	Pair presentation 2	Conversation, peer-editing, short lecture	Practice and prepare for presentation
16	“Lookism:” bias in evaluating personal appearance; Have / get something done	Short lecture, discussion, pair-work	Exercises in SC3: pages 54-57
17	In-class writing; open conversation	In-class writing, peer-editing, discussion	Exercises in SC3: pages 58-61
18	Reading: a double makeover; conversation about changes to appearance; before and after	Pair-work, lecture, conversation	Exercises in SC3: pages 62-65
19	Grammar: second conditional; pronunciation: reduction of *would you*	In-class reading, pair-work, group discussion	Exercises in SC3: pages 66-69
20	Evaluating intergenerational schools; What would you do in this situation?	Lecture, in-class writing	Exercises in SC3: pages 70-73
21	Conversation: talking about an uncomfortable experience; *should have* and *would have*	Group discussion, pair-work	Exercises in SC3: pages 74-77
22	Grammar: *may*, *might*, *could*, and *must have*; Reduction of *have* after modals	Short lecture, discussion, pair-work	Exercises in SC3: pages 80-83
23	Grammar: reported speech; pronunciation: contrastive stress; conv.: fake news & hoaxes	Pair work, lecture, conversation	Exercises in SC3: pages 84-87
24	In-class discussion: Fake news; facts and opinions; pros and cons of social media	Short lecture, discussion, pair-work	Materials provided by instructor
25	In-class writing; open conversation	In-class writing, peer-editing, discussion	Study for test and prepare outline for in-class writing
26	Choose topics and prepare outlines for presentation / discussions	Pair-work, conv., group discussion preparation	Independent review of SC3 chapters 11 & 12 for discussions
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Group presentation / discussions	Participate in discussions and ask questions	Prepare discussion questions, review required topics
28	Group presentation / discussions	Participate in discussions and ask questions	Prepare discussion questions, review required topics

テキスト	Ken Wilson and Alice Savage. *Smart Choice 4th Edition*: *Student Book, Level 3* (Oxford University Press). *Smart Choice 4th Edition*: *Workbook, Level 3* (Oxford University Press).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（2）					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various issues related to “relationships and life values;” use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; express their ideas in a short, well-organized presentation with good delivery; utilize problem / solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities, including short speeches (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment (25%), including two vocabulary tests (10%) and final presentation (15%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem / solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem / solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course	explanation by instructor, pair work	Review syllabus after class
2	Friendship (textbook Unit 2); explanation of short speech #1	pair work, small-group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	Friendship (supplementary materials); Independent Learning (IL) guidelines	pair work, small-group discussion	Review Unit 2 supplementary materials
4	Love (textbook Unit 19); discuss IL Study Plan #1; recap of Unit 2	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Love (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 19
6	Short speech #1; speech / presentation organization	speeches, lecture	Prepare speech

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Compromise (textbook Unit 12); recap of Unit 19; explanation of short speech #2	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
8	Compromise (supplementary materials); discuss IL progress	pair work, small-group discussion	Review Unit 12; write IL Reflection Sheet #1
9	Adolescence and adulthood (textbook Unit 4); recap of Unit 12; discuss IL Study Plan #2	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #2
10	Adolescence and adulthood (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 4
11	Living as an adult (textbook Unit 10); recap of Unit 4	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Living as an adult (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 10
13	Short speech #2	speeches	Prepare speech
14	Vocabulary Test #1; recap of Unit 10; expl. of short speech #3; Earning money (textb. Unit 8)	test, pair work, small-group discussion	Write Unit Recap; write IL Reflection Sheet #2
15	Earning money (supplementary materials); discuss IL Study Plan #3	pair work, small-group discussion	Write IL Study Plan #3
16	Career choice (textbook Unit 13); recap of Unit 8	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
17	Career choice (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 13
18	Workplace relationships (textb. Unit 11); recap of Unit 13; return Test #1 and go over results	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
19	Workplace relationships (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 11
20	Divorce (textbook Unit 20); recap of Unit 11; discuss IL progress	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Reflection Sheet #3
21	Short speech #3; explanation of final presentation; discuss IL Study Plan #4	speeches, small-group discussion	Prepare speech; write IL Study Plan #4
22	Divorce (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 20
23	Starting a family (textbook Unit 7); recap of Unit 20	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
24	Starting a family (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 20
25	Vocabulary Test #2; recap of Unit 7	test, pair work	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	pair work, small-group discussion	Write IL Reflection Sheet #4; prep. IL Journal (submit today)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	presentations	Prepare presentation

テキスト	Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka. *Impact Issues 3* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（3）					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English ・ For students to acquire academic writing skills						
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to: ・express their ideas on ‘living with others’ and ‘life values’ confidently and logically ・do a short research on one’s own hometown and make PowerPoint presentation systematically ・write a paragraph and short essay academically ・deliver a short speech and engage in a discussion using simple English						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed on the first class.						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1. Lesson 1. Make generalizations, auxiliary verbs, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do exercises (Ex) on pages (pp.) 8-9, English Essentials pp. 51-52
3	Unit 1. Lesson 2. Write an informal e-mail, pros and cons of Facebook	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Read article on p. 12, do Ex on pp.11-13
4	Unit 1. Lesson 3. Retell a simple narrative in your own words	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex on pp. 14-16
5	Unit 2. Lesson 1. Give opinions and agree / disagree	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex on pp. 20-22
6	Unit 2. Lesson 2. Deal with problems, relative clauses	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex on pp. 23-25, read the article on p. 24
7	Unit 2. Lesson 3. Describe an important event from your life	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on pp. 26-28, prepare for writing activity on p. 28
8	Unit 3. Lesson 1. Write a letter of complaint, presentation on ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on pp. 32-34, prepare for presentation & quiz

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unit 3. Lesson 2. Compare cities, comparatives	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on pp. 35-37, prepare for presentation
10	Unit 3. Lesson 3. Make a formal phone call, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on pp. 38-40, prepare for presentation
11	Unit 4. Lesson 1. Make small talk, question tags, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on pp. 44-46, prepare for presentation
12	Unit 4. Lesson 2. Make and respond to invitations, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on pp.47-49, prepare for presentation
13	Unit 4. Lesson 3. Write a short, classified ad, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on pp. 50-52, prepare for presentation
14	Unit 5. Lesson 1. Suggest and respond to ideas, presentation on ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on pp. 56-58, prepare for presentation & quiz
15	Unit 5. Lesson 2. Describe a movie or book, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, speaking, listening, pair work	Do Ex on pp. 59-61, prepare for presentation
16	Unit 5. Lesson 3. Recommend a restaurant, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on pp. 62-64, prepare for presentation
17	Unit 6. Lesson 1. Describe a memorable photo, presentation on ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on pp. 68-70, prepare for presentation & quiz
18	Unit 6. Lesson 2. Get around a new place, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on pp. 71-73, prepare for presentation
19	Unit 6. Lesson 3. Show interest and surprise, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on pp. 74-76, prepare for presentation
20	Unit 7. Lesson 1. Describe a learning experience, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on pp. 80-83, prepare for presentation & quiz
21	Unit 7. Lesson 2. Describe a teacher from your past, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, listening, pair work, speaking	Do Ex on pp. 83-85, prepare for presentation
22	Unit 7. Lesson 3. Talk about abilities, modals of ability, past and present	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on pp. 86-89
23	Unit 8. Lesson 1. Talk about cause and result, unreal conditional	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on pp. 92-94, prepare for the writing activity on p. 94
24	Unit 8. Lesson 2. Talk about change, adverbs	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on pp. 95-97, read article on p. 96
25	Unit 8. Lesson 3. Describe the effect of important decisions, past unreal conditional	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on pp. 98-100, prepare for the writing activity on p. 100
26	Unit 9. Lesson 1. Present ideas to a group, prepare for quiz	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on pp. 104-106, read the article on p. 104
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 9. Lesson 2. Report information, reported speech	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on pp. 107-109
28	Unit 9. Lesson 3. State routine job requirements, past obligation / permission	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on pp. 110-112, submit final report

テキスト	Maria Victoria Saumell and Sarah Louisa Birchley. *English in Common 4* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（4）					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English ・ For students to acquire academic writing skills
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to: ・ express their ideas on ‘living with others’ and ‘life values’ confidently and logically ・ do a short research on one’s own hometown and make PowerPoint presentation systematically ・ write a paragraph and short essay academically ・ deliver a short speech and engage in a discussion using simple English
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed on the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1. Lesson 1. Talk about personal likes and dislikes, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do exercise (Ex) on pages (pp.) 8-9, English Essentials pp. 51-52
3	Unit 1. Lesson 2. Ask and answer questions about daily routines	Lecture, pair work, listening	Do Ex on pp. 10-11
4	Unit 1. Lesson 3. Write an email to update someone about your life	Lecture, reading, listening, writing	Do Ex on pp. 12-13, prepare for the writing exercise on p. 13
5	Unit 2. Lesson 1. Talk about a personal event in the past, simple past	Lecture, pair work, writing, listening	Do Ex on pp. 18-19, prepare for the writing exercise on p. 19
6	Unit 2. Lesson 2. Compare yourself to another person, agreement, *so* and *neither*	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on pp. 20-21, read the article on p. 20
7	Unit 2. Lesson 3. Talk about personal achievements and experiences	Lecture, pair work, listening, speaking	Do Ex on pp. 22-23
8	Unit 3. Lesson 1. Tell a friend about your future plans, presentation on ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on pp. 28-29, prepare for presentation and quiz

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unit 3. Lesson 2. Write an informal invitation, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, writing, listening	Do Ex on pp. 30-31, prepare for the writing exercise on p. 31
10	Unit 3. Lesson 3. Make plans with a friend, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on pp. 32-33, read the article on p. 32
11	Unit 4. Lesson 1. Compare people, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on pp. 38-39, prepare for presentation
12	Unit 4. Lesson 2. Write a thank you note, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, writing, listening	Do Ex on pp. 40-41, prepare for presentation
13	Unit 4. Lesson 3. Ask polite questions, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on pp. 42-43, prepare for presentation
14	Unit 5. Lesson 1. Exchange opinions with a friend, ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on pp. 48-49, prepare for presentation
15	Unit 5. Lesson 2. Write a personal profile, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, writing	Do Ex on pp. 50-51, prepare for presentation
16	Unit 5. Lesson 3. Describe yourself when you are younger	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on pp. 52-53, prepare for presentation
17	Unit 6. Lesson 1. Make general predictions, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on pp. 58-59, prepare for presentation
18	Unit 6. Lesson 2. Give explanations for choices, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on pp. 60-61, prepare for presentation
19	Unit 6. Lesson 3. Describe a favorite place, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, writing	Do Ex on pp. 62-63, prepare for presentation
20	Unit 7. Lesson 1. Describe a person’s physical appearance, ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on pp. 68-69, prepare for presentation and quiz
21	Unit 7. Lesson 2. Describe someone’s personality, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, listening, speaking	Do Ex on pp. 70-71, prepare for presentation
22	Unit 7. Lesson 3. Talk about illness and give advice, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, writing	Do Ex on pp. 72-73, prepare for presentation
23	Unit 8. Lesson 1. Describe simple changes, passive voice	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on pp. 78-79, read the paragraphs on p. 78
24	Unit 8. Lesson 2. Find out personal information, review of question types	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on pp. 80-81, read the paragraph on p. 80
25	Unit 8. Lesson 3. Ask and answer questions about past actions	Lecture, pair work, reading, writing	Do Ex on pp. 82-83, prepare for the writing exercise on p. 83
26	Unit 9. Lesson 1. Respond to simple job interview questions, quiz	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on pp. 88-89, prepare for quiz
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 9. Lesson 2. Talk about your abilities, *can, could, be able to*	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on pp. 90-91
28	Unit 9. Lesson 3. Write a short article, passive voice: past	Lecture, pair work, reading, speaking	Do Ex on pp. 92-93, submit final report

テキスト	Maria Victoria Saumell and Sarah Louisa Birchley. *English in Common 3* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（5）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Dealing with various topics related to English I’s common theme, students will be able to improve their receptive skills including extensive and intensive reading through various assignments and exercises in the textbook and English articles from newspapers, and listening skills through various exericises in the textbook and interactions with the teacher and classmates. They will also be able to improve their productive skills including oral communication skills such as giving a speech, and paragraph-writing skills. In addition, they will be able to build up their vocabulary through a TOEIC vocabulary book.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as final presentation and vocabulary quiz (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview and how to study English	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus and check the class assignments.
2	Oral practice: talking about yourself and getting to know each other	Discussion, oral activities, Q&A	Prepare some questions to ask in class.
3	Course assignments to be explained Paragraph organization①: basic structure	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and units 5 & 6 of *English Essentials.*
4	Paragraph organization②: topic sentence and supporting sentences	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read units 5 & 6 of *English Essentials* and do homework.
5	Paragraph organization③: writing paragraphs; vocab. quiz	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read units 5 & 6 of *English Essentials*; prepare for quiz.
6	Unit 1: Roommates: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 1 of *New Connection 2*; prepare WSR 1
7	Unit 13: Right and Wrong: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 13 of *New Connection 2.*
8	Unit 14: Your Career Starts Now: practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 14 of *New Connection 2.*
9	Unit 5: Close Ties: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 5 of *New Connection 2*; prepare for quiz.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Unit 6: Time to Celebrate: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 6 of *New Connection 2.*
11	Unit 11: Study Abroad: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 11 of *New Connection 2.*
12	Unit 3: Get in Shape: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 3 of *New Connection 2.*
13	Prepare for speech: brainstorming, outlining, and script writing; talking about evaluation method	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read units 2 & 5 of *English Essentials*; prepare WSR 2
14	Unit 12: Technology and You: practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 12 of *New Connection 2*; prepare for quiz.
15	Unit 7: Animals in Danger: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 7 of *New Connection 2.*
16	Speech to be given by all the students; comments and reflections	Deliver a speech, give feedback and evaluation	Write the outline; practice and rehearse for speech.
17	Unit 8: A Fine Art: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 8 of *New Connection 2*; plan Book Report
18	Unit 9: Tune In: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 9 of *New Connection 2.*
19	Unit 10: Music to Our Ears: practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 10 of *New Connection 2*; prepare for quiz.
20	Unit 2: Checking Out: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 2 of *New Connection 2.*
21	Unit 4: Money Management: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 4 of *New Connection 2.*
22	Review of the textbook topics; writing practice using those topics covered in class	Lecture, group work, writing practice	Review all the topics in the textbook; prepare WSR 3
23	Book Report: a brief presentation about the book they read; peer review and discussion	Group work, in-class discussion, evaluation	Prepare to present what they read for Book Report.
24	Prepare for Final Presentation (purpose, evaluation method, outline, schedule, etc.); vocab. quiz	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read units 2 & 5 of *English Essential*; prepare for quiz.
25	Prepare for Final Presentation (structure of a presentation to be reviewed; brainstorming)	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Write an outline for in-class group discussion.
26	Final Presentation: GROUP 1. Deliver presentation and give feedback	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentation: GROUP 2. Deliver presentation and give feedback	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
28	Final Presentation: GROUP 3. Deliver presentation and give feedback. Course review	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.

テキスト	①角山照彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane. *New Connection Book 2*（成美堂）. ②ロバート ヒルキ他『新装版 TOEIC テスト スーパー英単語―5 人のエキスパートが選んだ 3000 語』（アルク）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* 福島範昌『英語が英語のままわかる本：頭の中に英語回路をつくる実践トレーニング』（The Japan Times）
その他 特記事項	Students who fail this course must enroll in and pass the English Fundamentals course in Fall Semester.

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（6）					担当教員	平野　幸治
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook with correct pronunciation; understand and discuss the social issues introduced in class; deliver an interesting and informative two to three-minute presentation; and be comfortable setting their own independent learning goals.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as 6 in-class tests (Quizzes), 4 presentations, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance (Active participation in class activities, including discussions, group work, and oral presentations); Homework (Timely completion of assignments, presentations, and independent learning reflection sheets); Testing and assessment: quizzes (Correct answers demonstrating knowledge of course content using correct grammar and newly acquired vocabulary); presentations (Well-organized and prepared; following the guidelines in English Essentials); Independent learning (Timely completion of three Independent Learning Plans with IL Reflections Sheets).
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction; getting to know each other; assessment; introduce *In Focus* Online Study	Teacher’s explanation, pair & group work	Review syllabus; prep self-introduction
2	Unit 1: The Effect of Advertising; consider lifestyles; self introductions	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 1-5, reading, vocab. & ***Unit 1 Online***
3	Unit 1: Continue; finish self introductions; think about life values based on advertisement	Discussion, pair & group work	Study pp. 6-8, reading, vocab. & ***English Essentials*** pp. 6-9
4	Unit 2: Extreme Sports; think about interpersonal relationship through sports	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 9-11, reading, vocab. & ***Unit 2 Online***
5	Unit 2: Continue; discuss Independent learning plan #1; Quiz #1 (Units 1, 2)	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #1 & pp. 12-16, reading, vocab.
6	Unit 3: Our Aging Population; think about growing old; return and go over Quiz #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 17-21, reading, vocab. & ***Unit 3 Online***
7	Unit 3: Continue; introduce public speaking & Presentation #1	Discussion, pair & group work	Study pp. 22-24 & ***English Essentials*** pp. 19-22

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4: Robots in the Home; consider lifestyles; prepare Presentation #1	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #2 & pp. 25-27, reading & vocab.
9	Unit 4: Continue; prepare Presentation #1; Quiz #2 (Units 3, 4)	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #2 & pp. 28-32, vocab. & ***Unit 4 Online***
10	Presentation #1; reflections on IL plan #1; return Quiz #2 and go over results	Presentation, pair & group work, discussion	Prep presentation #1; write IL Reflections #1
11	Unit 5: Animals: Our Research Partners?; think about ethical issues through animal rights	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 33-35, reading, vocab. & ***Unit 5 Online***
12	Unit 5: Continue; give feedback on Presentation #1; discuss Independent Learning Plan #2_a	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 36-37, reading, vocab.; write IL Plan #2
13	Unit 6: The Online Information Debate; consider lifestyles; discuss IL Plan #2_b	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 41-45, reading, vocab. & ***Unit 6 Online***
14	Unit 6: Continue; reflections on IL plan 2; Quiz #3 (Units 5, 6)	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #3 & write IL Reflections #2
15	Unit 7: Online Advertising: Making Our Lives Better?; return Quiz #3 and go over results	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 49-53; reading, vocab. & ***Unit 7 Online***
16	Unit 7: Continue; think about the value of life; prepare Presentation #2	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 57-59, reading, vocab. & ***Unit 8 Online***
17	Unit 8: Winning at Any Cost; interpersonal relationship through sports; Presentation #2	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 60-61, reading, vocab.; prep Presentation #2
18	Unit 8: Continue; give feedback on Presentation #2; Quiz #4 (Units 7, 8); discuss IL plan #3	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Prep presentation #2; write IL plan #3
19	Unit 9: Do You Want to Live Forever?; return Quiz #4 and go over results	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #4 & pp. 65-67 & ***Unit 9 Online***
20	Unit 9: Continue; think about the meaning of death; discuss IL Plan #3	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 68-72, reading, vocab. & ***Unit 9 Online***
21	Unit 10: I Lost My Job to a Machine!; prepare Presentation #3; reflections on IL plan #3	Reading, listening, pair work, discussion	Study pp. 73-77 & write IL Reflections #3
22	Unit 10: Continued; consider work & workplace; prepare Presentation #3; Quiz #5 (Units 9, 10)	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #5 & pp. 78-80, & ***Unit 10 Online***
23	Unit 11: Treatment of Animals; return Quiz #5 and go over results; Presentation #3	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 81-85, reading, vocab. & prep presentation #3
24	Unit 11: Continued; consider love; give feedback on Presentation #3	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 86-88, reading, vocab. & ***Unit 11 Online***
25	Unit 12: Who Owns the News?; consider independence; discuss ***English Essentials***	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 89-93 & ***English Essentials*** pp. 26-32
26	Unit 12: Continued; prepare Presentation #4; Quiz #6 (Units 11, 12); discuss IL plan #4	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #6 & ***Unit 12 Online***
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Presentation #4; return Quiz #6 and go over results; reflections on Independent Learning	Presentation, pair & group work, discussion	Prep Presentation #4; write IL Final Reflections
28	Remaining presentations (if any); feedback Presentation #4, and recap of the semester	Discussion, pair & group work	Review textbook units and IL plans and reflections

テキスト	C. Brown et all. *IN FOCUS Book 1* (Cambridge University Press).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	To access to the Online website, students are supposed to buy a new textbook with its access code, not a second-hand textbook.

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（7）					担当教員	永野　良博
開講期	春	開講時限	月木 3			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	This course expects students to increase vocabulary and gain grammar knowledge, to gain expressive skills in discussions, oral presentations, and Q&A, to understand paragraph writing and basic essay writing. Students will learn these skills as they deepen their understanding of English I themes. Also, students are expected to develop independent learning skills. The final goal is to write and present a discussion essay.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance**: active and constructive involvement with conversation, discussion, and Q&A; presentation delivered with clarity of voice, eye-contact, good posture, appropriate voice inflection, readiness for Q&A, etc.. **Homework assignments**: essays showing significant thesis, solid structure, original thoughts, logical development, significant conclusion, etc.. **Testing and assessment (Take-home exam)**: fully understanding vocabulary, grammar, reading, and writing skills covered in the main textbook. **Independent learning**: detailed study reports on the main textbook and books students choose.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction. First Impressions: relationships, appearance, gender equality	Reading, listening, discussion	Read the main textbook pp.10-11
2	First Impressions: relationships, appearance, gender equality (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook pp.12-13
3	Learning presentation skills: loud and clear voice, voice inflection, eye contact, posture	Reading, reading aloud	Read English Essentials pp.19-25
4	Practicing presentation skills. First Impressions (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
5	Independent learning tasks and pronunciation practice	Lecture, Q&A	Start independent learning (special tasks)
6	Getting ahead: education, relationships, culture	Reading, listening, discussion	Read the main textbook pp.22-23

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Getting ahead: education, relationships, culture (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook pp.24-25
8	Getting ahead: education, relationships, culture (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
9	What are friends for?: friendship, relationship	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 6, pp.30-31
10	What are friends for?: friendship, relationship (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 6, pp.32-33
11	What are friends for?: friendship, relationship (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
12	Paragraph writing: topic sentence, supporting details, concluding sentence.	Reading, writing	Read English Essentials pp.51-60
13	Your online past: technology, privacy	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 8, pp.38-39
14	Your online past: technology, privacy (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 8, pp.40-41
15	Take-home exam #1 (announcement) Essay writing: introduction, body, conclusion.	Testing, reading, writing	Prepare for a test, read English Essentials pp.61-70
16	Essay writing: time order, space order, cause and effect	Reading, writing	Read English Essentials pp.61-70 and read a handout
17	Essay writing: unity, coherence, discussion essay	Reading, writing	Read a handout
18	Taking care of father: family, aging, city life Return take-home exam #1 and go over results	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 9, pp.42-43
19	Taking care of father: family, aging, city life (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 9, pp.44-45
20	Taking care of father: family, aging, city life (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
21	My student life: education, lifestyle, future plans	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 10, pp.46-47
22	My student life: education, lifestyle, future plans (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 10, pp.48-49
23	My student life: education, lifestyle, future plans (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
24	Government control: government, social issues, family	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 14, pp.62-65
25	Take-home exam #2 (announcement). A mother's story: crime, punishment, compassion	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 20, pp.86-87
26	A mother's story: crime, punishment, compassion (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 20, pp.88-89
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final oral presentation: discussion essay	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
28	Final oral presentation: discussion essay Return take-home exam #2 and go over results	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation

テキスト	Richard R. Day, et al. *Impact Issues 2: Presenting Your Ideas in English* (Pearson Longman).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（8）					担当教員	岩崎　明子
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4213
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to think and talk ideas on everyday-life issues of college students; make a clear speech on each topic; discuss the topic with others; write an essay with well-structured passage, and confidently deliver about five-minute PowerPoint presentation that includes clear message with effective visual aid and performance.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance**: active involvement in-text exercises, discussions, group work, and short speech; **Homework**: submission of assignments (writing, etc.) in time; **Assessment**: ①result of vocabulary quizzes and review tests; ②final presentation and report (w / quality of research, clear facts and opinions, persuasive message, effective visual aid, and performance) [*following guidelines in English Essentials]; **Independent Learning**: submission of IL plans, review reports, journals in time.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course	explanation by instructor, pair work	Review syllabus after class
2	L.1 My Family Blog	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.1
3	Short Speech: My family	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech
4	L.2 Our campus Campus map	listening, grammar pair work, group work	Write IL Study plan #1 Prepare L.2
5	Short Speech: My campus life	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech
6	Vocab Quiz (1-2); L.3 Jobs and workplaces Schedule for today	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.3
7	Short Speech: What’s your dream job?	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech
8	L.4 Everyday Activities Write a diary	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.4

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Short Speech: My daily routine	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech Write IL reflection sheet #1
10	Vocab Quiz (3-4); L.5 Transportation: Invitation discuss IL plan#2	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.5 Write IL study plan #2
11	Short Speech: How to show you a right way	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech
12	L.6 Part-time Jobs Job ads	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.6
13	Short Speech: How is your work?	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech
14	Review Test #1 (L.1~6), Vocab Quiz (5-6) L.7 Health & Illness: At the hospital	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.7
15	Short Speech: How to stay healthy? Return Review Test #1 and go over results	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech Write IL reflection sheet #2
16	L.8 Shopping Online shopping, discuss IL plan#3	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.8 Write IL study plan #3
17	Short Speech: How to avoid wasting things?	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech
18	Vocab Quiz (7-8); L.9 Leisure: Bus tour site	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.9
19	Short Speech: How to spend leisure time actively?	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech
20	L.10 College Life Email	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.10
21	Short Speech: How can I make it better?	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech Write IL reflection sheet #3
22	Vocab Quiz (9-10); L.11 Countries: World map and weather; discuss IL plan#4	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.11 Write IL study plan #4
23	Short Speech: Japan for the people in the world	reading, writing speech pair work, group work	Prepare short speech
24	L.12 Taking a Trip（1） Map of Europe	listening, grammar pair work, group work	Prepare L.12
25	Where do you want to go to do volunteers in other country?	reading, writing speech pair work, group work	Research for final speech
26	Review Test #2 (L.7-11), Vocab Quiz (11-12)	explanation, pair work group work	Write IL reflection sheet #4 IL journal submit
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final speech presentation、Return Review Test #2 and go over results	presentations	Prepare presentation
28	Final speech presentation	presentations	Prepare presentation

テキスト	森田和子他（2019）『Let’s Make It Simple!-はじめての実践英語』（三修社）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ (9)					担当教員	近藤 佐智子
開講期	春	開講時限	月木3限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. To develop students' speaking abilities, in particular, each student will present short speeches and be involved in group discussions for some of the topics covered in the class. Students will learn how to write English paragraphs through their preparation for the speeches.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of "For Others, With Others" ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to read and critically analyze articles on relationships with family, friends, and people in their community; remember and use key vocabulary related to these issues; express their opinions about the issues both in writing and speaking; make presentations using visual aids; be an autonomous learner of English through making vocabulary lists, doing Extensive Reading Project, and keeping Independent Learning (IL) Journal.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction, Talking and Writing about Yourself	lecture, pair work, speech	Read syllabus.
2	Why do we learn English? (Unit 20), How to Study English, Setting Goals: Can-Do List	lecture, reading, listening, discussion	Read pp. 86-89. Do exercises.
3	Friends: Shop Lifting (Unit 2)	reading, listening, pair work	Read pp. 14-16. Do exercises.
4	Friends: Good Friendship (Unit 2)	listening, speech	Read p. 17. Prepare for speech.
5	Friends: I'm not addicted! (Unit 3)	reading, listening, pair work, speech	Read pp. 18-21. Do exercises.
6	Family Values (Unit 7)	reading, listening, pair work	Read pp. 34-37. Do exercises.
7	Interpersonal Relationships: Saying "I love you." (Unit 6)	reading, listening, pair work	Read pp. 30-33. Do exercises.
8	Interpersonal Relationships: Someone Special, Extensive Reading Presentation (1)	reading, listening, speaking, presentation	Prepare for extensive reading presentation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Interpersonal Relationships: A Visit to Grandma (Unit 9)	reading, listening, pair work, speech	Read pp. 42-45. Do exercises.
10	In-Class Test (1) (40 min.), IL Journal Discussion (60 min.)	test, discussion, reading *English Essentials*	Prepare for test. IL Journal & vocabulary (1) due
11	Interpersonal Relationships: Fan Worship (Unit 10)	reading, listening, pair work	Read pp. 46-49. Do exercises.
12	Return test (1) and go over results, Ethical Challenges: Pet Peeve (Unit 11)	reading, listening, pair work, speech	Read pp. 50-53. Do exercises.
13	Ethical Challenges: Close your Eyes and See (Unit 12)	reading, listening, pair work	Read pp. 54-56. Do exercises.
14	Ethical Challenges: Improving Life for People with Disabilities (Unit 12)	listening, speech, discussion	Read p. 57. Prepare for speech.
15	Presentations (Friends & Family)	presentations	Prepare for presentation.
16	Presentations (Friends & Family)	presentations	Prepare for presentation.
17	Ethical Challenges: Protecting our Environment (Unit 13)	reading, listening, pair work	Read pp. 58-60. Do exercises.
18	Ethical Challenges: What to Do for the Environment (Unit 13)	listening, speech, discussion	Read p. 61. Prepare for speech.
19	Life Goals and Dreams: Get a Job! (Unit 14)	reading, listening, pair work	Read pp. 62-64. Do exercises.
20	Life Goals and Dreams: Your Life Goals (Unit 14)	listening, speech, discussion	Read p. 65. Prepare for speech.
21	Life Goals and Dreams: To Have or Not to Have (Unit 17)	reading, listening, pair work	Read pp. 74-77. Interview worksheet due
22	Extensive Reading Presentation (2), Life Goals and Dreams: Future Family	reading *English Essentials* (presentation)	Prepare for extensive reading presentation. Outline due
23	Reviews	discussion	Submit presentation script. Prepare for test.
24	In-Class Test (2) (40 min.), Preparation for Presentation (70 min.)	test, discussion	Prepare for test. Prepare for presentation.
25	Presentations (Occupations)	presentations	Prepare for presentation. IL Journal & vocabulary (2) due
26	Presentations (Occupations)	presentations	Prepare for presentation.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentations (Occupations)	presentations	Prepare for presentation.
28	Return test (2) and go over results, Goals for the Future, Self-Assessment: Can-Do List	discussion, lecture	Write “My Future Goals.”

テキスト	Richard R. Day, Joseph Shaules and Junko Yamanaka. *Impact Issues 1: Presenting your Ideas in English, Third Edition* (Pearson Education South Asia Pte Ltd).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（10）					担当教員	T. Gould
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4209
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student should be able to summarize reading passages in writing and participate fully in a conversation with another student based on a wide range of level appropriate reading and listening passages. Students will also be able to participate in a presentation / discussion from outline to final performance and answer questions from students and instructor.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, online work, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: demonstration of attention during lectures, willingness to actively participate during pair work, display understanding and follow conversation guidelines; Writing: find main and supporting ideas in passages and present summaries in clear paragraphs, show best effort to help other students during peer editing; Homework: complete in timely fashion, display understanding of and use lesson contents; Testing: complete online coursework; Independent Learning: complete all required activities in student workbook.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to course, text, and classroom management; self-introductions, conversations	Listening practice, asking questions, conv.	Read syllabus and get familiar with textbook, write p'graph
2	How have you changed? Personal qualities and characteristics; simple present and continuous	Conversation, group discussion, pair-work	Exercises in SC4: pages 2-5
3	The simple past and past perfect continuous; pr-perfect and continuous with *for* and *since*	Reading aloud, pair-work, discussion	Exercises in SC4: pages 6-9
4	Entertainment and events; future forms review; *will*, *be going to*, present continuous, simple pr.	Pair-work, conversation, groups	Exercises in SC4: pages 10-13
5	Introduction to phrasal verbs; phrasal verbs with one particle; conversational fluency	Conversation, peer-editing, short lecture	Exercises in SC4: pages 14-17
6	Health and lifestyle; comparative and superlative adjectives and adverbs	Short lecture, discussion, Pair-work	Exercises in SC4: pages 18-21
7	Connecting comparatives: *as…as* and *the more / less*…statements; persuading others	Reading aloud, pair-work, discussion	Exercises in SC4: pages 22-25

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Pair presentation 1	Conversation, peer-editing, short lecture	Practice and prepare for presentation, do presentations
9	Cultural connections; quantifiers: *(a) few, (a) little*, etc.	Pair-work, discussion, peer-editing,	Exercises in SC4: pages 28-31 outline for in-class writing
10	In-class writing; adverbs of degree: *fairly, pretty, quite, very, really*; holiday customs	In-class writing, peer-editing, discussion, pairs	Exercises in SC4: pages 32-35
11	Types of traveler; review of the present perfect and simple past*: already, just, never, still, yet*	Conversation, pair-work, discussion	Exercises in SC4: pages 36-39
12	Determiners: *all, each, every* and *none*; *either / neither* and *both*; reflexive pronouns; emails	In-class reading, pair-work, group discussion	Exercises in SC4: pages 40-43
13	Work-leisure balance; modal verbs to express ability, possibility, and advice	Conversation, peer-editing, short lecture	Exercises in SC4: pages 44-47
14	Verbs with the *-ing* form or *to* + base form; making and responding to questions	Reading aloud, pair-work, discussion	Exercises in SC4: pages 48-51
15	Pair presentation 2	Conversation, peer-editing, short lecture	Practice and prepare for presentation
16	Character traits; defining and non-defining relative clauses	Short lecture, discussion, Pair-work	Exercises in SC4: pages 54-57 outline for in-class writing
17	In-class writing; reduced relative clauses; asking for and giving personal opinions	In-class writing, peer-editing, discussion, pairs	Exercises in SC4: pages 58-61
18	Using technology; tag questions, intensifiers *so* and *such*; workplace well-being	Pair-work, lecture, conversation	Exercises in SC4: pages 62-65
19	Adverb and noun contrast; disagreeing politely; writing effective applications	In-class reading, pair-work, group discussion	Exercises in SC4: pages 66-69
20	Remembering the past; *used to* and *would; be used to; get used to*	Lecture, short in-class writing	Exercises in SC4: pages 70-73
21	Developing and predicting a story; expressing certainty; young risk-takers	Group discussion, pair-work	Exercises in SC4: pages 74-77
22	Social media and online activity; narrative tenses and time expressions *when*, *while*, and *before*	Short lecture, discussion, Pair-work	Exercises in SC4: pages 80-83
23	Passive forms and use of *by*; verbal and non-verbal feedback	Pair-work, lecture, conversation	prepare outline for in-class writing; Ex. in SC4: pp. 84-87
24	In-class discussion: Fake news; facts and opinions; pros and cons of social media	Short lecture, discussion, Pair-work	Materials provided by instructor
25	In-class writing	In-class writing, peer-editing, discussion, pairs	Brainstorming for presentation topics; prepare for discussions
26	Choose topics and prepare outlines for presentation / discussions	Pair-work, conv., group discussion preparation	Independent review of SC4 chapters 11 & 12 for discussions
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Group presentation / discussions	Participate in discussions and ask questions	Prepare discussion questions, review required topics
28	Group presentation / discussions	Participate in discussions and ask questions	Prepare discussion questions, review required topics

テキスト	Alice Savage and Chris Valvona. *Smart Choice 4th Edition*: *Student Book, Level 4* (Oxford University Press). *Smart Choice 4th Edition*: *Workbook, Level 4* (Oxford University Press).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（11）					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to: have natural-sounding English conversations with follow-up questions and longer responses; read about cultural values connected to some situations in everyday life and express their nuanced opinions; express their ideas in organized paragraphs and essays; prepare and deliver an organized short presentation; read, write, and talk about topics in the news; plan and execute a study plan to meet individual English learning goals; and write formal e-mails in English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance in classroom activities**: natural-sounding conversations that meet the length requirement and include follow-up questions and longer responses; performance on vocabulary quizzes; active participation in pair and group work. **Homework**: unit recap sheets; vocabulary quizzes; Showa interview essay. **Testing and assessment**: two writing assignments on relationships and life values, one student created worksheet; one presentation that is organized, contains sufficient details, has visuals and gestures that support meaning, and meets the length requirement. **Independent learning** (IL): independent learning plans and reports created 4 times during the semester that include reading one news article or graded reader and other activities of the student’s choosing.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course; Conversations	lecture, pair and group work	Make an independent learning plan and send a formal email.
2	Interpersonal Relationships: Introducing Yourself	lecture, pair and group work	Review textbook, study new vocabulary
3	Interpersonal Relationships: People in other cultures	lecture, pair and group work	Write unit recap
4	Introduction to Extensive Reading. How to use XReading.	lecture, pair and group work, reading	Read *The Office Conflict* first half
5	Lifestyle: Sleep according to you and your culture. Independent Learning Report Sharing	lecture, pair and group work, reading	Do April IL report and email
6	Lifestyle: Sleep and Rest in other cultures	lecture, pair and group work, reading	Read *The Office Conflict* second half. Write unit recap

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	School: classroom relationships for you and in your culture	lecture, pair and group work, reading	Read an XReading book
8	School: classroom relationships in other cultures Introduce Writing Assignment 1	lecture, pair and group work, reading	Write unit recap.
9	Friends and Family: Having Guests in Your Home	lecture, pair and group work, reading	Read *A Dog of Flanders*
10	Friends and Family: Having Guests in the home in other cultures. Writing Assignment 1.	lecture, pair and group work, reading	Write unit recap
11	Truth and Lies: having a conversation or discussion in your culture	lecture, pair and group work, reading	Read *The Truth Machine*
12	Truth and Lies: having a conversation or discussion in other cultures	lecture, pair and group work, reading	Write unit recap
13	Independent Learning Report Sharing. Introduction to Showa Interview.	lecture, pair and group work, reading	Do May Independent Learning report and e-mail
14	Working life: In a shop for you and your culture	lecture, pair and group work, reading	Read *Making a Deal*
15	Working life: In a shop for people in other cultures. Showa Interview.	lecture, pair and group work, reading	Write unit recap
16	Romance and Relationships: You and your culture	lecture, pair and group work, reading	Read *The Beautiful Game*
17	Romance and Relationships: life choices Introduce Student-Designed Worksheet.	lecture, pair and group work, reading	Write unit recap
18	Parents and Children: You and your culture	lecture, pair and group work, reading	Read *The Last of the Cheju Divers*
19	Parents and Children: the older generation	lecture, pair and group work, reading	Write unit recap
20	Student-Designed Worksheets.	group work	Prepare worksheets
21	Life and Death; Independent Learning Report Sharing	lecture, pair and group work, reading	Do June Independent Learning report and e-mail
22	Life and Death Introduce Writing Assignment 2	lecture, pair and group work, reading	Read *God Sees the Truth but Waits*
23	Writing Workshop	lecture, pair and group work, reading	Prepare workshop
24	Helping others: Asking for help and favors in your culture. Writing Assignment 2	lecture, pair and group work, reading	Review notes
25	Helping others: Asking for help in other cultures Introduce Presentations	lecture, pair and group work, reading	Write unit recap
26	Preparing presentations	presentations	Prepare presentations
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentations	presentations	Do July Independent Learning report and e-mail
28	Presentations of remaining students. Reflecting on the class.	presentations, group work	Prepare comments on the class

テキスト	① S. Richmond and B. Vannieu. *Ibunka! Intercultural Communication in Everyday Life* (Alma). ② XReading.com 6-month student subscription.
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（1）					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. Students will do a PowerPoint presentation introducing the culture of a country.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English ・ For students to acquire skills to do a short research on another culture and present it in English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to: ・ appreciate other cultures and express their views on them critically ・ make a presentation on culture-related topics using PowerPoint ・ write paragraphs and essays academically ・ express their thoughts in simple English
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed on the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1, Lesson 1. Check information, tag questions	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do exercise (Ex.) 2, 5a, 10, 12 on pages (pp.) 8-10
3	Unit 1, Lesson 2. Express agreement or disagreement	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do exercise Ex. 5, 7, 10 on pp. 11-13
4	Unit 1, Lesson 3. Make speculations, modals of speculation	Lecture, pair discussion, reading, listening	Listen to CD, do exercise Ex.3, 10 on pp. 14-16
5	Unit 2, Lesson 1. Discuss future plans, future forms	Lecture, discussion, reading, listening	Listen to CD, do exercise Ex. 3, 5, 6, 9 on pp. 21-22
6	Unit 2, Lesson 2. Report on the results of a survey	Lecture, discussion, reading, listening	Listen to CD, do exercise Ex. 5, 7, 9 on pp. 24-25
7	Unit 2, Lesson 3. Write a cover letter, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do exercise Ex. 2, 5, 8 on pp. 26-28
8	Unit 3, Lesson 1. Write a short story, past forms	Lecture, discussion, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 2, 7, 8, 9 on pp. 32-34

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unit 3, Lesson 2. Talk about materials, possessions, and inventions	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 2, 6, 9 on pp. 35-37
10	Unit 3, Lesson 3. Give a presentation about a place, paragraph writing	Lecture, discussion, reading, listening	Do Ex. 3, 7, 8, 9, 10 on pp. 38-40
11	Unit 4, Lesson 1. Write a journal or blog entry, conditionals with *if*	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex. 2, 3, 6, 10 on pp. 44-46
12	Unit 4, Lesson 2. Explain how to do something, modals of obligation	Lecture, discussion, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 2, 5, 8 on pp. 47-49
13	Unit 4, Lesson 3. Compare and contrast photos, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 3, 6, 7, 9 on pp. 50-52
14	Unit 5, Lesson 1. Describe appearance, past routines	Lecture, discussion, reading, listening	Do Ex. 2, 3, 6, 7, 10 on pp. 56-58
15	Unit 5, Lesson 2. Talk about memories, paragraph writing, expressing degrees of ability	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 1, 3, 6, on pp. 59-60
16	Unit 5, Lesson 3. Talk about books, paragraph writing, connectives for contrast	Lecture, discussion, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 2, 5, 8 on pp. 62-64
17	Unit 6, Lesson 1. Write an informal email, present perfect vs. present perfect continuous	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 2, 6, 9 on pp. 68-70
18	Unit 6, Lesson 2. Ask and answer questions about unusual places	Lecture, discussion, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 5, 8, 11 on pp. 71-73
19	Unit 6, Lesson 3. Make comparisons about places and people, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex. 1, 2, 5, 8 on pp. 74-76
20	Unit 7, Lesson 1. Describe how to prepare and cook a dish, Lesson 2. Write a formal letter	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 5, 6, 8 on pp. 81-82 & 4, 7 on pp. 83-84
21	Unit 7, Lesson 3. Talk about services, causative forms	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 3, 6, 8, 9, 10 on pp. 86-88
22	Unit 8, Lesson 1. Describe different types of people, Lesson 2. Report what people say	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 3, 6, 8 on pp. 92-94 & 2, 6 on pp. 95-96
23	Unit 8, Lesson 3. Write a report about the findings of a survey	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex. 3, 6, 8 on pp. 98-100
24	Unit 9, Lesson 1. Tell a funny story, Lesson 2. Speculate about past events	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 1, 2, 5, 7 on pp. 104-105 & 7 on p. 108
25	Unit 9, Lesson 3. Write an article, relative clauses	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 5, 6, 9 on pp. 111-112
26	Unit 10, Lesson 1. Discuss belief and opinions, reflexive pronouns	Lecture, discussion, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 3, 6, 7, 10 on pp. 116-118
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 10, Lesson 2. Write arguments for and against a point of view	Lecture, pair work, reading, listening	Listen to CD, do Ex. 4, 6, 7 on pp. 119-120
28	Unit 10, Lesson 3. Talk about regrets and resolutions / promises to change	Lecture, discussion, reading	Submit the final report

テキスト	Maria Victoria Saumell and Sarah Louisa Birchley. *English in Common 5* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（2）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Students will improve both their receptive skills including reading and listening skills, and productive skills, especially skills for expressing themselves orally, as they learn about various cultural aspects of Japan and other countries. They will also build their vocabulary and understand not only sentence structures, but also paragraph / essay organizations, which they will use for effective speaking and writing. In the end, they will be able to become more competent users of English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as final presentation and vocabulary quiz (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview and how to study English	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus and check the class assignments.
2	Oral practice: talking about yourself and getting to know each other	Discussion, oral activities, Q&A	Prepare to talk about yourself by filling out an exercise sheet.
3	Course assignments to be explained Paragraph organization①: basic structure	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and units 5 & 6 of *English Essentials.*
4	Paragraph organization②: topic sentence and supporting sentences	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read units 5 & 6 of *English Essentials* and do homework.
5	Paragraph organization③: writing paragraphs; vocab. quiz	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read units 5 & 6 of *English Essentials*; prepare for quiz.
6	Unit 1: Roommates - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 1 of *New Connection 2*; prepare WSR 1
7	Unit 6: Time to Celebrate - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 6 of *New Connection 2.*
8	Unit 13: Right and Wrong - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 13 of *New Connection 2.*
9	Unit 5: Close Ties - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 5 of *New Connection 2*; prepare for quiz.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Unit 11: Study Abroad - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 11 of *New Connection 2.*
11	Unit 14: Your Career Starts Now - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 14 of *New Connection 2.*
12	Unit 8: A Fine Art - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 8 of *New Connection 2.*
13	Prepare for speech: brainstorming, outlining, and script writing; talking about evaluation method	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read units 2 & 5 of *English Essentials*; prepare WSR 2
14	Unit 9: Tune In - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 9 of *New Connection 2*; prepare for quiz.
15	Unit 7: Animals in Danger - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 7 of *New Connection 2.*
16	Speech to be given by all the students; comments and reflections	Deliver a speech, give feedback and evaluation	Write the outline; practice and rehearse for speech.
17	Unit 4: Money Management - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 4 of *New Connection 2*; plan Book Report
18	Unit 2: Checking Out - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 2 of *New Connection 2.*
19	Unit 10: Music to Our Ears - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 10 of *New Connection 2*; prepare for quiz.
20	Unit 3: Get in Shape - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 3 of *New Connection 2.*
21	Unit 12: Technology and You - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 12 of *New Connection 2.*
22	Review of the textbook topics; writing practice using those topics covered in class	Lecture, group work, writing practice	Review all the topics in the textbook; prepare WSR 3
23	Book Report: a brief presentation about the book they read; peer review and discussion	Group work, in-class discussion, evaluation	Prepare to present what they read for Book Report.
24	Prepare for Final Presentation (purpose, evaluation method, outline, schedule, etc.); vocab. quiz	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read units 2 & 5 of *English Essential*; prepare for quiz.
25	Prepare for Final Presentation (structure of a presentation to be reviewed; brainstorming)	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Write an outline for in-class group discussion.
26	Final Presentation: GROUP 1. Deliver presentation and give feedback	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentation: GROUP 2. Deliver presentation and give feedback	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
28	Final Presentation: GROUP 3. Deliver presentation and give feedback. Course review	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.

テキスト	①角山照彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane. *New Connection Book 2*（成美堂）. ②ロバート ヒルキ他『新装版 TOEIC テスト スーパー英単語―5 人のエキスパートが選んだ 3000 語』（アルク）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* 福島範昌『英語が英語のままわかる本：頭の中に英語回路をつくる実践トレーニング』（The Japan Times）

科目名	ENG102:　英語II（3）					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4213
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Learning about World Heritage Sites would provide students with an opportunity to have extensive knowledge about the nature, history, and culture of a variety of regions and countries. And such common knowledge students absorbed in English would encourage them to talk with people from other countries. The text material based on CLIL methods will provide students with knowledge of World Heritages’ wisdom, technology, history, and culture; strengthen their cognition, communication, and understanding of the different cultures.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	①active participation in pair work and discussion in group; well-prepared presentation including appropriate response to the questions about the content introduced. ②completed homework assignment: reading necessary content and doing exercise before the class, researching and writing draft on selected topic, turning in homework on time. Good drafts should be written with clear thesis statement, good supporting content based on substantial research, well-organized paragraphs and conclusion. (ref. English Essentials pp.51-60) ③score of 2 in-class review quizzes, final presentation and final report. Good presentation must meet the requirements specified in English Essentials (ref. EE pp.26-31). Good final report must meet the essay writing requirements (ref. EE pp.61-70) ④ submit on time; an Independent learning (IL) plan sheet, 2 IL review sheets and a completed (IL) journal note.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, CLIL method, introduction	talk about course, pair work	Plan of Independent Learning (IL)
2	Unit 2: an ancient city of Roman ruins	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 12-17 research and write a draft
3	Unit 2: research presentation of ancient Rome	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft
4	Unit 3: the longest surviving castle in Japan	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 18-21 research and write a draft
5	Unit 3: research presentation of Himeji castle topics	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 4: a huge valley with 2 billion years of history	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 24-27 research and write a draft
7	Unit 4: research presentation of the Grand Canyon	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft
8	Unit 5: The greatest symbol of China's history	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 30-33 research and write a draft
9	Unit 5: research presentation of China's great walls	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft
10	Unit 6: The mythical city in the sky	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 36-39 research and write a draft
11	Unit 6: research presentation of the Inca life and culture	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft
12	Unit 7: Rock site shaped by erosion	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 42-45 research and write a draft
13	Unit 7: research presentation of underground cities	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
14	Review quiz (ut.1-7) unit14: final research and presentation	test and go over the result, pair work	Prepare for quiz, read pp. 84-88 Decide your final topic
15	Unit 9: the belief in the afterlife, return quiz and go over results	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 54-57 Research and write a draft
16	Unit 9: research presentation of ancient Egypt	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
17	Unit 10: a unique ecosystem of wildlife	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 60-63 Research and write a draft
18	Unit 10: research presentation of common animals of Shiretoko	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
19	Unit 11: the ancient capital city of the Khmer empire	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 66-69 Research and write a draft
20	Unit 11: research presentation of Angkor Wat and Angkor Thom	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, sum up your opinion
21	Unit 12: a giant block of stone on a desert plain	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 72-75 Research and write a draft
22	Unit 12: research presentation of Uluru-Kata Tjuta national park	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, sum up your opinion
23	Unit 13: the Sagrada Familia-Gaudi's spirit succeed for years	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 78-81 Research and write a draft
24	Unit 13: research presentation of Gaudi's work	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
25	Review quiz (ut.9-13), Unit14: final research and presentation	test and go over the result, lecture, pair work	Prepare for quiz, submit final script
26	Final presentation (1)	peer-review	Prepare presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentation (2), return quiz and go over results	peer-review	Prepare presentation
28	Final presentation (3), recap the course	peer-review	Review the course

テキスト	Shigeru Sasajima, Miyako Nakaya. et (2020) *CLIL World Heritage* (Sanshusha).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（4）					担当教員	O. Massoud
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to: ・develop vocabulary, sentence structures, paragraphs, and organizing essay ・organize paragraphs logically with topic, supporting, and concluding sentences on social topics ・improve both their receptive skills by listening and productive skills through expressing themselves orally ・understand and express opinions on complex topics, such as plastic surgery, immigration, and the modern age
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	1. Participation and performance in classroom activities (involve actively engaging in classroom discussions, group work and short speeches) 2. Homework assignments (finish relevant assignments on time such as reading the textbook and completing exercises) 3. Testing and assessment (vocabulary quizzes, comprehension check quiz and final presentation) 4. Speeches / presentations (prepare a well-organized presentation based on the guidelines set in *English Essentials*) 5. Independent learning (complete three IL study plans and reflections)
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, get to know each other, grading system criteria	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus
2	Self-introduction, details about the course assignments, (IL) guidelines	Reading, discussion, oral activities, Q&A	Prepare some questions to ask in class
3	*English Essentials* (E.E.) Unit 5: “The Writing Process”, planning, drafting, and revising	Reading, discussion, complete exercises	Read *E.E.* pp.40-50, complete the homework
4	E.E. Unit 6: “Paragraph Writing”, topic sentence, support sentence, introduce IL plan #1	Reading, discussion, doing exercises	Read *E.E.* pp.51-60, complete the homework
5	E.E. Unit 7: “Essay Writing”, introduction, body, and conclusion, discuss IL plan #1	Reading, discussion, complete exercises	Read *E.E.* pp.61-70, complete the homework, write IL plan #1
6	Chapter 3: “The Internet”, questions, vocabulary, reading practice	Oral practice, vocabulary learning, exercises	Read pp.13-18, check new vocabulary, complete exercises
7	Chapter 3: continue, E.E. Unit 2 Speech, effective ways to give a speech	Reading, discussion, complete exercises	Read *E.E.* pp.19-25, listen to the CD

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Chapter 3: continue, grammar, express one's opinion on the subject matter	Express one's ideas in a group and class	Write a paragraph for a short speech
9	Chapter 9: "Modern Life vs. the 'Good Old Days", questions, vocabulary, reading practice	Oral practice, vocabulary learning, exercises	Read pp.49-54, check new vocabulary, complete exercises
10	Chapter 9: continue, grammar, vocabulary quiz #1, reflections on IL plan #1	Express one's ideas in a group and class	Write a paragraph for a short speech, write IL reflections #1
11	Speech preparation #1 (on a topic related to chapter 3 and 9)	Practice public speaking in the form of speech	Check the speech script and rehearse the speech
12	Speech presentation #1 (on a topic related to chapter 3 and 9), introduce IL plan #2	Deliver the speech, give feedback and evaluation	Practice the speech and present it
13	Chapter 8: "Plastic Surgery", questions, vocabulary, reading practice, discuss IL plan #2	Oral practice, vocabulary learning, exercises	Read pp.43-48, check new vocabulary, write IL plan #2
14	Chapter 8: continue, grammar, express one's opinion on the subject matter	Practice public speaking in the form of speech	Write a paragraph for a short speech
15	Chapter 10: "Looks vs. Personality", questions, vocabulary, reading practice	Oral practice, vocabulary learning, exercises	Read pp.55-60, check new vocabulary, complete exercises
16	Chapter 10: continue, grammar, vocabulary quiz #2	Practice public speaking in the form of speech	Write a paragraph for a short speech
17	Speech preparation #2 (on a topic related to chapter 8 and 10)	Practice public speaking in the form of speech	Check the speech script, practice it
18	Speech presentation #2 (on a topic related to chapter 8 and 10)	Deliver the speech, give feedback and evaluation	Practice the speech and present it
19	Chapter 14: "Immigrants in Japan", questions, vocab., reading practice, reflection on IL plan #2	Oral practice, vocabulary learning, exercises	Read pp.79-84, check new vocabulary, IL reflection #2
20	Chapter 14: continue, grammar, introduce IL plan #3	Practice public speaking in the form of speech	Write a paragraph for a short speech
21	Chapter 2: "English in Elementary Schools", questions, vocabulary, discuss IL plan #3	Oral practice, vocabulary learning, exercises	Read pp.7-12, check new vocabulary, write IL plan #3
22	Chapter 2: continue, grammar, vocabulary quiz #3	Practice public speaking in the form of speech	Write a paragraph for a short speech
23	E.E. Units 3-4: "Presentation" and "Visuals", learn about how to give an effective presentation	Work on presentation script and outline	Read *E.E.* pp. 26-40 and review Units 5, 6, and 7
24	Prepare final presentation	Work on presentation script and outline	Write an outline, review *E.E.* Units 2, 3, 4, 5, and 7
25	Final presentation	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Presentation, write IL reflection #3
26	Final presentation, reflections on IL plan #3	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare and practice for the presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Comprehension check quiz of the textbook and do the partial review, revisit the course theme	Give a quiz and check the answers, discussion	Review, prepare for the quiz, write IL final reflection
28	Go over the quiz results, course review	Check the answers, give a lecture, discussion	Go over the questions in the quiz, IL plans and reflections

テキスト	① Kamiya, M and Gould, T. *On Topic: An Integrated Approach to Better Communication* (KINSEIDO). ② ロバート ヒルキ・白石裕子・ヒロ前田・白野伊津夫・ポール ワーデン『新 TOEIC テスト スーパー英単語―5 人のエキスパートが選んだ 3000 語』（アルク）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook (E.E.)*

科目名	ENG102:　英語II（5）					担当教員	M. Tasseron
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	１年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should develop their knowledge and understanding of a number of different countries and cultures around the world. They should also be able to critically engage with different aspects of these cultures. This will involve class discussions in pairs and groups, as well as writing an essay. The course also aims to develop skills such as leadership, cooperation, problem solving, project management and independent learning.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (20%); Essay (35%); Independent learning (15%).
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Journals: 10 topics of 100 words each). *Testing and assessment*: One essay (500 words) *Independent learning*: Vocabulary notebook & weekly learning plans (Write 10 new or interesting words per week, write a paragraph about your study plans: 10 entries)
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, discuss course outline and objectives, On Board Chapter 1: Australia	Lecture, pair & group discussions	Preview textbooks and prepare vocabulary & learning notebook
2	On Board Chapter 2: Indonesia; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Write journal 1 and study plan 1 (J1) & (SP1)
3	On Board Chapter 2: Indonesia; Video & Listening; Submit J1 & SP1	Lecture, pair & group discussions	Plan journal 2 and study plan 2
4	On Board Chapter 3: Singapore; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Write journal 2 and study plan 2; vocabulary review
5	On Board Chapter 3: Singapore; Video & Listening; Submit J2 & SP2	Lecture, pair & group discussions	Plan journal 3 and study plan 3; vocabulary review
6	On Board Chapter 4: China; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Write journal 3 and study plan 3; vocabulary review
7	On Board Chapter 4: China; Video & Listening; submit J3 & SP3	Lecture, pair & group discussions	Vocabulary review
8	On Board Chapter 5: Argentina; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Plan journal 4 and study plan 4; vocabulary review

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	On Board Chapter 5: Argentina; Video & Listening; Essay planning	Lecture, pair & group discussions, writing	Start planning essay
10	On Board Chapter 6: Mexico; Reading skills, submit J4 & SP4	Lecture, pair & group discussions	Essay planning & vocabulary review
11	On Board Chapter 6: Mexico; Video & Listening	Lecture, pair & group discussions	Essay writing & vocabulary review
12	On Board Chapter 7: Germany; Reading, *English Essentials*: Paragraph writing	Lecture, pair & group discussions, writing	Plan journal 5 and study plan 5; vocabulary review
13	On Board Chapter 7: Germany; Video & Listening	Lecture, pair & group discussions	Vocabulary review
14	On Board Chapter 8: Finland; Reading skills, submit J5 & SP5	Lecture, pair & group discussions	Essay writing & vocabulary review
15	On Board Chapter 8: Finland; Video; *English essentials*: Essay writing	Lecture, pair & group discussions	Essay writing & vocabulary review
16	On Board Chapter 9: Poland; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Plan journal 6 and study plan 6
17	On Board Chapter 10: Spain; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Essay writing & vocabulary review
18	On Board Chapter 10: Spain; Video & Listening; submit J6 & SP6	Lecture, pair & group discussions	Essay writing & vocabulary review
19	On Board Chapter 11: Greece; Reading skills; *English essentials*: Essay writing	Lecture, pair & group discussions	Plan journal 7 and study plan 7; vocabulary review
20	On Board Chapter 11: Greece; Video & Listening; submit J7 & SP7	Lecture, pair & group discussions	Plan journal 8 and study plan 8
21	On Board Chapter 12: Kenya; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Essay writing & vocabulary review
22	On Board Chapter 12: Kenya; Video & Listening; submit J8 & SP8	Lecture, pair & group discussions	Essay writing & vocabulary review
23	On Board Chapter 13: Morocco; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Plan journal 9 and study plan 9
24	On Board Chapter 13: Morocco; Video & Listening	Lecture, pair & group discussions	Essay writing & vocabulary review
25	On Board Chapter 14: Lebanon; Reading skills, submit J9 & SP9	Lecture, pair & group discussions	Plan journal 10 and study plan 10 & vocabulary review
26	On Board Chapter 14: Lebanon; Video & Listening; submit essay	Lecture, pair & group discussions	Write journal 10 and study plan
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	On Board Chapter 15: Kuwait; Reading skills; submit J10 & SP10	Lecture, pair & group discussions	Textbook pp.88-89
28	Essay 2 feedback, semester summary	Lecture, pair & group discussions	Review course learning objectives

テキスト	Scott Berlin and Megumi Kobayashi. *On board for more world adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（6）					担当教員	小林　美文
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to ① understand the diversity of people and culture in the world, ② watch and comprehend the content of visual materials studied, ③ build up grammar and vocabulary skills, and ④ gain confidence in expressing their opinions clearly through writing and speaking.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance in classroom activities**: active involvement, effort to use English; **Homework (including paragraph & essay writing)**: accuracy of language and organization, use of reason, example, and/or evidence; **Speech & Presentation**: preparation, delivery, appropriate use of physical, visual, and story messages; **In-class tests (two times)**: accuracy of language, use of vocabulary, phrases, and expressions studied; **Independent learning**: completed before class, evidence of effort, use of effective visuals
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction; ice breaking	Lecture, pair work, discussion	Review syllabus after class Review Unit 1
2	Unit 1 The Sky Lodge: An Usual Hotel (Peru) Vocabulary ～ Discussion	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 1
3	Unit 1 The Sky Lodge: An Usual Hotel Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 2
4	Unit 2 Japanese High School (Japan) Vocabulary ～ Discussion	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 2
5	Unit 2 Japanese High School Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 3
6	Unit 3 Sloth Calendar (Costa Rica) Vocabulary ～ Discussion	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 3
7	Unit 3 Sloth Calendar Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 4

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4 Skate Brothers (USA) Vocabulary ～ Discussion	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 4
9	Unit 4 Skate Brothers Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Study for test Review Unit 5
10	In-Class Test ① (Units 1-4) ; Unit 5 Snack Ideas (USA) Vocabulary ～ Discussion	Test, pair work, discussion	Review Unit 5
11	Unit 5 Snack Ideas Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 6
12	Unit 6 Volcano Adventure (Vanuatu) Vocabulary ～ Discussion	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 6
13	Unit 6 Volcano Adventure Reading ～ Writing Unit 7 Crazy Rides (USA) V ～D	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 7
14	Unit 7 Crazy Rides Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Read *English Essentials*, Unit 2
15	Review: Units 5-7; How to deliver a speech effectively; Return test and go over results	Lecture, pair work, discussion	Submit speech script
16	Speech; Self-evaluation Unit 8 The Climate Heroes (USA) V ～ D	Speeches, pair work, discussion	Review Unit 8
17	Unit 8 The Climate Heroes Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 8
18	Unit 9 A Different Kind of Journey (Mongol) Vocabulary ～ Discussion	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 9
19	Unit 9 A Different Kind of Journey R～W Unit 10 Chris, the Comic Book Writer V～D	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 10
20	Unit 10 Chris, the Comic Book Writer (USA) Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 11
21	Unit 11 Sharing Life with 1,000 cats (USA)	Lecture, pair work, discussion	Study for test
22	In-Class Test ② (Units 8-11); Unit 12 Living in 1927 (UK) Vocabulary ～ Discussion	Test, pair work, discussion	Review Unit 12
23	Unit 12 Living in 1927 Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Read *English Essentials*, Units 3 & 4
24	How to create effective visuals Return test and go over results	Lecture, pair work, discussion	Submit presentation script & PowerPoint; Review Unit 13
25	Presentation; Self-evaluation; Unit 13 Our Clothes (Ghana) Vocabulary ～ Discussion	Presentations, pair work, discussion	Review Unit 13
26	Unit 13 Our Clothes Reading ～ Writing; Unit 14 Food, Growing Cities (USA) V ～ D	Lecture, pair work, discussion	Review Units 13 & 14
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 14 Food, Growing Cities Reading ～ Writing	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 14 Complete all the assignments
28	Course review, Discussion on what we have learned over the semester	Lecture, pair work, discussion	Rewatch all the videos studied

テキスト	*Expanding Horizons: Critical Thinking through Authentic Video CEFR A1-A2* (Nan'un-do).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（7）					担当教員	K. Shimizu
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to: (1) write logical sentences on social topics; (2) demonstrate respect for the opinions of others and participate effectively in controversial discussions; (3) clearly express key points in presentations; (4) use extensive and appropriate vocabulary to explain the characteristics of things and ideas; (5) express opinions on complex topics, such as gender issues and multicultural coexistence; and (6) discuss objective data, such as graphs and charts.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance 30% (discussions, group work, & writing); Homework 30% (thorough assignment completion, & timely submission); Testing and assessment 25%: in-class tests 10% (listening and dictation, grammar tests) & final presentation 15% (The final presentations will be evaluated for organization, proof of research, and for quality of delivery (i.e. eye contact, a clear voice, and appropriate gestures.); Independent Learning (Demonstrate ability to do out-of-classroom research and summarize findings in writing) 15%
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction and Course overview	Course introduction, icebreaker, discussion	Read the syllabus, English Essentials (**EE**) pp. 6-9
2	*Chapter 2: Philippines*	Lecture, vocabulary & reading, DVD, pair / group work	Study vocabulary on pp. 8&9, be ready to read and discuss
3	*Chapter 2: Philippines* Paragraph Writing Review	Lecture, Watch DVD, pair / group work, writing	Review pp. 7-9; Review **EE** pp. 51-60
4	**Vocabulary Test** *Chapter 3: Thailand*	Test, lecture, vocabulary & reading, DVD, pair / group work	Review vocabulary for test, Vocabulary on pp. 14&15
5	*Chapter 3: Thailand* Lesson on Presentations	Return test and go over results, Lecture, DVD, pair / group work	Review pp. 13-15; Review **EE** pp. 26-39; Choose topic
6	**Vocabulary Test &** **Short Presentations on Asia**	Vocabulary Test, Presentations	Review vocabulary, Prepare presentation & paragraph
7	*Chapter 8: Denmark*	Return test and go over results, Lecture, DVD, pair / group work	Study vocabulary on pp. 44&45

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	*Chapter 8: Denmark* Writing Lesson	Lecture, Watch DVD, pair / group work, writing	Review pp. 43-45; Review **EE** pp. 51-60
9	**Vocabulary Test** *Chapter 9: Portugal*	Test, lecture, vocabulary & reading, DVD, pair / group work	Review vocabulary for test, Vocabulary on pp. 50&51
10	*Chapter 9: Portugal* More Writing Practice	Return test and go over results, Lecture, DVD, pair / group work	Review pp. 49-51; Review **EE** pp. 51-60
11	**Vocabulary Test** *Chapter 10: Turkey*	Test, lecture, vocabulary & reading, DVD, pair / group work	Review vocabulary for test, Vocabulary on pp. 56&57
12	*Chapter 10: Turkey* Speech Review Lesson	Return test and go over results, Lecture, DVD, pair / group work	Review pp. 49-51; Review **EE** pp. 19-25
13	**Vocabulary Test &** **Speech & Writing Preparation**	Vocabulary Test, lecture, prepare for speech and writing	Review vocabulary for test, Choose topic & brainstorm
14	**Speech Day**	Speeches, feedback, and reflections	Prepare for speech, complete and submit writing.
15	*Chapter 11: Egypt*	Return test and go over results, Lecture, DVD, pair / group work	Study vocabulary on pp. 62&63
16	*Chapter 11: Egypt* Essay Review Lesson	Lecture, vocabulary & reading, DVD, pair / group work, writing	Review pp. 61-63; Review **EE** pp. 61-70
17	**Vocabulary Test** *Chapter 12: South Africa*	Test, lecture, vocabulary & reading, DVD, pair / group work	Review vocabulary for test, Vocabulary on pp. 68&69
18	*Chapter 12: South Africa* Essay Review Lesson	Return test and go over results, Lecture, DVD, pair / group work	Review pp. 67-69; Review **EE** pp. 61-70
19	**Vocabulary Test** Presentation Preparation	Vocabulary Test, lecture, preparation	Review vocabulary for test, prepare ideas for presentation
20	**Presentations** Final Paper Lesson	Return test and go over results, Presentations, lecture, writing	Prepare presentation & final paper, Review **EE** pp. 61-70
21	*Chapter 13: Brazil*	Lecture, vocabulary & reading, Watch DVD, pair / group work	Study vocabulary on pp. 74&75
22	*Chapter 13: Brazil* Lesson on citation and plagiarism	Lecture, vocabulary study, Watch DVD, pair / group work	Review pp. 73-75; Review **EE** pp. 84-87
23	**Vocabulary Test** *Chapter 15: Guatemala*	Test, lecture, vocabulary & reading, DVD, pair / group work	Review vocabulary for test, Vocabulary on pp. 86&87
24	*Chapter 15: Guatemala* Lesson on citation and plagiarism	Return test and go over results, Lecture, DVD, pair / group work	Review pp. 85-87; Review **EE** pp. 84-87
25	**Vocabulary Test** Presentation and Final Paper Preparation	Test, pair / group discussion, presentation & final paper prep	Review vocabulary, prepare presentation & final paper
26	**Final Presentation and Final Paper Preparation Day**	Return test and go over results, Presentation, discussion	Prepare for presentation, work on final paper
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	**Final Presentation** **Final Paper Deadline**	Presentation, discussion	Prepare for presentation, complete & submit final paper
28	**Remaining Presentations (if any), Reflections, discussion, and feedback**	Presentation, discussion, reflection	No assignment

テキスト	Scott Berlin & Megumi Kobayashi. *World Adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（8）					担当教員	P. McQuilling
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.
評価方法	**Participation and performance** in classroom activities, including discussions, short speeches and presentations (30%); **Homework** assignments (30%); **Testing and assessment** (25%) including a final report(15%) and final presentation (10%); **Independent learning** (15%).
評価基準	**Participation and performance:** positive and active participation in class activities, discussions will be evaluated for content and contribution, speeches and presentations will be evaluated for content and delivery; **Homework:** completed thoroughly and submitted on time; **Testing and assessment:** final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); **Independent Learning:** background research completed thoroughly before each report,discussion or presentation.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation. Course Introduction. Learner profiles.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profile.
2	Chapter 1. India – history, culture, landmarks.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research a wonder of Japan.
3	The Seven Wonders of the World.	Pair work, group work, discussion.	Research the Seven Wonders of the World.
4	Chapter 3. Thailand – history, festivals, tourism.	Video, comprehension, pair work, group work.	Study World Adventures (W.A.) Chap.1 & 3 (pp.2-3; 14-15).
5	Chapters 1 and 3 test, Chapter 4. Vietnam – history, food.	Test, video, Q and A, pair work, group work.	Research an international dish.
6	Test return and feedback, World food.	Brainstorming, clustering, outlining.	Prepare short speech on international food.
7	Chapter 5. Korea – history, religion, culture.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review W.A. Chap. 4 and 5 for test (pp.20-21; 26-27).
8	Chapters 4 and 5 test, Korean popular culture.	Test, pair work, group work, discussion.	Research Korean culture.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Test return and feedback, Autumn Festivals.	Listening, pair work, group work, discussion.	Write a short report on an international festival.
10	Chapter 6. France – history, culture, fashion.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research an international designer.
11	The Fashion World: history and heritage.	Pair work, group work, discussion.	Research solutions to fast fashion.
12	Fast fashion: ideas for sustainability.	Pair work, group work, discussion.	Read W.A. pp.37-38.
13	Chapter 7. Italy – culture, landmarks, art.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 6 & 7 for test (pp.32-33; 38-39).
14	Chapters 6 and 7 test, World Art presentations preparation.	Test, structuring, using visuals.	Read Eng. Essentials pp.31-39. Practice Presentation.
15	Test return and feedback, World Art presentations.	Presentations, Q and A.	Complete presentation self-evaluation.
16	Chapter 8. Denmark – history and folk tales.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research international folklore.
17	World folk tales and folklore.	Reading, sequencing, summarizing.	Read Eng.Essentials pp.61-62.
18	Chapter 11. Egypt – ancient history, landmarks.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap 8 & 11 for test (pp.44-45; 62-63).
19	Chapters 8 and 11 test, UNESCO discussion preparation.	Test, listening, pair work, discussion.	Research a candidate site for UNESCO world heritage status.
20	Test return and feedback, UNESCO World Heritage Sites discussions.	Group discussion, summarizing, writing.	Write a report based on the group discussion.
21	Chapter 13. Brazil – geography, festivals.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 12 & 13 for test (pp.68-69; 74-75).
22	Chapters 12 and 13 test, World festivals.	Test, listening, pair work, discussion.	Research international winter festivals.
23	Test return and feedback, Winter festivals.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review the lesson.
24	Review of units and topics covered in the course.	Listening, pair work, group work.	Write first draft of final report. Read Eng. Essentials pp.46-50.
25	Final report preparation.	Drafting, revising, proofreading.	Submit research and outline of the final report.
26	Final presentation preparation.	Presentation practice, peer evaluations.	Finalize and practice presentations.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Final report and presentation feedback and course reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.

テキスト	Scott Berlin, Megumi Kobayashi. *World Adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（9）					担当教員	G. Freddes
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	１年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to; demonstrate awareness of social and cultural issues related to a range of different topics, use a variety of appropriate vocabulary and grammatical forms accurately, critically evaluate issues and demonstrate respect for the opinions and ideas of others, effectively express their ideas and understanding through communicative tasks, write a cohesive text on a given issue, plan and carry out Independent Learning (IL) activities.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance 30% (Active participation in class activities, including discussions, group work, writing tasks and oral presentations). Homework 30% (Completion and submission of online unit quizzes assessing vocabulary, grammar and listening skills by due date). Testing and Assessment 25%: Score of vocabulary quizzes, oral communication tasks & writing tasks (expressing ideas, giving opinions, understanding issues, communication skills, correct language use) Independent learning 15%: Submission of three (IL) Reports and Journal
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, Self-introduction, Independent Learning (IL) plans & Journal keeping	Course & text book intro Pair work, discussion	Read syllabus, English Essentials pp.6-9; (IL) Plan
2	Unit 1. People: Listening & Speaking	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.2-9 Listening practice (Dictation)
3	Unit 1. People: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.10-13 Study for Vocabulary quiz 1
4	Unit 2. A Day in the Life: Listening & Speaking Vocabulary quiz 1	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.16-23, Read English Essentials pp.26-30
5	Unit 2. A Day in the Life: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.24-27 Preparation for short speech
6	Short Speech 1	Short speech, peer-feedback	Preparation for short speech Study for Vocabulary quiz 2
7	Unit 3. Going Places: Listening & Speaking Vocabulary quiz 2	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.30-37 Listening practice (Dictation)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 3. Going Places: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.38-41, (IL) Report 1, Study for Vocabulary quiz 3
9	Unit 4. Food: Listening & Speaking Vocabulary quiz 3	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.44-51 Listening practice (Dictation)
10	Unit 4. Food: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.52-55
11	International food and recipes Assignment 1: Short essay writing	Video viewing, listening Group work	Internet research Study for Vocabulary quiz 4
12	Unit 5. Sports: Listening & Speaking Vocabulary quiz 4	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.58-65 Listening practice (Dictation)
13	Unit 5. Sports: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.66-69 Study for Vocabulary quiz 5
14	Unit 6. Destinations: Listening & Speaking Vocabulary quiz 5	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.72-79 Listening practice (Dictation)
15	Unit 6. Destinations: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.80-83 (IL) Report 2
16	Short speech 2	Short speech, peer-feedback	Preparation for short speech Study for Vocabulary quiz 6
17	Unit 7. Communication: Listening & Speaking Vocabulary quiz 6	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.86-93 Listening practice (Dictation)
18	Unit 7. Communication: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.93-97
19	Culture in different countries Assignment 2: Poster making	Lecture, video viewing, pair & group work	Internet research, poster making Study for Vocabulary quiz 7
20	Unit 8. Making Plans: Listening & Speaking Vocabulary quiz 7	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.100-107 Listening practice (Dictation)
21	Unit 8. Making Plans: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.108-111 Study for Vocabulary quiz 8
22	Unit 9. Types of Clothing: Listening & Speaking Vocabulary quiz 8	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.114-121 Listening practice (Dictation)
23	Unit 9. Types of Clothing: Reading & Writing	Lecture, group work, Reading & writing	Review pp.122-125
24	Preparation of presentation, script writing	Script writing	Script writing, Preparation for Presentation
25	Presentation: Day 1	Presentation, listening, Peer feedback	Preparation for Presentation
26	Presentation: Day 2	Presentation, listening, Peer feedback	Preparation for Presentation Submit (IL) Report 3 & Journal
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 12. Decisions: Listening & Speaking	Lecture, group work, Listening exercise	Review pp.128-135
28	Course review; Course Self-Evaluation	Lecture, Discussion	Submit Course Self-Evaluation Submit any late homework.

テキスト	John Hughes, Martin Milner. *World English 1 Third edition* (National Geographic Learning).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（10）					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary related to “understanding and respecting others;” express themselves in English in various warm-up activities related to culture; produce organized pieces of English writing under time restraints; increase their reading speed by doing extensive reading in the classroom and independently; create and carry out individual study plans for independent learning in English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Assessment including essays and final presentation (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance in classroom activities**: active participation in warm-ups about culture that occur at the beginning of each class session and in the rest of the class session including being prepared for in-class reading. **Homework assignements**: writing assignements are complete and submitted on time (20%) and completion of extensive reading tasks (10%, of which reading 100,000+ words = 10%, 90,000 words =9%, 80,000 words= 8% and so on). **Assessment**: essays and presentations on “crossing cultures” that are organized, include well chosen details and supporting points, and are submited on time. **Independent learning** (IL): reports are complete and submitted on time; e-mails about independent learning use proper formal e-mail language.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course.	ice-breaker, lecture, pair work	Make an independent learning plan and send a formal email.
2	History of a Food, Article of Clothing, or Name *Smart Writing* (*SW*) 1: What is a paragraph?	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
3	Narrative Writing (*SW* Chapter 2)	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
4	How to Celebrate	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
5	Process Writing (*SW* Chapter 3)	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
6	Surprising Art and Literature (*SW* Chapter 4)	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Writing to Describe Feelings	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
8	Interesting People around the World (*SW* Chapter 5) Writing to Describe People	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
9	Introduction to Crossing Cultures Essay 1; Independent Learning Report sharing	warm-up, pair work, writing	Write October IL report and e-mail.
10	Pilgrimage Sites around the World	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
11	Writing to Describe Places and Locations (*SW* Chapter 6)	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
12	Rituals and Customs; Crossing Cultures Essay 1	warm-up, reading, whole group, group work	Do extensive reading. Submit Essay 1.
13	Definitions Writing (*SW* Chapter 7)	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
14	Humor and Folktales around the World	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
15	Writing to Compare and Contrast (*SW* Chapter 8)	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
16	Migration and Colonialism	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
17	Introduction to Crossing Cultures Essay 2; Independent Learning Report sharing	warm-up, group work, whole group	Write November IL report and e-mail.
18	Cause and Effect Writing (*SW* Chapter 9)	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
19	Cultural, Ethnic, and National Identity	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
20	Problem and Solution Writing (*SW* Chapter 10) Crossing Cultures Essay 2	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading. Submit Essay 2.
21	Communication and Mass Media	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
22	Writing to Agree (*SW* Chapter 11)	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
23	Daily Life and Global Impact	warm-up, reading, group work	Do extensive reading.
24	Writing to Disagree (*SW* Chapter 12) Introduction to Crossing Cultures Presentation	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
25	Media and Interpretation of Data; Independent Learning Report sharing	warm-up, reading, group work	Write December-Jan. IL report and e-mail.
26	Data Analysis (*SW* Chapter 13)	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Crossing Cultures Presentations	presentations	Prepare presentations.
28	Crossing Cultures Presentations (if needed); Independent Learning Presentation	presentations	Prepare presentations.

テキスト	① M. Nakaya, M. Yoshihara, and R. Fallon. *Smart Writing* (Seibido). ② XReading.com 6-month student subscription.
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語II（11）					担当教員	O. Ilina
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various topics related to the theme “Understanding and respecting others”, use problem/solution thinking when expressing their views on these issues; write emails, CVs and cover letters; express their ideas in a short, well-organized presentation with a good delivery; utilize problem/solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches. Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem/solution thinking; producing e-mails, CVs, and cover letters in proper form. Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem/solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course / Living and working away from home (textbook Unit 1)	Explanation by instructor, pair-work	Review Unit 1 textbook content
2	World travel (textbook Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	World travel (supplementary materials), Independent learning (IL) guidelines	Pair-work, small group discussion, writing	Review Unit 2 supplementary materials
4	Telling stories (textbook Unit 3) (Recap of Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Telling stories (supplementary materials), discuss IL Study plan #1	Pair-work, small group discussion	Review Unit 3
6	Truth, secrets, and lies (textbook Unit 4); Recap of Unit 3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Short speech #1: speech / presentation organization	Speeches, lecture	Prepare speech
8	Truth, secrets, and lies (supplementary materials); explanation of short speech #2	Pair-work, small group discussion, writing	Review Unit 4
9	Looking ahead, talking about the future (textbook Unit 5); Recap of Unit 4; discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Write IL Reflection Sheet #1
10	Looking ahead, talking about the future (supp. materials); Discuss IL study plan #2	Pair-work, small group discussion, writing	Write IL study Plan #2
11	Success in business (textbook Unit 6); Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Success in business (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 6
13	Short speech #2	Speeches	Prepare speech
14	Vocab. test #1; recap of Unit 6; explan. of short speech #3; Relationships between people (Unit 7)	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
15	Relationships between people (sup. materials); Discuss IL progress	Pair-work, small group discussion	Write IL Reflection Sheet #2
16	Extreme experiences (textbook Unit 8); Recap of Unit 7; discuss study plan #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	Extreme experiences (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, writing	Review Unit 8
18	Looking back at the past (textbook Unit 9); recap of Unit 8; return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
19	Looking back at the past	Pair-work, small group discussion	Review Unit 9
20	Solving mysteries (textbook Unit 10); recap of Unit 9; explanation of final presentation	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; Discuss IL progress	Speeches, small group discussion	Prepare speech; Write IL Reflection Sheet #3
22	Solving mysteries (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	Pair-work, small group discussion	Write IL Study Plan #4
23	Regrets, wishes, and dreams (textbook Unit 11); recap of Unit 10	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
24	Regrets, wishes, and dreams (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 11
25	Vocabulary test #2, Time flies (textbook Unit 12); recap of Unit 11	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, small group discussion	Write IL Reflection Sheet #4; Submit IL Journal
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentation

テキスト	Lis and John Soars, Amanda Maris. *New Headway Upper-Intermediate* 4th edition (Oxford).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語III（1）					担当教員	N. Cook
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to meaningfully express their ideas both verbally and in writing. When making presentations, students will know how to focus on physical delivery (through effective posture, gestures, and use of visual aids) as well as vocal delivery. With regard to writing, students will be able to organize their message logically and coherently. Furthermore, students will have amply participated in group discussions of social issues in Japan and will have shared performance feedback with their peers. These skills and experiences will help students excel in future college courses and in workplace communication.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment: presentations and a final essay (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Classroom activities (30%): Group discussions, short presentations, and peer feedback Homework assignments (30%): Writing practice assignments Testing and assessment (25%): 2 presentations and 1 final essay Independent learning (15%): Lexical notebooks and self-evaluation surveys after performances
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions; Class Rules; Think Smart Unit 1: Study Abroad (Reading)	Lecture, pair work, group discussions	Preview textbooks; Read & do p.2-Reading Comprehension
2	Think Smart Unit 1 (Listening & Discussion); Speech Practice I: Self-intro	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.5-6; Prepare 30-60 second self-intro
3	Think Smart Unit 2 Nuclear Power (Reading); Speech Practice II: Countries (physical delivery)	Lecture, pair work, group discussions	Prepare easy 1-minute speech; Read & do p.8-Reading Comp
4	Think Smart Unit 2 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.11-12
5	Think Smart Unit 3 Immigration (Reading); Speech Practice III: Hobbies (using visuals)	Lecture, pair work, group discussions	Prepare 2-min speech w/visuals; Read & do p.14-Reading Comp
6	Think Smart Unit 3 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.17-18
7	Think Smart Unit 4: Social Safety Net (Reading); Speech Practice IV: Explaining Charts	Lecture, pair work, group discussions	Prepare easy 1.5-minute speech; Read & do p.20-Reading Comp
8	Think Smart Unit 4 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.23-24; Prepare survey questions

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Think Smart Unit 5: Global Warming (Reading); Conducting Surveys & Making Charts	Lecture, pair work, group discussions	Prepare survey questions; Read & do p.26-Reading Comp
10	Think Smart Unit 5 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Prepare charts/graphs Read & do pp.29-30
11	T.S. Unit 6: Women in the Workplace (Reading); Speech Practice V: Surveys & Charts	Lecture, pair work, group discussions	Prepare 2-min speech w/visuals; Read & do p.32-Reading Comp
12	Think Smart Unit 6 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.35-36
13	T.S. Unit7: School on Saturdays (Reading); Midterm Presentations	Pair/group work, Midterm presentation	Presentation (13 students); Read & do p.38-Reading Comp
14	Think Smart Unit 7 (Listening & Discussion) Midterm Presentations	Pair/group work, Midterm presentation	Presentation (12 students); Read & do pp.8-41-42
15	T.S. Unit 9: Etiquette in Digital Age (Reading); Writing I: Brainstorming & Outlines	Lecture, pair work, group discussions	Read & do p.50-Reading Comp
16	Think Smart Unit 9 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.53-54; Brainstorm/Outline HW
17	T.S. Unit 10: Merit-Based Pay (Reading); Writing II: Paragraphs	Lecture, pair work, group discussions	Read & do p.56-Reading Comp; Prepare writing assignment
18	Think Smart Unit 10 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.59-60; Paragraph writing HW #1
19	T.S. Unit 11American Military Bases (Reading); Writing III: Intro-Body-Conclusion	Lecture, pair work, group discussions	Read & do p.62-Reading Comp Paragraph writing HW #2
20	Think Smart Unit 11 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.65-66; Writing assignment
21	T.S. Unit 12: Taxes (Reading): Research & Critical Thinking	Lecture, pair work, group discussions	Read & do p.68-Reading Comp
22	Think Smart Unit 12 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.71-72
23	T.S. Unit13: Together Before Marriage (Reading); Research & Critical Thinking	Lecture, pair work, group discussions	Read & do p.74-Reading Comp
24	Think Smart Unit 13 (Listening & Discussion)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.77-78
25	T.S. Unit 14: Animal Rights (Reading); Final Presentations + Submit Final Essay	Presentations in groups	Finish essay; talk about your essay in groups; do p.80-R.C.
26	Think Smart Unit 14 (Listening & Discussion) Final Presentations	Presentations in groups; group discussions	Read & do pp.83-84
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Course review activities and feedback	Pair/group work, discussion	Review Think Smart tasks and materials
28	Review activities and feedback	Pair/group work, discussion	Review speech, presentation, & writing performances/materials

テキスト	Michael Hood. *Think Smart* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Handouts based on David Harrington & Charles Le Beau. *Speaking of Speech: Basic Presentation Skills for Beginners* (MacMillan). (Provided by teacher)

科目名	ENG201:　英語III（2）					担当教員	M. Tasseron
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should be able to discuss and write about a number of social issues facing Japanese society and the wider world. By reading, studying vocabulary and acquiring knowledge about these issues, students will be able to engage critically with them. This will involve class discussions in pairs and groups, as well as essay writing. The course also aims to develop skills such as leadership, cooperation, problem solving, project management and independent learning. These are important skills for succeeding at college as well as in future work settings.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (20%); Essay (35%); Independent learning (15%).
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Textbook activities). *Testing and assessment*: One essay (500 words) *Independent learning*: Vocabulary notebook & weekly learning plans (Write 10 new or interesting words per week, write a paragraph about your study plans: 10 entries)
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, discuss course outline and objectives, Unit 1: Study abroad	Lecture, pair & group discussions	Preview textbook and prepare vocabulary & learning notebook
2	Unit 2: Nuclear power, Critical thinking skills (CTS): Facts and opinions, Reading skills	Lecture, pair & group discussions, reading	Textbook pp.12-13, write study plan 1, vocabulary review
3	Unit 3: Immigration, CTS: Beliefs or Prejudice? Submit study plan 1	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.18, vocabulary review
4	Unit 3: Immigration; Reading skills	Lecture, pair & group discussions, reading	Textbook p.19, write study plan 2, vocabulary review
5	Unit 4: The social safety net, CTS: Supporting positions; Submit study plan 2	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.24, vocabulary review
6	Unit 4: The social safety net, Reading skills	Lecture, pair & group discussions, reading	Textbook p.25, write study plan 3
7	Unit 5: Global warming, CTS: Criteria for evaluation; Submit study plan 3	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.30, vocabulary review

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 5: Global warming; Reading skills	Lecture, pair & group discussions, reading	Textbook p.31, vocabulary review
9	Unit 6: Women in the workplace, CTS: Relevant facts	Lecture, pair & group discussions, writing	Textbook p.36, vocabulary review
10	Unit 6: Women in the workplace; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.37, vocabulary review, write study plan 4
11	Unit 7: School on Saturdays, CTS: Critiquing arguments; Submit study plan 4	Lecture, pair & group discussions	Reading comprehension: Textbook pp.40-41
12	Unit 8: Food labeling, CTS: Generalizations & assumptions	Lecture, pair & group discussions, writing	Textbook p.48, vocabulary review
13	Unit 8: Food labeling; Reading skills	Lecture, pair & group discussions, writing	Textbook p.49, vocabulary review, write study plan 5
14	Unit 9: Etiquette in the digital age, CTS: Analogies; Submit study plan 5	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.54, vocabulary review
15	Unit 9: Etiquette in the digital age; *English essentials*: Essay writing	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.55, vocabulary review, essay planning
16	Unit 10: Merit-based pay, CTS: Drawing inferences	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.60, vocabulary review
17	Unit 10: Merit-based pay; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.61, vocabulary review, write study plan 6
18	Unit 11: American military bases in Japan, CTS: Logical fallacies, submit study plan 6	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.66, vocabulary review
19	Unit 11: American military bases in Japan Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.67, vocabulary review
20	Unit 12: Taxes, CTS: The slippery slope; *English essentials*: Essay writing	Lecture, pair & group discussions, writing	Textbook p.72, vocabulary review, essay planning
21	Unit 12: Taxes; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.73, vocabulary review, write study plan 7
22	Unit 13: Living together before marriage, CTS: Ad Hominem; submit study plan 7	Lecture, pair & group discussions, reading	Textbook p.78, vocabulary review
23	Unit 13: Living together before marriage; *English essentials*: Essay writing	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.79, vocabulary review, write study plan 8
24	Unit 14: Animal rights, CTS: The straw man; Submit study plan 8; Essay checklist	Lecture, pair & group discussions, reading	Textbook p.84, vocabulary review
25	Unit 14: Animal rights; Reading skills review	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.85, vocabulary review, write study plan 9
26	Unit 15: Hosting the Olympics, CTS: The red herring; Submit study plan 9	Lecture, pair & group discussions, reading	Textbook p.90, vocabulary review, finalize essay
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 15: Hosting the Olympics; Reading skills review; Submit essay	Lecture, pair & group discussions, reading	Textbook p.91, vocabulary review
28	Course review; Submit study plan 10	Lecture, pair & group discussions	Review reading skills and vocabulary from semester

テキスト	Michael Hood. *Think Smart* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語III（3）					担当教員	A. Garin
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should acquire words and phrases to help them express their opinions on social issues in Japan; explore, develop, and organize their ideas, write them in paragraphs and essays, and verbally express them in class discussions; show a degree of initiative and autonomy in their English self-study outside of class.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	*Participation and performance*: active engagement in individual tasks, pair work, small group work and class discussions; *Homework*: assignments must be complete, show quality and effort, and be submitted on time; *Testing and assessment*: two in-class lexical quizzes on words and phrases in textbook units, one take-home extended essay (content and argument, organization and cohesion, lexical and grammatical range and accuracy, register); *Independent learning:* weekly updating and reviewing lexical notebooks, performance in critical discussions (ability to distinguish fact from opinion, critical stance), completing critical reflections.						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, class guidelines, lexical notebooks, online collocation dictionaries	Lecture, individual, pair, group tasks	Read syllabus, Think Smart preface, start lexical notebook
2	English Essentials Unit 1 Conversation	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, record a conversation
3	Think Smart Unit 1 Study Abroad	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 1
4	English Essentials Unit 2 Speech	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, prepare a short speech
5	Give a short speech in groups, Think Smart Unit 2 Nuclear Power	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 2
6	English Essentials Unit 3 Presentation	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, prepare for lexical quiz 1
7	Lexical quiz 1, Think Smart Unit 3 Immigration	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Quiz 1 feedback, English Essentials Unit 4 Visuals	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, prepare a short presentation
9	Practice presentations in small groups, Think Smart Unit 5 Global Warming	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 5
10	English Essentials Unit 5 The Writing Process	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, write essay outline on a culture topic
11	Share essay outlines in small groups, Think Smart Unit 6 Women in the Workplace	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 6
12	English Essentials Unit 6 Paragraph Writing	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, write original essay paragraph
13	Think Smart Unit 9 Etiquette in the Digital Age	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 9
14	English Essentials Unit 7 Essay Writing (thesis statement, essay introduction)	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, write original essay introduction
15	Think Smart Unit 10 Merit-based Pay	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 10
16	English Essentials Unit 7 Essay Writing (essay conclusion)	Lecture, individual, pair, group tasks	Prepare for lexical quiz 2, write original essay conclusion
17	Lexical quiz 2, Think Smart Unit 11 American Military Bases in Japan	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 11
18	Quiz 2 feedback, English Essentials Unit 8 Research	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, start researching essay topic
19	Think Smart Unit 13 Living Together Before Marriage	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 13, continue researching essay topic
20	Start working on draft 1 of extended essay	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue working on draft 1 of the extended essay
21	English Essentials Unit 9 Note-taking and Citations	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, continue extended essay
22	Think Smart Unit 14 Animal Rights	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 14, continue extended essay
23	English Essentials Unit 10 Plagiarism, extended essay class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, submit extended essay draft 1
24	Think Smart Unit 15 Hosting the Olympics, extended essay class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 15, continue extended essay
25	English Essentials Unit 11 Critical Thinking, extended essay class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, finish extended essay draft 2
26	Submit extended essay draft 2, Think Smart and English Essentials Review activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Review textbook content, continue lexical notebook
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Academic speaking and writing review activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Read English Essentials pp. 98-103
28	Extended essay feedback, course closure activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook

テキスト	Michael Hood. *Think Smart* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語III（4）					担当教員	G. Freddes
開講期	春	開講時限	火金 1			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore issues ranging from those that affect our lives today to those that will shape the future. Serious and challenging issues will be explored as well as some of the individuals and groups making positive contributions toward a better future. Students will conduct research in areas of personal interest and make three presentations						
達成目標（授業の目的）	With the aim of students becoming autonomous learners, emphasis will be placed on the development of presentation skills. Students will learn to conduct research, critically analyze information, formulate a reasoned point of view, and gain skills in clear expression.						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to make effective plans for independent learning; individually conduct research; separate facts from opinions; discuss the topic with others; write an essay including facts and a personal point of view; create and deliver a five to seven-minute PowerPoint presentation that includes an effective story message, visual message, and physical message. By making three presentations, students will build the confidence to speak-out in public forums.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	Participation and performance (active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A); Homework (effort in thoroughly completing assignments & timely submission); Assessment: Two Essays 5% each (including facts and a personal point of view; and follow guidelines in English Essentials); and three presentations 5% each (depth and quality of research, separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, follow guidelines in English Essentials); Independent Learning 15% (submission of three IL Plans - Progress Reports, journal, and a presentation)						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Japanese social issues Mingle / Network	Meeting and greeting, discuss social issues	Write two paragraphs; Read British News text pp. 1-3, DVD
2	An Award for an Unsung Hero: Sports, health, physical fitness and mental well-being	Networking, form groups, discussion	Read English Essentials (E.E.) pp. 40-45, begin research
3	The Writing Process	Brainstorming, clustering, Outlining	Outline; News text pp. 7-9 DVD Independent Learning (IL) plan
4	Treasures of the Society of Antiquaries: The importance of preserving history and traditions	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. pp. 46-50; Continue research
5	Outlining and revising an essay: organization and content	Reading, revising an essay outline	Complete outline; Read B.N.U. text pp. 13-15 and watch DVD
6	Changing Careers in the Pandemic: Covid-19's impact on the job market and other social sectors	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. text pp. 61-64; write a paragraph
7	Essay writing: thesis statement, E.E. text pp. 19-23 Speech	Oral presentation, listening, discussion	B.N.U. text pp. 19-21 and watch the DVD; First draft of essay
8	The Climate Change Threat to Heritage Sites: Global warming and measures we must take now	Oral presentation, listening, discussion	Submit First Draft of Essay; E.E. text pp. 19-30 (skim)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	E.E. text Speech; Visuals: Making them outstanding and effective	Oral presentation, listening, discussion	B.N.U. text pp. 19-21 and watch the DVD; First draft of essay
10	Plastic Peas: Plastic waste problems and new technological developments	Vocabulary, listening, discussion, group work	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1. Women with Others: A Japanese Social Issue of Personal Interest	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; B.N.U. text pp. 31-33
13	Return of the Red Kites: Endangered species and efforts toward solutions	Listening, discussion, form new groups	B.N.U. text pp. 37-39 and watch the DVD
14	All Cars to Be Electric: Technological innovations and government support	Listening, discussion, topics for Presentation 2	B.N.U. text pp. 43-45 and watch the DVD
15	Mend More and Buy Less: London Repair Shops: DIY, Mottainai and The 3 R's	Vocabulary, listening, discussion, group work	Outline Presentation #2; B.N.U. text pp. 49-51 and DVD
16	Swimming to Cure Dementia: Scientific research and aging population issues	Vocabulary, listening, discussion, group work	(IL Report); Prepare 10 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, check your timing
18	Presentation #2 Women for Others: A Positive Contribution Toward Solving a Social Issue	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; B.N.U. text pp. 55-57
19	A Special Pop-up Shop on Carnaby Street; Equal opportunity businesses, discrimination, BLM	Vocabulary, listening, discussion, group work	Begin Outline of your Final Report; B.N.U. text pp. 61-63
20	School Laptops for All: Online learning, access to technology, escaping the poverty trap	Vocabulary, listening, discussion, group work	Complete Outline of your Final Report; B.N.U. text pp. 67-69
21	A New Nuclear Power Station: Future energy sources: weighing costs, benefits and risks	Vocabulary, listening, discussion, group work	B.N.U. text pp. 73-75 and watch the DVD
22	Meat Grown in the Laboratory: Food security, protecting the environment, animals and health	Vocabulary, listening, discussion, group work	(IL Report); First Draft of Final Report; B.N.U. text pp. 79-81
23	Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales: The Carbon Neutral Initiative in Hadano	Vocabulary, listening, discussion, group work	B.N.U. text pp. 85-87; Revise your Final Report
24	Brexit Problems at the Border: International trade, supply chains, just-in-time manufacturing	Vocabulary, listening, discussion, group work	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Women for Others, With Others: Independent Learning (Group 1)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report; Self-Evaluation Form and P.A.R;
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3. Women for Others, With Others: Independent Learning (Group 2)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit late homework, prepare for Interview
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	Knowles, Tanaka, Nakamura, Moue. *British News Update 4* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* Watch TEDTalks, NHK World News, BBC and CNN (all online)
その他 特記事項	Homework must be completed before class, used in class, and submitted at the end of class.

科目名	ENG201:　英語III（5）					担当教員	O. Massoud
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the semester students will be able to: (1) Participate in discussions about social issues in Japan (2) Write coherent, grammatically correct paragraphs (3) Make a presentation about social issues in Japan (4) Learn how to research on the targeted topic and write a final report in essay structure.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance in classroom activities**: vocabulary quizzes, and involvement in discussion. **Homework assignments**: preparatory topic focus quizzes and follow-up paragraph writing evaluated for coherence, grammar correctness, and grammar variety. **Final presentation**: volume, clarity, and incorporation of visuals. **Final report**: essay structure and sentence structures. Independent learning: incorporation of key phrases from text into a learner’s diary.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to Each Other; and How We Will Use the Text	Meeting and greeting, discuss social issues	Read *English Essentials* pp. 26-30
2	Unit 1: Making Waves with a Magical Instrument	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 1-3
3	TED Talk 1: Creative Thinking The Writing Processes	Listening, group discussion, writing	Read *English Essentials* pp. 31-39
4	Unit 2: Backstage Tour with Augmented Reality Stars AR	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 7-19
5	TED Talk 2: See Problems as Opportunities	Lecture, listening, writing, group discussion	Read *English Essentials* pp. 40-50
6	Unit 3: Drinking to Eat, Write a Paragraph (1)	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 13-15
7	Unit 4: Next Generation Mobility	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 19-21
8	TED Talk 3: How to Talk like a Native Speaker; Vocabulary Quiz	Quiz and comments, lecture, discussion	Read *English Essentials* pp. 51-60

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unit 5: Eco-friendly Fashion Statement	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 25-27
10	Unit 6: Building a Bridge to Share a Son's Dream, Write a Paragraph (2)	Vocabulary, listening, discussion, group work	Choosing topics for presentations
11	Unit 7: Taking Aim	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 37-39
12	How to Give Presentations: Presentation preparation	Lecture, discussion	Read *English Essentials* pp. 61-70
13	Unit 8: Boccia Boom Revitalizing Japanese Companies	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 43-45
14	Unit 9: Rising Profile; Write a Paragraph (3)	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read text pp. 49-51, prepare for presentations
15	Presentations 1: A social issue which will impact our future	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for presentation
16	Presentations 1: A social issue which will impact our future	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for presentation
17	Unit 10: All Blacks Cause City to Rethink Ink	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 55-57
18	Unit 11: Man-Made Threat to Japanese Deer	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 61-63
19	TED Talk 4: How to Gain Control of Your Free Time	Lecture, listening, writing, group discussion	Begin the outline of Final Report
20	Unit 12: Home Appliance Maker Leads Comeback, Write a paragraph (4)	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 67-69
21	Unit 13: Hospitals Breaking Down Language Barrier	Vocabulary, listening, discussion, group work	Complete the outline of Final Report
22	TED Talk 5: Be confident	Lecture, listening, writing, group discussion	Write the first draft of Final Report
23	Unit 14: A New View of Hokusai	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 79-81
24	TED Talk 6: How to Get Your Brain to Focus	Lecture, listening, writing, group discussion	Revise Final Report
25	Unit 15: Lighting Up the Nightlife, Write a paragraph (5)	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 4* text pp. 85-87
26	Prepare for Final Presentation	Writing and Q&A	Submit Final Report, prepare for the presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations on Social Issues in Japan	Oral presentation, Q&A, comments	Presentation
28	Final Presentations on Social Issues in Japan; Summarizing the course	Oral presentation, comments, discussion	Presentation feedback and review the course

テキスト	T. Yamazaki and S. M. Yamazaki. *NHK NEWSLINE 4* (Kinseido). Watch NHK News (Online), TED Talks (Online), BBC (Online)
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語III（6）					担当教員	R. Burton
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have expanded their vocabulary relevant to social issues, and gained considerable practice at incorporating that vocabulary into well-structured sentences, both written and spoken. The teacher’s presentations, video input and discussions will provide ample listening skills development. Paragraph writing practice should greatly improve cohesiveness, while the short presentations allow students to develop their confidence at speaking English, reinforcing their realization that comprehensive preparation greatly facilitates expression, especially with carefully planned use of key expressions. In this way students should also become more resourceful and skillful as autonomous learners of English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance in classroom activities: vocabulary quizzes, and discussion involvement. Homework assignments: preparatory topic focus quizzes and follow-up paragraph writing evaluated for coherence, grammar correctness, and grammar variety. Final presentation: volume, clarity, and incorporation of visuals. Final report: essay structure and sentence structures. Independent learning: incorporation of key phrases from text into a learner’s diary.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to each other and how we will use the text and on-line systems support	picture – caption match	read newspaper articles about disasters, and complete report
2	Unit 1 Manga Message for the Young- Japanese Manga Artist Succeeds in America	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a supplementary vocabulary task
3	Manga quiz with feedback and discussion	group discussion and paragraph writing	read a manga and then write about it as a diary entry
4	Manga quiz return and feedback Unit 2 Jumping for Victory- Team-Spirit Value	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a supplementary vocabulary task
5	Language-learning Quiz with feedback	group discussion and paragraph writing	read pp.9-12 and do exercises reviewing key expressions
6	Unit 3 Seeking Quality over Cost- If you have money are you happy to pay for refinement?	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	write summary & opinion (200 words)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Shopping quiz with feedback	group discussion and paragraph writing	convenience stores vs. local shops + prose argument analysis
8	Unit 4 Getting Dads Home Earlier- Should Work-Life Balance Differ for Mums and Dads?	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	read and complete text comprehension tasks pp.21-23
9	Fatherhood discussion	group discussion and paragraph writing	write an opinion paragraph on 'How involved do mothers really want fathers to be?'
10	Unit 5 Plugging Privacy-Value of Solitude outline worksheet for student mini presentation	pair work reading + mini lecture + video	read pp.26-29 comprehension tasks + presentation worksheet
11	Movie Categories Quiz	group discussion and paragraph writing	write a comparative essay, movies compared to TV drama
12	Movie Quiz return and feedback Unit 6 Recycling is a Message of Future Hope	group reading + mini lecture + video	complete a survey and check a presentation worksheet
13	Pros and Cons Quiz with feedback and discussion	group discussion and paragraph writing	read and analyze an advantages and disadvantages essay
14	Unit 7 Housing Design and Safety- Advantages and disadvantages essay	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	Complete comprehension and expressions exercises pp.39-41
15	Living environment Quiz with feedback and answers	discussion and writing presentations session 1	Writing task comparing modern interiors with trad. Japanese
16	Unit 8 A Barrier-free Welcome- Caring by and for People with Disabilities	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.44 vocabulary and comprehension exercises
17	Speculating about possible injuries or life if becoming disabled	group discussion and writing presentations session 2	Writing about a hypothetical scenario using conditional and subjunctive patterns
18	Unit 9 Helping in Times of Disaster- Volunteer Interpreters for Foreigners in a Disaster	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.50 vocabulary tasks and p.54 key expressions task
19	Writing about an experience of disaster	group discussion + 3rd session of presentations	carry out internet search task + write problem-solution essay
20	Unit 10 Right on Track- Opportunities for Women too in Motorsports	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete page 56
21	Driving Quiz with feedback and discussion	discussion and writing presentations session 4	carry out a driving survey and analyze response data
22	return and feedback on Driving quiz and Survey Unit 11 Refining Japanese Art and Design	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	take a 'What is unique to Japan?' quiz
23	International distinctiveness is important because...? Survey of opinions	group discussion and writing for argument	write an essay arguing for art being emblematic of a nation
24	Unit 12 Japanese Conbini Comes to Dubai- Saturation of Japanese Market Prompts Exports	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	analyze a pros and cons of 'conbini' essay
25	Conbini Quiz	pair work planning paragraph writing	write pros and cons paragraphs working in Japan or, abroad
26	return and feedback for Combini quiz Unit 13 Mix Masters- Chefs' Machines	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a food quiz
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Food quiz answers and feedback Robots	discussion and paragraph writing	reading task about job loss
28	Unit 14 Virtual Connections- Useful Applications for Virtual-Reality Headsets	pre-reading vocabulary + video comprehension	write about your favorite smartphone app

テキスト	Tatsuroh Yamazaki, Stella M. Yamazaki, Erika C. Yamazaki. *What's on Japan 11* (Kinseido). ISBN9784764740303
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語III（7）					担当教員	A. Goli
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to (1) understand social issues, such as gender and racial discrimination, inequality, crime and environmental issues (2) read and comprehend articles and reports on these subjects, watch and understand news reports and documentaries related to issues covered, (3) take notes, write summaries and engaging questions, (4) independently research contrasting views on newly introduced topics, (5) express their opinions on social issues in both written and spoken forms.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	・ Participation: active involvement, effort to communicate in English ・ Homework: completed before class, evidence of effort ・ Assessment: Written assignments (reports): submitted on time, use of language, breadth of research; Presentations and discussion: preparation, presentation structure, delivery, use of language, breadth of research, topic knowledge ・ Independent learning: completed before class, evidence of effort
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Class guidelines, self-introduction, ice-breaking	Explanation by teacher Introducing one another	Prepare self-introduction
2	Unit 1: Study Abroad Critical Thinking Skill (CTS): values	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.4-6
3	Unit 1: Study Abroad; Research & discussion	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.7
4	Unit 2: Nuclear Power; CTS: facts and opinions	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.8-12
5	Unit 2: Nuclear Power; Research & discussion	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.13
6	Unit 3: Immigration; CTS: belief or prejudice	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.14-18
7	Unit 3: Immigration; Research and discussion	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.19

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 1-2-3 Vocabulary quiz; Unit 4: The Social Safety Net; CTS: reasons and evidence	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.20-24
9	Unit 4: The Social Safety Net; Research & discussion	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.25
10	Final discussion skill assessment	Pair / small-group discussion	Review for assessment Submit critical reflection
11	Unit 5: Global Warming; CTS: criteria for evaluation; Go over results of vocabulary quiz	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.26-30
12	Unit 5: Global Warming; Research & discussion; Go over results of discussion assessment	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.31
13	Unit 6: Women in the Workplace; CTS: relevant and irrelevant facts and details	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.32-36
14	Unit 6: Women in the Workplace Research and discussion	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.37
15	Unit 4-5-6 Vocabulary quiz; Unit 8: Food labeling; CTS: generalization and assumptions	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.44-48
16	Unit 8: Food Labeling; research and discussion	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.49
17	Unit 9: Etiquette in the Digital Age; CTS: analogies; Go over results of vocabulary quiz	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.50-54
18	Unit 9: Etiquette in the Digital Age; Research & discussion	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.55
19	Unit 12: Taxes; CTS: the slippery slope	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.68-72
20	Unit 12: Taxes; Research & discussion	Lecture, critical reflection and discussion; groupwork	Preview critical reflection and discussion on p.73
21	Unit 8-9-12 Vocabulary quiz; Preparation of final discussion skill assessment	Lecture, class discussion, group work	Review for vocabulary test Practice for discussion test
22	Final discussion skill assessment	Pair / small-group discussion	Review for assessment Submit critical reflection
23	Presentation structure and delivery; Go over results of discussion assessment	Lecture, presentation slide drafting	Do homework on presentation
24	Unit 14: Animal Rights; Go over results of vocabulary quiz	Lecture, pair / group work; reading, vocabulary building	Preview pp.80-84
25	Unit 14: Animal Rights; Research & discussion	Pair / group work; preparation of final presentation	Do homework on presentation
26	Final presentation – part 1	Presentation	Rehearse for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentation – part 2	Presentation	Rehearse for presentation
28	Go over performance in final presentation Feedback on course	Feedback	Prepare feedback on course

テキスト	Michael Hood. *Think Smart* (KINSEIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* Additional material will be provided in class whenever necessary.

科目名	ENG201:　英語III（8）					担当教員	P. McQuilling
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.
評価方法	**Participation and performance** in classroom activities, including discussions, short speeches and presentations (30%); **Homework assignments** (30%); **Testing and assessment** (25%) including a final report(15%) and final presentation (10%); **Independent learning** (15%).
評価基準	**Participation and performance:** positive and active participation in class activities, discussions will be evaluated for content and contribution, speeches and presentations will be evaluated for content and delivery; **Homework:** completed thoroughly and submitted on time; **Testing and assessment:** final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); **Independent Learning:** background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation. Introductions, Explaining evaluation criteria.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profiles.
2	Unit 1. Sprouting New Sushi Ideas.	Video, comprehension exercises, pair work.	Review for vocabulary test (U.1).
3	Japanese & International Dishes. Unit 1 test.	Test, brainstorming, pair work, group work.	Write a short speech. Read *English Essentials* pp.19-25.
4	Test feedback. Unit 2: In the Pole Position. Local Festivals.	Short speeches, Q and A, video, comprehension.	Read *Eng. Essentials* pp.40-45. Research local festivals.
5	Unit 6: Floating on a Dream. Local festivals.	Video, comprehension, discussion.	Review for test (U.2 and U.6).
6	Units 2 and 6 test. Writing Process 1: Planning.	Test, brainstorming, clustering, outlining.	Write an outline for the Festival Report.
7	Test feedback, Festival Report. Writing Process 2: Drafting and Revising.	Drafting, rewriting, pair work.	Write the Festival Report.
8	Unit 3. Easing Off. Japanese Working Conditions.	Video, comprehension, discussion.	Review for test (U.3).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unit 4. In Memory of Monty. Unit 3 test.	Test, pair work, group discussion.	Research natural disaster relief efforts.
10	Test feedback. Natural Disasters Prevention & Relief.	Pair work, group discussion.	Write outline for presentation. Read *Eng. Essentials* pp.26-30.
11	Natural Disasters Relief Efforts. Turning an outline into a presentation.	Pair work, structuring, making visuals.	Presentation preparation Read pp.25-26.
12	Natural Disasters Presentations.	Presentations, listening, self-evaluation.	Complete self-evaluation.
13	Unit 7. Japan Adventurer Completes Grand Slam.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review for test (U.4 & U.7).
14	Unit 5. Dating the AI Way. Units 4 & 7 test.	Test, video, pair work, group work.	Research social media issues.
15	Test feedback. Social Media: benefits and dangers discussion.	Brainstorming, group discussion.	Write an opinion essay on Social Media issues.
16	Unit 8. Sorting It Out.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review for test (U.5 & U.8).
17	Save the Planet. Units 5 and 8 test.	Test, pair work, group discussion.	Research an environmental issue.
18	Test feedback. Environmental presentation preparation.	Pair work, structuring, making visuals.	Prepare for group presentations.
19	Environmental presentations	Presentations, listening, self-evaluation.	Complete the listening sheet for the presentations.
20	Unit 9. Haircuts for Charity.	Video, comprehension, discussion.	Research charity organizations for the group discussion.
21	Charity Organizations & Volunteerism Discussion.	Group discussion, report.	Write a report of the group discussion. Read pp.55-56.
22	Unit 10. Peer group consumption. Youth issues in Japan.	Video, comprehension, discussion.	Review for test (U.9 and U.10).
23	Unit 14. Tanzanian students discover Japan. Units 9 & 10 test.	Test, video, comprehension.	Research gender issues in Japanese companies.
24	Test feedback. Equality in Education & Employment.	Brainstorming, pair work, discussion.	Write a short report on equality in education & employment.
25	Final Report Preparation – research & outline.	Writing, drafting, revising, proofreading.	Write outline of final report. Submit research.
26	Final Report Preparation – presentation preparation.	Making visuals, writing scripts.	Prepare for presentation. Read *Eng. Essentials* pp.46-50.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Feedback and reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.

テキスト	T. Yamazaki, S.M. Yamazaki. *NHK NEWSLINE 2* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語III（9）					担当教員	K. Shimizu
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to (1) understand social issues, such as ethics and social responsibility, internationalization, inequality and discrimination, and environmental issues (2) read and comprehend written passages and reports, as well as to watch and understand reports and documentaries related to the issues covered, (3) take notes, write summaries and ask engaging questions, (4) independently research facts and contrasting views on introduced topics, (5) express opinions on social issues in both writing and speech.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation: active involvement, effort to communicate in English. Homework (articles, notes, questions): on-time submission, evidence of effort; Assessment: presentation summaries, final short report: submitted on time, accurate use of language, structure, reason and evidence; Short presentations: preparation, delivery, use of language, structure, reason and evidence; Vocabulary quizzes. Independent learning (research and writing): organization, breadth of research findings.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction and Course overview Introduction to Topic 1	Self-introductions, icebreaker, discussion	Read the syllabus, English Essentials (EE) pp. 6-9
2	Topic 1: The Environment (1) Unit 5: Firms Help Fight Plastic Pollution	Lecture, vocabulary study, Watching a DVD	Study vocabulary on p. 1, complete p. 2 exercise
3	Topic 1: The Environment (2) Unit 5 Wrap-up	Listening, pair / group work, Discussions	Study p. 37, complete exercise on p. 38, Review EE pp. 19-25
4	Topic 1: The Environment (3) Unit 7: Fighting Food Waste	Lecture, vocabulary study, Watching a DVD	Review Units & vocabulary, Review EE pp. 51-60
5	Topic 1: The Environment (3) Unit 7 Wrap-up	Listening, pair / group work, Discussions	Start preparing for presentation
6	Presentation #1 Short Speech Preparation	Lecture, research, and preparations	Submit speech paragraph #1 prepare for short speech
7	Presentation Day Intro to Topic 2: Technology (1)	Lecture, vocabulary study, pair / group work	Practice the presentation Submit IL Report 1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Topic 2: Technology (2) Unit 10: Not-So-Human Resources	Lecture, vocabulary study, Watch DVD, pair / group work	Study vocabulary on p. 55, complete exercise on p. 56
9	Topic 2: Technology (3) Unit 10 wrap up and intro to Unit 13	Vocabulary Quiz, pair / group work, prepare for presentation	Study vocabulary on p. 73, complete exercise on p. 74
10	Unit 13: New Spin on Laundromats Presentation Preparation	Discussion, lecture, pair work, presentation preparation	Prepare for skit
11	Presentation 2 Reflections	Presentations, lecture, vocabulary exercises	Submit text for skit
12	Topic 3: Education (1) Unit 4: Creativity from the Campus	Lecture, vocabulary study, pair / group work	Complete exercise on p. 20
13	Topic 3: Education (2) Unit 4 and Writing Lesson	Listening and writing activities	Study vocabulary on p. 67, complete exercise on p. 68
14	Topic 3: Education (3) Unit 12: Japan's Creative Classrooms	Lecture, vocabulary study, Watch DVD, pair / group work	Review Unit 4 and 12 vocabulary for quiz
15	Topic 3: Education (4) Unit 12 and writing lesson	Vocabulary Quiz, pair / group work, prepare for presentation	Prepare presentation Submit IL Report 2
16	Presentation #3 Short speech Intro to Topic 4	Short speech, discussion, lecture	Submit speech paragraph prepare for short speech
17	Topic 4: Tourism (1) Unit 3: Speaking Their Language	Lecture, vocabulary study, Watch DVD, pair / group work	Study vocabulary on p. 13, complete exercise on p. 14
18	Topic 4: Tourism (2) Unit 3: Wrap up	Lecture, vocabulary study, pair / group work	Review Unit 3 and preview Unit 11
19	Topic 4: Tourism (3) Unit 11: Adapting to a Tourist Influx	Lecture, vocabulary study, Watch DVD, pair / group work	Study vocabulary on p. 61, complete exercise on p. 62
20	Topic 4: Tourism (4) Unit 11: Wrap up	Vocabulary quiz, pair / group work, prepare for presentation	Review Units & vocabulary, prepare skit
21	Presentation #4 skits Intro to Topic 5	Skit performance, discussion, lecture	Submit text for skit prepare for skit performance
22	Topic 5: Internationalization (1) Unit 6: Foreign Students Get Helping Hand	Lecture, vocabulary study, Watch DVD, pair / group work	Study vocabulary on p. 31, complete exercise on p. 32
23	Topic 5: Internationalization (2) Unit 6: Wrap up	Lecture, vocabulary study, pair / group work	Review Unit 6 and preview Unit 15
24	Topic 5: Internationalization (3) Unit 15: Friendship Voyage	Lecture, vocabulary study, Watch DVD, pair / group work	Study vocabulary on p. 85, complete exercise on p. 86
25	Topic 5: Internationalization (4) Unit 15: Wrap up	Vocabulary quiz, pair / group work, prepare for presentation	Submit IL report #3, Review Units & vocabulary
26	Final Presentation and Report Preparation Day / Writing Review Lesson	Presentation, discussion	Prepare for presentation, prepare / complete final paper
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentation and Report	Presentation, discussion	Prepare for presentation, submit final paper
28	Remaining Presentations (if any), Reflections, final discussion, and feedback	Presentation, discussion, reflection	Prepare for final discussion

テキスト	Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki. *NHK Newsline 3* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語III（10）					担当教員	O. Ilina
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various issues related to “Social issues in Japan”, use problem/solution thinking when expressing their views on these issues; write postcards and emails; express their ideas in a short, well-organized presentation with a good delivery; utilize problem/solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem/solution thinking, write postcards and emails; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem/solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course / Getting to know people	Explanation by instructor, pair-work	Review Unit 1 textbook content
2	Happiness and things people like doing (textbook Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	Happiness and things people like doing (sup. materials), Independent learning (IL) guidelines	Pair-work, small group discussion, writing	Review Unit 2 supplementary materials
4	Telling stories (textbook Unit 3) (Recap of Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Telling stories (supplementary materials), discuss IL Study plan #1	Pair-work, small group discussion	Review Unit 3
6	Hopes, ambitions, and plans (textbook Unit 5); Recap of Unit 3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Short speech #1: speech / presentation organization	Speeches, lecture	Prepare speech
8	Hopes, ambitions, and plans (supplementary materials); explanation of short speech #2	Pair-work, small group discussion, writing	Review Unit 5
9	Food, drink and eating out (textbook Unit 4); Recap of Unit 5; discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Write IL Reflection Sheet #1
10	Food, drink and eating out (supplementary materials); Discuss IL study plan #2	Pair-work, small group discussion, writing	Write IL study Plan #2
11	Describing people and places (textbook Unit 6); Recap of Unit 4	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Describing people and places (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 6
13	Short speech #2	Speeches	Prepare speech
14	Vocabulary test #1; recap of Unit 6; explanation of short speech #3; Living history (Unit 7)	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
15	Living history (supplementary materials); Discuss IL progress	Pair-work, small group discussion	Write IL Reflection Sheet #2
16	Aspects of gender (textbook Unit 8); Recap of Unit 7; discuss study plan #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	Aspects of gender (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 8
18	Storytelling in different genres (Unit 9); recap of Unit 8; return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
19	Storytelling in different genres (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, writing	Review Unit 9
20	Communication and technology (Unit 10); recap of Unit 9; explanation of final presentation	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; Discuss IL progress	Speeches, small group discussion	Prepare speech; Write IL Reflection Sheet #3
22	Communication and technology (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	Pair-work, small group discussion	Write IL Study Plan #4
23	Life's ups and downs (textbook Unit 11); recap of Unit 10	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
24	Life's ups and downs (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 11
25	Vocabulary test #2 Thinking about the future (textbook Unit 12); recap of Unit 11	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, small group discussion	Write IL Reflection Sheet #4; Prep. IL Journal (submit today)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentation

テキスト	Lis and John Soars, Amanda Maris. *New Headway Pre-Intermediate* 4th edition (Oxford).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語III（11）					担当教員	小林　美文
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to ① understand social issues, such as schooling, gender discrimination, and other various issues in Japanese society, ② build up grammar and vocabulary skills, ③ express their opinions clearly on social issues, and ④ conduct research independently on the topics of their choice.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance in classroom activities**: active involvement, effort to use English; **Homework (including paragraph & essay writing)**: accuracy of language and organization, use of reason, example, and/or evidence; **Speech & Presentation**: preparation, delivery, appropriate use of physical, visual, and story messages, understanding of the social issues studied; **In-class tests (three times)**: accuracy of language, use of vocabulary, grammar, phrases, and expressions studied, understanding of the social issues studied; **Independent learning (Final project-related assignments)**: evidence of doing research, understanding of the collected data, use of effective visuals
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction, Ice breaking Introduction to issues in schooling	Lecture, pair work, discussion	Review syllabus after class Review Unit 1
2	Issues in Schooling ① Unit 1 College Sports	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 2
3	Issues in Schooling ② Unit 2 Homework	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 3
4	Issues in Schooling ③ Unit 3 Tidying Up	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 4
5	Issues in Schooling ④ Unit 4 School Schedules	Lecture, pair work, discussion	Review *English Essentials*, Unit 5
6	Review: Units 1-4 How to write a paragraph	Lecture, pair work, discussion	Review Units 1-4 Brainstorm
7	Paragraph writing Speech preparation	Lecture, pair work, discussion	Submit speech script

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Speech (Schooling in Japan) Self-evaluation and feedback	Speeches, lecture, discussion	Study for test
9	In-Class Test ① Introduction to issues in gender equality	Test, pair work, discussion	Review Unit 6
10	Issues in Gender Equality ① Unit 6 Mamachari	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 11
11	Issues in Gender Equality ② Unit 11 Parenting Styles	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 12
12	Issues in Gender Equality ③ Unit 12 Gender Segregation	Lecture, pair work, discussion	Review *English Essentials*, Unit 3
13	Review: Units 6, 11, 12 How to develop and organize a presentation	Lecture, pair work, discussion	Review: Units 6, 11, 12 Brainstorm
14	Paragraph writing, Presentation preparation Return test ① and go over results	Lecture, pair work, discussion	Submit presentation script and PowerPoint
15	Presentation (Gender issues in Japan) Self-evaluation and feedback	Presentations, pair work, discussion	Study for test
16	In-Class Test ②, Introduction to various issues in Japanese society	Test, pair work, discussion	Review Unit 8
17	Various Issues in Japanese Society ① Unit 8 Paid Days Off	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 10
18	Various Issues in Japanese Society ② Unit 10 Napping in Public	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 16
19	Various Issues in Japanese Society ③ Unit 16 Healthcare	Lecture, pair work, discussion	Review Units 8, 10, 16 after class
20	Final Project ① Project overview Return test ② and go over results	Lecture, pair work, discussion	Do interview for Final Project, Review Unit 19
21	Various Issues in Japanese Society ④ Unit 19 Rapid Transit System	Lecture, pair work, discussion	Study for test
22	In-Class Test ③ Discussion of social issues in Japan	Test, pair work, discussion	Brainstorm
23	Final Project ② (Outline Preparation) Brainstorming; Outlining	Lecture, pair work, discussion	Review *EE*, Unit 5 Submit outline
24	Final Project ③ (First Draft Preparation) Essay writing	Lecture, pair work, discussion	Review *EE*, Unit 7 Submit first draft
25	Final Project ④ (Final Draft Preparation) Return test ③ and go over results	Lecture, pair work, discussion	Review *EE*, Unit 4 Submit final draft
26	Final Project ⑤ (PowerPoint Preparation) How to prepare effective visuals	Lecture, pair work, discussion	Review *EE*, Unit 3 Submit PowerPoint
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Project ⑥ Presentation	Presentations, discussion	Prepare presentation
28	Final Project ⑦ Presentation Course Review	Presentations, discussion	Prepare presentation

テキスト	A. Arao, K. Mihara, Y. Minami, & H. Kimura. *Enjoying Different Cultures* (Nan'un-do).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG202:　英語IV（1）					担当教員	P. McQuilling
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.
評価方法	**Participation and performance** in classroom activities, including discussions, short speeches and presentations (30%); **Homework assignments** (30%); **Testing and assessment** (25%) including a final report(15%) and final presentation (10%); **Independent learning** (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	**Participation and performance:** positive and active participation in class activities, discussions will be evaluated for content and contribution, speeches and presentations will be evaluated for content and delivery; **Homework:** completed thoroughly and submitted on time; **Testing and assessment:** final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); **Independent Learning:** background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation. Introduction to the course, evaluation criteria explanation.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profile.
2	Unit 1. Hitchhiking around the world.	Q and A, pair work, group work.	Review unit 1 vocabulary for test.
3	Unit 1 test, test feedback, An Adventure of a Lifetime.	Test, brainstorming, pair work, group work.	Write a short speech. Read *English Essentials* pp. 19-25.
4	Unit 2: Olympic Spirit – history and internationalism.	Short speeches, Q and A, pair work, group work.	Review unit 2 for test, research Olympics pros & cons.
5	Unit 2 test, test feedback. The Olympics – benefit or burden? Discussion skills review.	Test, brainstorming, group discussion.	Write a short opinion essay on hosting the Olympics.
6	Unit 4. Where’s My Hotel? Understanding Cultural Differences.	Reading, Q and A, pair work.	Review the unit.
7	Unit 5. Global Connections.	Reading, Q and A, pair work.	Review units 4 & 5 for test.
8	Units 4 & 5 test, test feedback, Global issues Research Project planning.	Test, brainstorming, clustering, outlining.	Research & write outline. Read *English Essentials* pp. 26-30.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Global Issues Research Project draft & revision.	Writing, revising.	Redraft & submit Global Issues essay.
10	Unit 6. Welcome Home. Cross Cultural Issues: Emotions.	Pair work, group work, discussion.	Review unit 6 for test.
11	Unit 6 test, test feedback. Unit 8. Is This Seat Taken?	Test, listening, reading, Q and A, pair work.	Prepare for speech on positive role models.
12	Positive role model presentations.	Presentations, listening, self-evaluation.	Complete presentation self-evaluation.
13	Unit 7. The Secret of Life.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Review units 7 & 8 for test.
14	Units 7 & 8 test, test feedback, The World Happiness Report.	Test, pair work, group work, discussion.	Write a short essay based on the World Happiness Report.
15	Unit 9. Exploring World Religions.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Research world religions.
16	World Religions.	Pair work, group work, discussion.	Write a report about a religious festival.
17	Unit 12. A Crowded Planet.	Pair work, group work, discussion.	Review units 9 & 12 for test. Research population problems.
18	Units 9 & 12 test, test feedback, Population problems.	Test, pair work, group discussion.	Write a report based on the group discussion.
19	Unit 14. Beware of Landmines.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Review unit 14 for test. Research NGOs for a report.
20	Unit 14 test, test feedback, Non-governmental Organizations (NGOs).	Test, presentation, Q and A, group discussion.	Submit the report on NGOs.
21	Unit 15. World Citizenship.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Review unit 15 for test. Research SDGs.
22	Unit 15 test, test feedback, Sustainable Development Goals (SDGs).	Test, listening, reading, Q and A, pair work.	Prepare Presentation on SDGs.
23	SDG Presentations, Q and A, Feedback.	Presentation, Q and A, group discussion.	Submit the SDGs presentation report.
24	Unit 12. A Crowded Planet.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Review unit 12 for test. Research population problems.
25	Unit 12 test, test feedback. Review of units and topics covered in the course.	Brainstorming, pair work, discussion.	Write first draft of final report. Read *Eng.Essentials* pp. 46-50.
26	Final Report Preparation.	Writing, drafting, revising, proofreading.	Submit final report. Prepare presentation.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Feedback and reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.

テキスト	K.A. Cates, N. Kurihara. *Off to the World! – Adventures in Language and Life* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語IV（2）					担当教員	小金沢　裕美子
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook, improve their listening and reading comprehension and understand and discuss the social issues introduced in class. Students will also learn to do independent research on the topic of their choice and deliver an informative presentation.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	Participation and performance (Active participation in class activities, including discussions, group work and oral presentations), Homework (Timely completion of assignments), Testing and assessment (Quizzes: Correct answers demonstrating knowledge of course content using correct grammar and newly acquired vocabulary, Presentations: Well prepared and organized), Independent learning (TOEIC-IP, one reflection report completed and submitted on time.)
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction, getting to know each other, evaluation criteria	Pair and group work	Review syllabus
2	Chapter 1: India (reading section)	Reading, listening, discussion, group work	Get ready for the group presentation
3	Chapter 1: India (Listening &Discussion sections)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 1
4	Vocabulary quiz 1, Chapter 2: Philippines (reading section)	Quiz, quiz feedback, reading, discussion	Get ready for the group presentation
5	Chapter 2: Philippines (Listening & Discussion sections)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 2
6	Vocabulary quiz 2, Chapter 3: Thailand (reading section)	Quiz, quiz feedback, reading, discussion	Get ready for the group presentation
7	Chapter 3: Thailand (Listening & Discussion sections)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet
8	Chapter 3: Thailand (Supplementary material)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Vocabulary quiz 3, Chapter 4: Vietnam (reading section)	Quiz, quiz feedback, reading, discussion	Get ready for the group presentation
10	Chapter 4: Vietnam (Listening & Discussion sections)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 4
11	Vocabulary quiz 4, Chapter 5: Korea (reading section)	Quiz, quiz feedback, reading, discussion	Get ready for the group presentation
12	Chapter 5: Korea (Listening & Discussion sections)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 5
13	Vocabulary quiz 5, Chapter 6 France (reading section)	Quiz, quiz feedback, reading, discussion	Get ready for the group presentation
14	Chapter 6: France (Listening & Discussion sections)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 6
15	Vocabulary quiz 6, Review of Chapters 1- 6, Prepare for Midterm speech	Quiz, quiz feedback, small group practice	Practice your speech
16	Midterm Speech, Tanzania (worksheet)	Speech, feedback, group work	Complete the worksheet (Tanzania)
17	Tanzania (DVD: Darwin's Nightmare)	DVD, discussion	Complete the worksheet (Tanzania)
18	Chapter 7: Italy (reading section)	Reading, listening, discussion	Get ready for the group presentation
19	Chapter 7: Italy (Listening & Discussion sections)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 7
20	Vocabulary quiz 7, Chapter 8: Denmark (reading section)	Quiz, quiz feedback, group work, discussion	Get ready for the group presentation
21	Chapter 8: Denmark (Listening & Discussion sections)	Reading, DVD, listening	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 8
22	Vocabulary quiz 8, Chapter 9: Portugal (reading section)	Quiz, quiz feedback, reading, discussion	Get ready for the group presentation
23	Chapter 9: Portugal (Listening & Discussion sections)	DVD, listening, group discussion	Complete the worksheet, study for vocabulary quiz 9
24	Vocabulary quiz 9, Chapter 10 Turkey (reading section)	Quiz, quiz feedback, reading, discussion	Get ready for the group presentation
25	Review, quiz of content and vocabulary, reflections on Independent Learning	Quiz, pair and group work, discussion	Study for the quiz, complete a reflection report
26	Script writing & speech practice	Group work, speech	Prepare for presentations
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentations Day 1	Presentation, listening, Q&As	Prepare for presentations
28	Presentations Day 2, recap of the semester	Presentation, listening, Q&As	Prepare for presentation, review textbook units

テキスト	Scott Berlin, Megumi Kobayashi. *World Adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語IV（3）					担当教員	R. Burton
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have expanded their vocabulary relevant to being able to bring polite enquiry to their participation in discussions addressing international issues, as seen from a Japanese and international perspective. They will have learned methods of writing clearly, and in well-structured sentences that combine cohesively. They will have broadened their understanding, and thereby their tolerance, of diverging opinions on social issues, and gained ability to incorporate that vocabulary into their written and spoken sentences. Teacher presentations and follow-up discussions will provide ample listening-skills development. In this way students should also become more resourceful and skillful as autonomous learners of English.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	**Participation and performance:** There will be regular text comprehension exercises to gauge grasp of cultural contents, including vocabulary; contributions to discussions will be evaluated on frequency and pertinence. **Homework:** Paragraph writings will be scrutinized and evaluated for critical enquiry and clarity in politely putting forward alternative views and general cohesiveness. **Assessment:** Text Comprehension & Vocabulary Quizzes (20%), Final Report (5%) and **Independent learning** which will be evaluated with a quiz and summary task.						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Introduction through example of Unit 1 SNS and Identity theft- SNS Security Risks	mini-lecture on topic + pair work discussion	Read page 7 “Identity theft” & vocabulary check
2	Identity theft examined through readings from 4 different sources plus x2 pro & x2 con opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 13 “Women-only train cars” & vocabulary check
3	Unit 2 Women’s Protection or Gender Equality?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
4	Does disproportionate empathy = sexism? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 19 “Where have eco-caps gone” & vocabulary check
5	Unit 3 Eco or Ego?- Recycling Industry Integrity Mini reading comprehension / vocabulary quiz	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
6	Distinguishing broken promises from bogus claims Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 25 “Online High School” & vocabulary check

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4 Rewarding Pastime? Online Education	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
8	What makes a pastime NOT a waste of time? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 31 “Japan’s press freedom” & vocabulary check
9	Unit 5 Democracy- How Free is the Press?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
10	The 4 essentials for a ‘full democracy’ + Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 37 “Casino gambling in Japan” & vocabulary check
11	Unit 6 Hopes and Fears around Casinos	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
12	Is gambling a pastime, an industry of hope, or a ruin? + Readings from 4 different sources	group discussion + vocab of betting and chance	Read page 43 “Exploitative employment” & vocab. check
13	Unit 7 Should High Schoolers Work Part-time?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
14	Balancing studies and having to earn a living Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 49 “TPP negotiators” & vocabulary check
15	Unit 8 Globalization- Who Really Benefits?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
16	Are large wealth gaps an insult to humanity? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 55 “AI beats shogi master” & vocabulary check
17	Unit 9 Humans or AI? Will AI take our jobs?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
18	Can AI learn human values? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 61 “Gap year” & vocabulary check
19	Unit 10 Gap Year- Advantage or Disadvantage for Job Hunting?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
20	Does military conscription count as a ‘gap year’? Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 67 “Privatization of universities” & vocab. check
21	Unit 11 Big Government or Limited Government?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
22	Dangers of too big or too little tax. Is there an Optimum? Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 73 “Homelessness Responsibility” & vocab. check
23	Unit 12 Are the Homeless Responsible for Their Own Homelessness?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
24	Mental health and human vulnerability - Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	prepare group discussion + vocab.
25	Unit 13 Severe Crimes: Punishment, Restitution or Rehabilitation?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
26	Forgiveness: guilt cultures versus shame cultures Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 85 “Foreign workers in Japan” & vocabulary check
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 14 Open Borders or Closed Societies? How far open?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
28	Appropriate degrees of pity, mercy, and charity - Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 91 “Tax burden”

テキスト	Ichizo Ueda et al. *Take a Stance* (Cengage / National Geographic). ISBN9784863123335
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student’s final grade.

科目名	ENG202:　英語IV（4）					担当教員	M. Tasseron
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should be able to engage with a number of social issues facing Japanese society and the wider world. Students will be able to think critically about these issues and apply the skills they study in discussions, such as problem solving and responding appropriately to opinions. These skills will also be applied when writing an essay and students will be able to incorporate the vocabulary and grammatical forms dealt with in the semester. Independent learning skills are also developed by completing self-study plans.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Textbook activities). *Testing and assessment*: One essay (500 words). Evaluation criteria: content, organization & citations. *Independent learning*: Vocabulary notebook & weekly learning plans (Write 10 new or interesting words per week; write a paragraph about your study plans: 10 entries)						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, discuss course outline and objectives, Unlock Unit 1: Animals	Lecture, pair & group discussions	Preview textbooks and prepare vocabulary & learning notebook
2	Unlock Unit 1: Animals Vocabulary building (word families), listening	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.33, write study plan (SP) 1
3	Unlock Unit 1: Animals Speaking (signposting); Submit SP 1	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.35 & vocabulary review
4	Unlock Unit 2: The environment Video & discussion	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.53, write study plan 2
5	Unlock Unit 2: The environment Prefixes; Submit SP 2	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.54 & vocabulary review
6	Unlock Unit 2: The environment Speaking (making counter-arguments)	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.57, write study plan 3
7	Unlock Unit 3: Transport Video; Submit SP 3	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.76 & vocabulary review

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unlock Unit 3: Transport Listening, comparatives, superlatives	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.77 & vocabulary review
9	Unlock Unit 3: Transport Speaking (evaluating problems & solutions)	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.79 & write study plan 4
10	Unlock Unit 4: Customs and traditions Video & discussion; Submit SP 4	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.97 & vocabulary review
11	Unlock Unit 4: Customs and traditions Listening, vocabulary (suffixes)	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.99 & vocabulary review
12	Unlock Unit 4: Customs and traditions Speaking (being polite)	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.101 & vocabulary review
13	Essay planning *English Essentials*	Lecture, pair & group discussions	Write study plan 5 & plan essay
14	Review lesson Unit 1-4 recap; Submit SP 5	Lecture, pair & group discussions	Vocabulary review (Unit 1-4)
15	Unlock Unit 5: Health and fitness Video & discussion	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.119 & vocabulary review
16	Unlock Unit 5: Health and fitness Listening, phrasal verbs, essay writing	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.120 & write study plan 6
17	Unlock Unit 5: Health and fitness Speaking (problems, solutions); Submit SP 6	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.123 & plan essay
18	Unlock Unit 6: Discovery and invention Video, choosing a topic for your essay	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.139 & vocabulary review
19	Unlock Unit 6: Discovery and invention Listening, passive verb forms	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.142 & write study plan 7, plan essay
20	Unlock Unit 6: Discovery and invention Speaking (organizing ideas); Submit SP 7	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.145 & vocabulary review
21	Unit 7: Fashion Video & discussion, *English Essentials*: research	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.163 & write study plan 8
22	Unit 7: Fashion Listening, idioms, Submit SP 8	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.165 & vocabulary review
23	Unit 7: Fashion Speaking (asking for opinions)	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.167 & vocabulary review
24	Essay *English Essentials*: citations, plagiarism	Lecture, pair & group discussions	Write study plan 9 & continue writing essay
25	Unit 8: Economics Video & discussion, Submit SP 9	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.184 & vocabulary review
26	Unit 8: Economics Listening, conditional forms	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.187 & write study plan 10
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 8: Economics Supporting an argument; submit SP 10	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.189 & vocabulary review
28	Finalize essay, course review and feedback	Lecture, pair & group discussions	Submit essay

テキスト	Sabina Ostrowska, Nancy Jordan and Chris Sowton. *Unlock 3* [Second Edition] (Cambridge).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語IV（5）					担当教員	G. Freddes
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. Students will conduct research in areas of personal interest and make three presentations.
達成目標（授業の目的）	With the aim of students becoming autonomous learners, emphasis will be placed on the development of presentation skills. Students will learn to conduct research, critically analyze information, formulate a reasoned point of view, and gain skills in clear expression.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to make effective plans for independent learning; individually conduct research; separate facts from opinions; discuss the topic with others; write an essay including facts and a personal point of view; create and deliver a five to seven-minute PowerPoint presentation that includes an effective story message, visual message, and physical message. By making three presentations, students will build the confidence to speak-out in public forums.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	Participation and performance (active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A); Homework (effort in thoroughly completing assignments & timely submission); Assessment: Two Essays 5% each (including facts and a personal point of view; and follow guidelines in *English Essentials*); and three presentations 5% each (depth and quality of research, separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, follow guidelines in *English Essentials*); Independent Learning (15%) 5% for submission of three IL Plans - Progress Reports, and Final Report
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Japanese / Global issues Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss social issues	Write 2 paragraphs; Read *Inspiring* pp. 11-12, watch DVD
2	Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology, Nadiem Makarim (CEO, Gojek)	Networking, form groups, discussion	Read *English Essentials* (*E.E.*) pp. 40-45, Begin research
3	The Writing Process	Brainstorming, Clustering, Outlining	Outline; read *I.V.* pp. 17-18, DVD Independent Learning (IL) plan
4	Bringing Medicine to the African Backcountry: Eri Machii (Chairperson, AfriMedico)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read *English Essentials* pp. 46-50; Continue research
5	Outlining and revising an essay: organization and content	Reading, revising an essay outline	Complete outline; Read *I.V.* text pp. 23-24 and watch DVD
6	Saving Children in Poverty Through Music Margaret Martin (Founder, Harmony Project)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read *E.E.* text pp. 61-64; Write a paragraph
7	Essay writing: thesis statement, *E.E.* text pp. 19-23 Speech	Oral presentation, listening, discussion	Read *I.V.* text pp. 29-30, watch the DVD; First draft of essay
8	The Matcha Business: A Maverick Spirit Takeo Sugita President, Aiya)	Oral presentation, listening, discussion	Submit First Draft of Essay; *E.E.* text pp. 19-30 (skim)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	*E.E.* text Speech; Visuals: Making them outstanding and effective	Vocabulary, listening, discussion, writing	*I.V.* text pp. 35-36 DVD; begin preparing visuals; (IL Report)
10	French Refugee Integration Ayyam Sureau (Founder, Pierre Claver)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1. Women with Others: A Japanese / Global Issue of Personal Interest	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; *I.V.* text pp. 41-42, DVD
13	The Power of Biologging: Yuuki Watanabe (Marine Biologist: National I. of Polar Research)	Listening, discussion, Form new groups	Read *I.V.* text pp. 47-48 and watch the DVD
14	Farming is the Future: Cherrie Atilano (Founding Farmer and CEO, AGREA)	Listening, discussion, topics for Presentation 2	Read *I.V.* text pp. 53-54 and watch the DVD
15	New Challenges for a Fashion Giant Luciano Benetton (Co-founder, Benetton Group)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Outline Presentation #2; Read *I.V.* text pp. 59-60, watch DVD
16	Helping the Socially Vulnerable: Viola Cheng (Entrepreneur, Good Food Enterprise)	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); Prepare 11 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2. Women for Others: A Positive Contribution Toward Solving a Global Issue	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; *I.V.* text pp. 65-66, DVD
19	The Danish Recipe for Happiness: Meik Wiking (CEO, Happiness Research Institute)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Begin Outline of your Final Report; *I.V.* text pp. 71-72, DVD
20	Knitting the Future by Hand: Tamako Mitarai (CEO, Kesennuma Knitting)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Outline of your Final Report; *I.V.* text pp. 77-78, DVD
21	Towards a Zero-Waste Future Sun Xiaolong (Scientist, Zerowaste Asia)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read *I.V.* text pp. 83-84 and watch the DVD
22	The Healing Power of Dogs: Toru Oki (Chairman, International Therapy Dog Assc.)	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); First Draft of Final Report; *I.V.* text pp. 89-90, DVD
23	Uncovering Our Hidden Biases: Mahzarin Banji (Social Psychologist, Harvard University)	Vocabulary, listening, discussion, writing	*I.V.* text pp. 95-96, DVD; Revise your Final Report
24	Space Exploration: Can Private Citizens Play a Role? Bill Nye (CEO, The Planetary Society)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Integration of skills, group work	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 1)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report; Self-Evaluation Form and P.A.R.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 2)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit late homework, Prepare for Interview
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	Kobayashi, Fujita, Collins. *Inspiring Voices* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* Watch TEDTalks, NHK World News, BBC and CNN (all online)
その他 特記事項	Homework must be completed before class, used in class, and submitted at the end of class. Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語IV（6）					担当教員	A. Garin
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should acquire words and phrases to help them express their opinions on a range of global social issues and how these relate to Japan; explore, develop and organize their ideas, write them in paragraphs and essays, and verbally express them in class discussions; show a degree of initiative and autonomy in their English self-study outside of class.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	*Participation and performance*: active engagement in individual tasks, pair work, small group work and class discussions; *Homework*: assignments must be complete, show quality and effort, and be submitted on time; *Testing and assessment*: two in-class lexical quizzes on words and phrases in textbook units, one take-home extended essay (content and argument, organization and cohesion, lexical and grammatical range and accuracy, register); *Independent learning:* weekly updating and reviewing lexical notebooks, performance in critical discussions (ability to distinguish fact from opinion, critical stance).
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, class guidelines, lexical notebooks, online collocation dictionaries	Lecture, individual, pair, group tasks	Read syllabus, start lexical notebook
2	English Essentials Unit 1 Conversation	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook
3	Ambitions Unit 1 Cross-cultural understanding	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 1
4	English Essentials Unit 2 Speech	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, prepare a short speech
5	Ambitions Unit 2 Foods	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 2
6	English Essentials Unit 3 Presentation	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, prepare for lexical quiz 1
7	Lexical quiz 1 Ambitions Unit 3 Foreign language learning	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Quiz 1 feedback, English Essentials Unit 4 Visuals	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, prepare a short presentation
9	Ambitions Unit 5 Fashion	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 5
10	English Essentials Unit 5 The Writing Process	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, write essay outline on a culture topic
11	Ambitions Unit 6 Living things	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 6
12	English Essentials Unit 6 Paragraph Writing	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, write original essay paragraph
13	Ambitions Unit 7 Art	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 7
14	English Essentials Unit 7 Essay Writing	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, write original essay introduction
15	Ambitions Unit 8 Global issues	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 8
16	English Essentials Unit 7 Essay Writing	Lecture, individual, pair, group tasks	Prepare for lexical quiz 2, write original essay conclusion
17	Lexical quiz 2, Ambitions Unit 9 Japanese culture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 9
18	Quiz 2 feedback, English Essentials Unit 8 Research	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, start researching essay topic
19	Share info from table of contents, Ambitions Unit 10 Human rights	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 10, continue researching essay topic
20	Start working on draft 1 of extended essay	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue working on draft 1 of the extended essay
21	English Essentials Unit 9 Note-taking and Citations	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, continue extended essay
22	Ambitions Unit 11 Health and medical issues	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 11, continue extended essay
23	English Essentials Unit 10 Plagiarism, extended essay class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, submit extended essay draft 1
24	Ambitions Unit 12 Environmental issues, extended essay class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 12, continue extended essay
25	English Essentials Unit 11 Critical Thinking, extended essay class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook, finish extended essay draft 2
26	Submit extended essay draft 2, Ambitions Unit 13 Economy and industry	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 13
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Ambitions Unit 15 Science and technology	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook unit 15
28	Extended essay feedback, course closure activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebook

テキスト	Masamichi Mochizuki, Tetsuhito Shizuka, Takaaki Kumazawa. *Ambitions Intermediate* (Kisendo).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語IV（7）					担当教員	G. Freddes
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. Students will conduct research in areas of personal interest and make three presentations.
達成目標（授業の目的）	With the aim of students becoming autonomous learners, emphasis will be placed on the development of presentation skills. Students will learn to conduct research, critically analyze information, formulate a reasoned point of view, and gain skills in clear expression.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to make effective plans for independent learning; individually conduct research; separate facts from opinions; discuss the topic with others; write an essay including facts and a personal point of view; create and deliver a five to seven-minute PowerPoint presentation that includes an effective story message, visual message, and physical message. By making three presentations, students will build the confidence to speak-out in public forums.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	Participation and performance (active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A); Homework (effort in thoroughly completing assignments & timely submission); Assessment: Two Essays 5% each (including facts and a personal point of view; and follow guidelines in *English Essentials*); and three presentations 5% each (depth and quality of research, separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, follow guidelines in *English Essentials*); Independent Learning (15%) 5% for submission of three IL Plans - Progress Reports, and Final Report
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Japanese / Global issues Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss social issues	Write 2 paragraphs; Read *Brit. News* (*B.N.U.*) pp. 1-3, DVD
2	An Award for an Unsung Hero: Sports, health, physical fitness and mental well-being	Networking, form groups, discussion	Read *English Essentials (E.E.)* pp. 40-45, Begin research
3	The Writing Process	Brainstorming, Clustering, Outlining	Outline; News text pp. 7-9 DVD Independent Learning (IL) plan
4	Treasures of the Society of Antiquaries: The importance of preserving history and traditions	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read *E.E.* text pp. 46-50; Continue research
5	Outlining and revising an essay: organization and content	Reading, revising an essay outline	Complete outline; Read *B.N.U.* text pp. 13-15 and watch DVD
6	Changing Careers in the Pandemic: Covid-19's impact on the job market and other social sectors	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read *E.E.* text pp. 61-64; Write a paragraph
7	Essay writing: thesis statement, *E.E.* text pp. 19-23 Speech	Oral presentation, listening, discussion	Read *B.N.U.* pp. 19-21 and watch DVD; First draft of essay
8	The Climate Change Threat to Heritage Sites: Global warming and measures we must take now	Oral presentation, listening, discussion	Submit First Draft of Essay; *E.E.* text pp. 19-30 (skim)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	*E.E.* text Speech; Visuals: Making them outstanding and effective	Oral presentation, listening, discussion	*B.N.U.* text pp. 19-21 and watch the DVD; First draft of essay
10	Plastic Peas: Plastic waste problems and new technological developments	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1. Women with Others: A Japanese / Global Issue of Personal Interest	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; *B.N.U.* text pp. 31-33
13	Return of the Red Kites: Endangered species and efforts toward solutions	Listening, discussion, Form new groups	*B.N.U.* text pp. 37-39 and watch the DVD
14	All Cars to Be Electric: Technological innovations and government support	Listening, discussion, topics for Presentation 2	*B.N.U.* text pp. 43-45 and watch the DVD
15	Mend More and Buy Less: London Repair Shops: DIY, Mottainai and The 3 R's	Vocabulary, listening, discussion, writing	Outline Presentation #2; *B.N.U.* text pp. 49-51 and DVD
16	Swimming to Cure Dementia: Scientific research and aging population issues	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); Prepare 10 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2. Women for Others: A Positive Contribution Toward Solving a Global Issue	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; *B.N.U.* text pp. 55-57
19	A Special Pop-up Shop on Carnaby Street; Equal opportunity businesses, discrimination, BLM	Vocabulary, listening, discussion, writing	Begin Outline of your Final Report; *B.N.U.* text pp. 61-63
20	School Laptops for All: Online learning, access to technology, escaping the poverty trap	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Outline of your Final Report; *B.N.U.* text pp. 67-69
21	A New Nuclear Power Station: Future energy sources: weighing costs, benefits and risks	Vocabulary, listening, discussion, writing	*B.N.U.* text pp. 73-75 and watch the DVD
22	Meat Grown in the Laboratory: Food security, protecting the environment, animals and health	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); First Draft of Final Report; *B.N.U.* text p. 79-81
23	Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales: The Carbon Neutral Initiative in Hadano	Vocabulary, listening, discussion, writing	*B.N.U.* text pp. 85-87; Revise your Final Report
24	Brexit Problems at the Border: International trade, supply chains, just-in-time manufacturing	Vocabulary, listening, discussion, writing	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 1)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report; Self-Evaluation Form and P.A.R.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 2)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit late homework, Prepare for Interview
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	Knowles, Tanaka, Nakamura, Moue. *British News Update 4* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* Watch TEDTalks, NHK World News, BBC and CNN (all online)
その他 特記事項	Homework must be completed before class, used in class, and submitted at the end of class. Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語IV（8）					担当教員	N. Cook
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to organize their ideas and express them clearly through proper academic writing and presentations; discuss topics related to being a global citizen; demonstrate a deep understanding of NPO’s, NGO’s, and UN Sustainable Development Goals through essays and presentations; and understand vocabulary commonly used in English language news broadcasts.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as essays and presentations (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	**Participation:** demonstrating understanding of English language news broadcasts through active engagement in group discussions and pair work. **Homework assignments:** coming to class having completed the assigned readings and vocabulary tasks from the textbook. **Assessment:** two essays and two presentations. **Independent learning:** assignments completed on time.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Voice 1: Creating Jobs Through Technology (Background and Vocabulary)	Introductions, group work, discussion, video	Voice1:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
2	Voice 1 (Conclusion) *English Essentials*: Writing Practice (clusters)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.40-42
3	Voice 2: Medicine to the African Backcountry (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice2:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
4	Voice 2 (Conclusion) *English Essentials*: Writing Practice (drafting)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.43-50
5	Voice 3: Saving Children Through Music (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice3:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
6	Voice 3 (Conclusion) *English Essentials*: Paragraphs (topic sentences)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.51-54
7	Voice 5: French Refugee Integration (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice5:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
8	Voice 5 (Conclusion) *English Essentials*: Paragraphs (checklist)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.54-60
9	Voice 7: Farming is the Future (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice7:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Voice 7 (Conclusion) *English Essentials*: Essay Writing (structure)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.61-65
11	Voice 8: New Challenges for a Fashion Giant (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice8:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
12	Voice 8 (Conclusion) *English Essentials*: Essay Writing (conclusions)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.65-70; Begin writing essay
13	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (Background and Vocabulary) + Submit Essay#1	Group work, discussion, video	Voice9:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary; Essay
14	Voice 9 (Conclusion) *English Essentials*: Speeches	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.20-25
15	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice10:DoBuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
16	Voice 10 (Conclusion) *English Essentials*: Presentations	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.26-29
17	Voice 12: Towards a Zero-Waste Future (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice12:DoBuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
18	Voice 12 (Conclusion) *English Essentials*: Visuals	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.37-39
19	Presentation 1 Day 1: UN Sustainable Development Goals	Performances and peer-review	Prepare Presentation 1
20	Presentation 1 Day 2: UN Sustainable Development Goals	Performances and peer-review	Prepare Presentation 1
21	Voice 13: The Healing Power of Dogs (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice13:DoBuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
22	Voice 13 (Conclusion)	Group work, discussion, lecture	Review Essay/Presentation Feedback, Begin Essay #2
23	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice14:DoBuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
24	Voice 14 (Conclusion) Essay #2 due	Group work, discussion, lecture	Prepare Essay 2
25	Voice 15: Space Exploration (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice15:DoBuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
26	Voice 15 (Conclusion)	Group work, discussion, lecture	Review *Inspiring Voices* Prepare Presentation 2 topic
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation 2 Day 1: NGO's / NPO's	Performances and peer-review	Prepare Presentation 2
28	Presentation 2 Day 2: NGO's / NPO's	Performances and peer-review	Prepare Presentation 2

テキスト	Megumi Kobayashi, Reiko Fujita, Peter J. Collins. *Inspiring Voices* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語IV（9）					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4213
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to conduct effective research on global issues of SDGs; make a clear speech on each topic; discuss the topic with others; write an essay w / well-structured passage, and confidently deliver about seven-minute PowerPoint presentation that includes clear message w / effective visual aid and performance.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	**Participation and performance**: active involvement in-text exercises, discussions, group work, and speech; **Homework**: submission of assignments (writing, etc.) in time; **Assessment:** ①result of vocabulary quizzes and review tests; ② essays (good structure w / facts and a personal point of view); and final presentation (w / quality of research, clear facts and opinions, persuasive message, effective visual aid, and performance) [*following guidelines in English Essentials]; **Independent Learning**: submission of IL plans, review reports, journals in time.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course	explanation by instructor, pair work	Review syllabus after class
2	Ut.1 No poverty / zero hunger	pair work, small-group discussion	Prepare pp.8-11
3	Food bank	presentation, small-group discussion	Prepare speech
4	Ut.2 Good health and well-being	pair work, small-group discussion	Write IL Study plan #1 Prepare pp.14-17
5	Washing a million hands	presentation, small-group discussion	Prepare speech
6	Vocab Quiz (1-2), Ut.3 Quality Education	pair work, small-group discussion	Prepare pp.20-23
7	Reasons for not going to school	presentation, small-group discussion	Prepare speech
8	Ut.4 Gender Equality / reduced inequalities	pair work, small-group discussion	Prepare pp.26-29

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Girls' education	presentation, small-group discussion	Write IL reflection sheet #1 Prepare speech
10	Vocab Quiz (3-4), Ut.5 Clean water and sanitation, discuss IL plan#2	pair work, small-group discussion	Write IL study plan #2 Prepare pp.32-35
11	Water and climate change	presentation, small-group discussion	Prepare speech
12	Ut.6 Affordable and clean energy	pair work, small-group discussion	Prepare pp.38-41
13	A pellet stove	presentation, small-group discussion	Prepare speech
14	Review Test #1 (Ut.1~6), Vocab Quiz (5-6) Ut.7 Decent work and economic growth	pair work, small-group discussion	Prepare pp.44-47
15	Return Test #1 Child labor	presentation, small-group discussion	Write IL reflection sheet #2 Prepare speech
16	Ut.9 Sustainable cities and communities discuss IL plan#3	pair work, small-group discussion	Write IL study plan #3 Prepare pp.56-59
17	Waste management	presentation, small-group discussion	Prepare speech
18	Vocab Quiz (7-9), Ut.10 Responsible production and consumption	pair work, small-group discussion	Prepare pp.62-65
19	Doing more and better with less	presentation, small-group discussion	Prepare speech
20	Ut.11 Climate action	pair work, small-group discussion	Prepare pp.68-71
21	Fossil fuel divestment	presentation, small-group discussion	Write IL reflection sheet #3 Prepare speech
22	Vocab Quiz (10-11), Ut.12 Life below water / life on land; discuss IL plan#4	pair work, small-group discussion	Write IL study plan #4 Prepare pp.74-77
23	Ecolabel	presentation, small-group discussion	Prepare speech
24	Ut.13 Peace, justice and strong institutions	pair work, small-group discussion	Prepare pp.80-83
25	Child soldiers	presentation, small-group discussion	Prepare speech
26	Review Test #2 (Ut. 9~13), Vocab Quiz (12-13) review the course, IL work, final presen.prep.	pair work, small-group discussion	Write IL reflection sheet #4 IL journal submit
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Return Test #2, Final presentations	presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	presentations	Prepare presentation

テキスト	笹島茂、他（2021）『CLIL 英語で考える SDGs-持続可能な開発目標』（三修社）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語IV（10）					担当教員	O. Massoud
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, the students will be able to: ・clearly express their opinion on world topics or issues ・deliver an interesting and informative two to three-minute presentation ・comprehend the topics or events by answering questions ・recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook ・utilize the key phrases and appropriate grammar forms in their presentations ・use key vocabulary in sentences as their homework
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	1. Participation and performance (involve actively engaging in classroom discussions on world issues, pair and group work as well oral presentations) 2. Homework (finish relevant assignments on time such as textbook exercises, 20%) including Presentations (prepare a well-organized presentation based on the guidelines set in *English Essentials*, 10%) 3. Testing and assessments (answer the quizzes, demonstrating knowledge of course content using correct grammar and newly acquired vocabulary) 4. Independent learning (complete three IL study plans and reflections)
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, get to know each other, grading system criteria	teacher explanation, pair & group work	Review syllabus, prepare self-introduction
2	Unit 1: “The Effects of Advertising”, self introductions, (IL) guidelines	reading, pair work, listening, discussion	Read pp. 1-3, use vocabulary in sentences
3	Unit 1: continue, finish self-introduction, comprehension Q & A	discussion, pair & group work	Read pp. 4-5, read *English Essentials* pp. 6-9
4	Unit 2: “Extreme Sports” introduce IL plan #1	reading, pair work, listening, discussion	Read pp. 9-11, use vocabulary in sentences
5	Unit 2: continue, Quiz #1 (Units 1 and 2), discuss IL plan #1	test, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #1, read pp. 12-13, vocabulary, write IL Plan #1
6	Unit 3: “Our Aging Population”, go over Quiz #1 and results, practice conversation	reading, pair work, listening, discussion	Read pp. 17-19, use vocabulary in sentences
7	Unit 3: continue, introduce public speaking, Presentation #1	discussion, pair & group work	Quiz #2, read pp. 20-21, read *English Essentials* pp. 19-22

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4: “Robots in the Home”, Quiz #2 (Units 3 and 4)	test, reading, listening, pair work, discussion	Read pp. 25-27, Quiz #2, use vocabulary in sentences
9	Unit 4: continue, go over Quiz #2 and results, prepare Presentation #1	discussion, listening, pair & group work	Read pp. 28-29, vocabulary, prepare presentation #1
10	Presentation #1, reflections on IL Plan #1	presentation, pair & group work, discussion	Prepare presentation #1, write IL reflections #1
11	Unit 5: “Animals: Our Research Partners?”, practice English conversation	reading, pair work, listening, discussion	Read pp. 33-35, use vocabulary in sentences
12	Unit 5: continue, introduce IL plan #2, feedback for Presentation #1	discussion, listening, pair & group work	Read pp. 36-37, use vocabulary in sentences
13	Unit 6: “The Online Information Debate”, discuss IL Plan #2	reading, pair work, listening, discussion	Read pp. 41-43, write IL Plan #2
14	Unit 6: continue, discuss basics of speech Organization	discussion, listening, pair & group work	Read pp. 44-45, read *English Essentials* pp. 23-25
15	Unit 7: “Online Advertising”, Quiz #3 (Units 5 and 6)	test, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #3, read pp. 49-51, use vocabulary in sentences
16	Unit 7: continue, go over Quiz #3 and results, practice conversation	discussion, listening, pair & group work	Read pp. 52-53
17	Unit 8: “Winning at Any Cost”, introduce Presentation #2	reading, pair work, listening, discussion	Read pp. 57-59, use vocabulary in sentences
18	Unit 8: continue, prepare Presentation #2	discussion, listening, pair & group work	Read pp. 60-61, prepare Presentation #2
19	Presentation #2, reflection on IL plan #2	presentation, pair & group work, discussion	Prepare presentation #2, write IL reflection #2
20	Unit 9: “Do You Want to Live Forever?”, Quiz #4 (Units 7 and 8), introduce IL plan #3	test, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #4, read pp. 65-67, use vocabulary in sentences
21	Unit 9: continue, go over Quiz #4 and results, feedback, Presentation #2, discuss IL Plan #3	discussion, listening, pair & group work	Read pp. 68-69, write IL Plan #3
22	Unit 10: “I Lost My Job to a Machine”, practice English conversation	reading, listening, pair work, discussion	Read pp. 73-75, use vocabulary in sentences
23	Unit 10: continue	discussion, listening, pair & group work	Study for Quiz #5, read pp. 76-77
24	Unit 11: “Treatment of Animals”, Quiz #5 (Units 9 and 10)	test, reading, listening, pair work, discussion	Read pp. 81-83, use vocabulary in sentences
25	Unit 11: continue, return Quiz #5 and go over results, reflections on IL Plan #3	discussion, listening, pair & group work	Read pp. 84-85, write IL reflection #3
26	Quiz #6 (Units 11 and 12), prepare Presentation #3	test, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #6, prepare presentation #3
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3	presentation, pair & group work, discussion	Prepare presentation #3, write IL final reflection
28	Presentation #3, feedback Presentation #3, return Quiz #6 and go over results	discussion, pair & group work	Presentation feedback, review, IL plans and reflections

テキスト	C. Brown. *IN FOCUS* Book 1 (Cambridge).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student’s final grade.

科目名	ENG202:　英語IV（11）					担当教員	G. Freddes
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・ For students to acquire critical thinking skills ・ For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・ For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to; recognise and use key phrases and vocabulary from the textbook; express their opinions and ideas in structured paragraphs on the each of the weekly topics; conduct individual research and present their research in two informative presentations; discuss the given topics with other students in an informed manner; and establish and carry out independent learning activities.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	Participation and performance 30% (Active participation in class activities, including discussions and group work, vocabulary quizzes & writing exercises.) Homework 30% (Score on weekly writing tasks that demonstrate awareness and understanding of the topic, correct use of the learnt vocabulary and appropriate paragraph structure submission of two Presentation Self-Evaluation Forms). Assessment: Two Presentations 19% (including evidence of research), vocabulary quizzes 6%, Independent learning 15% (Three (IL) Reports submitted on time, including 10% for taking the end-of-semester TOEIC-IP).						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction, Self-introduction, and Personal goal & Independent Learning (IL) plan.	Course & textbook intro. Pair & group work	Read English Essentials (EE) pp. 6-9; (IL) Plan
2	Lesson 10. Endangered Species vs Diplomacy: Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 67-70
3	Lesson 10. Endangered Species vs Diplomacy: Reading, vocabulary, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 70-73 Weekly writing task
4	Lesson 3. Disease Prevention vs Economic Growth: Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 21-24 Study for Vocab. quiz 1
5	Lesson 3. Disease Prevention vs Economic Growth: Reading, Vocab. quiz 1, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 24-27 Weekly writing task
6	Lesson 4. Extracurricular Activity vs Studying Hard: Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 28-31 Read English Essentials (EE) pp. 26-30
7	Lesson 4. Extracurricular Activity vs Studying Hard: Reading, vocabulary, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 31-33, Weekly writing task; (IL) Report 1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Lesson 5. Traditional Living vs Urbanization: Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 34-37 Study for Vocab. quiz 2
9	Lesson 5. Traditional Living vs Urbanization: Reading, Vocab. quiz 2, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 37-39 Weekly writing task
10	Lesson 6. Fair Trade vs Free Trade: Lesson Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 40-43
11	Lesson 6. Fair Trade vs Free Trade: Reading, vocabulary, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 43-46 Weekly writing task
12	Review of topics & discussion; Preparation for the presentation, script writing	discussion, research for own topic, script writing	Review Prepare for Presentation
13	Presentation 1: Day 1	Presenting, listening, note-taking, Q&A	Submit Presentation 1 Self-Evaluation Form
14	Presentation 1: Day 2	Presenting, listening, note-taking, Q&A	Submit Presentation 1 Self-Evaluation Form
15	Lesson 15. Natural vs Artificial Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 99-102 Study for Vocab. quiz 3
16	Lesson 15. Natural vs Artificial Reading, Vocab. quiz 3, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 102-105 Weekly writing task
17	Lesson 9. Vegetarians vs Meat Eaters Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 60-63 (IL) Report 2
18	Lesson 9. Vegetarians vs Meat Eaters Reading, vocabulary, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 63-66 Weekly writing task
19	Lesson 12. Needed vs Not Needed Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 81-83 Study for Vocab. quiz 4
20	Lesson 12. Needed vs Not Needed Reading, Vocab. quiz 4, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 84-86 Weekly writing task
21	Lesson 13. Traditional vs Innovative Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 87-90
22	Lesson 13. Traditional vs Innovative Reading, vocabulary, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 90-92 Weekly writing task
23	Lesson 14. Climate Change vs Natural Cycle: Listening, brainstorming & discussion	listening, mini-lecture on topic, discussion	Review pp. 93-96 Study for Vocab. quiz 5
24	Lesson 14. Climate Change vs Natural Cycle: Reading, Vocab. quiz 5, grammar check	reading, comprehension check, group discussion	Review pp. 96-98 Weekly writing task
25	Review of textbook topics; Research topic for Presentation 2: Outline, scripting	discussion, research for own topic,	(IL) Report 3; Prepare for script
26	Script writing and Presentation practice	discussion, research for own topic, script writing	Prepare for Presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation 2: Day 1	Presenting, Listening, note-taking, Q&A	Submit Presentation 2 Self-Evaluation Form
28	Presentation 2: Day 2, Course review & wrap up; Course Self-Evaluation	Presenting, Listening, note-taking, Q&A	Submit Presentation 2 Self-Evaluation Form

テキスト	Makoto Shishido, Kevin Murphy, Mariko Takahashi. *AFP World News Report 6* (SEIBIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座 I			担当教員	C. Oliver, 神谷 雅仁, T. Gould, Thomas, M. Lupas, クラーク 美紀
開講期	春	分類	必修		
単位	1	標準受講年次	1 年		

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・ better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・ developing effective study skills and study habits for the exam; ・ learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・ learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher. In addition, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher. *In addition, students will earn 5 bonus points (5 %) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the start of Spring semester.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-14	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ			担当教員	N. Cook, O. Ilina, K. Shimizu
開講期	秋	分類	必修		
単位	1	標準受講年次	1 年		

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・ applying effective study skills and study habits for the exam; ・ increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・ applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher. In addition, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher. *In addition, students will earn 5 bonus points (5 %) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the end of Spring semester.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-14	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（A）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	木 1 限			研究室	4215
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	Through this course, students will be able to do the following: ・to understand various types of texts, especially reading texts; ・to further build vocabulary necessary to understand various types of texts; ・to gain finer points of grammatical knowledge; ・to understand and strengthen strategies to find correct answers by closely examining the tendencies and patterns of questions; and ・to learn effective test-taking strategies. In addition, students should be able to： ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%)
評価基準	・Participation in class: active involvement in class activities. ・Homework: listening and reading exercises in designtaed chapters in the textbook and Book Check on the vocabulary training book to find out one's strengths and weaknesses. ・Quizzes: understanding of vocabulary items learned through the vocabulary training book. ・Assessment: scores of two in-class tests. They test students' understanding of various types of text, of grammar points in the textbook, and of listening and reading strategies learned in the class. ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the start of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; introducing basic TOEIC strategies; Lesson 2: The Internet 動詞	Lecture and do exercises	Read Introduction part and explanations of Ch.2
2	Lesson 2: The Internet 動詞（後半の内容）; Lesson 1: Headhunting 消える音（1）	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 11-16)
3	Lesson 4: Corporate Culture 時制 Lesson 3: Weddings 消える音（2）; voc. quiz ①	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 17-22)
4	Lesson 6: Movies 形容詞 Lesson 5: Music 応答の予測	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 23-28)
5	Lesson 8: Recruiting 名詞 Lesson 7: Sightseeing 1つになる音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 29-34)
6	Lesson 10: Forecasts 分詞構文; Lesson 9: Shopping 音の短縮; review; voc. quiz ②	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 35-40)
7	Review of the first half; in-class test ①; review the test partly	Do the review and take the test	Read the 10 chapters again and prepare for the test
8	Return the test and go over results; Lesson 12: Crime 不定詞; Lesson 11: Customs つながる音(1)	Review the test. Lecture and exercise check	Read explanations and do exercises (pp. 41-46)
9	Lesson 14: Global Matters 動名詞 Lesson 13: New Products つながる音（2）	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 47-52)
10	Lesson 16: Parties 主語と動詞の一致 Lesson 15: Health 無声化する音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 53-58)
11	Lesson 18: Travel 関係詞 Lesson 17: Skiing 有声化する音; voc. quiz ③	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 59-64)
12	Lesson 22: Opportunities 仮定法; Lesson 21: Advertising 音の弱形と強形	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 71-76)
13	Review of the second half; in-class test ②; review the test partly	Do the review and take the test	Read the 10 chapters again and prepare for the test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Voc. quiz ④; return the test and go over results; Course Review	Review the test. Wrap-up of the course	Study for the quiz; prepare for the review of the test

テキスト	・Donald Beaver, Michael Walker, & Kei Mihara. *Navigator for the TOEIC Test*（南雲堂）. ・『TOEIC テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』（ETS 国際ビジネスコミュニケーション協会）
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111:　TOEIC 対策講座Ⅰ（B）					担当教員	クラーク　美紀
開講期	春	開講時限	月 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・ better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・ developing effective study skills and study habits for the exam; ・ learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・ learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of the course students will be able to; ・ describe the basic format of the TOEIC test and question types ・ apply TOEIC test taking strategies ・ comprehend a broad range of vocabulary used in TOEIC ・ demonstrate knowledge of essential grammar used in TOEIC questions ・ establish and achieve personal learning goals In addition, students should be able to： ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	Participation and performance in class activities (25%), Homework and quizzes (30%), Assessment (30%), Independent learning (15%)
評価基準	・ Participation in class: active involvement in class activities and tasks that assign in each class ・ Homework & quizzes: Homework is completed fully by due date plus total scores of vocabulary quizzes ・ Assessment: Score of grammer, listening & reading quizzes (20%), Poster making to demonstrate knowledge about TOEIC test (5%), Self-reflective learning notes (5%) ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the start of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview, Self-introduction and set own learning goal. What is the TOEIC test?	Lecture, Worksheet for Learning goal	Read syllabus and get textbook
2	Unit 4 Traffic & Travel: Vocabulary, Listening & Reading exercises.	Lecture, listening & reading exercises	Complete the learning goal, Review pp.33-41
3	Unit 5 Ordering & Shipping: Listening and Reading exercises. Vocabulary Quiz 1	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Study for Vocabulary Quiz 2, Review pp.28-32
4	Unit 6 Factories & Production: Listening and Reading exercises. Vocabulary Quiz 2	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Study for Vocabulary Quiz 3, Self-reflection 1
5	Unit 7 Research & Development: Listening & Reading exercises. Vocabulary Quiz 3	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Prepare for assignment 1: Poster Study for Vocabulary Quiz 4
6	Unit 9 Employment & Promotion: Listening and Reading exercise, Vocabulary Quiz 4	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Review pp.78-86 Prepare for Big Quiz 1
7	Unit 15 Business & Management: Listening and Reading exercises, Quiz 1	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Study for Vocabulary Quiz 5 Review pp.133-141
8	Return Quiz 1 & go over results Vocabulary Quiz 5	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Study for Vocabulary Quiz 6, Prepare self-reflection 2
9	Unit 10 Advertisements Personnel: Listening and Reading exercises Vocabulary Quiz 6	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Study for Vocabulary Quiz 7, Review pp.96-104
10	Unit 11 Telephone & Messages: Listening and Reading exercises Vocabulary Quiz 7	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Review pp.87-95 Prepare for Big Quiz 2
11	Unit 12 Banking & Finance: Vocabulary, Listening and Reading exercises, Big Quiz 2	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Review pp.105-114 Study for Vocabulary Quiz 8
12	Return Quiz 2 & go over results Reading exercises Vocabulary Quiz 8	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Prepare for Vocabulary Quiz 9, Review pp.115-123
13	Unit 13 Office work & Equipment: Listening and Reading exercises Vocabulary Quiz 9	Quiz, Lecture, listening & reading exercises	Prepare for Vocabulary Quiz 10, Prepare Self-reflection 3
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Unit 14 Housing & Properties: Listening and Reading exercises, Vocabulary Quiz 10, Review	Lecture, listening & reading exercises	Reflection on the course & Self-reflection 3

テキスト	Naoko Osuka, Hisakazu Tsukano, Atsuko Yamamoto & Robert Van Benthuysen. *Essential Approach for The TOEIC L&R Test Revised Edition* (SEIBIDO).
参 考 書	国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』（IiBC）
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（C）					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	木 1 限			研究室	4206
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・ better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・ developing effective study skills and study habits for the exam; ・ learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・ learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	In addition, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester. ・ master over 400 high-frequency TOEIC vocabulary words and phrases. ・ know the names of the different parts of the test and the number of questions in each part. ・ be aware of common strategies for approaching each part of the test. ・ work through and correctly answer past TOEIC questions.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・ Participation in class: responding to the teacher's questions in class, active participation in group work and pair work ・ Homework and quizzes: completion of homework problem sets and vocabulary quizzes ・ Assessment: score on midterm test (10%) and final exam (20%). Both the midterm test and the final exam test the student's knowledge of the TOEIC test format (information about the parts of the test and possible strategies for answering questions in each part) and ability to answer TOEIC-type questions. ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). *In addition, students will earn 5 bonus points if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the start of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course: What are my TOEIC-related goals?	Whole group lecture, group work, pair work	After the class, review the syllabus, do e-learning
2	Listening Parts 1 and 2: Predicting the answer	Whole group lecture, listening, group work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
3	Listening Parts 3 and 4: Skimming	Whole group lecture, group work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
4	Reading Part 7: Scanning the questions	Whole group lecture, in-class reading practice	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
5	Reading parts 5 and 6: S-V agreement	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
6	Midterm Test; Listening parts 1 and 2	test, whole group lecture	review for the test
7	Listening Parts 3 and 4: Being aware of the same word distractors	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
8	Reading Part 7: Using context to answer vocab. questions; Return and go over the midterm test	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
9	Listening Parts 1 and 2: Time and location structures	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
10	Listening Parts 3 and 4: Becoming familiar with re-statements	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
11	Reading Part 7: Answering “NOT” questions	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
12	Reading parts 5 and 6: Verb tenses, prepositions	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
13	Reading Part 7: Questions with charts and tables	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	Reading parts 5 and 6: Conjunctions, adverbs, pronouns	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes in Moodle

テキスト	①T. 加藤『TOEIC L&R Test 出る単特急 金のフレーズ』（Asahi Shimbun） ②『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4』（2018, IIBC）
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（D）					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	木 1 限			研究室	4211
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・ better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・ developing effective study skills and study habits for the exam; ・ learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・ learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	At the end of this course, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester; ・ improve their knowledge of the features of TOEIC test; ・ improve their knowledge of vocabulary and grammar to answer correctly in TOEIC test; ・ learn more test taking strategies for TOEIC test; ・ improve their ability to comprehend the main ideas of a paragraph in TOEIC test; ・ complete TOEIC related tasks in time during test.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%)
評価基準	To be distributed at the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies.	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Travel: TOEIC vocabulary, 'Wh' questions, TOEIC phrase and collocation	Lecture, pair work, reading	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 1
3	Unit 2 Dining out: TOEIC vocabulary, questions using 'where', understanding long sentences	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 2
4	Unit 3 Media: TOEIC vocabulary, questions using 'when', TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Unit 4 Entertainment: TOEIC vocabulary, part 1 activities of persons, questions using 'why'	Lecture, pair work, reading, Assessment 1	Prepare for Assessment 1, do listening exercises in Unit 4
6	Unit 5 Purchasing: TOEIC vocabulary, position of persons, TOEIC phrases and collocation	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 5
7	Unit 6 Clients: TOEIC vocabulary, use of how often, how long, how many etc.	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 6
8	Unit 7 Recruiting: TOEIC vocabulary, TOEIC conversations, TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do all listening exercises in Unit 7
9	Unit 8 Personnel: TOEIC vocabulary, Yes / No questions, return Assessment 1 and go over results	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 8
10	Unit 9 Advertising: TOEIC vocabulary, TOEIC phrases & collocations, comparison	Lecture, pair work, reading, Assessment 2	Prepare for Assessment 2, do listening exercises in Unit 9
11	Unit 10 Meetings: TOEIC vocabulary, use of preposition	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 10
12	Unit 11 Finance: TOEIC vocabulary, negative question	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 11
13	Unit 12 Offices: TOEIC vocabulary, use of pronoun, return Assessment 2 and go over results	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 12
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Unit 13 Daily life, TOEIC vocabulary, conclusion, feedback	Lecture, pair work, reading, discussion	Prepare for feedback

テキスト	Koji Hayakawa, Nobuko Nakamura, Naoyuki Bamba, and Ken Suzuki. *The High Road to the TOEIC Listening and Reading Test* (Kinseido).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（E）					担当教員	T. Gould
開講期	春	開講時限	月 1 限			研究室	4209
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・ better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・ developing effective study skills and study habits for the exam; ・ learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・ learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student should be able to demonstrate knowledge of the vocabulary we have studied, identify and define various question types on the TOEIC test, and describe the strategies for succeeding on the TOEIC that have been covered. In addition, students should be able to： ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・ Participation in class: Attend to lectures and be ready to answer questions concerning the issue at hand; pair-work and peer-checking: display best effort in providing constructive feedback to partner. ・ Homework and quizzes: complete on time and answer content and inference questions correctly. ・ Assessment: correctly answer test questions by applying knowledge and strategies learned in class. ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the start of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the TOEIC Test; Q&A, purpose, usage, score analysis, and strategies	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Read TFTT pages 4-8
2	Listening test part 1: photographs; nouns and verbs; key vocabulary; using the picture to predict what you will hear; describing movement	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 9-16
3	Listening test part 2: question-response; requests; thinking about meaning and avoiding common distractors; tag questions	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 17-22
4	Listening test part 3: conversations; offers and suggestions; using content words to predict what you will hear; paraphrasing	Take test; Short lecture, pair-work, peer-checking, Prob. Solving	Complete exercises in TFTT pages 23-30
5	Listening test part 4: talks; announcements; using content words to predict what you will hear; *who* and *where* questions	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 31-38
6	Reading test part 5: incomplete sentences; talking about the future; managing your time effectively - the two-pass method	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 39-45
7	Reading test part 6: text completion; parts of speech; using your time wisely; identifying the correct part of speech	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 46-55
8	Reading test part 7: reading comprehension; answering the easy questions first; answering specific information questions	Take test; Short lecture, pair-work, peer-checking	Complete exercises in TFTT pages 56-65
9	Listening test part 1: photographs; present tenses; avoiding common distractors; prepositions of place	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 66-72
10	Listening test part 2: question-response; questions with indirect answers; listening for question words and past / present / future time	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 73-79
11	Parts 3 & 4; Expressing opinions; using the 40-second rule; voicemails and recorded messages *when, why,* and *how* questions	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 80-93
12	Parts 5 & 6; Infinitive and gerund forms after verbs; linking words; using prefixes to guess meaning; dependent prepositions	Take test; Short lecture, pair-work, peer-checking	Complete exercises in TFTT pages 94-111
13	Part 7; Answering main idea questions and inference questions; answering connecting information questions; answering *not* questions	Short lecture, pair-work, peer-checking, Problem solving	Complete exercises in TFTT pages 112-117
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Strategy review	Pair and group work, Problem solving	Various sections of Oxford Intro to TOEIC

テキスト	Grant Trew. *Tactics for the TOEIC Test: Listening and Reading Test Introductory Course* (Oxford University Press).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（F）					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	月 2 限			研究室	4205
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・ better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・ developing effective study skills and study habits for the exam; ・ learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・ learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	Through taking this course, students should be able to: ・ demonstrate solid knowledge of features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.); ・ demonstate understanding of skills and strategies covered in class; ・ use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions; ・ effectively pace themselves on the Reading section, especially Part 7; ・ better understand and make improvements to their own study habits. In addition, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・ Participation in class: active involvement in everyday class activities ・ Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; reflects understanding of and effort to improve study habits ・ Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・ Assessment (two tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the start of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation to the course; textbook organization; explanation of Study Goals sheet	lecture; pair / small-group work	Get textbook; download all mp3 files; review pp. vi, 1-12
2	Part 1 (Photographs)	lecture; pair work; in-class listening practice	Complete Study Goals sheet; review syllabus; review pp. 15-29
3	Part 2 (Question-Response); explanation of Study Diary	lecture; pair work; in-class listening practice	Complete Model Test homework (Part 1); review pp. 30-37
4	Part 3 (Conversations)	lecture; pair work; in-class listening practice	Complete Model Test homework (Parts 1, 2, 7); complete Study Diary; review pp. 38-57
5	Part 4 (Talks)	lecture; pair work; in-class listening practice	Complete Model Test homework (Parts 1, 2, 3, 7); review pp. 58-75
6	Part 7 (Reading Comprehension); PSRA strategy and time management (pacing)	lecture; pair work; in-class reading practice	Complete Model Test homework (Parts 2, 3, 4, 7); review pp. 166-184
7	Review; Test #1	test; lecture; pair / small-group work	Complete Model Test homework (Part 3, 4, 7); complete Pacing Yourself sheet; study for test
8	Part 5 (Incomplete Sentences) – Skills 1-6	lecture; pair work; in-class reading practice	Complete Model Test homework (Parts 4, 7); review pp. 105-119
9	Part 5 (Incomplete Sentences) – Skills 7-12; return Test #1 and go over results	lecture; pair work; in-class reading practice	Complete Model Test homework (Parts 5, 7); review pp. 120-131
10	Part 6 (Text Completion) – Skills 1-7	lecture; pair work; in-class reading practice	Complete Model Test homework (Parts 5, 7); review pp. 132-147
11	Part 6 (Text Completion) – Skills 8-13	lecture; pair work; in-class reading practice	Complete Model Test homework (Parts 5, 6, 7); review pp. 148-165
12	Part 7 (Reading Comprehension); pacing practice with Part 7	lecture; pair work; in-class reading practice	Complete Model Test homework (Parts 6, 7); review again pp. 166-184
13	Test #2; explanation of Summer Break Study Plan	test; lecture; pair / small-group work	Complete Model Test homework (Parts 6, 7); study for test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return Test #2 and go over results; Summer Break Study Plan follow-up	lecture; pair / small-group work	Complete Summer Break Study Plan

テキスト	Lin Lougheed. *Barron's TOEIC 9th Edition* (Barron's).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ（A）					担当教員	K. Shimizu
開講期	秋	開講時限	火 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	By the end of this course, students will be able to deepen the knowledge of English grammar, acquire specific vocabulary used in TOEIC, know the characteristics of Part 1 ~ Part 7 of TOEIC, and strategies to take the TOEIC test. They will understand the similarities between listening Part 4 and reading Part 7, including the respective characteristic sentence structure in various topics in Part 7 single, double, and triple passages. In addition, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
到達目標（学修成果）	Participation in class (25%), Homework and quizzes (30%), Assessment (30%), Independent learning (15%): study using e-learning (15%)
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%)
評価基準	＊ Participation in class: preparing exercises in the text, and through the discussion finding out why answers were incorrect. ＊ Homework and quizzes: submitting assignments on time and answering vocabulary quizzes correctly. ＊ Test evaluation: scoring 100%-60% on each test of the two tests. ＊ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the end of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, basic strategies of TOEIC (Introduction Unit)	Explain the course, practice test	Read syllabus and purchase textbook. Preview Introduction
2	Review Test Structure Unit 1: Daily Life	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Introduction Unit Preview Unit 1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	Unit 2: Shopping	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 1, Preview Unit 2
4	Vocabulary Quiz Unit 3: Parties and Events	Vocabulary Quiz, exercises, vocabulary & grammar	Study for vocabulary quiz, review Unit 2; preview Unit 3
5	Unit 4: Traffic and Travel	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 3; preview Unit 4
6	Vocabulary Quiz Unit 5: Office Work	Vocabulary Quiz, exercises, vocabulary & grammar	Study for vocabulary quiz, review Unit 4; preview Unit 5
7	Unit 6: Marketing and ICT	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 5 and preview Unit 6
8	Vocabulary Quiz and Review Test 1	Tests	Study for vocabulary quiz and review Units 1-6 for the test
9	Test Feedback Unit 7: Production and Logistics	Return exam and go over results; lecture, exercises	Preview Unit 7
10	Unit 8: Employment	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 7 and preview Unit 8
11	Vocabulary Quiz Unit 9: Personnel	Vocabulary Quiz, exercises, vocabulary & grammar	Study for vocabulary quiz; review Unit 8 and preview Unit 9
12	Unit 10: Business	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 9 and preview Unit 10
13	Review Test 2	Test	Review Units 7-10 for the test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Test Feedback Course Wrap-up and Evaluation	Return exam and go over results; Course evaluation.	Nothing in particular.

テキスト	Masako Yasumaru, Akiko Watanabe, Noriko Sunagawa, Akiko Takamori, Yasushi Totoki, Andrew Zitzman. *Seize the Keys of the TOEIC L&R Test* (Kinseido).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ（B）					担当教員	K. Shimizu
開講期	秋	開講時限	金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	By the end of this course, students will be able to deepen the knowledge of English grammar, acquire specific vocabulary used in TOEIC, know the characteristics of Part 1 ~ Part 7 of TOEIC, and strategies to take the TOEIC test. They will understand the similarities between listening Part 4 and reading Part 7, including the respective characteristic sentence structure in various topics in Part 7 single, double, and triple passages. In addition, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
到達目標（学修成果）	Participation in class (25%), Homework and quizzes (30%), Assessment (30%), Independent learning (15%): study using e-learning (15%)
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%)
評価基準	＊ Participation in class: preparing exercises in the text, and through the discussion finding out why answers were incorrect. ＊ Homework and quizzes: submitting assignments on time and answering vocabulary quizzes correctly. ＊ Test evaluation: scoring 100%-60% on each test of the two tests. ＊ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the end of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, basic strategies of TOEIC (Introduction Unit)	Explain the course, practice test	Read syllabus and purchase textbook. Preview Introduction
2	Review Test Structure Unit 1: Daily Life	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Introduction Unit Preview Unit 1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	Unit 2: Shopping	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 1, Preview Unit 2
4	Vocabulary Quiz Unit 3: Parties and Events	Vocabulary Quiz, exercises, vocabulary & grammar	Study for vocabulary quiz, review Unit 2; preview Unit 3
5	Unit 4: Traffic and Travel	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 3; preview Unit 4
6	Vocabulary Quiz Unit 5: Office Work	Vocabulary Quiz, exercises, vocabulary & grammar	Study for vocabulary quiz, review Unit 4; preview Unit 5
7	Unit 6: Marketing and ICT	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 5 and preview Unit 6
8	Vocabulary Quiz and Review Test 1	Test	Study for vocabulary quiz and review Units 1-6 for the test
9	Test Feedback Unit 7: Production and Logistics	Return exam and go over results; lecture, exercises	Preview Unit 7
10	Unit 8: Employment	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 7 and preview Unit 8
11	Vocabulary Quiz Unit 9: Personnel	Vocabulary Quiz, exercises, vocabulary & grammar	Study for vocabulary quiz; review Unit 8 and preview Unit 9
12	Unit 10: Business	Lecture, exercises, grammar and vocabulary practice	Review Unit 9 and preview Unit 10
13	Review Test 2	Test	Review Units 7-10 for the test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Test Feedback Course Wrap-up and Evaluation	Return exam and go over results; Course evaluation	Nothing in particular.

テキスト	Masako Yasumaru, Akiko Watanabe, Noriko Sunagawa, Akiko Takamori, Yasushi Totoki, Andrew Zitzman. *Seize the Keys of the TOEIC L&R Test* (Kinseido).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ（C）					担当教員	N. Cook
開講期	秋	開講時限	火 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・ applying effective study skills and study habits for the exam; ・ increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・ applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to: ・ demonstrate knowledge of TOEIC test features (test sections, question types, etc.) ・ implement skills and strategies learned in class to correctly answer Listening and Reading questions on the TOEIC test ・ pace themselves efficiently when studying and taking the Reading section In addition, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%)
評価基準	・ Participation in class: Participation in group discussions and pair work ・ Homework and quizzes: Come to class having completed homework assignments that will prepare students for pair and group tasks in the classroom. ・ Assessment: A listening test in Session 6 and a reading test in Session 13 ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the end of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions; Unit 1: Using the Photo; Unit 2: Meaning of Factual Questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Preview textbook; Do Unit 1: Part C (p.12)
2	Unit 3: Skimming Before Listening; Unit 4: Skimming Before Listening	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 3: Part C (pp.18-19) Do Unit 4: Part C (p.23)
3	Unit 8: Listening for the Correct Verb; Unit 9: Different Ways of Answering	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 8: Part C (p.48) Do Unit 9: Part C (p.51)
4	Unit 10: Same Word Distractors Unit 11: Different kinds of “What” Questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 10: Part C (p.56) Do Unit 11: Part C (p.60)
5	Unit 15: Listening carefully to Every Detail; Unit 16: Time and Location Structures	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 15: Part C (p.87) Do Unit 16: Part C (p.90)
6	Listening Test Unit 5: Identifying Part of Speech; Using Time	Lecture, individual, pair, group tasks, test review	Review Listening Units Do Unit 5: Part C (p.27)
7	Return and go over Listening Test; Unit 6: Using Context to Choose Correct Verb	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 6: Part C (p.35)
8	Unit 7: Scanning Questions to Decide Unit 12: Gerunds, Infinitives, and Phrasal Verbs	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 7: Part C (p.43) Do Unit 12: Part C (p.65)
9	Unit 13: Adjectives and Verbs Unit 14: Context to Answer Vocab Questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 13: Part C (p.73) Do Unit 14: Part C (p.82)
10	Unit 19: Suffixes and Prefixes Unit 20: Verb Form: Future, Perfect	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 19: Part C (p.103) Do Unit 20: Part C (p.111)
11	Unit 21: Answering “NOT” Questions Unit 26: Improving Knowledge of Pronouns	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 21: Part C (p.120) Do Unit 26: Part C (p.141)
12	Unit 27: Prepositions and Conjunctions Unit 28: Charts, Tables, Forms and . . .	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 27: Part C (p.149) Do Unit 28: Part C (p.160)
13	Reading Test Course Review and Discussion	Test	Review reading units of textbook
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return and go over Reading Test; Course Review and Self-Study Suggestions	Lecture, group discussion	Review textbook

テキスト	G. Trew. *Tactics for TOEIC Listening and Reading Test* (Oxford U Press).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ（D）					担当教員	N. Cook
開講期	秋	開講時限	金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・ applying effective study skills and study habits for the exam; ・ increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・ applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to: ・ demonstrate knowledge of TOEIC test features (test sections, question types, etc.) ・ implement skills and strategies learned in class to correctly answer Listening and Reading questions on the TOEIC test ・ pace themselves efficiently when studying and taking the Reading section In addition, students should be able to: ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%)
評価基準	・ Participation in class: Participation in group discussions and pair work ・ Homework and quizzes: Come to class having completed homework assignments that will prepare students for pair and group tasks in the classroom. ・ Assessment: A listening test in Session 6 and a reading test in Session 13 ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the end of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions; Unit 1: Using the Photo; Unit 2: Meaning of Factual Questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Preview textbook; Do Unit 1: Part C (p.12)
2	Unit 3: Skimming Before Listening; Unit 4: Skimming Before Listening	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 3: Part C (pp.18-19) Do Unit 4: Part C (p.23)
3	Unit 8: Listening for the Correct Verb; Unit 9: Different Ways of Answering	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 8: Part C (p.48) Do Unit 9: Part C (p.51)
4	Unit 10: Same Word Distractors Unit 11: Different kinds of “What” Questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 10: Part C (p.56) Do Unit 11: Part C (p.60)
5	Unit 15: Listening carefully to Every Detail; Unit 16: Time and Location Structures	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 15: Part C (p.87) Do Unit 16: Part C (p.90)
6	Listening Test Unit 5: Identifying Part of Speech; Using Time	Lecture, individual, pair, group tasks, test review	Review Listening Units Do Unit 5: Part C (p.27)
7	Return and go over Listening Test; Unit 6: Using Context to Choose Correct Verb	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 6: Part C (p.35)
8	Unit 7: Scanning Questions to Decide Unit 12: Gerunds, Infinitives, and Phrasal Verbs	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 7: Part C (p.43) Do Unit 12: Part C (p.65)
9	Unit 13: Adjectives and Verbs Unit 14: Context to Answer Vocab Questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 13: Part C (p.73) Do Unit 14: Part C (p.82)
10	Unit 19: Suffixes and Prefixes Unit 20: Verb Form: Future, Perfect	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 19: Part C (p.103) Do Unit 20: Part C (p.111)
11	Unit 21: Answering “NOT” Questions Unit 26: Improving Knowledge of Pronouns	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 21: Part C (p.120) Do Unit 26: Part C (p.141)
12	Unit 27: Prepositions and Conjunctions Unit 28: Charts, Tables, Forms and . . .	Lecture, individual, pair, group tasks	Do Unit 27: Part C (p.149) Do Unit 28: Part C (p.160)
13	Reading Test Course Review and Discussion	Test	Review reading units of textbook
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return and go over Reading Test; Course Review and Self-Study Suggestions	Lecture, group discussion	Review textbook

テキスト	G. Trew. *Tactics for TOEIC Listening and Reading Test* (Oxford U Press).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ（E）					担当教員	O. Ilina
開講期	秋	開講時限	火 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・ applying effective study skills and study habits for the exam; ・ increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・ applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	・ demonstrate solid knowledge of features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.); ・ demonstrate understanding of skills and strategies covered in class; ・ use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions; ・ effectively pace themselves on the Reading section; ・ better understand and make improvements to their own study habits. In addition, students should be able to： ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%)
評価基準	・ Participation in class: active involvement in everyday class activities ・ Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; reflects understanding of and effort to improve study habits ・ Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・ Assessment (four tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the end of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, Introduction Unit 1 Career: Listening and Reading section.	Talk about the course, lecture, exercise	Do exercises: Unit 1 (pp. 9-16)
2	Vocabulary quiz Unit 2 Workplaces: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 2 (pp. 17-24)
3	Vocabulary quiz Unit 3 Communications: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 3 (pp. 25-32)
4	Test #1 Unit 1-3 Unit 4 Retailing: Listening and Reading s.	Test, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 4 (pp. 39-46)
5	Vocabulary quiz Unit 5 Industry: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 5 (pp. 47-54)
6	Return Test #1 go over results Unit 6 Trade: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 6 (pp. 55-62)
7	Test #2 Unit 4-6 Unit 7 Leisure: Vocabulary, Listening section.	Test, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
8	Return test #2 go over results Unit 7 Leisure: Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
9	Vocabulary quiz Unit 8 Money: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 8 (pp. 77-84)
10	Vocabulary quiz Unit 9 Travel: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 9 (pp. 85-92)
11	Test #3 Unit 7-9 Unit 10 Environment: Listening and Reading s.	Test, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 10 (pp. 99-106)
12	Return Test #3 go over results Unit 11 Health: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 11 (pp. 107-114)
13	Unit 12 Society: Vocabulary, Listening section. Test #4 Unit 10-12	Test, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 12 (pp. 115-122)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Vocabulary quiz; Unit 12 Society: Reading section; Return Test #4 go over results	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do ex-s: Unit 12 (pp. 115-122)

テキスト	Charles Talkott, Graham Tullis. *Target Score A Communicative Course for TOEIC Test preparation* (2nd edition) (Cambridge).
参 考 書	松本茂『速読速聴・英単語 Core1900 ver.5』（Z-Kai）
履修条件、前提科目	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ（F）					担当教員	O. Ilina
開講期	秋	開講時限	金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・ learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・ applying effective study skills and study habits for the exam; ・ increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・ applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	・ demonstrate solid knowledge of features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.); ・ demonstrate understanding of skills and strategies covered in class; ・ use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions; ・ effectively pace themselves on the Reading section; ・ better understand and make improvements to their own study habits. In addition, students should be able to： ・ manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・ increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・ Participation in class (25%) ・ Homework and quizzes (30%) ・ Assessment (30%) ・ Independent learning (15%)
評価基準	・ Participation in class: active involvement in everyday class activities ・ Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; reflects understanding of and effort to improve study habits ・ Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・ Assessment (four tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the end of Spring semester.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, Introduction Unit 1 Career: Listening and Reading section.	Talk about the course, lecture, exercise	Do exercises: Unit 1 (pp. 9-16)
2	Vocabulary quiz Unit 2 Workplaces: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 2 (pp. 17-24)
3	Vocabulary quiz Unit 3 Communications: Listening and Reading.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 3 (pp. 25-32)
4	Test #1 Unit 1-3 Unit 4 Retailing: Listening and Reading section.	Test, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 4 (pp. 39-46)
5	Vocabulary quiz Unit 5 Industry: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 5 (pp. 47-54)
6	Return Test #1 and go over results Unit 6 Trade: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 6 (pp. 55-62)
7	Test #2 Unit 4-6 Unit 7 Leisure: Vocabulary, Listening section.	Test, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
8	Return test #2 and go over results Unit 7 Leisure: Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
9	Vocabulary quiz Unit 8 Money: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 8 (pp. 77-84)
10	Vocabulary quiz Unit 9 Travel: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 9 (pp. 85-92)
11	Test #3 Unit 7-9 Unit 10 Environment: Listening and Reading s.	Test, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 10 (pp. 99-106)
12	Return Test #3 and go over results; Unit 11 Health: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 11 (pp. 107-114)
13	Unit 12 Society: Vocabulary, Listening section. Test #4 Unit 10-12	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 12 (pp. 115-122)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return test #4 and go over results; Vocabulary quiz; Unit 12 Society: Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do ex-s: Unit 12 (pp. 115-122)

テキスト	Charles Talkott, Graham Tullis. *Target Score A Communicative Course for TOEIC Test preparation* (2nd edition) (Cambridge).
参 考 書	松本茂『速読速聴・英単語 Core1900 ver.5』（Z-Kai）
履修条件、前提科目	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG121:　基礎英語スキルズ（生活の英語）					担当教員	小林　美文
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	日常生活　自己表現　発信力　スピーキング　ライティング
授業の概要	大学生の日常生活に頻出する内容を英語で理解する力・伝える力を育成します。具体的には、① 英語圏での日常生活を想定した教科書を使用し、身近な内容で英語力を伸ばします。② 日常生活の場面ごとに、英語の 4 技能（読む・書く・聴く・話す）を総合的に伸ばす課題に取り組みます。③ 多様な課題に取り組むことで、英語の重要表現の理解、定着を図ります。
達成目標（授業の目的）	教科書の内容や講義、ディスカッションを通して、日常生活にどのような場面があるか理解を深め、インプット課題（読む・聴く）で日常生活を過ごす中で必要とされる語句や表現を把握し、アウトプット課題（書く・話す）に取り組み、語彙力、表現力、発信力を育成します。その過程で語句や表現だけでなく文法についても学び、理解力を強化します。
到達目標（学修成果）	①　日常生活の様々な場面を理解できる。 ②　それぞれの場面でよく使われる英語の表現を理解できる。 ③　日常生活で使う表現を含む短い会話や文章を聴いたり、読んだりできる。 ④　学んだ表現や文法を使い英語を運用できる（スピーチ・発表、メール・手紙作成等）。 ⑤　学んだ語彙を日常生活の様々な場面に適切に使用できる。
評価方法	積極的な授業参加（25%）各ユニット課題（25%） ミニスピーチ（10%）プレゼンテーション（10%）スピーキングテスト（2 回実施）（30%）
評価基準	積極的な授業参加：練習問題やディスカッションに積極的に取り組む姿勢、指示を理解し自分の考えを表現する自発的な姿勢を評価する。 各ユニット課題：授業で学んだ内容を的確に理解し解答を作成しているかを評価する。 ミニスピーチ、プレゼンテーション：ガイドライン（トピック等）を守っているか、学修内容を理解した上で原稿や提示資料を準備し、スピーチ（プレゼン）しているかを評価する。 スピーキングテスト：学期の中間・期末に実施。学んだトピックに対する理解力、表現力を評価する。
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	シラバス説明 アイスブレイキング	講義　演習　ディスカッション	シラバス, Unit 1, pp. 100-101 を読む
2	Classroom Expressions pp. 100-101 Unit 1 Introducing Yourself pp. 9-12	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 2 を読む
3	Unit 1 Introducing Yourself pp. 13-14 Unit 2 A Geography Lesson pp. 15-16	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習
4	Unit 2 A Geography Lesson pp. 17-20	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 配布資料を読む
5	配布資料 People's Appearance	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 4 を読む
6	Unit 4 People pp. 27-30	講義　演習　グループワーク	*English Essentials (EE)* Unit 2 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4 People pp. 31-32 ミニスピーチ説明、準備	講義　演習　グループワーク	ミニスピーチ原稿を提出 Unit 5 を読む
8	ミニスピーチ（友達の紹介） Unit 5 House Rules pp. 33-36	講義　スピーチ　グループワーク	ミニスピーチ振り返り Unit 6 を読む
9	Unit 5 House Rules pp. 37-38 Unit 6 Orientation pp. 39-41	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習
10	Unit 6 Orientation pp. 42-44	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 7 を読む
11	Unit 7 First Lesson Day pp. 45-48	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 8 を読む
12	Unit 7 First Lesson Day pp. 49-50 Unit 8 Activities and Trips pp. 51-53	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習
13	Unit 8 Activities and Trips pp. 54-56 スピーキングテストの説明、準備	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 スピーキングテスト準備
14	中間スピーキングテスト	講義　演習　グループワーク	スピーキングテスト振り返り Unit 9 を読む
15	Unit 9 Housework pp. 57-60	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 10 を読む
16	Unit 9 Housework pp. 61-62 Unit 10 Food and Drink pp. 63-65	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習
17	Unit 10 Food and Drink pp. 66-68	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 11 を読む
18	Unit 11 Money and Shopping pp. 69-72	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習
19	Unit 11 Money and Shopping pp. 73-74 Unit 12 Safety on Campus pp. 75-77	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 12 を読む
20	Unit 12 Safety on Campus pp. 78-80	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 13 を読む
21	Unit 13 Talking about Your Hometown pp. 81-84	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 *EE* Unit 3 を読む
22	Unit 13 Talking about Your Hometown pp. 85-86　プレゼンテーション課題説明	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 *EE* Unit 4 を読む
23	効果的なプレゼンテーションの方法 プレゼンテーション準備	講義　演習　ディスカッション	プレゼンテーション原稿、 パワーポイントを提出する
24	プレゼンテーション（My Hometown） Unit 14 Information pp. 87-89	講義　プレゼンテーション　グループワーク	プレゼンテーション振り返り Unit 14 を読む
25	Unit 14 Information pp. 90-92	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 Unit 15 を読む
26	Unit 15 Talking about future hopes and plans pp. 95-98　スピーキングテスト説明	講義　演習　グループワーク	既習内容の復習 スピーキングテスト準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末スピーキングテスト	講義　演習　グループワーク	スピーキングテスト振り返り
28	学期のまとめ、振り返り 生活に必要な英語とは	講義　演習　ディスカッション	学期の振り返り

テキスト	Ready for Takeoff! 短期留学・語学研修で学ぶ英語コミュニケーション（金星堂）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG121:　基礎英語スキルズ（生活の英語）					担当教員	A. Goli
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Daily life English, oral communication skill, written communication, conversation strategies, idioms
授業の概要	This course aims at expanding on the students' current English ability to improve their English communication proficiency for daily life. Based on situations that the students experience in daily life, they will, first, brainstorm, share their opinions on communication strategies, and learn English vocabulary, idioms, and other communication strategies. Then, they will engage in practicing English through situational dialogues and discussions to build and expand their English oral communication proficiency. The students will also practice and build their written communication ability to deal with daily communication in English that requires writing. In addition to brainstorming and conversation practices, course activities will include research, presentations, homework, and assignments conducted individually or cooperatively in pairs or groups.
達成目標（授業の目的）	This course is designed to engage students in meaningful conversations and enhance their English communication proficiency. It will help students develop communication strategies, learn idioms and vocabulary, use English grammar effectively to express themselves, negotiate meaning, and communicate confidently and effectively in English in a variety of daily life communication situations.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, the students should be able to: ・ Have knowledge of practical conversation strategies ・ Have adequate vocabulary and knowledge of idioms and expressions for daily communication ・ Use well-structured sentences, idioms, and expression orally and in writing ・ Engage confidently in English conversations and discussions ・ Negotiate meaning effectively to reach communication goals both orally and in writing ・ Plan, write, and deliver presentations in English with confidence
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (20%); Testing and assessment, such as in-class tests, and final presentation (40%); Independent learning (10%).
評価基準	・ Participation: active involvement, effort to communicate in English ・ Homework: completed before class, evidence of effort ・ Testing: accuracy of answers in vocabulary and idiom quizzes, ability to express thoughts and ideas logically and use target vocabulary accurately in writing and oral tests. ・ Written assignments (reports): submitted on time, use of language, breadth of research ・ Presentations and discussion: preparation, presentation structure, delivery, use of language, breadth of research, topic knowledge ・ Independent learning: done both in and outside class, evidence of effort
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Class guidelines, self-introduction, ice-breaking Unit 1: Describing oneself and others	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Prepare self-introduction Preview Unit 1
2	Unit 1: Describing oneself and others	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 1
3	Unit 2: Going out to eat; study vocabulary and phrases	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 2
4	Unit 2: Going out to eat; role-plays and discussions	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 2
5	Unit 3: Shopping; study vocabulary and phrases	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 3
6	Unit 3: Shopping; role-plays and discussions	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4 & 5: Planning a day out / a trip; study vocabulary and phrases	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 4 & 5
8	Unit 4 & 5: Planning a day out / a trip; role-plays and discussions	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 4 & 5
9	Review Units 1 – 4 for speaking test	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Units 1 – 4 Submit writing assignment
10	Speaking Test on units 1 – 4	Speaking proficiency assessment	Study Units 1 – 4 for test
11	Unit 6 & 7: Hotel guest / World traveler; study vocabulary and phrases	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 6 & 7
12	Unit 6 & 7: Hotel guest / World traveler; role-plays; Go over results of speaking test	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 6 & 7
13	Unit 8: Living with others; study vocabulary and phrases	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 8
14	Unit 8: Living with others; role-plays Go over results of assignment	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 8
15	Unit 9: Job hunting; study vocabulary and phrases	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 9
16	Unit 9: Job hunting; role-plays and discussions	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 9
17	Unit 10: Giving good advice; study vocabulary and phrases	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 10
18	Unit 10: Giving good advice; role-plays and discussions	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 10
19	Review units 6 – 10 for speaking test	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Units 6 – 10 Submit writing assignment
20	Speaking test on units 6 – 10	Speaking proficiency assessment	Study Units 6 – 10 for test
21	Unit 11: Solving world problems; Presentations: the introduction	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 11
22	Unit 11: Solving world problems; Presentation: the conclusion; Go over results of speaking test	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 11
23	Unit 13: Older people in your life; Presentations: the body; Go over results of assignment	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Preview Unit 13
24	Unit 13: Older people in your life Presentation delivery: dos and don’ts	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Review Unit 13
25	Review for final presentations	Lecture, role-play, phrase and vocabulary building	Complete presentation slides
26	Presentations – part 1	Presentations	Rehearse presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentations – part 2	Presentations	Rehearse presentation
28	Go over results of presentations Feedback on course	Feedback; advice	Prepare feedback on course

テキスト	Eric Bray. *Starting Off with Role Play and Discussion* (NAN'UN-DO).
参 考 書	Additional handouts to assist vocabulary building, presentation preparations, and writing activities will also be posted on Moodle.

科目名	ENG123:　基礎英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	クラーク　美紀
開講期	春	開講時限	月木２限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-③
キーワード	英文法、語彙、パラグラフ、エッセイ、実践						
授業の概要	テキストを元に、英作文に必要な要素、文法、パラグラフの構造を学び、それらを応用しながら自分の意図、目的、状況にあった文章を作成する演習を繰り返すことで、明確に他者と意思疎通がはかれる英作文能力を習得することを目指す。						
達成目標（授業の目的）	アカデミックライティングとしてのパラグラフライティングについて段階的に学び、その基本構造を理解するとともに、正確に文章表現ができる基礎的な文法を習得することにより、論理的に自分の主張を表現することを目指す。日常あるいは職場においてなど実践的な場面で使われる手紙文、メール文、広告、連絡文などの基本的なフォーマットや状況に必要な語彙を学び、英作文の演習を通じて、メッセージを正確に伝達できる力を養う。						
到達目標（学修成果）	パラグラフライティングの基本構造を習得し、論理的かつ簡潔なショートエッセイ、レポートを作成できる。 自分の英作文を客観的に分析し、より効果的な文作成のために校正ができる。 実践的な状況設定に応じた、適切かつ簡潔な伝達文を英語で作成できる。						
評価方法	積極的な授業参加（30%）準備、宿題課題の提出（30%）英作文課題（4 つのライティング課題　各 10%×4＝40%）						
評価基準	積極的な授業参加：授業内でのペア、グループワークへの積極的な取り組みや自発的な学習をしているか。授業内での練習、演習について積極的に取り組み、習得しようと努力をしているか。 準備、宿題課題の提出：準備、宿題課題など提示された提出期限までに完成させているか、その内容の充実度は適切かどうか。 英作文課題：学修した内容を応用し、論理的に意図を伝達できる英作文を書くことを目指しているか。課題のエッセイ、レポートなどライティングアサイメントの得点は「評価表」を元につけられる。（評価表の詳細について授業第 1 日目に説明予定）						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, Self-introduction, My goal	Course introduction Group work	Read syllabus, Complete ‘My goal & action plan’
2	Short diagnostic essay writing Ch.1: The organization of paragraphs	Writing task, Lecture, discussion	Review pp. 2-10
3	Ch.1: The organization of paragraphs (Structure and Mechanics)	Writing task, Lecture, discussion	Review pp. 11-16
4	Ch.2: Characteristics of good writing (Vocabulary Builder & Writing focus)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 17-27
5	Ch.2: Characteristics of good writing (Structure and Mechanics)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 27-29
6	Ch.3: The writing process (The writing process, adverbial clauses & Error analysis)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 30-44

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Review of Ch.1-3 / Assignment 1: Self evaluation on own diagnostic writing & rewrite	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 45-46 Preparation for Assignment 1
8	Ch.4: From paragraph to essay (Expanding the Paragraph & Using Transitions)	Writing task, Lecture, discussion	Review pp. 46-57
9	Ch.5: The thesis statement (The thesis statement & Parts of thesis statement)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 64-71
10	Ch.5: The thesis statement (Prepositional Phrases)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 71-75
11	Ch.6: The introductory paragraph (Types of Introductory paragraphs)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 76-82
12	Ch.8: Body paragraphs (Concrete support & Topic sentences in the body paragraph)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 97-104
13	Ch.8: Body paragraphs (Structure and mechanics, punctuation)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 104-108
14	Ch.7: The concluding paragraph (Parts of concluding paragraph)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 87-96 Preparation for Assignment 2
15	Review of Ch.4-8, Bring it all together, Assignment 2: Essay writing	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 109-111 Preparation for Assignment 2
16	Analyzing a various writing format: Business letter, writing practice	Writing task, peer review, pair work	Review the format of business letters
17	Analyzing a various writing format: Emails, writing practice	Writing task, peer review, pair work	Review of the format of business emails
18	Analyzing a various writing format: Advertisement, writing practice	Writing task, peer review, pair work	Review of characteristics of advertisement writing
19	Analyzing a various writing format: Newspaper notices, writing practice	Writing task, peer review, pair work	Review of Newspaper short articles or notifications
20	Ch.9: Process (Chronological connectors) Assignment 3: Business letter	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 114-121 Preparation for Assignment 3
21	Ch.9: Process (Reviewing comma use)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 122-126
22	Ch.10: Classification (Paragraph support in the classification essay)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 127-136
23	Ch.10: Classification (Connectors of example and Consequence)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 137-141
24	Ch.11: Persuasion Persuasion & Ordering of arguments	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 142-150
25	Ch.11: Persuasion (Connectors of argumentation)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 151-154
26	Ch.12: Comparison and Contrast Assignment 4: Short essay (persuasion)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 155-164 Preparation for Assignment 4
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Ch.12: Comparison and Contrast (Connectors of comparison and contrast)	Lecture, pair work, Writing task	Review pp. 164-169
28	Reflection on the Course / Self-evaluation	Reflection on the course, Self-evaluation	

テキスト	Cynthia A. Boardman, Jia Frydenberg. *Writing to Communicate Paragraphs and Essays third edition* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* Mark Petersen『ピーターセンの英文ライティング特別講義 40』（旺文社）

科目名	ENG123: 基礎英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4203
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	ライティング、文法構文、言語活動、英語表現力
授業の概要	アカデミックライティング力の土台を固めるため、英語表現力につながるような文法構文上のエッセンシャルな項目に絞って文法の総復習を行いながら、リスニング、リーディングおよびスピーキング活動を経てライティング活動につなげる。英語表現の型を身につけ、読み手を意識した明快で論理的な文章を作成することを目指す。ライティング課題は、学生による相互添削、相互評価を経て校正されたものを評価の対象として提出する。
達成目標（授業の目的）	アカデミックライティング力の土台を固める。文法構文上のエッセンシャルな項目について文法の総復習を行い、英語表現の型を身につける。読み手を意識した明快で論理的な文章を作成することを目指す。4 技能をバランスよく使いながらライティング課題の完成へとつなげる。課題の相互添削、相互評価を行い、自分の学びを客観的に分析し言語化する。
到達目標（学修成果）	学生は、この授業を通してアカデミックライティング力の土台を固める。文法の総復習を行い、文法構文上のエッセンシャルな項目について理解できるようになる。基本的な英語表現の型を身につけ、読み手を意識した明快で論理的な文章を作成できるようになる。4 技能をバランスよく使いながらライティングを行う自主学習、自立学習の手法を体得する。クラスメイトと相互添削、相互評価を行い、自分の学びを客観的に分析し言語化できるようになる。
評価方法	①積極的な授業参加と相互校正・フィードバックへの貢献（30%） ②ライティング課題（50%） ③リフレクションペーパー（20%）
評価基準	①授業内でのグループワークやディスカッションに積極的かつ主体的に取り組み、相互校正とフィードバックを的確に行い、クラスメイトのライティング力向上に貢献しているか。 ②学習した内容を踏まえて、読み手を意識した明快で論理的な文章を書くことを目指してライティング課題に取り組み、期日を守っての課題提出ができているか。 ③学習した内容を踏まえ、自分の学びを客観的に分析し言語化できているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Overview of course and textbook Intro to Unit 1 前置詞	lecture, group work, discussion, peer feedback	Read syllabus Preview textbook Unit 1
2	Unit 1 前置詞	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 2
3	Unit 2 現在の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 2
4	Unit 2 現在の表現（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 3
5	Unit 3 過去の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 3
6	Unit 3 過去の表現（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 4
7	Unit 4 未来の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 4

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4 未来の表現（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 5
9	Unit 5 現在完了の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 5
10	Unit 5 現在完了の表現（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 6
11	Unit 5（review）& Unit 6 受動態構文を使った表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 6 & 7
12	Unit 6（2）& Unit 7 話し手の態度の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 7 & 8
13	Unit 7（2）& Unit 8 不定詞を使った表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 8 & 9
14	Unit 8（2）& Unit 9 動名詞を使った表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 9
15	Unit 9 動名詞を使った表現（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 10
16	Unit 10 話し手の態度の表現（2-1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 10
17	Unit 10 話し手の態度の表現（2-2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 11
18	Unit 11 不定詞を使った表現（2-1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 11
19	Unit 11 不定詞を使った表現（2-2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 12
20	Unit 12 時・条件の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 12
21	Unit 12 時・条件の表現（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 13
22	Unit 13 理由・逆接・対立の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 13
23	Unit 13 理由・逆接・対立の表現（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 14
24	Unit 14 比較の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 14 & 15
25	Unit 14（2）& 15 関係詞節の表現（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Preview Unit 15
26	Unit 15 関係詞節の表現（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Review textbook Unit 1 ~ 15
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 1 ~ 15 review（1）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Review textbook & own work
28	Unit 1 ~ 15 review（2）	lecture, group work, discussion, peer feedback	Writing assignment Review textbook & own work

テキスト	S. Tanaka, Y. Sato. *Write Now -Share Your Ideas in English* (National Geographic Learning).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	ライティングに先立つ英語表現活動としてスピーキング活動を盛り込む。課題及びリフレクションを毎回課す。授業時の積極的な参加と活発な発信、期日厳守での課題提出が必須。

科目名	ENG124: 基礎英語スキルズ（リーディング・語彙）					担当教員	石原　久子
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	基本 5 文型、文章構造と展開の理解、語彙・慣用表現、分析的思考力
授業の概要	様々なテーマの文章を読みながら、英語の 4 技能（読む・書く・聴く・話す）の基礎固めをします。文法事項や慣用表現を確認しつつ、文章の構造と全体の展開を理解します。英文読解に効果的なストラテジーを身につけると同時に、英文を読む楽しさを味わいます。語彙を増やすためのアクティビティも行い、英語表現の豊かさを理解し、英語の発信力として役立てられるようにします。
達成目標（授業の目的）	総合的英語力に必要不可欠な文法事項の約束事を整理して理解し、あらゆる種類の文章読解に応用できる基礎力を育成します。個々の文章を正しく分析して理解するだけにとどまらず、段落内の展開、段落と段落とのつながりを的確に把握できるようにします。そして、全体を俯瞰的にとらえて正しく分析し、内容を理解できるようにします。語彙の数を増やして、実践的に活用できるようにします。これらにより、英検（準 2 級、2 級）、TOEIC、TOEFL、IELTS などの、各種英語能力試験に自信を持って臨める学力を身につけます。
到達目標（学修成果）	・文法の約束事を理解した上で、文章内容を理解できる。 ・文章の構造を理解して分析できる。（分析的思考力） ・初めて読む文章でも文脈から語句の意味を推測でき、大意を把握できる。（分析的思考力） ・扱ったトピックについて、自分なりの見解を、自分の言葉で発表できる。 ・語彙の数を増やして、様々な場面に応じて適切に使用できる。
評価方法	①積極的な授業参加（20%） ②語彙（30%） ③授業内提出物（50%）
評価基準	①授業内での質疑応答や練習問題に積極的に取り組み、自発的に考える姿勢を示したか。 ②指定した単語の使われ方を理解した上で、正しいスペリングで書いているか。 ③授業で学んだ（インプットした）内容［新出語句、慣用表現、文法事項、文章構造、キーワード、段落の展開］について、適切な分析と正しい理解に基づいて、適切に記述（アウトプット）をしているか。筆者の主張を正しく理解した上で、自分なりの見解を自分の言葉で論理的に述べているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業方針の説明と確認 語彙を増やす方法	講義	配布資料復習
2	多文化の国、英国（基礎編）	講義および演習	読解 pp.6-8 予習と復習
3	多文化の国、英国（発展編）	講義および演習	読解 pp.9-11 予習と復習 語彙 pp.4-5 予習と復習
4	イギリス式庭園（基礎編）	講義および演習	読解 pp.13-15 予習と復習
5	イギリス式庭園（発展編）	講義および演習	読解 pp.16-18 予習と復習 語彙 pp.8-9 予習と復習
6	英国王室（基礎編）	講義および演習	読解 pp.20-22 予習と復習
7	英国王室（発展編）	講義および演習	読解 pp.23-25 予習と復習 語彙 pp.12-13 予習と復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	英国の教育（基礎編）	講義および演習	読解 pp.27-29 予習と復習
9	英国の教育（発展編）	講義および演習	読解 pp.30-32 予習と復習 語彙 pp.16-17 予習と復習
10	英国の食事事情（基礎編）	講義および演習	読解 pp.34-36 予習と復習
11	英国の食事事情（発展編）	講義および演習	読解 pp.37-39 予習と復習 語彙 pp.20-21 予習と復習
12	健康と医療システム（基礎編）	講義および演習	読解 pp.41-43 予習と復習
13	健康と医療システム（発展編）	講義および演習	読解 pp.44-46 予習と復習 語彙 pp.24-25 予習と復習
14	音楽とファッション（基礎編）	講義および演習	読解 pp.48-50 予習と復習
15	音楽とファッション（発展編）	講義および演習	読解 pp.51-53 予習と復習 語彙 pp.28-29 予習と復習
16	観光事業（基礎編）	講義および演習	読解 pp.55-57 予習と復習
17	観光事業（発展編）	講義および演習	読解 pp.58-60 予習と復習 語彙 pp.32-33 予習と復習
18	ポスト・ブレグジット（基礎編）	講義および演習	読解 pp.62-64 予習と復習
19	ポスト・ブレグジット（発展編）	講義および演習	読解 pp.65-67 予習と復習 語彙 pp.36-37 予習と復習
20	レジャーとスポーツ（基礎編）	講義および演習	読解 pp.69-71 予習と復習
21	レジャーとスポーツ（発展編）	講義および演習	読解 pp.72-74 予習と復習 語彙 pp.40-41 予習と復習
22	大英帝国（基礎編）	講義および演習	読解 pp.76-78 予習と復習
23	大英帝国（発展編）	講義および演習	読解 pp.79-81 予習と復習 語彙 pp.44-45 予習と復習
24	英国のメディア（基礎編）	講義および演習	読解 pp.83-85 予習と復習
25	英国のメディア（発展編）	講義および演習	読解 pp.86-88 予習と復習 語彙 pp.48-49 予習と復習
26	神様と犬（基礎編）	講義および演習	読解 pp.97-99 予習と復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	神様と犬（発展編）	講義および演習	読解 pp.100-102 予習と復習 語彙 pp.52-53 予習と復習
28	半期の振り返りとまとめ	講義	配布資料復習

テキスト	James C. House, 三好道子（共著）. *Modern Britain: Culture, Society and History*（松柏社）. 西谷恒志、マイケル・シャワティ（共著）. *TOEIC TEST コア 300 Words*（鶴見書店）.
参 考 書	奥タカユキ（編著）『総合英語エバーグリーン』（いいずな書店） 藤田英時『「シンデレラ」を観るだけで英語の基本が身につく DVD ブック』（アスコム）
その他 特記事項	授業には辞書（電子辞書を推奨）を携帯して受講してください。 提出物（宿題など）の遅れ提出は 0 点扱いとなりますので、注意してください。

科目名	ENG125:　基礎英語スキルズ（旅行の英語）					担当教員	小金沢　裕美子
開講期	春	開講時限	月木２限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Travel, tourism, hospitality, itinerary, reservation, flight, accommodation
授業の概要	In this course, students will explore English through two lenses- that of an international traveler, and that of a tourism industry professional. Both roles increasingly demand a level of proficiency in English. This course is useful for students who are considering work in the travel industry, are thinking about studying abroad or are dreaming about their next international vacation.
達成目標（授業の目的）	The learning goals of this course are for students 1. to increase their confidence and ability to negotiate travel related matters in English, 2. to think about the Japanese spirit of hospitality and 3. to create a unique and feasible trip itinerary to present to peers in English.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will increase their travel related vocabulary, improve their listening skills, be able to read and discuss articles and documents typical in the tourism industry, and present research findings related to travel topics, destinations and interests. Students will demonstrate their mastery by performing weekly role-play activities as well as group presentations, and by completing 8 vocabulary quizzes, Midterm speaking test and in class written test.
評価方法	Participation and performance in classroom activities incl. homework assignment (20%) Vocabulary quizzes (20%) Midterm speaking test (20%) Test of content and vocabulary (20%) Final group presentation (20%)
評価基準	Participation and performance (Class activities: Active participation, Homework assignment: Timely completion of assignments), Vocabulary quizzes (Correct use of key vocabulary studied), Speaking test (Display adequate understanding of topic), Test of content and vocabulary (Correct answers demonstrating knowledge of course content using correct grammar and newly acquired vocabulary), Group presentation (Appropriate topics, well prepared, organized and cooperated.)
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Teacher introduction, review course materials and goals, talk about your travel experiences	Lecture, discussion	Be ready to share a good or bad travel experience you have had.
2	Unit 1: Recommending a tour Tour information (listening section)	Discussion, listening, dialogue, vocabulary	Study vocabulary and useful expressions (p.11) before class.
3	Unit 1: Recommending a tour Tour information (reading section)	Reading discussion, role play	Complete Topic reading 1 (p.15) Study for Vocabulary quiz 1.
4	Vocabulary quiz 1, Unit 2: Taking a tour booking (listening section)	Quiz, quiz feedback, discussion, listening	Complete Travel Further (p.22) study (p.21).
5	Unit 2: Taking a tour booking (reading section)	Reading, discussion, role play	Complete Topic reading (p.22) Study for Vocabulary quiz 2.
6	Vocabulary quiz 2, Unit 3: Escorting a tour (listening section)	Quiz, quiz feedback, discussion, listening	Complete Traveling Further (p.28) study (p.27).
7	Unit 3: Escorting a tour (reading section)	Reading, discussion, role play	Complete Topic reading (p.28) Study for Vocabulary quiz 3.
8	Vocabulary quiz 3, Unit 4: Welcoming international tourists (listening section)	Quiz, quiz feedback, discussion, listening	Warm-up (p.29) study (p.30).
9	Unit 4: Welcoming international tourists (reading section)	Reading, discussion, role play	Complete Topic reading (p.34) Study for Vocabulary quiz 4.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Vocabulary quiz 4, Unit 5: Taking an airline reservation	Quiz, quiz feedback, discussion, listening	Complete Traveling Further (p.40) study (p.39).
11	DVD: Where do I get the bus?	DVD, listening, role play	Study for Vocabulary quiz 5.
12	Vocabulary quiz 5, Unit 6: Giving flight information (listening section)	Quiz, quiz feedback, listening, discussion	Study role play cards for Midterm speaking test.
13	Unit 6: Giving flight information (reading section)	Discussion, listening, role play	Study role play cards for Midterm speaking test.
14	Review Units 1-6, practice for speaking test	Reading, listening, role play	Practice with your partner for Midterm speaking test.
15	Review and Midterm speaking test (role play exam using role play cards)	Discussion, role play, feedback	Complete the worksheet regarding an airline company.
16	Unit 13: Helping guests	Discussion, listening, vocabulary, reading	Read the handout (Kurobe).
17	Vocabulary quiz 6, Handout: Kurobe alpine route, creating a trip itinerary	Quiz, quiz feedback, reading, discussion	Study for vocabulary quiz 6, start planning for presentation.
18	Unit 7: Helping passengers check in (listening section)	Reading, role play, discussion	Continue planning, Study (p.51).
19	Lesson 7: Helping passengers check in (reading section)	Reading, listening, Vocabulary	Continue planning.
20	Vocabulary quiz 7, Handout: giving a presentation	Quiz, quiz feedback, discussion, speech	Study for Vocabulary quiz 7, start making a poster or PPT.
21	Handout: giving a presentation, group presentation rehearsals	Reading aloud, presentation	Get ready for the group presentation.
22	Group presentations: A 2 nights- 3 days trip itinerary, Wring a Season's greeting card	Presentations, listening, writing	Complete the reflection sheet.
23	Handout: Holidays in the world Unit 9: Offering in-flight services	Discussion, listening, reading	Study p.63, 64.
24	Unit 9: Offering in-flight services (reading section)	Reading, role play, discussion	Study for Vocabulary quiz 8.
25	Vocabulary quiz 8, Unit 10: Giving CIQ information	Quiz, quiz feedback, reading, role play	Complete Topic reading (p.69).
26	Unit 15: Sending guests off	Listening, role play, reading	Study for the written test.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	In class written test, review and assessment of content and vocabulary	Reading, speaking, written test	Complete the reflection sheet.
28	Return test and go over results, class reflection	Discussion, self-evaluation, goal setting	Read the handout.

テキスト	Reiko Fujita. *English for Tourism Professionals* (National Geographic Learning).
その他 特記事項	There are a lot of opportunities to work with classmates, and students' cooperative attitude is necessary.

科目名	ENG150:　標準英語スキルズ（職場の英語）					担当教員	N. Cook
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Business English, email writing, presentation skills
授業の概要	This course will prepare students to use English in a variety of workplace environments including office, retail, hospitality, and the tourism industry. Students will also explore cultural differences in workplace etiquette and language use.
達成目標（授業の目的）	・ Make students aware of the differences between formal and informal registers of English (business English vs. conversational English) ・ Provide students with practice writing professional e-mails ・ Learn and practice business presentation techniques
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to express their ideas in a professional manner in both speaking and writing, communicate effectively across cultures, and learn essential presentation skills.
評価方法	Presentations (30%), Writing Tasks (mock emails) (30%), Participation (20%), Homework (20%)
評価基準	**Presentations:** Two presentations will be given. Grades will be based on business appropriate physical and vocal delivery. **Writing Tasks:** Two mock email tests will be done in-class. Grades will be based on appropriateness and proper use of professional language. **Participation:** Grades will be based on active participation in group discussions and activities. **Homework:** Grades will be based on thorough effort to complete assigned tasks.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions; Textbook Unit 1 (Discussion & Vocabulary)	Self-introductions; Discussion, textbook	Read syllabus; Textbook Unit 1: Vocab A, D-F.
2	Textbook Unit 1 (Language Review); Applications & Interviews	Discussion, group work, lecture	Textbook Unit 1: Reading (p.8), Lang. Rev. A-B
3	Textbook Unit 2; (Discussion & Vocabulary) Business English I: Correspondence	Discussion, group work, lecture	Textbook Unit 2: Vocab B-C; Reading articles 1-2
4	Textbook Unit 2 (Language Review); Business English I: E-mail	Discussion, group work, lecture	Unit 2: Language Review
5	Textbook Unit 3 (Discussion & Vocabulary); Business English II: Interactions	Discussion, group work, lecture	Unit 3: Vocab. A-B; Reading Article
6	Textbook Unit 3 (Language Review); Business English II: Meetings	Discussion, group work, lecture	Unit 3: Lang. Review
7	Textbook Unit 4 (Discussion & Vocabulary); Working Across Cultures #1	Discussion, group work, lecture	Unit 4: Vocab. A-B; Reading Articles 1-3
8	Textbook Unit 4 (Language Review); Unit A Revision	Discussion, group work, lecture	Unit 4: Lang. Review Unit A Revision pp.32-33
9	Textbook Unit 5 (Discussion & Vocabulary); Business English III A: Presentation Practice	Discussion, group work, lecture	Unit 5: Vocab. A-C
10	Textbook Unit 5 (Language Review); Business English III B: Presentations in groups	Easy presentation Discussion, group work	Unit 5: Lang. Review A 1-minute Speech

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	Business English IIIC: Presentations Assessment Textbook Unit 6 (Discussion & Vocabulary)	Textbook group work; Presentations (graded)	Presentation Day 1; Unit 6: Reading passage (p.55)
12	Business English IIIC: Presentations continued; Textbook Unit 6 continued	Textbook group work; Presentations (graded)	Presentation Day 2; Unit 6: Language Review
13	Textbook Unit 7 (Discussion & Vocabulary); Midterm Assessment: Email Response (in-class)	Textbook group Work; Writing assessment	Unit 7: Vocab A-B
14	Textbook Unit 7 (Language Review); Working Across Cultures #2; Unit B Revision	Discussion, group work, lecture	Articles (p.69); Lang Rev. A-B; Unit B Revision: (pp.62-63)
15	Textbook Unit 8 (Discussion & Vocabulary); Service Industry English	Discussion, group work, lecture	Unit 8: Vocab A & C
16	Textbook Unit 8 (Language Review) Service Industry English continued	Discussion, group work, lecture	Unit 8: Read article (p.77), Lang. Review A-C
17	Textbook Unit 9 (Discussion & Vocabulary); Hospitality Industry English	Discussion, group work, lecture	Unit 9: Vocab A-C
18	Textbook Unit 9 (Language Review); Hospitality Industry English continued	Discussion, group work, lecture	Unit 9: Read Article, Language Review A-C
19	Working Across Cultures #3; Textbook Unit 10 (Discussion & Vocabulary)	Discussion, group work, lecture	Unit 10: Vocab A, C, & D
20	Textbook Unit 10 (Language Review); Unit C Revision	Discussion, group work, lecture	Unit 10: Article; Lang. Rev. A-B; Unit C Revision pp.92-93
21	Textbook Unit 11 (Discussion & Vocabulary); Tourism Industry English	Discussion, group work, lecture	Unit 11: Vocab A, C, & D
22	Textbook Unit 11 (Language Review); Tourism Industry English continued	Discussion, group work, lecture	Unit 11: Read article; Lang. Review A, B, & D
23	Textbook Unit 12 (Discussion & Vocabulary); Presentation Review & Assignment	Discussion, group work, lecture	Unit 12: Vocab A, B, & F
24	Textbook Unit 12 (Language Review); Presentation Assignment	Discussion, group work, lecture	Unit 12: Read article; Lang. Rev A&B; Presentation rough draft
25	Final Presentations: Day 1; E-mail Response Assessment (in-class)	Final Presentation; Writing assessment	Presentation
26	Final Presentations: Day 2; Working Across Cultures #4	Final Presentation; Textbook group work	Presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit D Revision	Discussion, group work, lecture	Unit D Revision pp.122-123
28	Course Review and Reflection activities	Discussion; group work	Review textbook and assignments

テキスト	David Cotton, David Falvey, Simon Kent. *Market Leader Pre-intermediate* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG160:　標準英語スキルズ（メディアの英語）					担当教員	小金沢　裕美子
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Newspapers, Headlines, Television, New Media, Current topics, Critical thinking
授業の概要	This course will help students acquire knowledge of English in key areas of the media. The focus of the course will be on different types of media, including the radio, TV, the newspaper, magazines and the Internet. Students will be expected to follow news stories, report them, critically analyze them and make comments.
達成目標（授業の目的）	The learning goals of this course are for students 1. to be familiar with the most-discussed topics around the world, 2. to acquire specific vocabulary used in the media, 3. to demonstrate their ability to critically analyze the news stories.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will develop a habit of following news and will be able to give a 2-minute presentation summarizing a topic in the news and giving their own opinion about it using suitable vocabulary. They will be able to separate facts from opinions and express their own ideas. They will be able to take a critical approach to reported news by participating in discussion of current topics and actively asking questions.
評価方法	Participation and performances in classroom activities incl. Homework assignment (10%); Mini presentation (10%); Vocabulary quizzes (20%); Mid-term speaking test (20%); Test of content and vocabulary (20%); Final group presentation (20%).
評価基準	Participation and performance (Class activities: Active participation, Homework assignment: Timely completion of assignments), Mini presentation (Display adequate understanding of topic), Vocabulary quizzes (Correct use of key vocabulary studied), Speaking test (Display adequate understanding of topic), Test of content and vocabulary (Correct answers demonstrating knowledge of course content using correct grammar and newly acquired vocabulary), Group presentation (Appropriate topics, well prepared, organized and cooperated.)
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course. Self-introductions and the textbook overview.	Self-introductions, group work, writing	Prepare a brief news story that you are interested in.
2	Unit 1: Don’t freeze English education reform.	Reading discussion, vocabulary, listening	Read and complete pp.2-7.
3	Unit 1: Don’t freeze English education reform. (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 1.
4	Vocabulary quiz 1, Unit 2: News outlets are uncertain about the nation’s future.	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.8-13.
5	Unit 2: News outlets are uncertain about the nation’s future. (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 2.
6	Vocabulary quiz 2, Unit 3: Saving the fire victims who cannot flee: Australia’s koalas.	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.14-19.
7	Unit 3: Saving the fire victims who cannot flee: Australia’s koalas. (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 3.
8	Vocabulary quiz 3, Unit 4: Beware the posh boy’s hollow self-confidence.	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.20-25.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unit 4: Beware the posh boy's hollow self-confidence. (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 4.
10	Vocabulary quiz 4, Unit 5: The price of recycling old laptops: Toxic fumes in Thailand's lungs.	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.26-31.
11	Unit 5: The price of recycling old laptops. (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 5.
12	Vocabulary quiz 5, Unit 6: Why are some people so much more infectious than others?	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.32-37.
13	Unit 6: Why are some people so much more infectious than others? (presentation)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 6.
14	Vocabulary quiz 6, review Units 1-6, practice for speaking test	Quiz, quiz feedback, discussion, group work	Practice a speech for Midterm speaking test.
15	Review and Midterm speaking test.	Speech, peer-feedback, group work	Complete a review worksheet.
16	Unit 7: What's essential?	Reading discussion, vocabulary, listening	Read and complete pp.38-43.
17	Unit 7: What's essential? (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 7.
18	Vocabulary quiz 7, Unit 8: The laid foundation for a wireless society.	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.44-49.
19	Unit 8: The laid foundation for a wireless society. (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 8.
20	Vocabulary quiz 8, Unit 9: Saudi society is changing.	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.50-55.
21	Unit 9: Saudi society is changing. (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 9.
22	Vocabulary quiz 9, Unit 10: An immigrant influx that a wall won't deter.	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.56-61.
23	Unit 10: An immigrant influx that a wall won't deter. (supplementary materials)	DVD, discussion, presentation	Prepare to present a summary. Study for Voc. quiz 10.
24	Vocabulary quiz 10, Unit 15: The great escape.	Quiz, quiz feedback, reading discussion	Read and complete pp.86-91. Practice a presentation.
25	Final group presentation Day 1	Presentation, writing, feedback	Complete a review sheet.
26	Final group presentation Day 2	Presentation, writing, feedback	Complete a review sheet.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Review and assessment of content and vocabulary.	Review, speaking, written test	Complete the reflection sheet.
28	Return test and go over results, class reflection.	Discussion, self-evaluation, goal setting	Read the handout.

テキスト	高橋優身、他『15 Selected Units of English through the News Media –2021 Edition– 15 章版：ニュースメディアの英語 2021 年度版』（朝日出版社）
その他特記事項	There are a lot of opportunities to work with classmates, and students' cooperative attitude is necessary.

科目名	ENG160: 標準英語スキルズ（メディアの英語）					担当教員	仲沢　淳子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-③
キーワード	ニュース、英字新聞、ヘッドライン、SNS、TV、広告						
授業の概要	国内外の様々な分野のニュースに触れることによりメディア英語の特徴を理解し、必要な情報を読み取る練習を行う。各章ごとに語彙の復習を行い、関連語句や派生語なども併せて学習することにより効率的に語彙知識を増やす。また、グループワークやディスカッションを通じて自分の考えや意見を伝える練習を行う。						
達成目標（授業の目的）	基礎的な文法力・語彙力・語彙の類推力、及びメディア・リテラシーを身につけ、英字新聞やインターネット上の英語記事を抵抗なく読めるようにすることを目的とする。また、他者との協同作業やディスカッションを通じて視野を広げ、受信力・発信力を培うことを目的とする。						
到達目標（学修成果）	・英語で書かれた記事の概要を、ポイントを押さえながら読み取ることができる。 ・メディアで頻出度の高い語彙を中心に語彙力をつけ、新出の語彙に出会った際も辞書無しに文脈からある程度の意味を推測できる。 ・様々な話題について、自らの意見を他者に分かりやすく伝えることができる。						
評価方法	①授業への積極的参加：20% ②リアクション・ペーパー：30% ③宿題・課題の提出：50%						
評価基準	①必要な準備をした上で、グループワークに積極的に取り組んでいるか。 ②授業を通して学んだことや気づきを、主観的・客観的な視点から言語化できているか。 ③指示に合った適切な内容で成されているか。						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	メディア英語の特徴について	講義、グループワーク、リア・ペ	復習：ポイントの整理
2	Ch.1: Global Competition in the Sky	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.11-16 復習：語彙の復習
3	Vocabulary Review Ch.2: Library on Wheels	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.17-22 復習：語彙の復習
4	Vocabulary Review Ch.3: English Subtitles Help Foreign Residents	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.23-28 復習：語彙の復習
5	紙媒体のメディア：英字新聞①	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：p.4, 6 復習：語彙の復習
6	Vocabulary Review Ch.4: Olympic Pride	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.29-34 復習：語彙の復習
7	Vocabulary Review Ch.5: The Big Business of Water	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.35-40 復習：語彙の復習
8	Vocabulary Review Ch.6: Evacuation Shelters for Pets	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.41-46 復習：語彙の復習
9	紙媒体のメディア：英字新聞②	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：p.4, 6 復習：語彙の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Vocabulary Review Ch.7: How to Live a Zero-Waste Lifestyle	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.47-52 復習：語彙の復習
11	Vocabulary Review Ch.8: Home Is Where the Heart Is	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.53-58 復習：語彙の復習
12	Vocabulary Review Ch.9: Loss of Ice Increases Global Temperatures	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.59-64 復習：語彙の復習
13	紙媒体のメディア：英字新聞③	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：p.4, 6 復習：語彙の復習
14	Vocabulary Review Ch.10: The Historic Red-Planet Mission	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.65-70 復習：語彙の復習
15	Vocabulary Review Ch.11: More Layers Make You Feel Cooler	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.71-76 復習：語彙の復習
16	Vocabulary Review Ch.12: Impossible May Be Possible	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.77-82 復習：語彙の復習
17	オンライン版のメディア：英語記事、広告①	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：p.5, 6 復習：語彙の復習
18	Vocabulary Review Ch.13: No Teens Allowed	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.83-88 復習：語彙の復習
19	Vocabulary Review Ch.14: The Truth about the Deer in Nara	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.89-94 復習：語彙の復習
20	Vocabulary Review Ch.15: Looking for a Microcosmic World	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.95-100 復習：語彙の復習
21	オンライン版のメディア：英語記事、広告②	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：p.5, 6 復習：語彙の復習
22	Vocabulary Review Ch.16: Physical Ability of Teens in Japan	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.101-106 復習：語彙の復習
23	Vocabulary Review Ch.17: We Still Don’t Have Choices	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.107-112 復習：語彙の復習
24	Vocabulary Review Ch.18: Urban Farming in Singapore	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.113-118 復習：語彙の復習
25	オンライン版のメディア：英語記事、広告③	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：p.5, 6 復習：語彙の復習
26	Vocabulary Review Ch.19: The Power of Design Creates a …	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.119-124 復習：語彙の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Vocabulary Review Ch.20: A New Dream Found in Kyoto	講義、練習問題、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.125-130 復習：語彙の復習
28	まとめ・振り返り	講義、グループワーク、リア・ペ	復習：全体の復習

テキスト	Junko Murao, Akiko Miyama, Tomoko Tsujimoto, Kana Yokoyama, Ashley Moore. *INSIGHTS 2022* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG159: 標準英語スキルズ（パブリックスピーキング）					担当教員	M. Tasseron
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-③
キーワード	public speaking, presentation skills, listening skills, critical thinking, discussions						
授業の概要	In this semester we are going to be focusing on developing your presentation skills to prepare you to give confident academic presentations in English. The content of the course will include issues of importance to people living in Japan and those that are relevant to the international context.						
達成目標（授業の目的）	For students to acquire abilities to give presentations in English For students to acquire abilities to use presentation software For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of the course students will learn to give presentations in English confidently about a range of topics, including social issues. By learning about a number of these social issues, students will learn how to engage critically with them, and make presentations about possible solutions to the problems facing society. You will also be expected to provide feedback about your classmates' presentations and to give them suggestions for improving.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (20%); Presentations (35%); Independent learning (15%).						
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Journals: 10 topics of 100 words each). *Presentations*: Mid-term presentation (5 minutes); Final presentation (5-8 minutes) *Independent learning*: Vocabulary notebook & weekly learning plans (Write 10 new or interesting words per week, write a paragraph about your study plans:10 entries)						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, discuss course outline and objectives, prepare introductory presentation	Lecture, pair & group discussions	Preview course materials and prepare vocabulary & learning notebook
2	Introductory presentations *English Essentials*: Developing a presentation	Lecture, individual presentations	Write journal 1 (J1) and study plan (SP) 1
3	Introductory presentations Submit J1 & SP, presentation feedback	Lecture, individual, presentations	Plan J2, study plan & lesson vocabulary review
4	Presentation 1 Video: TED talk (Black: A Yo-Yo Story)	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 1, write J2 and study plan 2
5	Presentation 1 Choosing a topic, submit J2 & SP2	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 1, plan J3 and study plan
6	Presentation 1 *English Essentials*: Incorporating visuals	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 1, write J3 and study plan 3
7	Presentation 1 Video: Effective presentations, submit J3 & SP3	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 1
8	Presentation 1 *English Essentials*: Being a good presenter	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Presentation 1 Presentation practice & peer feedback (pairs)	Lecture, individual & pair discussions	Plan presentation 1, plan J4 and study plan 4
10	Presentation 1 Presentation practice & peer feedback (groups)	Lecture, individual & group discussions	Plan presentation 1, write J4 and study plan 4
11	Presentation 1 Submit presentation slides, submit J4 & SP4	Lecture, individual & pair discussions	Plan presentation 1
12	Presentation 1 Peer evaluation	Individual presentations	Plan presentation 1, plan J5 and study plan 5
13	Presentation 1 Peer evaluation	Individual presentations	Plan presentation 1, write J5 and study plan 5
14	Presentation 1 Peer evaluation, feedback, submit J5 & SP5	Individual presentations, pair & group discussions	Review presentation skills studied thus far in the semester
15	Presentation 2 Choosing a topic	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 2, plan J6 and study plan 6
16	Presentation 2 Video: TED Hans Rosling	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 2, write J6 and study plan 6
17	Presentation 2 Finalize presentation topic, submit J6 & SP6	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 2
18	Presentation 2 *English Essentials*: Designing effective visuals	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 2, plan J7 and study plan 7
19	Presentation 2 *English Essentials*: Researching your topic	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 2, write J7 and study plan 7
20	Presentation 2 *English Essentials*: Referencing; submit J7 & SP	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 2
21	Presentation 2 Skills review (organization, structure, timing)	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 2, plan J8 and study plan 8
22	Presentation 2 Skills review (voice, visuals)	Lecture, pair & group discussions	Plan presentation 2, write J8 and study plan 8
23	Presentation 2 Practice & peer feedback (pairs), submit J8 & SP	Lecture, individual & pair discussions	Plan presentation 2, plan J9 and study plan 9
24	Presentation 2 Presentation practice & peer feedback (groups)	Lecture, individual & group discussions	Plan presentation 2, write J9 and study plan 9
25	Presentation 2 Submit slides, submit J9 & SP, pres. practice	Lecture, individual & pair discussions	Plan presentation 2, plan J10 and study plan 10
26	Presentation 2 & evaluation	Individual presentations	Plan presentation 2, write J10 and study plan
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation 2 & evaluation submit J10 & SP	Individual presentations	Plan presentation 2
28	Presentation 2 & evaluation Peer evaluation, teacher feedback	Individual presentations, pair & group discussions	Review presentation skills studied during the semester

テキスト	No textbook. Links to online videos will be posted on Moodle. Additional files for preparing and assessing presentations will be distributed through Moodle.
参 考 書	*English essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG158: 標準英語スキルズ（ディスカッション）					担当教員	O. Ilina
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	discussion skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	Social issues in Japan and in the world: Facing a global community In this course we will explore the challenges facing the modern world and Japan. We will discuss global trends and issues in the global community, touch on today's current agenda, and try to understand Japan's place and role in the global community.
達成目標（授業の目的）	・For students to take part in meaningful conversations and acquire spark critical thinking skills ・For students to organize their thinking, examine other points of view and draw richer understanding from the topics read and written ・For students to develop confidence and may acquire logical and critical thinking skills.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various topics related to the theme "Facing a global community", use problem/solution thinking when expressing their views on these issues; do short speeches about common topics; utilize problem/solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one's time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, group discussions, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem/solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a "preview" in Introduction, organization, delivery, problem/solution thinking; Independent learning (IL) completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course / Friends, modern popular culture (textbook Unit 1)	Explanation by instructor, pair-work, discussion, listening	Review Unit 1 textbook content
2	Short oral presentations (popular culture); Modern popular culture (suppl. materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 1 supplementary materials
3	Sports (textbook Unit 2) Recap of Unit 1;	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 2
4	Short oral presentations (sports activities); Sports supplementary materials	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 supplementary materials
5	Family. Relationships (textbook Unit 3) Recap of Unit 2	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 3
6	Family. Relationships (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 3 supplementary materials
7	Test #1 Festivals. Party (textbook Unit 4)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 4
8	Short oral presentations (traditions, festivals); Festivals suppl. materials	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 4 supplementary materials

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Cuisines of the World (textbook Unit 5) Recap of Unit 4; Return test #1	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 5
10	Short oral presentations (food); Cuisines of the World (suppl. materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 5 supplementary materials
11	Time and modern civilization (Unit 6) Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 6
12	Time and modern civilization (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion	Review Unit 6 supplementary materials
13	Test #2 News (textbook Unit 7)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 7
14	Short oral presentations about mass media; News (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 7 supplementary materials
15	Journey (textbook Unit 8) Recap of Unit 7; Return test #2	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 8
16	Short oral presentations (traveling); Journey (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 8 supplementary materials
17	Opinions (books, movies, music) (Unit 9) Recap of Unit 8	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 9
18	Opinions (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 9 supplementary materials
19	Test #3 Childhood (textbook Unit 10)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 10
20	Short oral presentations about relationships; Childhood (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 10 supplementary materials
21	Age, wishes and regrets (textbook Unit 11) Recap of Unit 10; Return test #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 11
22	Age (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 11 supplementary materials
23	Style, fashion (textbook Unit 12) Recap of Unit 11	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 12
24	Short oral presentations about fashion; Style (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 12 supplementary materials
25	Test #4; group discussions	Pair-work, group discussion	Prepare the test;
26	Discuss the role of Japan in the global community; Return test #4; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.		
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentation

テキスト	Sue Kay and Vuaghan Jones. *New Inside Out Intermediate* (MACMILLAN).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG158: 標準英語スキルズ（ディスカッション）					担当教員	小金沢　裕美子
開講期	秋	開講時限	月木２限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-③
キーワード	ディスカッション、スピーキング、自己表現、コミュニケーション						
授業の概要	この授業では（1）受講者が特定の主張に触れ、（2）それに関する理解をリスニング、リーディング、ライティング活動を通じて深め、（3）主張に対する自分の賛同の度合いや理由を確認しながら、自分自身の立ち位置を正確に見極め、（4）口頭で他者に表現をする力を身につけることを目的とする。また、他者の異なった意見を受け止め、円滑にコミュニケーションをとる力を育成する。						
達成目標（授業の目的）	授業で扱う話題に関する理解を深め、意見を持ち、効果的に意見交換ができるように練習を積む。実際にディスカッションを繰り返しながら、効果的なディスカッションストラテジーを理解し、使用できるようにする。また、各ユニットの終わりには、ディスカッションのサマリーをまとめ、発表できるようになることを目標とする。						
到達目標（学修成果）	特定の話題について、関連する語彙を習得し、使用することができるようになる。自分の意見、感情、反対意見等を述べることができるようになる。積極的にディスカッションをリードし、他者の意見を引き出すことができるようになる。他者に意見が伝わりにくい場合に、表現の仕方を変えたり、例を述べたりして、積極的に理解を求めることができるようになる。同じ単語・表現を繰り返すことなく、類義語やイディオムを使って、効果的に発話できるようになる。会話を続けるための効果的なストラテジーを理解して活用し、会話を長く続けることができるようになる。						
評価方法	単語テスト（20%）課題（20%）積極的な授業参加（20%） スピーキングテスト（40%）						
評価基準	単語テスト：各ユニット終了時にテイクホーム単語テストを実施し、得点を評価する。 課題：各ユニット終了時に、ディスカッションのサマリーシートを提出する。 積極的な授業参加：授業内で練習問題やディスカッションに積極的に取り組み、自発的に考え、表現する姿勢を示したかどうかが評価ポイントとなる。 スピーキングテスト：学期中間と期末の授業内でスピーキングテストを実施し、授業で扱った話題に対する理解と意見表現力を評価する。						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業ガイダンス、ディスカッションの基本的な約束事	講義、グループワーク	講義の予習（pp.8-11）
2	Unit 1: 早寝早起きをすべきである STEP 0 - 7	講義、グループワーク	講義の予習（p.12, pp.14-15）
3	Unit 1: 早寝早起きをすべきである STEP 8 - 10	講義、グループワーク	講義の予習（pp.16-18）
4	Unit 1: 早寝早起きをすべきである Optional Step / strategies and summary	講義、グループワーク	講義の予習（p.19, プリント）
5	単語テスト返却と解説。Unit 2: 大学生は一人暮らしをすべきである STEP 0 - 7	テスト解説、講義、グループワーク	講義の予習（p.20, pp.22-23）
6	Unit 2: 大学生は一人暮らしをすべきである STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.24-27）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	単語テスト返却と解説。Unit 3: 部活を禁止すべきである STEP 0 - 7	テスト解説、講義、グループワーク	講義の予習（p.28, pp.30-31）
8	Unit 3: 部活を禁止すべきである STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.32-35）
9	単語テスト返却と解説。Unit 4: 海外留学を大学の卒業要件にすべきである STEP 0 - 7	テスト解説、講義、グループワーク	講義の予習（p.36, pp.38-39）
10	Unit 4: 海外留学を大学の卒業要件にすべきである STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.40-43）
11	単語テスト返却と解説。Unit 5: 大学生は第二外国語をもっと真剣に学ぶべきである	テスト解説、講義、グループワーク	講義の予習（p.44, pp.46-47）
12	Unit 5: 大学生は第二外国語をもっと真剣に学ぶべきである STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.48-51）
13	単語テスト返却と解説。Unit 6: 大学生は自分の適性に合った職業につくべきである	テスト解説、講義、グループワーク	講義の予習（p.52, pp.54-55）
14	Unit 6: 大学生は自分の適性に合った職業につくべきである STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.56-59）
15	これまでのまとめ。授業内スピーキングテスト	講義、グループワーク テスト、講評	スピーキングテスト練習
16	Unit 7: オンライン上のルールとマナーを守るべきである　STEP 0 - 7	講義、グループワーク	講義の予習（p.60, pp.62-63）
17	Unit 7:オンライン上のルールとマナーを守るべきである STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.64-67）
18	単語テスト返却と解説。Unit 8: もっと多くの日本企業が英語を社内で公用語にすべき	テスト解説、講義、グループワーク	講義の予習（p.68, pp.70-71）
19	Unit 8: もっと多くの日本企業が英語を社内で公用語にすべき STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.72-75）
20	単語テスト返却と解説。Unit 10: 民泊をもっと促進すべきである STEP 0 - 7	テスト解説、講義、グループワーク	講義の予習（p.84, pp.86-87）
21	Unit 10: 民泊をもっと促進すべきである STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.88-91）
22	単語テスト返却と解説。Unit 12: タバコを不法薬物に指定すべきである STEP 0 - 7	テスト解説、講義、グループワーク	講義の予習（p.100, 102-103）
23	Unit 12: タバコを不法薬物に指定すべきである STEP 8 - summary	講義、グループワーク	講義の予習（pp.104-107）
24	単語テスト返却と解説。グループ選択：Unit 13 または Unit 15 練習 1	テスト解説、講義、グループワーク	グループ練習
25	グループ選択：Unit 13 または Unit 15 練習 2	講義、グループワーク	グループ練習
26	ディスカッション大会（スマートフォン・夫婦別姓）	グループワーク、講評	ディスカッション大会準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	これまでのまとめ。授業内スピーキングテスト	講義、グループワーク テスト、講評	スピーキングテスト練習
28	クラスディスカッション・まとめ	講義、グループワーク 質疑応答	クラスディスカッション準備

テキスト	小林敏彦、ジェレミ・ブシャー『どのくらい賛成しますか？How much do you agree?』（三修社）

科目名	ENG162: 標準英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	R. Burton
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Writing through grammar analysis of reading at sentence, paragraph, and essay levels.
授業の概要	This course will give students practice of reading texts analytically in such a way that many of the grammar patterns and paragraphing concepts within those texts become apparent. That knowledge is then used to construct phrases, sentences, paragraphs, and whole essays. An array of 8 different topic areas ensures that a wide range of topical vocabulary and phrasing is brought into play. In addition, the reading models and writing tasks include the most important rhetorical modes: comparison / contrast, cause-effect, problem-solution, opinion, summary and opinion (reaction statements), and opinion with supporting argument. This means a routine of grammar exercises as a preparation for writing confidence. There is also valuable native-speaker listening practice in the short videos that accompany the *Prism* textbook.
達成目標（授業の目的）	This course will provide students with reminders of key grammatical patterns involved in meaningful and varied sentence construction. Analyzing the reading texts will provide the input for language development of vocabulary and grammar. Students will be carefully assisted in developing sufficiently flexible sentence-writing skills for paragraph-writing to emerge as the next natural step. Students will not be expected to write complex paragraphs until they show sufficient agility with grammar. Likewise, essay-writing skills will be built on the basis of first achieving sufficient cohesion within paragraphs. As such, students' general writing abilities will evolve and gain the extra competence and precision that characterizes the clear thinking that lies behind all good writing.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have gained enough grammar insights and grammar practice to enhance their writing ability. They will also have become familiar with annotating texts in such a way as to notice many of the recurring syntactical patterns. This will increase both their comprehension, and their reading speed. It will also gift students with the ability to co-opt phrasing they come across in reading, and put it to use in their own creations. This means they will be able to set about writing paragraphs or essays on most non-technical topics with the confidence that comes from knowing precisely a procedure that they have practiced to the point of familiarity.
評価方法	Participation and performance in classroom / Zoom discussions and grammar quizzes (30%); Homework (20%); x7 final drafts of Written Paragraphs / Essays (35%); Individual 5-minute Presentation of Paragraph / Essay (15%) – each student to choose one of their own, already submitted paragraphs or essays to present to the class.
評価基準	Participation and performance in classroom / Zoom discussions: The amount of participation and performance in classroom / Zoom discussions will depend on a student's language level, but it is also dependent on how much preparation students do. Homework: The Homework is either language development exercises, or provisional planning for paragraphs / essays and discussions. Some preparation exercises must be submitted for grading. Written Essays / Paragraphs: grading criteria being x4 equal proportions of marks for vocabulary choice, sentence variety, paragraph cohesion and / or essay structure. Presentation of Essay: with assessment 50% based on pronunciation (clarity and continuity), and 50% based on effective paraphrasing from formal written register to more approachable / social spoken register.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Unit 1 "Animals" and Course introduction. "Animals"- mostly discussion	Group Discussion, with Glossary, Watch Video 1	Reading 1- Endangered species: answer set questions
2	"Animals"- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Losing the Battle for Survival	Language Development-academic verbs & comparatives
3	"Animals" – paragraph / essay planning, topic sentences, combining sentences	Group + pair work tasks-comparison and contrast	1st Essay, 1st Draft "Compare and contrast two sharks"
4	"Animals" – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay-analysis & discussion	1st Essay, 2nd Draft "On Campus"- plagiarism

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Unit 2 “The Environment” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 2	Reading 1-Our Changing Planet: answer set questions
6	“The Environment”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Causes & Effects: Deforestation	Language Development- academic vocabulary
7	“The Environment” – paragraph unity, verbs of cause and effect, supporting sentences / details	Group + pair work tasks- causes & effects	2nd Essay, 1st Draft “Human contribution to climate change”
8	“The Environment” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	2nd Essay, 2nd Draft “On Campus”- choosing courses
9	Unit 3 “Transportation” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 3	Reading 1- Masdar: The Future of Cities: answer set questions
10	“Transportation”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Traffic Congestion	Language Development- verb synonyms
11	“Transportation” – future real conditional with if or unless, forms of concluding sentences	Group + pair work tasks- problems & solutions	3rd Essay, 1st Draft “Pros / cons of traffic congestion solutions”
12	“Transportation” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	3rd Essay, 2nd Draft “On Campus”- mind mapping
13	Unit 4 “Customs and Traditions” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 4	Reading 1- Customs Around the World: answer set questions
14	“Customs and Traditions”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Non-traditional Weddings	Language Development- generalizations and frequencies
15	“Customs and Traditions” – ways to paraphrase and ways to not plagiarize	Group + pair work tasks- summaries & reactions	4th Essay, 1st Draft “Reaction statement to reading 2”
16	“Customs and Traditions” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	4th Essay, 2nd Draft “On Campus”- professor liaison
17	Unit 5 “Health and Fitness” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 5	Reading 1- Health and Exercise: answer set questions
18	“Health and Fitness”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Tackling Obesity	Language Development- word forms for nouns and verbs
19	“Health and Fitness” – Ways of structuring an essay from first stating opinion, or purpose	Group + pair work tasks- opinions	5th Essay, 1st Draft “Should sport be required of all students?”
20	“Health and Fitness” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	5th Essay, 2nd Draft “On Campus”- procrastination
21	Unit 6 “Discovery and Invention”- mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 6	Reading 1- The Magic of Mimicry: answer set questions
22	“Discovery and Invention”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: The World of Tomorrow	Language Development- modals and adverbs of certainty
23	“Discovery” – Introductory paragraphs, relative clauses, prepositional phrases for pros / cons	Group + pair work tasks- explanatory prose	6th Essay, 1st Draft “New tech. features, benefits & drawbacks”
24	“Discovery and Invention” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	6th Essay, 2nd Draft “On Campus”- annotating texts
25	Unit 7 “Fashion” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 7	Reading 1- Fast Fashion Taking Over? answer set questions
26	“Fashion”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Offshore Production	Language Development- fashion business collocations
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	“Fashion” – Body paragraphs in argumentative essays, multiword prepositions	Group + pair work tasks- arguments in prose	7th Essay, 1st Draft “Opinion-piece on ills of fashion industry”
28	“Fashion” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	7th Essay, 2nd Draft “On Campus”- internet sourcing

テキスト	Carolyn Westbrook, Lida Baker, Jeanne Lambert, Kate Adams. *Prism Reading & Writing 2* (Cambridge). ISBN 9781316625132

科目名	ENG162: 標準英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	A. Goli
開講期	秋	開講時限	火金４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Organizing writing, paragraph formats, essay writing, common grammatical mistakes
授業の概要	This course mainly aims to help students learn how to organize their writing. To achieve this goal, we will focus on teaching students how to generate topics, write cohesive paragraphs, and organize them in comprehensive and logical expository or explanatory compositions. Students will learn writing through interesting activities and writing topics that will challenge their creativity, lead them to examine their own thoughts and feelings, and give them opportunities to experience writing as an enjoyable activity.
達成目標（授業の目的）	・To develop the abilities to organize their writing and to write coherent sentences and paragraphs that communicate their thoughts logically and intelligible. ・To learn the paragraph and composition styles required to achieve different writing tasks, such as explaining a process, persuading an audience, explaining cause and effect, and giving advice. ・To learn how to use guidelines to help revise, edit, evaluate written work, and give peer feedback. ・To use grammar accurately by avoiding grammar mistakes common among non-native writers.
到達目標（学修成果）	By the end of the course, students will be able to (1) organize their writing proficiently; (2) understand and use grammar, sentence structures, and various paragraph format and essay types to write expository, persuasive, cause-and-effect, comparison-contrast, descriptive, and classification compositions; (3) revise, edit, and evaluate their own and their classmates' writing; and (4) analyze and discuss different written work with confidence.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Writing assignments (30%); Independent learning (10%).
評価基準	Participation: active involvement, effort to speak in class, effort to work with classmates and give insightful peer review and feedback; Homework (lesson preview, grammar homework, and writing homework): completed before class, evidence of effort to learn; Written assignments (written paragraphs and compositions): submitted on time, accurate use of language, accurate use of writing styles and structures; Independent learning (personal research and learning): breadth of research showing effort to improve writing skills.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction- teaching and evaluation Unit 1: Paragraph format, topic sentences	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 1 (pp.1-6)
2	Unit 1: (part 2) Expository paragraphs	Editing and peer review, in-class writing	Write one paragraph about things you like to do (pp.7-10)
3	Return writing assignment and go over results Unit 2: Supporting logical conclusions	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 2 (pp.11-16)
4	Unit 2: (part 2) Using the conjunctions *and*, *but*, and *so*	Editing and peer review, in-class writing	Write a composition about an appropriate career (pp.17-20)
5	Return writing assignment and go over results Unit 3: Supporting topics sentences	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 3 (pp.21-26)
6	Unit 3: (part 2) Direct and indirect speech	Editing and peer review, in-class writing	Write a magazine article (pp.27-30)
7	Return writing assignment and go over results Unit 3: Definition paragraphs, attention getters	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 4 (pp.31-36)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4: (part 2) Avoiding repetition	Editing and peer review, in-class writing	Write a composition about an invention (pp.37-40)
9	Return writing assignment and go over results Unit 5: Cause-and-effect paragraphs	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 5 (pp.41-46)
10	Unit 5: (Part 2) Cause-and-effect words, introductory paragraphs	Editing and peer review, in-class writing	Write a composition about an important event (pp.47-50)
11	Return writing assignment and go over results Unit 6: Suggestions, process paragraphs	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 6 (pp.51-56)
12	Unit 6: (part 2) Using modifiers	Editing and peer review, in-class writing	Write a guidebook article (pp.57-60)
13	Return writing assignment and go over results Unit 7: Classification paragraphs, using commas	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 7 (pp.61-66)
14	Unit 7: (part 2) Concluding paragraphs	Editing and peer review, in-class writing	Write a research report about your classmates (pp.67-70)
15	Return writing assignment and go over results Unit 8: Comparison-contrast paragraphs	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 8 (pp.71-76)
16	Unit 8: (part 2) Giving advice	Editing and peer review, in-class writing	Write an article about interview techniques (pp.77-80)
17	Return writing assignment and go over results Unit 9: Persuasive paragraphs	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 9 (pp.81-86)
18	Unit 9: (part 2) parallel construction	Editing and peer review, in-class writing	Write a letter to yourself about your goals (pp.87-90)
19	Return writing assignment and go over results Introduction to five-paragraph essays	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of essay format and essay writing (handout)
20	Introduction to five-paragraph essays (part 2) Introductory, body, and concluding paragraphs	Editing and peer review, in-class writing	Write a five-paragraph essay (handout)
21	Return writing assignment and go over results Unit 10: Division paragraphs	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 10 (pp.91-96)
22	Unit 10: (part 2) Articles	Editing and peer review, in-class writing	Write a composition about your own dorm design (pp.97-100)
23	Return writing assignment and go over results Unit 11: Development-by-example compositions	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 11 (pp.101-106)
24	Unit 11: (part 2) Linking paragraphs, subjects-verb agreement	Editing and peer review, in-class writing	Write a composition about a person (pp.107-110)
25	Return writing assignment and go over results Unit 12: Using objective, persuasive style	Lecture, in-class writing; small-group activities	Do preview of Unit 12 (pp.111-116)
26	Unit 12: (part 2) Entertaining styles; newspaper headlines styles	Editing and peer review, in-class writing	Write a newspaper article (pp.117-120)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Return writing assignment and go over results Essay writing and analyzing essays	Feedback; Lecture, in-class writing	Review paragraph types and features of good writings
28	Feedback on this writing class; Where to go from here	Sharing impression and Q&A on essay writing	Complete questionnaire about the writing class

テキスト	C. Kelly, A. Gargagliano. *Writing from Within 2* (Cambridge University Press).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* *Skills for Effective Writing 3* (Cambridge University Press).

科目名	ENG163:　標準英語スキルズ（リーディング・語彙）					担当教員	石原　久子
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	基本 5 文型、文章構造と展開の理解、語彙・慣用表現、分析的思考力
授業の概要	様々なテーマの文章を読みながら、英語の 4 技能（読む・書く・聴く・話す）の応用力を伸ばします。文法事項や慣用表現を確認しつつ、文章の構造と全体の展開を理解します。英文読解に効果的なストラテジーを身につけると同時に、英文を読む楽しさを味わいます。語彙を増やすためのアクティビティも行い、英語表現の豊かさを理解し、英語の発信力として役立てられるようにします。
達成目標（授業の目的）	総合的英語力に必要不可欠な文法事項の約束事を整理して理解し、あらゆる種類の文章読解に活用できる応用力を育成します。個々の文章を正しく分析して理解するだけにとどまらず、段落内の展開、段落と段落とのつながりを、的確に把握できるようにします。そして、全体を俯瞰的にとらえて正しく分析し、内容を理解できるようにします。語彙の数を増やして、実践的に活用できるようにします。これらにより、英検（2 級、準 1 級）、TOEIC、TOEFL、IELTS などの、各種英語能力試験に自信を持って臨める学力を身につけます。
到達目標（学修成果）	・文法の約束事を理解した上で、文章内容を理解できる。 ・文章の構造を理解して分析できる。（分析的思考力） ・初めて読む文章でも文脈から語句の意味を推測でき、大意を把握できる。（分析的思考力） ・扱ったトピックについて、自分なりの見解を、自分の言葉で発表できる。 ・語彙の数を増やして、様々な場面に応じて適切に使用できる。
評価方法	①積極的な授業参加（20%） ②語彙（30%） ③授業内提出物（50%）
評価基準	①授業内での質疑応答や練習問題に積極的に取り組み、自発的に考える姿勢を示したか。 ②指定した単語の使われ方を理解した上で、正しいスペリングで書いているか。 ③授業で学んだ（インプットした）内容［新出語句、慣用表現、文法事項、文章構造、キーワード、段落の展開］について、適切な分析と正しい理解に基づいて、適切に記述（アウトプット）をしているか。筆者の主張を正しく理解した上で、自分なりの見解を自分の言葉で論理的に述べているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業方針の説明と確認 語彙を増やす方法	講義	配布資料復習
2	日米のスポーツ文化（読解）	講義および演習	読解 p.6 予習と復習
3	日米のスポーツ文化（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.7-8 予習と復習 語彙 pp.6-7 予習と復習
4	諸外国の宿題をする時間（読解）	講義および演習	読解 p.9 予習と復習
5	諸外国の宿題をする時間（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.10-11 予習と復習 語彙 pp.8-9 予習と復習
6	風呂かシャワーか（読解）	講義および演習	読解 p.18 予習と復習
7	風呂かシャワーか（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.19-20 予習と復習 語彙 pp.10-11 予習と復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	なぜか人気のママチャリ（読解）	講義および演習	読解 p.21 予習と復習
9	なぜか人気のママチャリ（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.22-23 予習と復習 語彙 pp.12-13 予習と復習
10	ベジタリアンに優しい料理（読解）	講義および演習	読解 p.24 予習と復習
11	ベジタリアンに優しい料理（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.25-26 予習と復習 語彙 pp.14-15 予習と復習
12	有給休暇の取り方（読解）	講義および演習	読解 p.27 予習と復習
13	有給休暇の取り方（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.28-29 予習と復習 語彙 pp.16-17 予習と復習
14	文化によって異なる挨拶（読解）	講義および演習	読解 p.30 予習と復習
15	文化によって異なる挨拶（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.31-32 予習と復習 語彙 pp.18-19 予習と復習
16	なぜ人前で居眠りをするの？（読解）	講義および演習	読解 p.33 予習と復習
17	なぜ人前で居眠りをするの？（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.34-35 予習と復習 語彙 pp.20-21 予習と復習
18	国によって異なる子育て（読解）	講義および演習	読解 p.36 予習と復習
19	国によって異なる子育て（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.37-38 予習と復習 語彙 pp.22-23 予習と復習
20	顧客サービスの考え方（読解）	講義および演習	読解 p.42 予習と復習
21	顧客サービスの考え方（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.43-44 予習と復習 語彙 pp.24-25 予習と復習
22	返品や返金の仕方（読解）	講義および演習	読解 p.48 予習と復習
23	返品や返金の仕方（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.49-50 予習と復習 語彙 pp.26-27 予習と復習
24	送電線は地上か地中か？（読解）	講義および演習	読解 p.63 予習と復習
25	送電線は地上か地中か？（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.64-65 予習と復習 語彙 pp.28-29 予習と復習
26	広告用ポケットティッシュは日本発祥？（読解）	講義および演習	読解 p.66 予習と復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	広告用ポケットティッシュは日本発祥？（各種問題）	講義および演習	各種問題 pp.67-68 予習と復習 語彙 pp.30-31 予習と復習
28	半期の振り返りとまとめ	講義	配布資料復習

テキスト	Arnold Arao and others. *Enjoying Different Cultures*（南雲堂）. 佐藤誠司．*A Shorter Course in Everyday Vocabulary Quizzes*（南雲堂）.
参考書	奥タカユキ（編著）『総合英語エバーグリーン』（いいずな書店） 藤田英時『「ローマの休日」を観るだけで英語の基本が身につく DVD ブック』（アスコム）
その他 特記事項	授業には辞書（電子辞書を推奨）を携帯して受講してください。 提出物（宿題など）の遅れ提出は 0 点扱いとなりますので、注意してください。

科目名	ENG161:　標準英語スキルズ（編入対策）					担当教員	岩崎　明子
開講期	春	開講時限	月木５限			研究室	4213
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	vocabulary, grammar, reading, test-taking strategies
授業の概要	大学編入学試験に対応できる英語力を身につけるために、入試問題の演習とその解説を中心に授業を進める。長文の読解と翻訳の宿題を課す。また、問題を解く上でのストラテジーを説明し、自分で選んだ過去問を客観的に分析しプレゼンテーションをする。
達成目標（授業の目的）	編入学試験の英語問題を解くために必要な教養と表現力を身につける。英語の読解力を高めるのに必要なスキルを習得し、試験の得点をあげる。英文を翻訳する力を伸ばし、日本語で要約する力をつける。編入学試験に向けて、過去問を分析し自律学修ができる力を養う。
到達目標（学修成果）	英検準一級程度の英文を読める単語力、文法力、読解力を習得する。多様な専門分野のトピックの英文を読み、翻訳や要約ができるようになる。過去問を分析できるようになる。自分で学修計画を立て、計画に沿って学修できる習慣と力が身につくようになる。
評価方法	授業への積極的参加・課題 30%、小テスト 20%、プレゼンテーション 10%、テスト 2 回 40%
評価基準	①Text 演習を必ず予習し、授業内での質疑や解答分析の話合いに積極的に参加し、課題の内容とそれを期日内に提出したかを評価。 ②小テストや試験では、授業でやったところをよく復習して身につけたかを評価する。 ③プレゼンテーションでは、試験問題の構造や難易度、トピックについて的確に分析しているかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	編入試験の英語問題とは	講義、質疑応答、ディスカッション	Power exercise for STEP Pre-1 pp.1～4 を読む
2	Text: Day 1. Topic: The Louvre	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 1 pp.6-13 を予習
3	Text: Day 2. Topic: Science	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 2 pp.18-24 を予習
4	Text: Day 3. Topic: Media	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 3 pp.30-40 を予習
5	小テスト 1 と解説 Text: Day 1 ~ Day 3 まとめ	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 1～Day 3 を復習
6	Text: Day 4. Topic: Computer Science	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 4 pp.46-53 を予習
7	Text: Day 5. Topic: Technology	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 5 pp.58-65 を予習
8	Text: Day 6. Topic: Life	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 6 pp.72-83 を予習
9	小テスト 2 と解説 Text: Day 4 ~ Day 6 まとめ	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 4～Day 6 を復習
10	Text: Day 7. Topic: Human Brain	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 7 pp.88-95 を予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	Text: Day 8. Topic: Environment	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 8 pp.100-107 を予習
12	Text: Day 9. Topic: Traffic Accident	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 9 pp.114-124 を予習
13	Text: Day 10. Topic: Recycling 小テスト 1 & 2 返却、講評	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Day 10 pp.132-146 を予習
14	テスト 1 と解説 Text: Day 7 ~ Day 10 まとめ	質疑応答、ディスカッション	Text: Day 7 ~ Day 10 を復習
15	Text: Listening Day 1 ~ Day 3　要約	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Listening Day 1 ~ Day 3 を予習
16	Text: Listening Day 4 ~ Day 6　要約	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Listening Day 4 ~ Day 6 を予習
17	Text: Listening Day 7 ~ Day 9　要約	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Listening Day 7 ~ Day 9 を予習
18	Text: Listening Day 10　要約 テスト 1 返却、講評	講義、質疑応答、ディスカッション	Text: Listening Day 10 を予習
19	小テスト 3 と解説 Text: Listening Day 1 ~ Day 10　まとめ	質疑応答、ディスカッション	Listening Day 1 ~ Day 10 を復習
20	編入試験問題過去問演習 長文読解、空所補充（文法・語彙）	講義、質疑応答、ディスカッション	ハンドアウトを読んでくる
21	編入試験問題演習 翻訳の仕方	講義、質疑応答、ディスカッション	ハンドアウトを読んでくる
22	編入試験問題演習 要約	講義、質疑応答、ディスカッション	ハンドアウトを読んでくる
23	編入試験問題演習 作文	講義、質疑応答、ディスカッション	ハンドアウトを読んでくる
24	編入試験問題分析 プレゼンテーション I	質疑応答、ディスカッション	プレゼンの準備・授業内試験の準備
25	編入試験問題分析 プレゼンテーション II	質疑応答、ディスカッション	プレゼンの準備・授業内試験の準備
26	編入試験問題分析 プレゼンテーション III 小テスト 3 返却、講評	質疑応答、ディスカッション	プレゼンの準備・テスト 2 の準備
	定期試験を実施する Final Exam will be held（テスト 2）		
27	編入試験問題分析 プレゼンテーション IV テスト 2 の返却と講評	質疑応答、ディスカッション	プレゼンの準備
28	まとめ 編入試験の対策方法	まとめ、質疑応答、ディスカッション	ハンドアウトを読んでくる

テキスト	ECC 編『10 日間完成英検準一級』（南雲堂）、模擬問題プリント
参 考 書	2021 年度版『英検準 1 級過去 6 回全問題集』（旺文社） 中原道喜（2000 年）『英語長文問題精講　新装版』（旺文社） 瓜生豊他『英文法・語法問題 Next Stage 4th』（桐原書店） 風早寛『速読英単語　必修編（改訂第 7 版）』（Z-KAI）
その他 特記事項	英検準 1 級レベルの単語本を期間中にマスターすること

科目名	ENG164: 標準英語スキルズ（アメリカの文化と社会）					担当教員	A. Goli
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	content-based learning, critical thinking, presentation skill building, student autonomy
授業の概要	This course aims to help students develop skills needed to understand, write, and speak effectively about society and culture in English. In this course, students will explore a brief history of the USA, with focus on how historical events and trends influence modern American culture and society. A special emphasis will be put on the interrelation of politics, social structure, cultural life, economic changes, and technological progress.
達成目標（授業の目的）	・For students to expand their vocabulary and strengthen such reading skills as identifying main ideas and details, previewing and skimming, paraphrasing and summarizing, as well as separating fact from opinion, and examining cause and effect. ・For students to learn to conduct research and present their findings using different means. ・For students to understand how culture and society are shaped by history, see beyond surface meanings in cultural products such as movies and music, and undertand the influence of the historical and cultural context such products were created in.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to (1) efficiently analyze and comprehend articles and texts on historical and socio-cultural issues; (2) express ideas and opinions in English on socio-cultural topics, both in writing and speech; (3) link newly acquired knowledge to wider issues; (4) conduct research on a topic, both as a team member and an individual.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Group research and presentations (30%); In-class tests (30%), including reading and comprehension, writing and oral tests; Homework assignments (10%).
評価基準	・Participation and performance in classroom activities: active involvement in everyday class activities, use of English in class, participation in presentation Q&A ・Homework assignments: writing assignments diligently completed before class; Group research: team work, research effort ・Presentations: in-depth research, good organisation, relevant and well-balanced content and language, delivery (voice, pacing, body language, preparation), written presentation summary and poster (good structure and clarity, submission by due date) ・In-class tests: accuracy of answers in reading-comprehension tests, ability to express thoughts and ideas logically and use target vocabulary accurately in writing and oral tests.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to course Documentary viewing and discussion	Course description, video viewing, discussion	What for you represents “American culture & society”?
2	Chapter 1: The Birth of a Nation; Settlement and Independence; Lecture on presentation stills	Discussion, textbook work, lecture; reading	Preview first part of Chapter 1
3	Chapter 1: Documents That Shaped the United States; The Bill of Rights; Presentation skills	Discussion, textbook work, lecture; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 1
4	Chapter 2: A Growing Nation; The Trail of Tears; Indigenous People; Presentation skills	Discussion, textbook work, lecture; reading	Preview first part of Chapter 2
5	Chapter 2: A Growing Nation; Cotton and Slavery; Presentation skills	Discussion, textbook work, lecture; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 2

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Chapter 3: A Divided Nation; The Civil War; Presentation skills	Discussion, textbook work, lecture; reading	Preview first part of Chapter 3
7	Chapter 3: The Underground Railroad; Slavery and the Civil War	Discussion, textbook work; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 3
8	Presentation session I	Presentations	Rehearse for presentation
9	Test I; Chapter 4: Industrialization & Final Frontier; The Wild West	Discussion, textbook work, test; reading	Preview first part of Chapter 4
10	Chapter 4: Identity Crisis; Immigration	Discussion, textbook work; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 4
11	Chapter 5: A New Century & The Jazz Sensation; American Music; Go over test results	Discussion, textbook work; reading	Preview first part of Chapter 5
12	Chapter 5: The Gilded Age & Baseball; American Sports	Discussion, textbook work; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 5
13	Chapter 6: Prosperity and Depression; The Roaring Twenties	Discussion, textbook work; reading	Preview first part of Chapter 6
14	Chapter 6: Rock Bottom; The Great Depression	Discussion, textbook work; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 6
15	Presentation session II	Presentations	Rehearse for presentation
16	Test II; Chapter 7: War and Recovery; World War II	Discussion, textbook work, test; reading	Preview first part of Chapter 7
17	Chapter 7: TV Takes Off; The TV Age	Discussion, textbook work; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 7
18	Chapter 7: Rock and Roll and the Power of Youth; American Music; Go over test results	Discussion, textbook work; reading	Preview 3rd part of Chapter 7
19	Chapter 7: The Civil Rights Movement; Civil Rights	Discussion, textbook work; vocabulary	Preview last part of Chapter 7
20	Chapter 8: Turbulent Times & Space- The Next Frontier; The Space Race	Discussion, textbook work; reading	Preview first part of Chapter 8
21	Chapter 8: The Counter Culture & The Health Craze; Subcultures	Discussion, textbook work; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 8
22	Chapter 8: The Long Battle for Women's Equality; Equal Rights	Discussion, textbook work; reading	Preview last part of Chapter 8
23	Chapter 9: The End of a Century & Getting Wired; Globalization and The Information Age	Discussion, textbook work; reading	Preview first part of Chapter 9
24	Chapter 9: Changing Face of America; Multiculturism	Discussion, textbook work; vocabulary	Preview 2nd part of Chapter 9
25	Presentation session III	Presentations	Rehearse for presentation
26	Test III; Poster presentations preparations	Test, rehearse for poster presentation	Review for test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Poster presentations; Return test and go over results	Poster presentation, Q&A	Rehearse for Poster presentations
28	Poster presentations, reflection and feedback	Presentation, feedback, questionnaire on course	Rehearse for poster presentation

テキスト	K. Blanchard, C. Root. *American Roots* (Pearson Education).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG165: 標準英語スキルズ（テクノロジーと科学の英語）					担当教員	K. Shimizu
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Technology and sciences, English skills, reading, discussion, presentation, theme-based learning
授業の概要	In this course, students will practice and further develop basic English skills. They will also acquire the vocabulary and skills needed to discuss key concepts in the field of technology and science. Students will explore various topics of technology and science and will be asked to present their findings, thoughts, and opinions on them. This course is useful for students who are interested in technology and science, or are considering working in the technology and science industry in the future
達成目標（授業の目的）	・ For students to gain a command of, and basic knowledge in, English for Technology and Science. ・ For students to acquire effective communication abilities in both oral and written English. ・ For students to research and engage in critical thinking tasks on current Technology and Science issues, and express their findings, thoughts, and opinions in written reports and oral presentations.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to (1) demonstrate understanding in English terminology required to discuss basic ideas regarding the field of technology and science; (2) effectively discuss and present views on contemporary technology and science issues; (3) offer organized ideas in paragraphs, short presentations, and in their Final Report; (4) deliver presentations using appropriate and well-organized content; (5) learn how to research a target topic and write a well-organized final report conveying their findings using appropriate language and content.
評価方法	Participation and performances in classroom activities (30%); Comprehension log and Presentations (30%); Final Report (20%); Homework assignments (20%)
評価基準	Participation and performance: active involvement in text exercises, pair and group work, effort to speak English and use of newly acquired vocabulary; Comprehension check log: give correct answers to questions related to vocabulary and unit content; Presentations: content (well-organized, introduction, overview, use of appropriate language, consists of an intro, body and conclusion) and delivery (eye contact, clear voice, speaking and not reading the script); Final Report: ability to express thoughts and ideas logically, use of newly acquired vocabulary; submitted on time, appropriate length, language and content; Homework: shows proof of engagement and ability to express their own ideas.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction and course overview	Course introduction, icebreaker, discussion	Review syllabus; English Essentials (EE) pp.6-9
2	Unit 1 – Climate Change Scenarios Learning about and discussing the topic	Lecture, vocabulary study, pair / group work	Do “Vocabulary Refresh” on page 10 of Earth Watch (EW)
3	Climate Change Scenarios Unit Wrap-up	Reading, listening, pair / group work	Review vocabulary; Review Unit 1 (EW); Read EE pp.13-14 & 16-17
4	Unit 2 – Artificial Intelligence Learning about and discussing the topic	Vocabulary quiz, lecture, vocabulary, pair work	Do “Vocabulary Refresh” on page 16 (EW)
5	Artificial Intelligence Wrap-up Presentation Lesson	Reading, listening, pair / group work	Read EE pp.19-23 Writing task
6	Presentation Preparation Unit 1 and 2 Review	Lecture, vocabulary study, reading, pair / group work	Review vocabulary for quiz Review Unit 1 and 2
7	Presentation 1 Intro to Unit 3	Presentations, lecture, vocabulary study	Prepare presentations Read EE pp.26-30

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Feedback on Presentation 1 Unit 3 – Endangered Animals	Lecture, vocabulary study, reading, pair / group work	Do “Vocabulary Refresh” on page 22 (EW)
9	Endangered Animals Unit Wrap-up	Reading, listening, pair / group work	Read EE pp.31-39 Writing task
10	Unit 4 – Journey into Space Learning about and discussing the topic	Vocabulary quiz, lecture, vocabulary, pair work	Do “Vocabulary Refresh” on page 28 (EW)
11	Journey into Space Wrap-up Writing Lesson	Reading, listening, pair / group work	Writing exercises Read EE pp.40-43
12	Unit 6 – Self-driving Cars Writing Lesson	Vocabulary quiz, lecture, vocabulary, pair work	Review vocabulary; Do “Vocabulary Refresh” (EW) on page 40
13	Self-driving Cars Unit Wrap-up	Reading, listening, pair / group work	Writing exercises Read EE pp.51-60
14	Unit 8 – Renewal Energy Writing and presentation lesson	Vocabulary quiz, lecture, vocabulary, pair work	Review vocabulary; Do “Vocabulary Refresh” (EW) on page 52
15	Renewal Energy Wrap-up Presentation Preparation	Reading, listening, pair work, presentation prep	Read EE pp.61-70
16	Presentation 2 Intro to next unit	Vocabulary quiz, presentations, lecture	Review vocabulary for quiz; Prepare for presentation
17	Presentation 2 Feedback Unit 11 – Facial Recognition	Lecture, vocabulary study, reading, pair / group work	Do “Vocabulary Refresh” (EW) on page 70
18	Facial Recognition Unit Wrap-up	Reading, listening, pair work, presentation prep	Writing task
19	Unit 12 – Food Waste Learning about and discussing the topic	Vocabulary quiz, lecture, vocabulary, pair work	Do “Vocabulary Refresh” (EW) on page 76
20	Food Waste Unit Wrap-up	Reading, listening, pair work, presentation prep	Writing task
21	Food idioms and Presentation Preparation	Vocabulary quiz, lecture, pair / group work	Review vocabulary for quiz
22	Presentation 3 Unit 14 – Ocean Garbage	Presentation, lecture, vocabulary study	Practice for presentation; Do “Vocabulary Refresh” (EW) on p.88
23	Presentation Feedback Ocean Garbage Wrap-up	Reading, listening, pair work, presentation prep	Review vocabulary for quiz & Review Unit 14 (EW)
24	Unit 15 – Planned Obsolescence Learning about and discussing the topic	Vocabulary quiz, lecture, pair / group work	Study pp.61-62 (EW) Complete draft of Final Report
25	Planned Obsolescence Unit Wrap-up	Reading, listening, pair work, presentation prep	Review vocabulary & Unit 15 (EW)
26	Prepare for Final Presentation Writing workshop	Vocabulary Quiz, lecture, preparations, consultations	Prepare for Final Presentation Complete & submit Final Report
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations Critical Listening and feedback	Presentation, discussion, reflection	Prepare for Final Presentation
28	Remaining presentations (if any); Feedback & Reflection	Presentation, discussion, reflection	Review the course content

テキスト	Graeme Todd, Roger Palmer, Makimi Kano. *Earth Watch* (National Geographic Learning).
参 考 書	*English Essentials*

科目名	ENG166: 標準英語スキルズ（ホスピタリティの英語）					担当教員	小林　美文
開講期	秋	開講時限	月木 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	ホスピタリティ　コミュニケーション　リスニング　スピーキング
授業の概要	この授業はホスピタリティ業界で必要とされる英語力の育成を主な目的とし ① 業界の各分野で必要な知識やスキルに触れ ② インプット活動（読む・聴く）で知識の理解を深め ③ アウトプット活動（書く・話す）で知識・スキルの定着、コミュニケーション力の向上を目指します。さらに ④ ボキャブラリーを増強し文法をよりよく理解することで、表現力・発信力を伸ばし ⑤ ホスピタリティに重要な文化的、社会的背景に対する理解力を育成します。
達成目標（授業の目的）	この授業では3分野（航空・テーマパーク・ホテル）を扱います。各分野の導入部分では分野の特徴、必要とされる知識やスキルを整理、理解します。次に顧客との円滑なコミュニケーションに必要な語彙、イディオム、表現、背景知識を学び、文法も必要に応じて復習をし、的確に使用できるようにします。最終的にはペアワーク（各ユニット最後に実施）、スピーキングテスト（学期終わりに実施）に対応できることを目標にします。
到達目標（学修成果）	① ホスピタリティ業界の各分野の特徴、必要とされる情報、知識、スキルを理解できる。 ② 各分野でよく使われる語彙、イディオム、表現を理解し、運用できる。 ③ 各分野の様々な場面の会話や文章を聴いたり、読んだりできる。 ④ 学んだ語彙、イディオム、表現、文法を使って、的確にコミュニケーションできる。 ⑤ コミュニケーションに必要な文化的、社会的背景を理解する。
評価方法	積極的な授業参加（30%） クイズ（25 %）ペアワーク（25 %）スピーキングテスト（20 %）
評価基準	積極的な授業参加：授業中に練習問題やディスカッションに積極的に取り組む姿勢を評価。 クイズ：各 Unit 2 回目の授業で実施。1 回目に学んだ語彙などから出題し、得点を評価する。 ペアワーク：各 Unit 2 回目の授業で実施。課題（Info Gap Activity）を理解し、相手と協働しながら場面に適したコミュニケーションがとれるかを評価する。 スピーキングテスト：学期末の授業内で実施。授業で扱ったトピックに対する理解、表現力、発信力を評価する。
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	シラバス説明 アイスブレイキング ホスピタリティに必要なもの	講義　演習 ディスカッション	シラバスを再読する Unit 1 pp. 7-9 を読む
2	航空系① Unit 1 接客コミュニケーション Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 1 pp. 10-12、クイズの準備：Unit 1 pp. 7-9 を復習
3	航空系② Unit 1 接客コミュニケーション Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 2 pp. 13-15 を読む
4	航空系③ Unit 2 機内サービス Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 2 pp. 16-18、クイズの準備：Unit 2 pp. 13-15 を復習
5	航空系④ Unit 2 機内サービス Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 3 pp. 19-21 を読む
6	航空系⑤ Unit 3 LCC と FSC Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 3 pp. 22-24、クイズの準備：Unit 3 pp. 19-21 を復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	航空系⑥ Unit 3 LCC と FSC Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 4 pp. 25-27 を読む
8	航空系⑦ Unit 4 面接重視の航空会社 Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 4 pp. 28-30、クイズの準備：Unit 4 pp. 25-27 を復習
9	航空系⑧ Unit 4 面接重視の航空会社 Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 5 pp. 35-37 を読む
10	テーマパーク系① Unit 5 チケット販売 Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 5 pp. 38-40 、クイズの準備：Unit 5 pp. 35-37 を復習
11	テーマパーク系② Unit 5 チケット販売 Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 6 pp. 41-43 を読む
12	テーマパーク系③ Unit 6 アトラクション Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 6 pp. 44-46、クイズの準備：Unit 6 pp. 41-43 を復習
13	テーマパーク系④ Unit 6 アトラクション Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 7 pp. 47-50 を読む
14	テーマパーク系⑤ Unit 7 トラブル発生 Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 7 pp. 50-52、クイズの準備：Unit 7 pp. 47-50 を復習
15	テーマパーク系⑥ Unit 7 トラブル発生 Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 8 pp. 53-55 を読む
16	テーマパーク系⑦ Unit 8 業界の先輩メッセージ Vocabulary, basic expressions & dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 8 pp. 56-58、クイズの準備：Unit 8 pp. 53-55 を復習
17	テーマパーク系⑧ Unit 8 業界の先輩メッセージ Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 9 pp. 61-63 を読む
18	ホテル系① Unit 9 ホテル業務内容 Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 9 pp. 64-66、クイズの準備：Unit 9 pp. 61-63 を復習
19	ホテル系② Unit 9 ホテル業務内容 Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 10 pp. 67-69 を読む
20	ホテル系③ Unit 10 料飲部門 (F & B) Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 10 pp. 70-72、クイズの準備: Unit 10 pp. 67-69 を復習
21	ホテル系④ Unit 10 料飲部門 (F & B) Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 11 pp.73-75 を読む
22	ホテル系⑤ Unit 11 トラブル発生 Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 11 pp.76-78、クイズの準備：Unit 11 pp. 73-75 を復習
23	ホテル系⑥ Unit 11 トラブル発生 Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	Unit 12 pp. 79-81 を読む
24	ホテル系⑦ Unit 12 ホテル業界就職活動編 Vocabulary, basic expressions, and dialogues	講義　演習 ディスカッション	Unit 12 pp. 82-84、クイズの準備：Unit 12 pp. 79-81 を復習
25	ホテル系⑧ Unit 12 ホテル業界就職活動編 Reading, info gap activity (dialogues)	ペアワーク　クイズ （ペアで採点後解説）	スピーキングテストの準備
26	スピーキングテスト（Job Interview） 自己評価	講義　演習 スピーキングテスト	スピーキングテスト振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	スピーキングテストフィードバック ホスピタリティに必要な背景知識	講義　演習 ディスカッション	配布資料を復習 pp. 32-34, 59-60, 85-86 を読む
28	各業界の補足情報 学期のまとめ	講義 ディスカッション	今学期学んだ内容を復習する

テキスト	『ホスピタリティ・コミュニケーション　実践形式で学ぶおもてなし英語』（三修社）

科目名	ENG167: 標準英語スキルズ（日本の文化）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	月木５限			研究室	4217
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Chanoyu, Japanese culture, 和敬清寂
授業の概要	この授業では、英語を通して日本の文化について茶の湯を切り口に、語彙力、読解力、会話力、プレゼンテーション力を学ぶ。茶の湯が総合芸術と言われるのはなぜか、喫茶の習慣が歴史的にどのように始まったかなどを、テキスト、映画、You tube など多様なメディアを通して理解する。また、点前の実技を学び、海外に在住する茶人との交流も予定している。
達成目標（授業の目的）	この授業では、学生は英語で、海外の人々に対し日本の喫茶の習慣や茶の湯について、説明ができるようになることを目的とする。また、裏千家の作法で盆略点前という基本のお点前で茶を点てることを習得する。
到達目標（学修成果）	① 英語の指示に従い盆略で茶を点てられるようになる。 ② 英語で茶の飲み方など客の作法を説明できるようになる。 ③ 茶の湯の歴史やその精神について日英両言語で理解し説明できるようになる。
評価方法	① 単語クイズ（5%×10 回＝50%） ② 授業への積極参加（10%） ③ ロールプレイ（10%） ④ プレゼンテーション（10%） ⑤ レポート（20%）
評価基準	① 単語クイズ：その日に使用する語彙テストを予習してきているかを評価する。 ② 授業への積極参加：ディスカッションやお点前の習得に積極的に参加するかを評価する。 ③ ロールプレイ：正しく点前ができるか、点前の指示が英語でできるかを評価する。 ④ プレゼンテーション：日本文化（陶磁器、鋳物、塗り物、建築など）について英語で説明できるかを評価する。 ⑤ レポート：日本文化を茶の湯という視点から適切に説明できているかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions: Why is tea the master key to Japanese culture.	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.4-14 の予習
2	Description of Chanoyu: Powdered tea, procedure, Guest’s part, tearoom, utensils	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.15-40 の予習
3	単語クイズ①、返却解説、Warigeiko 1: Basic Movements of the Tea Procedure	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.43-53 の予習
4	Description of Chanoyu: Tearoom, utensils. Chanoyu is a living museum of Japanese arts.	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.22-31 の予習
5	単語クイズ②、返却解説、Warigeiko 2: Folding the Fukusa and purifying the Natsume	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.14-17, pp.54-63 の予習
6	Description of Chanoyu: Alcove, Seasons, Tea serving styles	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.32-40 の予習
7	単語クイズ③、返却解説、Warigeiko 3: Purifying the Chashaku and examing the Chasen	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.18-21, pp.43-53 の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Tea gatherings: Informal tea gatherings, formal gatherings, kaiseki, sweets.	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.53-65 の予習
9	単語クイズ④、返却解説、Warigeiko 4: Folding the Chashaku and wiping the Chawan	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.22-25, pp.43-53 の予習
10	Tea gatherings: Chaji meal, Sweets at tea gatherings	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.4-14 の予習
11	プレゼンテーション: Ceramics, lacquer & wood, bamboo, metal, textiles, architecture	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.4-14 の予習
12	単語クイズ⑤、返却解説、Bonryaku-demae 1 外国人の質問への答え方を学ぶ	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.26-29, pp.74-75 の予習
13	プレゼンテーション：History of Chanoyu 室町、安土桃山、江戸、明治、大正、現代	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.4-14 の予習
14	単語クイズ⑥、返却解説、Bonryaku-demae 2 点前の表現と意味を考える	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.74-75, pp.80-83 の予習
15	Chanoyu and Japanese sprits 和敬清寂とは	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.86-87 の予習
16	単語クイズ⑦、返却解説、Bonryaku-demae 3 イリノイ大学の Japan House の活動	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.74-83, pp.84-87 の予習
17	Zen 茶の湯と禅：「茶禅一味」の意味 茶掛に用いられる禅語	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.90-91 の予習
18	単語クイズ⑧、返却解説、Bonryaku-demae 4 フィラデルフィア松風荘	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.74-87, pp.88-93 の予習
19	残心について 米国の大学生との交流	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp.92-94 の予習
20	単語クイズ⑨、返却解説、Bonryaku-demae 5 ペルー日系人協会の茶室	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp. 74-93, pp.94-99 の予習
21	海外の茶道コミュニティ：ドイツの茶人からのメッセージ	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	盆略点前の練習、英語ナレーションの練習
22	単語クイズ⑩、返却解説、Bonryaku-demae 6 上智大学福田屋の茶室	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.74-99, pp.100-103 の予習
23	クリスマスの茶会を考えるとしたら 季節にあった道具組みとは	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	盆略点前の練習、英語ナレーションの練習
24	Bonryaku-demae 7 ペアでロールプレイ	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.74-103, pp.104-105 の予習
25	Bonryaku-demae 8 ペアでロールプレイ	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.43-53 の予習
26	プレゼンテーション	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	盆略点前の練習、英語ナレーションの練習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Bonryaku-demae 9 ロールプレイ	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp.43-53, pp.43-53 の予習
28	プレゼンテーション	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	レポート作成

テキスト	A ランディー・チャネル宗榮（2016）『バイリンガル茶の湯 Book: The Book of Chanoyu』（淡交社） B 淡交社編集局（2004）『茶席で話す英会話: The room conversation in English』（淡交社）
参 考 書	Kristin Surak. 2013 *Making Tea, Making Japan: Cultural Nationalism in Practice* (Stanford Univ. Press). クリステン・スーラック（2018）『日本らしさと茶道 Making Tea Making Japan』（さいはて社）
その他 特記事項	盆略点前に必要な次の道具は各自が準備する（帛紗、茶碗、棗、茶筅、茶杓、茶巾、建水）。茶碗、建水は見立ても可。ネット等で購入可。五千円程度。

科目名	ENG180: 準上級英語アカデミックスキルズ（諸学問領域）					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	火金４限			研究室	4209
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-③
キーワード	Academic Skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	The objective of this course is for students to learn and practice the fundamental skills necessary to succeed in an English-speaking academic environment. Overall, the activities we do in this course will include developing all the major skills – reading, writing, listening, and speaking. Students can expect to learn, through short lectures and intensive practice sessions, many ways that they can improve on their abilities in these areas.						
達成目標（授業の目的）	Students will participate in guided conversations about specific topics covered in the textbook as well as those suggested by the instructor. Students will learn the vocabulary necessary to participate actively in focused conversations and contribute new information in a fluent, real-time situation. Students will develop organizational and critical thinking skills through a variety of in-class and out-of-class activities and homework assignments.						
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student should be able to listen to a lecture in English and take notes that can be used to create an outline and support later discussion. Students should be able to participate fully in a conversation with another student based on a wide range of level appropriate reading and listening passages. Students will also be able to construct an approximately 10-minute presentation from outline to final performance and answer relevant questions from other students and the instructor.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (20%); Homework assignments (20%); Testing and assessment, such as in-class writing, quizzes, tests, and presentations (60%)						
評価基準	Participation and performance: demonstration of attention during lectures, willingness to actively participate during pair work, display understanding and follow conversation guidelines; Writing: find main and supporting ideas in passages and present summaries in clear paragraphs, show best effort to help other students during peer editing; Homework: complete in timely fashion, display understanding of and use lesson contents; Tests: correctly answer questions relating to class content; Presentations: display adequate understanding of topic, presentation skills (eye contact, voice control), and answer questions about presentation; in-class writing: respond to class readings with summary and opinions.						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to course, text, and classroom management; self-introductions, conversations	Listening practice, asking questions, conv.	Read syllabus and get familiar with textbook, write paragraph
2	Psychology: Happiness; lecture topic and organization; agreeing / disagreeing	Conversation, group discussion, pair-work	Exercises in CT: pages 2-6
3	Questions, quantifiers, review simple and continuous past, asking for and giving advice	Reading aloud, pair-work, discussion	Exercises in CT: pages 7-11
4	Linguistics: a time to learn; signal questions, syllable stress, rise / falling intonation	Pair-work, conversation, group	Exercises in CT: pages 12-16
5	How to learn a language; How to make a presentation	Conversation, peer-editing, short lecture	Exercises in CT: pages 17-21
6	Test 1 (Units 1 & 2) In-class writing	Test; In-class writing, pair work, grp discussion	Study for test and prepare outline for in-class writing
7	Return test and go over results; Public health: sleep; signal phrases; expressing an opinion	In-class writing, peer-editing	Exercises in CT: pages 22-25

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Preparing and making a good presentation, Handling audience questions	Short lecture, group discussion	Exercises in CT: pages 26-31
9	Business: negotiating for success; lists; asking for opinions or ideas; expressing an opinion	Pair-work, discussion, peer-editing	Exercises in CT: pages 32-36
10	asking for clarification or confirmation; keywords - community, individual, majority	Conversation, peer-editing, short lecture	Exercises in CT: pages 37-41
11	Test 2 (Units 3 & 4) In-class writing	Test; In-class writing, pair work, grp discussion	Study for test and prepare outline for in-class writing
12	Return test and go over results Art history; asking for opinions, ideas; agree / disagree	note taking, ask quest's, pair work, grp discussion	Exercises in CT: pages 42-46
13	Styles of visual art; using visual aids; pausing between thought groups	note taking, ask quest's, pair work, grp discussion	Exercises in CT: pages 47-51
14	Technology: robots; numbers; offering a fact or example; trying to reach a consensus;	In-class writing, fact-checking	Exercises in CT: pages 52-56
15	Examples and restatement, trying to reach a consensus, offering a fact or example	In-class reading, pair work, group discussion	Exercises in CT: pages 57-61
16	Test 3 (Units 5 & 6) In-class writing	Test; In-class writing, pair work, grp discussion	Study for test and prepare outline for in-class writing
17	Return test and go over results; Media studies: video games; points of view; disagreeing	Group discussion, pair-work, fact-checking	Exercises in CT: pages 62-66
18	Opportunity cost: corpus-based vocabulary - concepts, economics, elements, excludes	Short lecture, discuss., Exam feedback	Exercises in CT: pages 67-71
19	Biology: genetically modified food; key terms; offering a fact or example	Pair work, lecture, conversation	Exercises in CT: pages 72-76
20	Keeping the discussion on-topic; researching an explorer or adventurer and presenting	In-class reading, pair work, group discussion	Exercises in CT: pages 77-81
21	Test 4 (Units 7 & 8) In-class writing	Test; In-class writing, pair work, grp discussion	Study for test and prepare outline for in-class writing
22	Return test and go over results; Business: design thinking, intelligence; degrees of certainty	Lecture, fact-checking, pair work, group disc.	Exercises in CT: pages 82-91
23	Noting numbers and dates from a short talk, fact-checking statements, practice linking	Short lecture, discuss., Exam feedback	Exercises in CT: pages 97-101
24	Ethics: doing the right thing; asking for opinions or ideas; expressing an opinion	Pair-work, conversation, group discussion	Exercises in CT: pages 102-106
25	Using real-world examples; expressing an opinion; offering a fact or example	Conversation, peer-editing, short lecture	Exercises in CT: pages 107-111
26	Summary and discussion of student choice of Units 9, 10, 11, or 12	Pair-work, conversation, group discussion	Read and prepare to lead discussion for chosen unit
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentations (half of the students)	Listen to presentations, notetaking, ask quest's	Prepare discussion questions, review outline for present's
28	Presentations (half of the students)	Listen to presentations, notetaking, ask quest's	Prepare discussion questions, review outline for present's

テキスト	Helen Solorzano and Laurie Frazier. *Contemporary Topics 1: 21st Century Skill for Academic Success* (Pearson).

科目名	ENG181: 準上級英語アカデミックスキルズ（社会学）					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	火金４限			研究室	4205
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	academic English, content-based learning, theme-based learning, sociology, social sciences
授業の概要	This course aims to help students develop skills needed to understand, write, and speak effectively about academic topics in English. Lessons will be based on the main reading passage (about 400 words) of each textbook unit. These passages deal with social issues that are often studied in sociology and other social sciences, such as social psychology and communication. During the semester, each student will do three short presentations and a longer final presentation.
達成目標（授業の目的）	Through this course, students will be able to build up their academic English vocabulary, improve their ability to read passages on topics related to sociology and other social sciences, and develop their skills in writing, discussion, and presentation in relation to such topics.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students should be able to do the following: ・ Vocabulary: understand and use key English vocabulary provided by the textbook; ・ Reading: grasp main ideas and details in moderately difficult passages using academic vocabulary; ・ Writing: summarize passage content and research discussed in passages; ・ Discussion: engage in discussion of topics covered in the textbook, using key vocabulary; ・ Presentation: present both general ideas and specific information / details / examples on a topic related to sociology or another social science in an organized, easy-to-understand way.
評価方法	Participation and performance, including 3 short presentations (35%); Homework (35%); Tests (20%); Final Presentation (10%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, engagement in discussions, use of key vocabulary studied; content, organization and understandability of short presentations. Homework: submitted on time and according to instructions, understanding / use of key vocabulary, summarizing of passage content and research discussed in passages. Tests: understanding / use of key vocabulary, grasp of main ideas / details in passages. Final Presentation: topic related to sociology or another social science, use of general ideas and specific information / details / examples, organization, easy to understand, length.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course; explanation of Short Presentation #1	explanation by instructor, pair-work	Review syllabus carefully
2	Unit 1 (social networking): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Study Unit 1 vocabulary in advance
3	Unit 1 (social networking): comprehension, discussion	pair / small-group work, discussion	Read Unit 1 text thoroughly
4	Recap of Unit 1; Unit 2 (lifestyles): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 2 vocabulary in advance
5	Unit 2 (lifestyles): comprehension, discussion	pair / small-group work, discussion	Read Unit 2 text thoroughly
6	Recap of Unit 2; Unit 3 (parenting styles): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 3 vocabulary in advance

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Short Presentations #1 (introduce an important sociologist or other social scientist); explanation of Short Presentation #2	presentations	Prepare presentation
8	Unit 3 (parenting styles): comprehension, discussion	pair / small-group work, discussion	Read Unit 3 text thoroughly
9	Recap of Unit 3; Unit 13 (gender & divorce): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 13 vocabulary in advance
10	Unit 13 (gender & divorce): comprehension, discussion	pair / small-group work, discussion	Read Unit 13 text thoroughly
11	Recap of Unit 13; Unit 7 (social movements): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 7 vocabulary in advance
12	Unit 7 (social movements): comprehension, discussion	pair / small-group work, discussion	Read Unit 7 text thoroughly
13	Short Presentations #2 (about a mini survey project)	presentations	Prepare presentation
14	Test #1 (Units 1, 2, 3, 13, 7); explanation of Short Presentation #3	test, explanation by instructor	Study for test
15	Recap of Unit 7; Unit 9 (employment trends): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 9 vocabulary in advance
16	Unit 9 (employment trends): comprehension, discussion; return Test #1 and go over results	pair / small-group work, discussion	Read Unit 9 text thoroughly
17	Recap of Unit 9; Unit 10 (social stratification): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 10 vocabulary in advance
18	Unit 10 (social stratification): comprehension, discussion	pair / small-group work, discussion	Read Unit 10 text thoroughly
19	Recap of Unit 10; Unit 11 (communication): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 11 vocabulary in advance
20	Unit 11 (communication): comprehension, discussion; explanation of Final Presentation	pair / small-group work, discussion	Read Unit 11 text thoroughly
21	Short Presentations #3 (about a mini interview project)	presentations	Prepare presentation
22	Recap of Unit 11; Unit 12 (social deviance): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 12 vocabulary in advance
23	Unit 12 (social deviance): comprehension, discussion	pair / small-group work, discussion	Read Unit 12 text thoroughly
24	Recap of Unit 12; Unit 5 (population): vocabulary, text	pair / small-group work, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 5 vocabulary in advance
25	Test #2 (Units 9, 10, 11, 12, 5); Unit 5: comprehension, discussion; Final Pres. prep.	test, pair / small-group work, discussion	Study for test; read Unit 5 text thoroughly
26	Unit 5 (finish up Qs as needed); return Test #2 & go over results; recap of Unit 5; Final Pres. prep.	individual guidance from instructor; pair work	Prepare Recap homework; begin working on Final Presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations	presentations	Prepare presentation
28	Final Presentations	presentations	Prepare presentation

テキスト	Jim Knudsen. *Everyday Sociology* (Nan'un-do).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG182: 準上級英語スキルズ（TOEIC スピーキング・ライティング対策）					担当教員	P. McQuilling
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②, 3-③

キーワード	TOEIC preparation skills, critical thinking, test item formatting, self-directed learning
授業の概要	This class will provide a structured format to prepare for the TOEIC Speaking and Writing Tests. In this course students will explore a range of test content and language usage that are common in TOEIC tests and also in daily life. Original test items will be made by the students based on TOEIC test question formatting.
達成目標（授業の目的）	This course aims to help students develop an understanding of test item formatting and the topics presented on the TOEIC Speaking and Writing Test. Students will learn the formatting of each question type and will work with their peers to critically analyze the answers they provide. TOEIC test strategies will also be discussed with peers and the instructor. English language skills will be developed in parallel to a greater understanding of TOEIC test content.
到達目標（学修成果）	By the end of the course, each student should be able to identify and provide answers for all question types on the TOEIC Speaking and Writing Test. Students will then be able to create original test questions in the appropriate format. Participation will include test item creation (TIC) and critical thinking activities that will promote discussion skills and help prepare students for a set of 3 mock TOEIC tests. Preparation for each class will include both homework and TIC tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities, including discussions, peer evaluations and TIC content created by the students (20%); Homework assignments drawn from the textbook and worksheets (25%); Test Item Creation, during and outside of class, focusing on creation of properly formatted test questions (25%); Testing and assessment, including 3 mock TOEIC tests – i) Speaking test ii) Writing test & iii) Speaking & Writing tests combined (30%).
評価基準	Participation and performance: active involvement every class, TIC content (developed in-class and at home) and critical thinking activities which reference TOEIC Test question formats, effort to use English; Homework (HW): worksheets & assignments completed thoroughly and on time, use of test formatting; Test Item Creation (TIC): completed thoroughly and on time for use in class (e.g., in pair work and small groups); Mock Tests: completion of each test and response to feedback from teacher and peers.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction & orientation. Learner profiles, course goal setting.	Explanation by instructor, pair work.	Read syllabus, complete learner profile.
2	TOEIC Speaking Test overview. Qs.1-2 Reading Announcements practice.	Pair work, group work, peer evaluations.	Speaking Test Qs.1-2 Practice worksheet.
3	Speaking Test Q.3 Describing Photos explanation and practice.	Presentation, pair work, group work.	Speaking Test Q.3. Practice worksheet.
4	Speaking Test Qs.4-6 Responding to Questions explanation and practice.	Pair work, group work & discussion.	Speaking Test Qs.4-6. Practice worksheet.
5	Speaking Test Qs.7-9 Responding to Questions using Provided Information.	Pair work, group work, self recordings.	Speaking Test Qs.7-9. Practice worksheet.
6	Speaking Test Q.10 Proposing a Solution strategy and practice.	Pair work, group work, self recordings.	Speaking Test Q.10 Practice worksheet.
7	Speaking Test Q.11 Expressing your opinion organization tactics and practice.	Pair work, discussion, peer evaluations.	Speaking Test Q.11 Practice worksheet.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Speaking Test Review – review & practice, self-evaluations, self-improvement strategies.	Peer evaluations, self recordings.	Review test questions and strategies for Mock Test 1.
9	Mock Test 1: Speaking Test (45 minutes), review answers, Q&A / Return test and go over results.	Test, teacher feedback, self-evaluation.	Review answers and feedback. Identify areas for improvement.
10	Test feedback & Writing Test overview. Writing Test Qs.1-5. Photo descriptions.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Qs.1-5. Practice worksheet.
11	Writing Test. Qs.6-7. Responding to emails. Organizing responses.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Qs.6-7. Practice worksheet.
12	Writing Test Q.8. Writing an opinion essay. Organization and supporting opinions.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Q.8. Practice worksheet. Essay organization.
13	Writing Test Q.8. Writing an opinion essay. Cohesion and coherence strategies.	Pair work, teacher feedback, self-evaluation.	Writing Test Q.8. Cohesion & coherence worksheet.
14	Writing Test review – review & practice, self-evaluations, self-improvement strategies.	Pair work, group work, peer evaluations.	Review test questions and strategies for Mock Test 2.
15	Mock Test 2: Writing Test (40 minutes), review answers, Q&A / Return test and go over results.	Test, teacher feedback, self-evaluations.	Review answers and feedback. Identify areas for improvement.
16	Test feedback & Test Item Creation overview. Test Item Creation: Speaking test Qs.1-2.	Teacher feedback, pair work, research.	Research suitable items for Speaking test Qs.1-2.
17	Test Item Creation: Speaking test. Q.3. Student created question practice.	Pair work & research. Self recordings.	Find suitable pictures for Speaking test Q.3.
18	Test Item Creation: Speaking test Qs.4-6. Student created question practice.	Pair work & research. Self recordings.	Create a situation and questions for Speaking test Qs.4-6.
19	Test Item Creation: Speaking test Q.7-9. Student created question practice.	Pair work & research. Self recordings.	Create data and questions for Speaking test Qs.7-9.
20	Test Item Creation: Writing Test Qs.1-5. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Find suitable material for Writing Test Qs.1-5.
21	Test Item Creation: Writing test Qs.6-7. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Write 2 appropriate emails for Writing test Qs.6-7.
22	Test Item Creation: Speaking test. Q.10. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Record an appropriate voice message for Speaking test Q.10.
23	Test Item Creation: Speaking test. Q.11. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Create an appropriate question for Speaking test Q.11.
24	Test Item Creation: Writing test. Q.8. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Create an appropriate question for Speaking test Q.8.
25	TOEIC self-evaluations, self-improvement strategies.	Pair work, group work & discussion.	Review test questions and strategies for Mock Test 3.
26	Mock Test 3: Speaking & Writing tests (1 hour).	Test, teacher feedback, self-evaluations.	Review answers and feedback. Identify areas for improvement.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	TOEIC strategies and independent learning review. Return test and go over results.	Pair work, group work & discussion.	Make a plan for future learning.
28	Feedback and course reflection.	Pair work, group work & discussion.	Review the class and reflect on your progress.

テキスト	Educational Testing Service『TOEIC Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（IIBC）

科目名	ENG183:　準上級英語スキルズ（多読速読）					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	火金５限			研究室	4206
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	extensive reading, rapid reading, speed reading, skimming, scanning, levelled readers, graded readers
授業の概要	Reading improves through reading. This skills course is designed to make reading an enjoyable habit by allowing students to read many books in English at a level they feel comfortable with and about content which interests them. Students will have access to a virtual library of adventure, mystery, humor, biography, romance, true stories, and social issues books which they can read on their devices or borrow in paper format from the school library. They will also practice rapid reading techniques in class.
達成目標（授業の目的）	Course Goals: For students to improve their general English reading ability by reading large quantities of texts at a comfortable level. For students to express their understanding of what they have read to others in a clear way. For students to understand written content faster by mastering several common writing patterns. For students to increase their English vocabulary.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will acquire the habit of weekly reading of longer texts and books in English; will be able to write a report about non-fiction and fiction books; will be able to orally communicate about what they read by doing book presentations; will be able to use the SQ4R method to read faster; will have learned and be able to recognize 500 common reading vocabulary words.
評価方法	Participation 20%; Homework 40%; Vocabulary Quizzes 30%; Presentation 10%
評価基準	1. Participation: active participation in class activities including group book presentation sharing (20%) 2. Homework: 12 book reports evaluated on completeness and timely submission (24%) and total number of words read (16%) 130,000+words = 16pts; 100,000 words=15pts; 80,000 words=14 pts; 70,000 words= 13 pts; 60,000 words=12 pts; 50,000 words= 11pts, 40,000 words=10pts, 30,000 words=9 points, 20,000 words=8 points, 10, 000 words=7points, 5,000 words=6points… 3. Vocabulary Quizzes: Moodle quizzes based on the textbook vocabulary lists (30%) 4. Presentation: 1 presentation evaluated on organization, delivery, content, and peer feedback to other presentations (10%)
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Class introduction. What are rapid reading (RR) and extensive reading (ER)? Resources	lecture, video	Choose books for extensive reading.
2	RR: readings 42-44 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,100 words or more; Do the Moodle quiz.
3	RR: readings 45-47 ER: book report 1	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,100 words or more; Do the Moodle quiz
4	RR: readings 48-50 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,100 words or more; Do the Moodle quiz
5	RR: readings 51-53 ER: book report 2	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,100 words or more; Do the Moodle quiz
6	RR: readings 54-56 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,100 words or more; Do the Moodle quiz
7	RR: readings 57-59 ER: book report 3	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,100 words or more; Do the Moodle quiz

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	RR: readings 60-62 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,100 words or more; Do the Moodle quiz
9	RR: readings 63-65 ER: book report 4	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,100 words or more; Do the Moodle quiz
10	RR: readings 66-68 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
11	RR: readings 69-71 ER: book report 5	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
12	RR: readings 72-74 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
13	RR: readings 77-79 ER: book report 5	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
14	RR: readings 80-82 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
15	RR: readings 83-85 ER: book report 6	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
16	RR: readings 86-88 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
17	RR: readings 89-91 ER: book report 7	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
18	RR: readings 92-94 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
19	RR: readings 95-97 ER: book report 8	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,200 words or more; Do the Moodle quiz
20	RR: readings 98-100 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,300 words or more; Do the Moodle quiz
21	RR: readings 101-103 ER: book report 9	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,300 words or more; Do the Moodle quiz
22	RR: readings 104-106 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,300 words or more; Do the Moodle quiz
23	RR: readings 107-109 ER: book report 10	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,300 words or more; Do the Moodle quiz
24	RR: readings 110-112 ER: student presentations	review, RR drills, reading	Read your book(s); Do the vocab; Prepare presentations
25	RR: readings 113-115 ER: book report 11	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,300 words or more; Do the Moodle quiz
26	RR: readings 116-118 ER: student presentations	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,300 words or more; Do the Moodle quiz
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	RR: readings 119-121 ER: book report 12	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 1,300 words or more; Do the Moodle quiz
28	RR: readings 122-124 ER: reading celebration	review, RR drills, reading	Read your book(s) 1,300 words or more; Do the Moodle quiz

テキスト	（1）松本茂『TOEIC TEST 速読速聴・英単語 STANDARD 1800 ver.2』（Z-Kai） （2）“Xreading.com” 6-month student subscription.
参 考 書	Nation, I. S. P., and Rob Waring. *Teaching Extensive Reading in Another Language* (Routledge).

科目名	ENG184: 準上級英語スキルズ（アカデミックライティング）					担当教員	R. Burton
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Academic writing through reading and language analysis, referenced to academic conceptual thought.
授業の概要	This course will give students substantial practice of reading texts analytically, such that the concepts and details within those texts can then be used to help create academic essays. Obviously, this means a regular routine of reading and writing. Less obviously, it also means learning the procedures necessary to develop analytical thinking appropriate to each written section of an academic essay, or research paper. Perhaps not obvious at all, is the fact that this course will involve a great deal of discussion, as students must nurture and exercise the spirit of shared rational enquiry that is essential to research. There is also valuable native-speaker listening practice in the short videos that accompany the *Prism* textbook.
達成目標（授業の目的）	This course will provide students with the conceptual framework of the key rhetorical modes involved in academic writing. The reading texts also serve as input for language development of vocabulary and grammar. However, none of the many language practice exercises is merely a language analysis. Instead, it is preparation guiding students to incorporate that vocabulary and those items of grammar into conceptual and analytical writing. As such, students' general writing abilities will evolve and gain the extra competence and precision that characterizes academic writing and thinking.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have gained vast language practice in reading and writing as used to enable core conceptual frameworks to serve academic inquiry. This means they will be able to set about writing academic essays on any topic involving such rhetorical modes as Explanation, Comparison and Contrast, Opinion, Problem and Solution, Persuasion, Argumentation, and Analysis (of data). Moreover, by combining this range of abilities, students will have gained the ability to write a Research Paper with its added requirements of Attribution, Citation, and Referencing. As such, students should find themselves sufficiently practiced in discussion, and scrutiny, to participate effectively in seminar presentations, dialectic and debate.
評価方法	Participation and performance in classroom / Zoom discussions (30%); Homework (20%); x7 final drafts of Written Essays (35%); Individual 5-minute Presentation of Essay (15%) – each student to choose one of their own, already submitted essays to present to the class.
評価基準	Participation and performance in classroom / Zoom discussions: The amount of participation and performance in classroom / Zoom discussions will depend on a student's language level, but it is also dependent on how much preparation students do. Homework: The Homework is either language development exercises, or provisional planning for essays and discussions. Some preparation exercises must be submitted for grading. Written Essays: grading criteria being x4 equal proportions of marks for vocabulary choice, sentence variety, paragraph cohesion & essay structure. Presentation of Essay: with assessment 50% based on pronunciation (clarity and continuity), and 50% based on effective paraphrasing from formal written register to more approachable / social spoken register.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Unit 1 "Globalization" and Course introduction. "Globalization"- mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Turkish Treats answer set questions
2	"Globalization"- Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2-Eating Habits Discussion & Definitions	Language Development with phrasal verbs
3	"Globalization" - Essay Planning, noun phrases, time phrases, thesis statements	Live workshop tasks, & 'Explanatory' mode	1st Essay, 1st Draft "How has globalization changed Japan?"
4	"Globalization" - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Discussion	1st Essay, 2nd Draft. "On Campus"- Study Skills
5	Unit 2 "Education"- mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Different Majors answer set questions

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	“Education”- Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2-F2F or on-line Discussion & Inferences	Language Development with “Academic Words”
7	“Education” - Essay Planning, language for comparing and contrasting	Live workshop tasks, & ‘Comparative’ mode	2nd Essay, 1st Draft “Studying a language vs. studying math”
8	“Education” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Discussion	2nd Essay, 2nd Draft. “On Campus”-Discussion Board
9	Unit 3 “Medicine”- mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Homeopathy Debate -answer set questions
10	“Medicine” - Reading Analysis, Check reading 1, Class read-through Reading 2, & discussion	Reading 2 - Should Healthcare Be Free?	Language Development with “Medical & Academic Words”
11	“Medicine” - Essay Planning, language for definite / indefinite articles, showing concession	Live workshop tasks, & ‘Opinion’ mode	3rd Essay, 1st Draft “Responsible for Disease Prevention- Who?”
12	“Medicine” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Discussion	3rd Essay, 2nd Draft. & “On Campus” - Illness Coping
13	Unit 4 “The Environment”- mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Disaster Mitigation - answer set questions
14	“The Environment” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2 - Combating Drought in Africa	Language Development with “Academic Noun Phrases”
15	“The Environment”- Essay Planning, language for expressing solutions using ‘it’ / ‘the thing is’	Live workshop tasks, & ‘Problem-Solution’ mode	4th Essay, 1st Draft “Case Study Environmental Report Solution”
16	“The Environment” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Discussion	4th Essay, 2nd Draft. “On Campus”- Study Plans
17	Unit 5 “Architecture”- mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Green Buildings - answer set questions
18	“Architecture” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2 - Form vs. Function	Language Development with “Academic Word Families”
19	“Architecture” - Essay Planning, language for expressing formal / informal register	Live workshop tasks, & ‘Persuasive’ mode	5th Essay, 1st Draft “New Home Location vs. Size, Trade-off”
20	“Architecture” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Mini Presentations	5th Essay, 2nd Draft. & “On Campus” - Conflict Resolution
21	Unit 6 “Energy”- mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Alternative Energy - answer set questions
22	“Energy” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2 - Maintaining Vital Natural Resources	Language Development with “Formal vs. Informal Verbs”
23	“Energy” - Essay Planning, language and use of relative clauses	Live workshop tasks, & ‘Explanatory’ mode	6th Essay,1st Draft “Comparison of Advantages / Disadvantages”
24	“Energy” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Mini Presentations	6th Essay, 2nd Draft. “On Campus”- Reference Letter
25	Unit 7 “Art and Design”- mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-All that Art is - answer set questions
26	“Art and Design” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2 - Photography as Art	Language Development with “Art & Design Vocabulary”
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	“Art and Design”- Essay Planning, language for substitution, and ellipsis	Live workshop tasks, & ‘Argumentative’ mode	7th Essay, 1st Draft “Cooking IS Fine Art! - Argument”
28	“Art and Design” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Mini Presentations	7th Essay, 2nd Draft. & “On Campus”- Common Knowledge

テキスト	Chris Sowton, Alan S. Kennedy. *Prism Reading & Writing 3* (Cambridge). ISBN 9781316624456

科目名	ENG225: 上級英語スキルズ（編入対策）					担当教員	平野　幸治
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4210
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	holistic view, analytic attitude, schema for comprehension and expression, critical thinking
授業の概要	大学の編入試験に使われた過去問を用いて授業を進める。毎授業に約 500 単語くらいの reading passage を読み、設問に対し日本語による論述と約 150 単語くらいで英語の文章を書く。一つのトピックを5回位の授業単位で扱う。授業の終わりに学生と対話し、適切な問いを出す力（発問能力）と適切な回答を生み出す力について事例を提示して考える。過去問を読み解くための schema を付した解題や参考文献リストも毎授業で配布する。
達成目標（授業の目的）	編入学試験の過去問を用いることで、学生は大学入試と編入学試験の相違や編入学試験が求める学力や表現力の水準を理解することが出来る。TOEFL の設問に慣れることで各々英語外部試験によって試験の趣旨や目的が異なることを理解できる。自己の目標を適切に具体的に設定する習慣と、過去問に関連したトピックの文献を自ら探し読み解く意志と力を身につけ、志望する学科について自分で判断できるようになる。
到達目標（学修成果）	学期末には学生は、大学の編入試験に必要とされる英語力と知識の水準を把握することができる。①指定の時間内に 140 単語から 175 単語くらいの英語で文章が書けるようになる。②指定の時間内に約 500 単語の reading passage を読み、設問に解答できるようになる。TOEFL の設問に慣れ、求められる vocabulary が身に付くようになる。③短時間に英語で意見をまとめ記述する習慣と力が身に付くようになる。
評価方法	①英語の writing（30%: 10%×3 回）。②授業内に行われる試験 2 回（20%: 10%×2 回）。③定期試験（22%）④毎回の授業の終了時に回収する form に授業に関する質問や意見および計画を適切な英語で記述（28%: 1%×28 回）。
評価基準	評価基準は授業の初回に詳しく説明しますが、基本的には以下のようです。 ① 英語の writing は、準備学習の成果を踏まえ、冗長でない英語で、パラグラフで構成された英文になっているか。 ② 授業内に行われる試験は、授業で獲得した知識を活用して展開しているか。 ③ 定期試験は、きちんとした日本語で論述、また的確な英文で構成されているか。 ④ 上記に記述。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション：論述・記述問題に対応する schema、総合的視点と分析的態度	講義と配布物の説明および CD の聴取	can-do リスト作成
2	経済学・経営学・国際関係論・法学を読む・書く（1）：ガバナンス系の学部の過去問	講義・配布物の説明	Write summary & opinion. Read *Economics* (Oxford UP) p. 16.
3	経営学の topics を読む・書く（2）：グローバル系の学部の過去問	返却と講評・講義	Read *Management* (Oxford UP) pp.107-115.
4	国際関係論の topics を読む・書く（3）：グローバル・ガバナンス系の過去問	講義と配布物の説明	Read *International Relations* (Oxford UP) pp.56-59.
5	国際関係論の topics を読む・書く（4）：グローバル・文化学系の過去問	①-1 英語の writing 講義と配布物の説明	Read *International Relations* (Oxford UP) pp.120-23.
6	法学の topics を読む・書く（5）：グローバル・文化学系の過去問	返却と講義と配布物の説明	Write summary & opinion (100 wds). Read *Politics* (Oxford UP) p.52.
7	法哲学の topics を読む・書く（6）：法学部系の過去問	講義・配布物の説明	Read *Political Philosophy*. (Oxford UP) pp.38-40.
8	社会学の topics を読む・書く（1）：The Status of Sociology	②-1 授業内試験と講評・配布物の説明	Read *Sociology* (Oxford UP) pp.3-10.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	社会学の topics を読む・書く（2）： Social Constructions	返却と講評・講義	Read *Sociology* (Oxford UP) pp.18-22.
10	社会学の topics を読む・書く（3）： The Modern World	講義と配布物の説明	Read *Sociology* (Oxford UP) pp.60-63.
11	社会学の topics を読む・書く（4）： The Impostors	①-2 英語の writing と講評・配布物の説明	Read *Sociology* (Oxford UP) pp.48-50.
12	TOEFL TEST iBT リーディング（1）： English 101&102	返却と講評・講義	テキスト Section 1・2 を解答しておく
13	TOEFL TEST iBT リーディング（2）： Color & Bats	講義と配布物の説明	テキスト Section 3・4 を解答しておく
14	TOEFL TEST iBT リーディング（3）： Painting & Energy and Energy Sources	講義と配布物の説明	テキスト Section 5・6 を解答しておく
15	TOEFL TEST iBT リーディング（4）： The Elements of Fiction and Drama & The Hoax	講義と配布物の説明	テキスト Section 7・8 を解答しておく
16	TOEFL TEST iBT リーディング（5）： Philosophy & Mysterious Forces	講義と配布物の説明	テキスト Section 9・10 を解答しておく
17	TOEFL TEST iBT リーディング（6）： Lie and Lie Detection & Sociology and Religion	講義と配布物の説明	テキスト Section 11・12 を解答しておく
18	TOEFL TEST iBT リーディング（7）： The Blacking Factory & Before It's Too Late	講義と配布物の説明	テキスト Section 13・14 を解答しておく
19	TOEFL TEST iBT リーディング（8）： PTSD & Zoos: For and Against	講義と配布物の説明	テキスト Section 15・16 を解答しておく
20	TOEFL TEST iBT リーディング（9）： John Dewey's Laboratory School	講義と配布物の説明	テキスト Section 17・18 を解答しておく
21	TOEFL TEST iBT リーディング（10）： まとめ	②-2 授業内試験と講評・配布物の説明	テキスト Section 19・20 を解答しておく
22	教育学と心理学の topics を読む・書く（1）： Big Ideas from the 20th Century	返却と講評・講義	Read *Education* (Oxford UP) pp.45-47.
23	教育学の topics を読む・書く（2）： The Curriculum	講義と配布物の説明	Read *Education* (Oxford UP) pp.88-92.
24	心理学の topics を読む・書く（3）： Learning & Memory	①-3 英語の writing と講義・配布物の説明	Read *Psychology* (Oxford UP) pp.28-30.
25	心理学の topics を読む・書く（4）： Developmental Psychology	返却と講評・講義	Read *Psychology* (Oxford UP) pp.70-75.
26	人文学、哲学の topics を読む・書く（1）： Plato's *Crito*	講義と配布物の説明	Read *Philosophy* (Oxford UP) p.12.
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	人文学、文学の topics を読む・書く（2）： Poetics	返却と講評・講義	Read *Shakespeare* (Oxford UP) pp.24-27.
28	人文学、歴史学の topics を読む・書く（3）： The Telling of Truth	講義と配布物の説明	Read *History* (Oxford UP) pp.112-116.

テキスト	Jim Knudsen, 生井健一編『TOEFL TEST iBT リーディング　実践編』（南雲堂書店）およびプリント配布
参 考 書	江川泰一郎『英文法解説』（金子書房） 毎授業の準備学修・復習で指摘している文献
その他 特記事項	実際の編入試験の過去問を用いるため、一年生には授業内容は大変難しい。予習が十分できる学生が前提。試験は暗記型と立論・論述型である。学生のニーズに合う授業を展開する。

科目名	ENG226: 上級英語スキルズ（TOEIC スピーキング・ライティング対策）					担当教員	A. Garin
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-②, 3-③
キーワード	TOEIC, speaking, writing, assessment, test-taking skills, lexical and grammatical knowledge						
授業の概要	This course will develop students' test-taking skills and strategies, as well as their grammatical and lexical knowledge to help achieve their goal scores on the TOEIC Speaking and Writing test. It will first familiarize the students with the test format. Then their strengths and weaknesses will be assessed on a pre-test. After that they will thoroughly practice all question types in both Speaking and Writing sections, regularly review the course content, and engage in self-study outside the class.						
達成目標（授業の目的）	1) Students will become familiar with the format, content, instructions and procedures for the test. 2) Students will understand what abilities are needed for each proficiency level of the test. 3) Students will evaluate their own strengths and weaknesses on the test. 4) Students will build-up lexical and grammatical knowledge relevant to the test. 5) Students will practice / review test-taking skills and approach test tasks efficiently and effectively.						
到達目標（学修成果）	1) Demonstrate an understanding of the format, content, instructions and procedures of the test. 2) Demonstrate an understanding of words, phrases, fixed expressions, grammatical structures, and organizational patterns needed to achieve one's target proficiency level. 3) Utilize test-taking skills and strategies efficiently and effectively to improve one's score on Speaking and Writing sections. 4) Show consistency and diligence in completing classroom tasks and homework assignments.						
評価方法	Participation in class 30%; Quizzes and homework 30% (Two lexis and grammar quizzes, practice mini-tests); Assessment 25% (Writing test 10%; Speaking test 15%); Independent learning 15% (Lexical notebooks).						
評価基準	*Participation*: active engagement in individual, pair, and small group activities. *Homework and quizzes*: submit fully completed homework on time, accurate comprehension and use of a range of words and phrases; accurate comprehension and use of a range of grammatical structures. *Assessment*: scores on writing and speaking tests (be able to read and understand question instructions, relevance and completeness of content). *Independent learning*: continually update and review lexical notebooks.						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, class guidelines, lexical notebooks, online collocation dictionaries	Lecture, individual, pair, group tasks	Read pp. 2-13 for Speaking, 135-137 for Writing
2	Go over writing section assessment and practice sample writing questions	Take pre-test, individual, pair, group tasks	Read about Writing Scores on pp. 158-161
3	Unit 13 Write a sentence based on the picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
4	Review Unit 13 Unit 14 Write a sentence based on the picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
5	Review Unit 14 Unit 15 Respond to a written request	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write a written request
6	Review Unit 15 Unit 16 Write an opinion essay	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write a practice opinion essay
7	Grammar and lexis Quiz 1, written request f / b Unit 17 Write a sentence based on the picture	Write quiz, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Return Quiz 1 and go over results Unit 18 Write a sentence based on the picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
9	Review Unit 18 Unit 19 Respond to a written request	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write a written request
10	Review unit 19 Unit 20 Write an opinion essay	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write a practice opinion essay
11	Written request feedback, peer review opinion essays, review skills and strategies units 13-20	Lecture, individual, pair, small group tasks	Review lexical notebooks, grammar, review for writing test
12	Writing test units 13-20, review writing tasks	Writing test, pair and group tasks	Review lexical notebooks and grammar
13	Go over speaking section assessment and practice sample speaking questions	Take pre-test, individual, pair, small group tasks	Speaking scores pp. 35-38, Pre-read Unit 1
14	Return Writing test and go over results Unit 1 Read a text aloud	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
15	Review unit 1 Unit 2 Describe a picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
16	Review Unit 2 Unit 3 Respond to questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
17	Review unit 3; Unit 4 Respond to questions using information provided	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
18	Review Unit 4 Unit 5 Propose a solution	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
19	Review unit 5 Unit 6 Express an opinion	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
20	Grammar and lexis Quiz 2 Unit 7 Read a text aloud	Write quiz, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
21	Return Quiz 2 and go over results, Review unit 7, Unit 8 Describe a picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
22	Review Unit 8 Unit 9 Respond to questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
23	Review unit 9; Unit 10 Respond to questions using information provided	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
24	Review unit 10 Unit 11 Propose a solution	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
25	Review unit 11 Unit 12 Express an opinion	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
26	Review Unit 12 Review skills and strategies units 1-12	Lecture, individual, pair, group tasks	Review for speaking test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Speaking test units 1-12, review speaking tasks	Take test, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, review speaking tasks
28	Go over the results of Speaking test	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebooks

テキスト	Grant Trew. *Tactics for TOEIC Speaking and Writing Tests* (Oxford).

科目名	ENG227: 上級英語スキルズ（TOEIC4 技能対策）					担当教員	O. Massoud
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②, 3-③

キーワード	TOEIC test listening, reading, speaking, and writing practice with language development explanations
授業の概要	In this course will give students as much TOEIC test practice and analysis as possible, providing focus questions and exercises in all 4 skills. The ETS textbooks contain the full range of question types and cover the vast majority of TOEIC question types and vocabulary range. Moreover, the learning will be carried out with time constraints so that students become habituated to the pace of the real test situation.
達成目標（授業の目的）	The course will provide students with a lot of TOEIC practice and analysis of techniques. Every part of the test is visited and explored with a view to better or quicker understanding. Since TOEIC is itself a test, tasks are not graded for difficulty. There will be a final test to allow students an accurate evaluation of likely authentic TOEIC scores.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have ・ Expanded their knowledge of all 4 skills of the TOEIC test together with their ability to respond to the different types of questions and vocabulary. ・ They will have learned methods of writing briefly and clearly, in well-structured sentences that combine cohesively. ・ They will have broadened their understanding and thereby their tolerance of diverging opinions, such that an opinion essay could be expected to show clear delineation of fact from opinion, and with appropriate use of hedging. ・ Students will refine their ability to incorporate greater precision of vocabulary into well-structured sentences, both written and spoken. ・ Students should also become more resourceful and skillful as autonomous learners of English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing comprises a mid-term test (15%) and a final exam (25%).
評価基準	・ Participation and Performance: Regular in-class TOEIC text comprehension, vocabulary, and grammar exercises to gauge grasp of all 4 skills (reading 10%, writing 10%, speaking 5%, listening 5%). ・ Homework: Considerable time should be devoted to section 7 (reading) (15%) and question 8 of the writing test which require the writing of an opinion essay (15%). ・ Testing: The mid-term test (15%) and Final exam (25%) will contribute to the overall assessment. Listening and reading tasks are objectively evaluated directly by correct answer scores. Speaking and writing assessments follow TOEIC's subjective "analytical scoring guidelines" described in detail in the overview for each skill in the speaking and writing textbook.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction with overview of Listening and Reading sections. Listening units 1 & 2	Describe photographs & Match responses to wh?s	Skim through pp7-38 in speaking / writing text
2	Speaking section overview of entire speaking paper pp7-38	Work through speaking instructions pages 7-38	Read pages 7-38 again
3	Listening units 3 & 4, plus listening test Part 3-Conversations & Part 4-Talks	Paraphrasing and picking out key words	Quizzes 1, 2, 3, & 4
4	Speaking unit 1, Q.1 & 2, stress & intonation Speaking unit 7, Q.1 & 2, recitation & diction	Locating word and sentence stress	Reading task unit 7 (section 7)
5	Reading units 5 & 6 Part 5-Incomplete sentences Part 6-Text completion	Identify word forms and tenses	Reading task unit 7 (section 7)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Speaking units 2 & 8, question 3 Describe a picture's scene, people, action, and speculation	Describing what you see, locations, and actions	Reading task unit 7 (section 7)
7	Reading unit 7 Part 7-Reading comprehension.	Scanning to identify the four types of questions	Reading task unit 7 (section 7)
8	Speaking units 3 & 9 questions 4-6, Respond to questions about habits, experience + opinions	Rephrasing common question types	Reading task unit 7 (section 7)
9	Listening units 8 & 9 Part 1-Photographs & Part 2-Question-response	Verb type matching & similar sounding words	Reading task unit 14 (section 7)
10	Speaking units 4 & 10 Q's 7-9 Responding to Q's using information in agenda, schedule, etc.	Correcting pauses with a suitable filler	Reading task unit 14 (section 7)
11	Listening units 10 & 11 Part 3-Conversations & Part 4-Talks	Spotting same-word lures among answers	Reading task unit 14 (section 7)
12	Speaking unit 5 & 11 question 10 Proposing a solution to a complaint or problem	Learn ways problems & solutions are explained	Quizzes 7 & 8
13	Reading units 12 & 13 Part 5-Incomplete sentences & Part 6-Text completion	Gerund or infinitive choice & phrasal verbs	Quizzes 9 & 10
14	Mid-term test & Speaking units 6 &12 (q.11) Express an opinion and gauged (dis)agreements	Match responses to Q??s Extend sentences	Quizzes 11 & 12
15	Reading unit 14, plus Part 7-Reading comprehension	Use context to find words closest in meaning	Reading task unit 21 (section 7)
16	Return Mid-term test and go over results. Overview of entire writing paper pp135-161	Work through writing instructions pp135-161	Reading task unit 21 (section 7)
17	Listening units 15 & 16 plus Part 1-Photographs Part 2-Question-response	Subject-Verb-Object pattern recognition	Reading task unit 21 (section 7)
18	Writing units 13 & 17, questions 1-3, Write a sentence based on the picture	Join sentence parts with a suitable conjunction	Reading task unit 21 (section 7)
19	Listening units 17 & 18, plus Part 3 Conversations & Part 4-Talks	Identify inference markers	Quizzes 13 & 14
20	Writing units 14 &18, questions 4-5, Write a sentence based on the picture	Build into subordinate clauses, time & location	Quizzes 15 & 16
21	Reading units 19 & 20, plus Part 5-Incomplete sentences & Part 6-Text completion	Vocabulary building using suffixes	Quizzes 17 & 18
22	Writing units 15 & 19 questions 6-7, Responding to a written request	Learn structure & vocab. polite message writing	Quizzes 19 & 20
23	Reading unit 21, Part 7-Reading comprehension	Apply strategies to answer "NOT" questions	Reading task unit 28 (section 7)
24	Writing unit 16- writing an opinion essay, pre-writing draft, & language of opinions	Constructing an essay from its parts	Reading task unit 28 (section 7)
25	Listening units 22 & 23, plus Part 1-Photographs & Part 2-Question-response	Determine prepositions as of position or motion	Reading task unit 28 (section 7)
26	Writing unit 20- writing an opinion essay, pre-writing language to give reasons & examples	Building conditional sentences to show reason	Quizzes 21 & 22
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Listening units 24 & 25, plus Part 3 Conversations and Part 4-Talks	Selecting vocabulary of denial and refusal	Quizzes 23 & 24
28	Return Final Exam and go over results. Set up remaining homework tasks	Work through answers and go over results	Read through units 26, 27, and 28. Do the exercises and check your answers.

テキスト	Grant Trew. *Tactics for TOEIC Speaking and Writing Tests* (Oxford). Grant Trew. *Tactics for TOEIC Listening and Speaking* (Oxford).

科目名	ENG228:　上級英語スキルズ（時事英語）					担当教員	A. Garin
開講期	春	開講時限	月木５限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Current events, speaking, reading, writing, critical thinking, theme-based learning
授業の概要	In this course students will explore a range of themes (such as science, technology, climate, innovation and health) related to current global events. They will also improve their academic speaking, reading, writing, and critical thinking skills necessary for study at university level in English.
達成目標（授業の目的）	1) Students will gain a better understanding of a range of current global issues and events and improve their ability to express their views on these both verbally and in writing. 2) Students will improve their group discussion, reading and academic essay writing skills. 3) Students will improve their critical thinking skills by responding to a range of texts. 4) Students will be better able to express themselves in English by acquiring a wide range of topical expressions and phrases.
到達目標（学修成果）	Students should be able to use a range of phrases and expressions to effectively present, summarize and discuss articles on current events; become more aware of and be able to better write opinion, problem / solution, descriptive and argumentative essays through exposure to model essays, writing practice and corrective feedback; become better critical thinkers by identifying, inferring, supporting, synthesizing and reflecting upon main and supporting ideas in a range of popular and academic texts; be able to independently organize and regularly update their lexical notebooks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (25%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class quizzes and extended essay (30%); Independent learning (15%).
評価基準	*Participation and performance*: active involvement in individual, pair, and small group tasks; *Homework*: assignments must be complete and submitted on time; *Testing and assessment*: two in-class lexical quizzes and one take-home extended essay assignment (content and argument, organization and cohesion, lexical and grammatical range and accuracy, register); *Independent learning*: lexical notebooks (consistently update with new phrases and expressions and organize the content via chosen format); reading articles and homework essay paragraphs completed diligently and on time, presented and shared in class, (must show evidence of synthesis, inference and reflection of the main and supporting ideas from the articles in both speaking and written assignments).
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, class guidelines, lexical notebooks, language for presenting an article	Lecture, individual, pair, group tasks	Start lexical notebook, online collocation dictionaries
2	Unit 1 Happiness, identifying the main idea in a reading, inferring meaning from context	Lecture, individual, pair, group tasks	Read a current article on topic of health science, lexical NB
3	Present your article to a partner / group, Unit 1, justifying your opinion, synthesizing, reflecting	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, language for writing - review simple present
4	Language for summarizing an article, Unit 1, topic sentence, opinion paragraph	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, write an opinion paragraph
5	Share opinion paragraphs, Unit 2 Inventive solutions, identifying detail	Lecture, individual, pair, group tasks	Read a current article on topic of technology, lexical notebook
6	Summarize your article to a partner / group, continue Unit 2, analyzing problems / solutions	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, language for writing - review simple past

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Strategies for interacting and checking understanding, Unit 2, supporting the main idea	Lecture, individual, pair, group tasks	Prep for lexical quiz 1, write problem / solution paragraph
8	Lexical Quiz 1, Share problem / solution paragraph, Unit 3 Connected lives, taking notes	Lecture, individual, pair, group tasks	Read a current article on topic of communication, lexical NB
9	Return Quiz 1 and go over the results, questions about your article in group / pair, Unit 3	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, language for writing - using present perfect
10	Unit 3, concluding sentences, writing a descriptive paragraph	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, write a descriptive paragraph
11	Share descriptive paragraphs in groups, Unit 5 Memory and learning, identifying cause / effect	Lecture, individual, pair, group tasks	Current article on topic of psychology / biology, lexical NB
12	Present your article in group / pair, Unit 5, internalization, reflecting, synthesizing	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, language for writing - using *by + gerund*
13	Unit 5, using an outline, write an essay introduction paragraph	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write an essay introduction paragraph
14	Share introduction paragraphs in groups, Unit 6 Animals and medicine, identifying pros and cons	Lecture, individual, pair, group tasks	Read a current article on topic of health, lexical notebook
15	Summarize your article in a group / pair, Unit 6, understanding metaphors and similes	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, language for writing - making concessions
16	Unit 6, writing an argumentative paragraph	Lecture, individual, pair, group tasks	Prep for lexical quiz 2, write an argumentative paragraph
17	Lexical Quiz 2, Unit 7 Nature's fury, Identifying sequence	Lecture, individual, pair, group tasks	Read a current article on topic of science, lexical notebook
18	Return Quiz 2 and go over the results, Ask questions about your article in group / pair, Unit 7	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, language for writing - describing a process
19	Unit 7, writing a process paragraph, writing an essay conclusion	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, write an essay conclusion paragraph
20	Share conclusion paragraphs, Unit 8 Building wonders, identifying relevant information	Lecture, individual, pair, group tasks	Read a current article on topic of architecture, lexical notebook
21	Present your article in groups / pairs, Unit 8, interpreting quotes	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, language for writing - comparative adjectives
22	Unit 8, writing a comparative paragraph	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, start writing extended essay
23	Unit 9, Form and function, identifying theories	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, continue writing extended essay
24	Extended essay class time, Unit 9, evaluating evidence	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, continue writing extended essay
25	Extended essay class time, Unit 9, writing a summary paragraph	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebook, finish writing extended essay
26	Submit extended essay, review lexical notebooks and textbook content	Lecture, individual, pair, group tasks	Read a current article on topic of science
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Summarize your article in groups / pairs, supplementary speaking fluency activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Review lexical notebook and textbook content
28	Extended essay feedback, course closure activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Textbook review and self-study, continue lexical notebook

テキスト	Laurie Blass, Marie Vargo. *Pathways 2 - Reading, Writing, and Critical Thinking, 2nd Edition* (National Geographic Learning / Cengage). For every textbook unit students will research and summarize a current events article.

科目名	SCH100:　人間学Ⅰ			担当教員	丹木　博一，小林　宏子， 島村　絵里子
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1 年		

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

担当教員の連絡情報	担当教員	研究室	オフィスアワー
	丹木　博一	4214	履修要覧 P.19～P.20 を参照
	小林　宏子	4204	履修要覧 P.19～P.20 を参照
	島村　絵里子	4 号館 2 階　講師控室	授業前後

キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現するための道しるべを探求する。
達成目標（授業の目的）	「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、家族、他者、社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、「人格的主体」として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。
到達目標（学修成果）	① 人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ② 人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③ 社会や自然、そして神とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④ 生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。
評価方法	①毎回の事前課題の提出（20%）、②授業毎のリアクションペーパー（28%）、③理事長による講演へのリアクションペーパー（2%）、④中間課題（1,000～1,200 字の小レポート）（20%）、⑤期末課題（1,800～2,000 字の小論文）（30%）
評価基準	① 毎回の事前課題の提出：課題となる準備学修を行い、成果物を毎回提出する。2%×10 回。以下の「準備学修」欄に記載の「要約」の課題を授業前日までに Moodle にて提出。 ② リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。2%×14 回 ③ 理事長による講演へのリアクションペーパー：講演を聞き、重要なポイントを指摘して、その意味を説明できること。2% ④ 中間課題：1,000～1,200 字の小レポート。20% 「他者との共生」について人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。Moodle にて提出。 ⑤ 期末課題：1,800～2,000 字の小論文。人間に「生老病死」の苦しみがあることを踏まえながら、「どうしたら希望をもって生きられるか」について、事前に最低一冊の「参考文献」（書誌データを明記すること）を読み、内容のポイントを簡潔に要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。Moodle にて提出。30%
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	人間学Ⅰの概要・目的・進め方・評価法 キリスト教的人間観の特徴・「愛」	講義・グループ分け リアクションペーパー	事前に教科書 pp.1～27 を通読しておく。
2	**テーマ 1** **いのちを支えるものとのかかわり** ① 私たちのいのちは何によって支えられているか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.29～44 を通読し、「人間のいのちを尊重すべき理由」に関する筆者の意見を 400 字程度で要約する。
3	**テーマ 1** ② 生きるために必要なことを満たすために私たちは何をなすべきか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.45～50 を通読し、「マズローの 5 段階ニード論」を 400 字程度で要約。
4	**テーマ 2** **成長発達を促すものとのかかわり** ① 成長の過程にはどのようなかかわりがあるだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.51～66 を通読し、「大人になるための発達課題」に関する筆者の意見を 400 字程度で要約する。
5	**テーマ 2** ② かかわりをとおして自分はどのような成長を遂げたのだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.67～71 を通読し、「アドラーの共同体感覚」の意義を 400 字程度で要約。
6	**テーマ 3** **他者へのかかわりと自己理解の形成** ① 私たちのアイデンティティはどのように形成されるのだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.73～84 を通読し、「ジェンダーアイデンティティ」に関する筆者の意見を 400 字程度で要約する。
7	**テーマ 3** ② 差別にどう向き合えばよいのだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.85～96 を通読し、「差別撤廃に関する議論」を 400 字程度で要約する。
8	**テーマ 4** **他者へのかかわりにおける自由と責任** ① 自由にはどのような種類があるか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.97～113 を通読しておく。 中間レポート提出。
9	**テーマ 4** ② 自由と責任はいかなる関係にあるか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.102～104 に基づき、「ギヨメの自由」について 400 字程度で要約する。
10	**テーマ 4** ③ 人間は環境に対していかなる責任を持つのか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.114～117 を通読し、「環境に対する責任」について 400 字程度で要約。
11	**テーマ 5　人生の苦しみの意味と希望** ① 人間は、いかなる苦しみに対し、どのように向き合っているか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.119～131 を通読し、「死に対する態度」について 400 字程度で要約する。
12	**テーマ 5** ② 人生に苦しみがあることは何を意味するのだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.132～138 を通読し、「苦しみの経験の意味」を 400 字程度で要約する。
13	**テーマ 5** ③ 希望を持って生きていく可能性はどこに求められるだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	期末課題の準備 試験期間中に期末課題の小論文提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will be not held		
14	総まとめ ※小論文に対するコメント	講義 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.8～27 をもう一度ていねいに読んでおく。

テキスト	上智大学短期大学部編『かかわりの人間学』（事前購入のこと）
参 考 書	『新約聖書』（授業初回時に無料配布） ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	14 回の授業に加え、上智学院理事長による講演が行われるので、必ず出席すること。

科目名	SCH101:　人間学Ⅱ					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	火４限			研究室	4213
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	関わりの中で成長する人間、対話、和解とゆるし、生きがい、希望
授業の概要	人間学Ⅰに引き続き、かかわりを生きる人間の諸側面を考えていく。キリスト教ヒューマニズムの精神に基づいた人間学が求める「あるべき人間の姿とは何か」を事例や新聞記事や記録ビデオ、或いは映像の教材を視聴し、現代社会や世界が抱えている様々な人間の問題に触れながら考察していく。毎回のテーマは、事前に提示された記事を精読し、考察を書きとめそれをもとに意見交換後、まとめを発表する形式で深めていく。
達成目標（授業の目的）	自分を取り巻く世界の現実を深く知って、家族、社会、国家、世界の中での人間の相互理解と共存、平和、いのちの尊厳の意義をより深く理解し、自らの成長課題とともに「一人も取り残されない世界」とその将来に対する展望を見出していく。
到達目標（学修成果）	① 現代社会の様々な事例から人間の問題について深く考察できる。 ② 記事、映像の事例に対する自分の意見を論理的に文章にまとめられる。 ③ 話し合いでは、事例を自分自身との関連性だけで解釈するにとどめず、人間学Ⅰでの学びや客観的資料を基に、問題を多角的に考察し、他者の意見を傾聴し、話し合いの進行や意見のまとめや発表をできるようになる。 ④ 中間レポートや期末レポートでは、人間の問題のテーマに沿って、現代社会の問題と関連するサブトピックを選択し、必要なリサーチをした後で、小論文形式にまとめる。 ⑤ 期末課題のテーマでスピーチを行う
評価方法	コメントシート提出（35%）、授業での発表・意見交換（15%）、中間レポート 1,200 字～2,000 字（15%）、期末レポート 2,400 字～4,000 字（20%）、スピーチ（15%）
評価基準	① コメントシート：問題意識をもち事例を考察し、客観的な視点も含めた文章を書いている。様々な教材から的確な引用をして、論理的な文章を書いている。 ② 発表・意見交換：コーディネーターや記録、発表の役割を積極的に果たし、課題に適した質疑応答を行うことができ、話し合いを深めることに貢献する。 ③ 中間レポート：2 回から 6 回までの講義の内容を参照しつつ、現代家族または現代社会の問題を取り上げリサーチ後、小論文形式（的確な主題、序論、本論、参照例、考察、結論、資料引用などがある）に明確にまとめている。 ④ 期末レポート：テーマを選択後、それに関する書籍を 2 冊以上参照し、アカデミックのレポートの書き方に従って、自分の考察を論理的にまとめている。 ⑤ スピーチ：自分の期末課題の主題を、十分な根拠と、的確な例を取り上げてアカデミックに、しかし独自性をもって説明し発表している。（10 分間） 尚、期末レポートの課題提出が無い場合は、発表は評価の対象とならない。また、課題が提出されても通常授業への出席が少ない場合は単位が付与されない場合がある。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	議題の概要説明と自己紹介、キリスト教ヒューマニズムと対話を通しての学び	講義、DVD、討議 コメントシート	人間学Ⅰで興味を持ったテーマに関する意見を書く
2	家族とのかかわり（1） ―家族の問題―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題についての考察を文章にまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	家族とのかかわり（2） ―教育と成長の問題―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題についての考察を 文章にまとめる
4	社会とのかかわり（1） ―個人の人権と尊厳とは―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題についての考察を 文章にまとめる
5	社会とのかかわり（2） ―心を育てる教育とは―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題の考察を記述する
6	社会とのかかわり（3） ―福祉的なコミュニティーとは―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題の考察を記述する
7	世界とのかかわり（1） ―差別意識 vs 共生社会―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題の考察を記述する 中間レポートの提出期限
8	世界とのかかわり（2） ―貧困と格差 vs 分かち合い―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題の考察を記述する
9	世界とのかかわり（3）―争い vs 和解とゆるし―、中間課題返却と講評	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題の考察を記述する 期末課題テーマの提出
10	いのちの意義について（1） ―自死をふせぐために―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題の考察を記述する
11	いのちの意義について（2） ―ホスピス・終末医療の現場から―	講義、DVD、討議 コメントシート	事前課題の考察を記述する
12	期末課題の発表（1） 発表の講評	口頭発表、質疑応答 討議、	発表のレジメ用意 期末課題の提出期限
13	期末課題の発表（2） 発表の講評	口頭発表、質疑応答 討議	発表のレジメ用意
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末課題の発表（3）、発表の講評、期末課題の返却および講評、まとめ	口頭発表、質疑応答 討議	発表のレジメ用意 課題返却後振り返り

テキスト	人間学Ⅰテキスト（上智大学短期大学部編『かかわりの人間学』）を参照する。 その他、新聞記事等のプリントを配布する。
参 考 書	ハイメ・カスタニェダ＋井上英治編『現代人間学』（春秋社）
その他 特記事項	問題意識をもって各資料を通読し、話し合いでは互いに相手の意見を傾聴し学び合う機会を大切にできる学生を歓迎します。

科目名	HST201:　歴史学 A					担当教員	森下　園
開講期	春	開講時限	火 3 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	歴史学の歴史、近代歴史学の成立、歴史理論
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」は西欧の哲学や思想とどのような関係にある学問なのかを学ぶ。特に「唯一絶対の歴史」にひそむ西欧中心主義と男性中心の歴史観の問題および歴史を記述する権力の問題などについて考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。
達成目標（授業の目的）	①歴史学とはどのような学問でありどのように成立したのかを理解するために予習し、積極的に質問・発言できる。 ②歴史認識をめぐる議論や背景となる思想との関係について、講義内容をまとめ、口頭で発表できる。 ③専門用語・学問的な概念を用いて講義の要点を自分なりの言葉で記述できる。
到達目標（学修成果）	①次回授業プリントや参考資料を読み、事典・参考書で調べ、不明な点の質問や意見表明を授業でできるようになる。 ②講義内容を自分の言葉でまとめ、次回講義の冒頭で発表することで、各回のポイントを口頭で説明できるようになる。 ③専門用語・学問的な概念を用いて、講義の要点をレポートにまとめることができるようになる。
評価方法	①授業内での質問・発言（初回・最終回を除く）：4%×12 回＝48% ②授業冒頭での口頭発表（5 分）：22%（回数は受講人数によるが 1～2 回を予定） ③Moodle 提出の期末レポート（約 2000 字）：30%
評価基準	①授業内での質問・発言：予習の上で質問をしているか、積極的に意見を述べているか ②授業冒頭での口頭発表：授業内容を理解して要点を押さえているか ③期末レポート：提出期限と書式を守っているか、講義内容を理解し、要点専門用語などを正しく用いてまとめてあるか、必要に応じて参考資料を用いて調べてあるか
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	歴史学の諸問題、研究倫理について、授業冒頭でのまとめ発表のわりあて	講義、質疑応答	Moodle 登録、 第 2 回授業プリントの予習
2	歴史学の歴史（1）古代・中世ヨーロッパの歴史記述	講義、質疑応答	第 2 回授業内容のまとめ 第 3 回授業プリントの予習
3	歴史学の歴史（2）中国と日本の史書	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 3 回授業内容のまとめ 第 4 回授業プリントの予習
4	歴史学の歴史（3）啓蒙時代の歴史観	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 4 回授業内容のまとめ 第 5 回授業プリントの予習
5	歴史学の歴史（4）ランケ史学　－近代歴史学の登場	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 5 回授業内容のまとめ 第 6 回授業プリントの予習
6	歴史学の歴史（5）アナール派　－民衆の歴史をどう記述するか	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 6 回授業内容のまとめ 第 7 回授業プリントの予習
7	歴史学の歴史（6）歴史学の作法　－史料批判と先行研究の用い方、レポートについて	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 7 回授業内容のまとめ 第 8 回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	理論（1）構造主義とポスト構造主義－西欧は世界をどうとらえてきたか	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 8 回授業内容のまとめ 第 9 回授業プリントの予習
9	理論（2）言語論的転回が歴史学につきつけたもの	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 9 回授業内容のまとめ 第 10 回授業プリントの予習
10	理論（3）文学とポストコロニアリズム－記述する権力は誰にあるのか	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 10 回授業内容のまとめ 第 11 回授業プリントの予習
11	理論（4）歴史修正主義と社会構築主義－「私たちの歴史」はどうあるべきなのか	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 11 回授業内容のまとめ 第 12 回授業プリントの予習
12	理論（5）ジェンダーと歴史学－歴史記述者のジェンダーギャップ	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	第 12 回授業内容のまとめ 第 13 回授業プリントの予習
13	研究紹介　マルク・ブロック『王の奇跡』とナタリー・Z・デーヴィス『帰ってきたマルタン・ゲール』	前回のまとめ発表、講義、質疑応答	期末レポート（定期試験期間に提出）の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	歴史学の諸問題のまとめ、レポートの講評	講義、質疑応答、レポートの講評、意見交換	これまでの復習

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2022　短大部　歴史学 A」にアップロードする。
参 考 書	J. H. アーノルド『1 冊でわかる歴史学』（岩波書店）

科目名	HST202:　歴史学 B					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	火 5 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	歴史学、史料論、メディアと歴史、国際歴史認識問題、歴史教育
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」はどんな史料をどのように用いて研究されるのか、歴史認識をめぐりどんな問題がおきているのか、歴史教育はどうあるべきかなどについて学ぶ。特に近代国家のための「物語」として創出された「他者を排除する歴史」の問題について考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。
達成目標（授業の目的）	①歴史学とはどのような学問であるのかを理解するために予習し、積極的に質問・発言できる。 ②史料を読み込むために何が必要なのか理解し、史料の解読を試みることができる。 ③専門用語・学問的な概念を用いてポイントを自分なりの言葉で記述できる。
到達目標（学修成果）	①次回授業プリントや参考資料を読み、事典・参考書で調べ、授業で不明な点の質問や意見表明をできるようになる。 ②近世日本または近世英国の手書き史料（トランスクリプト付き）について、時代背景や史料の性質を調べ、自分なりの解釈をつけて発表できるようになる。 ③専門用語・学問的な概念を用いて、ポイントをレポートにまとめることができるようになる。
評価方法	①授業内での質問・発言（初回・最終回を除く）：4%×12 回＝48% ②史料についての発表（漢文・英語から選択して行う）：22% ③Moodle 提出の期末レポート（歴史とメディアまたは歴史教育について、約 2000 字）：30%
評価基準	①授業内での質問・発言：予習の上で質問をしているか、積極的に意見を述べているか ②史料についての発表：割り当てられた史料の性質や時代背景を調べ、何が書かれているのか説明したうえで、この史料から何がわかるかを説明できているか。史料と活字にされたトランスクリプトをもとに自分で調べる力をみるものである。 ③レポート：提出期限と書式を守っているか、理解した内容を自分の言葉できちんとまとめてあるか、必要に応じて参考資料を用いて調べてあるか
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	歴史学とはどんな学問か、研究倫理について	講義、質疑応答	Moodle 登録、 第 2 回授業プリントの予習
2	史料を読むために（1）古書体学 史料発表の割り当て	講義、質疑応答	第 3 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
3	史料を読むために（2）古書冊学、文書形式学、史料の種類について	講義、質疑応答	第 4 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
4	史料を読むために（3）暦について	講義、質疑応答	第 5 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
5	史料を読むために（4）図像解釈学と絵画資料	講義、質疑応答	第 6 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
6	史料を読むために（5）オーラルヒストリー	講義、質疑応答	第 7 回授業プリントの予習 史料についての発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	歴史とメディア（1）写本からマス・メディアの登場まで、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 8 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
8	歴史とメディア（2）現代メディアがもたらす問題点、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 9 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
9	歴史教育（1）国際歴史教科書問題　―ヨーロッパ、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 10 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
10	歴史教育（2）国際歴史教科書問題　―日本と韓国、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 11 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
11	歴史教育（3）英国の歴史教育 史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 12 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
12	震災と歴史 史料についての発表	講義、質疑応答	第 13 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
13	史料紹介『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』『ジャンヌ・ダルク復権裁判』記録を読む	講義、質疑応答	期末レポート（定期試験期間に提出）準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	歴史学と史料および歴史教育問題のまとめ、レポートの講評	講義、質疑応答、期末レポートの講評	授業の振り返り、まとめ

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2022　短大部　歴史学 B」にアップロードする。
参 考 書	The National Archives, Palaeography (https://www.nationalarchives.gov.uk/palaeography/default.htm) 森安彦『古文書を読もう』（講談社）

科目名	PHL203:　哲学 A					担当教員	丹木　博一
開講期	春 / 秋	開講時限	火 5 限			研究室	4214
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	世界の始原、存在と生成、魂への配慮、イデアと世界、自然のロゴス、魂のはたらき
授業の概要	西洋古代哲学の基本的特徴について理解を深めるとともに、古典的テキストを一つ取り上げ、意見交換を行いながらていねい読み進めることで哲学的思考に慣れ親しむ。
達成目標（授業の目的）	西洋古代における哲学的思考の多様な展開を理解することによって、世界と自己に対する哲学的問いを自覚できるようになる。
到達目標（学修成果）	・西洋古代哲学の多様な思想について、その基本を理解し、表現できる。 ・アリストテレスのテキストに関心を持ち、テキストの意味を探求できる。 ・自ら哲学的問いを提起し、その問いについて論理的に考察を進めることができる。
評価方法	①　授業毎の課題（20%） ②　授業毎のリアクションペーパー（14%） ③　中間レポート（30%） ④　期末レポート（36%）
評価基準	①　授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ②　リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ③　中間レポート：1,200 字～1,400 字。アリストテレスの「自然観」について哲学的問いを提起し、その問いに対しアリストテレスがどのように考えているかを自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。 ④　期末レポート：2,000 字～2,200 字。アリストテレス「心について」について哲学的な問いを提起し、その問いについてアリストテレスがどう考えているかを自分の言葉で考察する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	世界の始原への問い タレスの「水」	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	教科書①pp.1-14 をていねいに読んでおく。
2	世界の現れに潜む謎 ヘラクレイトスの「火」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.15-28 をていねいに読み、要約を提出。
3	自己を形成する知の意味 ソクラテスの「無知の知」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.58-76 をていねいに読み、要約を提出。
4	存在と知の根拠への問い プラトンの「イデア」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.77-96 をていねいに読み、要約を提出。
5	生成変化をめぐる謎 アリストテレスの「可能態・現実態」	講義・絵本朗読 ディスカッション･リアペ	教科書①pp.97-108 をていねいに読み、要約を提出。
6	自由と習慣 アリストテレスの「エートス」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.108-116 をていねいに読み、要約を提出。
7	アリストテレス『心とは何か』講読第 1 回 心についての探究法、先人たちの見解	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.10-45 をていねいに読んでおく。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	アリストテレス『心とは何か』講読第 2 回 先人たちの見解への批判	講義・ディスカッション リアクションペーパー	中間レポート提出。教科書②pp.45-75 を読んでおく。
9	アリストテレス『心とは何か』講読第 3 回 心の定義、心の諸能力、栄養能力 中間レポートに対するコメント	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.75-104 についてポイントを整理し、提出。
10	アリストテレス『心とは何か』講読第 4 回 諸感覚とその対象	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.104-134 についてポイントを整理し、提出。
11	アリストテレス『心とは何か』講読第 5 回 共通感覚、理性	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.136-165 についてポイントを整理し、提出。
12	アリストテレス『心とは何か』講読第 6 回 運動能力、欲求能力、生存に対する能力	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.166-194 についてポイントを整理し、提出。
13	ストア派の倫理と「アパテイア」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.117-132 についてポイントを整理し、提出。 期末レポート提出。
	定期試験は実施しない　Final Exam will not be held		
14	ヘレニズムとヘブライズムの交流へ 期末レポートに対するコメント	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.165-184 をていねいに読んでおく。

テキスト	① 熊野純彦『西洋哲学史―古代から中世へ』（岩波新書） ② アリストテレス『心とは何か』（桑子敏雄訳）（講談社学術文庫）
参 考 書	荻野弘之『哲学の饗宴―ソクラテス・プラトン・アリストテレス』（NHK ライブラリー） 内山勝利編『哲学の歴史　第 1 巻　哲学誕生』（中央公論新社）

科目名	PHL204:　哲学 B					担当教員	丹木　博一
開講期	春 / 秋	開講時限	金 5 限			研究室	4214
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	私と世界、主観と客観、経験と理性、原因と自由
授業の概要	西洋近代哲学の基本的特徴について理解を深めるとともに、古典的テキストを一つ取り上げ、意見交換を行いながらていねい読み進めることで哲学的思考に慣れ親しむ。
達成目標（授業の目的）	西洋近代における哲学的思考の多様な展開を理解することによって、世界と自己に対する哲学的問いを自覚できるようになる。
到達目標（学修成果）	・西洋近代哲学の多様な思想について、その基本を理解し、表現できる。 ・デカルトのテキストに関心を持ち、テキストの意味を探求できる。 ・自ら哲学的問いを提起し、その問いについて論理的に考察を進めることができる。
評価方法	①　授業毎の課題（20%） ②　授業毎のリアクションペーパー（14%） ③　中間レポート（30%） ④　期末レポート（36%）
評価基準	①　授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ②　リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ③　中間レポート：1,200～1,400 字。デカルトの「方法的懐疑」と「我思うゆえに我あり」という言葉が何を意味するかを自分の言葉で正しく論述できる。 ④　期末レポート：2,000 字～2,200 字。デカルト『情念論』で議論されている事柄について一つ哲学的な問いを提起し、その問いについてデカルトがどのように考えているかを自分の言葉で展開する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：近代と哲学への問い	講義・DVD 視聴・ディスカッション･リアクションペーパー	教科書①pp.1-20 をていねいに読んでおく。
2	私と世界はいかに関係しているか?（1） デカルトの「コギト」	講義・絵本・ディスカッション･リアクションペーパー	教科書①pp.1-20 をていねいに読み、要約を提出。
3	私と世界はいかに関係しているか?（2） スピノザの「様態」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.21-38 をていねいに読み、要約を提出。
4	私と世界はいかに関係しているか?（3） ロックの「タブラ・ラサ」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.39-56 をていねいに読み、要約を提出。
5	私と世界はいかに関係しているか?（4） ライプニッツの「モナド」	講義・写真鑑賞・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.57-74 をていねいに読み、要約を提出。
6	デカルト『情念論』講読第 1 回 身体と精神の区別	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.5-29 をていねいに読んでおく。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	デカルト『情念論』講読第 2 回 身体と精神の相互作用	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.29-50 についてポイントを整理し、提出。
8	デカルト『情念論』講読第 3 回 基本的な情念	講義・ディスカッション リアクションペーパー	中間レポート提出。教科書②pp.51-90 を読んでおく。
9	デカルト『情念論』講読第 4 回 驚き、愛、憎しみ、欲望、喜び、悲しみ 中間レポートに対するコメント	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.90-129 についてポイントを整理し、提出。
10	デカルト『情念論』講読第 5 回 特殊情念、重視と軽視、高邁と高慢	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.131-156 についてポイントを整理し、提出。
11	デカルト『情念論』講読第 6 回 うらやみと憐れみ、憤慨と怒り、治療法	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.156-181 についてポイントを整理し、提出。
12	私と世界はいかに関係しているか?（5） ヒュームの「知覚の束」と「習慣」	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.91-106 をていねいに読み、要約を提出。
13	私と世界はいかに関係しているか?（6） カントの「因果性のカテゴリー」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.123-133 を読んでおく。 試験期間に期末レポート提出。
	定期試験は実施しない　Final Exam will not be held		
14	私と世界はいかに関係しているか?（7） カントの「自由」論 期末レポートに対するコメント	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.123-133 をていねいに読み、要約を提出。

テキスト	① 熊野純彦『西洋哲学史―近代から現代へ』（岩波新書） ② デカルト『情念論』（谷川多佳子訳）（岩波文庫）
参 考 書	津崎良典『デカルト　魂の訓練』（扶桑社新書） 小林道夫編『哲学の歴史　第 5 巻　デカルト革命』（中央公論新社）

科目名	REL201:　宗教学 A					担当教員	小林　宏子
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）木 4 限 （秋）月 1 限			研究室	4204
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	聖書、創造、神の似姿、原罪、契約、信仰、過越し、バビロン捕囚、メシア待望
授業の概要	旧約聖書と呼ばれる部分に記されたイスラエル民族の歴史的人物にまつわる出来事を、イエス・キリストの到来を準備する神の救いの働きかけの展開として理解する立場から学ぶ。神の語りかけのことばを信じ、その成就に人生を賭ける人々が切り拓いた信仰共同体の歩みは、どのような困難や誘惑に晒され、民族としてのアイデンティティ喪失の危機を乗り越えて続いてきたのかを考察する。
達成目標（授業の目的）	キリスト教における旧約聖書の基礎的知識を得る。西洋キリスト教文化圏においては常識として語られることの多い聖書の登場人物像や用語について、聖書思想上の背景を踏まえた意味を学ぶことを通して、異文化交流の中で遭遇する発想やイメージの違いを知り、神が人間のために差し出している救いの道の内容を理解する。
到達目標（学修成果）	①旧約聖書の基本的用語や登場人物にまつわる出来事の意味内容を理解できる ②聖書の記述をその字面だけでなく歴史的・文化的背景を含めて理解し、信仰の視点からの神概念や出来事の解釈を自分の言葉で表現できる ③聖書に登場する人物の行動や態度の選択が民族や社会に与えた影響について、人間の本質的傾向と神が備えている救いへの道の内容を踏まえて考察し、分かりやすく論述できる
評価方法	①授業への積極的参加（2%×14 回=28%）、リアクションペーパー（3%×8 回＝24%） ②復習課題（4%×4 回=16%） ③期末課題：設問への解答（12%）と小論文（20%）
評価基準	①準備学修として指定されたテキストと聖書の該当箇所を読んだ上で授業に臨み、授業及びグループセッションで積極的に発言できること、及び、授業を通して深めた理解を、リアクションペーパーとして、自分の言葉で表現できること ②授業で扱った旧約聖書に特徴的な用語の意味や出来事の解釈を正しく理解していること ③テキストと授業内容を正しく理解していることを設問の答えに反映できること、及び、「旧約聖書の登場人物の中で、神とのかかわりにおいて、最も興味を引く人物について」どのような観点から、また、その理由はどのようなものかを明記した形で、1,000 字以内の小論文を書けること
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要と旧約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.10-12, 76-79 の予習、配布プリントの復習
2	創世記 1 章 天地創造と人間の召命	聖書講読、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.34-37, 80-85 と該当聖書箇所の予習
3	創世記 2-3 章 人間の創造、禁断の実と人間の罪	聖書講読、意見交換、復習課題①	テキスト pp.50-51, 86-87 と該当聖書箇所の予習
4	創世記 4 章 カインとアベルの物語	聖書講読、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.88-89 と該当聖書箇所の予習
5	創世記 6-11 章 ノアの箱舟の物語、バベルの塔の物語	聖書講読、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.90-93 と該当聖書箇所の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	創世記 12、15、17 章 アブラハムの召命、契約の思想	聖書講読、意見交換、復習課題②	テキスト pp.94-95 と該当聖書箇所の予習
7	創世記 18、21 章 信仰の試練	聖書講読、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.44-45, 14-17 と該当聖書箇所の予習
8	出エジプト記 1-3 章 モーセの召命	聖書講読、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.96-97 と該当聖書箇所の予習
9	出エジプト記 12 章 過越祭	聖書講読、意見交換、復習課題③	テキスト pp.98-99 と該当聖書箇所の予習
10	出エジプト記 20 章 十戒	聖書講読、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.100-101 と該当聖書箇所の予習
11	サムエル記上 8 章 王たちの物語、サムエル記下 11-12 章 ウリヤの妻バト・シェバ	聖書講読、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.102-107 と該当聖書箇所の予習
12	列王記上 21 章 土地の意味と王の権力、アモス書 預言者の社会批判	聖書講読、意見交換、復習課題④	テキスト pp.108-109 と該当聖書箇所の予習
13	イザヤ書 52-53 章 預言者の苦しみ	聖書講読、意見交換、質疑応答	テキスト pp.110-111 と該当聖書箇所の予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	エルサレムへの帰還、メシアニズムの成長 期末課題の講評	聖書講読、意見交換、講評	科目のまとめ、配布資料の復習

テキスト	月本昭男（監修）『超図解 一番わかりやすいキリスト教入門』（東洋経済新報社）
参 考 書	雨宮慧『（図解雑学）旧約聖書』（ナツメ社） 越川弘英『旧約聖書の学び』（キリスト教新聞社）

科目名	REL202:　宗教学 B					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	木 1 限			研究室	4204
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	ローマ・カトリック、聖書、契約、神の国、信仰、救い、罪の赦し、隣人愛、永遠の生命
授業の概要	新約聖書の中の福音書を中心に講読し、1 世紀のユダヤ社会に登場したイエスの生涯とそのメッセージの意味を学ぶ。なぜ、イエスが救い主と信じられたのか、どのような人々がイエスの中に神の救いの意思を見出したのか、イエスの十字架上での死に神の愛が現われているとはどのような意味なのかなど、キリスト教信仰を理解するための基礎知識を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	福音書の講読を通して、キリスト教信仰を理解するための基本的な用語とエピソードの知識を得る。特に、西洋文化圏において常識的に使用される聖書起源の用語やたとえ話が、聖書の中ではどのような文脈において語られているのか、そして、その背景にはどのような社会状況や救いへの希求が存在していたのかを考察することで、現代社会において特定の宗教を信じる文化の中にある人びとを理解するための助けとする。
到達目標（学修成果）	①新約聖書やキリスト教の基本的用語やエピソードの意味内容を理解できる ②聖書の記述をその字面だけでなく歴史的・文化的背景を含めて理解し、信仰の視点からのイエスの宣教内容の意味やエピソードの解釈を自分の言葉で表現できる ③福音書に描かれたイエスの行動や態度の選択が当時の民族や社会に与えた影響について、人間の本質的傾向と神が備えている救いへの道の内容を踏まえて考察し、分かりやすく論述できる
評価方法	①授業への積極的参加（2%×14 回=28%）、リアクションペーパー（3%×8 回＝24%） ②復習課題（4%×4 回=16%） ③期末課題：設問への解答（12%）と小論文（20%）
評価基準	①準備学修として指定されたテキストと聖書の該当箇所を読んだ上で授業に臨み、授業及びグループセッションで積極的に発言できること、及び、授業を通して深めた理解を、リアクションペーパーとして、自分の言葉で表現できること ②授業で扱った新約聖書に特徴的な用語の意味や出来事の解釈を正しく理解していること ③テキストと授業内容を正しく理解していることを設問の答えに反映できること、及び、「新約聖書の登場人物の中で、神とのかかわりにおいて、最も興味を引く人物について」どのような観点から、また、その理由はどのようなものかを明記した形で、1,000 字以内の小論文を書けること
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要 新約聖書の基礎知識	講義、意見交換 、リアクションペーパー	テキスト pp.114-117 の予習、配布プリントの復習
2	新約聖書の世界（1）ユダヤ教の宗派、神の国の宣教	講義、意見交換 、リアクションペーパー	テキスト pp.118-123 及びマタイ 20：1-16 の予習、
3	新約聖書の世界（2）イエスの弟子たち、ファリサイ派と徴税人	講義、意見交換 、復習課題①	テキスト pp.124-125 及びルカ 18：9-14 の予習
4	イエスの宣教（1）奇跡物語、罪の赦し	講義、意見交換 、リアクションペーパー	テキスト pp.126-127 及びマタイ 8：23-9：8 の予習
5	イエスの宣教（2）山上の説教	講義、意見交換 、リアクションペーパー	テキスト pp.128-129 及びマタイ 5 章、6：25-7：12 の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	イエスの宣教（3）慈しみ深い神、放蕩息子のたとえ話、主の祈り	講義、意見交換 、復習課題②	テキスト pp.130-131 及びルカ 15：1-32 の予習
7	イエスの宣教（4）永遠の命、隣人愛の掟、善きサマリア人のたとえ	講義、意見交換 、リアクションペーパー	マタイ 25：31-46、ルカ 10：25-37 の予習
8	イエスの受難（1）エルサレム入城、最後の晩餐、新しい契約	講義、意見交換 、リアクションペーパー	テキスト pp.132-135 及びマタイ 21 章、26 章の予習
9	イエスの受難（2）死刑判決、十字架の道行き	講義、意見交換 、復習課題③	テキスト pp.136-138 及びルカ 23 章の予習
10	イエスの受難（3）十字架上の死、イエスの受難と死の意味	講義、意見交換 、リアクションペーパー	テキスト p.139 及びヨハネ 19 章の予習
11	イエスの復活（1）復活者イエスとの出会い	講義、意見交換 、リアクションペーパー	テキスト pp.140-141 及びマタイ 28 章、ルカ 24 章の予習
12	イエスの復活（2）使徒たちに受け継がれる宣教の使命	講義、意見交換 、復習課題④	テキスト pp.142-143 及びヨハネ 20 章の予習
13	イエスの復活（3）パウロの召命	講義、意見交換 、質疑応答	テキスト pp.144-146 及び使徒言行録 8-9 章の予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	キリスト教の広まり 期末課題の講評	聖書講読、意見交換、講評	科目のまとめ、配布資料の復習

テキスト	月本昭男（監修）『超図解 一番わかりやすいキリスト教入門』（東洋経済新報社）
参 考 書	越川弘英『新約聖書の学び』（キリスト教新聞社） ネルケ無方『仏教の冷たさキリスト教の危うさ』（KK ベストセラーズ）

科目名	MUS201:　音楽 A					担当教員	北村　さおり
開講期	秋	開講時限	木 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	西洋音楽史、音楽、美術、ヨーロッパ、クラシック、音楽鑑賞、歌、オペラ
授業の概要	声楽作品を中心に、時代ごとの演奏様式や歴史的背景の知識を深めながら西洋音楽史を学ぶ。鑑賞では楽典の知識を用いた専門的な分析にこだわらず、また、「好き・嫌い」といった趣向に左右された感想に終始せず、その歴史的社会的な背景から作品の独創性や受容について考察を試みる。授業毎に予習・復習の課題を課す。
達成目標（授業の目的）	西洋音楽の歴史は美術、文学、演劇、社会、政治などと絡み合っており、音楽をひとつの切り口とした「西洋史」でもある。そして、現在のあらゆるジャンルの音楽の源でもある。クラシック音楽の経験が浅くとも、中世からロマン派までの音楽史の推移を理解し、作曲家や作品の特徴を多角的に分析することで、現代に生きる我々の美学的観点におけるアイデンティティーを考察するきっかけとする。
到達目標（学修成果）	音楽史を理解し、作品の解釈を試みることにより、自己と芸術との関わりを考え、自己の感性を磨き、表現の幅を広げる。
評価方法	①授業課題提出 2%×10 回＝20% ②授業内試験 70% ③期末レポート課題 10%
評価基準	①予習・復習を目的とした授業毎の課題を翌週の授業で提出する。 ②テキスト、ノート、資料類の持ち込みを可とする。テキストと授業の内容を的確に理解しているかどうか。 ③任意の作品やテーマについてのレポート提出。調べ学習にとどまらず、授業を踏まえた内容で、自身の考えを比較や考察を加えて論述すること。（引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	音楽の始まり：「リベラルアーツの音楽～その役割と重要性」、中世：「抽象性と教会音楽 グレゴリオ聖歌」	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。予習教材 復習：授業課題①をする。
2	ルネサンス：「美の発見と多声音楽」	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題②をする。
3	バロック：「劇化する音楽」「オペラの誕生と器楽の興隆」	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題③をする。
4	バロック：「市民に開かれる音楽へ」ヘンデル、バッハ	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題④をする。
5	古典：「近代市民音楽の始まり」「ホモフォニーとソナタ形式」ハイドン	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題⑤をする。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	古典：「自由な音楽活動」「神童」モーツァルト	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題⑥をする。
7	古典：「自己表現としての音楽」ベートーヴェン	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題⑦をする。
8	ロマン派：「革命のもたらした幻滅」「憧れ、恐怖、愛と夢」「ドイツリート」シューベルト、シューマン、ブラームス	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題⑧をする。
9	ロマン派：「内面世界」「性格的小品」シューマン	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題⑨をする。
10	ロマン派：「芸術性の追求と娯楽的サロン音楽」「個性と独創性」ショパン、リスト	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業課題⑩をする。
11	後期ロマン派：「肥大する音楽」「崩壊する調性」	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：試験の準備
12	授業内試験	試験	予習：試験の準備 復習：試験の見直し
13	後期ロマン派～20 世紀：「崩壊する調性」「世紀末」「西洋からの離脱」ワーグナー、マーラー、シェーンベルク	講義、鑑賞、ノート記入	予習：テキストを読み、用語等は調べておく。 復習：授業の振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義	予習：授業の振り返り

テキスト	長沼由美／二藤宏美『大人の音楽史入門 CD 付』（ヤマハミュージックメディア）
参 考 書	岡田暁生『西洋音楽史』（NHK 出版） 田村和紀夫『クラシック音楽の世界』（新星出版社）
その他 特記事項	初回授業の前に必ず Moodle に登録し、予習課題を確認してから初回授業に臨むこと。

科目名	MUS202:　音楽 B					担当教員	北村　さおり
開講期	秋	開講時限	木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	西洋音楽史、芸術、音楽、舞台、オペラ、クラシック、ヨーロッパ
授業の概要	映像資料を用いてオペラを鑑賞する。受講生それぞれの視点で作曲家や作品の背景、演出や出演者などについてのレポートを作成し、授業中にレジュメやパワーポイントを使って発表する。レポートを共有することで知識を広げ、また、討論を行うことで知識を深める。
達成目標（授業の目的）	総合芸術と言われるオペラ作品を、音楽、文学、美術、歴史など様々な視点を通して学ぶ。楽典の知識を用いた専門的な分析にこだわらない。「好き・嫌い」といった趣向に左右された感想に終始せず、多角的な視点から考察や討論を試みて、必要な情報を端的にまとめ、発表し、討論を導く。最終的に、発表した内容で期末レポート（小論文）を提出する。
到達目標（学修成果）	鑑賞の楽しみ方を知り、芸術に関心を持てるようになる。自己と芸術との関わりを考え、自己の感性を磨き、表現の幅を広げることができる。
評価方法	①発表の評価：30% ②他者の発表に対するリアクションペーパーや鑑賞の感想などの提出：40% ③発表に対する質問や発言など授業内の評価：10% ④期末レポート（小論文）：20%
評価基準	①必要な情報を正しく収集し、端的にまとめ、自身の考察、論述ができているか。（ネット検索や辞書を 1 つだけ参照し、丸写しすることは認めない。レポート作成のルールに準じる） ②他の発表を精査して聞き、疑問点などをまとめることができているか。能動的に鑑賞できているか。 ③授業の進行に有意義な発言や相手の考えを引き出すような質問ができているか。 ④発表したテーマについて、授業を踏まえた考察を深め、小論文の形式に従って論述できているか。（引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義概要 オペラとは	講義、リアクションペーパー	予習・復習：西洋史の概要
2	オペラの成り立ち	講義、鑑賞、リアクションペーパー	予習：授業課題 復習：オペラ史
3	モーツァルト「フィガロの結婚」1 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-1
4	モーツァルト「フィガロの結婚」2 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-2
5	モーツァルト「フィガロの結婚」3 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-3
6	モーツァルト「フィガロの結婚」4 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-4
7	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」1 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-5

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」2 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-6
9	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」3 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-7
10	ヴェルディ「椿姫」1 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-8
11	ヴェルディ「椿姫」2 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-9
12	ヴェルディ「椿姫」3 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-10
13	ヴェルディ「椿姫」4 発表、質疑応答、鑑賞	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-11
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	現在のオペラシーンについて。まとめ。	講義	予習・復習：期末レポートの準備

テキスト	授業に関する資料は Moodle にアップする。
参 考 書	水谷彰良『新 イタリア・オペラ史』（音楽の友社） 加藤浩子『オペラでわかるヨーロッパ史』（平凡社新書）
その他 特記事項	基礎的な西洋音楽史の知識がある方が望ましいが、足りない者は予習を入念に行うこと。楽典の専門知識は必要としない。初回授業の前に必ず Moodle に登録すること。

科目名	SOC201:　社会学 A					担当教員	李　侖姫
開講期	春 / 秋	開講時限	金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会学の基本概念、社会学理論、社会構造、個人と社会
授業の概要	本講義では、社会学理論を中心に「社会学とは何か」について考察する。社会学的想像力、社会構造、文化、ネットワーク、権力、機能、社会的相互作用、地位と役割などの社会学の基本的な概念について学ぶ。そして、身近な社会現象をどのように理解するのか、すなわち、個人的な経験がどのようにして社会過程によって作られるのかについて学習する。本講義は、配布資料を解説する講義形式で進める。
達成目標（授業の目的）	社会学の基本概念と考え方に慣れ親しみ、日常生活で経験する個人的な出来事を社会学的な視点で読み解く力を学習することを目的とする。日々の生活の中で、様々な社会現象を社会学的に考えてみるという訓練、そして、社会関係を構築するための実践的な思考力を身につけることを達成目標とする。
到達目標（学修成果）	1. 学生が日常生活で経験する身近な社会現象を社会学的な視点で考えることができる。 2. 学生が社会学の基本概念を理解し、様々な社会現象に対する社会学的視点を身に付ける。 3. 学生が社会学理論の様々なアプローチを学習し、様々な社会問題に適用できる。
評価方法	1. 課題提出（12 回）36% 2. 定期試験（テイクホームエグザム）64%
評価基準	1. 毎回、提出される課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. 定期試験（①選択式問題：文章の空欄に入る用語を語群の中から選び、該当する番号を記入する問題、②記述式問題：提示された問題について簡潔に記述し、授業で習ったことを応用する問題）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：社会学的想像力	講義、課題 1 回目	毎回、配布されるテキスト資料の一読、講義資料の復習
2	理論とは何か：社会学と科学、理論、概念、命題、仮説	講義、課題 2 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
3	社会学理論：①機能理論	講義、課題 3 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
4	社会学理論：②紛争理論	講義、課題 4 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
5	社会学理論：③象徴的相互作用理論	講義、課題 5 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
6	社会学理論：④交換理論	講義、課題 6 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
7	文化：文化の特性、文化の基本的要素、文化遅滞、エスノセントリズム、下位文化	講義、課題 7 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	文化と経済：プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	講義、課題 8 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
9	地位と役割：地位群と役割群、役割葛藤	講義、課題 9 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
10	組織：官僚制の特徴	講義、課題 10 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
11	ネットワーク：ネットワークとは何か、紐帯の内容と強さ、密度	講義、課題 11 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
12	ネットワークの構造と機能：閉鎖型と開放型ネットワーク	講義、課題 12 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
13	社会学のまとめ	春学期の授業内容の復習を行う	まとめの授業動画をもとに春学期に配布された全講義資料の復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の解説	試験問題の解説	試験の振り返り

テキスト	特に指定しない。毎回の授業で、穴埋め式の講義内容に関する資料を配布する。
参 考 書	1. 高根 正昭（1979）『創造の方法学』（講談社現代新書） 2. アンソニー・ギデンズ著、松尾清文ほか訳（2009）『社会学 第 5 版』（両立書房）
その他 特記事項	授業内で適宜、関連文献を紹介する。講義資料の内容と合わせてより詳しく学習したい場合には、参考書と併せて、関連文献を一読することをお勧めする。

科目名	SOC202:　社会学 B					担当教員	李　侖姫
開講期	春 / 秋	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会学の基本概念、社会調査法、個人と社会
授業の概要	本講義では、様々な社会現象を社会学的視点から理解する。例えば、社会化、ジェンダー、ライフコース、文化と消費、逸脱、宗教、社会変動など、社会現象の各領域について考察する。また、本講義では、基本的な調査法（サーベイ、実験、観察、文書分析）について理解し、どのようにして社会現象を観察し分析するのかを学習する。本講義は、配布資料を解説する講義形式で進める。
達成目標（授業の目的）	日々の生活の中で、様々な社会現象を社会学的に考えてみるという訓練、そして、社会関係を構築するための実践的な思考力を身につけることを目的とする。本講義では、特に社会学の各領域に関する基本的な概念によって具体的な内容を理解し、そして、調査方法全般について勉強する。
到達目標（学修成果）	1. 学生が日常生活で経験する身近な社会現象を社会学的な視点で考えることができる。 2. 学生が社会学の各領域に関する基本概念を理解し、様々な社会現象に対する社会学的視点を身に付けることができる。 3. 学生が調査方法の全般について学習し、様々な社会問題を分析し、考察することができる。
評価方法	1. 課題提出（12 回）36% 2. 定期試験（テイクホームエグザム）64%
評価基準	1. 毎回、提出される課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. 定期試験（①選択式問題：文章の空欄に入る用語を語群の中から選び、該当する番号を記入する問題、②記述式問題：提示された問題について簡潔に記述し、授業で習ったことを応用する問題）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：社会学的視点	講義、課題 1 回目	毎回、配布されるテキスト資料の一読 、講義資料の復習
2	社会化：生まれか育ちか？社会階層と社会化、社会化のエージェント	講義、課題 2 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
3	ジェンダー：性とジェンダー、ジェンダー役割と社会化	講義、課題 3 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
4	ライフコース：個人の人生と歴史的出来事、社会構造との関係	講義、課題 4 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
5	文化と消費：準拠集団と消費、地位と消費	講義、課題 5 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
6	逸脱：デュルケム、マートンのアノミー概念、ラベリング理論	講義、課題 6 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
7	宗教：宗教の定義、基本要素、宗教と社会秩序、宗教と近代化	講義、課題 7 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	社会変動：古典理論（マルクス、ウェーバー、デュルケム）と現代の理論	講義、課題 8 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
9	社会調査法 1：調査過程とサーベイ法	講義、課題 9 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
10	社会調査法 2：実験法	講義、課題 10 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
11	社会調査法 3：観察法	講義、課題 11 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
12	社会調査法 4：文書分析法	講義、課題 12 回目	講義資料の復習、テキスト資料の一読
13	社会学のまとめ	春学期の授業内容の復習を行う	講義資料の復習、テキスト資料の一読
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の解説	試験問題の解説	試験の振り返り

テキスト	特に指定しない。毎回の授業で、穴埋め式の講義内容に関する資料を配布する。
参 考 書	1. 高根 正昭（1979）『創造の方法学』（講談社現代新書） 2. アンソニー・ギデンズ著、松尾清文ほか訳（2009）『社会学 第 5 版』（両立書房）
その他 特記事項	授業内で適宜、関連文献を紹介する。講義資料の内容と合わせてより詳しく学習したい場合には、参考書と併せて、関連文献を一読することをお勧めする。

科目名	LAW211:　日本国憲法 A					担当教員	矢島　基美
開講期	春	開講時限	金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	日本国憲法、統治機構、天皇、国会、内閣、裁判所、財政、地方自治、平和主義、憲法保障
授業の概要	この授業では、近代憲法の流れを汲む「日本国憲法」のうち、「権力の分立」にかかわる部分を対象とする。具体的には、国政の基本方針を定め、それを実現するために置かれている機関の組織や権能、さらにはそれらの機関の相互関係など、一般に「統治機構」と呼ばれているものが取り上げられる。 この授業は、事前に配布する講義用レジュメを基に、対話形式を組み入れつつ進めていく。
達成目標（授業の目的）	この授業は、日本の統治機構に関する基礎知識を習得すること、これまでに争われた具体的な事例や憲法解釈上の論点を理解すること、これらの知識や理解を踏まえ、現に生じている政治上の問題について憲法的観点から検討し、それなりの結論が導き出せるようになることを目的としている。
到達目標（学修成果）	①日本の統治機構の仕組みや実際の運用について正確に理解し、説明できる。 ②日本の統治機構にかかわって争われた事例や論点について正確に理解し、説明できる。 ③現に日本で生じている政治上の問題について、憲法的観点から適切に検討し、相応の結論を導き出すことができる。
評価方法	①授業における参加度：30% ②中間レポート（課題は第 7 回に提示する）：30% ③期末レポート（課題は第 13 回に提示する）：40%
評価基準	①授業における参加度：質問に対して、みずからの知識や考えを基に応答しているか。 ②中間レポート：課題内容を的確に理解したうえで、必要かつ十分な内容を盛り込み、明晰かつ論理的に記述しているか。 ③期末レポート：上に同じ。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション：「憲法」とは	講義・質疑応答	第 1 回レジュメに取り組む
2	日本憲法史	講義・質疑応答	第 2 回レジュメに取り組む
3	統治の基本原理	講義・質疑応答	第 3 回レジュメに取り組む
4	国民主権と象徴天皇制	講義・質疑応答	第 4 回レジュメに取り組む
5	政党、選挙、代表	講義・質疑応答	第 5 回レジュメに取り組む
6	国会の地位	講義・質疑応答	第 6 回レジュメに取り組む
7	国会の組織と権能	講義・質疑応答	第 7 回レジュメに取り組む
8	内閣の組織と権能	講義・質疑応答	第 8 回レジュメに取り組む 中間レポートを提出する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	中間レポートの講評 国会と内閣の関係	講義・質疑応答	第 9 回レジュメに取り組む
10	裁判所の組織と権能	講義・質疑応答	第 10 回レジュメに取り組む
11	違憲審査制	講義・質疑応答	第 11 回レジュメに取り組む
12	財政と地方自治	講義・質疑応答	第 12 回レジュメに取り組む
13	憲法の改正と変遷 憲法 9 条と平和主義	講義・質疑応答	第 13 回レジュメに取り組む 期末レポートを作成する
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	憲法 9 条と安全保障 期末レポートの講評	講義・質疑応答	第 14 回レジュメに取り組む

テキスト	特に指定せず、講師作成のレジュメを配布する。
参 考 書	芦部信喜〔高橋和之補訂〕『憲法〔第 7 版〕』（岩波書店） 渋谷秀樹＝赤坂正浩『憲法 2 統治〔第 7 版〕』（有斐閣）
その他 特記事項	憲法に関心を寄せ、授業に積極的に参加することが望まれる。

科目名	LAW212:　日本国憲法 B					担当教員	矢島　基美
開講期	春	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	日本国憲法、基本的人権、自由と平等、公共の福祉
授業の概要	この授業では、近代憲法の流れを汲む「日本国憲法」のうち、「権利の保障」にかかわる部分を対象とする。具体的には、一般に「基本的人権」と呼ばれているものについて、その歴史や意義、保障にまつわる総論的事項を講じたのち、重要判例を素材にしつつ、日本国憲法で保障されている個別の権利・自由を取り上げる。 この授業は、事前に配布する講義用レジュメを基に、対話形式を組み入れつつ進めていく。
達成目標（授業の目的）	この授業は、基本的人権に関する基礎知識を習得すること、日本国憲法をめぐって争われた重要判例・主要学説を理解すること、これらの知識や理解を踏まえ、基本的人権をめぐって現に生じている問題について検討し、それなりの結論が導き出せるようになることを目的としている。
到達目標（学修成果）	①基本的人権の歴史や意義、保障にまつわる事項について正確に理解し、説明できる。 ②日本国憲法に関する重要判例や主要学説について正確に理解し、説明できる。 ③基本的人権をめぐる具体的事例について適切に検討し、相応の結論を導き出すことができる。
評価方法	①授業における参加度：30% ②中間レポート（課題は第 7 回に提示する）：30% ③期末レポート（課題は第 13 回に提示する）：40%
評価基準	①授業における参加度：質問に対して、みずからの知識や考えを基に応答しているか。 ②中間レポート：課題内容を的確に理解したうえで、必要かつ十分な内容を盛り込み、明晰かつ論理的に記述しているか。 ③期末レポート：上に同じ。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション：「憲法」とは	講義・質疑応答	第 1 回レジュメに取り組む
2	「基本的人権」とは	講義・質疑応答	第 2 回レジュメに取り組む
3	人権の主体	講義・質疑応答	第 3 回レジュメに取り組む
4	人権の効力	講義・質疑応答	第 4 回レジュメに取り組む
5	幸福追求権	講義・質疑応答	第 5 回レジュメに取り組む
6	法の下の平等	講義・質疑応答	第 6 回レジュメに取り組む
7	思想・良心の自由 信教の自由	講義・質疑応答	第 7 回レジュメに取り組む
8	政教分離原則 学問の自由	講義・質疑応答	第 8 回レジュメに取り組む 中間レポートを提出する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	中間レポートの講評 人身の自由と適正手続	講義・質疑応答	第 9 回レジュメに取り組む
10	表現の自由保障の意義	講義・質疑応答	第 10 回レジュメに取り組む
11	表現の自由の現代的展開	講義・質疑応答	第 11 回レジュメに取り組む
12	職業選択の自由	講義・質疑応答	第 12 回レジュメに取り組む
13	財産権の保障 生存権	講義・質疑応答	第 13 回レジュメに取り組む 期末レポートを作成する
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	労働基本権 期末レポートの講評	講義・質疑応答	第 14 回レジュメに取り組む

テキスト	特に指定せず、講師作成のレジュメを配布する。
参 考 書	芦部信喜〔高橋和之補訂〕『憲法〔第 7 版〕』（岩波書店） 渋谷秀樹＝赤坂正浩『憲法 1 人権〔第 7 版〕』（有斐閣）
その他 特記事項	憲法に関心を寄せ、積極的に授業に参加することが望まれる。

科目名	LAW201:　法学 A					担当教員	牧　耕太郎
開講期	秋	開講時限	金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	法学、基礎法、法哲学、法制史、比較法、法社会学
授業の概要	本講義は、法学のうち、特に基礎法と呼ばれる分野を概観する。基礎法とは現実の法の根底をなすものを意味するが、本講義ではその中からいくつかのものをトピック的に取り扱う。したがって、講義全体としては緩やかな流れをもちながらも、体系性にはこだわらないものとなっている。 なお、本講義は、講師作成のレジュメ・設問を基に、受講生との対話型にて展開される。
達成目標（授業の目的）	現在の法制度の根底に流れている思想や価値判断が身につくことを目指す。また、現在の日本の法制度が唯一・最良のものではないということを理解できるようにする。その上で、未知の問題にぶつかったとき、自らの力で考え、解決策を提示することができるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	第1に、「法」が他の「ルール」とどう異なるかを理解している。その上で、「法」固有の価値判断がどのようなものかを日本語で論理的に説明できる。さらに、そのような大局的視野に立って、現在の社会問題について論評することができる。
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%
評価基準	①授業時の参加態度：質問に対して必ず解答しているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 法学と基礎法学	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 2 回レジュメに取り組む。
2	法とルールの異同　―権利と義務― チェスのルールと法は何が違うのか	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 3 回レジュメに取り組む。
3	法に対する 2 つの見方　―西洋と東洋？― 法に何を求めるのか	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 4 回レジュメに取り組む。
4	日本法の出自 日本の法は日本人が考え出したのか	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 5 回レジュメに取り組む。
5	いわゆる「神判」と魔女裁判 裁きは誰の手に握られているのか	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 6 回レジュメに取り組む。
6	裁判に関わる人々 裁判の人的側面	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 7 回レジュメに取り組む。
7	法と慣習 法律は「書かれている」とは限らない	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 8 回レジュメに取り組む。 中間レポートを作成する。
8	自然法と法実証主義 法は「誰が」作ったのか	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 9 回レジュメに取り組む。
9	レポート返却・講評／英米法と大陸法 信頼すべきは大衆？それともエリート？	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 10 回レジュメに取り組む。
10	正義論 「セイギの味方」はどんな人？	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 11 回レジュメに取り組む。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	いわゆる「隣人訴訟」 昨日の友は今日の敵？	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 第 12 回レジュメに取り組む。
12	動物、AI、そして人 アンドロイドは「友達」になれるか	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 予備資料を読んだ上で、テキストを通読しておく。
13	法と文学 夏目漱石『坊っちゃん』に潜む法的思考	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 期末レポートを作成する。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	法の基本的な発想がどのようなものか、もう一度振り返ってみる。

テキスト	講師作成のレジュメ 第 13 回のみ：夏目漱石『坊っちゃん』（角川文庫）
参 考 書	木庭顕『誰のために法は生まれた』（朝日出版社） 三ケ月章『法学入門』（弘文堂）、その他、参考となるものは授業中に示す。
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが望まれる。

科目名	LAW202:　法学 B					担当教員	牧　耕太郎
開講期	秋	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	法学、法解釈学、実定法、民法、刑法、裁判
授業の概要	本講義は、法学のうち、実定法学（法解釈学）と呼ばれる分野を取り扱う。その中でも、基本的な法分野である、市民関係の権利関係を規律する民法と犯罪と刑罰に関する刑法を中心的に取り扱い（本講義では憲法を扱わないので注意されたい）、その実現である裁判や法の執行の仕組みや法についての概論も行う。 なお、本講義では、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型の講義を行う。
達成目標（授業の目的）	まず、現実に運用されている条文を適切に摘示して根拠として示すことができ、また裁判手続が紛争解決手続としてどのような性質をもつものかを正確に理解していることを目指す。それを踏まえて、民・刑法の観点から社会問題を分析・思考し、それに基づいた基本的な解決の方向性を提示することができるようになる。
到達目標（学修成果）	適切な条文を見つけ、摘示することができる。 裁判・執行という制度・現象について理解し、説明することができる。 日本の民法と刑法の基本的な考え方を正確に理解し、説明することができる。
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%
評価基準	①授業時の参加態度：質問に対して必ず解答しているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 六法の扱い方	講義、質疑応答	六法を引く。 第 2 回レジュメに取り組む。
2	法の分類 犬も歩けば「法」に当たる	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 3 回レジュメに取り組む。
3	法という「体系」と、その「解釈」 「このはし牛馬渡るべからず」の意味	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 4 回レジュメに取り組む。
4	裁判手続法　―法の宣言― 「裁判所は法を語る口である」	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 5 回レジュメに取り組む。
5	民法総論　―私人間規律に関する諸原則― 人々の間の法的関係を作るもの	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 6 回レジュメに取り組む。
6	契約法 誰かに何かをしてもらうために	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 7 回レジュメに取り組む。
7	不法行為法 地獄の沙汰も金次第	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 8 回レジュメに取り組む。 中間レポートを作成する。
8	親族法 「家族になろうよ」？	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 9 回レジュメに取り組む。
9	レポート返却・講評／相続法 人は「幽霊」と合体する！	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 10 回レジュメに取り組む。
10	犯罪と刑罰 なぜ人を「悪者」扱いして処罰するのか	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 11 回レジュメに取り組む。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	犯罪の成立を否定するもの 「やったのに無罪！」なのはなぜ？	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 12 回レジュメに取り組む。
12	犯罪の特殊な形 犯罪の範囲が拡がってゆく場合	講義、質疑応答	疑問点を拾い上げておく。 第 13 回レジュメに取り組む。
13	裁判の執行 法の「果実」としての執行	講義、質疑応答	疑問点を確認する。 期末レポートを作成する。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	日本の法体系とそれぞれの役割を振り返ってみる。

テキスト	池田真朗ほか編『法学六法’23』（信山社） 講師作成のレジュメ
参 考 書	宍戸常寿・石川博康編『法学入門』（有斐閣） 市川正人ほか『現代の裁判〔第 8 版〕』（有斐閣）、その他、参考となるものは授業中に示す。
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが望まれる。

科目名	EDU201:　教育学 A					担当教員	杉村　美佳
開講期	春	開講時限	火 3 限			研究室	4220
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	発達と教育、発達心理、教育の思想、教育の歴史
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問い、教育という営みについて心理学的、思想的、歴史的なアプローチから探究することを通して、教育学の基礎理論を学ぶ。具体的には、人間の発達と教育、子ども観と教育観の変遷、教育の歴史等について、今日の教育問題との関連を考察しながら検討する。
達成目標（授業の目的）	教育という営みについて心理学的、思想的、歴史的視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育事象を教育学的視点から論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。
到達目標（学修成果）	①教育学の諸分野や基礎理論について的確に理解し、概要を説明することができる。 ②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。 ③教育事象に関するレポートの作成を通して、教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に考察し、その結果を効果的に発表することができる。
評価方法	①授業参画（10%）、②授業時に課すリアクション・ペーパー（30%）、③授業内試験（30%）、④レポート（30%）
評価基準	①授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ②リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ④レポート：参考文献の内容を理解し、教育学的観点から論理的に論述できているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	教育学とは―教育学の諸分野―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.42-45 の一読 配布プリントの復習
2	子どもを取り巻く社会の変化 ―少子化・情報化・子どもの貧困―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.7-14 の一読 配布プリントの復習
3	人間の発達と教育（1）幼児期	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.55-61 の一読 DVD の内容の要約・考察
4	人間の発達と教育（2）児童期	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.16-27 の一読 DVD の内容の要約・考察
5	道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.138-144 の一読 配布プリントの復習
6	発達障害と特別支援教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.145-150 の一読 配布プリントの復習
7	子ども観・教育観の変遷（1）コメニウス・ロック	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.110-112 の一読 配布プリントの復習
8	子ども観・教育観の変遷（2）ルソー	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.113-116 の一読 配布プリントの復習
9	子ども観・教育観の変遷（3）デューイ	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.120-123 の一読 DVD の内容の要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	幼児教育の思想―フレーベル・モンテッソーリー―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.117-119 の一読 DVD の内容の要約・考察
11	小括・授業内試験	講義・質疑応答・ 授業内試験	10 回目までの授業内容の復習
12	教育の歴史（1）―戦争と教育―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.70-72 の一読 配布プリントの復習
13	教育の歴史（2）―学歴主義社会の形成と生涯学習の推進―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.97-104 の一読 配布プリントの復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括および試験の返却と解説	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの復習

テキスト	内海﨑貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参 考 書	田嶋一他著『やさしい教育原理』（有斐閣アルマ）

科目名	EDU201:　教育学 A					担当教員	青木　由紀子
開講期	秋	開講時限	火 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	人間と教育、発達と教育、教育の歴史と思想、学校と社会、学力
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問い、教育という営みについて心理的、思想的、歴史的なアプローチから探究することを通して、教育学の視点や基礎理論を学ぶ。具体的には、人間の発達と教育、子ども観と教育観の変遷、教育の歴史や思想等について、今日の教育問題との関連を考察しながら検討する。最後に、各自が関心のある教育課題を取り上げ、レポートを作成する。
達成目標（授業の目的）	教育学の基礎知識や教育の歴史・思想を学ぶことで、現代の様々な教育事象を、教育的観点から理論的・批判的に考察することができるようになる。教育をめぐる様々な課題に対して問題意識を持ち、それを自らの言葉で表現し、他者の意見に耳を傾け学びながら、深めていくことを目的とする。
到達目標（学修成果）	①　授業で学ぶ教育学の諸分野や基礎理論について的確に理解し、ミニレポートにおいて、概要を説明することができる。そのうえで、自ら問題意識を持ち、それを継続して深めていくことができる。 ②　期末レポートの作成を通して、自ら問いを設定し、教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に考察し、自分の言葉で論述することができる。
評価方法	①　授業時に課すミニレポート（50%） ②　期末レポート（50%）
評価基準	①　ミニレポート：授業やテキストの知識内容を理解し、学んだ用語や概念を適切に用いながら、与えられたテーマについて自分の言葉で論述されているか。 ②　期末レポート：自ら問題設定をし、参考文献の内容を生かしながら、教育学的観点から論理的に論述できているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	本講義の目的と概要、アカデミックスキルズ、問いの立て方、深め方について	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
2	人間と教育、よい教育への問い	講義、ディスカッション、ミニレポート	第 1、2 章の一読 ノート・配布プリントの復習
3	人間の発達と教育	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
4	子どもの権利と教育を受ける権利	講義、ディスカッション、ミニレポート	第 3 章の一読 ノート・配布プリントの復習
5	西洋教育思想史①　西洋教育思想の源流	講義、ディスカッション、ミニレポート	第 4、5、6 章の一読 ノート・配布プリントの復習
6	西洋教育思想史②　近代以降の学校	講義、ディスカッション、ミニレポート	第 8 章の一読 ノート・配布プリントの復習
7	日本教育史①　1945 年以前	講義、ディスカッション、ミニレポート	第 9、10 章の一読 ノート・配布プリントの復習
8	日本教育史②　1945 年以降～現在まで	講義、ディスカッション、ミニレポート	第 11 章の一読 ノート・配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	学力論	講義、ディスカッション、ミニレポート	第 2 章 4 節、14 章の一読 ノート・配布プリントの復習
10	教育実践と方法	講義、ディスカッション、ミニレポート	第 12、13 章の一読 ノート・配布プリントの復習
11	教師論	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
12	まとめと期末レポート作成に向けて① －21 世紀に必要な学力とは－	グループワーク、ディスカッション、フィードバック	期末レポート作成に向けたワーク①
13	まとめと期末レポート作成に向けて② －学校、家庭、社会における教育－	プレゼンテーション、ディスカッション、フィードバック	期末レポート作成に向けたワーク②
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括およびフィードバック	講義、フィードバック、ディスカッション	フィードバックを読む。 ノート・配布プリントの復習

テキスト	木村元、汐見稔幸編著『教育原理』（ミネルヴァ書房）
参 考 書	国際子ども権利センター編『世界中の子どもの権利をまもる 30 の方法』（合同出版）

科目名	EDU202:　教育学 B					担当教員	杉村　美佳
開講期	春	開講時限	金 3 限			研究室	4220
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	教育格差と学力格差、いじめ、不登校、ジェンダー、グローバル化と教育
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問い、教育という営みについて社会学的、国際的アプローチから探究することを通して、教育学の基礎理論を学ぶ。具体的には、教育格差による学力格差、いじめや不登校、外国籍児童の教育、ジェンダーと教育など、現代の学校教育を取り巻く諸問題を取り上げ、その要因や社会的背景、課題解決の方途を探る。
達成目標（授業の目的）	教育という営みについて社会学的、国際的視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育事象を教育学的視点から論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。
到達目標（学修成果）	①教育学の諸分野や基礎理論について的確に理解し、概要を説明することができる。 ②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。 ③教育事象に関するレポートの作成を通して、教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に考察し、その結果を効果的に発表することができる。
評価方法	①授業参画（10%）、②授業時に課すリアクション・ペーパー（30%）、③授業内試験（30%）、④レポート（30%）
評価基準	①授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ②リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ④レポート：参考文献の内容を理解し、教育学的観点から論理的に論述できているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	教育学とは―教育学の諸分野―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.42-50 の一読 配布プリントの復習
2	子どもを取り巻く社会の変化 ―少子化・情報化・子どもの貧困―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.2-11 の一読 配布プリントの復習
3	学校教育の今日的課題（1）階層と学力	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.23-27 の一読 配布プリントの復習
4	学校教育の今日的課題（2）学力格差の是正策	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.34-40 の一読 配布プリントの復習
5	学校教育の今日的課題（3）いじめ	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.21-24 の一読 配布プリントの復習
6	学校教育の今日的課題（4）不登校・学級崩壊	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.16-20 の一読 配布プリントの復習
7	学校教育の今日的課題（5）ジェンダーと教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.157-164 の一読 配布プリントの復習
8	グローバル化と教育（1）外国につながる子どもと国際理解教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.151-156 の一読 配布プリントの復習
9	グローバル化と教育（2）小学校の英語教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	日本の英語教育改革を調べる 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	小括・授業内試験	講義・質疑応答・ 授業内試験	9 回目までの授業内容の復習
11	カリキュラム論―学習指導要領の変遷―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.68-72 の一読 配布プリントの復習
12	教育方法論―教育方法の日米比較―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.73-81 の一読 配布プリントの復習
13	諸外国の教育制度	講義・ディスカッション リアクションペーパー	諸外国の教育制度を調べる 配布プリントの復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	試験の返却と解説	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.105-110 の一読 配布プリントの復習

テキスト	内海﨑貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参 考 書	田嶋一他著『やさしい教育原理』（有斐閣アルマ）

科目名	EDU202:　教育学 B					担当教員	青木　由紀子
開講期	秋	開講時限	火 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	学力、教育の機会均等、多文化共生と教育、インクルーシブ教育、テクノロジーと教育
授業の概要	人間と社会にとって「教育とは何か」を問い、今日の様々な教育的課題を、子ども、家庭、学校、社会の関わりに着目して学びながら、教育学の視点や基礎理論を学ぶ。具体的には、今日の学力や教育格差の問題、多様性と共生をめぐる課題を取り上げ、それに対する教育学の応答を探る。最後に、各自が関心のある教育課題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。
達成目標（授業の目的）	現代の様々な教育課題の背景や論点を、学校、家庭、社会などの様々な関わりを通して学ぶことによって、教育的観点から課題を理論的・批判的に考察することができるようになる。教育をめぐる様々な課題に対して問題意識を持ち、それを自らの言葉で表現し、他者の意見に耳を傾け学びながら、深めていくことを目的とする。
到達目標（学修成果）	① 様々な教育的課題をめぐる歴史や背景、重要な概念や用語を理解し、ミニレポートにおいて、概要を説明することができる。その上で、自ら問題意識を持ち、それを継続して深めていかれるようにする。 ② 期末プレゼンテーションの準備を通して、自ら問いを設定し、教育学的視点から事象を論理的、批判的に考察してレジュメを作成し、人に伝わるように発表することができる。
評価方法	① 授業時に課すミニレポート（50%） ② 期末プレゼンテーションのレジュメ作成、および発表（50%）
評価基準	① ミニレポート：授業やテキストの知識内容を理解し、学んだ用語や概念を適切に用いながら、与えられたテーマについて自分の言葉で論述されているか。 ② 期末プレゼンテーション：自ら問題設定をし、参考文献の内容を生かしながら、教育学的観点から論理的に内容をまとめ、人に伝わるような発表ができているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	教育学を学ぶ見取り図、教育をめぐる問いの立て方、深め方について	講義、グループワーク、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
2	子どもの権利と教育	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
3	学校という学びの場	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
4	学力とは何か	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
5	教育の機会均等と教育の格差	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
6	情報テクノロジーと教育	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
7	シティズンシップ教育	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
8	共生と教育①　いじめ、差別と教育	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	共生と教育②　インクルーシブ教育	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
10	共生と教育③　多文化共生と教育	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノート・配布プリントの復習
11	教育とは何か	講義、ディスカッション、ミニレポート	ノートの復習
12	まとめとプレゼンテーションに向けて① －学校、家庭、社会－	グループワーク、ディスカッション、フィードバック	期末レポート作成に向けたワーク①
13	まとめとプレゼンテーションに向けて② －共生と教育－	プレゼンテーション、ディスカッション、フィードバック	期末レポート作成に向けたワーク②
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括およびフィードバック 教育・教育学をさらに深く学んでいくために	講義、フィードバック、ディスカッション	フィードバックを読む。 ノート・配布プリントの復習

テキスト	指定しない。授業テーマに即した教育課題の基礎事項をまとめた資料や、教育に関する新聞記事等を配布し、各回の内容に応じた参考文献を随時紹介する。
参 考 書	教育新聞編『FUTURE EDUCATION! ――学校をイノベーションする 14 の教育論』（岩波書店） 藤田由美子、谷田川ルミ編著『ダイバーシティ時代の教育の原理 : 多様性と新たなるつながりの地平へ』（ミネルヴァ書房）

科目名	ECN201:　経済学 A					担当教員	孫　明超
開講期	春	開講時限	月 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	経済学、ミクロ経済学、機会費用、比較優位、需要と供給、余剰、外部性
授業の概要	「経済学はどんなものか？」、「経済学は何の役に立つか？」というシンプルな質問に答えるため、ミクロ経済学の視点からまず基礎的な概念を学ぶ。その後に経済学の考え方を分析ツールとして、現実社会の経済現象をどのように理解すべきか、自身の経済活動をどのように行うべきかについて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	自分が暮らしている社会における日常生活や社会問題を経済学的な考え方で理解する。さらに、日常の消費、貯蓄や投資などの個人の経済活動をより賢く行える。
到達目標（学修成果）	①教科書の該当部分を予習した上、講義を通して経済学の基礎的な概念を理解し、毎回の小テストの問題を解くことができる。（評価①） ②授業、予習または復習を通して身につけた経済学的な考え方で積極的かつ的確に発言できる。（評価②） ③世界で起こる経済現象を授業で学んだ経済学用語や理論を用いて、自分の言葉で分析・説明し、考察や自分の考えも踏まえて論述できる。（評価③）
評価方法	①授業毎の小テスト：授業終了時までに提出（4%×14 回=56%） ②授業内での発言：授業中の質問に的確に答えられる（2%×7 回=14%） ③期末レポート：1,200～1,500 字のレポート（30%）
評価基準	①授業毎の小テスト：授業毎に実施する小テスト（選択式 3～4 問）を授業終了時までに提出する。 ②授業内での発言：14 回の授業のうち、最大 7 回分の点数が取れる。 ③期末レポート：教科書、講義中で紹介された事例を参考にした上、経済現象の事例を自らで考え、授業で扱った経済学の専門用語を使って説明できる。その上、自身の考えや考察を論述できる。（自分の論点を述べる際に、関連論文、政府報告書または新聞記事などの引用は認められるが、自分の言葉ではなく、コピペまたは引用の割合が全体の 2 割以上を占める場合、0 点となる）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 経済学の十大原理（1）人間の意思決定	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 1 章　第 1 節）
2	経済学の十大原理（2） 市場と政府	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 1 章　第 2-3 節）
3	経済学者らしく考える（1） 科学者の立場から	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 2 章　第 1 節）
4	経済学者らしく考える（2） 政策アドバイザーの立場から	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 2 章　第 2-3 節）
5	相互依存と交易（貿易）からの利益（1） 機会費用と比較優位	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 3 章　第 1-2 節）
6	相互依存と交易（貿易）からの利益（2） 比較優位の応用例	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 3 章　第 3 節）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	市場における需要と供給の作用（1） 市場と競争、価格と需要量の関係	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 4 章　第 1-2 節）
8	市場における需要と供給の作用（2） 価格と供給量の関係、需要と供給の関係	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 4 章　第 3-4 節）
9	需要、供給、及び政府の政策（1） 価格規制の効果	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 5 章　第 1 節）
10	需要、供給、及び政府の政策（2） 税金の効果	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 5 章　第 2 節）
11	消費者、生産者、市場の効率性（1） 消費者余剰、生産者余剰	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 6 章　第 1-2 節）
12	消費者、生産者、市場の効率性（2） 市場の効率性と失敗	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 6 章　第 3-4 節）
13	外部性 正の外部性と負の外部性、公共政策	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 7 章）、期末レポート提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ミクロ経済学のまとめ、期末レポートの講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学（第 3 版）』（東洋経済新報社）
参 考 書	①日経ビジネス編集『日本経済入門 第 2 版（日経ビジネス）』（日経 BP） ②神取道宏 著『ミクロ経済学の力』（日本評論社） （微分などの数学を使ってしっかりミクロ経済学の基礎を学びたい人にはおすすめ）
その他 特記事項	①難しい数学を使わず、ミクロ経済学の入門レベルの講義を行う。 ②教科書のすべての内容を解説しきれないので、無理のない範囲で予習または復習を望む。

科目名	ECN202:　経済学 B					担当教員	孫　明超
開講期	秋	開講時限	月 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	経済学、マクロ経済学、国民所得、経済成長、貯蓄と投資、総需要と総供給、輸出と輸入
授業の概要	「経済学はどんなものか？」、「経済学は何の役に立つか？」というシンプルな質問に答えるため、マクロ経済学の視点からまず基礎的な概念を学ぶ。その後に経済学の考え方を分析ツールとして、現実社会の経済現象をどのように理解すべきか、自身の経済活動をどのように行うべきかについて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	自分が暮らしている社会における日常生活や社会問題を経済学的な考え方で理解する。さらに、日常の消費、貯蓄や投資などの個人の経済活動をより賢く行える。
到達目標（学修成果）	①教科書の該当部分を予習した上、講義を通して経済学の基礎的な概念を理解し、毎回の小テストの問題を解くことができる。（評価①） ②授業、予習または復習を通して身につけた経済学的な考え方で積極的かつ的確に発言できる。（評価②） ③世界で起こる経済現象を授業で学んだ経済学用語や理論を用いて、自分の言葉で分析・説明し、考察や自分の考えも踏まえて論述できる。（評価③）
評価方法	①授業毎の小テスト：授業終了時までに提出（4%×14 回=56%） ②授業内での発言：授業中の質問に的確に答えられる（2%×7 回=14%） ③期末レポート：1,200～1,500 字のレポート（30%）
評価基準	①授業毎の小テスト：授業毎に実施する小テスト（選択式 3～4 問）を授業終了時までに提出する。 ②授業内での発言：14 回の授業のうち、最大 7 回分の点数が取れる。 ③期末レポート：教科書、講義中で紹介された事例を参考にした上、経済現象の事例を自らで考え、授業で扱った経済学の専門用語を使って説明できる。その上、自身の考えや考察を論述できる。（自分の論点を述べる際に、関連論文、政府報告書または新聞記事などの引用は認められるが、自分の言葉ではなく、コピペまたは引用の割合が全体の 2 割以上を占める場合、0 点となる）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 国民所得の測定（1）国内総生産の測定	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 8 章　第 1-2 節）
2	国民所得の測定（2） GDP の構成要素、名目 GDP と実質 GDP	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 8 章　第 3-5 節）
3	生計費の測定（1） 消費者物価指数	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 9 章　第 1 節）
4	生計費の測定（2） インフレーション	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 9 章　第 2 節）
5	生産と成長（1） 生産性、経済成長と公共政策	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 10 章　第 1-3 節）
6	生産と成長（2） 失業	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 10 章　付論）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	貯蓄、投資と金融システム（1） 金融市場、貯蓄と投資	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 11 章　第 1-2 節）
8	貯蓄、投資と金融システム（2） 貸付資金市場、貨幣システム	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 11 章　第 3 節、付論 1）
9	総需要と総供給（1） 短期の経済変動	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 12 章　第 1-2 節）
10	総需要と総供給（2） 総需要曲線と総供給曲線	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 12 章　第 3-4 節）
11	総需要と総供給（3） 経済変動の原因	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 12 章　第 5 節）
12	開放マクロ経済学（1） 輸出、輸入	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 13 章　第 1-2 節）
13	開放マクロ経済学（2） 購買力平価、為替市場	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 13 章　第 3 節）、期末レポート提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	マクロ経済学のまとめ、期末レポートの講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学（第 3 版）』（東洋経済新報社）
参 考 書	①日経ビジネス編集『日本経済入門 第 2 版（日経ビジネス）』（日経 BP） ②齊藤誠、岩本康志、太田聰一、柴田章久著『マクロ経済学　新版』（有斐閣） （数学を使ってしっかりマクロ経済学の基礎を学びたい人にはおすすめ）
その他 特記事項	①難しい数学を使わず、マクロ経済学の入門レベルの講義を行う。 ②教科書のすべての内容を解説しきれないので、無理のない範囲で予習または復習を望む。

科目名	BUS201:　経営学 A					担当教員	杉山　章
開講期	春	開講時限	木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	マネジメント、ステークホルダー、戦略と組織、国際経営
授業の概要	ビジネスを取り巻く様々な事例を題材にして、経営学の基礎を幅広く取り扱い、社会と企業の関係、企業活動の意義と責任、マネジメントの重要性について『企業の戦略と組織の視点』から学ぶ。複雑に見える社会の動きを、シンプルに何がどのようになっているのかを理解する力は、就職活動だけでなく、将来の社会人（ビジネスパーソン）にとって重要な資質の 1 つであり、これらが身につけられるように積極的に考える参加型の授業を展開する。
達成目標（授業の目的）	経営学の視点から社会全体と経済活動、会社組織などが、どのような関係になっているのか、様々な仕組みを理解し、自ら考察する事ができるようになる。
到達目標（学修成果）	1、経営学を中心に多角的な視点から、社会と経済活動や企業の関係を理解する事ができるようになる。 2、さまざまな経営学の基礎的な用語について説明できるようになる。
評価方法	・授業内テスト：60%　（1）前半試験：30%　（2）後半試験：30% ・授業態度、取り組み姿勢：40%
評価基準	・授業内テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語など使って説明できているか理解度を評価する。 ・授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題（リアクションペーパー）を評価する。 また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、イントロダクション 『経営学って役に立つの？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	経営学に関連した問題意識の整理
2	マネジメントとは何か？ 『組織構造と構造について』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
3	株式会社とは何か？ 『企業の形態、種類、コーポレート・ガバナンス』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
4	ステークホルダーとは何か？ 『さまざまな利害関係者と企業の関係』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
5	企業のさまざまな戦略と組織について 『フレームワークを使ってみよう』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
6	マーケティング：消費者は何を求めているか？『儲かるとは？損益分岐点とマーケティング・リサーチ』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
7	第 1 回～6 回までのまとめ ＜前半試験アナウンス＞	講義、質疑応答 WEB 試験の実施	プリントやノートで授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
8	前半試験の振り返り 日本的経営の特徴と組織について	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	国際経営と多国籍企業 『グローバルブランドと企業理念』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
10	企業倫理と情報セキュリティー 『企業のあるべき姿とは』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
11	企業の社会的責任 『CSR、CSV とは何か？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
12	持続可能な社会の実現に向けて 『SDGs と、これからの企業と社会』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
13	第 8 回～12 回までのまとめ ＜後半試験アナウンス＞	講義、質疑応答 WEB 試験の実施	プリントやノートで授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	後半試験の振り返り 本講義全体のまとめ	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を復習し授業全体の学修成果を整理する

テキスト	教科書は特に定めない。必要な資料は授業毎に配布する。 （事前にアップロードしている場合は、各自ダウンロードして授業に持参のこと）
参 考 書	高橋 伸夫『大学 4 年間の経営学が 10 時間でざっと学べる』（KADOKAWA） 榊原 清則『経営学入門（上）第 2 版』（日本経済新聞出版社）

科目名	BUS202:　経営学 B					担当教員	杉山　章
開講期	秋	開講時限	木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	グローバル、モチベーション、リーダーシップ、ダイバーシティ、サスティナビリティ
授業の概要	ビジネスを取り巻く様々な事例を題材にして、経営学の基礎を幅広く取り扱い、社会と企業の関係、企業活動の意義と責任、マネジメントの重要性について『企業の人と組織の視点』から学ぶ。複雑に見える社会の動きを、シンプルに何がどのようになっているのかを理解する力は、就職活動だけでなく、将来の社会人（ビジネスパーソン）にとって重要な資質の 1 つであり、これらが身につけられるように積極的に考える参加型の授業を展開する。
達成目標（授業の目的）	経営学の視点から社会全体と経済活動、会社組織などが、どのような関係になっているのか、様々な仕組みを理解し、自ら考察する事ができるようになる。
到達目標（学修成果）	1、経営学を中心に多角的な視点から、社会と経済活動や企業の関係を理解する事ができるようになる。 2、さまざまな経営学の基礎的な用語について説明できるようになる。
評価方法	・授業内テスト：60%　（1）前半試験：30%　（2）後半試験：30% ・授業態度、取り組み姿勢：40%
評価基準	・授業内テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語など使って説明できているか理解度を評価する。 ・授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題（リアクションペーパー）を評価する。 また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、イントロダクション 『経営学って役に立つの？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	経営学に関連した問題意識の整理
2	組織で働く、とは何か？ 『組織と個人の関係について』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
3	人はなぜ働くのか？：『モチベーション、やりがい、やる気』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
4	グローバル マネジメントとは？ 『企業文化とグローバル人材』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
5	キャリア形成について：『ビジネスパーソンのあるべき姿とは』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
6	顧客の心理を考える：『消費者行動とマーケティング』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
7	第 1 回～6 回までのまとめ ＜前半試験のアナウンス＞	講義、質疑応答 WEB 試験の実施	プリントやノートで授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
8	前半試験の振り返り 日本的経営の特徴と人について	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
9	人材開発とリーダーシップ：『今日的なリーダーシップとは？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	人的資源管理、とは何か？：『人材とは人財である』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
11	ダイバーシティ：『女性活躍とイノベーション』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
12	サスティナビリティについて：『SDGs の実現に向けて』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
13	第 8 回～12 回までのまとめ ＜後半試験のアナウンス＞	講義、質疑応答 WEB 試験の実施	プリントやノートで授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	後半試験の振り返り 本講義全体のまとめ	回答例の説明、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を復習し授業全体の学修成果を整理する

テキスト	教科書は特に定めない。必要な資料は授業毎に配布する。 （事前にアップロードしている場合は、各自ダウンロードして授業に持参のこと）
参 考 書	高橋 伸夫『大学 4 年間の経営学が 10 時間でざっと学べる』（KADOKAWA） 榊原 清則『経営学入門（上）第 2 版』（日本経済新聞出版社）

科目名	SWF201:　社会福祉入門 A					担当教員	栃本　一三郎
開講期	春	開講時限	火 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	教養としての社会保障と社会福祉（シチズンシップの観点からの社会福祉・社会保障）
授業の概要	わが国の社会保障や社会福祉の問題を幅広い見方でとらえていく。特にヨーロッパや北欧などの市民の中に溶け込む社会福祉の姿を見つつ、日本のあり方を考える。高齢者介護、認知症や児童や青年期の問題、仕事や家庭の両立を図らなければならない家庭などの抱える問題にどのような解決策があるのかを諸外国の事情を紹介するビデオや NHK のニュースの DVD なども見ながら考え、市民として知っておくべき社会保障や社会福祉について国際比較の視点を持ちながら学んでいく。
達成目標（授業の目的）	社会福祉を専門としている学生の理解する社会福祉よりも、より幅広い視点をもって、福祉や生活を考えることが出来るようにする。住宅も雇用も教育も、そして企業や地域社会も、ともに人々の福祉にとって深い関係があることを理解する。
到達目標（学修成果）	新聞やテレビを見る際に、社会問題にかかわる記事やニュースを、社会政策の観点から、より正確に、深く理解できるようにするとともに、正しく説明できるようにする。
評価方法	・レポートとリアクションペーパー（50%） ・授業への積極的参加（50%）
評価基準	・レポートとリアクションペーパー：テキストや掲示板のファイル、ムードルの資料、および授業の内容を的確に理解し、要約できているかどうか。また、社会の問題を社会政策の視点と立場を踏まえて考えることが出来、自分の意見を論理的に記述できるかどうか。 ・授業内の質疑応答、議論に参加しているかどうか（特に、教員からの質問や意見について求められた際に、応えることができる）。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	社会福祉とは何か	授業内の中で質疑応答 リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントおよび資料の予習
2	ウェルビーイングとウェルフェアの違いについて考える。欠けたものを補う福祉から連帯と尊厳を実現する積極的「働き」へ	授業の中で質疑応答 リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントおよび資料の予習
3	アルムス、アリメント、カリタス（ギリシャ時代からの相互扶助、ローマ時代の社会安定のための政策、そして宗教）	授業の中で質疑応答 リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習
4	社会福祉の一般的理解と社会政策の重要性	授業の中で質疑応答 リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習とレポート①の提出
5	ドイツ・デンマークの高齢者の住宅改修や福祉用具の導入、認知症ケア、自治体における高齢者委員会等の例を海外取材の番組を見て考える	教員の出た NHK の番組を見て議論を行う。 授業の中で質疑応答 リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	アメリカのニュース番組が特集した日本の高齢福祉の紹介番組から、海外でどのように日本の福祉の特徴が紹介されているかを見て、日本の福祉の仕組みを客観的に考える	教員の出た NHK の番組を見て議論を行う。授業の中で質疑応答リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習
7	幸福の条件（Q.O.L と Q.o.Death ＆Dying）安心の基盤とは	リアクションペーパー授業中での質疑応答と課題の提示	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントおよび資料の予習
8	高齢者や障害者の自立について考える高齢者の自立の方策を、海外を例に考え、そこで重視されているのは何かを考える	教員の出た NHK の番組を見て議論を行う。授業の中で質疑応答リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習とレポート②の提出
9	介護殺人のニュースに関する NHK の首都圏報道を見たうえで、感情労働と介護をしている男性たちの取り組みについて考える	教員の出た NHK の番組を見て議論を行う。授業の中で質疑応答リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習
10	NHK ドラマ『もしも明日に』を見て、日本での介護をめぐる問題について考える	教員の出た NHK の番組を見て議論を行う。授業の中で質疑応答リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習
11	ドイツの介護保険制度と高齢者の自己決定に合わせたケアのあり方を映像から理解する	教員の出た NHK の番組を見て議論を行う。授業の中で質疑応答リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習
12	地域を支えるコミュニティサービスや助け合い活動による児童福祉、環境整備、グループ活動の高揚、青年の社会貢献等についてドイツやアメリカの様子等を映像を見ながら考える	パワーポイントと全米テレビ広告コンテンツやニュースショウ番組を見て、議論を行う。授業の中で質疑応答リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントおよび資料の予習とレポート③の提出
13	育児の問題、子供の貧困問題、社会的養護、生活困窮、障害者の雇用制度、サラリーマンの離職、サービスの質、消費者保護の問題等に制度的対応があるのかを考える	授業の中で質疑応答リアクションペーパー	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントの予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	社会福祉にとって、カトリックの社会回勅の示すもの。あわせてイエズス会の社会奉仕と上智の教育から明日を考える	授業中での質疑応答と課題の提示	教科書とムードル、掲示板に添付した講義録パワーポイントおよび論文に目を通す

テキスト	栃本一三郎編『新しい視点で学ぶ社会福祉』（光生館）
参 考 書	岩田正美・上野谷加代子・藤村正之『ウェルビーイング・タウン　社会福祉入門改訂版』（有斐閣アルマ）
その他特記事項	講義録（パワーポイント形式）をよく読み、予習・復習してください。また講義録は全体を通したものを示しますがそのつど更新しますので掲示板等で確認してください。

科目名	SWF202:　社会福祉入門 B					担当教員	小山　泰明
開講期	秋	開講時限	金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会福祉の広がりと深さ、社会政策、主体としての社会福祉、客体としての社会福祉
授業の概要	社会福祉についての基礎的理解のための入門的な授業を行う。テキストに沿って基本的な概念や枠組みを理解していくことが中心となるが、正確で確実な知識の取得、およびその取得方法、そして社会で生活していく上で必須となる社会福祉、社会保障についての知識を教授する。
達成目標（授業の目的）	社会保障も視野においた広義の社会福祉についての現状、制度、法律について基礎的知識を得る。自己と社会との関係を自分の言葉で説明できるようになる。新聞で取り上げられる社会福祉や社会保障、社会問題の記事について、専門的な視点からある程度読み解くことができるようになる。
到達目標（学修成果）	授業および教科書に書かれている事柄を、新聞記事を利用して自分で調べ、理解し、さらに他者に説明出来るようになる。また、社会福祉や社会保障を自分や家族の生活に引きつけて自分の言葉で語れるようになる。
評価方法	①毎回の新聞の切り抜きとコメント（20%）、②授業毎のリアクションペーパー（30%）、③期末課題（2,000 字以上のレポート）（50%）
評価基準	①国内外の社会福祉や社会保障、社会問題の新聞記事を切り抜いて提出、かつコメント（200 字以上）を付ける。提出回数とコメントの妥当性によって評価する。②自分なりにその回の学習内容やキーワードが何であったかを確認しながら記述する。③配布資料や紹介した文献をもとに、自身が関心を寄せるテーマについて、講義を通じて学んだことを生かしながら自分の考えを論理的に述べることができるかを判断し評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション－講義の進め方、テキストの読み方	講義、意見交換	テキスト序章を予習
2	社会福祉とは何か①－社会福祉と社会保障、社会福祉の基礎概念	講義、新聞切り抜き提出（以下「新聞」）	テキスト第 1 章第 1 節を予習
3	社会福祉とは何か②－日本における社会福祉の内容と歴史的経過	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 1 章第 2 節を予習、配布資料の復習
4	社会福祉とは何か③－ソーシャルポリシー、ニーズの種類、社会福祉の資源	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 1 章第 3、4 節を予習、配布資料の復習
5	社会福祉とは何か④－現金給付と現物給付、普遍主義と選別主義	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 1 章第 4、5 節を予習、配布資料の復習
6	社会福祉の動向①－少子高齢社会、人口減少社会、これからの人口推計	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 2 章第 1 節を予習、配布資料の復習
7	社会福祉の動向②－在宅福祉、地域福祉、社会福祉 8 法改正、社会福祉基礎構造改革	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 2 章第 2、3、4、5 節を予習、配布資料の復習
8	社会福祉の法と行財政①－社会福祉の法制度、社会保障、社会福祉法人	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 3 章第 1 節を予習、配布資料の復習
9	社会福祉の法と行財政②－社会保障給付費、国民負担率、税と社会保障	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 3 章第 2 節を予習、配布資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	社会福祉の供給体制①－供給体制の変遷、政府部門、民間部門	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 4 章第 1、2、3 節を予習、配布資料の復習
11	社会福祉の供給体制②－地域を基盤とした公民協働による支援体制	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 4 章第 3、4 節を予習、配布資料の復習
12	社会福祉と労働①－社会福祉専門職と労働法制	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 5 章第 1、2、3 節を予習、配布資料の復習
13	社会福祉と労働②－労働法制と就労支援	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	配布資料の復習 期末課題準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめと期末課題の講評	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト序章を今一度復習

テキスト	栃本一三郎編『新しい視点で学ぶ社会福祉－保育士を志す人のために』（光生館）
参 考 書	椋野美智子・田中耕太郎編『はじめての社会保障　福祉を学ぶ人へ　第 18 版』（有斐閣アルマ）

科目名	JRN202:　マスメディア論 A					担当教員	吉武　希
開講期	春 / 秋	開講時限	月 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①
キーワード	コミュニケーション論、メディアの歴史と理論、メディアの現在						
授業の概要	現在まで、メディアがどのように発展してきたか、社会的にどのような役割を担ってきたかといったマスメディアに関する歴史とコミュニケーション研究の基礎的な概説を行う。その上で、現代社会における新聞・出版・放送・通信といったメディア別の特徴やその役割、影響について検証する。						
達成目標（授業の目的）	メディアの歴史や基礎的な理論、現代社会におけるメディアの役割や影響について理解する。その上で、メディアが関係する現代社会の諸問題について、分析を行い、批判的に考えることができるようになる。						
到達目標（学修成果）	本科目を通じて、メディアの歴史や理論を理解することで、客観的視点から現代社会における諸問題の批判的思考と考察能力を身につける。						
評価方法	①Reaction Paper（20%） ②授業への積極的参加（20%） ③期末レポート（30%） ④授業内試験 2 回（30%）						
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極的に参加し、指定テーマについてのディスカッションでは、学術的な発表ができているか。③講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、データに基づいて論理的に述べられているか。④授業内容について内容を理解し、設問に適切に回答ができているか。						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション マスメディア論の概論	講義、Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習
2	マス・コミュニケーション・メディアの進化	講義	第 2 回授業内容の復習
3	メディアの日本史①：近代	講義、Reaction Paper	第 3 回授業内容の復習
4	メディアの日本史②：戦後	講義	第 4 回授業内容の復習
5	メディアの日本史③：まとめ（映像学習）	ディスカッション、Reaction Paper	第 5 回授業内容の復習
6	第 1 回　授業内試験　解答・解説 メディア理論への導入	授業内試験 講義	第 1～5 回授業内容の総復習
7	メディア理論①：メディア効果論	講義	授業内試験の振り返り 第 7 回授業内容の復習
8	メディア理論②：メディアと政治	講義、Reaction Paper	第 8 回授業内容の復習
9	メディア理論③：カルチュアルスタディーズ	講義	第 9 回授業内容の復習 グループワークの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	グループワーク：テーマ（メディア理論）	グループワーク、 Reaction Paper	グループワーク振り返り
11	第 2 回　授業内試験　解答・解説 メディアの現在への導入	授業内試験 講義	第 7～9 回授業内容の総復習 期末レポート準備
12	メディアの現在①：新聞・出版	講義	第 12 回授業内容の復習
13	メディアの現在②：放送（テレビ・ラジオ）と通信（インターネット）・SNS	講義、Reaction Paper	第 13 回授業内容の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	「メディアの現在」まとめ、期末レポート提出、総括	講義	振り返りアンケート調査 まとめ学習

テキスト	特定のテキストを指定しない。講義内容によっては参考書や講義中に紹介する追加の参考書を基に作成したレジュメを配布する。
参 考 書	春原昭彦・武市武雄［編］『ゼミナール 日本のマス・メディア第 3 版』（日本評論社） 水越伸『21 世紀メディア論』（放送大学教育振興課）

科目名	JRN203:　マスメディア論 B					担当教員	吉武　希
開講期	春 / 秋	開講時限	月 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①
キーワード	コミュニケーション論、マスコミュニケーション論、ジャーナリズム						
授業の概要	マスメディア論、マスコミュニケーション論の基礎的な概論を基にメディアやインターネットの普及がもたらした社会問題等を概説する。その上で、現代社会における諸課題についてメディアが社会に対して果たす、また果たすべき責任と役割について考察する。						
達成目標（授業の目的）	メディアの発展と社会のコミュニケーションの関係性を理解し、現代におけるマスメディアやグローバルメディア、特にコンテンツプロバイダと呼ばれる事業者の社会責任について、意識し批判的に考えることができるようになる。						
到達目標（学修成果）	本科目を通じて、我々が社会で行っているコミュニケーションとメディアの関係を理解することで、メディアやインターネット上に流れている情報について、正確な情報を読み取る能力や、批判的思考を身に付ける。						
評価方法	①Reaction Paper（40%） ②授業への積極的参加（30%） ③期末レポート（30%）						
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極的に参加し、また指定テーマについて学術的なプレゼンテーションができているか。③講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、根拠のあるデータに基づいて論理的に述べられているか。						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション マスメディア概論	講義、Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習
2	表現の自由とジャーナリズム	講義、Reaction Paper	第 2 回授業内容の復習
3	世論とメディア	講義	第 3 回授業内容の復習
4	社会的コミュニケーションとメディア①：概論	講義、Reaction Paper	第 4 回授業内容の復習
5	社会的コミュニケーションとメディア②：ディスカッション	ディスカッション、Reaction Paper	第 5 回授業内容の復習
6	パーソナルコミュニケーションとメディア	講義	第 6 回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備
7	グローバリゼーションとメディア	講義、Reaction Paper	第 7 回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備
8	ソーシャルメディアのコミュニケーションとメディア・リテラシー	講義	第 1～8 回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備
9	発表テーマ：メディアと政治 ・経済	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	発表テーマ：メディアと戦争	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備
11	発表テーマ：メディアと現代社会	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備 期末レポート準備
12	発表テーマ：メディアと教育	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備
13	発表テーマ：メディアとフェイクニュース	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	発表テーマの振り返り、期末レポート提出、総括	講義	振り返りアンケート調査 まとめ学習

テキスト	特定のテキストを指定しない。講義内容によっては参考書や講義中に紹介する追加の参考書を基に作成したレジュメを配布する。
参 考 書	春原昭彦・武市武雄［編］『ゼミナール 日本のマス・メディア第 3 版』（日本評論社） 浜田純一、田島泰彦、桂敬一編『新訂新聞学』（日本評論社）

科目名	COM101:　基礎コンピューター演習					担当教員	森本　貴之
開講期	春	開講時限	金 2 限 金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-②

キーワード	コンピュータ，情報リテラシー，情報処理，Word，Excel，PowerPoint
授業の概要	コンピュータを利用して、情報を収集・処理し、文書にまとめ、プレゼンテーションを行うための基礎的な技法について実習を通じて学ぶ。また、ネット上におけるマナーやセキュリティをはじめとする、知っておくべき情報リテラシーについて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	この授業は、大学生そして社会人として要求される情報リテラシーおよびコンピュータを利用した情報処理の基本を身につけることを目的とする。
到達目標（学修成果）	・ ネット上におけるセキュリティの意識付けやマナーを身につけ、実践できるようになる。 ・ 情報分野における基本的かつ汎用的なリテラシーを習得する。 ・ 文書作成、データ処理、プレゼンテーションのためのソフトウェアの基本操作を習得し、実践できるようになる。
評価方法	①　授業ごとの演習課題（合計 8 回）：48% ②　Word を用いたレポートの作成（総合課題）： 15% ③　Excel を使用したデータ処理（総合課題）：15% ④　PowerPoint を使用したプレゼンテーションの実演と相互評価（総合課題）：22%
評価基準	①　授業ごとの演習課題：その日の授業内容がどれだけ理解できたか。 ②　レポート作成：必要な情報を収集し、適切な書式や表現でまとめられるかどうか。 ③　データ処理：様々なデータに対して意図した処理が実現できるかどうか。 ④　プレゼンテーションの実演と相互評価：集めた情報を基に発表ための資料を作成し、他者にどれだけ伝えることができるかどうか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	PC（Windows）の基本操作	解説、PC 実習	実習で使用するログイン ID, パスワードの準備
2	Word による文書作成（1） Word の基本操作、基本的な文書の作成	解説、PC 実習	第 2 回授業の演習課題
3	Word による文書作成（2） 文書の編集、書式設定等	解説、PC 実習	第 3 回授業の演習課題
4	Word による文書作成（3） 表の作成・編集、図の挿入等、総合演習	解説、PC 実習	単元末の総合課題
5	Excel による表計算（1） Excel の基本操作、表の作成・編集	解説、PC 実習	第 5 回授業の演習課題
6	Excel による表計算（2） 関数の利用等	解説、PC 実習	第 6 回授業の演習課題
7	Excel による表計算（3） グラフの作成	解説、PC 実習	第 7 回授業の演習課題
8	Excel による表計算（4） データ処理と統計処理	解説、PC 実習	第 8 回授業の演習課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Excel による表計算（5） 条件付き書式等、総合演習	解説、PC 実習	単元末の総合課題
10	PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成（1）基本操作	解説、PC 実習	第 10 回授業の演習課題
11	PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成（2）アニメーション設定等	解説、PC 実習	第 11 回授業の演習課題
12	PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成（3）　テーマ、背景等	解説、PC 実習	単元末の総合課題（資料作成、発表練習）
13	PowerPoint によるプレゼンテーションの実演（1）	発表、相互評価	プレゼンテーション実演のための練習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	PowerPoint によるプレゼンテーションの実演（2）	発表、相互評価	プレゼンテーション実演のための練習

テキスト	なし。担当教員が作成した資料（電子ファイル）を Moodle で配付する。

科目名	COM101:　基礎コンピューター演習					担当教員	津垣　正男
開講期	秋	開講時限	火 4 限 金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-②

キーワード	情報処理，情報リテラシー，Office，Word，Excel，PowerPoint，Html
授業の概要	大学生として必要最低限のコンピュータスキルを身に付けるための演習であり，実際にパソコンを動かしながら PC の基本的な操作と情報リテラシーを学ぶ．具体的にはパソコンの基本（主にタイピング），Word，Excel，PowerPoint の基本的な操作，Html の学習を通じてインターネットの仕組みを学ぶ．
達成目標（授業の目的）	① タッチタイピングを身につける． ② Word，Excel，PowerPoint の基本的な操作を身につける． ③ Web ページ作成の基礎を身につける．
到達目標（学修成果）	① 短時間に正確な入力作業を行うことができる． ② Word，Excel，PowerPoint の基本的な機能を用いた資料（レポート，資料の整理，発表資料）の作成を行うことができる． ③ シンプルな Web ページを作成することができる．
評価方法	① タイピング課題（10%）：P 検の無料タイピング練習のインターネット版（ソーシャル投稿非対応）の英語入力を用いた測定を行う．評価における点数は設けず，ある基準を超えることを必須とする．測定は何度も行う． web サイト：http://www.pken.com/tool/typing.html ② 演習課題（50%）：毎回の授業においてその回の理解度をはかるための演習課題を課す．また，PowerPoint を用いたプレゼンテーションも行ってもらう． ③ レポート課題（40%）：授業を Word，Excel，PowerPoint，Html の単元に分け，各単元の最後にレポートを課す．
評価基準	① タイピング課題：3 分間で正打率 95%以上，文字数 390 以上を基準とする． ② 演習課題：指示通りに提出ファイルが作成されているかどうかをみる．PowerPoint の実演においては，発表準備が十分にできているかどうかをみる． ③ レポート課題：指示通りに作成されているかどうかをみる．
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は，平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	PC（Windows）の基本操作	PC 実習，解説	アカウントの準備
2	キーボード操作とタイピング： タイピング演習（1）	PC 実習，解説	前回内容の復習
3	Word による文章作成： 基本的な操作方法を学ぶ	PC 実習，解説	前回内容の復習
4	Word による文章作成： 総合演習，タイピング演習（2）	PC 実習，解説	前回内容の復習
5	Excel による表計算： 関数の扱い，相対参照，絶対参照 など	PC 実習，解説	Word のレポート提出
6	Excel による表計算： グラフの作成・複数のシートの操作など	PC 実習，解説	前回内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Excel による表計算： データベースの操作など	PC 実習，解説	前回内容の復習
8	Excel による表計算： ピボットテーブルの操作など，タイピング演習（3）	PC 実習，解説	前回内容の復習
9	PowerPoint による資料の作成： 基本的な操作など	PC 実習，解説	Excel のレポート提出
10	PowerPoint による資料の作成： 総合演習，タイピング演習（4）	PC 実習，解説	前回内容の復習
11	PowerPoint による資料の作成： プレゼンテーションの実演	PC 実習，解説	発表の準備 PowerPoint のレポート提出
12	HTML による Web ページの作成： HTML 文章の基本構造を学ぶ	PC 実習，解説	前回内容の復習
13	HTML による Web ページの作成： 画像の挿入，リンクの張り方など	PC 実習，解説	前回内容の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	HTML による Web ページの作成： 総合演習，タイピング演習（5）	PC 実習，解説	前回内容の復習 Html のレポート提出

テキスト	『学生に役立つ Word & Excel & PowerPoint』（FOM 出版）

科目名	MTH201:　数学 A					担当教員	津垣　正男
開講期	秋	開講時限	火 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	数学，適性検査，SPI，非言語能力，数的処理
授業の概要	① 適性検査・SPI において出題される非言語能力（数学）の演習と課題の解説を行う． ② 英語で書かれた数学の問題（中学の内容）の演習と課題の解説を行う．
達成目標（授業の目的）	① 適性検査・SPI において必要とされる数学の知識が何であるかを知る． ② 英語の数学用語に慣れる．
到達目標（学修成果）	① 適性検査・SPI の数学の問題を短時間で解くことができるようになる． ② 中学の範囲までの英語で書かれた数学の問題を解くことができるようになる．
評価方法	① 毎回の授業での課題：60% ② 適性検査・SPI 対策レポート（2 回）：40%
評価基準	① 毎回の課題の評価は「考え方が理解できているかどうか」を重視するので、途中計算と説明の記述を求める． ② 実際の適性検査・SPI と同様の問題を用いたレポートを 2 回出す．ただし，考え方の確認も行うので，途中計算と説明の記述の確認も行う．詳細は初回授業で説明する．
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	推論	演習，質疑応答	ノートの準備
2	図形の読み取り，集合	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
3	英語での問題演習： 基本用語の紹介，多項式，ルートの計算	演習，質疑応答	配布プリントの予習
4	順列，組み合わせ	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
5	確率	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
6	英語での問題演習： 2 次方程式，関数	演習，質疑応答	配布プリントの予習
7	第 1 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験の解説	試験，試験の解説	ここまでの内容の復習
8	料金の割引，損益算，分割払い，仕事算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
9	英語での問題演習： 図形に関する問題演習① （相似，合同 等）	演習，質疑応答	配布プリントの予習
10	速さ，距離，時間	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	割合，比，代金の清算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
12	英語での問題演習： 図形に関する問題演習② （円，ピタゴラスの定理 等）	演習，質疑応答	配布プリントの予習
13	整数の推測，グラフの領域，物の流れと比率，装置と回路	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	第 2 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験の解説	試験，試験の解説	ここまでの内容の復習

テキスト	*THE SHIN-CHU-MON mathematics for 9-th grade*（教育開発出版社）.
参 考 書	SPI ノートの会（著）津田秀樹（著）『これが本当の SPI3 だ！』（洋泉社）

科目名	MTH202:　数学 B					担当教員	津垣　正男
開講期	秋	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	数学，統計学，微積分学
授業の概要	①　統計学とは，大きなデータから一部を抜き取り，その抜き取ったデータの性質を調べることで元の大きなデータの性質を推測する方法を体系化したものである．本授業では大学における統計学の入門コースで学ぶ内容（授業計画参照）を扱う． ②　高校の数学 II における微積分学の基礎的な内容を扱う．
達成目標（授業の目的）	①　統計学とは何か，統計学を用いると何ができるようになるのかを知る． ②　微積分学の基礎計算力を養成することを目標とする．
到達目標（学修成果）	①　収集したデータの平均や分散，標準偏差などを計算することでデータの性質を把握することができる．（記述統計） ②　大きなデータから一部を抜き取り，その抜き取ったデータに対し推定・検定の計算をすることで元の大きなデータの性質を把握することができる．（推測統計） ③　基本的な関数（多項式関数，指数関数，対数関数，三角関数）に関する微積分の計算ができる．
評価方法	①　各回のテーマに関する提出課題：60% ②　レポート（2 回）：40%
評価基準	記述統計・推測統計に関するデータの処理，微積分に関する計算について， ①　各回の授業の内容を的確に理解しているかどうか ②　総合的な理解をしているかどうか をそれぞれ各回の提出課題と 2 回のレポートによって判断し評価を行う．
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	統計学：平均と分散微積分学：関数	演習，質疑応答	ノートの準備
2	統計学：信頼区間（母分散が既知の場合）	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
3	微積分学：指数関数，対数関数，三角関数	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
4	統計学：信頼区間（母分散が未知の場合）	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
5	微積分学：多項式関数の微分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
6	ここまでの内容の復習 第 1 回授業内試験	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
7	第 1 回授業内試験の解説	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
8	統計学：カイ 2 乗検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
9	微積分学：基本的な関数の微分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	統計学：母平均の検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
11	統計学：対応のある平均の差の検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
12	微積分学：基本的な関数の積分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
13	ここまでの演習 第 2 回授業内試験	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	第 2 回授業内試験の解説	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習

テキスト	向後千春／冨永敦子 著『統計学がわかる』（技術評論社）

科目名	PSY201:　心理学 A					担当教員	奥村　桃子
開講期	春 / 秋	開講時限	木 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	心理学の歴史、心理学研究法、認知心理学、パーソナリティ心理学、社会心理学、臨床心理学
授業の概要	心理学の主要な領域を概観しながら、心の発達や健康への理解に向けて授業を進めていきます。基本的には講義形式ですが、テーマにより理解がより深められるよう、DVD などの視聴覚教材を使用します。また、授業内で関連のある話題を提供します。
達成目標（授業の目的）	心理学という学問の基本的な考え方や研究方法、学問成立の背景などを理解するとともに、各々の基本的な知識を修得し、心理学的視点に基づいた考え方を展開できるようになることを目標としています。
到達目標（学修成果）	①　心理学を通じて、人のこころや行動の意味について理解を深める。 ②　基礎的な心理学領域の知見から、日常生活における人間理解や社会生活に応用して思考できるようになる。
評価方法	①　毎授業のリアクションペーパー：50% ②　レポート課題 2 回：50%
評価基準	・リアクションペーパー：①授業で学習したポイントを理解し授業内容を踏まえた自らの考えを記述できているかどうか ②質問・疑問を通じて積極的に授業に参加しているかどうか ・レポート：学習内容を理解し、自分の経験等を踏まえた上で、自分なりの考えを比較や考察を加えて記述できているかどうか
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：授業の進め方 心理学概論	講義、質疑応答、リアクションペーパー	Moodle 登録と次回の授業準備
2	心理学の歴史	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と研究方法について事前学修
3	心理学の研究方法	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と認知についての事前学修
4	認知心理学 認知とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習とパーソナリティについての事前学修
5	パーソナリティ心理学 パーソナリティとは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と社会心理学についての事前学修
6	社会心理学（1） 社会心理学とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と対人認知・他社理解ついての事前学修
7	社会心理学（2） 対人認知・他者理解	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～6 回の授業復習と臨床心理学についての事前学修
8	臨床心理学（1） 臨床心理学とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	レポート作成と心理アセスメントについての事前学修
9	臨床心理学（2） 心理アセスメント／心の病気 I	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と心の病気についての事前学修

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	臨床心理学（3） 心の病気Ⅱ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と発達障がいの概要について事前学修
11	臨床心理学（4） 発達障がいとは？Ⅰ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と発達障がいについての事前学修
12	臨床心理学（5） 発達障がいとは？Ⅱ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と発達障がいの具体的イメージをしてみる
13	臨床心理学（6） 発達障がいとは？Ⅲ	視聴覚教材、リアクションペーパー	レポート作成と第 8～12 回の授業復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	全体のまとめ、質疑、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～13 回の講義のまとめと振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連するプリントを配布する。
参 考 書	岩壁茂ら著『臨床心理学入門』（有斐閣アルマ）、道又爾ら著『認知心理学』（有斐閣アルマ）、サトウタツヤら著『心理学入門』（有斐閣アルマ）

科目名	PSY202:　心理学 B					担当教員	奥村　桃子
開講期	春 / 秋	開講時限	木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	生涯発達、認知発達、対人関係、乳幼児期
授業の概要	発達心理学研究に基づいて、人の発達について多角的に理解することを目指し、胎児から老人にわたる各発達段階の特徴や発達のメカニズムについて解説します。基本的には講義形式ですが、本授業での学びを深め、日常生活に役立てることができるように、視聴覚教材も使用します。
達成目標（授業の目的）	発達心理学の基本的な用語や知識を修得し、人の発達のメカニズムについて理解することを目的としています。生命誕生から人間がどのように発達し、年齢を重ねていくのかについて基本的な発達心理学的思考を身につけ、自分自身の発達過程を振り返りながら現在の自己に向き合い、先の発達を展望する機会を提供します。
到達目標（学修成果）	①　人間を発達心理学的な観点から理解する視点を持てるようになる。 ②　現在の心の在り方を一生涯という長い時間軸の中で理解し、自分自身の現在を振り返り展望して考えることができるようになる。
評価方法	①　毎授業のリアクションペーパー：50% ②　レポート課題 2 回 ：50%
評価基準	・リアクションペーパー：①授業内容を踏まえた自らの考えをリアクションペーパーに記述できているか ②質問・疑問を通じて積極的に授業に参加しているかどうか ・レポート：学習したポイントや心理学用語を正確に理解し、自らの経験等と照らし合わせながら適切に記述できているかどうか
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：授業の進め方等 生涯発達心理学とは？	講義、リアクションペーパー	Moodle 登録と遺伝的要素／環境的要素について考える
2	発達の可塑性 遺伝と環境	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習とピアジェ／エリクソンについて事前学修
3	発達モデル ピアジェとエリクソン	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と胎児／新生児についての事前学修
4	認知発達の基盤 1 胎児と新生児	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の復習と胎児・新生児の具体的なイメージをしてみる
5	認知発達の基盤 2 胎児と新生児の実態	視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業復習と乳児についての事前学修
6	認知発達の基盤 3 乳児期	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と幼児についての事前学修
7	認知発達の基盤 4 幼児期	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と乳幼児の実態を具体的に考えてみる
8	認知発達の基盤 5 乳幼児期の実態	視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業復習と学校における認知能力ついての事前学修
9	子どもの自己発達 自己を表現する	講義、質疑応答、リアクションペーパー	レポート作成と乳幼児の遊びについての事前学修

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	他者との関係性のはじまり 1 遊び	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と友達関係についての事前学修
11	他者との関係性のはじまり 2 友人関係の発達	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と親になることについて考えてみる
12	親になるということ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と成人・高齢期の認知能力ついて事前学修
13	認知能力の生涯発達 成人後・高齢期の認知能力	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 9 回～第 13 回の授業復習（レポート作成の準備）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	全体のまとめ、質疑、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～13 回の講義のまとめと振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連するプリントを配布する。
参 考 書	鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ著『生涯発達心理学』（有斐閣アルマ）

科目名	PED100:　体育理論（ウエルネスと身体）				担当教員	髙橋　弥生
開講期	春 / 秋	開講時限	金 2 限 金 3 限		研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次　1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	健康、スポーツ、身体構造、トレーニング
授業の概要	ウエルネスとは、健康を身体の側面だけでなくより広範囲の視点から捉えた健康観である。 この授業では、ウエルネスの観点から豊かな生涯を生きるために健康と身体についての基礎的知識を学び、自らの健康と周囲の方の身体に向き合い行動することを学ぶ。
達成目標（授業の目的）	健康の保持・増進に必要な基礎的知識を獲得し、自らの健康観および生活習慣を顧みて健康観を構築するとともに、身体および運動に関する知識と理解を深めることを目的とする。
到達目標（学修成果）	本講義での到達目標は、以下のとおりである。 ・自らの健康に関連する問題を発見・整理する ・ウエルネスの観点から豊かな社会生活を送るために、本講義で得た知識を日常生活に導入し、さらに周囲の人に伝えられるようになる
評価方法	①　授業への積極的参加：20% ②　リアクションペーパー：20% ③　期末プレゼンテーション：25% ④　確認テスト：35%
評価基準	①　授業への積極的参加 　授業への出席態度、発言、ディスカッションでの積極性 ②　リアクションペーパーの提出 　毎回の授業内容を理解し、自らの考察を踏まえて記述されているか ③　期末プレゼンテーション 　授業で学んだことからさらにオリジナリティのある考察がなされているか 　問題提起、解説、問題の論証があり論証から飛躍せず帰結した結論が述べられているか 　声の大きさやスピードが適切で聞き取りやすい発表であるか ④　確認テスト 　授業内容を理解し知識として身についているか、自らの考えや意見を記述できているか ＊②～④いずれも研究倫理に反する場合は 0 点となる。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、健康とは何か （授業概要の説明）	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	シラバスと配布資料の確認
2	心の健康	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 （自筆ノートのまとめ）
3	健康と運動の関わり① （運動が身体に及ぼす影響）	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 （自筆ノートのまとめ）
4	健康と運動の関わり② （体組成をどうみるか）	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 （自筆ノートのまとめ）
5	骨と筋肉、トレーニング	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 （自筆ノートのまとめ）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	健康と栄養の関わり	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
7	ストレス、休養	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
8	ドーピング、薬物乱用	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
9	体罰、ハラスメント	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
10	ネット依存、熱中症	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
11	自身の健康寿命について	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
12	期末プレゼンテーション	ディスカッション	配布資料の復習 (自筆ノートのまとめ)
13	課題の解説と確認テスト	論述試験	課題の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括と試験の返却および解説	講義・リアクションペーパー	全授業の振り返り

参 考 書	深代千之ほか著『スポーツでのばす健康寿命』(東京大学出版会) 大山卞圭悟『アスリートのための解剖学』(草思社)
その他 特記事項	自らの健康に関心を持ち、日々の健康管理に努める中で周囲の方の健康にも目を向け、多くの方が心身ともに健康に過ごせるような働きを心掛けながら授業に臨んでほしい。

科目名	PED113:　体育 A					担当教員	若松　健太
開講期	春 / 秋	開講時限	火 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	スポーツ、体育、健康
授業の概要	本授業は、ラケット操作を伴うネット型スポーツを中心とした実技授業である。 健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び目的に応じた方法を理解することで、生涯にわたってスポーツや運動を親しむための資質や能力を育む。また、「体育理論（ウェルネスと身体）」の講義内容と併せることで、自らの健康の維持および増進、生活習慣病に関する理解を深める。
達成目標（授業の目的）	スポーツをする上で重要となる種目の専門性に応じた競技特性を学び、スポーツおよび運動を通じて豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を高める。また協同学習を通じてコミュニケーションスキルやリーダー&フォローワーシップの重要性を考え、創意工夫するとともに、運動技能の習熟に合わせてより優れた状態を目指すことを目的とする。
到達目標（学修成果）	・体調を管理して万全な状態で授業に臨み、周囲の環境に応じて行動をとることができる。 ・授業に対して目標や目的を明確にして学びを深めることができる。 ・健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解することができる。 ・運動技能の習熟とともに、より優れた状態を目指して努力することができる。 ・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返ることができる。
評価方法	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性　30% ・協調性　20% ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫　30% ③期末レポート　20%
評価基準	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 運動に適した服装で受講し、ウォーミングアップ・クーリングダウンを行い健康管理に努めることができる。また準備・後片付けなど円滑な授業運営に対し積極的に行動することができる。 ・協調性 仲間とのコミュニケーションやリーダー&フォローワーシップの重要性を考え、行動することができる。 ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫 運動技能習熟とともにより優れた状態を目指して努力することができる。また運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解し創意工夫することができる。 ③期末レポート ・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返り、自身の健康状態を客観的に捉え、考察することができる。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス (授業概要、注意事項、評価基準の説明)	ペアワーク グループワーク	シラバスを熟読、資料にて授業内容を復習する。
2	バドミントン① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
3	バドミントン② (応用ルール、応用動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
4	バドミントン③ (シングルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
5	バドミントン④ (ダブルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
6	卓球① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
7	卓球② (応用ルール、応用動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
8	卓球③ (シングルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
9	卓球④ (ダブルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
10	テニス① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
11	テニス② (応用ルール、応用動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
12	テニス③ (シングルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
13	テニス④ (ダブルスゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ラケット競技の総復習	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、期末レポートを作成する。

テキスト	資料を適宜配布する。
参 考 書	東根明人『コーディネーション運動　ボール運動編』(明治図書) 池田延行『すぐ使える体ほぐしの運動 136 選』(明治図書)
履修条件、前提科目	履修条件：体を動かすことに興味があり、授業ルールを守ることができること
その他特記事項	スポーツウェア、スポーツシューズを必ず着用すること。 天候などにより一部変更になる場合がある。

科目名	PED114:　体育 B					担当教員	若松　健太
開講期	春 / 秋	開講時限	火 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	スポーツ、体育、健康
授業の概要	本授業は、大小様々なボール操作を伴うネット型およびゴール型スポーツを中心とした実技授業である。健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び目的に応じた方法を理解することで、生涯にわたってスポーツや運動を親しむための資質や能力を育む。また、「体育理論（ウェルネスと身体）」の講義内容と併せることで、自らの健康の維持および増進、生活習慣病に関する理解を深める。
達成目標（授業の目的）	スポーツをする上で重要となる種目の専門性に応じた競技特性を学び、スポーツおよび運動を通じて豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を高める。また協同学習を通じてコミュニケーションスキルやリーダー&フォローワーシップの重要性を考え、創意工夫するとともに、運動技能の習熟に合わせてより優れた状態を目指すことを目的とする。
到達目標（学修成果）	・体調を管理して万全な状態で授業に臨み、周囲の環境に応じて行動をとることができる。 ・授業に対して目標や目的を明確にして学びを深めることができる。 ・健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解することができる。 ・運動技能の習熟とともに、より優れた状態を目指して努力することができる。 ・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返ることができる。
評価方法	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性　30% ・協調性　20% ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫　30% ③期末レポート　20%
評価基準	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 運動に適した服装で受講し、ウォーミングアップ・クーリングダウンを行い健康管理に努めることができる。また準備・後片付けなど円滑な授業運営に対し積極的に行動することができる。 ・協調性 仲間とのコミュニケーションやリーダー&フォローワーシップの重要性を考え、行動することができる。 ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫 運動技能習熟とともにより優れた状態を目指して努力することができる。また運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解し創意工夫することができる。 ③期末レポート ・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返り、自身の健康状態を客観的に捉え、考察することができる。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス (授業概要、注意事項、評価基準の説明)	ペアワーク グループワーク	シラバスを熟読、資料にて授業内容を復習する。
2	ソフトバレーボール① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
3	ソフトバレーボール② (応用ルール、応用動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
4	バレーボール① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
5	バレーボール② (応用ルール、応用動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
6	バレーボール③ (ゲーム中心)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
7	バスケットボール① (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
8	バスケットボール② (応用ルール、応用動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
9	バスケットボール③ (ゲーム中心)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
10	バスケットボール④ (ゲーム中心)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
11	ボッチャ① (基本的なルール、基本動作、ゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
12	ベースボール 5 (基本的なルール、基本動作、ミニゲーム)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
13	ベースボール 5 (ゲーム中心)	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ボール競技の総復習	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、期末レポートを作成する。

テキスト	資料を適宜配布する。
参 考 書	東根明人『コーディネーション運動　ボール運動編』(明治図書) 池田延行『すぐ使える体ほぐしの運動 136 選』(明治図書)
履修条件、前提科目	履修条件：体を動かすことに興味があり、授業ルールを守ることができること。
その他特記事項	スポーツウェア、スポーツシューズを必ず着用すること。 天候などにより一部変更になる場合がある。

科目名	REL210:　キリスト教文化入門					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4204
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 4	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	1-①, 4-②

キーワード	聖書、イエス・キリスト、神の愛、典礼音楽、シンボル、海外宣教、聖人、宗教間対話
授業の概要	複数講師による輪講形式でキリスト教文化の諸相を概観する。イエスは何を語り、何を行ったのか、そのイエスがキリストであると信じる人々の信仰理解と表現がどのような思想、行動様式、生活習慣を生み出し、社会や歴史に影響を及ぼしてきたのかについて学ぶ。現在も世界の人々に様々なインスピレーションを与えているキリスト教文化を多面的に考察する。
達成目標（授業の目的）	キリスト教とはどのようなことを目指している宗教であるのかを正しく理解するとともに、そのキリスト教が世界の歴史的出来事や社会、文化、芸術から受けた影響と与えた影響について幅広い関心を持って理解し、自ら考察を進め、その結果を現代文化と関連づけて論じることができるようになる。
到達目標（学修成果）	テキスト及び授業を通して、非キリスト教徒であっても教養として理解しておくことが望まれるキリスト教入門レベルの正しく適切な知識を得ることができる。また、理解したキリスト教信仰とその文化的表現の内容に関する自分自身の見解について、論理的に記述し発言できる。さらに、キリスト教文化に関する項目の中から自らの選んだテーマについて研究成果を論述し、わかりやすく口頭発表できる。
評価方法	①リアクションペーパー（2%×18回＝36%） ②復習課題（4%×6回=24%） ③期末レポート（25%）と研究発表（15%）
評価基準	①リアクションペーパー：授業を正しく理解し学んだことの要点をまとめ、自分の関心や問題意識を反映させた見解を論理的に記述できているか。 ②復習課題：準備学修として読むテキストと授業で扱った内容を正しく理解しているか。 ③期末レポート：授業で扱った分野に関するテーマについて、最低一冊の参考文献を読み、自分なりの問いを提起し、文献を通して学んだ内容を典拠の形で提示しながら、自分の考えを分かりやすく論じられるかどうか。また、その期末レポートの成果を、指定された時間内に分かりやすくまとめて口頭発表できるかどうか。
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス：講義概要と課題の説明 ユダヤ教とキリスト教	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキストはじめに－p.18を読む
2	ナザレのイエス（1） イエスの生涯と福音書	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.18-38を復習する
3	ナザレのイエス（2） 律法学者との対立、イエスの死	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.38-58を読む
4	キリスト教と音楽（1） 神の民の賛美と教会音楽	講義・質疑応答、復習課題①	テキスト pp.60-71を読む
5	キリスト教の歴史（1） キリスト教の成立とローマ帝国下での迫害	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.18-71を復習する
6	キリスト教と音楽（2） 典礼音楽と楽譜のかかわり	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.71-92を読む
7	キリスト教の典礼 ミサ聖祭、教会の暦	講義・質疑応答、復習課題②	テキスト pp.93-108を読む
8	キリスト教のシンボル、美術	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.108-125を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	キリスト教の歴史（2） キリスト教の国教化と教会の分裂	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.71-125 を復習する
10	キリスト教と哲学（1） 知解を求める信仰とその系譜	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.128-154 を読む
11	修道院の文化的貢献	講義・質疑応答、復習課題③	テキスト pp.108-111, 137-154 を読む
12	ローマ・カトリック教会	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.128-154 を復習する
13	キリスト教のヒューマニズム（1） イエズス会の宣教と教育の特徴	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.178-198 を読む
14	キリスト教のヒューマニズム（2） 東西の文化交流	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.221-236 を読む
15	キリスト教のヒューマニズム（3） 中国思想に対するキリスト教の影響	講義・質疑応答、復習課題④	テキスト pp.199-220 を読む
16	聖マリアについての伝承と祭り	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.178-236 を復習する
17	キリスト教の倫理（1） いのちの倫理	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.156-176 を読む
18	エキュメニズム運動の歴史と現在	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.156-176 を復習する
19	キリスト教の倫理（2） 平和への歩み	講義・質疑応答、復習課題⑤	テキスト pp.221-226 を読む
20	キリスト教の仏教（1） 「十牛図」に見る己事究明	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末レポートの準備
21	キリスト教と仏教（2）宗教とは何か 「問われた者」として生きる	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末レポートの準備
22	キリスト教と哲学（2）真理への愛、エディット・シュタインの思想と生涯	講義・質疑応答、復習課題⑥	期末レポートの準備
23	時代の必要に応えた人びと（1） アシジの聖フランチェスコ	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末レポートの準備
24	時代の必要に応えた人びと（2） コルカタの聖テレサ（マザー・テレサ）	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末レポートの提出
25	研究発表（1）	発表と講評	研究発表の準備
26	研究発表（2）	発表と講評	研究発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	研究発表（3）	発表と講評	研究発表の準備
28	キリスト教と現代	講義、レポート返却、発表の講評	テキスト pp.221-226 を復習する

テキスト	山我哲雄『キリスト教入門』（岩波ジュニア新書）
参 考 書	宮越俊光『早わかりキリスト教』（日本実業出版社） 今橋朗・徳善義和著『よくわかるキリスト教の教派』（キリスト新聞社）
その他 特記事項	講師の都合により授業内容及び順序に変更が生じる可能性がある。

科目名	IDS210:　異文化間コミュニケーション					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4205
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-②

キーワード	intercultural communication, linguistics, social psychology, anthropology, critical thinking
授業の概要	This course provides an introduction to intercultural communication as an area of study. Readings and lectures will cover basic definitions, concepts, and issues related to intercultural communication. As regular homework, students will keep a record of their own intercultural communication experiences. We will also carry out one lengthy intercultural simulation in class. Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.
達成目標（授業の目的）	Students will learn to understand “intercultural communication” (ICC) using concepts coming from linguistics, social psychology, and anthropology; to describe and analyze their own experiences of ICC; and to think critically about ICC in relation to problems in modern societies.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students will be able to understand key concepts related to ICC drawn from linguistics, social psychology, and anthropology and how they apply to specific examples; factually describe their own recent experiences of ICC and relate those experiences to concepts discussed in class; and explain, in writing, ways in which specific situations of ICC found in the world today are related to broader social and historical contexts and issues.
評価方法	Participation 20%, Homework 40%, Tests 40%.
評価基準	・Participation: active participation in everyday class activities, including lectures and discussions; responses in in-class writing activities that demonstrate engagement with class content. ・Homework: submitted on time and according to instructions, thoroughly completed, provides factual description where required, demonstrates appropriate application of concepts covered in class. Homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date. ・Tests: demonstrate ability to understand key concepts related to ICC and how they apply to specific examples, demonstrate ability to explain ways that specific situations of intercultural communication are related to broader social and historical contexts and issues.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview	lecture	Read course syllabus thoroughly, review class notes
2	Defining intercultural communication	lecture, pair work	Read p. 34, review syllabus & class notes
3	“Culture” in intercultural communication	lecture, pair work	Read pp. 9-10, 12-13; skim pp. 13-27; review class notes
4	Features of human communication: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
5	Features of human communication: meaning and context	lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
6	Communication and language: language and thought	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; read pp. 77-79, 83
7	Communication and language: aspects of meaning	lecture, pair work	Read pp. 77-79, 83; review class notes

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Non-verbal communication: silence	lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
9	Non-verbal communication: functions	lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
10	Edward T. Hall: the first interculturalist	lecture, pair work	Read pp. 49-50, 56, 96, 133; Write “ICC Experience” HW
11	Stereotypes: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
12	Stereotypes: aspects and effects	lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
13	Values: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 16-19, 42-49; review class notes
14	Values: kinds of values	lecture, pair work	Write “ICC Experience” HW & “values” HW
15	Culture shock: definition, symptoms, varieties	lecture, pair work	Read pp. 158-165; review class notes
16	Communication “events”: basic concepts; preparation for Test #1	lecture, pair work	Write “culture shock” homework; review class notes
17	Review; Test #1	lecture, written exam	Study for test
18	Communication “events”: dimensions of norms	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; review class notes
19	Intercultural training: principles and methods	pair work, lecture	Read Ch. 16, especially pp. 186-187; review class notes
20	Intercultural simulation: do in class	small-group discussion	Read handouts about simulation
21	Intercultural simulation: follow-up discussion	small-group discussion, lecture	Review class notes
22	Social and historical contexts of intercultural communication: Quebec	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; review class notes
23	Social and historical contexts of intercultural communication: U.S. South	lecture, pair work	Review class notes
24	Return Test #1 and go over results; preparation for Test #2	lecture, pair work	Review textbook pages covered, handouts, class notes
25	Social and historical contexts of intercultural communication: American Indians	lecture, pair work	Review class notes
26	Practical implications for the study of ICC; paths toward better understanding of others	lecture, small-group discussion	Write “ICC Experience” homework; review class notes
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Review; Test #2	lecture, written exam	Study for test
28	Return Test #2 and go over results; semester recap, including course evaluation	lecture, small-group discussion	Write “ICC Experience” homework

テキスト	Hidasi Judit. *Intercultural Communication: An Outline*（三元社）.
参 考 書	石井 敏、久米 昭元、長谷川 典子、桜木 俊行 & 石黒 武人『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』（有斐閣）
その他 特記事項	Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.

科目名	LIT201:　英文学概論					担当教員	飯田　純也
開講期	春 / 秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	物語、聖書、思想史、エンディング、パラブル、歴史、社会、政治経済、貧困、暴力、女性
授業の概要	文学の裾野を広げ、広義の物語を通して人間と社会の関係性を研究する。物語の意義は問題提起にある。提起される問題は複数の学問領域に横断的に関わる。授業では、英語圏を代表する小説を取り上げ、現代とのかかわりで、物語が描く人間と社会を批判的に分析する。小論文と期末レポートを書くためには、準備学習と授業を通してまとめられたノートが重要になる。
達成目標（授業の目的）	物語論の視点から、文学研究の意義と方法を学び、文学研究を通じて英語文化圏の歴史や社会を理解し、同時に文化を批判的に見る視座を獲得することを目標とする。さらに、毎回の講義内容を基に、自らの意見を事前配布資料と照らし合わせながら、小論文にまとめる能力を身につける。
到達目標（学修成果）	1. 英語文化圏を代表する文学作品を物語として分析、批判、評価することができる 2. 作品が描く歴史的・社会的問題や課題を理解することができる 3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって文学作品を見る習慣ができる 5. 議論をまとめる能力を身につけることができる
評価方法	①小論文（8 回提出で計 40%）では作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか。②定期試験（30%）では何が問題か理解できているか、問題を分析的･批判的に、根拠を示し自分のことばで論述できるか。③シャトルカード（計 30%）では問題意識をもって文学作品を見る習慣ができているか。
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介　ジャンルではなく物語 研究倫理の説明	講義、質疑応答、ペアワーク	課題 DVD の入手先を検討、入手困難のとき応相談
2	物語論：エンディングは問題提起（1） *Citizen Kane* (1941 movie)	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
3	物語論：エンディングは問題提起（2） *Black Orpheus* (1959 movie)	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
4	物語論：エンディングは問題提起（3） *A Man and a Woman* (1966 movie)	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 1 の準備（提出は次回授業時）
5	聖書と文学 パラブルとは何か	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート
6	聖書のパラブル アブサロム（サミュエル記下）	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート
7	聖書のエンディング 預言書	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート
8	暴力を繰り返す社会のパラブル *Romeo and Juliet, Tristan and Isolde*	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 2 の準備（提出は次回授業時）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	作品研究 *A Passage to India*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
10	作品研究 *A Passage to India*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	小論文 No. 3 の準備（提出は次回授業時）
11	作品研究 *Vanity Fair*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
12	作品研究 *Vanity Fair*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	小論文 No. 4 の準備（提出は次回授業時）
13	作品研究 *Tess of the d'Urbervilles*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
14	作品研究 *Tess of the d'Urbervilles*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	小論文 No. 5 の準備（提出は次回授業時）
15	作家研究 Charles Dickens: *David Copperfield*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
16	作家研究 Charles Dickens: *Nicholas Nickleby*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
17	作家研究 Charles Dickens: *Oliver Twist*	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 6 の準備（提出は次回授業時）
18	作家研究 Jane Austen: *Sense and Sensibility*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
19	作家研究 Jane Austen: *Pride and Prejudice*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
20	作家研究 Jane Austen: *Mansfield Park*	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 7 の準備（提出は次回授業時）
21	英国社会研究（1） 奴隷貿易と *Jane Eyre*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
22	英国社会研究（2） 奴隷制度廃止運動と *Wuthering Heights*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
23	米国社会研究（1） ピューリタン社会と *The Scarlet Letter*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
24	米国社会研究（2） 資本主義社会と *The Great Gatsby*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
25	英米社会研究 プロテスタンティズムの世界観	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 8 の準備
26	英米社会研究 総論	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 8 の準備（提出は次回授業時）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	文学研究の応用「学際（interdisciplinary）とは」「予型論（typology）の罪」	講義、質疑応答、シャトルカード返却	課題資料下調べ、要点をノート
28	定期試験の返却と講評	講義、ペアワーク、ディスカッション	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは特に使用しない。授業で扱う作品の英文資料（課題資料）を事前に配布する。
参 考 書	Herman, David, ed. *The Cambridge Companion to Narrative* (Cambridge University Press, 2007).
その他 特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、特に英米を中心とする歴史を復習することが求められる。

科目名	LNG200:　言語学概論					担当教員	近藤　佐智子
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	4208
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	言語とは、英語史、音素、語形成、生成文法、文／発話の意味、言語のバリエーション
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストと担当者の準備した資料（様々な練習問題を含む）をもとに講義およびディスカッション形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関する復習を質疑応答の形で行う。
達成目標（授業の目的）	本講の目標は学生が英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および英語史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論の理解を深めることである。
到達目標（学修成果）	学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（母語と英語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気付きを得ることができる。
評価方法	理解度テスト（25%）定期試験（45%）ブックレポート（20%）授業参加度（10%）
評価基準	・理解度テスト（25%）：学期の 3 分の 1 の内容についての理解と定着度を確認する。 ・定期試験（45%）：理解度テスト以降の内容についての理解と定着度を確認する。 ・ブックレポート（20%）：ブックリストにある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約（記述内容を理解した上で、要点がまとめられているかどうか）と自分の見解（本から学んだことを踏まえ、どのよう新たな発見があったか、どのような疑問が浮かんできたか、どのような課題が見つかったかなどについて論述できているかどうか）を含めたブックレポートを 作成する。 ・授業参加度（10%）：授業内（復習時、グループディスカッション）での発言回数と内容、ブックレポートの口頭発表で分かりやすく伝えることができたか
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & the study of language 本講を概観する＆言語を研究するとは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義・特性	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
4	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
5	History of English 英語の歴史：古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習
6	History of English 英語の歴史：中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	History of English 英語の歴史：近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習
8	Phonetics 音声学：言語音	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
9	Phonology 音韻論：音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
10	Phonology 音韻論：超分節音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
11	Morphology 形態論：形態素とは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 10）、レジュメの予習・復習
12	Morphology 形態論：語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 10）、レジュメの予習・復習
13	In-Class Test 理解度テスト（40 分）、ブックレポートの書き方、復習（60 分）	テスト実施 講義、質疑応答	テキスト（ch. 1-10）、レジュメの予習・復習、テスト準備
14	Syntax 1 統語論 1 伝統文法、アメリカ構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
15	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：言語観・アプローチ、テストの返却と講評	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
16	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：句構造規則と変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
17	Semantics 意味論：語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 13-16）、レジュメの予習・復習
18	Semantics 意味論：句・文の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 13-16）、レジュメの予習・復習
19	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 17-20）、レジュメの予習・復習
20	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意、ポライトネス	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 17-20）、レジュメの予習・復習
21	Communication and culture 文化と文脈、コミュニケーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 21-22）、レジュメの予習・復習
22	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 6 & 23-24）、レジュメの予習・復習
23	Sociolinguistics 社会言語学 言語政策	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 23-24）、レジュメの予習・復習
24	Second Language Acquisition 第二言語習得 様々な第二言語習得理論	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 25）、レジュメの復習、テスト準備
25	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 25）、レジュメの予習・復習
26	Review 定期試験範囲の総復習	講義、ディスカッション、質疑応答	試験範囲の復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Presentation ブックレポート口頭発表	口頭発表 ディスカッション	ブックレポート提出
28	Presentation ブックレポート口頭発表 Test review 定期試験の返却、および解説	口頭発表 講義、質疑応答	試験問題の復習

テキスト	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社）
参 考 書	黒田龍之介『はじめての言語学』（講談社現代新書） 大津由紀雄『探検！ことばの世界』（ひつじ書房）

科目名	LNG200:　言語学概論					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	月木５限			研究室	4215
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	言語とは、英語史、音素、語形成、文法論、文／発話の意味、言語のバリエーション
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストをまとめたレジュメおよび担当者の準備したハンドアウト（練習問題を含む）をもとに講義形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関する review を行う。
達成目標（授業の目的）	本講は学生が対象言語となっている英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および歴史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論に触れ、その理解を深めることを目標とする。
到達目標（学修成果）	学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（母語、第二言語、および学習言語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気付きを得ることができる。さらに理解したことを整理立てて、用語の定義や言語例を含めたかたちで説明することができるようになる。
評価方法	▸中間試験（30%）、定期試験（40%）、▸Book Report（20%）、▸授業参加度（10%）
評価基準	▸中間試験、および期末試験（客観式）：試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを問う。※中間試験は前半のみの内容が、期末試験は後半のみの内容がそれぞれ試験範囲となる。 ▸Book Report：Booklist にある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約（書かれている内容を理解した上で、章や節ごとにしっかりとまとめられているか）と自分の見解（どのような発見があったか、どのような疑問が浮かんできたか、どのような課題が見つかったかなどについて分析的、批判的に論述できているか）を含めたブックレポートとなっているか。 ▸授業参加度：受講態度や授業内での積極的・自発的な発言、また指定単元の Unit Review や練習問題などがトータルに判断される。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & the study of language 本講を概観する＆言語を研究するとは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す 「はじめに」を読む
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキストを読む（ch.1-2）、レジュメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.1-2）、レジュメの予習・復習
4	What is Language? 言語の特性	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
5	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
6	History of English 英語の歴史：古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3-5）、レジュメの予習・復習
7	History of English 英語の歴史：中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3-5）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	History of English 英語の歴史：近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
9	Phonetics 音声学：言語音の分類	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.8-9）、レジュメの予習・復習
10	Phonology 音韻論：音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.8-9）、レジュメの予習・復習
11	Phonology 音韻論：音節	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、レジュメの予習・復習
12	Phonology 音韻論：超分節音素　Review 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、前半内容の見直し、テスト準備
13	Mid-term Test 中間試験 Morphology 形態論：形態素とは	試験実施、講義、質疑応答	前半内容の復習、テキストを読む（ch.10）
14	Test review 試験結果の返却、および解説 Morphology 形態論：異形態	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.10）、レジュメの予習・復習
15	Morphology 形態論：語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
16	Syntax 1 統語論 1 伝統文法と構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.11-12）、レジュメの予習・復習
17	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：基本的概念／言語観	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.11-12）、レジュメの予習・復習
18	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：句構造規則	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、レジュメの予習・復習
19	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
20	Semantics 意味論：言語学における意味とは	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.13-16）、レジュメの予習・復習
21	Semantics 意味論：語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、Unit Review の作成
22	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.17-20）、レジュメの予習・復習
23	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、Unit Review の作成
24	Communication and culture 文化と文脈、コミュニケーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.21-22）、レジュメの予習・復習
25	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション・言語政策／計画	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.6 & 23-24）、Book Report の作成
26	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法　Review 後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.25）、後半内容の見直し、テスト準備
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Genie revisited: Think about language and human mind　言語と心について考える	講義、ディスカッション、質疑応答	言語に関連する配布物の予習
28	Test review 定期試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

テキスト	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社）
参 考 書	黒田龍之介『はじめての言語学』（講談社現代新書） 大津由紀雄『探検！ことばの世界』（ひつじ書房）
その他 特記事項	本講は言語研究領域に属する専門科目、および言語系のゼミナール受講への基礎知識を与えるものである。

科目名	EDU205:　児童英語教育概説					担当教員	仲沢　淳子
開講期	春	開講時限	月木 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-②, 5-②

キーワード	児童英語教育、小学校外国語活動・外国語（英語）、第二言語習得、実践
授業の概要	児童英語教育及び小学校英語教育の背景や知識について、関連する様々な分野（児童心理学、第二言語習得理論、教育学、社会学、英語教授法など）に触れながら学ぶ。授業ではグループワークや発表を通し、学習した内容を実践・体験する。
達成目標（授業の目的）	児童英語教育の基本的知識を学び、児童英語教育の位置づけや児童期の特性を理解しながら児童期にふさわしい教授法について学ぶ。授業の中で指導の練習や実践を積み、児童英語指導者としての基礎力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	児童英語の教授法の基礎知識と応用アクティビティを実践する体験を通して、指導の際の実際の観点を知る。さらに学生相互の実践演習を通じて、効果的な実践方法を体験的に学び、児童英語教育において実際の指導に活かすことができるような基本的知識を得る。
評価方法	①授業への積極的な参加（20%）②リアクションペーパー（10%）③実践発表の準備と成果（30%）④レポートなどの課題（40%:全 2 回、各 20%）
評価基準	①グループ・ワークなども含め自発的に授業に取り組んでいるか。②学習した内容を踏まえ、自身の言葉で考えを述べているか。 ③ 実践発表の準備、練習が十分になされ、協同的に取り組んでいるか。④提示された課題に即した適切な内容であり、自分の言葉で具体的に表現しているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育が目指すものとは	講義、グループワーク、リア・ペ	復習：ポイントを整理理解
2	外国語の指導法 1：学習指導要領、小中連携、児童や学校の多様性（Unit1-3）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.10-21 復習：ポイントを整理理解
3	外国語の指導法 2：言語習得とインプット、コミュニケーションの目的（Unit4-5）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.22-29 復習：ポイントを整理理解
4	外国語の指導法 3：音声から文字へ、国語教育との連携（Unit6-7）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.30-37 復習：ポイントを整理理解
5	外国語の指導法 4：Classroom English, small talk、読み書き、題材選定（Unit8-10）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.38-49 復習：ポイントを整理理解
6	外国語の指導法 5：ALT、ICT 等の活用、学習状況の評価（Unit13-15）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.53-71 復習：ポイントを整理理解
7	外国語に関する専門的事項 1：児童文学（Unit7-8、第三部 Unit14）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.100-107,190-193 復習：ポイントを整理理解
8	理論と実践：storybook reading1 第一回課題について提示	講義、学生指導実践発表、相互評価	絵本選択、実践準備・練習
9	理論と実践：storybook reading2	講義、学生指導実践発表、相互評価	絵本選択、実践準備・練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	外国語に関する専門的事項 2：音声、発音と綴り、文構造、文法、語彙（Unit2-5）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.78-93 復習：ポイントを整理理解
11	外国語に関する専門的事項 3：第二言語習得、異文化理解（Unit6, 9）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.94-99,108-111 復習：ポイントを整理理解
12	外国語に関する専門的事項 4：コミュニケーション 4 技能、領域統合（Unit11-15）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.116-135 復習：ポイントを整理理解
13	外国語活動の指導法 1：発達心理学、児童の認知・情緒発達（Unit3, 5）	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.146-149,154-157 復習：ポイントを整理理解
14	外国語活動の指導法 2：学級担任と JTE（Unit6）第二回課題について提示	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.158-161 復習：ポイントを整理理解
15	アクティビティのポイントとは	講義、グループワーク、リア・ペ	予習：pp.170-189 復習：ポイントを整理理解
16	理論と実践：アクティビティ 1	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
17	理論と実践：アクティビティ 2	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
18	理論と実践：アクティビティ 3	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
19	理論と実践：アクティビティ 4	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
20	これまでの復習・まとめ	講義、グループワーク、リア・ペ	復習：ポイントを整理理解
21	レッスンプラン作成方法・ポイント	講義、グループワーク、リア・ペ	復習：ポイントを整理理解
22	理論と実践：アクティビティ改訂版 1	講義、学生指導実践発表	実践準備・練習
23	理論と実践：アクティビティ改訂版 2	講義、学生指導実践発表	実践準備・練習
24	理論と実践：アクティビティ改訂版 3	講義、学生指導実践発表	実践準備・練習
25	理論と実践：アクティビティ改訂版 4	講義、学生指導実践発表	実践準備・練習
26	これからの児童英語教育まとめ：児童期の特性、第二言語習得理論などの視点から	講義、グループワーク、リア・ペ	復習：ポイントを整理理解
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	グループディスカッション・質疑応答・省察	講義、グループワーク、リア・ペ	復習：ポイントを整理理解
28	全体のまとめ・振り返り	講義、グループワーク、リア・ペ	全体の復習

テキスト	小川隆夫・東仁美（著）、吉田研作（監修）『小学校英語　はじめる教科書　改訂版　外国語科・外国語活動指導者養成のために』（mpi 松香フォニックス）
参 考 書	上智大学 CLT プロジェクト・編『コミュニカティブな英語教育を考える：日本の教育現場に役立つ理論と実践』（アルク）
履修条件、前提科目	この科目は小学校での英語指導を行うサービスラーニング活動への参加と連動した「児童英語教育演習 A / B」の前提科目である。

科目名	GMN101:　ドイツ語 I					担当教員	工藤　花野
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月木 4 限 （秋）月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	基礎ドイツ語、初級ドイツ語文法
授業の概要	初心者にとっての「読む・書く・聞く・話す」力の基礎となる文法を中心に、丁寧に時間をかけて進めていく。対話文やドリルを用いた「読む・書く」練習や、ペアワーク等による会話形式の「聞く・話す」練習を通じて、総合的な基礎力を身につける。
達成目標（授業の目的）	「読む・書く・聞く・話す」力の総合的な訓練により、ドイツ語の発音、基礎的文法力、基礎的表現力を合理的に身につける。
到達目標（学修成果）	・ドイツ語の読みと発音がきちんとできる。 ・文の構造と動詞の活用の仕組み・名詞の格の働きを理解する。 ・簡単な会話や文章を理解し、作文できる。 ・日常で用いる基本的な語彙を身につける。
評価方法	授業参加の積極性（15%）、授業毎の課題提出（15%）、授業内試験（35%）、定期試験（35%）
評価基準	・授業参加（個人やペア等での発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する） ・課題提出（授業毎の短い課題提出により、授業内容・文法事項・進出語彙を確認する） ・試験（授業内試験と定期試験により、文法・読み・書きの力を確認する）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入、授業概要の説明 アルファベットと発音・挨拶・数字	演習（発音）	テキスト（以下略）S.7-9 の整理、次回提出用課題準備 1
2	［Lektion 1］出会いと自己紹介 動詞の現在人称変化（語順 1）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.10, 13 の整理 次回提出用課題準備 2
3	［Lektion 1］出会いと自己紹介 sein の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.11, 13 の整理 次回提出用課題準備 3
4	［Lektion 1］出会いと自己紹介 会話と作文・会話表現 1（自己紹介）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.12, 13, 76 の整理 次回提出用課題準備 4
5	［Lektion 2］家族について尋ねる 名詞の性と定冠詞の格変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.14, 17 の整理 次回提出用課題準備 5
6	［Lektion 2］家族について尋ねる 不定冠詞の格変化と haben の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.15, 17 の整理 次回提出用課題準備 6
7	［Lektion 2］家族について尋ねる 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.16, 17 の整理 次回提出用課題準備 7
8	［Lektion 3］明日の予定を尋ねる 不規則動詞の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.18, 21 の整理 次回提出用課題準備 8
9	［Lektion 3］明日の予定を尋ねる 命令形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.19, 21 の整理 次回提出用課題準備 9
10	［Lektion 3］明日の予定を尋ねる 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.20, 21 の整理 次回提出用課題準備 10

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	［Lektion 4］買い物に行く（1） 定冠詞類	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.22, 25 の整理 次回提出用課題準備 11
12	［Lektion 4］買い物に行く（1） 不定冠詞類・所有冠詞・否定冠詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.23, 25 の整理 次回提出用課題準備 12
13	［Lektion 4］買い物に行く（1） 会話と作文・会話表現 2（趣味と家族）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.24, 25, 76 の整理 試験準備（S.7-25, 76, 77）
14	Lektion 1-4 の総括・質疑応答（30 分） 授業内試験（60 分）	質疑応答 試験	S.7-25, 76, 77 の整理
15	Lektion 1-4 の総括・試験解答 ［Lektion 5］買い物に行く（2）複数形	試験解答、試験返却、演習	S.26, 29 の整理 次回提出用課題準備 13
16	［Lektion 5］買い物に行く（2） 人称代名詞の格変化・3 格と 4 格の語順	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.27, 29 の整理 次回提出用課題準備 14
17	［Lektion 5］買い物に行く（2） 会話と作文・会話表現 3（数字と買い物）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.28, 29, 42, 43, 78 の整理 次回提出用課題準備 15
18	［Lektion 6］週末の予定を尋ねる 2 格・3 格・4 格支配の前置詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.30, 33 の整理 次回提出用課題準備 16
19	［Lektion 6］週末の予定を尋ねる 3・4 格支配の前置詞・定冠詞との融合形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.31, 33 の整理 次回提出用課題準備 17
20	［Lektion 6］週末の予定を尋ねる 会話と作文・会話表現 4（予定）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.32, 33, 78, 79 の整理 次回提出用課題準備 18
21	［Lektion 7］趣味について尋ねる 形容詞の格変化（無冠詞型）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.34, 37 の整理 次回提出用課題準備 19
22	［Lektion 7］趣味について尋ねる 形容詞の格変化（定冠詞・不定冠詞）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.35, 37 の整理 次回提出用課題準備 20
23	［Lektion 7］趣味について尋ねる 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.36, 37 の整理 次回提出用課題準備 21
24	［Lektion 8］昼食を食べに行く 話法の助動詞と現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.44, 47 の整理 次回提出用課題準備 22
25	［Lektion 8］昼食を食べに行く 話法の助動詞の構文（語順 2）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.45, 47 の整理 次回提出用課題準備 23
26	［Lektion 8］昼食を食べに行く 会話と作文・会話表現 5（食事）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.46, 47, 80 の整理 試験準備（S.26-37, 44-47）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Lektion 5-8 の総括・試験講評、返却 時刻と日付の表現	質疑応答、演習	S.40, 42, 43, 78, 79 の整理 次回提出用課題準備 24
28	道案内の表現	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.41, 79 及び配布物の整理

テキスト	上野成利・本田雅也『パノラマ初級ドイツ語ゼミナール［三訂版］（CD 付）』（白水社）
参 考 書	橋本政義・橋本淑恵・Heike Pinnau『CD 付き　使ってみよう！ドイツ語　文法＋4 技能のトレーニング』（三修社）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書の用意を推奨する。

科目名	GMN102:　ドイツ語Ⅱ					担当教員	工藤　花野
開講期	春	開講時限	月木3限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	基礎ドイツ語、基礎ドイツ語文法の完成
授業の概要	ドイツ語Ⅰに引き続き、「読む・書く・聞く・話す」力の基礎となる文法を中心に、丁寧に時間をかけて進めていく。対話文やドリルを用いた「読む・書く」練習や、ペアワーク等による会話形式の「聞く・話す」練習を通じて、バランスのとれた基礎力を鍛えながら、より複雑な表現方法を修得する。
達成目標（授業の目的）	ドイツ語Ⅰで習得した語彙力・文法力を再確認しながら、さらに学習を進めて、ドイツ語の「書く・読む・聞く・話す」力の総合的な訓練により、ドイツ語の発音、基礎的文法力、基礎的表現力の完成を目指す。
到達目標（学修成果）	・ドイツ語の読み方と発音がきちんとできる。 ・文の構造と動詞の仕組み・名詞の格の働きを理解する。 ・より複雑な構文の文章を理解し、作文することができる。 ・新出語彙を身につける。
評価方法	授業参加の積極性（15%）、授業毎の課題提出（15%）、授業内試験（35%）、定期試験（35%）
評価基準	・授業参加（個人やペア等での発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する） ・課題提出（授業毎の短い課題提出により、授業内容・文法事項・新出語彙を確認する） ・試験（授業内試験と定期試験により、文法・読み・書きの力を確認する）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ドイツ語Ⅰを振り返る［Lektion1－4］ 動詞の活用と語順・冠詞と冠詞類の格変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	テキスト（以下略）S.10-25 の整理、次回提出用課題準備 1
2	ドイツ語Ⅰを振り返る［Lektion5－6］ 複数形・人称代名詞の格・前置詞の格支配	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.26-33 の整理 次回提出用課題準備 2
3	ドイツ語Ⅰを振り返る［Lektion7－8］ 形容詞・話法の助動詞と未来形の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.34-47 の整理 次回提出用課題準備 3
4	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 分離動詞・非分離動詞と分離動詞の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.48, 51 の整理 次回提出用課題準備 4
5	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 従属接続詞と複文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.49, 51 の整理 次回提出用課題準備 5
6	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.50, 51 の整理 次回提出用課題準備 6
7	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる zu 不定詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.52, 55 の整理 次回提出用課題準備 7
8	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる 再帰代名詞・再帰動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.53, 55 の整理 次回提出用課題準備 8
9	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる 会話と作文・会話表現 6（計画）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.54, 55, 80 の整理 次回提出用課題準備 9
10	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 動詞の 3 基本形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.56,59 の整理 次回提出用課題準備 10

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 動詞の過去人称変化・分離動詞の過去形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.57, 59 の整理 次回提出用課題準備 11
12	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.58, 59 の整理 次回提出用課題準備 12
13	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 現在完了形・他動詞と自動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.60, 63 の整理 次回提出用課題準備 13
14	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 非人称表現	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.61, 63 の整理 次回提出用課題準備 14
15	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 会話と作文・会話表現 7（体験）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.62, 63, 81 の整理 試験準備（S.48-63, 80, 81）
16	Lektion 9-12 の総括・質疑応答（30 分） 授業内試験（60 分）	質疑応答 試験	S.48-63, 80, 81 の整理
17	Lektion 9-12 の総括・試験解答 ［Lektion 13］意見を交換する（1）受動態	試験解答、演習	S64, 67 の整理 次回提出用課題準備 15
18	［Lektion 13］意見を交換する（1） 形容詞と副詞の比較級	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.65, 67 の整理 次回提出用課題準備 16
19	［Lektion 13］意見を交換する（1） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.66, 67 の整理 次回提出用課題準備 17
20	［Lektion 14］意見を交換する（2） 定関係代名詞・関係文の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.68, 71 の整理 次回提出用課題準備 18
21	［Lektion 14］意見を交換する（2） 不定関係代名詞・関係副詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.69, 71 の整理 次回提出用課題準備 19
22	［Lektion 14］意見を交換する（2） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.70, 71 の整理 次回提出用課題準備 20
23	［Lektion 15］別れと再会の約束 接続法 I 式の形態と用法	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.72, 75 の整理 次回提出用課題準備 21
24	［Lektion 15］別れと再会の約束 接続法 II 式の形態と用法	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.73, 75 の整理 次回提出用課題準備 22
25	［Lektion 15］別れと再会の約束 会話と作文・会話表現 8（意見交換）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.74, 75, 81 の整理 次回提出用課題準備 23
26	受動態・関係文・接続法の練習問題	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.64-75, 81・配布物の整理 試験準備（S.64-75, 81）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Lektion 13-15 の総括・試験講評、返却 受動文・関係文・接続法の練習問題	質疑応答、演習	配布物の整理 次回提出用課題準備 24
28	再帰動詞の練習問題	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	配布物の整理

テキスト	上野成利・本田雅也『パノラマ初級ドイツ語ゼミナール［三訂版］（CD 付）』（白水社）
参 考 書	橋本政義・橋本淑恵・Heike Pinnau『CD 付き　使ってみよう！ドイツ語　文法＋4 技能のトレーニング』（三修社）
履修条件、前提科目	ドイツ語 I の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。（『履修要覧』P.62～P.63 を参照のこと）
その他特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書の用意を推奨する。

科目名	FRN101:　フランス語Ⅰ					担当教員	鈴木　彩絵
開講期	春	開講時限	月木4限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	フランス語入門
授業の概要	フランス語入門者を対象としたクラスです。日常会話表現に特化したテキストで学ぶことで、自然にフランス語に馴染んでいきます。テキストだけでなく、アニメーション動画等も観ながら、理論（文法）と実践（聞き取り、会話）を結び付けた総合的な力を養います。
達成目標（授業の目的）	フランス語特有の発音や表現に触れながら、フランス語をコミュニケーションツールのひとつとして使うための土台を作る。
到達目標（学修成果）	① フランス語で簡単な自己紹介ができるようになる。 ② 身の回りにある物の名前や、日常生活で度々使用する表現を、フランス語で書いたり、言えるようになる。 ③ 語学の上達において最も重要な要素であるコミュニケーション能力を高める。
評価方法	① 授業中に行うペアワーク、グループワークへの積極参加 50% ② 小テスト 50%
評価基準	① 学びを楽しもうとする意欲を持って、他の学生と協力しながら授業に参加しているか。 ② 学んだ単語や表現を用いながら、自分の言いたいことを簡単な文章や会話で表現できているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス（授業の進め方と自己紹介） 第0課（音と綴り）	講義、グループワーク	第0課の練習問題の復習
2	第1課（自己紹介） 主語人称代名詞、être と er 動詞の活用	講義、グループワーク	第1課のディアローグの復習
3	第1課（続き） 疑問文の作り方	講義、グループワーク 小テスト	第1課の練習問題の復習
4	第2課（何が好き？）名詞の性と数、不定冠詞と定冠詞、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第2課のディアローグの復習
5	第2課（続き） 動詞 avoir の活用、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第2課の練習問題の復習
6	第3課（紹介：家族は？家は？）動詞 venir の活用、形容詞の性数一致、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第3課のディアローグの復習
7	第3課（続き）疑問文の作り方⑵、所有形容詞、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第3課の練習問題の復習
8	第4課（何をする？どこに行く？） 動詞 aller, faire の活用、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第4課のディアローグの復習
9	第4課（続き）指示形容詞、前置詞と定冠詞の縮約形、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第4課の練習問題の復習
10	第4課（続き）強勢形人称代名詞、近接未来、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第4課の練習問題の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	第 5 課（パリのカフェ、洋服屋で） 否定文、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 5 課のディアローグの復習
12	第 5 課（続き） 否定疑問文、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 5 課の練習問題の復習
13	第 5 課（続き） 部分冠詞、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 5 課の練習問題の復習
14	第 6 課（何時に待ち合わせ？） 疑問形容詞、ir 動詞、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 6 課のディアローグの復習
15	第 6 課（続き） pouvoir, vouloir, voir の活用、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 6 課の練習問題の復習
16	第 6 課（続き） 命令形、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 6 課の練習問題の復習
17	第 7 課（昨日何をした？） 複合過去形の作り方⑴、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 7 課のディアローグの復習
18	第 7 課（続き） 複合過去形の作り方⑵、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 7 課の練習問題の復習
19	第 7 課（続き） 複合過去形の作り方まとめ、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 7 課の練習問題の復習
20	第 8 課（君が好き！） 人称代名詞（直接目的語）、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 8 課のディアローグの復習
21	第 8 課（続き） 人称代名詞（間接目的語）、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 8 課の練習問題の復習
22	第 8 課（続き） 人称代名詞（応用編）、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 8 課の練習問題の復習
23	第 9 課（パリの病院で） 代名動詞（現在形）、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 9 課のディアローグの復習
24	第 9 課（続き） 代名動詞（過去形）、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 9 課の練習問題の復習
25	第 9 課（続き） 中性代名詞 en、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 9 課の練習問題の復習
26	第 10 課（親子げんか：皿洗いの日） 比較級と最上級、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 10 課のディアローグの復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	第 10 課（続き） 疑問代名詞、小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	第 10 課の練習問題の復習
28	第 10 課（続き） 中性代名詞 y、小テスト解説	講義、グループワーク	第 10 課の練習問題の復習

テキスト	フランソワ・ルーセル、丸川 誠司『トーム・アン』（第三書房）
参 考 書	鈴木文恵『ゼロからスタートフランス語 会話編』（ジェイ・リサーチ出版）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	なし

科目名	FRN101:　フランス語Ⅰ					担当教員	鈴木　彩絵
開講期	秋	開講時限	月木3限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	フランス語入門
授業の概要	フランス語入門者を対象としたクラスである。日常会話表現を楽しく学べるテキストを使いながら、自然にフランス語に馴染んでいく。テキスト学習以外にも、音楽、映画等の鑑賞をとおして、理論（文法）と実践（聞き取り、会話）を結び付けた総合的な力を養う。
達成目標（授業の目的）	フランス語特有の発音や表現に触れながら、フランス語をコミュニケーションツールのひとつとして使うための土台を作る。
到達目標（学修成果）	① フランス語で簡単な自己紹介ができるようになる。 ② 身の回りにある物の名前や、日常生活で度々使用する表現を、フランス語で書いたり、言えるようになる。 ③ フランス文化にたいする理解を深める。
評価方法	① 授業内課題（個別の会話力、発音チェック、文法の練習問題）、授業中に行うペアワークへの積極参加 50% ② 小テスト 50%
評価基準	① 学びを楽しもうとする意欲を持って授業に参加しているか。 ② フランス語の基本的な質問に正しく答える力が身に付いているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス（授業の進め方と自己紹介） Unité 0（フランス語の発音）	講義、ペアワーク	発音の復習
2	Unité 0（続き）「これは何？」、「～がありま す」、「この人は誰？」の言い方と答え方	講義、ペアワーク	質問の仕方と答え方（人・物の名前）の復習
3	Unité 1（パリ到着） 主語人称代名詞、être 動詞の活用	講義、ペアワーク	être 動詞の活用の復習
4	Unité 1（続き） 国籍、職業について話す	講義、ペアワーク 小テスト	国籍、職業に関する単語の復習
5	Unité 1（続き）前置詞「～に」、「～から」、「～前からずっと」、小テスト解説	講義、ペアワーク	前置詞の復習
6	Unité 2（ホテルで） 動詞 avoir の活用、名詞と不定冠詞	講義、ペアワーク 小テスト	動詞 avoir の活用の復習
7	Unité 2（続き）名詞と定冠詞、中性指示代名詞 ce、小テスト解説	講義、ペアワーク 小テスト	不定冠詞と定冠詞の使い分けについての復習
8	Unité 2（続き）形容詞の性・数の一致その1、小テスト解説	講義、ペアワーク	品質形容詞の復習
9	Unité 3（ランデヴー） 所有形容詞	講義、ペアワーク 小テスト	所有形容詞の復習
10	Unité 3（続き） er 動詞の活用、小テスト解説	講義、ペアワーク	er 動詞の活用の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	Unité 3（続き） 疑問文の作り方	講義、ペアワーク 小テスト	疑問文の作り方の復習
12	Unité 3（続き） 家族について話す、小テスト解説	講義、ペアワーク	家族に関する単語の復習
13	Unité 4（カフェで） 否定文の作り方	講義、ペアワーク 小テスト	否定文の作り方の復習
14	Unité 4（続き）形容詞の性・数の一致その2、小テスト解説	講義、ペアワーク	品質形容詞の復習
15	番外編その①　形容詞の性・数の一致その 3（色の形容詞）	講義、ペアワーク 小テスト	色の形容詞を使ったフレーズの復習
16	Unité 4（続き） 定冠詞の縮約、小テスト解説	講義、ペアワーク	定冠詞の縮約の復習
17	Unité 4（続き） 好きなもの、好きなことについて話す	講義、ペアワーク 小テスト	好きなもの、好きなことについての表現の復習
18	Unité 5（電話をかける）「～したい（～が欲しい）のですが」の表現、小テスト解説	講義、ペアワーク	「～したい（～が欲しい）のですが」の表現の復習
19	Unité 5（続き） 指示形容詞	講義、ペアワーク 小テスト	指示形容詞の復習
20	Unité 5（続き） 人称代名詞の強勢形、小テスト解説	講義、ペアワーク	人称代名詞の復習
21	Unité 5（続き） 近い未来	講義、ペアワーク 小テスト	近い未来の復習
22	Unité 5（続き） 近い過去、小テスト解説	講義、ペアワーク	近い過去の復習
23	番外編その② 映画“Comme un chef”を観よう！	講義	既習事項の復習
24	Unité 6（道を尋ねる） 疑問代名詞	講義、ペアワーク	疑問代名詞の復習
25	Unité 6（続き） 疑問副詞	講義、ペアワーク 小テスト	疑問副詞の復習
26	Unité 6（続き）疑問代名詞と疑問副詞を用いた疑問文、小テスト解説	講義、ペアワーク	疑問代名詞と疑問副詞を用いた疑問文の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unité 6（続き） 中性代名詞 1	講義、ペアワーク 小テスト	中性代名詞の復習
28	Unité 6（続き）中性代名詞 2、小テスト解説、全体のまとめ	講義、ペアワーク	全体の復習

テキスト	藤田裕二『新・彼女は食いしん坊！1』（朝日出版社）
参 考 書	鈴木文恵『ゼロからスタートフランス語 会話編』（ジェイ・リサーチ出版）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。

科目名	FRN102:　フランス語Ⅱ					担当教員	鈴木　彩絵
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	フランス語初級
授業の概要	「フランス語Ⅰ」履修者を主な対象とするクラスです。「フランス語Ⅰ」で学んだ基本要素をおおよそ理解できていることを前提に、引き続き文法を学びます。時には絵本や動画も参照しながら、理論（文法）と実践（聞き取り、会話）を結び付けた総合的な力を養います。
達成目標（授業の目的）	「フランス語Ⅰ」で学んだ基本要素を実際に運用できるように強化する。 より複雑な構文を読み、書き、聞き、話す能力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	① はじめて聞く／読む単語や文の意味を、学んだことを手がかりに、想像力を働かせて理解できるようになる。 ② 身の回りにある物の名前や時事用語、日常生活で度々使用する表現を、フランス語で書いたり、言えるようになる。
評価方法	① 授業中に行うペアワーク、グループワークへの積極参加 50% ② 小テスト 50%
評価基準	① 学びを楽しもうとする意欲を持って、他の学生と協力しながら授業に参加しているか。 ② 学んだ単語や表現を用いながら、自分の言いたいことを文章や会話で表現できているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、フランス語Ⅰの復習（1）前置詞と強勢形、疑問と否定、être と形容詞	講義、グループワーク	Leçon 0～4 練習問題の復習
2	フランス語Ⅰの復習（2） 名詞の指示と所有、冠詞	講義、グループワーク	Leçon 5～7 練習問題の復習
3	フランス語Ⅰの復習（3） er 動詞	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 8, 9 練習問題の復習
4	Leçon 10 ir 動詞の活用 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 10 練習問題の復習
5	Leçon 10 メッセージを読む 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 10 メッセージ文の復習
6	Leçon 11 re 動詞の活用（1）faire, dire 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 11 練習問題の復習
7	Leçon 11 re 動詞の活用（2）その他の動詞 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 11 練習問題の復習
8	Leçon 12 oir 動詞の活用、11～20 の数 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 12 練習問題の復習
9	Leçon 12 非人称の il 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 12 練習問題の復習
10	Leçon 13 中性代名詞 y, le 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 13 練習問題の復習
11	Leçon13 中性代名詞 en、20 以上の数 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 13 練習問題の復習
12	Leçon 14 人称代名詞（1）直接目的語 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 14 練習問題の 復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
13	Leçon 14 人称代名詞（2）間接目的語 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 14 練習問題の 復習
14	Leçon 15 比較（1）副詞、形容詞 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 15 練習問題の復習
15	Leçon 15 比較（2）beaucoup, bien, bon 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 15 練習問題の復習
16	Leçon 16 代名動詞 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 16 練習問題の復習
17	Leçon 16 命令法、道案内をする 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 16 練習問題の復習
18	Leçon 17 関係代名詞（1）qui, que 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 17 練習問題の復習
19	Leçon 17 関係代名詞（2）où, don’t 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 17 練習問題の復習
20	Leçon 18 強調構文、倒置、曜日 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 18 練習問題の復習
21	Leçon 18 疑問代名詞、疑問形容詞 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 18 練習問題の復習
22	Leçon 18 疑問副詞、100 以上の数 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 18 練習問題の復習
23	Leçon 19 半過去 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 19 練習問題の復習
24	Leçon 20 複合過去 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 20 練習問題の復習
25	Leçon 21 単純未来 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 21 練習問題の復習
26	Leçon 22 条件法現在 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 22 練習問題の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Leçon 23 接続法現在 小テスト解説	講義、グループワーク 小テスト	Leçon 23 練習問題の復習
28	まとめ 小テスト解説	講義	授業のふりかえり

テキスト	白石嘉治他『トラントラン：初級フランス語・かんたんなことをコツコツやろう』（朝日出版社）
参 考 書	鈴木文恵『ゼロからスタートフランス語 会話編』（ジェイ・リサーチ出版）
履修条件、前提科目	フランス語 I を履修済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	仏和辞書を引く習慣をつけること。

科目名	SPN101:　スペイン語 I					担当教員	大堂　果林
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月木 4 限 （秋）月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、ラテンアメリカ、スペイン語圏の文化
授業の概要	スペイン語の基礎を学ぶ。スペイン語の文法構造を理解し、初級レベルの「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能を習得する。文法知識を用いて運用力とコミュニケーション能力を養い、言語だけでなくスペイン語圏の文化・習慣について学ぶ。
達成目標（授業の目的）	本講はスペイン語の学習を通して、スペイン語やスペイン語圏への理解を深め、異なる文化・習慣に対する柔軟性と寛容な態度を身に付けることを目標とする。学んだ文法知識を活用し、授業中に行う会話練習を通してスペイン語を発話することに慣れ、英語以外の外国語でもコミュニケーションを行う楽しさを実感する。
到達目標（学修成果）	スペイン語を習得するために非常に重要である「動詞の活用」の仕組み・方法をしっかりと理解する。日本語とは異なる名詞の性と数や形容詞の性数一致などの発想と仕組みを学ぶ。語彙を増やし、基礎的なスペイン語を「読み」「書き」することができるようになる。挨拶や簡単な日常会話を「聞いて」理解し、ゆっくりではあるが「話す」ことができるようになる。
評価方法	①レポート課題：30%、②小テスト：10%、③授業への積極参加：25%、④ノート提出課題：25%、⑤授業外課題：10%
評価基準	①レポート課題：スペイン語圏の文化について調べ、授業内で学んだ文法項目を用いたスペイン語の運用能力が身についているかを評価する。 ②小テスト：単元ごとにテストを実施し、授業外の予習・復習に取り組む態度を評価する。 ③授業への積極参加：正解・不正解を問わず、しっかりと考えて回答しているか。また、リアクションペーパーへの質問や感想の書き込み、ペアワークへの積極参加など「主体的に学ぶ姿勢」も評価する。 ④ノート提出課題：授業内容を理解した上で、授業内で指示する練習問題の課題を確実に行えているかを評価する。 ⑤授業外課題：授業内容を理解し、スペイン語の運用能力が身についているかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	スペイン語とスペイン語圏の紹介	講義、質疑応答	シラバスの確認
2	Unidad 1 挨拶、アルファベット、発音	講義、練習問題、ペアワーク	挨拶の復習
3	Unidad 1 発音、アクセント、注意の必要な綴り	講義、練習問題、ペアワーク	発音の復習
4	Unidad 1 固有名詞、数字	講義、練習問題、ペアワーク	発音・アクセントの復習
5	Unidad 1 挨拶の表現（名前の自己紹介）	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 1 の総復習
6	Unidad 2 名詞の「性」と「数」 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 1 小テストのための予習
7	Unidad 2 定冠詞、主語代名詞	講義、練習問題、ペアワーク	名詞の性と数の復習
8	Unidad 2 動詞 ser の直接法現在形 疑問文と否定文	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 ser の直接法現在形 疑問文と否定文の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unidad 2 数字・職業・国籍を表す表現	講義、練習問題、ペアワーク	数字・職業・国籍を表す表現の復習
10	Unidad 3 不定冠詞、品質形容詞 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 2 小テストのための予習
11	Unidad 3 所有詞前置形、動詞 tener の直接法現在形	講義、練習問題、ペアワーク	不定冠詞、品質形容詞の復習
12	Unidad 3 疑問詞	講義、練習問題、ペアワーク	所有詞前置形、動詞 tener の直接法現在形の復習
13	Unidad 3 数字・家族を表す表現	講義、練習問題、ペアワーク	疑問詞の復習
14	Unidad 4 指示形容詞、指示代名詞 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 3 小テストのための予習
15	Unidad 4 動詞 estar の直接法現在形	講義、練習問題、ペアワーク	指示形容詞、指示代名詞の復習
16	Unidad 4 動詞 haber の用法	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 estar の直接法現在形の復習
17	Unidad 4 場所を表す副詞、序数	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 haber の用法の復習
18	Unidad 5 規則動詞の直接法現在形 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 4 小テストのための予習
19	Unidad 5 規則動詞の直接法現在形の復習 不規則動詞の直接法現在形	講義、練習問題、ペアワーク	規則動詞の直接法現在形の復習
20	Unidad 5 不規則動詞の直接法現在形の復習 現在形の用法、疑問詞	講義、練習問題、ペアワーク	不規則動詞の直接法現在形の復習
21	Unidad 5 曜日、頻度を表す副詞表現	講義、練習問題、ペアワーク	現在形の用法、疑問詞の復習
22	Unidad 6 前置詞 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 5 小テストのための予習
23	Unidad 6 未来を表す表現（ir a ＋不定詞）	講義、練習問題、ペアワーク	前置詞を使った表現の復習
24	Unidad 6 語幹母音変化動詞、動詞 salir と動詞 venir の活用	講義、練習問題、ペアワーク	未来を表す表現（ir a ＋不定詞）の復習
25	Unidad 6 時間・月と季節・交通機関を表す表現	講義、練習問題、ペアワーク	語幹母音変化動詞、動詞 salir と動詞 venir の活用の復習
26	第 25 回までの授業内容のまとめ 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 6 小テストのための予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	スペイン語圏の文化・習慣について発表 (1) (テーマは自由選択)	レポート課題発表、質疑応答	プレゼンテーション準備
28	スペイン語圏の文化・習慣について発表 (2) (テーマは自由選択)	レポート課題発表 、質疑応答	プレゼンテーション準備

テキスト	スペイン語教材研究会『Entre amigos 1 – 2ª edición –』（朝日出版社）
参 考 書	廣康好美『これならわかる スペイン語文法 入門から上級まで』（NHK 出版） 高垣敏博（監修）『西和中辞典』（第 2 版）（小学館）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	継続的に復習し、授業中は積極的に発言することが望ましい。辞書を購入し、毎回持参することを推奨する。

科目名	SPN102:　スペイン語Ⅱ					担当教員	大堂　果林
開講期	春	開講時限	月木3限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、ラテンアメリカ、スペイン語圏の文化
授業の概要	「スペイン語Ⅰ」の復習をしながら、スペイン語の習得を進めていく。スペイン語の基本的な文法事項を習得し、より表現豊かなスペイン語の運用能力を身に付ける。言語の習得とともにスペイン語圏の文化・習慣について理解を深める。
達成目標（授業の目的）	本講はスペイン語の学習を通して、スペイン語やスペイン語圏への理解を深め、異なる文化・習慣に対する柔軟性と寛容な態度を身に付けることを目標とする。授業中に行う会話練習を通してスペイン語を発話することに慣れ、英語以外の外国語でもコミュニケーションを行う楽しさを実感する。また、スペイン語Ⅰよりさらに発展したスペイン語を学び、その後も継続して学び続けることのできる自律的な学習者を目指す。
到達目標（学修成果）	スペイン語を習得するために非常に重要である「動詞の活用」の仕組み・方法をしっかりと理解して自分でスペイン語を「読み」「書き」する際にも適切に使いこなせるようになる。スペイン語特有の発想方法を学び、慣用表現なども用いて日常の出来事や自分の意見・感情などを正確に伝えることができるようになる。さらには語彙を増やし、豊かな言語表現を行えるようになる。
評価方法	①レポート課題：30%、②小テスト：10%、③授業への積極参加：25%、④ノート提出課題：25%、⑤授業外課題：10%
評価基準	①レポート課題：スペイン語圏の文化について調べ、授業内で学んだ文法項目を用いたスペイン語の運用能力が身についているかを評価する。 ②小テスト：単元ごとにテストを実施し、授業外の予習・復習に取り組む態度を評価する。 ③授業への積極参加：正解・不正解を問わず、しっかりと考えて回答しているか。また、リアクションペーパーへの質問や感想の書き込み、ペアワークへの積極参加など「主体的に学ぶ姿勢」も評価する。 ④ノート提出課題：授業内容を理解した上で、授業内で指示する練習問題の課題を確実に行えているかを評価する。 ⑤授業外課題：授業内容を理解し、スペイン語の運用能力が身についているかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	現在形の動詞を用いた表現の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	シラバスの確認
2	Unidad 7 規則動詞と不規則動詞の復習	講義、練習問題、ペアワーク	現在形の動詞を用いた表現の復習
3	Unidad 7 語幹母音変化動詞	講義、練習問題、ペアワーク	規則動詞と不規則動詞の復習
4	Unidad 7 再帰動詞の活用	講義、練習問題、ペアワーク	語幹母音変化動詞の復習
5	Unidad 7 再帰動詞の用法、天候表現	講義、練習問題、ペアワーク	再帰動詞の活用の復習
6	Unidad 8 直接目的人称代名詞、動詞 ver 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 7 小テストのための予習
7	Unidad 8 動詞 saber と動詞 conocer の使い分け、（saber + 不定詞）と（poder + 不定詞）	講義、練習問題、ペアワーク	直接目的人称代名詞、動詞 ver の復習
8	Unidad 8（poder + 不定詞）、（querer + 不定詞）	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 saber と動詞 conocer の使い分けの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unidad 9 間接目的人称代名詞 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 8 小テストのための予習
10	Unidad 9 動詞 dar、traer、 decir の活用と用法	講義、練習問題、ペアワーク	間接目的人称代名詞の復習
11	Unidad 9 比較表現（比較級と最上級）	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 dar、traer、decir の活用と用法の復習
12	Unidad 10 動詞 gustar の考え方 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 9 小テストのための予習
13	Unidad 10 gustar 型のその他の動詞	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 gustar の考え方の復習
14	Unidad 10 副詞・数量の比較表現	講義、練習問題、ペアワーク	gustar 型のその他の動詞の復習
15	Unidad 11 動詞 doler の用法 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 10 小テストのための予習
16	Unidad 11 動詞 estar と動詞 ser の使い分け	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 doler の用法の復習
17	Unidad 11 感嘆文、（tener que + 不定詞）（hay que + 不定詞）の表現	講義、練習問題、ペアワーク	動詞 estar と動詞 ser の使い分けの復習
18	Unidad 11 不定語と否定語、体調・感情表現	講義、練習問題、ペアワーク	（tener que + 不定詞）（hay que + 不定詞）の表現の復習
19	Unidad 12 直接法点過去の規則活用 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 11 小テストのための予習
20	Unidad 12 直接法点過去の不規則活用、時を表す副詞表現	講義、練習問題、ペアワーク	直接法点過去の規則活用の復習
21	Unidad 13 直接法線過去	講義、練習問題、ペアワーク	直接法点過去の不規則活用の復習
22	Unidad 13 直接法点過去・線過去の使い分け	講義、練習問題、ペアワーク	直接法線過去の復習
23	Unidad 14 不定形（不定詞、過去分詞、現在分詞）、直接法現在完了	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 12 小テストのための予習
24	Unidad 14 進行形（estar + 現在分詞）	講義、練習問題、ペアワーク	直接法現在完了の復習
25	Unidad 15 命令形	講義、練習問題、ペアワーク	進行形の復習
26	第 25 回までの授業内容のまとめ 小テスト、試験の返却、および解説	講義、練習問題、ペアワーク	命令形の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	スペイン語圏の文化・習慣について発表 (1) （テーマは自由選択）	レポート課題発表、質疑応答	プレゼンテーション準備
28	スペイン語圏の文化・習慣について発表 (2) （テーマは自由選択）	レポート課題発表 、質疑応答	プレゼンテーション準備

テキスト	スペイン語教材研究会『Entre amigos 1 – 2ª edición –』（朝日出版社）
参 考 書	廣康好美『これならわかる スペイン語文法 入門から上級まで』（NHK 出版） 高垣敏博（監修）『西和中辞典』（第 2 版）（小学館）
履修条件、前提科目	スペイン語 I の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。（『履修要覧』P.62～P.63 を参照のこと）
その他特記事項	継続的に復習し、授業中は積極的に発言することが望ましい。辞書を購入し、毎回持参することを推奨する。

科目名	CHN101:　中国語Ⅰ					担当教員	廣重　聖佐子
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月木 4 限 （秋）月木 3 限			研究室	4 号館 2 階講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語・入門中国語・ピンイン習得
授業の概要	この授業では入門中国語の学習に不可欠なピンイン習得を目指し、音読と会話練習を中心に授業を進める。今年度の授業は教科書の前半部分を使用し、各課は 2 回の授業で 1 課を終了する。1 回目の授業では、単語と文法の解説後、各自復習プリントとドリルを提出する。2 回目の授業では、復習として会話練習をする。各自教科書の音声と動画をダウンロードしてよく練習すること。
達成目標（授業の目的）	中国語学習に必要不可欠なピンイン、入門程度の基礎的な文法事項、挨拶などを反復練習によって習得する。
到達目標（学修成果）	・ピンインを習得し本文の音読ができる。 ・教科書本文の基本的な単語や文法事項が理解できる。 ・練習問題や復習プリント等で簡単な和文中訳ができる。
評価方法	①　提出課題：授業課題と復習プリント（20%） ②　音読チェック：各課終了時によるチェックと提出された音声データ（20%） ③　音読テスト：28 回目に実施する音読テスト（10%）授業内の口頭テスト（10%） ④　授業内特別課題：2 回の筆記と音声データの提出（40%）教科書参照可
評価基準	①　提出課題：次回授業までに提出物が提出されているか。 ②　音読チェック：本文が正確に読めるか。 ③　音読テスト：本文が一人で正確に読めるか。読めない場合は減点。 中国語で質問し、答えることができるか。 ④　授業内特別課題：2 回実施。学習したことを理解しており、かつ身についているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第 1 課　発音（1）中国語の音節　声調	解説と発音練習	第 1 課復習と発音練習 ドリル
2	第 2 課　発音（2）短母音　複母音	解説と発音練習	第 2 課復習と発音練習 ドリル
3	第 3 課　発音（3）子音（1）	解説と発音練習	第 3 課復習と発音練習 ドリル
4	第 4 課　発音（4）子音（2）	解説と発音練習	第 4 課復習と発音練習 ドリル
5	第 5 課　動詞“是”の用法　疑問文 ①解説	単語と文法説明	予習　第 5 課復習プリント ドリル
6	第 5 課　動詞“是”の用法　疑問文 ②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 5 課音声データ 練習問題
7	第 6 課　姓の言い方と尋ね方　フルネームのいい方と尋ね方　①解説	前課の復習 単語と文法説明	予習　第 6 課復習プリント ドリル
8	第 6 課　姓の言い方と尋ね方　フルネームのいい方と尋ね方　②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 6 課音声データ 練習問題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第 7 課　動詞文　選択疑問文　①解説	前課の復習 単語と文法説明	予習　第 7 課復習プリント ドリル
10	第 7 課　動詞文　選択疑問文　②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 7 課音声データ 練習問題
11	第 8 課　二つ以上からなる文―連動文 希望願望を表す助動詞“想”　①解説	前課の復習 単語と文法説明	予習　第 8 課復習プリント ドリル
12	第 8 課　二つ以上からなる文―連動文 希望願望を表す助動詞“想”　②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 8 課音声データ 練習問題
13	前半の復習	前課復習・前半の復習 中間特別課題の告知	第 1 課～8 課までの復習 前半課題の提出期限
14	中間特別課題の実施 音声データの準備	筆記課題と音声データの提出	第 1 課～8 課までの復習
15	第 9 課　動詞“有”動詞“在”　①解説	講評 単語と文法説明	予習　第 9 課復習プリント ドリル
16	第 9 課　動詞“有”動詞“在”　②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 9 課音声データ 練習問題
17	第 10 課　年月日、曜日の言い方 動詞“得”と“要”　①解説	前課の復習 単語と文法説明	予習　第 10 課復習プリント ドリル
18	第 10 課　年月日、曜日の言い方 動詞“得”と“要”　②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 10 課音声データ 練習問題
19	第 11 課　形容詞が述語になる文 時刻の言い方　①解説	前課の復習 単語と文法説明	予習　第 11 課復習プリント ドリル
20	第 11 課　形容詞が述語になる文 時刻の言い方　②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 11 課音声データ 練習問題
21	第 12 課　お金の言い方　量詞　①解説	前課の復習 単語と文法説明	予習　第 12 課復習プリント ドリル
22	第 12 課　お金の言い方　量詞　②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 12 課音声データ 練習問題
23	第 13 課　年齢の言い方と尋ね方 前置詞“在”　①解説	前課の復習 単語と文法説明	予習　第 13 課復習プリント ドリル
24	第 13 課　年齢の言い方と尋ね方 前置詞“在”　②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 13 課音声データ 練習問題
25	第 14 課　文末の“了”　動詞の重ね型 ①解説	前課の復習 単語と文法説明	予習　第 14 課復習プリント ドリル　練習問題
26	第 14 課　文末の“了”　動詞の重ね型 ②練習	文法の復習 音読と会話練習	第 9 課から第 14 課までの復習　提出物の期限
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末特別課題の実施 音声データの準備	筆記試験と音読データの提出	第 9 課から 14 課までの復習
28	期末特別課題の講評 音読テスト	講評 音読テスト	第 14 課音読テストの準備

テキスト	陳淑梅・張国璐『いま始めよう！アクティブラーニング―初級中国語―』（朝日出版）
参 考 書	守屋宏則・李軼倫『やさしくくわしい中国語文法の基礎』改訂版（東方書店）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	就職活動等で欠席する場合は事前に連絡すること。 私用による 20 分以上の遅刻は欠席とする。

科目名	CHN102:　中国語Ⅱ					担当教員	廣重　聖佐子
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語・初級中国語
授業の概要	今年度は初級過程の完了を目指す。前年度使用した教科書の後半部分を引き続き学習し、各課 2 回で 1 課を終了する。1 回目の授業では文法、単語、本文の説明後に、各自練習、ポイントチェック、ドリルを提出する。2 回目の授業では、本文の音読練習と音読チェックをし、会話練習をする。授業終了後に音声データと練習問題を提出する。
達成目標（授業の目的）	・中国語の初級過程を完了するとともに、学習した構文等を自分で分析し、和訳や中訳ができるようにする。 ・音読練習と初級過程の成果として、今までに学んだ構文を用いて中国語で自己紹介ができるようにする。
到達目標（学修成果）	・本文の音読が正確にできる。 ・文法事項が理解でき、和訳や中訳や練習問題ができる。 ・例文等を用いて中国語で表現できる。
評価方法	①　提出課題：授業内容の確認課題とドリルと練習問題（20%） ②　音読チェック：各課終了時授業中に行うチェックと、提出された音声データ（20%） ③　自己紹介：10 センテンス以上を授業最終回に発表（20%） ④　授業内特別課題：2 回の筆記と音声の提出。教科書参照可（40%）
評価基準	①　提出課題：学習したことが理解出来ているか。 ②　音読チェック：本文が正確に読めるか。 ③　自己紹介：24 回目の授業までに原稿を提出し、授業最終回に発表。翻訳アプリ等による翻訳は不可とする。 ④　授業内特別課題：2 回実施。学習したことを理解しており、かつ身についているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第 15 課　動作の対象を表す前置詞“给” 助動詞“可以”“能”　①解説	単語と文法の解説	第 15 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
2	第 15 課　動作の対象を表す前置詞“给” 助動詞“可以”“能”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
3	第 16 課　動作行為の進行を表す表現 助動詞“会”　①解説	単語と文法の解説	第 16 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
4	第 16 課　動作行為の進行を表す表現 助動詞“会”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
5	第 17 課　前置詞“在”の用法 二重目的語をとる動詞　①解説	単語と文法の解説	第 17 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
6	第 17 課　前置詞“在”の用法 二重目的語をとる動詞　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
7	第 18 課　経験を表す“过”の用法 選択疑問文　①解説	単語と文法の解説	第 18 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
8	第 18 課　経験を表す“过”の用法 選択疑問文　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
9	第 19 課　助動詞“得”の用法 “一～就”の構文　①解説	単語と文法の解説	第 19 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	第 19 課　助動詞“得”の用法 “一～就”の構文　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
11	第 20 課　結果補語　様態補語　①解説	単語と文法の解説	第 20 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
12	第 20 課　結果補語　様態補語　②練習 中間特別課題の告知	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
13	中間特別課題の実施 音声データの準備	筆記課題と音声データの提出	第 15 課から 20 課までの復習
14	第 21 課　“是～的”の構文 比較表現―前置詞“比”　①解説	単語と文法の解説	第 21 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
15	第 21 課　“是～的”の構文 比較表現―前置詞“比”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
16	第 22 課　方向補語（1）単純方向補語 “有点儿”と“一点儿”　①解説	単語と文法の解説	第 22 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
17	第 22 課　方向補語（1）単純方向補語 “有点儿”と“一点儿”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
18	第 23 課　“把”構文 方向補語（2）　複合方向補語　①解説	単語と文法の解説	第 23 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
19	第 23 課　“把”構文 方向補語（2）　複合方向補語　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
20	第 24 課　程度補語　可能補語　①解説	単語と文法の解説	第 24 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
21	第 24 課　程度補語　可能補語　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
22	第 25 課　主述述語文　受身表現　①解説	単語と文法の解説	第 25 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
23	第 25 課　主述述語文　受身表現　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
24	第 26 課　“就要～了”　使役表現　①解説	単語と文法の解説	第 26 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
25	第 26 課　“就要～了”　使役表現　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
26	後半の復習 期末特別課題の告知	復習と期末特別課題の告知　提出物の確認	第 21 課から 26 課までの復習 提出物の期限
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末特別課題の実施 音声データの準備	筆記課題と音声データの提出	第 21 課から 26 課までの復習
28	期末特別課題の講評 自己紹介の発表	自己紹介の発表	自己紹介の発表準備

テキスト	陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語　トータル版』（朝日出版）
参 考 書	守也宏則・李軼倫『やさしくくわしい中国語文法の基礎』改訂版（東方書店）
履修条件、前提科目	中国語 I の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。（『履修要覧』P.62～P.63 を参照のこと）
その他特記事項	就職活動等で欠席する場合は事前に連絡すること。 私用による 20 分以上の遅刻は欠席とする。

科目名	JPN250:　日本語表現法					担当教員	大山　美佳
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月 3 限 （秋）金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	学術的文章、事実・意見・行動の文、構成
授業の概要	話し言葉と書き言葉の違いを知り、事実・意見・行動の文に分けて論理的な学術的文章が書けるように、語彙、表現、構成を学ぶ。序論・本論・結びの 3 つの構造に従い、書く体験を通して論文を完成させていく。学生間および教師によるフィードバックなどから、客観的に自分の文章を振り返り、学びを進める。
達成目標（授業の目的）	この授業は、学生が事実・意見・行動の文に書き分けて、論理的な学術的文章が書けるようになることを最終目標とする。そのために、自分の言葉遣いを意識的に振り返り、お互いにフィードバックし合うことで、客観的で説得力のある文を書く体験をする。
到達目標（学修成果）	学生は学期末に、相応しい表現を用いて、説得力のある学術的文章が書けるようになる。その学術的文章は、事実・意見・行動の文を使い分け、序論・本論・結びの構成で 1500 字程度で書けるようになる。
評価方法	①　授業態度：積極的な発言をし、責任ある授業参加をする。　30% ②　授業課題：「書いてみよう」を次の授業までに Moodle に提出する。 リアクションペーパーにタスクや練習問題について記載する。　20% ③　小 論 文：Word で作成し、学期末の指定期間内に Moodle に提出する。　50%
評価基準	①　授業態度：他者の発言・発表を真摯に聴き、フィードバックする。 ②　授業課題：指定されたポイントや提出期限を守っているか。欠席した場合は Moodle をチェックし、期限までに提出する。 ③　小 論 文：授業で学んだ論文構成に従い、論文に相応しい表現を用いているか。信頼できるリソースで且つ他者の意見を自分の意見と区別し、自身の考察が述べられているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	〔基礎編①〕 よく使われる文の形、語と表現	講義、質疑応答、ペアワーク	教科書 1-8 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
2	〔基礎編②〕引用、要約、句読点、表記規則	講義、質疑応答、グループワーク	9-21 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
3	〔論文編Ⅰ―①〕論文について、構成の作り方、まとめ方	講義、質疑応答、グループワーク	24-42 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
4	〔論文編Ⅰ―②〕 書いてみよう①、3 種類の文、論文のモデル	講義、質疑応答、グループワーク	43-50 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
5	〔論文編Ⅱ―①〕序論について、役割、背景説明、事物の説明、先行研究の紹介等	講義、質疑応答、グループワーク	52-63 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
6	〔論文編Ⅱ―②〕 問題提起、方向づけ	講義、質疑応答、グループワーク	64-74 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
7	〔論文編Ⅱ―③〕書いてみよう②、全体の予告〔論文編Ⅲ―①〕本論の役割	講義、質疑応答、グループワーク	75-83 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
8	〔論文編Ⅲ―②〕 データの提示、事柄データ	講義、質疑応答、グループワーク	84-87 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	〔論文編Ⅲ―③〕 数量データ、文章データ	講義、質疑応答、グループワーク	87-93 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
10	〔論文編Ⅲ―④〕 意見提示、データ解釈、考察	講義、質疑応答、グループワーク	93-99 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
11	〔論文編Ⅲ―⑤〕結論提示、行動提示、論の展開、書いてみよう③〔資料編〕	講義、質疑応答、グループワーク	100-132 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
12	序論、論拠発表会①	グループワーク、質疑応答	発表準備をしておく。
13	序論、論拠発表会②	グループワーク、質疑応答	発表準備をしておく。 提出小論文の書き方を確認。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文講評	講義、質疑応答	授業の振り返り、まとめ

テキスト	浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生と留学生の論文ワークブック』（くろしお出版）
参 考 書	細川英雄・舘岡洋子・小林ミナ（編著）『プロセスで学ぶレポート・ライティング―アイデアから完成まで―』
その他 特記事項	積極的で、且つ建設的なフィードバックをし合う姿勢をもって、授業に出席すること。

科目名	SEF200:　キャリアプランニング					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	金 5 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	キャリアデザイン、ライフコース、社会保障、労働法、卒業生との交流、職場での実務
授業の概要	本学ソフィア会（同窓会）の支援により、社会の様々な分野で「For Others, With Others」を実践している卒業生の方々による講演・質疑応答を通して、卒業後のキャリアプランをどう組み立てるか考える。また、あわせて労働法などの基礎知識についても学ぶ。同窓生以外のゲスト講師の講義を含む。
達成目標（授業の目的）	①卒業後の人生設計について様々な可能性やその実現に向けて必要なステップを考え、②社会人として必要な労働法の知識を身につけ、③各自のキャリアプランを組み立てることが目標である。
到達目標（学修成果）	①現在の社会情勢と女性のライフコースの問題を各自で考え、卒業生の講演内容を通して将来の多様な可能性について考察できるようになる。 ②労働法や社会人として求められる基礎知識を身につけることができる。 ③各自のキャリアプランを設計できるようになる。
評価方法	①リアクションペーパー：授業後 Moodle に提出、最終回を除く。（5%×13 回＝65%） ②小テスト：労働法に関する小テスト（15%）、授業期間中に Moodle で行う。 ③キャリアプランの作成（20%）
評価基準	①リアクションペーパー：同窓生講師の話から学んだことや考えたことを適切な文でまとめているか ②小テスト：社会人として求められる労働法の基礎知識が身についているか ③キャリアプラン：書式・期限を守り現実的なプランを作成しているか
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 現代日本の女性のライフコース	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出①
2	同窓生：食品メーカー営業 同窓生：海外青年協力隊、JICA	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出②
3	同窓生：都市銀行 同窓生：フリーランス、マンガ・イラスト・おもちゃのデザインなど	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出③
4	同窓生：海外で日本語教師、中高教員	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出④
5	同窓生：外資系情報・通信企業 同窓生：市役所	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑤
6	ゲスト講師：秦野市の公共施設更新問題＋地方公務員の仕事	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑥
7	同窓生：公立小学校での外国語活動 同窓生：アメリカでの生活	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑦
8	労働法について	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑧

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	同窓生：児童向け英語教材の出版社	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑨
10	同窓生：海外での生活、民生委員の仕事 同窓生：留学、外国語通訳、派遣の仕事	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑩
11	同窓生：国際交流基金での日本語講師 同窓生：大手食品メーカー、育児休業	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑪
12	同窓生：英会話講師、音楽活動	講義、質疑応答	リアクションペーパー⑫ キャリアプラン作成
13	同窓生：国立大学職員、スピーチライター キャリアプラン作成について	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑬ キャリアプラン作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held　　定期試験期間にキャリアプランを提出		
14	キャリアプランの講評 労働法テストの講評	講義、質疑応答、講評	振り返り

テキスト	なし、パワーポイントスライドなどを用いての講義となる。
参 考 書	厚生労働省「令和 2 年版　働く女性の実情」（https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/20.html）、インターネットで閲覧可
その他 特記事項	本講座は上智大学短期大学部ソフィア会（同窓会）の協力による寄付講座であり、社会で活躍されている卒業生の方々がボランティアで講師をご担当下さるものである。担当講師のスケジュールは当該年度でないと確定しないため、上記の授業計画は仮のものであり、2022 年度の授業計画の確定版は 9 月 14 日に Moodle の「2022　短大部　キャリアプランニング」にアップする。 なお、同窓生の講義はリアルタイムの Zoom でコーディネータ教員が教室 PC から教室スクリーンに映し、学生からの質問は教室マイクで受け付ける予定である。

科目名	SEF100: アカデミックスキルズ・フォローアップ講座					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	木５限			研究室	4202
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-④

キーワード	アカデミックスキルズ、要約、プレゼンテーション、小論文
授業の概要	「人間学 I」「基礎ゼミナール」で学ぶアカデミックスキルズについて学びなおしと復習を行う。具体的にはノートの取り方、要約の仕方、意見表明や質問の仕方、情報や参考資料の探し方、パラグラフライティングの基礎とレポート作成、プレゼンテーションのレジュメ作成などについて学び、その他の科目履修における学修が効果的にできるように支援を行う科目である。なお、プレゼンテーション資料も含めて課題は Moodle に提出となる。
達成目標（授業の目的）	以下のアカデミックスキルズを学ぶ。①授業などのノートテイキング（聞きながら理解して文字化する）と授業内容や参考資料の要約（ノートを使って内容をまとめる）、②授業内での意見や質問の仕方（理解できる部分とできない部分をその場で区別する）、③パラグラフライティングに基づくレポートの作成（定型の書式にそって、引用元の表記や参考文献リストがついたものの作成）、④効果的なプレゼンテーションとそのための資料作成（聞き手にうまく伝えるための方法）。
到達目標（学修成果）	①理解を助けるためのノートテイキングができ、それを使って要約が作成できる ②授業内で意見表明や質問ができる ③引用注や参考資料リストをつけた簡単なレポートが作成できる ④効果的なプレゼンテーションとその資料作成ができる 以上が目標である。
評価方法	①参考教材を視聴してのノートテイキングと要約の作成（400 字）：ノート 10%、要約 10% ②授業時・学生の発表時の質問・意見：2%×14 回＝28% ③指定課題に関するレポートのアウトライン：10% 　指定課題に関するレポート：20% ④レポートをパワーポイントスライドを使って発表：内容 7%＋資料 15%
評価基準	①きちんとノートがとれているか、それを活用してポイントをまとめているか ②わからないことを質問できるか、積極的に意見を出せているか ③書式を守っているか、パラグラフライティングができているか、引用元を明記しているか、参考文献リストをつけているか ④レポート内容をわかりやすく発表できているか、そのための資料作成に工夫をしているか ※成績評価はパス／フェイルのみ
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	管理ツールの使い方、アカデミックスキルズの概要、研究倫理についての説明	講義、ディスカッション、質疑応答	復習、ノートをとる練習（Moodle 教材視聴）
2	ノートの取り方についての解説 ノートテイキングの練習	講義、ディスカッション、動画視聴①とノート作成、質疑応答	動画教材のノートの作成と提出
3	とったノートのチェック 要約の仕方の解説 要約の練習	講義、ディスカッション、動画視聴②と要約の作成、質疑応答	動画教材の要約の作成と提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	要約のチェック 情報や参考資料の探し方 情報探しの練習	講義、ディスカッション、グループでの情報検索、質疑応答	指定された情報のリスト作成と提出
5	レポートについての説明①（パラグラフライティング） 見本からパラグラフ構成を読み取る練習	講義、ディスカッション、資料講読	Moodle 教材を読んでパラグラフ構成を記入し提出
6	レポートについての説明②（引用元の表記と参考資料の活用の仕方） 引用元付きで 1 パラグラフにまとめる練習	講義、ディスカッション、パラグラフ作成	1 パラグラフにまとめたものを完成させて提出
7	パラグラフと引用元のチェック レポートの書式・内容について レポートの構成と参考資料リスト作成	講義、ディスカッション、参考資料探し	テーマ決定、自分のレポートの参考資料リストを作成して提出
8	レポートのアウトラインと参考資料リストのチェック レポート構成と参考資料の見直し	講義、ディスカッション、レポート構成を組み立てる	レポート作成
9	プレゼンテーションについての説明 プレゼンテーション資料の作成について	講義、ディスカッション	レポート作成と提出
10	レポートの講評と修正の指示 プレゼンテーション資料の作成	講義、ディスカッション、プレゼンテーション資料の作成	プレゼンテーション資料の作成と提出
11	プレゼンテーション① 質疑応答	講義、プレゼンテーション、質疑応答	プレゼンテーションの準備
12	プレゼンテーション② 質疑応答	講義、プレゼンテーション、質疑応答	プレゼンテーションの準備
13	プレゼンテーション③ 質疑応答	講義、プレゼンテーション、質疑応答	プレゼンテーションの準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	質疑応答プレゼンテーションの講評 振り返り、意見表明	講義、ディスカッション、各自の意見発表	振り返り

テキスト	なし、授業内容と関連するプリント・教材を Moodle の「2022　短大部　アカデミックスキルズ」にアップロードする。
参 考 書	基礎ゼミナールテキスト *Essentials 2022 : A Guide to Finding the Right Career Path for You* 必修英語テキスト *English Essentials*
その他 特記事項	2022 年度春学期履修科目、特に「人間学 I 」や「基礎ゼミナール」の成績評価において「不合格（F・X)」を修得した学生の履修を強く推奨する。

科目名	ENG253:　留学準備 B					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	月 5 限			研究室	4203
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-①

キーワード	短期語学研修、異文化理解、英語運用力、グローバルシティズンシップ
授業の概要	この授業では、履修学生が本学が認定する海外大学での短期語学講座に参加を前提とし、目的意識を持ち自律した学習者として充実した留学生活を送ることを目指す。異文化理解の一環として対象国について調べ学ぶ。さらに短期語学講座の参加に向けて実践的英語運用能力を演習を通して磨く。対象国の現地生活について、安全管理も含めて留意事項を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	学生は留学先で想定される異文化体験への準備として対象国の知識を深め、対象国と自国の文化を対比し異文化を客観的に理解し表出できるよう、英語運用能力を向上させる。安全かつ効果的に留学が完遂できるよう、海外生活に関する基本的知識、危機管理等の留意事項を学ぶ。目的意識と自信をもって対象国での学習と生活ができるように備える。
到達目標（学修成果）	留学に向けて、対象国に関する知識を深め自国の文化と対比しながら発信できるようになる。異文化を客観的に理解し英語で表出できるようになる。留学先で必要となる実践的な英語運用のスキルを磨き、現地大学での英語学習に備えて学び、効果的な英語力向上の道筋をつける。渡航および現地生活の際の安全管理の留意事項を理解する。
評価方法	①授業時の参加姿勢（20%）、②対象国・自国プレゼンテーション課題：準備及び発表（30%）、③英語課題（20%）、④授業時の省察及び最終課題（30%）
評価基準	①積極的に学ぶ姿勢と準備を行ったうえで授業に参加し、グループワークやアクティビティに主体的に取り組んでいるか。②対象国に関して複数のリソースにあたり自国と対比しながら十分調べてまとめ、映像資料を効果的に使いながらプレゼンテーションをし、質疑応答にしっかり対応できたか。③英語力向上のための課題を解き、期日までに提出したか。④授業で自らの取り組みを省察し具体的かつ客観的に記述できたか。また、個々の省察をもとに学期を通した学修への取り組みを最終課題としてまとめ、期日までに提出できたか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、留学の目的 どのような準備が必要か考える	講義、ペアワーク、 グループワーク	留学の意義を考える
2	プログラムの概要と日程の説明 必要となる英語力とは：英語課題目標設定	講義、ペアワーク、 グループワーク	英語課題目標を自己設定し具体的なプランを立てる
3	留学のための手続きガイダンス（30 分） 各自の英語課題プランをシェアし相互講評	講義、ペアワーク、 グループワーク	英語課題プランの改訂 英語課題に取り組む
4	対象国の文化・伝統・歴史についてディスカッション・リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
5	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評①、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
6	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評②、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
7	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評③、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	自国について発信したい内容を考える ディスカッション・リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
9	自国について発信プレゼンテーション 相互講評①、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
10	自国について発信プレゼンテーション 相互講評②、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
11	危機管理ガイダンス（90 分） 英語課題への取り組みをシェアし相互講評	講義、ペアワーク、 グループワーク	ガイダンス内容まとめ 英語課題
12	『対象国と自国について学んで』 異文化理解のためのセッション	講義、学生発表、 グループワーク	セッション内容まとめ 英語課題
13	『留学を経てどのような自分になりたいか』 自己省察と留学目的再確認のセッション	講義、学生発表、 グループワーク	セッション内容まとめ 英語課題
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	海外渡航ガイダンス（60 分） 最終課題を共有、提出	講義、学生発表、 グループワーク	英語課題への取り組み省察 最終課題作成、提出準備

テキスト	テキストは指定しない。オリジナルのハンドアウトを使用。関連するウェブサイトや参考文献、英語課題などを授業時に随時提示する。
参 考 書	Information about Japan（外務省）http://www.mofa.go.jp/j_info/japan/general/index.html 『海外安全ホームページ』（外務省）https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/flash02.html
履修条件、前提科目	この科目は本学の春期海外短期語学研修プログラムと連動した内容であるが、2022 年度に限り、同プログラムに参加するという履修条件を適用しない。
その他特記事項	下線部ガイダンスについては、海外渡航の可能性に応じて、外部留学コーディネーターの参加も予定。

科目名	SES100:　基礎ゼミナール			担当教員	平野　幸治，丹木　博一，森下　園，宮崎　幸江，杉村　美佳，小林　宏子，岩崎　明子
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1 年		

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-④

担当教員の連絡情報	担当教員	研究室	オフィスアワー
	平野　幸治	4210	水 1 限・3 限、木 2～4 限
	丹木　博一	4214	月 3 限、金 3 限
	森下　園	4202	（春学期）水 5 限、木 4 限 （秋学期）水 4 限、木 3 限
	宮崎　幸江	4217	火 3 限、木 3 限
	杉村　美佳	4220	（春学期）水 4 限、金 5 限 （秋学期）サバティカル
	小林　宏子	4204	（春学期）月 3 限、木 3 限 （秋学期）月 2 限、木 2 限
	岩崎　明子	4213	（春学期）火 3 限・4 限、水 2 限 （秋学期）火 3 限、水 2 限・4 限

キーワード	導入教育、アカデミックスキル、プレゼンテーションの方法、小論文の書き方、研究倫理
授業の概要	本学の教育理念である“For others, With others”を目指す学生生活への導入となる授業です。大学での学びに必要なアカデミックスキルを身につけ、将来のキャリア形成を視野に入れた大学生活のプランをたてていきます。
達成目標（授業の目的）	大学での自律した学びに必要なアカデミックスキルが身につきます。具体的には、さまざまな分野の問題を論じるために必要となる専門的な情報や知識をどのように得て、プレゼンテーションや小論文としてどのように発信していくかを実践しながら学びます。また大学生が知っておくべき研究倫理についても学びます。
到達目標（学修成果）	学生同士のディスカッション、プレゼンテーションを中心に日本語での発信力を磨きます。また、専任教員による Moodle 上のショートレクチャーや小論文を用いて、ノートテイキング技術や要約の仕方、小論文の書き方を実践的に身につけます。
評価方法	①課題：6%×6 回＝36%、②Moodle 教材のノートテイキング：4%×3 回＝12%、③プレゼンテーション：22%（発表 15%、司会 7%）、④小論文作成と発表：30%（小論文 25%、発表 5%）
評価基準	①課題：提出期限、内容および書式を遵守できているか。 ②ノートテイキング：3 つのレクチャーについて自分の言葉で要点をまとめ、論理的にコメントを書いているか。 ③プレゼンテーション：内容が整理されていて効果的な資料が提示されているか、声の大きさやスピードが適切でわかりやすく表現しているか。 ④小論文作成と発表：小論文は論点が明確でパラグラフライティングができているか。発表は要点をまとめて説明できているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	他者のために、他者とともに生きる、自己を知り、自己を確立する、アカデミックスキルと研究倫理について	テキスト 1、2 章講読、自己紹介、ディスカッション、動画視聴	本学の三つのポリシーとテキストの学長のメッセージを読む
2	世界に目を向け、異文化に心を開く、ポートフォリオで自主的な学修	動画視聴、グループディスカッション	テキスト 4 章講読、課題①視聴動画内容の要約
3	学ぶ姿勢を見直そう―大学での学び、ノートの取り方のこつ、スケジュール管理、インターネット・SNS 利用上の留意点	動画視聴、ノートテイキング、グループディスカッション	テキスト 5 章講読、課題②視聴動画内容の要約
4	最初の一歩を踏みだそう―質問の仕方、レポート作成時の注意事項、プレゼンの準備、研究倫理について	動画視聴、グループディスカッション、質疑応答	テキスト 6 章講読、課題③視聴動画内容の要約
5	文章のパラグラフ構造―要約と文章の中心文	動画視聴、グループディスカッション	Moodle 教材ノートテイキング①、課題④、プレゼンテーションの準備
6	ゼミ選択と進路選択―卒業までの計画、進路決定のために何をするか＋プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 7 章講読、課題⑤ノートテイキング②、プレゼンテーションの準備
7	編入への道―編入試験の概要、進学のために何をすべきか＋プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 8 章講読、ノートテイキング③、プレゼンテーションの準備
8	就職への道―働くとはどういうことか、企業は学生に何を求めているのか＋プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 9 章講読、プレゼンテーションの準備
9	女性のキャリアとライフコース―働く女性の状況、あなたのライフプラン＋プレゼンテーション	動画視聴、ディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 10 章講読、課題⑥プレゼンテーションの準備
10	キャリア・パスを考える―なぜ進学／就職するのか、理由を説明する＋プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 11 章講読、プレゼンテーションの準備
11	将来の夢を実現するためのリサーチ、情報リテラシー―リサーチプランを作成する	グループディスカッション、情報収集の仕方	テキスト 12 章、15 章講読小論文のためのリサーチ
12	論点をまとめる―リサーチしたことをグループでシェア、小論文の骨組みをつくる、引用の仕方	グループディスカッション、アウトライン作成	テキスト 13 章講読、小論文のためのリサーチ
13	小論文を書く―先行研究や得た情報を踏まえてメイン・パラグラフを作成、学修ポートフォリオの書き方	小論文の相互チェック、講評	小論文のアウトライン作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文の発表、学修ポートフォリオ作成	グループワーク	小論文作成

テキスト	上智大学短期大学部編『Essentials ―A Guide to Finding the Right Career Path for You』
参 考 書	小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	現代アメリカ文学、Ernest Hemingway、氷山理論、個人の確立、家族、共同体
授業の概要	アメリカの作家 Ernest Hemingway による文学作品とそれらに関する研究書や論文を読み、小説の研究に必要な基礎的な知識を身に付けてゆく。多くを語らない抑制された文章を読み、創造的に主題を読み取る。扱われる主題は、個人の確立、家族、友人、恋人、生と死、戦争、伝統とそこからの脱却、社会的マイノリティーとの関係、文明と自然、ジェンダー、身体論等。授業では学生同士そして教員との意見交換が中心となる。
達成目標（授業の目的）	文学作品の登場人物の心理と人間関係を理解し、同時に作品がそれらをどのような形式や文体で描き出すのかを理解することが主な目的である。そして作品が提示する問題をより広い社会や歴史上の問題と関連させて考え、口頭及び文章において論じる力を身に付ける。様々な研究主題とそれらが持つ重要性を理解し、そこから独自の文学論を形成し、最終的には人間性と社会に関して、学生個人として新たな発見をしてゆく。
到達目標（学修成果）	文学作品と研究資料からメモを取ることから始めて、文学的主題の発見と研究方法の基礎を身に付けることが出来る。同時に日々の気付きと研究成果について、授業で他の学生と討論を重ね、発展させることが出来る。作品と先行研究を充分に理解し、それらに関する自分の意見を発展させて研究ノートにまとめ、独自の主題を設定し、基礎的な学術論文を作成出来る。さらに最終的な研究の成果を効果的に口頭発表出来る。
評価方法	授業参加（40%）、研究ノート（30%）、論文（20%）、論文発表（10%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、理解し、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を発表出来ること。研究ノートでは作品と先行研究に関する充分な理解を示し、それに対する自分独自の意見の記述をする。論文では以上の成果を基に明確で論理的な文学論を書く。論文の発表では、口頭での明確な意見の発表と共に、充分な質疑応答が出来るよう、発表内容に関する補足説明事項や発展的な考えを準備する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Ernest Hemingway 初期短編導入 氷山理論と作品読解に向けて 課題説明	講義、意見交換	“The Doctor and the Doctor’s Wife” を読む
2	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 父と母、科学と宗教、倫理的行為	意見交換、講評	“The Doctor…,” 研究書、論文を読む
3	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 悪の拒絶、異人種との共存	意見交換、講評	“The Doctor…,” 研究書、論文を読む
4	“Soldier’s Home” 失われた世代、破壊と日常、破壊と文明、自己喪失	意見交換、講評	“Soldier’s Home,” 研究書、論文を読む
5	“Soldier’s Home” 虚偽の人生、愛の喪失、伝統的共同体	意見交換、講評	“Soldier’s Home,” 研究書、論文を読む
6	“Cat in the Rain” 他者の欲望と自己の欲望、夫婦の危機	意見交換、講評	“Cat in the Rain,” 研究書、論文を読む
7	“Cat in the Rain” 髪を伸ばすこと、猫が表すもの、父権制	意見交換、講評	“Cat in the Rain,” 研究書、論文を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	“Indian Camp” 生と死、通過儀礼、マイノリティー女性の身体、論文作成法	意見交換、講義	“Indian Camp, ” 研究書、論文を読む
9	“Indian Camp” 自然、文明、医師の倫理 大学生の研究倫理	意見交換、講義	“Indian Camp, ” 研究書、論文を読む
10	“End of Something” 未成熟な恋愛、時間について	意見交換、講評	“End of Something, ” 研究書、論文を読む
11	“End of Something” ハードボイルド的文体、男性間の連帯と女性	意見交換、講評	“End of Something, ” 研究書、論文を読む
12	研究発表	発表、質疑応答	発表原稿作成
13	研究発表	発表、質疑応答	発表原稿作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	研究発表	発表、質疑応答、意見交換	発表原稿作成

テキスト	Ernest Hemingway. *The Complete Short Stories of Ernest Hemingway* (Scribners). アーネスト・ヘミングウェイ『われらの時代・男だけの世界』（新潮文庫） Hemingway に関する研究書及び論文

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	永野　良博
開講期	春	開講時限	水５限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	現代アメリカ小説、自由意志と主体的な生をめぐる考察、英文読解、小説へのアプローチ
授業の概要	20 世紀後半アメリカのポストモダニズムを代表する Kurt Vonnegut と John Barth による作品と、それらに関連する資料を読み、小説の研究に必要な知識を身に付ける。中心的主題は自由意志及び主体的な生をめぐる考察である。それらを中核に、戦争、生と死、時間、歴史、個人の責任、愛、倫理等の問題を論じる。作品理解を深め、独自の主題発見をし、精読により英文読解力の向上を目指す。学生同士の議論と学生による研究発表が中心となる。
達成目標（授業の目的）	文学作品の登場人物の心理と彼等の社会、歴史との複雑な関係を理解することが主な目的である。また様々な文学的主題への理解を深め、それらを文学研究者達がどのように論じ、人間性や社会に関する発見へと繋げてきたのか理解してゆく。文学作品の読み取り方、文学に関する研究論文の書き方を習得する。同時に発表力、質問力、そして意見交換を通した建設的な議論実行力を身に付ける。また文学作品の英文を読み解く力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、出来るだけ多くの主題を読み取り、独自の主題発見が出来る。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点や可能性について知り、議論を発展させることが出来る。独自の主題に基づく文学論を作成し、効果的に口頭発表出来る。英語の文学作品の読解を通して比喩的かつ重層的な文章の読解力を伸ばすことが出来る。
評価方法	授業参加（文学作品に関する議論及び英文読解）（40%）、論文（40%）、研究発表（20%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的主題の発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力が求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要。英文読解では文学作品の英文の正確な理解が必要である。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	【Kurt Vonnegut, *Slaughterhouse-Five*】時間の中の彷徨、時間と死の概念	資料講読、意見交換	小説第 1 章－2 章 ハンドアウト pp.1-3
2	第二次世界大戦、少年期再訪、復讐、死の予告	資料講読、意見交換	小説第 3 章－4 章 ハンドアウト pp.4-6
3	決定論と自由意志、個人の歴史への関わり、宇宙の終末、予定説	資料講読、意見交換	小説第 5 章－6 章 ハンドアウト pp.7-9
4	カルヴィニズム、ナチスへの徹底抗戦、不条理な死、ドレスデン爆撃の記憶	資料講読、意見交換	小説第 7 章－8 章 ハンドアウト pp.10-12
5	飛行機墜落事故と不条理な死、妻への愛、空想科学小説、自己と世界の再創造	資料講読、意見交換	小説第 9 章－10 章 ハンドアウト pp.13-16
6	主題分析まとめ、論文作成法、大学生の研究倫理	資料講読、意見交換、講義	小説全体を復習 ハンドアウト p.17
7	【John Barth, *The End of the Road*】自己喪失、選択不可能状態	資料講読、意見交換	小説第 1 章－3 章 ハンドアウト pp.18-20

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	実存主義、相対主義的世界に関する議論、内在的価値の否定	資料講読、意見交換	小説第 4 章－5 章 ハンドアウト pp.21-23
9	個人が独自の価値観と視点を持ち一貫性を保持すること、愚かさに関する議論	資料講読、意見交換	小説第 6 章－7 章 ハンドアウト pp.24-26
10	古き自己の放棄、個人の独自性、真正なる個人、姦通と動機の不在	資料講読、意見交換	小説第 8 章－9 章 ハンドアウト pp.27-29
11	神話療法、原因の探求、行動の結果への責任、個人と主体、主題分析まとめ	資料講読、意見交換	小説第 10 章－12 章、全体を復習、ハンドアウト pp.30-34
12	研究発表	発表、質疑応答	研究発表準備
13	研究発表	発表、質疑応答	研究発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	研究発表	発表、質疑応答、意見交換	研究発表準備

テキスト	Kurt Vonnegut. *Slaughterhouse 5* (Dell). カート・ヴォネガット『スローターハウス 5』（ハヤカワ書房） John Barth. *The End of the Road* (Anchor). ジョン・バース『旅路の果て』（白水社） ハンドアウト
参 考 書	諏訪部浩一『カート・ヴォネガット トラウマの詩学』（三修社） 巽孝之監修『現代作家ガイド 6 カート・ヴォネガット』（彩流社） 安河内英光『アメリカ文学とバートルビー現象―メルヴィル、フォークナー、バース他』（開文社） トマス・ピンク『哲学が分かる 自由意志（A VERY SHORT INTRODUCTION）』（岩波書店） ジャン＝ポール・サルトル『実存主義とは何か』（人文書院）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	アメリカ小説の自律的研究、独自の主題の発見とそれへのアプローチ
授業の概要	アメリカ小説を第一次資料とし、小説に学生自らが興味を持つ主題を関連させながら研究を進め、その成果を報告し、討論を行い、研究論文を作成する。学期前半には学生が研究対象として選択した小説の意義とその後に追求する研究課題を口頭発表により明らかにする。それを基に、多様な第二次資料の読解と理解を基に研究を発展させ、その成果を発表し、論文にまとめる。学生同士の議論そして学生による研究発表が中心となる。
達成目標（授業の目的）	文学作品の登場人物の心理と彼等の社会、歴史との複雑な関係を充分に理解し、自らの議論を構築してゆくことが主な目的である。様々な文学的主題に慣れ親しみ、それらを文学研究者達がどのように論じ、人間性や社会に関する発見へと繋げてきたのか理解する。春学期に修得した知識を活かし、より幅広く調査、研究を行い、自らの研究主題を発展させ、学期末に充実した研究論文としてまとめる。また文学作品の英文を読み解く力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、多くの主題を読み取り、独自の課題発見を基に主題設定することが出来る。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点や可能性について知り、議論を発展させることが出来る。独自の文学論を作成し、それを効果的に口頭発表し、充実した研究論文を提出する。英語の文学作品の読解を通して比喩的かつ重層的な文章の読解力を伸ばすことが出来る。
評価方法	授業参加（文学作品に関する議論）（20%）、論文（50%）、研究発表（30%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的主題の発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力、そして人間性や社会について新たな発見を示すことが求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要である。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	論文作成の方法、大学生の研究倫理	講義、質疑応答	論文作成重点事項に関するハンドアウトを読む
2	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
3	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
4	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
5	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
6	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
7	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
9	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
10	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
11	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
12	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
13	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	論文完成に向けた報告、課題の提示と解決	発表、質疑応答	論文最終確認

テキスト	学生が各自第一次資料及び第二次資料を選ぶ。また学生が研究発表用の資料を授業で配布する。その他、担当教員が論文作成や発表に関わる資料を必要に応じて配布する。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	平野　幸治
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	ambiguity（曖昧さ），feminism（フェミニズム），intolerance（不寛容さ），reconciliation（和解）
授業の概要	プレゼミでは 18 世紀後半の小説というジャンルの誕生と女性の作家としてまた読者としての関わりをフェミニズムの観点から研究できるように文学研究の専門用語と概念を中心に授業を展開する。テキストや DVD を使用して分析のポイントを考察し、特にフェミニズムの観点と小説の結びつきを理解する。グループに分かれ作品研究の方法と読者として解釈の主体性の在り方を討論し、学期末にはグループ・ワークによる成果を協力して発表する。
達成目標（授業の目的）	学生が、ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』（1813 年）、メアリ・ウルストンクラフトの著作『女性の権利の擁護』（1792 年）から、文学研究の専門用語とフェミニズムの概念が理解できるようになる。特にロマンス物語、ゴシック小説と小説の相違を「本当らしさ」という点に着目し、小説というジャンルの発展に貢献した女性たちの今日的意義について討議する。また William Shakespeare の作品を用いて、専門研究の知識と先行研究や研究方法の手がかりを身に付け、学期末にはグループワークの発表を行う。
到達目標（学修成果）	①学期末に学生は、作品の要約や意見が的確な英語で書けるようになる。②グループで意見を出し合い、自分の意見を相対化することができるようになる。③グループワークによって研究の知識と研究方法の手がかりを身に付け、グループで協力して発表できるようになる。④研究者としての倫理を踏まえ引用を用いた 3,000 字程度の日本語のレポートが書けるようになる。発問の仕方、作品研究の方法と英文学の知識を獲得できる。
評価方法	①毎回の授業で回収する form に的確な英語で述べる観点（28%: 2%×14 回）。②グループ・ディスカッションで書記が form に記入しその成果を発表する観点（20%: 5%×4 回）。③グループ・ワークの成果をプレゼンテーション（10 分程度の発表）する観点（22%: 11%×2 回）④各自の発表を研究者としての倫理を踏まえたレポート（3,000 字程度の日本語の文章）を学期末に提出する観点（30%:レポート 20%＋アブストラクト提出 10%）。
評価基準	評価基準の詳細は授業の初回時に説明する。基本的には以下の枠組み。 ① 上記に記述。 ② 準備学習を踏まえてグループ・ディスカッションに積極的に参加し、グループ発表に貢献しているか。 ③ プレゼンテーションは獲得した知識を活用して展開しているか。 ④ 研究者としての倫理を踏まえたレポートで過不足なく字数制限を遵守しているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション: 18 及び 19 世紀女性の作家や読者としての意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
2	Mary Wollstonecraft の著作 *A Vindication of the Rights of Women* の意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
3	Mary Wollstonecraft の *A Vindication of the Rights of Women* の多様性について	②-1 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
4	Mary Wollstonecraft の *A Vindication of the Rights of Women* の不寛容について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	作品研究『フランケンシュタイン』: 登場人物内面の展開、特に和解について	②-2 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
6	作品研究『フランケンシュタイン』: 比喩の持つ意義について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500wds）の下調べおよび DVD を視聴
7	作品研究『フランケンシュタイン』のグループ発表	③-1 グループ・ワークの発表と講評	発表原稿の整理とレジュメの作成
8	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』: 語り手の「曖昧さ」の意義について	講義とプロット・サマリーの説明	ディスカッションのための要点整理
9	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』: 語り手の「曖昧さ」の効果について	②-3 グループ・ディスカッションと発表	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
10	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』: 登場人物内面の変化と展開について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
11	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』: 登場人物の変化、特に成熟について	②-4 グループ・ディスカッションと発表	ノートの整理とレジュメの下調べと資料整理
12	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』のグループ発表	③-2 グループ・ワークの発表と講評	発表原稿の整理とレジュメの作成
13	William Shakespeare の作品研究と研究者としての倫理構築と plagiarism について	④レポートの提出と講義	原稿の整理とプリント（1500 wds）の下調べ
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	18 及び 19 世紀女性の作家や読者としての意義についてとレポート返却と講評	グループ・ディスカッションと講評	ノートの整理

テキスト	Jonathan Bate. *English Literature: A Very Short Introduction* (Oxford University Press). およびプリント配布
参 考 書	Laurie Langbauer. *Women and Romance: The Consolation of Gender in the English Novel* (Cornell UP). Merryn Williams. *Women in The English Novel 1800-1900* (Macmillan Press).

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	平野　幸治
開講期	春	開講時限	水４限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	曖昧さ（ambiguity）、比喩（metaphor）、共感（empathy）、和解（reconciliation）
授業の概要	現代のイギリス作家 Kazuo Ishiguro の作品の持つ個別性と汎用性を考慮して、作品研究を行い、その成果を活かして文学研究の専門用語が理解できるように、授業を展開する。プレゼミで用いたテキストを活用して分析のポイント、特にプロット展開や登場人物の描写と作品のテーマがどう結びつくのかを理解する。小グループで文学研究の広がりや読者としての主体性の在り方を討論し、学期末にはグループ・ワークによる成果を協力して発表する。
達成目標（授業の目的）	学生は、Kazuo Ishiguro の文学作品『日の名残り』、『私を離さないで』、『クララとお日さま』から、文学研究の専門用語と研究方法が理解できるようになる。特に彼の作品の持つ個別性と汎用性に着目し、小グループに分かれて互いに意見を出し合い、彼の作品の今日的意義についてキーワードを手掛かりに討議する。また William Shakespeare の劇『リア王』を用いて、専門研究の知識と方法の手がかりを身につけ、学期末にグループで発表の準備をする。
到達目標（学修成果）	学期末に学生は、プロット・サマリーや DVD の視聴に基に作品についてグループ・ディスカッションや 10 分程度の発表ができるようになる。他者の意見を聞くことによって自己の考えを相対化し、意見を修正し、その知見に基づいて先行研究を十分に活用し自己の体験や作品からの引用を用いて論理的に 3,000 語程度の日本語の文章が書けるようになる。上記のキーワードを理解し、活用することができるようになる。
評価方法	①グループ・ディスカッション終了時に専用フォームにグループ内の書記が記入しその成果を発表する（20%: 5%×4 回）。②グループ・ワークの成果をプレゼンテーションする（28%: 10%+10%+8%）。③グループ・ワークのプレゼンテーションをした後で、各自の発表のレポートを学期末に提出する（24%）。④毎回の授業の終了時に回収する form に授業に関する質問や意見をきちんとした日本語で述べる（28%: 2%×14 回）。
評価基準	評価基準の詳細は授業の初回時に説明する。基本的には以下の枠組み。 ① 準備学習を踏まえてグループ・ディスカッションに積極的に参加し、グループ発表に貢献しているか。 ② プレゼンテーションは獲得した知識を活用して展開しているか。 ③ 研究者としての倫理を踏まえたレポートで過不足なく字数制限を遵守しているか。 ④ 上記に記述。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション: 授業の進め方と Kazuo Ishiguro の作品の文学的意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
2	Kazuo Ishiguro の作品研究：『日の名残り』語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	①-A グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
3	Kazuo Ishiguro の作品研究：『日の名残り』登場人物の内面の変化と展開について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
4	Kazuo Ishiguro の作品研究：『日の名残り』登場人物の内面の変化、特に共感について	①-B グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
5	Kazuo Ishiguro の作品『日の名残り』の②-A グループ発表	ディスカッションを踏まえた講義	発表原稿の整理と YouTube 視聴（90 分）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	作品研究：『私を離さないで』の語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
7	作品研究：『私を離さないで』の登場人物の内面の変化と展開について	①-C グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理と YouTube 視聴
8	作品研究：『私を離さないで』の内面の変化、特に和解について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
9	Kazuo Ishiguro の『私を離さないで』の②-B グループ発表	発表と質疑応答	発表原稿の整理 YouTube 視聴（90 分）
10	作品研究：『クララとお日さま』の語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べ
11	作品研究：『クララとお日さま』の登場人物の内面の変化と展開について	発表と質疑応答と講評	ディスカッションのための資料整理
12	Kazuo Ishiguro の『クララとお日さま』の②-C グループ発表	発表と質疑応答と講評	発表原稿の整理
13	William Shakespeare『リア王』の発表の準備と研究倫理や plagiarism について	講義とプロット・サマリーの説明	③レポートの提出準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Kazuo Ishiguro の世界について及び文学研究の有用性について	返却、講評とディスカッション	配布資料の整理

テキスト	Jonathan Bate. *English Literature: A Very Short Introduction* (Oxford University Press). およびプリント配布
参 考 書	D.ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』（白水社） Stanley Wells. *Shakespeare's Tragedies: A Very Short Introduction* (OUP).

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	平野　幸治
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	ambiguity（曖昧さ），metaphor（比喩），intolerance（不寛容さ），reconciliation（和解）
授業の概要	学期前半は、William Shakespeare の劇を扱い、文学研究の専門用語と研究方法が理解できるように授業を展開する。悲劇および喜劇を各一つ取り上げ、グループでそれぞれの劇のテーマと演出の効果についてディスカッションをする。後半は、*The Hours*（『めぐり合う時間たち』）を扱い、映像と文学の観点から作品を考察する。学期末にはゼミ論文を完成し、口頭発表をする。発問の仕方、解答の仕方と文学の知識を日常的に検証する。
達成目標（授業の目的）	学期前半はゼミナール I で獲得した文学研究の方法論を William Shakespeare の劇の考察に応用し、劇のテーマと演出の効果についてグループで討議し発表してもらう。普遍性と固有性の観点から Shakespeare の作品を理解する。後半は、映像と文学という観点から *The Hours* を扱い、Virginia Woolf という作家の問題意識と先進性に焦点を当てる。学生の知的興味を刺激して、期末にはゼミ論文を完成し、口頭発表ができるよう指導する。
到達目標（学修成果）	学期末に学生は、ゼミ論文を完成し、発表ができるようになる。Shakespeare の劇の特徴を理解し、Virginia Woolf の問題意識と先進性を把握し、①ディスカッションによって問題意識と発問のスキルを獲得できるようになる。②グループで発表ができるようになる。③研究者としての倫理を踏まえ、英語の abstract を付した 5,000 字以上の論文が書けるようになる。④発問の仕方、知識を検証する習慣が身に付くようになる。
評価方法	①ディスカッション終了時に書記が記入しその成果を発表する（15%：5%×3 回）。②学期末にグループ・ワークの成果をプレゼンテーションする（27%：発表 15%＋レジュメ提出 12%）。③研究者としての倫理を踏まえたゼミナール論文（英語の abstract と 5,000 字以上の日本語）を学期末に提出（30%：アウトライン報告 5%＋ゼミ論文の中間発表 5%＋提出 20%）。④授業の終了時に回収する form に発問の仕方等を適切な英語で述べる（28%：2%×14 回）。
評価基準	評価基準は授業の初回に詳しく説明する。基本的には以下の枠組み。 ① 準備学習を踏まえてグループ・ディスカッションに積極的に参加し、グループ発表に貢献しているか。 ② プレゼンテーションは獲得した知識を活用して展開しているか。 ③ 研究者としての倫理を踏まえたゼミナール論文で過不足なく字数制限を遵守しているか。 ④ 上記に記述。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	William Shakespeare の *The Tragedy of King Lear* と *Pericles, Prince of Tyre* の作品の研究	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（2000 wds）の下調べおよび DVD の視聴
2	悲劇 *The Tragedy of King Lear* の作品研究の方向性と歴史的経緯について	①-1 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
3	喜劇 *Pericles, Prince of Tyre* の作品研究の方向性と歴史的経緯について	①-2 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
4	*King Lear* と *Pericles* の作品研究（1）と③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
5	*King Lear* と *Pericles* の作品研究（2）と③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	*King Lear* と *Pericles* の作品研究（3）と③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
7	③ゼミ論文のアウトライン報告と研究者としての倫理構築と plagiarism について	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
8	映画 *The Hours* のテーマ（和解）と Virginia Woolf の問題意識（不寛容さ）の相関性	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（2000 wds）の下調べおよび DVD の視聴
9	③ゼミ論文の中間発表（全員）	発表と質疑応答および講評	発表用の原稿作成と配布資料整理
10	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究（1）：内面、特に不寛容について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（2000 wds）の下調べおよび DVD の視聴
11	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究（2）：内面、特に和解について	①-3 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための論点整理
12	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究（3）：登場人物の成熟について	ディスカッションを踏まえた講義	プリント（2000 wds）の下調べおよび DVD の視聴
13	②グループワークの成果の発表	発表の講評、講義と③論文の回収	③ゼミナール論文の提出準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	グループワークの講評	論文の返却と講評、ディスカッション	配布資料の整理

テキスト	Jonathan Bate. *English Literature: A Very Short Introduction* (Oxford University Press). およびプリント配布
参 考 書	D.ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』（白水社） Stanley Wells. *Shakespeare's Tragedies: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、英語教育
授業の概要	私たちは、住んでいる地域、文化、年齢、ジェンダー、職業といった様々な社会的要因によって、異なる話し方をする。また、場面や相手によって巧みに話し方を変えるということも日常的に行っている。このゼミでは、主に英語と日本語について、このような社会と言語のダイナミックな関係について基礎知識を得る。社会言語学の基礎文献を読み、その内容をまとめ、発表し、ディスカッションをする力をつける。
達成目標（授業の目的）	社会言語学に関する基礎的知識を得ることを目標とする。社会言語学の理論やこれまでの研究内容を理解し、私たちの日々のことばの使用とどのような関係があるのかを考察する力をつける。また、得た知識を発表することによって効果的に他者に伝えることができるようになる。
到達目標（学修成果）	まず日本語の文献を読むことによって、分析的な思考能力、読んだものをまとめる力、レジメを作成する力、相手に効果的に伝わる発表をする力、疑問点を追求し議論をする力をつけることを目標とする。最終的には英語で書かれた社会言語学の専門的文献を理解し、日本語で要約できることを目標とする。また、課題のレポート作成によって、文献研究の行い方を学ぶ。
評価方法	授業時の積極参加（10%）、発表（30%）、レポート（30%）、要約の提出（30%）
評価基準	授業時の積極参加（10%） 　授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量 発表（30%） 　レジメの構成、レジメの内容が的確に要点を捉えているかどうか、発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方など） レポート（30%） 　複数の文献を読み、引用などの規則を適切に守り、論理的にレポートが構成されているか、レポートの内容が的確に要点を捉えているかどうか、自分の考えが明確に述べられているかどうか 要約の提出（30%） 　日本語教科書各章の要約の提出（内容のポイントを捉えているかどうか、全回提出したかどうか）、英語文献の要約の提出（英語が理解できているか、内容のポイントを捉えているかどうか）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入（社会言語学とは、授業の運営方法、発表とレジメの作成方法、要約の仕方）	講義	教科書 1-15 頁読む
2	地域による言語の違い	学生の発表 ディスカッション	教科書 19-36 頁読み要約 発表者はレジメ作成
3	言語と社会階級	学生の発表 ディスカッション	教科書 37-51 頁読み要約 発表者はレジメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	人種、民族による言語差	学生の発表 ディスカッション	教科書 52-65 頁読み要約 発表者はレジメ作成
5	言語の性差	学生の発表 ディスカッション	教科書 66-82 頁読み要約 発表者はレジメ作成
6	言語の年齢差	学生の発表 ディスカッション	教科書 83-95 頁読み要約 発表者はレジメ作成
7	言語の状況差と適切さ レポートの書き方、研究倫理教育	学生の発表、講義 ディスカッション	教科書 96-112 頁読み要約 発表者はレジメ作成
8	呼びかけ表現・ことばによる丁寧表現	学生の発表 ディスカッション	教科書 113-140 頁読み要約 発表者はレジメ作成
9	ことばのイメージ・会話スタイル	学生の発表 ディスカッション	教科書 141-175 頁読み要約 発表者はレジメ作成
10	含意と文化・非言語伝達	学生の発表 ディスカッション	教科書 176-204 頁読み要約 発表者はレジメ作成
11	社会言語学と英語教育、英語文献の読み方	学生の発表、講義 ディスカッション	教科書 205-212 頁読み要約 発表者はレジメ作成
12	What do sociolinguists study?	英語文献精読演習 ディスカッション	英語テキスト 1-8 頁精読し要約、レポート作成
13	Social factors, dimensions and explanations	英語文献精読演習 ディスカッション	英語テキスト 8-16 頁精読し要約、レポート作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括	ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中春美・田中幸子（編著）『社会言語学への招待』（ミネルヴァ書房） J. Holmes and N. Wilson. *An Introduction to Sociolinguistics, Fifth Edition* (Routledge).
参 考 書	中尾俊夫ほか（著）『社会言語学概論：日本語と英語の例で学ぶ社会言語学』（くろしお出版） 田中春美・田中幸子（編著）『よくわかる社会言語学』（ミネルヴァ書房）
その他 特記事項	12 回目と 13 回目の授業は英語での予習・復習が必要 卒業までに言語学概論を履修することを推奨する

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	近藤　佐智子
開講期	春	開講時限	水４限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、ポライトネス
授業の概要	主に英語と日本語を対象に、社会と言語のダイナミックな関係を社会言語学および語用論の観点から研究する。これまでに構築されてきた理論、研究方法、研究結果について英語で書かれた文献を読み概観し、具体的な事象に照らし合わせて先行研究の妥当性についてディスカッションを行う。学期の最後には各自選択したテーマについて文献研究を行い論文にまとめる。
達成目標（授業の目的）	社会の中で言語がどのように使用されているのかを分析できるようになるために、社会言語学および語用論の理論および先行研究の内容を理解し、それらの研究結果が妥当であるかどうかを判断できるようになる。幅広い文献を使って研究ができるようになるために、英語で書かれた専門書を読む力をつける。各自選択したテーマについて秋学期に実証研究を行う素地を作るために、文献研究を行う。
到達目標（学修成果）	英語の専門書を読み、要約や発表用レジメを作成し、内容を日本語で口頭発表することができるようになる。理論、専門用語、先行研究の内容を理解し、具体例をあげて説明やディスカッションができるようになる。各自が選択したテーマに沿った文献を探し、読み、論文の形式でまとめることができるようになる。
評価方法	文献研究論文（30%）、発表（30%）、要旨の提出（30%）、授業時の積極参加（10%）
評価基準	文献研究論文（30%） 複数の文献を読み、引用などの規則を適切に守り、論理的に論文が構成されているか。論文の内容が的確に要点を捉えているかどうか。自分の考えが明確に述べられているかどうか。 発表（30%） レジメの構成、レジメの内容が的確に要点を捉えているかどうか。発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方など） 要旨の提出（30%） 教科書各章の要約の提出（内容のポイントを捉え疑問点を明記しているかどうか、全回提出したかどうか） 授業時の積極参加（10%） 授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入、研究の進め方、文献研究論文の書き方	講義 ディスカッション	教科書 139-166 頁を読む
2	Regional and social dialects	学生の発表 ディスカッション	教科書 139-166 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
3	Gender	学生の発表 ディスカッション	教科書 167-182 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	Age	学生の発表 ディスカッション	教科書 183-193 頁読み日本語要 約、発表者はレジメ作成
5	Ethnicity and social networks	学生の発表 ディスカッション	教科書 194-213 頁読み日本語要 約、発表者はレジメ作成
6	Language change	学生の発表 ディスカッション	教科書 214-245 頁読み日本語要 約、発表者はレジメ作成
7	個人研究の進め方：文献の探し方、文献研究論文の書き方、研究倫理教育	講義 演習	個人テーマの論文作成（論文提出日まで継続）
8	Style, context and register: addressee, accommodation theory	学生の発表 ディスカッション	教科書 255-265 頁読み日本語要 約、発表者はレジメ作成
9	Style, context and register: class, style in non-Western societies, register	学生の発表 ディスカッション	教科書 266-292 頁読み日本語要 約、発表者はレジメ作成
10	Speech functions, politeness and cross-cultural communication	学生の発表 ディスカッション	教科書 293-321 頁読み日本語要 約、発表者はレジメ作成
11	Gender, politeness and stereotypes	学生の発表 ディスカッション	教科書 322-345 頁読み日本語要 約、発表者はレジメ作成
12	Sexist language	学生の発表 ディスカッション	教科書 346-358 頁読み日本語要 約、発表者はレジメ作成
13	研究報告（論文の内容と秋学期の実証研究の計画）	学生の発表 ディスカッション	発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	研究報告（論文の内容と秋学期の実証研究の計画）	学生の発表 ディスカッション	論文提出、発表準備

テキスト	J. Holmes and N. Wilson. *An Introduction to Sociolinguistics, Fifth Edition* (Routledge). 田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』（春風社）
参 考 書	飯野公一ほか『新世代の言語学—社会・文化・人をつなぐもの』（くろしお出版） 岡本真一郎『ことばのコミュニケーション—対人関係のレトリック』（ナカニシヤ出版）
その他 特記事項	英語の予習と復習が必要である。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、会話分析、実証研究
授業の概要	ゼミナールⅠで得た社会言語学および語用論に関する知識を基に、個人で研究テーマを設定し、実際に調査研究を行い、成果を「ゼミ論文」としてまとめ、口頭でも発表する。その過程で論文の書き方、研究倫理、調査方法、分析方法、発表方法について学び、論文の完成に向けて段階的に準備を行う。
達成目標（授業の目的）	言語の分析能力を身に付けるために、学生は自ら実証研究を行い、その研究の妥当性や先行研究との関連を判断できるようになることを目標とする。また、他の学生の研究発表を聞き、ディスカッションをすることによって、論理的思考をし、論理的に他者を説得することができるようになる。
到達目標（学修成果）	社会言語学や語用論の理論や先行研究をふまえて、実証研究ができるようになる。研究にあたっては、先行研究論文を批判的に読み、仮説が検証できるような研究計画を立て、データを分析し、その結果を先行研究結果と比較考察し、結論を導き出すことができるようになる。また、論理的に文章を組み立てて論文を書き、その内容を効果的な視覚的補助を用いて発表することができるようになり、他者の発表に対しても分析的な発言ができるようになる。
評価方法	実証研究論文（40%）、発表（30%）、4 回の発表のレジメ提出（20%）、授業時の積極参加（10%）
評価基準	実証研究論文（40%） テーマや仮説の設定が適切か、仮説が検証できる調査方法か、データ分析が適切か、研究結果が論理的に説明できているか、研究結果を先行研究と比較して検証しているか、定められた書式にそって書かれているか 発表（30%） 読んだ論文の報告、中間発表（1）、中間発表（2）、最終発表、の計 4 回の発表における発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか、的確に要点を捉えているかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方などが効果的か） 4 回の発表のレジメ提出（20%） 読んだ論文の報告、中間発表（1）、中間発表（2）、最終発表、の計 4 回の発表レジメの提出（内容のポイントを捉えているかどうか、全回提出したかどうか） 授業時の積極参加（10%） 授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	研究の進め方、研究倫理教育、読んだ論文の内容発表	講義、学生の発表 ディスカッション	各自論文を 1 本読み発表の準備、個人研究データ分析
2	読んだ論文の内容発表	学生の発表 ディスカッション	各自論文を 1 本読み発表の準備、個人研究データ分析
3	研究中間報告発表（1）グループ A	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	研究中間報告発表（1）グループ B	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
5	研究中間報告発表（1）グループ C	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
6	研究中間報告発表（2）グループ A	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
7	研究中間報告発表（2）グループ B	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
8	研究中間報告発表（2）グループ C ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備、ゼミ論文作成
9	最終研究発表　　グループ① ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
10	最終研究発表　　グループ② ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
11	最終研究発表　　グループ③ ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
12	最終研究発表　　グループ④	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文初稿提出
13	論文講評、論文修正、abstract の書き方	講義 論文修正	ゼミ論文の直し
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括	ディスカッション	ゼミ論文最終稿提出

テキスト	田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』（春風社） プリント『論文テーマの決定と仮説の立て方』『論文の書き方』
参 考 書	戸田山和久『新版論文の教室：レポートから卒論まで』（NHK 出版） 『近藤ゼミ論文集』

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味
授業の概要	人間のいのちについてどのような問いや関心が自分のうちに息づいているかをはっきりと自覚し、その問いを哲学的に練り上げ、考察した内容を分かりやすくグループ発表ができるようにする。ディスカッションを通して各自の研究テーマを明確にし、そのテーマについてどうすれば考えを推し進めていくことができるかを学ぶ。
達成目標（授業の目的）	哲学及び倫理学の分野における基礎的な研究姿勢を養うことが達成目標である。
到達目標（学修成果）	・互いにディスカッションを通して、理解を深めていく醍醐味を味わうことができる。 ・文献検索の方法や文献読解の手順を学び、問題を提起し探求する姿勢を身につける。 ・グループのメンバーと協力して発表を準備し、研究発表の手法を学ぶ。 ・自分の研究テーマについて小論文の形で論述展開することができる。
評価方法	①　提出課題（18%＝2%×9 回） ②　授業参画（14%＝1%×14 回） ③　グループ発表（20%） ④　期末課題（2,500 字以上のレポート）（48%）
評価基準	①　提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ②　授業参画：毎回の授業中の意見交換に積極的に参加しているかどうか。 ③　グループ発表：グループワークを通して研究関心を練り上げ、問いを提起し、その問いについて適切な文献を選び、それを正確に読解した上で、その内容の紹介とグループによる独自の考察を加えて、分かりやすく発表できるかどうか。 ④　期末課題：複数の参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて問いを提起し、先行研究を理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション	講義 自己紹介	自己紹介の準備。夏休み課題（ブックノート）の提出。
2	研究方法の紹介・文献検索及び文献読解の方法・研究倫理	講義	教科書①第 1 章を読み、ポイントを要約して提出。
3	各自の関心の確認とグループ分け	講義・グループ分け グループ作業	自分の研究関心に叶う文献を探し書誌データを記し提出。
4	グループごとの研究テーマの練り上げ テキスト批評の仕方を学ぶ	講義 グループ作業	教科書①第 2 章を読み、ポイントを要約して提出。
5	『星の王子さま』前半講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書②pp.7-94 を読み、重要ポイントを要約し提出。
6	『星の王子さま』後半講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書②pp.94-137 を読み、重要ポイントを要約し提出。
7	研究事例の紹介 グループ発表の仕方についての説明	講義 グループ作業	グループごとに研究の概要を提示する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
9	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
10	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
11	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
12	グループ発表の振り返り 個人研究への導入	講義・小論文作成のエクササイズ	個人研究のテーマと問題意識をまとめて提出。
13	研究レポート（小論文）作成の手順を学ぶ	講義・小論文作成のエクササイズ	教科書①第 3 章を読む。小論文の構成を模式図にして提出。定期試験期間に小論文提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文へのコメント ゼミ I に向けてのエクササイズ	講義・エクササイズ	教科書①をもう一度読み直しておく。

テキスト	①河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会） ②サンテグジュペリ『星の王子さま』（池澤夏樹訳）（集英社文庫）
参 考 書	授業内で適宜指摘する。
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	丹木　博一
開講期	春	開講時限	水４限			研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳
授業の概要	哲学及び倫理学の分野に関する諸問題について、学生が自らテーマを選び、研究を進める。古典を読む力を身につけ、ブックレポートを行い、互いにディスカッションを通して、テーマに関する理解を深めていく。この積み重ねによって、研究方法と発表方法を学び、文献読解、問題提起、論述の論理展開、討論に関する基礎力を身につける。
達成目標（授業の目的）	哲学及び倫理学における基本的な研究能力を身につけることが達成目標である。
到達目標（学修成果）	・毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・古典的著作を読み解く力をつけ、自ら問いを立て、理解を深めることができる。 ・研究に必要な文献を探して正しく読解し、理解内容を分かりやすく表現できる。 ・文献を批判的に読解し、自身の考えを筋道立てて研究論文の形に仕上げることができる。
評価方法	①　提出課題（20%＝2%×10回） ②　授業参画（14%＝1%×14回） ③　ブックレポート（26%） ④　小論文（4,000字以上）（40%）
評価基準	①　提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ②　授業参画：積極的に授業に参加し、議論の深化発展に寄与できるかどうか。 ③　ブックレポート：自らの問いを練り上げ、その問いに関する適切な研究文献を選び、その文献を正確に読解し、理解内容を分かりやすく表現するとともに、批判的に吟味し、自身の意見を提示できるかどうか。 ④　小論文：自らの思考の軌跡を、研究論文の形式に仕上げ、分かりやすく論述できるかどうか。
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション・文献検索の方法・テキスト批評の方法	講義	春休みの宿題（ブックノート）の提出
2	ブックレポートの方法・小論文の書き方・研究倫理・次週から読むテキストの紹介	講義 ディスカッション	研究テーマについてのアンケート提出・文献検索
3	『椿の海の記』第 1・2 章講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.9-60を要約し、問いを提起する。
4	『椿の海の記』第 3・4 章講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.61-104を要約し、問いを提起する。
5	『椿の海の記』第 5・6 章講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.105-153を要約し、問いを提起する。
6	『椿の海の記』第 7・8 章講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.154-208を要約し、問いを提起する。
7	『椿の海の記』第 9・10 章講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.209-262を要約し、問いを提起する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	『椿の海の記』第 11 章講読・テキスト批評 教科書②についての説明	講義 ディスカッション	教科書①pp.263-295 を要約し、問いを提起する。
9	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
10	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
11	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
12	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
13	論文作成のエクササイズ	講義 ディスカッション	小論文のレイアウト提出 教科書②を読んでおく。 定期試験期間に小論文提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文に対する講評 論文作成のエククサイズ	講義 ディスカッション	ゼミ論についての研究計画を提出

テキスト	①石牟礼道子『椿の海の記』（河出文庫） ②河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会）
参 考 書	田中優子『苦海・浄土・日本―石牟礼道子　もだえ神の精神』（集英社新書）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	水５限			研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳
授業の概要	自らが選んだ研究テーマをさらに絞り込み、ゼミナールⅠの研究発表において確認した各自の課題を解決することできるように、さらに研究を進めていく。各自一回研究発表を行い、時間をかけて議論をし、テーマに関する理解を深め、足りない点を自覚しながら、最終的に首尾一貫した研究論文を作成する。
達成目標（授業の目的）	哲学及び倫理学の分野における研究発表能力及び論文作成能力を身につけることが達成目標である。
到達目標（学修成果）	・　毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・　自らが提起した問いを研究的に追求し、古典を含む幅広い文献の読解に基づいて、説得力のある研究発表を行う力を身につける。 ・　他の学生からの問いに応答する力を養い、適切な批判であればそれを受け入れ、粘り強く自らの論考を練り直し、説得力のある研究論文の形に仕上げることができる。
評価方法	①　提出課題（16%＝2%×8回） ②　授業参画（14%＝1%×14回） ③　研究発表（20%） ④　ゼミ論文（18,000～20,000字）（50%）
評価基準	①　提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ②　授業参画：授業中のディスカッションに積極的に参加し、議論の創造的発展に寄与できるかどうか。 ③　研究発表：自身の哲学的・倫理学的な問いを練り上げ、先行研究を踏まえて、その問いに説得力のある回答を与えようと努めた成果を、分かりやすく発表できるかどうか。 ④　ゼミ論文：自分が提起した哲学的・倫理学的な問いについて、多様な議論に耳を傾けながら自分の立場を提示し、その妥当性について理由を挙げて論述できるかどうか。
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション・研究能力育成のためのエクササイズ・研究倫理・研究発表方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	夏休みの課題（ブックノート）提出
2	『ニコマコス倫理学』の構成と意図についてテキスト批評＋ゼミ論作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	ゼミ論レイアウト提出。教科書 pp.11-20 を読んでおく。
3	『ニコマコス倫理学』第7巻第1・2章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.91-105 を要約し、問題を提起する。
4	『ニコマコス倫理学』第7巻第3章講読・テキスト批評＋研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.106-116 を要約し、問題を提起する。
5	『ニコマコス倫理学』第7巻第4～6章講読とテキスト批評＋ゼミ論作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.118-135 を要約し、問題を提起する。
6	『ニコマコス倫理学』第7巻第7～9章講読とテキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.136-150 を要約し、問題を提起する。
7	『ニコマコス倫理学』第7巻第10～12章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.152-166 を要約し、問題を提起する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	『ニコマコス倫理学』第 7 巻第 13・14 章講読・テキスト批評＋研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.168-181 を要約し、問題を提起する。
9	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備
10	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備
11	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備
12	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備
13	研究発表の振り返り ゼミ論文の書き方	講義 エクササイズ	ゼミ論文初校提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文初校についての講評 ゼミ論作成のためのエクササイズ	講義 エクササイズ	ゼミ論文への加筆修正

テキスト	アリストテレス『ニコマコス倫理学（下)』(光文社古典新訳文庫)
参 考 書	J.O.アームソン『アリストテレス倫理学入門』(雨宮健訳)（岩波書店） 河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会)
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	森下　園
開講期	春	開講時限	水４限			研究室	4202
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	歴史学、史資料論、論文作成作法、プレゼンテーション
授業の概要	歴史学の論文集の要約発表を通して、先行研究の批判的な読み方を学ぶ。並行してゼミ研究のテーマを決め、参考資料や先行研究の収集を行い、ゼミ研究のテーマと構成を決めて発表する。テーマは歴史学領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの社会問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込むか、または社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。
達成目標（授業の目的）	①論文集の論文要約を行うことで、史資料・先行研究の探し方、批判的な読み方、発表レジュメを用いての発表の作法を学ぶ。②この要約を通して、自分の論文のテーマや構成を設定し、適切な文献・資料を選定できるようにする。③また他の学生の発表を聞いて、適切な意見を出せるようにする。
到達目標（学修成果）	①論文を読み、テーマをどのように設定し、どんな史資料を使い、どんな構成で論じているかを学び、その論文の評価とともに要約をレジュメにまとめて発表できるようにする。 ②各自の研究テーマを設定し、参考文献・資料を選定し、発表の構成を組み立てられるようにする。 ③発表への質疑応答の仕方を学ぶ。
評価方法	①要約発表：40% ②ゼミのテーマ・参考文献の選定・ゼミ論文の構成発表：20% ③要約発表、ゼミテーマ発表への質疑応答：4%×10回＝40%
評価基準	①要約発表：必要な下調べ、批判的な読み方、適切なレジュメ作成、発表ができているか ②ゼミのテーマ発表：テーマと参考文献は適切であるか、構成をきちんと考えているか ③他の学生の発表に対し、積極的に質問や意見を出しているか
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ゼミの概要説明、研究倫理についての説明、要約発表の割り当て	講義、質疑応答	要約発表準備
2	要約発表のレジュメ作成の仕方、参考文献の探し方、発表の仕方の注意	講義、質疑応答、ディスカッション	要約発表準備
3	要約発表①	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
4	要約発表②	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
5	要約発表③	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
6	要約発表④	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
7	要約発表⑤	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
8	要約発表⑥	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	ゼミ論文のテーマ設定と構成、参考文献リストと引用註についての説明	講義、質疑応答、ディスカッション	ゼミ論文テーマ発表準備
10	ゼミ論文のテーマ発表①	ゼミ論文テーマ発表、質疑応答、講評	ゼミ論文テーマ発表準備
11	ゼミ論文のテーマ発表②	ゼミ論文テーマ発表、質疑応答、講評	ゼミ論文テーマ発表準備
12	ゼミ論文のテーマ発表③	ゼミ論文テーマ発表、質疑応答、講評	ゼミ論文テーマ発表準備
13	ゼミ論文のテーマ発表④	ゼミ論文テーマ発表、質疑応答、講評	ゼミ論文テーマ発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	今学期の振り返りと反省、夏休みの研究計画発表	研究計画発表、質疑応答、講評	夏休みの研究計画作成 学修ポートフォリオ用意

テキスト	上智大学史学科編『歴史家の調弦』（Sophia University Press）
参 考 書	小笠原喜康『最新版　大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	水５限			研究室	4202
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	歴史学、プレゼンテーション、論文作成
授業の概要	ゼミⅠに引き続き、各自が選んだ研究テーマにそって個人報告を行い、内容をゼミ論文にまとめる。トピックは、歴史学などの専門領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの時事問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込む、または社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。
達成目標（授業の目的）	①研究に必要な文献・資料を自ら選定して読み込み、発表レジュメを用いた研究報告として発表できるようにする。②文献・資料を適切に使用し、引用註を付したゼミ論文を作成できるようにする。③他の学生の発表に対して、適切な質問と意見を出せるようにする。
到達目標（学修成果）	①春学期のゼミ論文テーマ発表を発展させ、レジュメを作成し、アカデミックなスタイルでの中間研究報告ができるようになる。②発表内容を、文献・資料を引用し、引用註をつけたアカデミックな書式でのゼミ論文にまとめることができる。③他の学生の発表に対して適切な質問や意見表明をし、自分が受けた質問などから改善点を学べるようになる。
評価方法	①レジュメを用いた中間研究報告：15%×2 回＝30% ②A4 で 10 枚以上、参考文献リスト、引用註つきのゼミ論文：40% ③報告に対する意見・質問：3%×10 回＝30%
評価基準	①テーマが適切に設定され、必要な参考文献・資料を参照しているか、構成が適切であるか、発表レジュメが適切に作成されているか ②ゼミ論文の書式・締め切りを守り、参考文献を踏まえて自分なりの結論に至っているか ③積極的に質問・意見を述べているか
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏季休暇中の成果報告、研究倫理についての説明、中間報告についての説明	発表、講義、質疑応答	成果報告準備 中間研究準備
2	ゼミ論文の構成と中間報告についての具体的な説明	講義、質疑応答	中間研究報告準備
3	ゼミ論文の 1 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
4	ゼミ論文の 1 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
5	ゼミ論文の 1 回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
6	ゼミ論文の 1 回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
7	ゼミ論文の 1 回目中間報告⑤	発表、質疑応答、講評	中間研究報告準備
8	ゼミ論文の書式、構成、引用註、表の扱いについて	講義、質疑応答、ディスカッション	2 回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
9	ゼミ論文の 2 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	2 回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	ゼミ論文の２回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	２回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
11	ゼミ論文の２回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	２回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
12	ゼミ論文の２回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	２回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
13	ゼミ論文の２回目中間報告⑤	発表、質疑応答、講評	２回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文の講評 振り返りと研究の総括	ゼミ論文の相互講評、 教員の講評	ゼミ論文振り返り ゼミ論文加筆修正

参 考 書	小笠原喜康『最新版　大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-③, 5-①

キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティ、言語教育政策、多文化共生
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、基礎的な事柄を学ぶ。なんらかのサービスラーニングを並行して行い、地域社会の課題を認識し、授業で学んだことを用いて地域の課題解決に向けてアクティブラーニングを行う。
達成目標（授業の目的）	本科目は、「多文化共生とバイリンガリズム」に関する知識を深め、身近に存在する多文化を持つ人々に目を向け、共生社会の現状や課題について批判的に考える力を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	学生は、学期の終わりまでに、バイリンガルの言語発達や母語保持、アイデンティティ形成などの理論を理解できるようになる。また、多文化化が進む地域の例として、秦野市における言語マイノリティの子どもの環境の特徴や教育課題を理解し、自らの地元などと比較して意見を述べられるようになる。
評価方法	①　授業への積極参加：30% ②　プレゼンテーション：20% ③　期末レポート：50%
評価基準	①　授業への積極参加：自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか、具体的、建設的な意見を述べることで、議論に貢献したかどうかを評価する。 ②　プレゼンテーション：テーマに対して論理的に説明できているか、内容は授業で学んだ理論や事例を適切に反映しているかを評価する。 ③　期末レポート：バイリンガルの言語発達やことばとアイデンティティについて、先行研究を引用し、批判的に分析できているかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	B：第 1 章　ハーフ・ダブル・ミックスルーツ　日本人っていったい誰？	講義、グループディスカッション、質疑応答	B：第 1 章を読み、要点をまとめてくる。
2	A：第 1 章　文化間移動と子どもの言語発達 B：第 2 章　戦争と難民　国を追われる人々	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 1 章と B：第 2 章を読み、課題の質問に答える。
3	A：第 2 章　日本に住む多文化家庭 B：第 3 章　ヘイトスピーチ	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 2 章と B：第 3 章を読み、課題の質問に答える。
4	A：第 2 章　日本に住む多文化家庭 B：第 4 章　移民政策　日本で働きたい	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 2 章と B：第 4 章を読み、課題の質問に答える。
5	A：第 3 章　子どものアイデンティティ交渉 B：第 5 章　外国人の子どもの貧困	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 3 章と B：第 5 章を読み、課題の質問に答える。
6	A：第 3 章　子どものアイデンティティ交渉 B：第 6 章　戦争責任　私たちは関係ない	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 3 章と B：第 6 章を読み、課題の質問に答える。
7	A：第 4 章　ブラジルの日系人と在日ブラジル人、B：第 7 章　国家と国民	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 4 章と B：第 7 章を読み、課題の質問に答える。
8	A：第 4 章　ブラジルの日系人と在日ブラジル人、B：第 8 章　領土問題	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 4 章と B：第 8 章を読み、課題の質問に答える。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	A：第 5 章　ことばとアイデンティティ 1 B：第 9 章　アイヌと沖縄　日本の先住民族	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 5 章と B：第 9 章を読み、課題の質問に答える。
10	A：第 5 章　ことばとアイデンティティ 2 B：第 10 章　未来への選択	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 5 章と B：第 10 章を読み、課題の質問に答える。
11	A：第 6 章　多文化共生社会の実現にむけて	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 6 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
12	A：第 7 章　多様化する外国籍の子どもと多文化教育の変容	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 7 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
13	A：第 8 章　文化・ことばと国際理解教育 第 9 章　国際理解教育の実践	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 8 章と第 9 章を読み、課題の質問に答える。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	プレゼンテーションとまとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備

テキスト	A：宮崎幸江（2014）『日本に住む多文化の子どもと教育―ことばと文化のはざまで生きる―』（上智大学出版） B：「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会（2020）『まんが　クラスメートは外国人　課題編―私たちが向き合う多文化共生の現実―』（明石書店）
参 考 書	毎日新聞取材班（2020）『にほんでいきる―外国からきた子どもたち』（明石書店）
その他 特記事項	春学期に「SL 入門講座」を未履修の学生は秋学期に履修する。本ゼミナールを受講する学生は、在学中に「サービスラーニング（地域日本語支援 A B）」もしくは「サービスラーニング（小中学校日本語支援 A B）」を履修することが求められる。ただし、抽選に落選し履修できない場合には科目を履修せずに、火曜日または金曜日の 5 限のコミュニティフレンドに参加することで代わりとすることができる。詳細はアドバイザーと個別に相談すること。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	水５限			研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-①

キーワード	移民、バイリンガリズム、言語マイノリティ、言語教育政策、多文化共生
授業の概要	日本における移民の子どもの教育について基礎的な事柄を学ぶ。サービスラーニングを並行して行い、地域社会の課題を認識し、授業で学んだことを用いて地域の課題解決に向けてアクティブラーニングを行う。
達成目標（授業の目的）	本科目は、「多文化共生とバイリンガリズム」について、移民という視点からみた教育問題に関する知識を深め、多文化共生社会の現状やバイリンガリズムに関する課題について批判的に考える力を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	学期の終わりには、日本における言語マイノリティを対象とした教育の種類と課題を理解できるようになる。また、ゼミナール論文に向けて、多文化共生とバイリンガリズムの領域からテーマを見つけ、文献を読めるようになる。
評価方法	① 授業への積極参加：30% ② 口頭発表：20% ③ 期末レポート：50%
評価基準	① 授業への積極参加：自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか。具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献したかどうかを評価する。 ② 口頭発表：学期中に 1～2 回担当箇所について、宿題の質問を発表する。 ③ 期末レポートと発表：ゼミナール II で取り組む研究テーマについて概要をまとめる。研究課題の設定の妥当性、先行研究が適切かどうかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	序章　グローバル時代の国際移動と変容する日本社会、研究倫理について	講義、グループディスカッション、質疑応答	序章を読み、要点をまとめてくる。
2	第 1 章　オールドカマー：その歴史が問いかけるもの	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 1 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
3	第 2 章　ニューカマー：加速する日本社会の多文化化	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 2 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
4	第 3 章　海外帰国生：教育問題の変遷と新たな動向	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 3 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
5	第 4 章　留学生：日本における外国人留学生と日本からの海外留学	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 4 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
6	第 5 章　家族：多様な文化と教育戦略	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 5 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
7	第 6 章　学校：子どもの生きにくさから考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 6 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
8	第 7 章　地域：見慣れた風景を見直す	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 7 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第 8 章　労働市場：それはいかに移民の教育と関係するのか	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 8 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
10	第 9 章　トランスナショナルな生活世界：往還する日経ブラジル人の教育経験から	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 9 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
11	第 10 章　グローバル社会と教育格差：東アジアにおける教育移住を手がかりに	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 10 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
12	第 11 章　移民国家アメリカの多文化教育：多様性の尊重と社会的公正をめざして	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 11 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
13	第 12 章　多文化共生と日本の学校教育（施策編）	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 12 章を読み、課題の質問の答えを書いてくる。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	夏休みの研究計画を書く

テキスト	額賀美沙子他（2019）『移民から教育を考える　子どもたちを取り巻くグローバル時代の課題』（ナカニシヤ出版）
参 考 書	坂本光代（2021）『多様性を再考する―マジョリティに向けた多文化教育』（上智大学出版）
その他 特記事項	本ゼミナールを受講する学生は、在学中に「サービスラーニング（地域日本語支援 A B）」もしくは「サービスラーニング（小中学校日本語支援 A B）」を履修することが求められる。ただし、抽選に落選し履修できない場合には科目を履修せずに、火曜日または金曜日の 5 限のコミュニティフレンドに参加することで代わりとすることができる。詳細はアドバイザーと個別に相談すること。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	水 5 限			研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-①

キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、言語教育政策、多文化共生
授業の概要	ゼミナール II では、日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、1 年かけて自主的に学んだことを発展させて研究を行う。先行研究の読み方、研究課題の絞り方、調査方法と結果のまとめ方等についても授業で段階的に学び、学年末にゼミナール論文を書く。
達成目標（授業の目的）	本科目は、1 年次から参加してきた、コミュニティフレンドまたはカレッジフレンドでの経験と、ゼミナール I、プレゼミナールで学んだ知識を統合し、多文化共生社会の現状や課題について批判的に考える、論文にまとめる力を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	学期終了までに、先行研究を読み進め、自分の選んだ研究テーマについての考察を深め、理論やデータを基にゼミナール論文を執筆できるようになる。他の人の研究に対してディスカッションする力やプレゼンテーションのスキルも修得する。
評価方法	① 授業への積極参加：20% ② 口頭発表（中間発表＋最終発表）：30% ③ ゼミナール論文：50%
評価基準	① 授業への積極参加：授業で扱う文献を読んでディスカッションに望んでいるか、質問ができるか、討議の活性化に貢献しているかどうかで評価する。 ② 口頭発表（中間発表＋最終発表他）：中間発表では、各自の研究の進捗についてポイントをのべ、研究を進めるために足りないものは何かを的確に掴めているかを評価する。最終発表では、論文全体の構成や内容について評価する。 ③ ゼミナール論文：テーマにあった先行文献が選ばれているか、論拠にそって意見がまとめられているか、引用や出典が適切に示されているかなどを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏休みの研究報告 1 回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼンの準備をする。
2	夏休みの研究報告 1 回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼンの準備をする。
3	夏休みの研究報告 1 回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼンの準備をする。
4	卒業研究の計画：論文の構成とアウトライン、先行研究の選び方について	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み。
5	文献購読 1 各自の選んだ文献の発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み。
6	文献購読 2 文献の内容について発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み。
7	論文の構成を考える 選んだ文献の要約を書き方	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み。
8	ゼミナール論文の書き方 論点の絞り方、アウトラインについて	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、発表準備。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	ゼミナール論文アウトライン発表 構成の修正方法	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、発表準備、アウトライン作成。
10	卒業研究中間発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、発表準備、論文作成。
11	卒業研究中間発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、発表準備、論文作成。
12	ゼミナール論文の書き方：データ分析、引用、参考文献の書き方	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、発表準備、論文作成。
13	ゼミナール論文の書き方：フォーマットの整え方	発表と質疑応答、ディスカッション	論文の推敲。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	最終発表、まとめ	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備、論文の推敲。

参 考 書	荒牧重人他（2017）『外国人の子ども白書―権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』（明石書店） 田中宝紀（2021）『海外ルーツの子ども支援―言葉・文化・制度を超えて共生へ』（青弓社）
履修条件、前提科目	1 年次から継続してきたサービスラーニングから、地域の課題解決に向けたアクティブラーニングを行い、卒業研究とする。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4203
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-③, 5-②

キーワード	コミュニカティブな言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、言葉の教育、習得、運用の観点から言葉と人との関わりを扱う。プレ・ゼミナールでは各自が自ら興味のあるテーマで研究を進める土台づくりとなる知識を第二言語習得の観点から学び、そこから幅広く発展する分野の知識と関心を深め、2 年次のゼミナールへの土台となる力を養う。
達成目標（授業の目的）	興味関心のあるテーマについて文献を読み、文献資料に基づいて発表を行い、質疑応答ができるようになる。さまざまな関連テーマの内容について読み、調べ、発表することを通して言語学と言語習得の基礎について学ぶ。発表を通して効果的なプレゼンテーションのスキルを学ぶ。グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養う。
到達目標（学修成果）	グループや個人での発表を通して、発表準備の手順を学び、聞き手にわかりやすく伝わる発表に不可欠な要素について体得する。資料を読み、理解を深め、内容をアウトラインとしてまとめレジュメを作成する過程で専門知識を深める。他の学生の発表を聞き的確な質問やコメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢（30%）、②リアクションペーパー及び相互フィードバック（30%）、③グループおよび個人プレゼンテーション（20%）、④期末課題（20%）。
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、的確な表現で文章化できる。 ③特定のテーマについて資料や文献を調べ、聞き手が内容を理解しやすい構成とヴィジュアル資料を作成し、興味・関心を共有できるように準備し発表、質疑応答を行える。 ④テーマに沿って調べた内容やテキストの要約を、読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。さらに、発表等に活用することを念頭に置いて、所定の書式に沿って資料として作成できる。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 発表グループと分担決め	講義、 グループワーク	テキスト通読
2	テキストの読み進め方、具体的な発表の手法、研究倫理について指導	グループワーク	テキスト通読 発表準備
3	テキスト第 1 章・第 2 章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
4	テキスト第 3 章・第 4 章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
5	テキスト第 5 章・第 6 章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	テキスト第 7 章・第 8 章・第 9 章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	テキストの総括、ブックレポートについて発表の進め方の指導	講義、講評、 ディスカッション	相互フィードバック準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ブックレポート発表・フィードバック（1）	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
9	ブックレポート発表・フィードバック（2）	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
10	ブックレポート発表・フィードバック（3）	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
11	次年度ゼミナールに向けて興味・関心のある分野をディスカッションを通して考える	グループワーク、講評、 ディスカッション	ブックリスト提出準備 リアクションペーパー
12	次年度ゼミナールに向けて・ブックリスト発表（1）	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、ブックリスト リアクションペーパー
13	次年度ゼミナールに向けて・ブックリスト発表（2）	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、ブックリスト リアクションペーパー
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	振り返り活動とまとめ	グループワーク、 発表、まとめ	振り返りと総括（レポートとして提出）

テキスト	新多 了『「英語の学び方」入門』（研究社）
参 考 書	石井一成『大学生のためのレポート・論文の書き方』（ナツメ社）

科 目 名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	C. Oliver
開 講 期	秋	開講時限	水 2 限			研 究 室	4205
分 類	必修	単 位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-③

キーワード	multiculturalism, immigration, ethnicity, identity, vocabulary, presentation skills
授業の概要	In this course, students will read about and discuss various topics related to multiculturalism—such as immigration, ethnicity, discrimination, and cultural identity. While doing so, students will build up their English vocabulary, improve their ability to discuss complex cultural and social issues in English, and develop their basic research skills. Each student will do three presentations in English during the semester.
達成目標（授業の目的）	Students will learn about “multiculturalism” in various countries, improve their ability to understand and discuss social and cultural issues in English, and develop basic research and presentation skills.
到達目標（学修成果）	・ appropriately use key English vocabulary from readings related to social and cultural issues; ・ summarize important information from readings about social and cultural issues; ・ express one’s own views on multiculturalism-related issues in the world today; ・ appropriately use information from books or other research sources; ・ organize information from research into an outline for a presentation; ・ deliver a short, well-organized presentation with good delivery.
評価方法	Participation (35%), Homework (35%), Presentations (30%).
評価基準	・ Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views; ・ Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views, appropriate use of information from research sources; ・ Presentations: appropriate use of vocabulary, summarizing of information, expression of own views, organization (including “preview” in Introduction) of spoken presentation and printed outline, appropriate use of research sources, good delivery (including voice, eye contact, etc.).
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation to the course. Perspectives on multiculturalism. Explanation of Mini Research Project.	explanation by teacher, small-group work	Read the course syllabus. Review handouts.
2	Mini-Research Project about one country. Presentation basics #1 (basic organization, delivery, visuals). Explanation of upcoming Presentation #1.	lecture, small-group discussion	Do light research, prepare homework.
3	Presentation #1 (half of students).	presentations, small-group discussion	Prepare presentation.
4	Presentation #1 (other half of students).	presentations, small-group discussion	Prepare preparation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Explanation of Presentation #2. Presentation basics #2 (“preview” of presentation content, etc.). Research basics / ethics (using sources, avoiding plagiarism.)	lecture, small-group work, in-class writing	Review handouts distributed in class today; start preparing for Presentation #2.
6	Case study: reading and discussion.	small-group discussion, lecture	Read case study material. Prepare Fact Sheet (Canada / Australia).
7	Readings and discussion. Presentation #2: Settler-states (Canada, Australia, Brazil, Mexico).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Sweden / France).
8	Readings and discussion. Presentation #2: Europe zone (England, France, Sweden, Turkey). Explanation of Presentation #3.	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Malaysia / Indonesia).
9	Readings and discussion. Presentation #2: Asian cases (Malaysia, Indonesia, India, Philippines).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Switzerland / South Africa).
10	Readings and discussion. Presentation #2: Other complicated cases (Switzerland, South Africa, Israel, Egypt).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary.
11	Preparation for Presentation #3.	individual guidance from teacher, in-class writing	Decide topic for presentation. Do research for presentation. Prepare outline.
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Recap of semester. Overview of Seminar I and Seminar II.	small-group work, in-class writing, lecture	Review materials studied to date.

テキスト	Handouts (mainly news articles) will be provided by the teacher. To prepare for presentations, students will find books or other materials to read.
参 考 書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press). *English Essentials: An Academic Skills Handbook* (Sophia University Junior College Division).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in the classroom) or before the start of class (if online).

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	水５限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	multiculturalism, research skills, presentation
授業の概要	Building upon what students learned in the Pre-seminar, in this course students will investigate various key issues related to multiculturalism. These may include, for instance, illegal immigration, ethnic identity, religious intolerance, racism, language laws, and multicultural education. Through independent study and presentations during the semester, students will develop their research and academic presentation skills.
達成目標（授業の目的）	Students will learn to summarize, organize, present, and ask questions about information that they have found in books and other sources. They will also improve their ability to discuss their own study / career interests.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students will be able to summarize both general and specific information about an issue and about that issue in a specific country; ask good questions to guide their own future study of an issue; prepare a well-organized outline for a presentation; do a well-organized 7-10 minute presentation with good delivery; discuss their own study / career interests in relation to specific universities / companies that they would like to enter.
評価方法	Participation (45%), Written work, including presentation handouts (20%), Presentations (35%).
評価基準	・ Participation: active involvement in everyday discussions and other class activities; effort to regularly use English; shows improvement in ability to discuss study / career interests; ・ Written work: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes both general and focused information, well organized, includes appropriate study questions; ・ Presentations: appropriate topic, appropriate length, summarize both general and specific information, well organized (following outline and including a preview), include appropriate study questions, demonstrate good delivery (eye contact, voice, etc.).
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation: perspectives on multiculturalism. Explanation of Presentations #1 and #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Read syllabus carefully. Review presentation explanation.
2	Talking / writing about one's study / career interests (with follow-up in class 6). Review: research basics / ethics.	lecture, small-group discussion	Review class notes, begin preparing for presentation. Write presentation Topic Sheet.
3	Presentation #1. Topics: (1) Immigration and (2) Identity.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
4	Presentation #1. Topics: (3) Religion and (4) Attitudes / Ideologies.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
5	Presentation #1. Topics: (5) Policies / Laws and (6) Social Action and Organizations.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
6	Asking good questions for research. Discussing one's study / career interests (follow-up from class 2). Explanation of Presentation #3.	lecture, small-group discussion, individual guidance from teacher	Review class notes, prepare written statement of study / career interests.
7	Presentation #2. Topics: (1) Immigration, (2) Identity, and (3) Religion.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Presentation #2. Topics: (4) Attitudes / Ideologies, (5) Policies / Laws, and (6) Social Action and Organizations.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
9	Research basics / ethics: using information from sources (avoiding plagiarism). Discussion of research progress for Presentation #3.	lecture, small-group work	Review class notes. Write Reading Report (on material related to Presentation #3).
10	Presentation preparation. Discuss research progress for Presentation #3.	small-group discussion, individual guidance	Write presentation Topic Sheet. Write Reading Report (on material related to Presentation #3).
11	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Recap of Spring semester. Planning for Fall semester (including Seminar II Research Project Topic sheet).	explanation by teacher, small-group discussion	Review class notes, handouts.

テキスト	None. To prepare for presentations, students will select their own materials to read.
参 考 書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in classroom) or before the start of class (if online).

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水５限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	multiculturalism, independent research project, presentation, report
授業の概要	In this course, each student will do an independent research project on a topic related to multiculturalism. For this, students will choose their own topic, think of their own research question, and find related books and other materials to read. In addition to two short presentations, each student will also do a longer final presentation and write a report about her research findings.
達成目標（授業の目的）	Students will develop their ability to do an independent research project and to discuss their study interests.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to: ・ formulate a suitable question for an independent research project; ・ conduct reading-based research focused on that research question; ・ summarize key information related to the research topic; ・ describe and analyze “data” related to the research topic; ・ organize information in a manner suited to a research report; ・ explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials.
評価方法	Participation (25%), Homework (25%), Presentations (25%), Report (25%).
評価基準	・ Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, effort to explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials; ・ Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes key information related to the research topic; ・ Presentations and Report: suitability of research question; evidence of research focused on the research question; summarizing of information related to the research topic; description and analysis of “data” related to the research topic; organization of information.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Overview of Fall semester. Discuss Research Project Topic prepared by each student. Explanation of presentation #1.	explanation by teacher, small-group discussion	Prepare “Research Project Topic” document in advance.
2	Talking / writing about one’s studies, school life, and future vision. Explanation of Presentation #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare SOP worksheet.
3	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
4	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
5	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
7	Short presentation #2: describing and analyzing “data.” Explanation of final presentation.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
8	Organizing your final Seminar report. Review research basics / ethics: avoiding plagiarism.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
9	Writing an Introduction (including “thesis statement”) and Conclusion.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
10	Prepare for final presentation, final Seminar report	individual guidance from teacher	Write draft of presentation outline.
11	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
12	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
13	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Collection of Seminar report. Recap of semester.	small-group discussion, in-class writing	Finish writing final Seminar report.

テキスト	None. For their own independent research projects, students will choose their own books and other materials to read.
参 考 書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in classroom) or before the start of class (if online).

<table>
<tr><td>科 目 名</td><td colspan="4">SES150:　プレ・ゼミナール</td><td>担当教員</td><td colspan="2">神谷　雅仁</td></tr>
<tr><td>開 講 期</td><td>秋</td><td>開講時限</td><td colspan="2">水 1 限</td><td>研 究 室</td><td colspan="2">4215</td></tr>
<tr><td>分 類</td><td>必修</td><td>単 位</td><td>2</td><td>標準受講年次　1 年</td><td>オフィスアワー</td><td colspan="2">履修要覧 P.19～P.20 を参照</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DP 及び
学修成果</td><td>DP 分類</td><td colspan="4">DP（卒業認定・学位授与の方針）概要</td><td colspan="2">学修成果獲得の観点</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="4">専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。</td><td colspan="2">4-③</td></tr>
<tr><td>キーワード</td><td colspan="7">英語力の向上、アカデミック・スキルズの鍛錬、言語学の学び、自己研究の基礎、研究倫理</td></tr>
<tr><td>授 業 の
概 要</td><td colspan="7">本講は言語学の分野に関する基礎的な知識の習得、英語力の向上、アカデミック・スキルズのトレーニングという 3 つの大きな柱から構成されている。学生たちは英語で書かれたテキストの担当チャプターをレジュメにまとめ、口頭発表をすることで言語学に関する諸々の基本的概念を理解する。同時に、英字新聞などの記事を題材にした言語活動を通し、英語力を高めていく。また、専門的な学びに不可欠な研究倫理や批判的思考についても触れる。</td></tr>
<tr><td>達成目標
（授業の目的）</td><td colspan="7">学生はチャプター・プレゼンテーションを通し、発表の仕方やレジュメの作り方、また発表後のディスカッションの仕方を学び、実践する。同時に英語で書かれたテキストを通し、専門的な内容を英語で読むということへの慣れができる。また英字新聞や雑誌の記事を使い、chunk-reading・chunk-writing、記事の和訳、英語での reaction 作成などの言語活動をする中で英語力の底上げも可能となる。そしてゼミナールⅠ、Ⅱで扱うことになる言語学の領域（社会言語学を含む）を概観することで、この分野の基礎をしっかりと固めることができる。</td></tr>
<tr><td>到達目標
（学修成果）</td><td colspan="7">学生たちはプレゼンテーションに向けた準備を通し、英語で書かれたテキストをまとめ、レジュメを作成することができるようになる。ディスカッションについても、オーディエンス（聞き手）として単なる意見交換をするのではなく、発表の内容をクリティカルにとらえ、自らの意見や見解を発表者にわかりやすく伝えられるようになる。英語学修に関しては、英語の文構造や語の配列を徹底的に学ぶことで、英語の読解力が向上する。最後に、チャプター・プレゼンテーションとチャプター・サマリーを通し、言語学の分野の全体像および個別の理論や考え方についての理解を深め、その後の自己研究へとつなげられるようになる。</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="7">・英語の課題（Article Note）：20%
・Vocabulary quiz（英語のボキャブラリー・クイズ、計 5～6 回）：20%
・Chapter presentation and discussion（口頭発表 & その後のディスカッション）：30%
・Chapter summary（指定されたチャプターの要約）：10%
・Term paper（期末リポート）：20%</td></tr>
<tr><td>評価基準</td><td colspan="7">・英語の課題：英語で書かれた新聞や雑誌等の記事を題材に、読む、書く、和訳、ボキャビルの総合的言語学修が毎週課せられ、十分な量と回数が実行できたかどうかが問われる。
・Vocabulary quiz：TOEIC Test 用の頻出 vocabulary 学修が日々課せられるが、毎回の quiz で 100～150 語程度の語句の理解、定着がチェックされる。
・Chapter presentation and discussion：自らが担当するチャプターの内容が、適切な構成のもと、見やすいかたちでレジュメにまとめられているか、また大学レベルにふさわしい口頭発表の様式を取っているかが問われる。主な評価点としては概念や理論を含めた用語の定義が言語例とともに説明されているか、レジュメの基本的な構成・書き方に沿っているか、著者による見解と自分の考えが明確に区別されているか、参考文献リストがあるかどうか等である。同時に audience からの質問に的確に答えているかも問われる。
・Chapter summary：発表者以外は全員その週の発表チャプターを読み、そのサマリーを提出することが課せられる。提出回数およびセクションごとのサマリー、および指定された exercise の解答の出来によって評価される。
・Term paper（学期末レポート）：自らが Chapter presentation で扱ったテーマについて、さらに文献を読み、より深く、広いスコープでレポートに仕上げられているかが問われる。</td></tr>
<tr><td>準備学修
の時間</td><td colspan="7">本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。</td></tr>
</table>

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview 授業を概観する：目標・課題の確認	Lecture, discussion	Read the first section of the textbook
2	On Pre-seminar: Introduction Talking about learning academic skills 研究倫理について Voc. Quiz 1（解説含む）	Lecture, discussion, group work, doing exercises	Review the handout, Start the assignments, vocabulary
3	What is Linguistics? 言語学とは	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 1): read and write a summary
4	How English Has Changed over the Centuries <History of English>　英語の歴史	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 2): read and write a summary
5	The Sounds of English <Phonetics and Phonology> 言語音 Voc. Quiz 2（解説含む）	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 9): read and write a summary, vocabulary
6	How Words Are Made <Morphology>　語形成	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 3): read and write a summary
7	How Words Mean <Semantics 1>　語の意味	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 4): read and write a summary, vocabulary
8	How English Phrases Are Formed <Syntax 1> 句構造・文構造 Voc. Quiz 3（解説含む）	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 5): read and write a summary
9	How Sentences Mean <Semantics 2> 句・文の意味	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 7): read and write a summary
10	How to Communicate with Other People <Pragmatics>　発話の意味 Voc. Quiz 4（解説含む）	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 8): read and write a summary, vocabulary
11	Regional Varieties of English <Sociolinguistics 1>　地域方言	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 10): read and write a summary
12	English in Society <Sociolinguistics 2>　社会方言 Voc. Quiz 5（解説含む）	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 11): read and write a summary, vocabulary
13	How Englsih is Acquired <Psycholinguistics> 言語習得 Voc. Quiz 6（解説含む）	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 12): read and write a summary
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Course review まとめ	Students' reflection based on the portfolio	Review of the course and write the portfolio

テキスト	影山太郎、ブレント・デ・シェン、日比谷潤子（著）*First Steps in English Linguistics*（くろしお出版）
参 考 書	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社） 飯野公一ほか（著）『新世代の言語学』（くろしお出版）
その他 特記事項	「言語学概論」の科目を履修済み、あるいは同時履修が望ましい。

<table>
<tr><td>科 目 名</td><td colspan="4">SES200:　ゼミナールⅠ</td><td>担当教員</td><td colspan="2">神谷　雅仁</td></tr>
<tr><td>開 講 期</td><td>春</td><td>開講時限</td><td colspan="2">水４限</td><td>研 究 室</td><td colspan="2">4215</td></tr>
<tr><td>分 類</td><td>必修</td><td>単 位</td><td>2</td><td>標準受講年次</td><td>２年</td><td>ｵﾌｨｽｱﾜｰ</td><td>履修要覧 P.19～P.20 を参照</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DP 及び
学修成果</td><td>DP 分類</td><td colspan="4">DP（卒業認定・学位授与の方針）概要</td><td colspan="2">学修成果獲得の観点</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="4">専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。</td><td colspan="2">4-④</td></tr>
<tr><td>キーワード</td><td colspan="7">社会言語学、言語変種、アカデミック・スキルズの鍛錬・強化、批判的考察、研究倫理</td></tr>
<tr><td>授 業 の
概 要</td><td colspan="7">学生は社会言語学という専門分野の内容を題材に、専門書を英語で読む、自己研究テーマに沿って発表をする、様々な言語事象についてディスカッションをする、専門分野に関するレポートを作成するなどのアカデミック・スキルズ修練のための活動をおこなう。学期前半は社会言語学に関する指定テキスト（洋書）を輪読しながら、多言語社会や言語政策、また言語のバリエーション等のテーマについて学び、後半は前半で学んだ内容の中から各自がテーマをひとつ選択し、そのテーマに沿って文献を調べ、まとめ、そして発表を行う。</td></tr>
<tr><td>達成目標
（授業の目的）</td><td colspan="7">学生は計2回の発表を通し、言語とその使用に関するテーマについて広く深く学ぶと同時に、分析的・批判的に物事を考察することができるようになる。そして自分が理解した内容や得た知識を相手に分かりやすく伝えることができるようになる。また社会言語学的な視点から自分たちの母語や学習言語についての理解を深め、最終的には自己研究へ向けたテーマ設定や問題提起ができるようになる。</td></tr>
<tr><td>到達目標
（学修成果）</td><td colspan="7">学生は発表を通して意見の整理の仕方、レジュメの作成、効果的な発表の方法、先行文献の使い方、発表後のディスカッションや質疑応答の進め方などについて学び、それらを的確に実践できるようになる。また言語を社会的な視点から考察し、それを自らの生活や経験という文脈の中で捉えられるようになる。さらに学期末レポートを作成する中で、先行研究の重要性や自らの意見・主張の大切さ、文献を批判的に読む力、文献リストの書き方などを学び、それらの観点をレポート作成に活かせるようになる。</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="7">・発表 1（Textbook Sociolinguistics by B. Spolsky のチャプター・プレゼンテーション）：20%
・発表 2（自己研究テーマ）：20%
・授業参加・提出物（Post-presentation discussion, chapter summary）：15%
・学期末レポート（Term paper）：25%
・Article Note：20%</td></tr>
<tr><td>評価基準</td><td colspan="7">・発表 1,2 では、発表の進め方、レジュメの書き方、先行研究の扱い、文献の示し方、そしてディスカッション時の質問に対する受け答えの適切さなどが評価される。
・授業参加は発表後のディスカッション時に、オーディエンスとして発表者にどのようなフィードバックを返すことができるかに着目し、特に分析的、批判的な視点をともなうフィードバックには高い評価が与えられる。発言の回数と発言内容が問われる。提出物とは毎回の chapter summary（学期前半のみ）を指し、期限内に提出できたかどうかが問われる。
・学期末レポート（Term paper）は自己研究テーマについて第二回目の発表内容をもとに、それを自らの論点や問題提起を含めたレポートの体裁にまとめ、提出期限内に提出できたかどうかが評価される。
・Article Note は各エントリーに必要な言語活動がすべて含まれており、設定された回数のエントリー数が達成できている状態で提出期限内に提出できたかどうかが評価される。</td></tr>
<tr><td>準備学修
の時間</td><td colspan="7">本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。</td></tr>
</table>

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview　研究倫理について	講義、ディスカッション	Read Preface in the textbook
2	Chapter presentation: 1. The social study of … グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
3	Chapter presentation: 2. The ethnography of … グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
4	Chapter presentation: 3. Locating variation … グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
5	Chapter presentation: 4. Styles, gender, … グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
6	Chapter presentation: 5. Bilingualism グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
7	Chapter presentation: 6. Societal multilingualism グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
8	Chapter presentation: 7. Applied sociolinguistics グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
9	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 1	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
10	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 2	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
11	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 3	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
12	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 4	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
13	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 5	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Course Review まとめ	講義、ディスカッション	2 回のプレゼンテーションで使用したレジュメの見直し

テキスト	Spolsky, B. *Sociolinguistics* (Oxford U.P.). 学生の作成した発表レジュメ
参 考 書	東照二『社会言語学入門』（研究社） 田中春美・田中幸子『よくわかる社会言語学』（ミネルヴァ書房）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	社会言語学、論文のテーマ設定、批判的思考、論文作成、研究倫理
授業の概要	学生はゼミナールⅠで専門的な学びに必要なアカデミック・スキルズをしっかりと学んだ後、本講において自らの学問的興味に従って、論文の作成に向けテーマの絞り込みをしていく。そして学期中に2回の中間発表と1回の最終発表を行い、自らの研究成果をまとめ、論文のかたちで提出する。毎回の授業は3名の学生の個人発表とディスカッションで構成され、最後にひとり一人に対し、担当教員よりフィードバックがなされる。
達成目標（授業の目的）	本講では学びの集大成としてゼミナール論文の作成を課しているが、学生たちは自らの自己研究に必要な様々な知識を、専門書の理解を通じて修得していく。同時に発表の仕方、レジュメの作成、ディスカッション時のポイントなどについても、引き続き実践を通して研鑽していく。
到達目標（学修成果）	本講を通して学生はゼミナール論文作成という大きな目標を掲げ、それを達成するため計画的にそして確実に必要な作業を進めていくことができるようになる。具体的には先行研究の収集、論文構成の決定（仮説やデータ収集法）、実際のデータ収集と分析、そして実際の執筆作業など論文完成までの長い工程の中をひとつずつ着実にステップを踏みながら、最終的に自らの計画した目標を達成することができるようになる。同時にゼミナール論文の作成や発表の機会を通し、自らのテーマ設定の仕方や先行研究の重要性について学ぶ一方で、既存の主張や考え方、また理論に対する批判的な視点も養われていく。
評価方法	・ゼミナール論文：50% ・個人発表（2回）およびディスカッション：30% ・授業参加：20%
評価基準	・ゼミナール論文：提出された論文が、全体の構成を含めひとつの論文として成り立っているかどうかを、総合的に評価する。授業内で学んだことが活かされたかたちで論文が完成されている必要がある。 ・発表：自らの研究内容を口頭、そしてレジュメを用いてわかりやすく説明しているか、また発表した内容に関して質問された際、明確に、過不足なく回答しているかが問われる。 ・授業参加：聴衆（オーディエンス）として発表者の発表に対してコメントや質問を含めたフィードバックを返しているかどうか、またそのフィードバックの内容が発表者に対して建設的であり、示唆を与えるものであり、そして批判的であるかどうかが問われる。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview ゼミナール論文について、研究倫理について、「論文の基本構成」提出	講義、ディスカッション、SAMPLE 提示	ゼミナール論文のテーマ決め、「論文の基本構成」準備
2	第 1 回プレゼンテーション Group 1（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
3	第 1 回プレゼンテーション Group 2（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
4	第 1 回プレゼンテーション Group 3（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	第 1 回プレゼンテーション Group 4（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
6	第 1 回プレゼンテーション Group 5（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
7	ゼミナール論文の作成に向けて①：テーマ設定、データ収集等（全体会・個別面談）	講義、ディスカッション、個別対応	第 1 回プレゼンテーションで使用したレジュメの見直し
8	第 2 回プレゼンテーション Group 1（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
9	第 2 回プレゼンテーション Group 2（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
10	第 2 回プレゼンテーション Group 3（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
11	第 2 回プレゼンテーション Group 4（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
12	第 2 回プレゼンテーション Group 5（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
13	ゼミナール論文の作成に向けて②：データ分析、結果・結論（全体会・個別面談）	講義、ディスカッション、個別対応	第 2 回プレゼンテーションで使用したレジュメの見直し
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文の最終発表 Course review まとめ	講義、ディスカッション	発表の準備、PowerPoint 資料の作成

テキスト	テキストは使用せず。各回の発表者が配布する発表用レジュメ、および教員の準備する論文作成に関する資料を使用する。
参 考 書	浜田麻里他『大学生と留学生のための論文ワークブック』（くろしお出版） 東照二『社会言語学入門』（研究社）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4209
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-③

キーワード	Literature, Culture, Linguistics, Second Language Acquisition, Gender, Law, Economics, Environment
授業の概要	This seminar focuses on developing the academic skills necessary to explore and express issues in the liberal arts. In our first semester, students will learn how to define and research a topic. These topics will form the basis for discussions, presentations, and papers. Through peer exchanges, students will learn a variety of approaches to different topics. The basic ideas and terms necessary to discuss issues, make presentations, and write reports about them will be learned. Students will learn to identify and compare different aspects of their topics, including values, behaviors and beliefs. Also, in pre-zemi, students will learn how to talk about and understand in detail, and compare different cultures in terms of communication, the education system, the workplace, and family life.
達成目標（授業の目的）	Students in this course will: gain an in-depth understanding of a variety of issues in the liberal arts, improve their reading skills, further develop their writing skills, practice and enhance their ability to participate in focused discussions on research topics and classmates' topics, develop presentation skills from gathering information and outlining through to final presentation; develop critical thinking skills.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of the topics they have explored during the course. Additionally, they should be able to participate in English discussions based on the issues studied. In a discussion of this type, they should be able to use appropriate technical terms, analysis, and be able to relate summary and detail points of their topics.
評価方法	Class Participation 15%, Mid-Term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25%
評価基準	Class participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Reports: complete reports by the deadline, at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; Presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to pre-zemi, autonomous learning, fundamentals of the 'zemi.' Research ethics education	Short lecture, pair work discussion	Lecture on independent learning and liberal arts
2	Communication: how we communicate - conversation, nonverbal communication	Short lecture, pair work discussion	Complete short handout and questionnaire about communication
3	Literacy: literary analysis (plot, character, setting, theme, opinion), ready to write	Short lecture, pair work discussion	Read 'review of the essay'
4	Process Writing: critical thinking, fundamentals of science, theory	Short lecture, pair work discussion	Read 'review of the essay' part 2
5	Short presentations (topic determined in consultation with instructor)	Give presentation 1; group discussion	Complete reaction & question form for peers' presentations
6	Short presentations (topic determined in consultation with instructor)	Short discussions and Presentation 1	Complete reaction & question form for peers' presentations

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Logical fallacies; culture: Who studies culture? Different views of learning culture, generalizations and stereotypes	Short lecture, pair work discussion	Read ‘choosing a topic’
8	Society: values application, the formation of values in a society; beginning report writing	Short lecture, pair work discussion, report writing practice	Read ‘Expressing your opinion’ and complete questions / interview
9	Brainstorming; expository and persuasive writing; writing a thesis statement	Short lecture, pair work discussion	Choose a work of art that moves you, print and bring to class
10	Writing an outline for your essay, putting ideas together - the rough draft	Short lecture, pair work discussion	Read article about the foundations of liberal arts
11	Curiosity, creativity, and empathy - are these valuable skills in the real world?	Short lecture, pair work discussion, report writing practice	Read ‘peer review’& submit topic for Presentation 2
12	Framing: the way we look at X makes a difference (fingernail example)	Short lecture, pair work discussion	Read Framing handout & submit rough outline for Pres 2
13	Individual presentations (topic determined in consultation with instructor)	Give Presentation 2; group discussion	Complete reaction & question form for peers’ presentations
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Individual presentations (topic determined in consultation with instructor)	Give Presentation 2; group discussion	Complete reaction & question form for peers’ presentations

テキスト	Handouts, articles, and readings to be provided by instructor

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	T. Gould
開講期	春	開講時限	水５限			研究室	4209
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Literature, Culture, Linguistics, Second Language Acquisition, Gender, Law, Economics, Environment
授業の概要	This seminar focuses on developing the academic skills necessary to explore and express issues in the liberal arts. In Seminar 1, students will continue to develop research skills by practicing how to define and research topics. These topics will form the basis for discussions, presentations, and papers. Through peer exchanges, students will practice persuasive speech and writing while developing strong opinions. A focus on discussing issues, making presentations, and writing reports will continue. Students will learn to identify and compare different aspects of their topics, including values, behaviors and beliefs. Also, in Seminar 1, students will learn how to talk about, understand in detail, and compare different areas of the liberal arts.
達成目標（授業の目的）	Students in this course will: gain an in-depth understanding of a variety of issues in the liberal arts, improve their reading skills, further develop their writing skills, practice and enhance their ability to participate in focused discussions on research topics and classmates' topics, develop presentation skills from gathering information and outlining through to final presentation; develop critical thinking skills.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of the topics they have explored during the course. Additionally, they should be able to participate in English discussions based on the issues studied. In a discussion of this type, they should be able to use appropriate technical terms, practice critical analysis, and be able to relate summary and detail points of their topics.
評価方法	Participation 15%, Mid-term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25%
評価基準	Participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Mid-term and Final Reports: complete reports by the deadline, research, outline and write about an approved topic at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; Presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Developing skills in Liberal Arts: Critical thinking, summarizing	Short lecture, pair work discussion	Review of independent learning and liberal arts
2	Poetry; Oral presentation	Short lecture, pair work discussion	Choose topic for mid-term report and Presentation 1 (w / instr. approval)
3	Preparing for presentations: target audience, thesis statement, listening skills	Short lecture, pair work discussion	Outline for Presentation 1
4	Analyzing arguments: logical fallacies and how to avoid them	Short lecture, pair work discussion	Read 'The end of something'; prepare discussion questions
5	Presentation 1 (topic determined in consultation with instructor)	Give Presentation 1; group discussion	Complete reaction & question form for peers' presentations
6	Presentation 1 (topic determined in consultation with instructor)	Short discussion and Presentation 1	Complete reaction & question form for peers' presentations

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Developing reading habits: six skills; ‘Blind Men and the Elephant’	Short lecture, pair work discussion	Read and analyze ‘The Blind Men and the Elephant’
8	Continuing with autonomous learning and developing a ‘liberal arts’ practice of study	Short lecture, pair work discussion, submit mid-term report	Handout: ‘What is a Liberal Education?’ Choose topic for Presentation 2 and final report
9	Enlightenment thinking: ‘The Bill of Rights’; Major themes of the Age of Enlightenment	Short lecture, pair work discussion	Read handout ‘The Bill of Rights’
10	Developing strong arguments and clear opinions; evaluating and persuading	Short lecture, pair work discussion	Read Part 2 of Article about logical fallacies.
11	Constitutions: where do they come from and what are they for?	Short lecture, pair work discussion, report writing practice	Read from constitutions of US and Japan; Peer edit partner’s presentation outline
12	Presentation 2 (topic determined in consultation with instructor)	Give Presentation 2; group discussion	Complete reaction & question form for peers’ presentations
13	Presentation 2 (topic determined in consultation with instructor)	Give Presentation 2; group discussion	Complete reaction & question form for peers’ presentations
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Final group discussions covering class readings, presentations and lectures	Concluding lecture and group discussion	Review semester class notes, presentations, and readings

テキスト	Handouts and articles to be distributed by instructor

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4209
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Literature, Culture, Linguistics, Second Language Acquisition, Gender, Law, Economics, Environment
授業の概要	In seminar 2 we continue to expand our horizons in the study of liberal arts. We will practice refining the academic skills necessary to define and research a specific topic that will lead to a graduation report. The topic of the graduation report will form the basis for discussions, presentations, and papers. Through peer exchanges, students will learn the vocabulary necessary to express in detail the progress and development of their report. Students will learn to identify and compare different aspects of their topics, including values, behaviors and beliefs. Students will also learn to recognize weak vs strong argumentation and respond to critical essays effectively.
達成目標（授業の目的）	Students in this course will: gain an in-depth understanding of a variety of issues in the liberal arts, improve their reading skills, further develop their writing skills, practice and enhance their ability to participate in focused discussions on research topics and classmates' topics, develop presentation skills from gathering information and outlining through to final presentation; develop critical thinking skills.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of the topics they have explored during the course. Additionally, they should be able to participate in English discussions based on the issues studied. In a discussion of this type, they should be able to use appropriate technical terms, analysis, and be able to relate summary and detail points of their topics.
評価方法	Participation 15%, Mid-term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25%
評価基準	Participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Mid-term and Final Reports: complete reports by the deadline, research, outline and write about an approved topic at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; Presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Developing skills in Liberal Arts; reasoning, evaluation, synthesis	Short lecture, pair work discussion	Review of independent learning and liberal arts
2	Formulating an understanding of the process of learning	Short lecture, pair work discussion	Choose topic for mid-term report and Presentation 1 (w / instr. approval)
3	Identify and evaluate different ways of knowing; finding strengths and weaknesses of each	Short lecture, pair work discussion	Outline for Presentation 1
4	Analyzing literature: James Joyce short story; making connections between disciplines	Short lecture, pair work discussion	Read 'Eveline'; prepare discussion questions
5	Presentation 1 (topic determined in consultation with instructor)	Give Presentation 1; group discussion	Complete reaction & question form for peers' presentations
6	Presentation 1 (topic determined in consultation with instructor)	Short discussion and Presentation 1	Complete reaction & question form for peers' presentations
7	Analyzing interactions between individuals and community	Short lecture, pair work discussion	Choose topic for Presentation 2 and final report

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	‘Liberal Education is Moral Education’; Liberalism as a political philosophy	Short lecture, pair work discussion, submit mid-term report	Brainstorm in small groups about each member’s topic; Read ‘Liberal Ed. Is Moral Ed.’
9	‘The Samurai’s Daughter’; folk tales and culture	Short lecture, pair work discussion	Presentation 2 rough outline 1, Read ‘The Samurai’s Daughter’
10	Review of logical fallacies; political arguments; finding, analyzing and repairing ‘weak’ arguments	Short lecture, pair work discussion	Read Part 3 of Article about logical fallacies.
11	Is the future of Liberal Arts in danger around the world? Possible causes and solutions.	Short lecture, pair work discussion, report writing practice	Read article sections from multiple perspectives on the issue.
12	Presentation 2 (topic determined in consultation with instructor)	Give Presentation 2; group discussion	Complete reaction & question form for peers’ presentations
13	Presentation 2 (topic determined in consultation with instructor)	Give Presentation 2; group discussion	Complete reaction & question form for peers’ presentations
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Final group discussions covering class readings, presentations and lectures	Concluding lecture and group discussion	Review semester class notes, presentations, and readings

テキスト	Handouts and articles to be distributed by instructor

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4204
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	マザー・テレサ、キリスト教、信仰、祈り、愛、奉仕、召命、奉献、隣人愛の実践、救い
授業の概要	テキスト講読を通して、マザー・テレサの言葉や活動の源泉にある神への信仰と愛について学び、キリスト教信仰が目指す神とのかかわり方、人とのかかわり方、この世とのかかわり方を考察する。また、学生同士、そして教員との意見交換を通して、現代社会の人々が抱える人間関係、社会制度の問題を考察し、各自が個人的に研究するためのテーマを見出す。
達成目標（授業の目的）	カトリック教会が 20 世紀の聖女として尊敬するマザー・テレサの信仰と活動に関する学びを通して、貧困や格差、紛争や暴動、病気や障害、孤独や差別など世界が抱える苦しみと向き合う時のキリスト教的視点や態度を学ぶ。すぐには解決できない深刻な問題に対して、忍耐強く愛の奉仕に献身する力の源泉はどのような信仰の確信に因るものなのかを考察する。現代社会が抱える諸問題の中から、各自の研究課題を定めて参考となる文献を探す。
到達目標（学修成果）	①マザー・テレサの生涯とその活動を根底で支えたキリスト教信仰に関する基礎的な知識を得ることができる。 ②人間の宗教的次元を開花させるために不可欠となる内面的成熟の諸要素を意識化し、社会で起こる人間の問題を、自分とのかかわりの中で考察する視点を持つことができる。 ③各自の研究テーマに即した参考書を選び、その内容を要約し、キリスト教的視点からの考察を加えた上で自分自身の見解を論理的に展開してまとめ、口頭発表することができる。
評価方法	①夏休みの課題の発表（10%）とテキスト講読のための分担箇所についての発表（10%） ②事前課題の提出（3%×10 回＝30%）と話し合いへの積極的参加（10%） ③期末ブックレポート（25%）と発表（15%）
評価基準	①発表内容を分かりやすくまとめ、レジュメ等の資料を作成した上で口頭発表ができること。 ②課題として指示されたテキストの内容を的確に理解した上で、授業での話し合いに備えて自分の見解を論理的に記述できること、また、話し合いが活発に進むよう積極的に発言し意見交換に貢献すること。 ③各自の研究テーマに沿った参考書の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述した上で、提示資料を用いて分かりやすく口頭発表できること。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション、夏休み課題の発表、研究倫理	講義、発表、意見交換、DVD 視聴	夏季休暇中の課題発表の準備
2	マザー・テレサの生涯（1） 少女期	講義、意見交換	テキスト①はじめに～p.31 を読み意見をまとめる
3	マザー・テレサの生涯（2） 召命と修道生活	講義、意見交換	テキスト①pp.31～58 を読み意見をまとめる
4	神の愛の宣教者会の創立	講義、意見交換	テキスト①pp.60～95 を読み意見をまとめる
5	神の愛の宣教者会の活動	講義、意見交換	テキスト①pp.96～130 を読み意見をまとめる
6	マザー・テレサの生き方の源泉	講義、意見交換	テキスト①pp.132～173 を読み意見をまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	マザー・テレサの真実	講義、意見交換	テキスト①pp.176～219 を読み意見をまとめる
8	マザー・テレサと共に（1） 祈り、聞く	講義、意見交換	テキスト②はじめに～p.26 を読み意見をまとめる
9	マザー・テレサと共に（2） 話す、見る	講義、意見交換	テキスト②pp.27～46 を読み意見をまとめる
10	マザー・テレサと共に（3） ほほ笑む、泣く	講義、意見交換	テキスト②pp.47～66 を読み意見をまとめる
11	マザー・テレサと共に（4） 呼吸する、食べる	講義、意見交換	テキスト②pp.67～86 を読み意見をまとめる
12	学生発表（1）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
13	学生発表（2）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	学生発表（3）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備

テキスト	①和田町子『マザーテレサ』（清水書院） ②片柳弘史『祈るように生きる　マザー・テレサと共に』（ドン・ボスコ社）
参 考 書	ルシンダ・ヴァーディ編・猪熊弘子訳『マザー・テレサ語る』（早川書房） 片柳弘史『あなたはわたしの愛する子』（教文館）

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	小林　宏子
開講期	春	開講時限	水４限			研究室	4204
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	キリスト教人間観、解放者イエス、救い、福音、罪、汚れ、聖性、神の似姿、聖母マリア
授業の概要	福音書に登場する女性たちとイエスとの出会いに注目し、当時の社会において女性たちが背負っていた制度的・宗教的な差別と抑圧からイエスがどのように解放したのかを考察し、現代社会の中で生きる女性たちが直面する問題や苦しみと関連づけながら、その原因や構造について学び、各自の個人研究の考察を深める。
達成目標（授業の目的）	「神の似姿」として創造された女性という視点でキリスト教ヒューマニズムの理解を深める。当時の社会通念に囚われることのないイエスとの出会いがもたらした、女性本来の姿とはどのようなものであるかを知り、現代社会が抱える課題を見つける視点を得る。
到達目標（学修成果）	・テキスト及び聖書箇所の考察を通して、自分の意見をまとめ、発表する力をつける。 ・聖書の時代特有の問題と現代社会にも共通する課題とを見出し、女性が直面する課題について考察する力をつける。話し合いの司会を交替で担当する。 ・個人研究に必要な文献を探して読解し、理解した内容を的確にまとめ、自分の見解を論理的に記述し、口頭表現する力をつける。
評価方法	①テキスト及び指定された聖書箇所講読の事前課題（2%×11回＝22%） ②授業内で担当するテキストの要約と発表（10%×3＝30%）、意見交換時の積極性（8%） ③期末ブックレポート（25%）と発表（15%）
評価基準	①課題として指示されたテキストの内容を的確に理解した上で、授業での話し合いに備えて自分の見解を、論理的に記述できること。 ②発表の担当者はレジュメを作成し、主題に添った発展的質問を準備するなど、話し合いをリードすること。また、質問されたことに答えられること。担当者以外の学生は準備学修でまとめた意見を積極的に発表し、意見交換に貢献すること。 ③各自の研究テーマに沿った参考書の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述したブックレポートを作成し、分かりやすく口頭発表できること。
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション、研究倫理 イエス・キリストの人間観	講義、意見交換	春休みの課題の発表準備
2	神の母聖マリア、ご訪問のマリア 死刑囚の母・聖マリア	講義、意見交換	テキスト①pp.1～14, 56～66, 110～116を読み意見をまとめる
3	シモン・ペトロの姑、出血症の女 サマリアの女	講義、意見交換	テキスト①pp.15～37を読み意見をまとめる
4	姦通罪を犯した女 罪の女と仕える女たち	講義、意見交換	テキスト①pp.38～55を読み意見をまとめる
5	マルタとマリア	講義、意見交換	テキスト①pp.65～79を読み意見をまとめる
6	カナンの女、貧しいやもめ 女預言者アンナ	講義、意見交換	テキスト①pp.80～102を読み意見をまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	ベタニアのマリア マグダラのマリア	講義、意見交換	テキスト①pp.103～109, 117～120 を読み意見をまとめる
8	マザー・テレサと共に（1） 歩く、着る	講義、意見交換	テキスト②pp.87～106 を読み意見をまとめる
9	マザー・テレサと共に（2） 持つ、掃除する	講義、意見交換	テキスト②pp.107～126 を読み意見をまとめる
10	マザー・テレサと共に（3） 育てる、働く	講義、意見交換	テキスト②pp.127～146 を読み意見をまとめる
11	マザー・テレサと共に（4） 休む、生活のすべてを祈りに	講義、意見交換	テキスト②pp.147～166 を読み意見をまとめる
12	学生発表（1）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
13	学生発表（2）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	学生発表（3）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備

テキスト	①英　隆一郎『イエスに出会った女性たち』（女子パウロ会） ②片柳弘史『祈るように生きる　マザー・テレサと共に』（ドン・ボスコ社）
参 考 書	井上洋治『南無の心に生きる / イエスをめぐる女性たち（抄）』（日本キリスト教団出版局） ジョルジュエット・ブラキエール『女であることの恵み』（女子パウロ会）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	水 5 限			研究室	4204
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	キリスト教ヒューマニズム、人間の尊厳、人格、神の似姿、愛、幸福、希望の根拠
授業の概要	ゼミナールⅠで学んだイエス・キリストの人間観を土台にしながら各自が選んだ研究テーマに関する考察を深め、ゼミナール論文を執筆する。途中、各段階での研究成果を報告し、クラス内での議論を経て、各自の研究を発展的にまとめ、研究論文の形式で仕上げる。
達成目標（授業の目的）	各自の興味・関心に沿った研究テーマに適した参考文献や資料を探して講読し、学生同士の議論を経て、自分の見解の論理展開を吟味し、文章の推敲を重ねた上で、論文を仕上げる。同時に、キリスト教ヒューマニズムの根底にある「神の似姿」や「人格的存在」という概念に照らして、現代の日常的経験の中に横たわる倫理的行動選択の基準を見直し、人間性に関する価値観の変遷を意識できるようになる。
到達目標（学修成果）	①社会現象や人間関係の諸問題の中から考察の対象となる課題を具体的に設定し、適確な文献や資料を探して研究を深め、資料から学んだ事柄と自分の意見の区別がつく形で、レジュメを作成し、発表することができる。キリスト教の視点からの指摘や質問にも答えることができる。 ②他の学生の発表と資料を批判的に検討し、質問や意見を述べることができる。 ③文献・資料を正しく引用し、脚注付きのゼミ論文を仕上げることができる。
評価方法	①課題設定、文献・資料検索、夏休みの研究成果、及び 3 回の中間発表（8%×4＝32%） ②授業内の質疑応答における積極的発言（2%×14 回＝28%） ③ゼミ論文（40%）
評価基準	①社会的な事象や人間にかかわる問題について自分の興味に合わせた課題を設定をし、相応しい参考文献を探して読むことで研究を深め、自分の意見の構築まで発展させることができたか。また、レジメを作成し論理的で分かりやすい形での中間報告ができたか。 ②他者の発表の要点を理解した上で、適切な質問や意見を述べることができたか。 ③A4 用紙で 8 頁以上、参考文献リスト、脚注つきの、論旨が明確なゼミ論を仕上げることができたか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏季休暇中の研究進捗状況の報告 研究倫理について	発表、講義、質疑応答、講評	夏休みの研究成果発表準備
2	ゼミ論文の 1 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	1 回目中間報告準備
3	ゼミ論文の 1 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	1 回目中間報告準備
4	ゼミ論文の 1 回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	1 回目中間報告準備
5	ゼミ論文の 1 回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	1 回目中間報告準備
6	ゼミ論文の 2 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	2 回目中間報告準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	ゼミ論文の 2 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	2 回目中間報告準備
8	ゼミ論文の 2 回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	2 回目中間報告準備
9	ゼミ論文の 2 回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	2 回目中間報告準備 ゼミ論文の執筆
10	ゼミ論文の 3 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	3 回目中間報告準備 ゼミ論文の執筆
11	ゼミ論文の 3 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	3 回目中間報告準備 ゼミ論文の執筆
12	ゼミ論文の 3 回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	3 回目中間報告準備 ゼミ論文の執筆
13	ゼミ論文の 3 回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	3 回目中間報告準備 ゼミ論文の提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文についての講評と意見交換	講評、意見交換	意見交換のための準備

テキスト	担当教員、及び学生が配布する資料
参 考 書	岡田尊司『生きるための哲学』（河出文庫） 教皇フランシスコ『回勅　兄弟のみなさん』（カトリック中央協議会）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-③

キーワード	Peace, positive peace, negative peace, structural violence, causes of war, peace movements
授業の概要	This course introduces basic concepts of peace studies and deals with some major issues in today's world. Some of the principal themes in this course are struggle for peace, wellbeing of human beings and sustainability of nature. Students' active participation in discussions, pair work and presentations are required to facilitate active and participatory learning in class. Through these activities, students will develop critical thinking, ability to express their thoughts and opinions, and respect others' opinions.
達成目標（授業の目的）	Through this course, students will acquire an introductory knowledge of the basic concepts and issues in peace studies. They will also learn the skills to participate in a discussion, to make PowerPoint presentations and take notes in English. Students will also be trained to write an academic essay separating facts from opinions and following research ethics.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to ・understand the key concepts, history and the basic issues in peace studies ・think critically about social and political issues that affect the national and international community ・participate in a discussion creatively on topics related to peace studies ・write a short research paper related to peace and issues related to peace ・read English essays, understand the main points, summarize them and make a clear presentation ・improve their knowledge of English vocabulary related to peace studies and world issues
評価方法	Class participation (50%), research presentation (20%), final report (30%)
評価基準	To be distributed at the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to teaching materials, class policies, evaluation criteria, and research ethics	Lecture, discussion, Q&A	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Education and Gender- education of women in Afghanistan and India	Lecture, group work, discussion, presentation	Answer the questions on preview sheet (PS)
3	Unit 2 Global Warming – Environmental threats to our planet	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 2, do PS, prepare for discussion
4	Unit 3 Drinking Water – water problem in Gaza and water pollution	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 3, do PS, prepare for discussion
5	Unit 4 Poverty and Hunger – Child malnutrition in Niger, about doing research	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 4, do PS, prepare for discussion
6	Unit 5 Fighting Disease – Malaria and HIV / AIDS; discussing research topic	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 5, do PS, prepare for discussion
7	Unit 6 Terrorism – 9/11 Counter Terrorism Strategy; presentation of research topic	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 6, do PS, prepare for discussion
8	Unit 9 Genocide and Crimes against Humanity – The Khmer Rouge	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 9, do PS, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Unit 10 Landmines – Demining in Afghanistan and Cambodia; essay writing	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 9, do PS, prepare for discussion
10	Unit 11 Refugees – Life in a Refugee Camp and International Refugee Law	Lecture, group work, discussion, presentation	Read Unit 11, do PS, prepare for discussion
11	Democracy and human rights in Burma – struggle of the Rohingya people	Lecture, group work, discussion, presentation	Do personal research on the topic, prepare for discussion
12	Research presentation by the students (by half students)	Presentation, Q&A, discussion	Prepare for presentation
13	Research presentation by the students (by the remaining students)	Presentation, Q&A, discussion	Prepare for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Recap of the course, submission of the final report	Discussion, feedback, Q&A	Submit final report

テキスト	Keiso Tatsukawa, Walter Davies et al. *Global Issues Towards Peace* (Nanun-do).
参 考 書	岡本 三夫、横山 正樹編著『新・平和学の現在 *Peace Studies in the Making: A New Edition*』（法律文化社） David P. Barash. *Introduction to Peace Studies* (Wadsworth Publishing Company).

科 目 名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	Thomas
開 講 期	春	開講時限	水５限			研 究 室	4211
分 類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Peace, nonviolence, conflict resolution, reconciliation, environmental protection, peace building
授業の概要	This course introduces fifteen great peacemakers: their life, message and philosophy. It focuses on the following five areas: nonviolence, living peace, honoring diversity, valuing all life, and caring for the planet. Students are expected to study in detail about one of the peacemakers and make a PowerPoint presentation in class. Students are also expected to write a short research thesis on a topic of their choice which is related to peace.
達成目標（授業の目的）	The general goals of this course are to introduce various concepts of peace, to learn how peace can be achieved through philosophy, politics, religion, music, social service, education, dialogue, science, literature, sustainable development, and environmental protection. Another important goal of this course is to learn the skills to read academic articles, summarize main points and make a PowerPoint presentation. Finally, in this course students will learn to write a short research thesis.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will ・know different concepts of peace, various ways of building and maintaining peace ・be able to write a short research paper on topics related to peace based on research ethics ・be able to make a presentation of the result of their research using PowerPoint ・be able to participate in a discussion actively
評価方法	Class participation (50%), Presentation about a peacemaker (20%), Research report (30%)
評価基準	To be distributed at the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to teaching materials, class policies, evaluation criteria, and research ethics	lecture, discussion, Q&A	purchase textbook, read syllabus
2	Nonviolence: Nonviolent resistance (Mahatma Gandhi)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 11-18, do preview sheet
3	Nonviolence: Daring to dream (Martin Luther King, Jr.)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 19-26, do preview sheet
4	Nonviolence: Living deliberately (Henry David Thoreau)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 3-10, do preview sheet
5	Living peace: Living peace (Mother Theresa)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 37-44, do preview sheet
6	Living peace: Being peace (Thich Nhat Hanh)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 45-52, do preview sheet
7	Living peace: “Us” refers to all of humankind (Oscar Arias)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 61-67, do preview sheet
8	Honoring diversity: Interfaith Harmony (Bruno Hussar)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 71-78, do preview sheet
9	Honoring diversity: Universal compassion (The Dalai Lama)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 95-101, do preview sheet

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Valuing all life: Realizing our humanity (Jane Goodall)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 129-135, do preview sheet
11	Research presentation by students	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
12	Research presentation by students	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
13	Research presentation by students	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Conclusion, recap of the course, submission of research paper	lecture, reading, discussion, Q&A	submit research paper, Q&A

テキスト	Ken Beller, Heather Chase. *Great Peacemakers: True Stories from Around the World* (LTS Press).
参 考 書	David P. Barash. *Introduction to Peace Studies* (Wadsworth Publishing Company).

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Peace, just war, holy war, diplomacy, negotiation, balance of power, deterrence
授業の概要	This course introduces strategies and theories for preventing wars and building peace. In addition, traditional war theories such as ‘just war theory’, and concepts of ‘holy war’ from different religious perspectives are dealt with in this course. Specific strategies for building “negative peace” such as diplomacy, negotiations, conflict resolution and means for building “positive peace” such as promotion of human rights, environmental protection, economic well-being, promotion of nonviolence etc., will also be introduced.
達成目標（授業の目的）	In this course students will mainly focus on the strategies to prevent wars through building positive and negative peace. Students will also do personal research based on research ethics throughout the semester on a topic related to peace which will be submitted as their graduation thesis.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will ・have learned about some strategies for preventing wars and building peace ・have developed skills to do an independent research project ・be able to participate in a discussion constructively ・be able to extract ideas and information by reading books and articles for research ・have acquired the skills necessary to make a presentation using PowerPoint effectively
評価方法	Class participation (20%), preview sheets & reaction papers (20%), presentation of research results (20%), thesis (40%)
評価基準	To be distributed at the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction: course materials and policies; research ethics	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Building “Negative Peace”: third-party involvement, negotiating techniques	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
3	Peace through strength: balance of power, collective security, deterrence	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
4	Interim research presentation (group 1)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
5	Interim research presentation (group 2)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
6	Interim research presentation (group 3)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
7	Disarmament and arms control: history of disarmament, arms control etc.	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
8	International organizations: The United Nations, Just war – part 1	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
9	International law: enforcement of international law, Just war – part 2	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	War and general ethics, religious support for war, Holy war – part 1 (Christianity, Buddhism)	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
11	War and general ethics, religious support for war, Holy war – part 2 (Islam)	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
12	Research presentation by students (group 1)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
13	Research presentation by students (group 2)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Research presentation by students (group 3), conclusion, submission of thesis	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation, submit thesis

テキスト	Materials adapted from the following textbook will be used in class. Richard Smoke with Willis Harman. *Paths to Peace: Exploring the Feasibility of Sustainable Peace* (Institute of Noetic Science Westview Press).
参 考 書	David P. Barash. *Introduction to Peace Studies* (Wadsworth Publishing Company).

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-③

キーワード	world literature, comparative literature, research
授業の概要	Literature opens us up to different worlds and people. This course introduces the basic elements of literature and gives students opportunities to practice describing characters, setting, and stories in English. At the end of this course students will begin to do their own original research based mostly on the analysis of a primary text of their choosing (or of a text chosen from a list suggested by the teacher).
達成目標（授業の目的）	The goal of this course is for students to improve their language competence especially in reading and writing. They will do this by learning about different authors and texts and the tools used to study them. For the final report students may study a text from a suggested list or of their own choosing with the approval of the teacher.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to make presentations about the setting, characters, and story of a fiction text, to summarize the main point and supporting details of non-fiction texts, to write reports without plagiarism according to the best practices of research ethics.
評価方法	Book Reports 45%; Reading Word Count 5%; Short Speeches and Presentations 30%; Short Report 20%
評価基準	Book Reports should be complete and submitted on time. The Reading Word Count will be evaluated as follows: 50,000+ words= 5%, 40,000 words= 4%, 30,000 words= 3%, 20,000 words= 2%, 10,000 words= 1%. Short Speeches / Presentations should have an introduction with a hook and a preview, a body with three main supporting points, and a conclusion with a memorable thought. The speech delivery should have eye contact with the audience and gestures to support the meaning. The presentation should have a visual that supports the meaning. The Short Report should be organized, its content should answer the question, it should have a well-chosen title, and it should meet the length requirement.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Research Ethics Education My Life Story	Warm-up, lecture, writing	Review the class content.
2	Story narrative: sequence of events linked by cause and effect; how to write book reports	Warm-up, lecture, reading, group work	Read a book a write a book report.
3	Narrator. Non-fiction texts Book report sharing	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.
4	Who is talking? Understanding quoted speech. Writing opinions	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.
5	Setting and Characters. Introduction to short speech 1: A Book I Recommend	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.
6	Preparing short speeches	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.
7	Narrative Points of View	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.
8	Describing Characters / Interesting People	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Setting and Symbolism Introduce short presentation 2: An Interesting Narrator or Character	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.
10	The Story and the World	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.
11	Comparing Stories. Introduction to short report: How the narrator, characters, story, and setting of X contribute to making it an interesting story	Warm-up, group work, reading	Read a book a write a book report.
12	Preparing short report workshop	Warm-up, peer review, reading	Read a book a write a book report.
13	Preparing short report	Warm-up, writing, reading	Read a book a write a book report.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Presenting short reports. Preparing for next semester	Presentations	Prepare the spring research plan.

テキスト	X-Reading.com 6-month student subscription.
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科 目 名	SES200:　ゼミナール I					担当教員	M. Lupas
開 講 期	春	開講時限	水 5 限			研 究 室	4206
分 類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	cultural differences, research ethics, using sources
授業の概要	Building on the pre-seminar where students learned the basic parts of fiction and non-fiction texts, students will practice reading about and discussing more abstract concepts and notions in English. They will practice expressing their ideas on abstract topics and giving examples to support their ideas both from their own experience and from data sources.
達成目標（授業の目的）	The goal of this course is for students to build their English fluency and gain confidence across all four skills, gain critical thinking skills, and gain content knowledge about culture and literature.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to read English texts about more abstract notions and concepts and prepare discussions about them; summarize and write their opinion in an organized way about fiction and non-fiction texts at their level; write organized essays about more abstract concepts; use multiple sources in their writing and cite them according to the best practices of research ethics.
評価方法	Class discussion presentation / facilitation: 40%; Extensive reading word count: 10%; Reports on discussion: 40%; Final report: 10%
評価基準	Class discussion presentation / facilitation: each student will prepare in a small group the textbook chapter and a worksheet for the class discussion several times during the semester; the extensive reading word count will be evaluated as follows: 50,000+ words= 5%, 40,000 words= 4%, 30,000 words= 3%, 20,000 words= 2%, 10,000 words= 1%; the discussion reports should be complete and submitted on time; the discussion reports should show correct use of sources and proper citation of sources, the content should summarize the discussion and express one's opinion in an organized way. Final reports are evaluated on expressing one's opinion on an abstract notion and supporting it with examples and properly citing sources.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Research Ethics Education: Using and citing sources	Ice-breaker, lecture, group work	Read and prepare for the discussion.
2	Group and Individual: Blending in or emphasizing uniqueness?	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
3	My Physical Limits: Giving my all or managing my energy?	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
4	Education: Interactive classes or teacher-centered?	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
5	Socializing: Inside or outside the home?	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
6	Club-Life Balance: A place for fun or place with rigorous demands	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
7	Shops: Customers and staff on equal footing or customers as "royalty"	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
8	Relationships: Understanding through discussion or understanding without words	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
9	Conversation: Responding with long answers or with short answers	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Parenting: Centered on the child or based on rules and manners	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
11	Making Requests: Asking favors directly or indirectly. Introduction to final report	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
12	Strangers: Interacting or Ignoring	Discussion, reading, writing	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
13	Writing workshop for the final report	Peer review	Prepare final report.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Looking at the next semester	Writing, group work	Prepare summer research plan.

テキスト	① S. Richmond and B. Vannieu. *Ibunka! Intercultural Communication in Everyday Life* (Alma). ② X-Reading.com student subscription.

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	writing, research, comparative literature
授業の概要	This seminar focuses on the graduation thesis writing process. With the support of the teacher, students may choose their own topic connected to their plans after graduation or to their interests. The students will practice framing their topic, gathering ideas, organizing ideas and expressing their ideas in an organized way and according to best research ethics practices. They will produce a seminar thesis in English.
達成目標（授業の目的）	The goal of this course is for students to build their English fluency and gain confidence across all four skills, gain research skills, and gain content knowledge about literature, culture, and history.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to present their research topic and the ideas they gathered about the research topic; write and revise drafts of their work; and make a final research presentation about their topic.
評価方法	Preliminary presentations on topic and reading notes 30%; research diary 10%; seminar thesis 45%; final research presentation 15%
評価基準	Preliminary presentations contain the required number of sources, evaluate the sources, and explain the topic in an organized way; research diaries are submitted on time and respond to the prompt; the seminar thesis is 6 to 9 pages typed, double-spaced in English, contains subheads, has a title that contains keywords, predicts the content, and sparks interest, uses multiple sources, uses research paper language, and follows the best research ethics practices; the final presentation is organized, and uses visuals and gestures to support the meaning.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Research Ethics; The Thesis Writing Process; Making a reading list. Review of the Essay.	Warm-up, lecture, group work	Do research diary. Prepare presentation.
2	Presentations on topics and reading notes 1	Presentations	Do research diary.
3	Choosing a topic	Warm-up, lecture, group work	Do research diary.
4	Introductions and Conclusions	Warm-up, lecture, group work	Do research diary.
5	Researching	Warm-up, lecture, group work	Do research diary.
6	Outlining	Warm-up, lecture, group work	Do research diary.
7	Presentations on topics and reading notes 2	Presentations	Do research diary. Prepare presentation.
8	Draft 1. Thesis Workshop	Peer review	Do research diary. Do first draft.
9	Language of the research paper	Warm-up, lecture, group work	Do research diary.
10	In-text citations	Warm-up, lecture, group work	Do research diary.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	Draft 2	Warm-up, reading, writing	Do research diary. Do second draft.
12	Revising	Warm-up, reading, writing	Do research diary.
13	Seminar Thesis Submission	Warm-up, reading, writing	Do thesis.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Final Research Presentations	Presentations	Prepare presentations

テキスト	D. Zemach, D. Broudy, C. Valvona. *Writing Research Papers*, 2nd edition (Macmillan Education).
参 考 書	Bermann, Sandra, and Catherine Porter. *A Companion to Translation Studies* (Wiley Blackwell).

科 目 名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	岩崎　明子
開 講 期	春	開講時限	水４限			研 究 室	4213
分 類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	グローバル問題、温暖化、水問題、人権、健康、生物多様性、など
授 業 の 概 要	英文教科書を中心に読み、担当は 国際問題の各テーマについて詳細なリサーチ結果をまとめ発表後、クラスディスカッションを通して問題点の考察を深める。参加者全員は取り扱う内容を毎回テーマレポート（TR）にまとめて準備し授業に臨む。中間期までにゼミ論文のテーマ決めと、学期末までに参考資料を利用してゼミ論文の構想を明確にする。
達成目標（授業の目的）	様々なグローバル問題を理解し考察を深め、発表やディスカッション、まとめをより効果的に行えるように体験的に学ぶ。英文記事の読解によって英語力を伸ばす。リサーチやゼミ論文の構想発表や先行研究のブックレポート作成を通して論文執筆の準備を行う。
到達目標（学修成果）	授業の準備と参加によって、論理的に発表や意見のまとめが出来るようになる。 英文資料読解に慣れ、英語サイトを活用したリサーチができるようになる。 リサーチ方法、論文の書き方を学び、ゼミ論文の構想発表やブックレポートの作成を通し、ゼミ論文の執筆の準備ができるようになる。
評価方法	①発表とレジメ（30%）Text、論文解析、ゼミ論構想 ②討論への参加（20%） ③テーマレポート（TR）とリアクションペーパー（リアペ）（20%） ④ゼミ論文の構想発表（20%） ⑤ブックレポート（10%）
評価基準	①発表とレジメ：英文資料の正確な読解と解説ができたか。関連する調査資料をもとに論点に対する考察を加えて内容を準備し、発表のレジメを効果的に使用できたか。質疑応答の準備をし、適切な課題を準備し、討論を効果的に行うことができたか。 ②討論への参加：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できていたか。 ③テーマレポート（TR）とリアクションペーパー（リアペ）：毎回の TR を書くことで、話し合いのための準備ができているか。リアクションペーパーでは単なる感想に終わらず、授業中の発表や話し合いで得た新しい知識を反映させる形でまとめられたか。 ④ゼミ論文の構想発表：グローバル問題（SDGs 一覧表参照）の自分の研究テーマに沿って収集した先行研究資料を基にどのような構想でゼミ論文を執筆するか明確に発表できたか。 ⑤ブックレポート：ゼミ論文に必要な先行研究から主要な書籍 3 冊を適切に要約して論点を整理し、意見を論理的に述べているか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、リサーチとゼミ論文構想 研究倫理について、担当分け	講義、意見交換	Ut.1 地球温暖化の問題 Good by, Maldives 読み準備
2	Ut.1 地球温暖化の問題 プリント（1）発表	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.1 TR 提出、Ut.2 読み準備（TR）、発表準備
3	Ut.2 新たな共同体づくりへのチャレンジ プリント（2）発表	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.2 TR 提出、Ut.3 読み準備（TR）、発表準備
4	Ut.3 経済格差、論文解析（1）	発表、意見交換、講義 リアペ	ゼミ論文テーマ提出、Ut.3 TR 提出、Ut.4 準備（TR）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Ut.4 エコツーリズムの挑戦、論文解析（2）	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.4 TR 提出、Ut.5 読み準備（TR）、発表準備
6	Ut.5 生物多様性から学ぶ、論文解析（3）	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.5 TR 提出、Ut.6 読み準備（TR）、発表準備
7	Ut.6 水問題、論文解析（4）	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.6 TR 提出、Ut.7 読み準備（TR）、発表準備
8	Ut.7 世界遺産の保護、論文解析（5）	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.7 TR 提出、Ut.8 読み準備（TR）、発表準備
9	Ut.8 健康と食べ物、論文解析（6）	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.8 TR 提出、Ut.9 & 10 読み準備（TR）、発表準備
10	Ut.9 エネルギー問題 / Ut.10 熱帯雨林保護と人権、ゼミ論文構想発表（1）	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.9、Ut.10 読み準備（TR）、発表準備
11	Ut.11 大農園の生産物 / Ut.12 ループを閉じる、ゼミ論文構想発表（2）	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.11、Ut.12 読み準備（TR）、発表準備
12	Ut.14 非暴力抗議と市民的不服従 / Ut.15 フェイクニュース、ゼミ論文構想発表（3）	発表、意見交換、講義 リアペ	Ut.14、Ut.15 読み準備（TR）、発表準備
13	ゼミ論文構想発表（4）	発表、意見交換、講義 リアペ	発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文構想発表（5）まとめ	講義、発表、Q&A、評価	ブックレポート提出

テキスト	David Peaty, Jun Kawata. *Issues That Matter* (Kinseido). 小笠原喜康『最新版大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）
参 考 書	高柳彰夫、大橋正明編『SDGs を学ぶ―国際開発・国際協力入門』（法律文化社）
その他 特記事項	発表者は各発表の前日までに必ず指導教員と面接し、発表内容を打ち合わせすること

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	水５限			研究室	4213
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	ゼミ論文の作成法、研究課題の設定、中間発表、公開発表
授業の概要	今までに学んだ知識を生かし、自分の関心テーマに従って、ゼミナール論文を作成する。毎回の発表では、発表者が自分の研究成果を発表し、参加者全員で課題を討論する。中間発表およびゼミ終了日にはゼミ論文についての発表をする。
達成目標（授業の目的）	グローバルな世界の問題の中から、選択した自分のテーマをあらゆる角度から研究し、まとめ、発表し、ゼミ論文作成をすることが目的である。授業で扱う様々な課題を SDGs（Sustainable Development Goals）：グローバル・ゴールズの観点から分析・考察していく。
到達目標（学修成果）	1）先行研究の検討、研究課題の設定、調査、討論をとおして、論文作成に必要な知識と技術を身につける。 2）SDGs の実例を取り上げ、内容を論理的、批判的にまとめ考察し発表することができるようになる。
評価方法	1）教科書の輪読発表、他資料発表、各レジメ配布 20%。ディスカッション後、毎回リアクションペーパー提出 30%。 2）ゼミ論文に関わる提出 50%。
評価基準	1）教科書の輪読、他資料発表、レジメ配布（20%）、毎回リアクションペーパー提出（30%）リサーチをして十分な資料をもとにプレゼンテーションを組み立て、発表のレジメも効果的に作られているか。Q&A のための準備をして、ゼミ生のディスカッションを効果的に行うことができたか。 2）ゼミ論文に関わる提出（合計 50%）①論文の計画書の提出（要旨、アウトライン、参考資料を含める）（5%） ②論文の要旨についての中間発表（PPT で 15 分、配布用レジメを用意、Q&A）（10%） ＊9 月の夏合宿及び 1～2 回目の授業で行う。 ③初稿の提出（10,000 字～12,000 字、or 12,000 字以上）12 月 20 日（10%） ④ゼミ論文発表（PPT で 15 分、配布用レジメを用意、Q&A）（10%） ⑤ゼミ論文清書の提出 1 月末（15%） ＊提出期限を守れたか。 ＊論文提出の決められた書式をすべて守れたか。 ＊論文の内容：10,000～12,000 字の字数の中で自分のテーマに従って、段階的に十分なリサーチに基づいた論理的な文章を資料の引用をきちんと行いながらまとめられたか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、研究倫理、持続可能な開目標（SDGs）の全体像	講義、意見交換	教科書 2 章準
2	2 章、経済開発と SDGs－民間主導のアフリカ経済	発表、意見交換、講義	教科書 3 章準備、ゼミ論文テーマと要旨と文献表提出
3	3 章、ソーシャルビジネスと SDGs－インフラ普及における有効性	発表、意見交換、講義	教科書 4 章準備
4	4 章、都市化と SDGs－都市化の肯定的利用手段としての建築物	発表、意見交換、講義	教科書 5 章準備、ゼミ論文アウトライン提出
5	5 章、環境分野での SDGs の達成に向けた国際貢献	発表、意見交換、講義	教科書 6 章準備
6	6 章、防災と SDGs－SDGs の礎として	発表、意見交換、講義	教科書 7 章準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	7 章、ジェンダーと SDGs－女性のエンパワーメントと障壁	発表、意見交換、講義	教科書 8 章準備 ゼミ論文 1, 2 章提出
8	8 章、社会的保護・社会保障と SDGs 拡大する社会的保護 / ゼミ論文要旨説明①	発表、意見交換、講義	教科書 9 章準備 要旨説明準備
9	9 章、すべての人に対する支援と SDGs 不可欠な障害者支援 / ゼミ論文要旨説明②	発表、意見交換、講義	教科書 10 章準備 要旨説明準備
10	10 章、観光開発 SDGs－Sustainable Tourism / ゼミ論文要旨説明③	発表、意見交換、講義	教科書 11 章準備 要旨説明準備
11	11 章、アフリカの開発と SDGs－ SDGs とアフリカ開発銀行の役割	発表、意見交換、講義	教科書 12 章準備 ゼミ論文初稿提出（12 月）
12	12 章、アフリカにおける農業と技術 13 章、マサイコミュニティと SDGs	発表、意見交換、講義	教科書 13 章準備、PPT の用意、ゼミ論文初稿返却
13	ゼミ論文研究発表（1）	発表、Q&A、評価、自己評価	PPT の用意
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文研究発表（2）とリフレクションタイム（学修ポートフォリオ作成）	発表、Q&A、評価、自己評価	ゼミ論文清書提出（1 月）

テキスト	東洋大学国際共生社会研究センター編（2017）『持続可能な開発目標と国際貢献―フィールドから見た SDGs―』、プリント配布
参 考 書	授業で提示する

科目名	HST310:　東洋研究					担当教員	玉置　真紀子
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	アジア基層文化、交易、先住民族、植民地化、開発、児童労働、マイクロファイナンス
授業の概要	西洋から見た「東洋」の自然環境、歴史、宗教、文化、社会を学び、その文化的重層性と多様性を理解する。国際社会の中で、その人口規模からも経済的にも東南アジアの重要性は増している。開発が進む中で生きる人々の生活を知り、その知恵を学ぶ。同時に、発展の陰で取り残される女性や子どもたちの生活に目を向け、現代社会における数々の課題の原因をふまえ、解決方法を探る。
達成目標（授業の目的）	この授業は、東南アジア世界の成立と現代社会のかかわりを理解し、そこに生きる人々の視点を獲得することを目標とする。それによって、遠い他者を身近な隣人として考えることを可能にする。
到達目標（学修成果）	a. 東南アジアの基層文化と多様性を理解する。 b. 人々の日常生活と経済活動を授業で学んだ用語や概念を用いて分析し、記述できる。 c. 開発・発展に伴う貧困や児童労働などの問題群の原因を説明し、解決のための提案ができるようになる。
評価方法	① 授業課題：授業内で提出するリアクションペーパー 2%（2点相当）×24 回＝48% ② 授業内試験：選択式、論述式 22% ③ 定期試験：選択式、論述式 30%
評価基準	① 授業課題：授業内容を理解した上で、質問に対して（1）論理的に説明すること、（2）具体的に記述すること、を求める。これができていれば 2 点、感想のみの場合は 1 点となる。 ②&③ 授業内試験と定期試験：（1）問題に対し適切な解答を、授業で学んだ用語や理論を援用し論理的に説明すること、（2）課題解決型の問題の場合は具体的な解決策を提案すること、（3）自分の経験に引き寄せて検討すること、を求める。感想のみの場合は減点対象とする。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要説明、東洋と東南アジアについて	講義、質疑応答	東南アジア各国の位置と成り立ちを確認する
2	東南アジアの自然環境	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.16-23 を読む
3	東南アジアの基層文化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.24-36 を読む
4	東南アジアの歴史と社会（1）インド化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.47-54 を読む
5	東南アジアの歴史と社会（2）交易の時代から植民地化へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.55-72 を読む
6	東南アジアの歴史と社会（3）脱植民地化から国民国家形成へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.73-79 を読む
7	人びとは何を食べてきたかーコメの歴史と棚田のテクロノジー	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.137-150, pp.297-303 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	東南アジアの家族観－結婚、家族、親族、子どもの成長	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.173-179 を読む
9	東南アジアの居住空間－都市と農村	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.130-136 を読む
10	児童労働とは（1）子どもの権利条約	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
11	児童労働とは（2）児童労働の実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
12	児童労働とは（3）農園で働く子どもたち	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	参考資料を読む
13	児童労働とは（4）子ども兵士	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
14	東南アジアにおける児童労働のまとめ、授業内試験	講義、質疑応答、授業内試験（50 分）	1～13 回の講義を復習する
15	現代東南アジア史におけるキーパーソン	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.366-412 を読む
16	試験の返却と解説 先住民族と呼ばれる人々	試験返却および解説 講義	テキスト pp.252-275 を読む
17	東南アジアの古典文学	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.182-188 を読む
18	東南アジアの宗教（1）仏教、ヒンズー教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.152-157, pp.166-172 を読む
19	東南アジアの宗教（2）イスラム教、キリスト教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.158-165 を読む
20	大陸東南アジアの現在（1）ラオス	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
21	大陸東南アジアの現在（2）ミャンマー／ビルマ	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
22	マイクロファイナンスを学ぶ（1） マイクロファイナンスの成立と背景	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
23	マイクロファイナンスを学ぶ（2） マイクロファイナンス機関と実践	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
24	マイクロファイナンスを学ぶ（3） 課題と解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
25	東南アジアの移住／移民労働者	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
26	日本で働く東南アジアの人々	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	東南アジア社会における経済と労働問題のまとめ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	16～26 回の講義を復習する
28	東洋を再考する 定期試験の返却と解説	講義、試験返却、および解説	講義の振り返り

テキスト	今井昭夫編『東南アジアを知るための 50 章』（明石書店）
参 考 書	大野・鈴木・日下編著『フィリピンを知るための 64 章』（明石書店） 岩崎育夫『入門 東南アジア近現代史』（ミネルヴァ書房）
その他 特記事項	学習者にとって初めて聞く・見ることばかりの内容になると思います。好奇心を持って臨みましょう。

科目名	HST302:　西洋研究					担当教員	森下　園
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4202
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	教会史、女性史
授業の概要	キリスト教文化を理解するため、古代ローマ帝国時代から第二バチカン公会議までのヨーロッパの教会史を概観する。ヨーロッパが中心となるがアメリカ、日本についても一部取り上げる。
達成目標（授業の目的）	ヨーロッパの歴史と不可分であるキリスト教の歴史を学び、その歴史的意義や文化への影響力について理解し、自分の言葉で説明できるようにすることが目標である。
到達目標（学修成果）	①次回授業プリントを事前に読んで事典類で用語を調べることで予習する習慣をつけ、授業後に授業課題を書くことで授業内容を理解できるようになる。 ②重要な変化・出来事・人物・考え方などについて、自分の言葉で説明できるようになる。
評価方法	①授業課題：3%×22回＝66%（Moodleで提出） ②期末レポート：34%（3000字以上）
評価基準	①授業課題：授業内容を正しく理解しているか、自分で調べ学習をしているか ②期末レポート：授業で扱った事象について調べ、適切な用語を使いながら自分の言葉で、指示した書式にそってレポートとしてまとめられるか
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	はじめに　ーキリスト教とヨーロッパ史	講義、質疑応答	キリスト教の起源について調べる、Moodle登録
2	ローマ帝国時代（1）迫害の時代	講義、質疑応答	授業プリントの予習
3	ローマ帝国時代（2）教父の時代	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 3回授業課題提出①
4	イングランドへの布教	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 4回授業課題提出②
5	シャルルマーニュの戴冠	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 5回授業課題提出③
6	フランク王国	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 6回授業課題提出④
7	ビザンツ帝国と東方教会	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 7回授業課題提出⑤
8	西方修道制	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 8回授業課題提出⑥
9	中世芸術	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 9回授業課題提出⑦
10	グレゴリウス改革	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 10回授業課題提出⑧
11	新しい修道制	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 11回授業課題提出⑨

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
12	中世の大聖堂建築	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 12 回授業課題提出⑩
13	十字軍と巡礼	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 13 回授業課題提出⑪
14	12 世紀ルネッサンス 神聖ローマ帝国	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 14 回授業課題提出⑫
15	修道院学校・教会学校・大学へ	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 15 回授業課題提出⑬
16	異端審問と托鉢修道会	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 16 回授業課題提出⑭
17	神秘霊性と隠修女ノーリッジのジュリアン 自称聖女マージェリー・ケンプ	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 17 回授業課題提出⑮
18	百年戦争とジャンヌ・ダルク	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 18 回授業課題提出⑯
19	中世の聖女たちと聖母マリアをめぐる教義	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 19 回授業課題提出⑰
20	魔女狩り	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 20 回授業課題提出⑱
21	宗教改革とカトリック教会改革	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 21 回授業課題提出⑲
22	アメリカのキリスト教（1）ピューリタンと カトリック	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 22 回授業課題提出⑳
23	アメリカのキリスト教（2）独立後の諸教会	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 23 回授業課題提出㉑
24	トリエント公会議後の教会改革とイエズス 会の世界伝道	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 期末レポート準備
25	日本の隠れキリシタンについて	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 期末レポートの準備
26	近代の教会と世界大戦	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 期末レポート提出準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	第二バチカン公会議とエキュメニズム	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 27 回授業課題提出㉒
28	終わりに　ーキリスト教文化について 期末レポートの講評	講義、質疑応答、講評	振り返り

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2022　短大部　西洋研究」にアップロードする。
参 考 書	森本あんり『アメリカ・キリスト教史』（新教出版社） 『カトリック教会の歴史』（カトリック中央協議会）、https://www.cbcj.catholic.jp/catholic/history/

科目名	JPN311:　日本文化					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	火金 4 限			研究室	4202
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	日本史、日本文化、自己イメージと他者イメージ
授業の概要	「日本らしい文化」「日本人らしさ」とはどのような経緯を経てつくり出されてきたのか、日本史を踏まえながら見ていく。特に近世以降の理解に重点を置く。主に「日本民族」の自己及び他者イメージ、日本王権論、宗教、芸能、メディア文化、家族、他国との交流、言語、ポップカルチャーについて、英語資料も時に使いながら取り上げる。
達成目標（授業の目的）	日本の文化・歴史について問われた時に、専門的なレベルで答え、あるいは議論できるようにすることが目標である。
到達目標（学修成果）	高校の日本史レベルの内容を頭に入れた上で、講義で扱う概念・用語・事例を理解し、自分の言葉で説明できるようにする。①そのため、講義前にその時代の主な出来事について予習を行い、授業終了時に授業内容について出された課題に自分の言葉で答えられるようにする。②また特に関心のあるトピックについて、参考文献を読み、まとまった文章で論述できるようにする。
評価方法	①Moodle 提出の課題（約 400 字）が 3%×20 回＝60% ②2000～3000 字の期末レポートが 40%の計 100%となる。
評価基準	①授業課題：要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。なお欠席した回の課題は採点対象にならない。研究倫理違反は 0 点となる。 ②レポート：適切なテーマで適切な参考文献を使用・引用し、定められた書式・字数で期日までに提出しているか。研究倫理違反は 0 点となる。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	はじめに－「日本文化」とは何か Moodle の使い方について	講義、質疑応答、意見交換	自分が思う「日本文化」について、箇条書きにする
2	「日本人」の定義（1）旧石器遺跡捏造事件	講義、質疑応答、意見交換	Moodle に書き込み 第 3 回授業プリントの予習
3	「日本人」の定義（2）人類学者の学説変遷	講義、質疑応答、意見交換	第 3 回授業課題① 第 4 回授業プリントの予習
4	「日本人」の定義（3）植民地政策にあらわれるゆらぎ	講義、質疑応答、意見交換	第 4 回授業課題② 第 5 回授業プリントの予習
5	日本の王権論（1）古代の神話と天皇	講義、質疑応答、意見交換	第 5 回授業課題③ 第 6 回授業プリントの予習
6	日本の王権論（2）中世の天皇と将軍	講義、質疑応答、意見交換	第 6 回授業課題④ 第 7 回授業プリントの予習
7	日本の王権論（3）明治以降の天皇制	講義、質疑応答、意見交換	第 7 回授業課題⑤ 第 8 回授業プリントの予習
8	日本の宗教（1）仏教	講義、質疑応答、意見交換	第 8 回授業課題⑥ 第 9 回授業プリントの予習
9	日本の宗教（2）神仏習合	講義、質疑応答、意見交換	第 9 回授業課題⑦ 第 10 回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	日本の宗教（3）キリシタンとキリスト教	講義、質疑応答、意見交換	第 10 回授業課題⑧ 第 11 回授業プリントの予習
11	日本の宗教（4）江戸時代の宗教・明治以降の宗教	講義、質疑応答、意見交換	第 11 回授業課題⑨ 第 12 回授業プリントの予習
12	日本の芸能（1）源氏物語	講義、質疑応答、意見交換	第 12 回授業課題⑩ 第 13 回授業プリントの予習
13	日本の芸能（2）琵琶法師	講義、質疑応答、意見交換	第 13 回授業課題⑪ 第 14 回授業プリントの予習
14	日本の芸能（3）能と歌舞伎	講義、質疑応答、意見交換	第 14 回授業課題⑫ 第 15 回授業プリントの予習
15	日本の芸能（4）書物・浮世絵・料理	講義、質疑応答、意見交換	第 15 回授業課題⑬ 第 16 回授業プリントの予習
16	日本の家族観（1）江戸時代の婚姻・離婚	講義、質疑応答、意見交換	第 16 回授業課題⑭ 第 17 回授業プリントの予習
17	日本の家族観（2）明治の教育と家族観の変化	講義、質疑応答、意見交換	第 17 回授業課題⑮ 第 18 回授業プリントの予習
18	他国との交流（1）朝鮮半島との交流史	講義、質疑応答、意見交換	第 18 回授業課題⑯ 第 19 回授業プリントの予習
19	他国との交流（2）日本を訪れた人々・日本から海外を訪ねた人々	講義、質疑応答、意見交換	第 19 回授業課題⑰ 第 20 回授業プリントの予習
20	メディア文化（1）明治・大正時代のメディアと女性・男性のイメージ	講義、質疑応答、意見交換	第 20 回授業課題⑱ 第 21 回授業プリントの予習
21	メディア文化（2）現代メディアがつむぐ多様な性のイメージ	講義、質疑応答、意見交換	第 21 回授業課題⑲ 第 22 回授業プリントの予習
22	国文学とは何か 期末レポートの説明	講義、質疑応答、意見交換	第 23 回授業プリントの予習 レポート作成準備
23	日本の自己イメージ　ー国勢調査、世論調査は何を語るか、期末レポートの説明	講義、質疑応答、意見交換	第 24 回授業プリントの予習 期末レポート作成準備
24	言語　ー「標準語」「方言」「外国語」	講義、質疑応答、意見交換、	第 25 回授業プリントの予習 期末レポート作成準備
25	ポップカルチャー（1）アニメとマンガ	講義、質疑応答、意見交換	第 26 回授業プリントの予習 期末レポート作成準備
26	ポップカルチャー（2）少女文化の系譜	講義、質疑応答、意見交換	第 27 回授業プリントの予習 期末レポート作成準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	太平洋戦争をめぐるさまざまな議論	講義、質疑応答、意見交換	第 27 回授業課題⑳
28	再び、「日本文化」とは何か 期末レポートの講評	講義、質疑応答、意見交換、講評	授業の振り返り

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2022　短大部　日本文化」にアップロードする。
参 考 書	網野善彦『日本とは何か　日本の歴史 00 巻』（講談社） NHK 高校講座、日本史（インターネットで視聴可）

科目名	INT301:　国際関係論					担当教員	大木　優利
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	国際政治、グローバル社会、国際協力、国際平和
授業の概要	国際関係論の入門科目。 国際関係の歴史、理論・概念、地球規模課題（グローバルイッシュー）などについて講義を行う。授業中には、新聞記事や映像資料を用いて対話・ディスカッションする時間を設け、学生自ら考える授業を目指す。
達成目標（授業の目的）	授業内容を通じて国際関係論という学問分野及び学術的用語を理解する。その過程で、抽象的な理論・概念を具体的な事例に適用し、逆に具体的な事例から抽象的な概念を引き出すなど、考える力を身につける。
到達目標（学修成果）	1. 国際関係論の基礎的な知識を習得する。（評価基準 1 及び 2） 2. 資料収集及びその資料を一定の観点に沿ってまとめることができる。（評価基準 3 及び 4） 3. 関心分野に学習した内容を適用し、事実に基づいて自分の考えを展開することができる。（評価基準 3 及び 4）
評価方法	1. 授業参加　10% 2. 課題形式の試験（テイクホーム・エグザム）2 回　各 25%（合計 50%） 3. グループ・プレゼンテーションに関連する個人課題　15%（個人評価） 4. グループ・プレゼンテーション　25%（グループ評価）
評価基準	1. 授業参加：質疑応答、ディスカッション参加など。 2. 課題形式の試験（テイクホーム・エグザム）：授業内容を正確に理解しているか。 3. グループ・プレゼンテーションに関連する個人課題：適切な資料調査及び内容の一貫性。 4. グループ・プレゼンテーション：授業内容の適用した問題提起及び事実関係の整理。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業のガイダンス及び現在の国際社会について	講義	2 回の授業資料を読む（予習）
2	今の「国家」ができるまで	講義 ディスカッション	3 回の授業資料を読む（予習）
3	現代の「国際関係」はどうできたのか	講義 ディスカッション	1~3 回の内容を復習 4 回の授業資料を読む（予習）
4	現状をどう見るか 1：パワーを中心に	講義 ディスカッション	5 回の授業資料を読む（予習）
5	現状をどう見るか 2：利益を中心に	講義 ディスカッション	6 回の授業資料を読む（予習）
6	現状をどう見るか 3：規範 / 従属	講義 ディスカッション	4~6 回の内容を復習 7 回の授業資料を読む（予習）
7	国際関係と経済	講義 ディスカッション	7 回の内容を復習 8 回の授業資料を読む（予習）
8	戦争のない国際社会のために	講義 ディスカッション	9 回の授業資料を読む（予習）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	安全保障	講義 ディスカッション	10 回の授業資料を読む（予習）
10	「核」にどう向き合うか	講義 ディスカッション	11 回の授業資料を読む（予習）
11	新しい脅威とどう向き合うか	講義 ディスカッション	復習及び課題形式試験の準備
12	プレゼンテーションのグループワーク 課題形式の試験	グループワーク、 課題形式の試験	プレゼンテーションについての準備
13	試験の返却、および解説 （国際 / 国内）紛争の事例	映像資料観覧 講義	14 回の授業資料を読む（予習）
14	紛争の背景にあるもの	講義 ディスカッション	15 回の授業資料を読む（予習）
15	平和構築 / 紛争解決	講義 ディスカッション	14~15 回の内容を復習 16 回の授業資料を読む（予習）
16	「国家」以外のアクターとその役割	講義 ディスカッション	17 回の授業資料を読む（予習）
17	国家間統合は可能なのか	講義 ディスカッション	18 回の授業資料を読む（予習）
18	技術・エネルギーをめぐるイッシュー	講義 ディスカッション	19 回の授業資料を読む（予習）
19	「人」に関する議論ー難民・人の移動・人権	講義 ディスカッション	20 回の授業資料を読む（予習）
20	領域をめぐるイッシュー	講義 ディスカッション	21 回の授業資料を読む（予習）
21	環境問題とどう向き合うか	講義 ディスカッション	22 回の授業資料を読む（予習）
22	国際協力と持続可能な開発（開発援助）	講義 ディスカッション	23 回の授業資料を読む（予習）
23	貧困削減と人間の安全保障	講義 ディスカッション	24 回の授業資料を読む（予習）
24	グローバルガバナンス	講義 ディスカッション	22~24 回の内容を復習
25	グループ・プレゼンテーション	プレゼンテーション 質疑応答	プレゼンテーションの準備
26	グループ・プレゼンテーション	プレゼンテーション 質疑応答	プレゼンテーションの準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	プレゼンテーションに対する評価・フィードバック 課題形式の試験	講義 課題形式の試験	課題形式の試験の準備
28	試験の返却、および解説 授業の総括	講義	復習

テキスト	授業内容をまとめた資料を事前に LOYOLA 又は MOODLE にアップする。その他のディスカッション資料（新聞記事や文献の一部かつ必要最小限の複製資料）は事前あるいは授業中に配布する。
参 考 書	村田晃嗣他『国際政治学をつかむ（新版）』（有斐閣）2015 年 福富満久『国際平和論』（岩波書店）2014 年 高木保興『国際協力学』（東京大学出版会）2004 年 高橋哲哉・山影進『人間の安全保障』（東京大学出版会）2008 年

科目名	ANT200:　文化人類学					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4205
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research
授業の概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All lectures, assignments, and tests will be in English.
達成目標（授業の目的）	This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students should be able to: ・understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences; ・understand broadly the range of topics often studied in anthropology; ・understand and explain the significance of key examples of those topics; ・understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes; ・use careful observation and inference-making to gain cultural understanding; ・ask good questions for doing qualitative, interview research.
評価方法	Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests 30%.
評価基準	Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions. Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making. Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates good interview research questions as well as careful observation and inference-making. Tests: Demonstrate understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Complete homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Complete interview practice worksheet

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project
8	Religion: “witchcraft” in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Complete HW about objective / subjective information
10	Ritual: what do rituals “do”?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125
11	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; complete HW about film
12	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
13	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Complete interview practice worksheet
14	Gift-giving and exchange: *potlatch* (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; complete Interview Project topic
15	Gift-giving and exchange: *kula*	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
16	Culture and person / self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
17	Culture and person / self: cultural variations	lecture, pair work	Complete worksheet on Ch. 8
18	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
19	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Complete homework on culture-bound illnesses
21	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
22	Discuss Interview Project findings (based upon each student’s completed interview)	small-group discussion	Complete interview; prepare copy of actual interview notes
23	Identity: individual and collective; return Test #1 and go over results	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
24	Nation and culture: what holds society together?	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
25	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106
26	Review, Test #2	lecture, test	Study for test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Watch film: “Children of Heaven” (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Complete Fact Sheet on Iran, Interview Project report
28	Discuss film: observations / inferences; return Test #2 and go over results	small-group discussion, lecture	Complete worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. *Social & Cultural Anthropology: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).
参 考 書	H. Peters-Golden. *Culture Sketches: Case Studies in Anthropology* (McGraw-Hill).
その他 特記事項	Lectures, assignments, and tests will be in English. Each student must do an Interview Project that requires finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART200:　現代美術					担当教員	G. Freddes
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	Romanticism, Japonisme, Modernism, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modernism
授業の概要	This course will explore developments in art from the 19th to the 21st Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments on class content and their online research. Students will be required to conduct research in areas of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.
達成目標（授業の目的）	Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works' formal characteristics, materials, and possess some understanding of its cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works, and more confidently express personal opinions.
評価方法	Participation and Written Reactions (40%) Midterm Report (25%) Final Report (35%)
評価基準	Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artworks seen in class, online research summary). Midterm Report (at least 800 words). Final Report (at least 1000 words). Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his / her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them, including materials, formal characteristics, the work's cultural / historical context, and a personal opinion.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Introduction. What is Modern Art? The Louvre, Orsay, and Beauborg Museums	Lecture, video, reading, writing, online sources	Read textbook pp. 66-71 Visit the 3 museum's websites
2	Introduction to the textbook, online resources, and art vocabulary	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 76-78 Review, View online sources
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80 Review, Online research
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin, Verdi	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 81-88 Review, Online research
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91 Review, Online research
6	The Industrial Revolution: Early Modern Architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95 Review, Online research
7	The Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War, Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103 Review, Online research

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109 Review, Online research
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassatt, Morisot	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133 Review, Online research
10	Modern Sculpture: Rodin vs. Brancusi	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115 Review, Online research
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122 Review, Online research
12	Post-Impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers, and / or pastels to class
13	Van Gogh: “The Sunflowers”	Art making activity	Read text pp. 123-125 Review, Online research
14	Early Expressionism: Munch, M-Becker Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 128-133 Review, Online research
15	Fauvism: Matisse, Vlamink, Derain, Dufy	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report; Bring Scissors, glue, colored paper
16	Matisse cutouts: Create a class mural	Art making activity	Read pp. 116-117, 136-138 Review, Online research
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145 Review, Online research
18	Futurism; Constructivism; Precisionism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147 Review, Online research
19	Modernist Architecture: Le Corbusier	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text p. 148 Review, Online research
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151 Review, Online research
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 152-153 Review, Online research
22	20th Century Photography: Cartier-Bresson	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163 Review, Online research
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176 Review, Online research
24	Pre-Pop and Pop Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179 Review, Online research
25	Minimal and Conceptual Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189 Review, Online research
26	Post-Modernism: Diversity	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 194-200 Submit Final Report w. P.A.R.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Recent Trends 1990-2000	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Skim text from p. 200 to the end Review, Online research
28	Recent Trends 2001-2022	Lecture, slideshow, Course Survey	Last chance to submit the Final Report (will not be returned)

テキスト	Carol Strickland. *The Annotated Mona Lisa, Third Edition* (Andrews and McMeel).
参 考 書	*The Letters of Vincent Van Gogh* Online The Museum of Modern Art: Online Collection
その他 特記事項	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / Bilingual / Japanese And, as mentioned above, students must visit two museums and write two reports in English.

科目名	EDU302:　比較・国際教育学					担当教員	杉村　美佳
開講期	春	開講時限	火金 4 限			研究室	4220
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日的教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。
達成目標（授業の目的）	比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じられるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身につけ、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。 ②比較・国際教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、教育問題の解決に向けた方策を考察することができる。 ③各国の教育の現状や課題について文献の内容をまとめ、論理的に考察することができる。
評価方法	①リアクション・ペーパー（30%）、②レポート（30%）、③授業内試験（40%）
評価基準	①リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえ論理的に考察できているか。 ②レポート：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に解答できているかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	比較教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付プリントの要約・考察
2	国際教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教育の国際組織を調べる 配付プリントの要約・考察
3	教育制度の国際比較（1） ―就学率・識字率―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	識字率について調べる 配付プリントの要約・考察
4	教育制度の国際比較（2） ―学校教育制度の類型―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	英文記事の和訳 配付プリントの要約・考察
5	教育制度の国際比較（3） ―教育制度改革の焦点―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
6	先進国と途上国における児童労働の現状と撲滅に向けた課題	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	児童労働について調べる 配付プリントの要約・考察
7	先進国における学校化社会と学歴（1） ―学校化社会と学歴社会―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	学歴社会について調べる 配付プリントの要約・考察
8	先進国における学校化社会と学歴（2） ―ヨーロッパの非学歴社会―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
9	先進国における生涯学習社会	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	発展途上国における識字教育（1） ―非識字者の分布と構成―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	識字教育について調べる 配付プリントの要約・考察
11	発展途上国における識字教育（2） ―識字教育の取り組み―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	SDGs について調べる 配付プリントの要約・考察
12	先進国における国民統合と学校教育（1） ―新自由主義的教育政策―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	新自由主義について調べる 配付プリントの要約・考察
13	先進国における国民統合と学校教育（2） ―多文化共生教育―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
14	多文化教育の国際比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	多文化教育について調べる 配付プリントの要約・考察
15	発展途上国における国民統合と学校教育 ―マレーシアを中心に―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
16	世界のシティズンシップ教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	市民教育について調べる 配付プリントの要約・考察
17	開発と教育（1）―開発教育―	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	開発教育について調べる 配付プリントの要約・考察
18	開発と教育（2）―国際教育協力―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	国際教育協力を調べる 配付プリントの要約・考察
19	開発と教育（3）―JICA による国際教育協力の実態―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	JICA について調べる 配付レジュメの要約・考察
20	紛争後社会における平和構築に向けた教育	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	紛争後教育について調べる 配布プリントの要約・考察
21	小括と授業内試験	講義・質疑応答 授業内試験	20 回目までの授業内容の復習
22	ヨーロッパの自由教育（1）シュタイナー教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	自由教育について調べる 配付プリントの要約・考察
23	ヨーロッパの自由教育（2）イエナプラン教育	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
24	試験の返却と解説	講義・質疑応答 レポートの準備	レポートの準備 配付プリントの復習
25	アジアの教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	レポート発表の準備 配付プリントの要約・考察
26	北欧の教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	レポート発表の準備 配付プリントの要約・考察
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	中東の教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	レポート発表の準備 配付プリントの要約・考察
28	オセアニアの教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	レポート発表の準備 配付プリントの要約・考察

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配付する。
参 考 書	石附 実『比較・国際教育学』（東信堂） 二宮 皓編著『世界の学校』（学事出版）
その他 特記事項	JICA からゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。

科目名	PHL210:　倫理学					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	火金 4 限			研究室	4214
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 4	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	1-①, 4-⑤

キーワード	権利、所有、契約、主権、義務、自由、平和
授業の概要	倫理学の歴史を幅広く概観し、個人と社会の望ましい関係はどのようなものか、また社会において私はいかに生きるべきかについて講義とディスカッションを通して考察する。
達成目標（授業の目的）	「社会の中で人生をいかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。
到達目標（学修成果）	・倫理学の歴史に登場する基本的な概念と学説を正しく把握し、それを表現できる。 ・行為選択の倫理的規範についての近現代の主要な議論を理解し、正しく表現できる。 ・倫理的な問いを提起し、その問いに関する自分自身の考えを説明できる。
評価方法	①提出課題（17%）、②リアクションペーパー（28%）、③中間レポート（2,000 字以上）（25%）、④期末レポート（2,500 字以上）（30%）
評価基準	①　提出課題: 事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ②　リアクションペーパー：授業で説明された倫理学の基本的な概念と学説の意味を、自分の言葉で正しく論述できるかどうか。 ③　中間レポート：11 回目までの授業で取り上げた倫理学説を一つ取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉でわかりやすく説明した上で、自分の意見を論述展開できるかどうか。 ④　期末レポート：ハイデガーの講演「技術とは何だろうか」について問いを提起し、ハイデガーの考えを自分の言葉で説明した上で、理由を挙げて自分の考えを展開できるかどうか。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入　倫理学とは何か	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.9-13 をていねいに読んでおく。
2	人間とは何かという問い	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.17-30 をていねいに読み、要約を提出する。
3	人間性についての 3 つの見方	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.31-43 をていねいに読み、要約を提出する。
4	アリストテレスの倫理学	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.44-56 をていねいに読み、要約を提出する。
5	エピクロスとストア派	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.57-69 をていねいに読み、要約を提出する。
6	主我主義と主他主義	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.70-83 をていねいに読み、要約を提出する。
7	功利主義	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.84-97 をていねいに読み、要約を提出する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	功利主義批判と義務論	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.98-112 をていねいに読み、要約を提出する。
9	カントの倫理学	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.113-128 をていねいに読み、要約を提出する。
10	歴史主義の倫理	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.129-143 をていねいに読み、要約を提出する。
11	実存主義の倫理	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.144-158 をていねいに読んでおく。
12	人間の倫理	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.159-176 をていねいに読み、要約を提出する。
13	「我と汝」	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.177-194 を読んでおく。
14	役割の倫理	講義・ディスカッション リアクションペーパー	中間レポート提出。教科書①pp.195-210 を読んでおく。
15	和辻哲郎の倫理学	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.211-226 をていねいに読み、要約を提出する。
16	社会倫理と人類倫理	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書①pp.227-249 をていねいに読んでおく。
17	ハイデガーの人間理解と世界理解 中間レポートの講評	講義・ディスカッション リアクションペーパー	ハイデガーという哲学者について調べておく。
18	講演「技術とは何だろうか」第 1 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.96-108 をていねいに読み、要約を提出する。
19	講演「技術とは何だろうか」第 2 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.108-127 をていねいに読み、要約を提出する。
20	講演「技術とは何だろうか」第 3 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.127-138 をていねいに読み、要約を提出する。
21	講演「技術とは何だろうか」第 4 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.138-151 をていねいに読み、要約を提出する。
22	講演「物」第 1 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.16-27 をていねいに読んでおく。
23	講演「物」第 2 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.28-41 をていねいに読んでおく。
24	講演「物」第 3 回講読	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.41-51 をていねいに読んでおく。要約を提出。
25	講演「建てること、住むこと、考えること」第 1 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.62-74 をていねいに読んでおく。
26	講演「建てること、住むこと、考えること」第 2 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.74-85 を熟読。 試験期間に期末レポート提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	講演「建てること、住むこと、考えること」第 3 回講読	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教科書②pp.85-91 をていねいに読んでおく。要約を提出。
28	まとめ　倫理学的思考の意味 期末レポートの講評	講義・ディスカッション リアクションペーパー	これまでの講義内容を振り返っておく。

テキスト	① 宇都宮芳明『倫理学入門』（ちくま学芸文庫） ② マルティン・ハイデガー『技術とは何だろうか』（森一郎訳）（講談社学術文庫）
参 考 書	マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』（ハヤカワ文庫） 品川哲彦『倫理学入門』（中公新書）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	SOC301:　平和と開発					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	火金５限			研究室	4211
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	sustainable development, poverty eradication, universal education, gender equality, global partnership
授業の概要	This course deals in detail with the “Sustainable Development Goals (SDGs)” initiated by the United Nations Organization in the year 2015. It will cover the seventeen SDGs and one hundred sixty-nine targets and how they are built upon the “Millennium Development Goals” which ended in 2015. As part of assignments, students will be required to choose one of the seventeen goals and study how it is being implemented in one of the developing countries. Students are required to read the handouts beforehand and prepare for discussion in class.
達成目標（授業の目的）	The general goals of this course are (1) to study the tasks left behind by the MDGs after fifteen years of hard labor to eradicate extreme poverty and (2) to learn the relevance of SDGs in the next fifteen years for the world, (3) to do research on a particular issue related to SDGs in developing countries especially in Africa and Asia, and (4) to understand the interrelatedness of development and peace.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will ・acquire a deeper understanding of the relevance and achievements of MDGs ・know the transition from MDGs to SDGs ・know the importance of MDGs and SDGs for the future of the world ・increase their awareness of global issues especially in developing countries ・improve their ability to do research on issues related to peace and development ・learn to cooperate and contribute to group discussion and active class participation
評価方法	Class participation (40%), quizzes (20%), Presentation (20%), Research report (20%)
評価基準	To be distributed at the first class.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course, course materials, class policies, evaluation criteria	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
3	What is development? Relation between development and peace	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
4	Introduction to Millennium Development Goals (MDGs), history of MDGs, quiz	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
5	Achievements of MDGs – Goals 1 - 4	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
6	Achievements of MDGs – Goals 1 - 4	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
7	From MDGs to Sustainable Development Goals (SDGs), quiz	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for quiz
8	SDG 1: No poverty	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	SDG 2: Zero hunger	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
10	SDG 3: Good health and well-being	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
11	SDG 4: Quality education, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
12	SDG 5: Gender equality, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
13	SDG 6: Clean water and sanitation, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
14	SDG 7: Affordable and clean energy, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
15	SDG 8: Decent work and economic growth, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
16	SDG 9: Industry, innovation and infrastructure, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
17	SDG 10: Reduced inequalities, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
18	SDG 11: Sustainable cities and communities, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
19	SDG 12: Responsible consumption and production, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
20	SDG 13: Climate action, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
21	SDG 14: Life below water, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
22	SDG 15: Life on land, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
23	SDG 16: Peace, justice and strong institutions, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
24	SDG 17: Partnerships for the goals, presentation by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
25	Research presentation by students	group work, discussion	prepare for presentation
26	Development theories and quality of life	lecture, reading, discussion	read handouts, do preview sheet
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Challenges faced by SDGs: employment, education	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
28	Challenges faced by SDGs: politics, international cooperation	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion

テキスト	Materials adapted from *The 2030 Agenda for Sustainable Development* and *The Sustainable Development Goals Report 2022* and *The Millennium Development Goals Report 2015* will be distributed in class.
参 考 書	Rorden Wilkinson and David Hulme (Eds.). *The Millennium Development Goals and Beyond* (Routledge).

科目名	LIT323:　イギリスの文化と文学					担当教員	山本　浩
開講期	春	開講時限	月木５限			研究室	4212
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	イギリスの４つの国、英語、階級、教育、キリスト教、芸術、メディア、食文化
授業の概要	イギリス（連合王国）を構成している England, Scotland, Wales, Northern Ireland とその民族、England の言語である英語の歴史と特徴、イギリス社会の中で階級がもつ意味、イギリスの初等・中等教育と高等教育の歴史と現在、イギリスのキリスト教の歴史、イギリスの芸術（とくに美術と演劇）、イギリスの新聞と放送の特徴、イギリスの食事と紅茶文化について学び、同時に、それに関連した文学作品を読む。
達成目標（授業の目的）	イギリスと英語を理解するために、イギリスの文化のいろいろな面について学び、イギリスがどのような国であり、英語がどのような言語であるかが分かるようになることを目的とする。
到達目標（学修成果）	イギリスの 4 つの国とその民族、英語の成り立ち・発展・現状、イギリス社会の階級、イギリスの教育、イギリスのキリスト教、イギリスの芸術、イギリスのメディア、イギリスの食文化について十分な理解があり、また、イギリス文学の中でそれらがどのように扱われているかを作品を通して理解できるようになっていることを到達目標とする。
評価方法	テストおよび定期試験　50% 小論文　30% 授業への積極参加　20%
評価基準	テストおよび定期試験：授業で取り上げた4つの国、英語の歴史、階級、教育、キリスト教、芸術、メディアなどの基本的な事柄をよく理解しているかを見る。 小論文：課題に沿った内容であるか、よく考えられた議論を展開しているかを見る。 授業への積極参加：授業での質問・発言・意見表明など（リアクション・ペーパーの記述を含む）を積極的に行なったかを見る。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イギリスの４つの国と民族（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	イギリスの４つの国と民族（近代～現代）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	イギリスの４つの国についての評論文	"Being British"の講読と研究	事前に"Being British"を読む
4	英語の歩み（Old English から Middle English へ）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	英語の歩み（Middle English から Modern English へ）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	OE、ME、ModE の実例	OE, ME, ModE の「主の祈り」を読む	事前に「主の祈り」（日本語および現代英語）を読む
7	イギリス社会の階級（階級とは何か）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	イギリス社会の階級（階級と英語）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	D. H. Lawrence, *Sons and Lovers* に見られる階級	*Sons and Lovers* の抜粋の講読と研究	事前に *Sons and Lovers* の翻訳を読む
10	テスト（55 分）と 1 回～9 回の授業の復習（45 分）	テスト実施と復習	テストの準備学習をする
11	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
12	イギリスの教育（初等・中等教育）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	イギリスの教育（高等教育）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	Roald Dahl, *Boy* に見られるイギリスの教育	Roald Dahl, *Boy* の講読と研究	事前に *Boy* の翻訳を読む
15	イギリスのキリスト教（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	イギリスのキリスト教（宗教改革～現代）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
17	Graham Greene, *The End of the Affair* に見られるキリスト教	*The End of the Affair* の講読と研究	事前に *The End of the Affair* の翻訳を読む
18	イギリスの芸術（美術）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	イギリスの芸術（演劇）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	イギリス演劇の一例として Harold Pinter, *Family Voices* を読む	*Family Voices* の講読と研究	事前に *Family Voices* の翻訳を読む
21	テスト（55 分）と 12 回～20 回の授業の復習（45 分）	テスト実施と復習	テストの準備学習をする
22	テストのふりかえり	テストの返却、および解説と質疑応答	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
23	イギリスのメディア（新聞）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
24	イギリスのメディア（ラジオ・TV）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
25	イギリスの食文化	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	George Orwell, "A Nice Cup of Tea" を読む	"A Nice Cup of Tea"の講読と研究	事前に "A Nice Cup of Tea" の翻訳を読む
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	定期試験のふりかえり	定期試験の返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
28	小論文の講評	小論文を返却し講評する	返却された小論文を読み直す

テキスト	とくに使用しない。受講する学生は事前にパワーポイントのファイルをダウンロードして、授業前によく読んでおくこと。授業には、ファイルをプリントしたものを持参すること。
参 考 書	『イギリス文化事典』（丸善出版）

科目名	LIT320:　演劇研究					担当教員	飯田　純也
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	物語、倫理、思想史、精神分析、弁証法、マキャヴェリ、暴君、国家、戦争、社会、子供
授業の概要	演劇の意義と歴史を概観し、次に古代ギリシャ文明と英国エリザベス朝の演劇がどのように国家、自然、戦争、女性を描き、どのようなメッセージを残そうとしたのか検討する。学生は毎回の講義を基に、芝居のテキストを読み、意見や解釈をまとめ、1 人 1 回以上の口頭発表と 4 回の小論文提出（日本語で 2,000 字以上）を行う。期末レポート（日本語で 8,000 字以上）では、授業内容を踏まえ、自ら作品を選び、自らテーマを設定する。
達成目標（授業の目的）	この授業の目標は、思想史の視点から、学生が演劇の意義を理解し、演劇研究を通じて人文及び社会科学の理論を批判的に分析･解釈･評価できるようになることである。同時に、芝居のテキスト、関連資料、ノートを照らし合わせながら、自分の意見と解釈をまとめ、論文を書く能力を身につけることである。
到達目標（学修成果）	1. 西洋文学の古典を物語として分析、批判、評価することができる 2. 作品が描く問題や課題を西洋文明の問題や課題として理解することができる 3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって演劇作品を見る習慣ができる 5. 議論をまとめる能力を身につけることができる
評価方法	1. 小論文が 4 回の提出で計 40%、2. 期末レポートが 20%、3. 口頭発表が 10%、4. 授業参加状況が 30%。授業参加は毎回提出するシャトルカード（SC）によって評価する。
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介 研究倫理	講義、質疑応答、ディスカッション	Crash Course Theater #1-4（YouTube）の視聴、SC の準備
2	演劇史概観 古代	講義、質疑応答、ディスカッション	CCT #5-8 の視聴、予習･復習を基に SC の準備
3	演劇史概観 古代･中世	講義、質疑応答、ディスカッション	CCT #9-11 の視聴、予習･復習内容を基に SC の準備
4	演劇史概観 ルネサンス	講義、質疑応答、ディスカッション	CCT #12-15 の視聴、予習･復習内容を基に SC の準備
5	演劇史概観 現代	講義、質疑応答、ディスカッション	講義後、小論文 #1 の準備（提出は次回授業時）
6	Sophocles, *Oedipus the King*（1） 物語の解釈･分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
7	*Oedipus the King*（2） 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
8	Sophocles, *Oedipus at Colonus* 物語の解釈･分析･討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
9	Sophocles, *Antigone* 物語の解釈･分析･討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	Seneca, *Oedipus* 物語の解釈･分析･討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習･復習内容を基に SC の準備
11	Aristophanes, *Lysistrata* 物語の解釈･分析･討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習･復習内容を基に SC の準備
12	プラトン vs アリストテレス（1） Plato's *Republic*	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習･復習内容を基に SC の準備
13	プラトン vs アリストテレス（2） Aristotle's *Nicomachean Ethics*	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習･復習内容を基に SC の準備
14	古代アテネの演劇 総括	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	講義後、小論文 #2 の準備（提出は次回授業時）
15	内乱の記憶を反映する鏡 Shakespeare, Histories（1）	講義、質疑応答、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習･復習内容を基に SC の準備
16	マキャヴェリズムの分析 Shakespeare, Histories（2）	講義、質疑応答、ディスカッション	抜粋と資料を読み、予習･復習内容を基に SC の準備
17	Shakespeare, Tragedies, *Hamlet*（1） 物語の解釈･分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
18	*Hamlet*（2） 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
19	Shakespeare, Tragedies, *King Lear*（1） 物語の解釈･分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
20	*King Lear*（2） 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	講義後、小論文 #3 の準備（提出は次回授業時）
21	Shakespeare, Comedies, *A Midsummer Night's Dream*（1）物語の解釈･分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
22	*A Midsummer Night's Dream*（2） 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
23	Shakespeare, Comedies, *Much Ado About Nothing*（1）物語の解釈･分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
24	*Much Ado About Nothing*（2） 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
25	Shakespeare, Comedies, *Twelfth Night*（1） 物語の解釈･分析	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	作品と資料を読み、要点をノート、SC の準備
26	*Twelfth Night*（2） 討論	講義、質疑応答、発表、ディスカッション	小論文 #4 と期末レポートの準備、SC の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	学生発表 小論文講評	ボランティア学生の発表、ディスカッション	小論文 #4 提出（1/22 締切）
28	学生発表 期末レポート講評	ボランティア学生の発表、ディスカッション	期末レポート提出（1/25 締切）

テキスト	取り扱う作品の英文テキスト（抜粋）は毎回事前に Moodle 上に用意
参 考 書	Crash Course Theater Nos. 1-15, YouTube 他に毎回 Moodle 上に参考資料の情報を掲載
その他 特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、高校世界史、特に西洋史を復習すること

科目名	LIT321:　小説研究					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	月木５限			研究室	4218
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	英米小説と研究資料読解、小説技法、批評理論、社会参加、疎外、排除、論文作成
授業の概要	小説技法と批評理論への理解を深め、小説の主題として共同体や社会への参加、そこからの疎外や排除の問題を扱う。小説技法としてプロット、語り手、時間、性格、アイロニー、異化などを学び、批評理論として、ジャンル論、脱構築、精神分析、ジェンダー、マルクス主義、ポストコロニアリズム、新歴史主義などを学ぶ。扱う小説は、Mary Shelley 作 *Frankenstein*、John Steinbeck 作 *Of Mice and Men*、及び J.D. Salinger 作 *The Catcher in the Rye*。
達成目標（授業の目的）	基本的な小説技法と批評理論を理解し、それらを基に日々議論を行い、各自が小説に関する独自の論を発展させることが主な目的である。小説の読解を通じて創造的な文章の理解力を高め、第二次資料の読解を通じて、分析的、論理的、批判的な文章への理解力を高める。そして文学研究上重要な用語、概念、研究法に慣れ親しみ、小説に見出した問題を共同体や社会への参加やそこからの疎外や排除という問題と結び付け、研究上の主題を設定し、意見を発表し、議論を発展させる力を養う。また小説に関する論文作成力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	学期前半で小説技法と批評理論に関する用語と概念の基本的な意味を理解し、それを学期が進む中で小説の分析に応用し論じることが出来る。小説の比喩的な言語を理解し、人間の心、対話、行動、社会状況について独自の洞察を含む読解が出来る。主題として社会参加に問題を抱える人物と彼等を取り巻く状況を理解出来る。資料の内容理解を基に自らの意見を明確に口頭発表し、論文作成では小説研究の基本的方法を理解し、独自の論を発展出来る。
評価方法	授業参加（30%）、発表（30%）、論文（40%）
評価基準	日々の授業参加では、小説技法と批評理論の基本事項を理解し、また小説の内容を正確に理解し、自らの想像力を駆使して得た洞察を含む意見を明確に述べることが求められる。口頭発表では、小説と第二次資料の内容の重要な点を適切に判断し理解した上で文章にまとめ、その上で自らの意見を明確で論理的に述べることが重要である。論文作成では、自分が研究対象として選んだ小説一作品を英語で読み、その内容に関して授業で扱った文学研究のアプローチを活用しながら、自ら設定した主題を明確に説明し、それを論理性と構成力を持って発展させ、意義ある結論に到達することが重要である。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	【小説技法導入】ストーリーとプロット 【小説作品導入】M. Shelley, *Frankenstein*	講義、議論	『批評理論入門』pp. 4-21 *Frankenstein* 第 1 巻
2	ストーリー、プロット、サスペンス 冒険家の手紙、生い立ち、母の死	講義、議論	『批評理論入門』pp. 4-21 *Frankenstein* 第 1 巻
3	語り手、枠物語、語り手の人称と信頼性 科学への傾倒、生命の根源への興味	講義、議論	『批評理論入門』pp. 22-33 *Frankenstein* 第 1 巻
4	焦点化、外的焦点化、内的焦点化 人造人間の制作、傲慢さがもたらすもの	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 34-47 *Frankenstein* 第 1 巻
5	提示と叙述、時間、速度 人造人間、醜悪さの他者性とその拒絶	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 48-62 *Frankenstein* 第 1 巻
6	性格描写、アイロニー、声 弟の死、召使の死	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 63-80 *Frankenstein* 第 1 巻

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	イメージャリー、反復、異化 憎悪、復讐、怪物の孤独	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 81-94 *Frankenstein* 第 2 巻
8	間テクスト性、メタフィクション、結末 他者への偏見、共同体からの排除	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 95-112 *Frankenstein* 第 2 巻
9	【批評理論】伝統、ジャンル、読者反応 呪われし存在、伴侶の希求	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 113-142 *Frankenstein* 第 2 巻
10	脱構築、精神分析 新たな人造人間の制作とその解体	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 143-168 *Frankenstein* 第 3 巻
11	フェミニズム、ジェンダー、マルクス主義 怪物の復讐、花嫁の死、怪物の追跡	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 169 -190 *Frankenstein* 第 3 巻
12	文化批評、ポストコロニアリズム 北極への旅、怪物の独白、孤独	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 191-217 *Frankenstein* 第 3 巻
13	新歴史主義、文体論、透明な批評 Frankenstein まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 218 -235 *Frankenstein* 第 3 巻
14	【小説作品導入、技法と理論応用】 *Of Mice and Men* 社会参加、社会不適合者の生	講義、発表、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 1-2 章 『批評理論入門』選択箇所
15	自律性、動物と人間の生の尊厳、生命剥奪、土地所有、人種差別、権利剥奪	講義、発表、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 3-4 章 『批評理論入門』選択箇所
16	社会不適合者と女性の抑圧、殺人、逃亡、友人の殺害、夢の崩壊	講義、発表、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 5-6 章 『批評理論入門』選択箇所
17	*Of Mice and Men* まとめ 小説技法と批評理論応用まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 1-6 章 『批評理論入門』選択箇所
18	【小説作品導入、技法と理論応用】 *The Catcher in the Rye* 追放、虚偽的社会の拒絶	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 1-3 章 『批評理論入門』選択箇所
19	隣人との関係、貧富の差、虚偽の友情、自己愛、嫉妬、弟の死、トラウマ	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 4-6 章 『批評理論入門』選択箇所
20	孤独、偽りの誠実さ、止まらない嘘、電話での繋がり、夜のホテル	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 7-9 章 『批評理論入門』選択箇所
21	妹との繋がり、他者への敬意の欠如、未成熟な異性への感情、虚偽的な夜の世界	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 10-12 章 『批評理論入門』選択箇所
22	売春、恐喝、階級差の認識、宗教に関する考察	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 13-15 章 『批評理論入門』選択箇所
23	深まる鬱状態、子供達との繋がり、役者の虚偽性、恋人、嫉妬、階級差と劣等感	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 16-18 章 『批評理論入門』選択箇所
24	精神治療、孤独と鬱状態、家への帰還、妹との対話	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 19-21 章 『批評理論入門』選択箇所
25	妹との対話、友人の自殺、父の仕事、教師との対話、転落の予感、同性愛	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 22-24 章 『批評理論入門』選択箇所
26	西部移住の空想、クリスマス、再生の可能性	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 25-26 章 『批評理論入門』選択箇所
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	*The Catcher in the Rye* まとめ 小説技法と批評理論応用まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 1-26 章 『批評理論入門』pp. 4-235
28	論文概要発表	発表、質疑応答	論文概要作成

テキスト	1 廣野由美子『批評理論入門』（中公新書） 2 メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』芦澤恵訳（新潮文庫） 3 ジョン・スタインベック『ハツカネズミと人間』大浦暁生訳（新潮文庫） 4 J.D. サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』野崎孝訳（白水 U ブックス） （上記 2～4 の小説の内で英語原書一冊を加える）

科目名	LIT322:　映画と文学					担当教員	飯田　純也
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	歴史、教訓、社会、戦争、反戦、虐殺、差別、SF、ユートピア、プロパガンダ、ゲーム
授業の概要	映画と文学を物語として捉え、映画作品において、われわれの世界がどのように物語られているのか探求する。名作とされるものを多く取り上げ、作品の内容を理解する語学力、作品が取り上げる問題を分析、批判、議論する思考力を身につける。
達成目標（授業の目的）	授業では毎回、映画作品を取り上げ、物語の内容を理解する語学力と、物語が描く「世界」「社会」「人間」を分析的、批判的、論理的に説明する思考力の獲得を目標とする。
到達目標（学修成果）	1. 映画を物語として分析、批判、評価することができる 2. 映画が描く現代の問題や課題を理解することができる 3. 映画で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって映画を見る習慣ができる 5. 映画を語学教材として活用する習慣ができる
評価方法	①小論文では、作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか、評価（計 40%） ②発表と定期試験では、何が問題か理解できているか、問題を分析し、根拠を上げ、自分の文章で論述しているか、評価（発表 10%、定期試験 30%、計 40%） ③シャトルカード（SC）では、問題意識をもって映画を見る習慣ができているか、評価（計 20%）
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to Film and Literature *Hugo* (2011)	講義、質疑応答、ペアワーク、グループ討論	課題リストを基に DVD の入手先を各自検討
2	discussion: *Hugo* *Cinema Paradiso* (1988)	講義、質疑応答、ペアワーク、グループ討論	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
3	discussion: *Cinema Paradiso* Chaplin: *The Kid*, *Modern Times*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
4	discussion: *The Kid*, *Modern Times*, etc. Chaplin: *The Great Dictator* (1940)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
5	discussion: *The Great Dictator*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 1 の準備（提出は次回授業時）
6	Drama: *What's Eating Gilbert Grape*, *Rain Man*, *I Am Sam*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
7	discussion: *WEGG*, *RM*, *IAS*, etc. Drama: *The Theory of Everything* (2014)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
8	discussion: *The Theory of Everything* Epic: *War and Peace*, *Doctor Zhivago*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	discussion: *WAP*, *DZ* Epic: *Dances with Wolves*, *Legends of the Fall*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
10	discussion: *DWW*, *LOTF* Epic: *Les Misérables* (2012)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
11	discussion: *Les Misérables*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 2 の準備（提出は次回授業時）
12	SF: *Metropolis*, *2001: A Space Odyssey*, *The Time Machine*, *The War of the Worlds*, *Avatar*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
13	discussion: SF films	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
14	Dystopia: *The Hunger Games* trilogy (2012, 2013, 2014, 2015)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
15	discussion: *The Hunger Games* trilogy	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 3 の準備（提出は次回授業時）
16	War: *The Cold Mountain*, *The Red Baron, A Bridge Too Far*, *Nuremberg*, *Joyeux Noël*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
17	War: *Thirteen Days* (2000) discussion: *Thirteen Days*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
18	Propaganda: Eisenstein, Griffith, Riefenstahl *Welcome to Sarajevo* (1998)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
19	discussion: Propaganda, *Welcome to Sarajevo* Introduction to independent research	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 4 の準備（提出は次回授業時）
20	Music: *The Sound of Music*, *Amadeus*, *The Phantom of the Opera*, *La La Land*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
21	discussion: Music films	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
22	Race: *The Color Purple* (1985), *12 Years a Slave* (2013)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
23	Marriage: *Pride and Prejudice* (1995), *Bridget Jones* film series (2001, 2004)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
24	Fantasy: *Harry Potter*, *Star Wars*, *The Lord of the Rings* film series	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
25	Japanese films: Kurosawa (*Seven Samurai*, etc.), Ozu (*Tokyo Story*, etc.)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
26	Japanese films: Miyazaki (*Princess Mononoke*, *Ponyo*, *From Up on Poppy Hill*, etc.)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 5 の準備（提出は定期試験時）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Romance: *Pretty Woman*, *50 First Dates*, *P.S. I Love You*, *The Notebook*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
28	定期試験と SC の返却と講評	講義、ペアワーク、ディスカッション	SC の読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは使用しません。授業ごとに資料を用意して配布します。
参 考 書	Robert Sklar. *A World History of Film* (2003); Jill Nelmes. *Introduction to Film Studies* (2011); Edward Bernays. *Propaganda* (2005); Timothy Corrigan. *Film and Literature: An Introduction and Reader* (2012)
その他 特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、高校世界史を復習すること

科目名	LNG310:　社会言語学					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	月木５限			研究室	4215
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	言語コミュニティー、社会・地域方言、多言語主義、Politeness、言語と文化、言語政策
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学修内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言など社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストの内容をまとめたレジュメ、および関連する内容についての様々な資料を用い、講義形式で進められる。また、理解定着のため必ず単元ごとに既習内容の review を行う。
達成目標（授業の目的）	本講で対象となる言語社会は多くの学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティーが中心となるが、ヨーロッパやアジアなど、その他の地域に関する言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立って考えることができるようになる。
到達目標（学修成果）	上記の達成目標のもと、学生は言語使用や言語のバリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、日本語や英語、また他の言語が各言語コミュニティーの中でどのような状況に置かれているのかについて、客観的に認識できるようになる。同時に自らの言語生活を振り返ることで、いつどこでどのような言葉を使っているか、そして自らの母語（および第二言語）がどのように自らのアイデンティティー形成に関与しているかなどについても考察することができるようになる。
評価方法	▸中間試験（30%）、▸期末試験（40%）、▸Research Assignment（20%）、▸授業参加度（10%）
評価基準	▸中間試験、および期末試験（客観式）：試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを問う。※中間試験は前半のみの内容が、期末試験は後半のみの内容がそれぞれ試験範囲となる。 ▸Research assignment：学期を通して学ぶいくつかのテーマには、それをさらに学生が自ら調べ、まとめるという課題が課せられる。これらの課題は期限内に提出されたかどうかに加え、①指示通りに調べたことがまとめられているか、②それを自分自身の言語観や日々の言語生活、また経験に照らし合わせ、より深く議論できているかによって評価される。 ▸授業参加度：受講態度や授業内での積極的・自発的な発言、またグループ活動への参加などがトータルに判断される。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & What is language? 本講の概観＆言語とは何か	講義、グループワーク、ディスカッション	テキストのまえがきを読む 言葉について考える
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 1）、レジュメの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 1）、レジュメの予習・復習
4	Multilingualism 多言語社会	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2 言語併存の状況	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
8	Language death: “Ainu Rebels” 言語の死 ：“Ainu Rebels”	講義、ディスカッション、DVD 視聴	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
9	Language death 言語の死：絶滅危惧言語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
10	Pidgin and Creole　ピジン語とクレオール語：その背景と特徴	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
11	Pidgin and Creole　ピジン語とクレオール語：広がりと言語的発達　前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、前半の振り返り
12	Mid-term Test 中間試験 Regional variations: Dialects in America	講義、ディスカッション、質疑応答	前半内容の復習、テキストを読む（ch.3）
13	Test review 試験結果の返却、および解説 Regional variations: Dialect 地域方言	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習、
14	World Englishes: 国際語としての英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
15	Social variations: Studies by Labov 社会方言：Labov の調査研究	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
16	Social variations: social class and gender 社会方言：社会階級、性差	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
17	Social variations: ethnicity and age / generation 社会方言：人種・民族、年齢・年代	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
18	Audience Design オーディエンス・デザイン	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
19	Accommodation Theory アコモデーション理論	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
20	Politeness: Its background ポライトネス：言語学的、語用論的背景	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
21	Politeness: B &L’s politeness ポライトネス：ブラウン＆レビンソン	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
22	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
23	Cross-cultural Communication: Culture & Context　異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
24	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis　サピア＝ウォーフ仮説	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
25	Language policy 言語政策	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
26	Language plans 言語計画 Review of the second half　後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの復習、テスト準備
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Think about language and identity 言語とアイデンティティーについて考える	講義、ディスカッション、質疑応答	関連する配布物の予習
28	Test review 定期試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

テキスト	東照二（著）『社会言語学入門』（研究社）
参 考 書	飯野公一ほか（著）『新世代の言語学』（くろしお出版） Wardhaugh, R. *An Introduction to Sociolinguistics* (Blackwell).
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」が履修済みか、同時履修している、あるいは言語系のゼミナールに所属していることが望ましい。どれにも該当しない場合には、担当教員と要相談。

科目名	LNG305:　音声学					担当教員	奥澤　萌
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	英語の音素、音響音声学、Praat
授業の概要	本講義は主に次の 2 点から構成される：1）講師による指定教科書に沿った英語音声学の基礎に関する説明（動画・音声を併用）。2）英語母語話者や自分の英語の音声を講師や他の履修生と共に客観的に観察・分析・考察する（PC やフリーの音声解析ソフトなどを使用）。
達成目標（授業の目的）	本講義の主な目的は下記 3 点である： ・音声学の基礎的な知識を獲得すること ・自分の英語の発音を客観的に観察・記述・変容させること ・英語母語話者らしく発音するにはどうすればよいのか一人で考えるだけではなく履修生同士で実践・ディスカッションすること
到達目標（学修成果）	履修生は本講義を受講し課題に取り組むことによって学期末までに下記 5 点が可能となる： ・英語の音素（子音・母音等）の英語母語話者らしい発音を理解すること ・自分の英語の発音を客観的に確認・比較・変容させること ・英語の音素の英語母語話者らしい発音について他者に説明すること ・音声解析ソフト Praat と表計算ソフト Excel の基本的な操作方法やレポートの書き方を習得 ・科学的に思考すること
評価方法	・レポート（1 回／週）：50% ・スライドの作成及びプレゼンテーション：50%
評価基準	本講義の全ての到達目標を達成するために、履修生は「レポートの作成・提出（1 回／週）」及び「スライドの作成・提出・プレゼンテーション（3 回程度／学期）」が求められる。講師は初回講義及び適宜、課題の作成方法や明確な採点基準を履修生に提示する。採点は、基準が満たされている場合は満点（+α あり）、不足に伴い減点とする。なお、各課題に対する採点結果やコメントは Moodle（個別）及び次回講義（全体）で行う。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス （授業の概要、目的、評価方法などについて）	講義	予習: シラバスを読む 復習: 講義資料を確認
2	英語の音素 音声解析フリーソフト“Praat”について	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む（pp.3-13） 復習: レポートの作成
3	英語の母音（短母音）	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む（pp.65-78） 復習: Praat で音声を視聴
4	エクササイズ 短母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
5	英語の母音（長母音）	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む（pp.79-87） 復習: Praat で音声を視聴
6	エクササイズ 長母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
7	第 1 回プレゼンテーション（前半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	第 1 回プレゼンテーション（後半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認
9	英語の二重母音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む(pp.88-101) 復習: Praat で音声を視聴
10	エクササイズ 英語の二重母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
11	英語の弱母音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む(pp.102-108) 復習: Praat で音声を視聴
12	エクササイズ 英語の弱母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
13	英語の子音（1）閉鎖音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む(pp.15-30) 復習: Praat で音声を視聴
14	エクササイズ 閉鎖音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
15	第 2 回プレゼンテーション（前半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認
16	第 2 回プレゼンテーション（後半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認
17	英語の子音（2）摩擦音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む(pp.31-44) 復習: Praat で音声を視聴
18	エクササイズ 摩擦音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
19	英語の子音（破擦音・鼻音・側音）	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む(pp.45-56) 復習: Praat で音声を視聴
20	エクササイズ 破擦音・鼻音・側音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
21	英語の半母音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む(pp.57-63) 復習: Praat で音声を視聴
22	エクササイズ 半母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
23	英語の音節・アクセントなど	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む(pp.109-134) 復習: Praat で音声を視聴
24	エクササイズ 英語の音節や音の脱落、アクセント等を観察	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
25	英語のリズム・イントネーション	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む(pp.135-149) 復習: Praat で音声を視聴
26	エクササイズ 英語のリズムやイントネーションを観察	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	第 3 回プレゼンテーション（前半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認
28	第 3 回プレゼンテーション（後半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認

テキスト	竹林滋 / 清水あつ子 / 斎藤弘子『改訂新版 初級 英語音声学』（大修館書店）
参 考 書	北原真冬 / 田嶋圭一 / 田中邦佳『音声学を学ぶ人のための Praat 入門』（ひつじ書房） 川原 繁人『ビジュアル音声学』（三省堂）

科目名	LNG330:　日本語学					担当教員	大山　美佳
開講期	秋	開講時限	火 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	日本語の構造、日本語の特徴、日本語教育文法
授業の概要	日本語の仕組みについて、音韻、頭語、携帯、運用面から概説する。日本語の母音や子音の種類と分布の特徴、アクセントの型、動詞の活用、敬語や授受表現などの日本語らしい表現、若者言葉や言語変化について学ぶ。授業では、講義だけではなく、毎回ディスカッションの時間を設け、文法の暗記ではなく自分たちで日本語の構造を考えていく。
達成目標（授業の目的）	本講は、日本語の言語学的な構造を理解するとともに、日本語学習者から見た日本語の構造を理解し、説明する知識を身に付けることを目的とする。
到達目標（学修成果）	高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法へのアプローチを身に付け、日本語を一つの言語として客観的に捉えられるようになる。言語使用の語用論的な違い、世代差や知意識差などを分析し、データや例文を提示しながら記述できるようになる。
評価方法	①　授業への積極的な参加　20% ②　中間試験　30% ③　定期試験　50%
評価基準	①　授業への積極的な参加：授業内のディスカッションや発言を評価する。 ②　中間試験：高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法理解を評価する。 ③　定期試験：日本語を一つの言語として客観的に捉え、日本語の言語使用をデータや例文を提示しながら記述できるかどうか評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本語の音と形：発音の仕組み、特殊拍	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 2-7 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
2	日本語の音と形：五十音、音素と異音、アクセント、短縮語	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 8-12 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
3	日本語の文法：日本語の品詞、活用	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 13-20 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
4	日本語の文法：格助詞、使役	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 27-32 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
5	日本語の文法：受身	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 33-36 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
6	日本語の文法：テンス、アスペクト	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 37-43 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
7	日本語の文法：モダリティ、条件、名詞修飾	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 44-50 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
8	日本語らしい表現：授受表現	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 64-66 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
9	中間試験 日本語らしい表現：とりたて助詞	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 58-60 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
10	試験の返却および解説 日本語らしい表現：省略、「は」と「が」	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 54-57 頁を読んで、要点をノートにまとめる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	日本語らしい表現：敬語、中間言語	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 67-74 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
12	日本語の変化と多様性：ら抜きことば	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 76-77 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
13	日本語の変化と多様性：方言、言語の位相	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 81-90 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の返却および講評	講義、ディスカッション、質疑応答	テスト範囲を見直す。

テキスト	庵功雄・日高水穂・前田尚子・山田敏弘・大和シゲミ『やさしい日本語のしくみ』（くろしお出版）
参 考 書	佐々木泰子『ベーシック日本語教育』（ひつじ書房）

科目名	LNG302:　語用論					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4208
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点	
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。				4-⑤	
キーワード	言語学、会話、異文化間語用論、発話行為、ポライトネス、含意						
授業の概要	会話における相互理解の仕組みに関する語用論の理論を理解した上で、日本語母語話者が英語で「断り」や「依頼」などの発話行為をする場合どのような誤解が起こりうるのか、異文化間コミュニケーションや英語学習の視点から考察する。授業は、講義と練習問題、質疑応答、ロールプレイ、グループディスカッションによって進める。最後に受講者は各自実際に会話を語用論的視点で分析する研究プロジェクトを行い、レポートにまとめ口頭発表する。						
達成目標（授業の目的）	実際に会話を行う際の相互理解のプロセスについて理解を深めることを目標とする。語用論の理論について学んだ上で、実際に会話を分析することによって、言語に関する理解を深めると同時に分析結果を発表する力をつける。また、異文化間語用論的視点で日本語と英語を比較することによって、英語でのコミュニケーション能力を高める。						
到達目標（学修成果）	会話の仕組みについての語用論の理論を理解し、具体例を挙げて理論を説明できるようになる。文化的価値観が言語使用にどのような影響を与えるかを理解し、日本語と英語を比較する能力をつける。相手に失礼にならないような、状況に合った適切な英語を使用する能力をつける。映画やドラマの中の会話を語用論的視点で分析し、その結果を書面（レポート）と口頭で表現できるようになる。						
評価方法	小テスト２回（50%）、レポート（15%）、発表（10%）、授業時の積極参加（25%）						
評価基準	**小テスト２回（50%）** 小テスト１（25%）具体例を挙げて理論を論理的に説明できるか。語用論の用語を理解しているか。 小テスト２（25%）例を挙げて会話分析、異文化間語用論の用語を論理的に説明できるか。英語での発話行為を適切に行うことができるか。 **レポート（15%）** 理論の紹介が適切に行われているか。語用論的視点から会話を分析できているか。論理的に分かりやすく書かれているか。書式が守られているか。 **発表（10%）** 発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたか、的確に要点を捉えているか）発表の態度（声の大きさ、話し方などが効果的か）。 **授業時の積極参加（25%）** Participation Worksheet 5 回の提出とその内容の質（20%）、授業での予習・復習に関する質疑応答（5%）						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：授業の概要と評価方法 What is Pragmatics?（語用論とは何か）	講義、ディスカッション	テキスト 15-22 頁を読む
2	What is Pragmatics?（語用論とは何か）：状況の中での発話の意味	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 15-22 頁を読む
3	Greeting（挨拶）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 1-8 頁を読む
4	Communicative Competence（言語運用能力）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 9-15 頁を読む
5	Speech Acts（発話行為）：理論と分類	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 23-30 頁を読む
6	Speech Acts（発話行為）：間接発話行為	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 47-54 頁を読む
7	Conversational Implicature（会話による含意）：協調の原則	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Conversational Implicature（会話による含意）：会話の分析	講義、ビデオ視聴 ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
9	Politeness（ポライトネス）：Brown & Levinson の理論	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 55-63 頁を読む
10	Politeness（ポライトネス）：Leech の理論	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 64-71 頁を読む
11	日本語と英語のポライトネス	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「日英のポライトネス」を読む
12	小テスト 1（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義	小テストのための復習
13	会話分析：隣接応答ペア	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：隣接応答ペア」を読む
14	会話分析：修復 小テスト 1 の返却、および講評	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：修復」を読む
15	会話分析：優先構造	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：優先構造」を読む
16	語用論的視点からの会話の分析 （レポートと発表について）	ビデオ視聴、講義、ディスカッション	談話完成タスク 発表の題材を考える
17	Cross-cultural Pragmatics（異文化間語用論）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 80-86 頁読む
18	日英比較：Apologies（謝罪） Participation Worksheet ①	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Apologies」を読む テキスト 31-38 頁を読む
19	日英比較：Requests（依頼） Participation Worksheet ②	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Requests」を読む テキスト 72-79 頁を読む
20	日英比較：Compliments（誉め） Participation Worksheet ③	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Compliments」を読む
21	日英比較：Refusals（断り） Participation Worksheet ④	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Refusals」を読む
22	日英比較：Complaints（不満表明） Participation Worksheet ⑤	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Complaints」を読む レポート作成
23	小テスト 2（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義	小テストのための復習
24	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
25	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
26	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
28	小テスト 2 の返却、および講評 レポート提出、復習と総括	講義、ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中典子『プラグマティクス・ワークショップ―身のまわりの言葉を語用論的に見る』（春風社）、Sachiko Kondo. *Cross-cultural Pragmatics: Speech Acts*（オリジナル資料）
参 考 書	岡本真一郎（編）『ことばのコミュニケーション』（ナカニシヤ出版） ヘレン・スペンサー＝オーティー（編著）『異文化理解の語用論』（研究社）
その他 特記事項	テキストと資料は日本語と英語で書かれているので、日本語と英語での予習復習が必要である。

科目名	ENG360:　英語史					担当教員	山本　浩
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4212
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	英語の史的理解、標準英語と多様な英語、英語と階級・文学・宗教・政治・メディア
授業の概要	現代の国際語としての英語の考察から始め、同時に地球の様々な地域で発達する英語について視野を広げてゆく。その後、英語の歴史的変化の問題を扱ってゆく。中心的な問題は、古英語、キリスト教文献、ノルマン語の流入と中英語への変化、中英語の詩及び劇、印刷技術の発達、近代英語の発達とシェイクスピアの英語、近現代の英語、英語と階級、アメリカ英語を扱う。
達成目標（授業の目的）	古英語、中英語、近代英語、現代英語の特徴を理解し、語彙、文法、発音等の身近な問題について歴史的観点から理解することを主な目的とする。英語史に必要な用語・概念を英語で理解し、英語による文献読解力を身につける。そして英語の発達を、英国史、世界史、英文学史と繋げる視点と知識を得る。
到達目標（学修成果）	英語という言語内の個々の単語、文法、表現を、それらの背後にある歴史的事象等と密接に結びつけ、言語を重層的に理解出来るようになる。英語史発展と関連が深い英国史、世界史、英文学史上の事象についても基本的知識を持つ。英語文献の正確な理解を、語彙、文法、文章構造の理解等と共に行えるようにする。
評価方法	授業参加：20％ テストおよび定期試験：80%
評価基準	授業参加：授業での質問に答えたか、積極的に質問や意見を述べたかを見る（リアクション・ペーパーの記述も含む）。 テストおよび定期試験：古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史、世界史、英文学史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかを見る。
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	英語の現在	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	インド・ヨーロッパ語族の諸言語－インド・イラン語派、ギリシア語など	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	インド・ヨーロッパ語族の諸言語－イタリック語派、ケルト語派、ゲルマン語派など	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	ゲルマン人と古英語	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
7	古英語の特徴	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	古英語の文学	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	テスト（55 分）と 1 回～8 回の授業の復習（45 分）	テストとテストに基づく復習	テストの準備学習をする
10	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
11	ノルマン征服と中英語	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
12	中英語の特徴	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	中英語の時代	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	中英語の文学	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
15	大母音推移と印刷術の発達	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	テスト（55 分）と 11 回～16 回の授業の復習（45 分）	テストとテストに基づく復習	テストの準備学習をする
17	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
18	ヨーロッパとイングランドのルネサンス	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	チューダー朝と宗教改革	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	聖書の英語訳	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	近代英語の始まりとシェイクスピア	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	英語の規範化	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
23	イギリスの階級	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
24	英語と階級、Queen's English, BBC English, RP	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
25	英語の方言	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	イギリス英語とアメリカ英語	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	18 回～26 回の授業の復習と定期試験のふりかえり	定期試験に基づく復習、定期試験の返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
28	英語史の総まとめ	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

テキスト	特定の教科書は使用しない。事前に配布されるパワーポイント資料を事前にプリントして予習し、授業の時に持参する。
参 考 書	寺澤盾『英語の歴史－過去から未来への物語』中公新書 1971（中央公論新社） 中尾俊夫・寺島廸子『図説 英語史入門』（大修館書店）

科目名	LNG320: バイリンガル教育					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	木４限			研究室	4217
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	バイリンガル、母語、継承語、アイデンティティ
授業の概要	バイリンガルの言語習得や文化習得に関する応用言語学の理論とバイリンガル教育の方法、日本と海外のマルチリンガル教育の現状について学ぶ。カナダやアメリカなどの言語政策の背景にある歴史や政治的な出来事についても理解し、バイリンガリズムを多文化共生的な視点で考えていく。
達成目標（授業の目的）	本科目は、バイリンガルの言語発達や言語教育の方法を理解し、日本人が海外で育った場合の日本語保持や、日本国内に住む外国人の子どもたちの教育課題について、バイリンガルを取り巻く様々な事象について、バイリンガル教育の観点から理解できるようになることが目的である。
到達目標（学修成果）	学生は、バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、それぞれの教育方法を学ぶことにより、言語や文化的な多様性を持つ人々のことを理解できるようになる。さらに、バイリンガリズムについて具体的な事例を、専門用語を用いて分析し記述できるようになる。
評価方法	① 授業への積極参加：15% ② 中間テスト（授業内試験）：40% ③ 定期試験：45%
評価基準	① 授業への積極参加：授業中の発言やディスカッションへの貢献を評価する。 ② 中間テスト（授業内試験）：理論や専門用語など授業内容の基礎的な理解を評価する。 ③ 定期試験：バイリンガリズムの言語発達、教育方法、教育環境、言語政策などについて分析し、専門用語を用いて記述できるかを評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第1章　バイリンガルとは： 母語と第2言語の違いについて	講義、グループディスカッション、質疑応答	第1章を読んで、ノートにまとめる。
2	第1章　バイリンガルとは： グローバル化と人の移動	講義、グループディスカッション、質疑応答	第1章を読んで、ノートにまとめる。
3	第2章　子どもの母語の発達と年齢： 保護者の役割について	講義、グループディスカッション、質疑応答	第2章を読んで、ノートにまとめる。
4	第3章　バイリンガル教育の理論： 2言語共有説と言語能力の捉え方	講義、グループディスカッション、質疑応答	第3章を読んで、ノートにまとめる。
5	第3章　バイリンガル教育の理論： 社会心理的要因と言語の発達	講義、グループディスカッション、質疑応答	第3章を読んで、ノートにまとめる。
6	第4章　家庭で育てるバイリンガル： 母語の役割と言語の使い分け	講義、グループディスカッション、質疑応答	第4章を読んで、ノートにまとめる。
7	第5章　イマージョン方式のバイリンガル教育：イマージョン教育の歴史と方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	第5章を読んで、ノートにまとめる。
8	第6章　年少者英語教育とバイリンガル、中間テスト	講義、グループディスカッション、テスト	第6章を読んで、ノートにまとめる。1~5章の復習
9	第7章　マイノリティ言語児童とバイリンガル教育、中間テストの講評と返却	講義、グループディスカッション、質疑応答	第7章を読んで、ノートにまとめる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	第 7 章　北米と日本のマイノリティ言語児童に対する教育	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 7 章を読んで、ノートにまとめる。
11	第 8 章　海外子女とバイリンガル教育：現地校と補習授業校の役割	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 8 章を読んで、ノートにまとめる。
12	第 9 章　日系人子女とバイリンガル教育：継承語としての日本語教育	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 9 章を読んで、ノートにまとめる。
13	第 10 章　バイリンガルと文化の習得：言語とアイデンティティ	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 10 章を読んで、ノートにまとめる。
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	まとめ、テストの返却、講評	講義、グループディスカッション、質疑応答	復習

テキスト	中島和子（2016）『完全改訂版　バイリンガル教育の方法　12 歳までに親と教師ができること』（アルク）

科目名	LNG325:　第二言語習得					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4209
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4, 5	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	3-④, 4-⑤, 5-②

キーワード	Second Language Acquisition, Linguistics, Language Learning
授業の概要	The overall objective of this course is for students to learn the foundations of Second Language Acquisition. Students will also learn to conduct basic research using both provided data and data they collect themselves. Students will learn to create transcripts from their data and, most importantly, they will learn to analyze their data. Conducting this analysis will enable students to learn to synthesize the contents of the lectures and textbook with real world language use. Projects in this course will help students to learn to understand and improve their own second language learning process.
達成目標（授業の目的）	In this course, students will learn and use the vocabulary necessary to understand class lectures and discuss SLA topics with other class members. Students will learn to transcribe linguistic data, beginning with a Japanese-Japanese conversation. They will then learn to analyze their own second language production by transcribing and analyzing a sample of a conversation in English with other class members. Finally, for their final project, students will learn to put their knowledge to use by transcribing and analyzing data from an English speaker learning Japanese.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to transcribe and analyze second language data from both English and Japanese. Students should also be able to discuss the basic processes of second language acquisition in terms that we have studied during the semester.
評価方法	Small Project 15%, Mid-Term Project 25%, Final Project 30%, Assessment 30%.
評価基準	Small Project: display understanding of SLA transcription methods as applied to Japanese conversation; Mid-Term Project: successfully complete full transcription of participant oriented video of English conversation, complete analysis of transcription including reference to text issues from video; Final Project: successfully complete transcription and analysis of video of acquisition of Japanese as second language; Assessment: for each of three tests, correctly answer test questions to display knowledge of covered content.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction: How do different languages connect in our minds?	Lecture; pair-work; group-work	Select partner for project 1; handout 1
2	A brief tour of SLA; acquisition-learning hypothesis; two Languages in one mind	Lecture; pair-work; group-work	Record 5 min. J. conversation; video 1
3	Behaviorist vs innatist theories of acquisition; introduction to the LAD	Lecture; pair-work; group-work	Prepare 3 min. sample transcript
4	The natural order hypothesis: the ‘critical period;’ early instruction in a second language	Lecture; pair-work; group-work	Transcript rough draft and analysis points
5	The monitor hypothesis; acquiring the words of a second language; the lexical challenge; context	Lecture; pair-work; group-work	Final check project 1 and peer edit
6	The input hypothesis; importance of grammar in SLA; word order; cognitive processing	Lecture; pair-work; group-work	Project 1 due in class
7	The affective filter; considering time, focus, and knowledge in L2 production	Lecture; pair-work; group-work	Select Project 2 groups

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Review and Test	Short lecture; take test	Meet with Project 2 group and practice conversations
9	Return test and go over results; interlanguage; human specific; faculty for learning language	Lecture; pair-work; group-work	Meet w / P2 group-practice conversations
10	Second language acquisition / learning vs other kinds of learning; input 'trigger'	Short lecture; take test	Record 10 min E. conversation
11	Interlanguage and L2 grammar; permeable, transitional	Lecture; pair-work; group-work	Distribute data file to group members
12	Sequences of acquisition; performance vs competence; learning strategies	Lecture; pair-work; group-work	Prepare sample 1-minute transcription
13	Bloom's 'new' taxonomy of language learning; how do polyglots acquire languages	Lecture; pair-work; group-work	Work on transcribing English data
14	How the brain copes with multiple languages; teaching and learning	Lecture; pair-work; group-work	Continue transcribing, identify analysis points
15	Review and Test	Short lecture; take test	mid-term project due in class
16	Return test and go over results; communicative syllabi; grammar translation method	Lecture; pair-work; group-work	Organize groups for final project
17	What does it mean to be bilingual? attitude and motivation help in learning a second language	Lecture; pair-work; group-work	Distribute data files
18	Inductive and deductive language teaching; classical teaching; grammar between languages	Lecture; pair-work; group-work	Prepare sample 1-minute transcription
19	Two views of age and classroom language learning; what's a word?	Lecture; pair-work; group-work	Work on transcribing J. data
20	American English children's early words; translation equivalents; mnemonic connections	Short lecture; take test	Continue transcribing, identify analysis points
21	Foreign accents; accent differences; can you learn to speak an L2 without an accent	Lecture; pair-work; group-work	Continue work on transcribing J. data
22	Shapes vs substance; J words taken from E with added vowels	Lecture; pair-work; group-work	Continue transcribing, final analysis points
23	Review and Test	Short lecture; take test	Study / Review for test; begin English gloss of transcription
24	Return test and go over results; multiple perspectives in SLA	Lecture; pair-work; group-work	Complete English gloss
25	Concluding lecture; Topic review and small group discussions (topic assigned by instructor)	Lecture; pair-work; group-work	Review class notes and test results; finish transcription
26	Peer editing and consultation about Project 3 with instructor, transcription and analysis	pair-work; group-work	Prepare rough outline of analysis for discussion
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Discussions about Project 3 in pairs and small groups	pair-work; group-work	Prepare final draft w / analysis
28	Conclusion, multiple perspectives in SLA	pair-work; group-work	Transcription / analysis project (Japanese learner) due in class

テキスト	Handouts, articles, videos, and other materials will be provided by the instructor.

科目名	EDU300: 児童英語教育演習 A					担当教員	仲沢　淳子
開講期	春	開講時限	月 1・2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-②

キーワード	児童英語教育、 言語習得、 模擬授業、 サービスラーニング活動、 アクティブラーニング
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案とオンライン授業での活用を想定した動画教材などを作成し模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング枠で行うイングリッシュフレンド活動に参加し小学生への授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。
達成目標（授業の目的）	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつけることがこの授業の目的である。サービスラーニング活動での実践の機会を活用し主に小学校中学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿い、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成をする。それを用いてサービスラーニング活動に向けた模擬指導実践を行う。さらに小学校での実践をもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。
到達目標（学修成果）	児童英語教育の基礎知識を活かし、主に小学校中学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿う指導案と教材、教具等を作成し、小学校での指導に備えて模擬指導実践を行うことができる。グループでの授業準備のプロセスを経験し、小学校での実践を踏まえた相互評価と講評による省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢（30%）②指導案・教材・教具作成（20%） ③模擬授業（20%）④各回の省察をもとにした期末課題（30%）
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映したリフレクションを評価する。②児童特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ構成、準備と練習の成果を評価する。④各回の省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育・小学校外国語（英語）教育とは：これまでの学習内容の確認	講義、指導実践 グループワーク	既習科目の内容復習 Moodle 登録・活用方法確認
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導に有用な素材集め
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案作成の準備
4	テキスト概観：学習指導要領に照らして小学校外国語（英語）教育を考える	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導案・教材・教具作成
6	小学校中学年への指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
7	小学校中学年における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
8	小学校中学年への指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
9	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（1）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに発表準備と実践練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	小学校中学年モデル指導案（1）の実践練習 Classroom English の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（2）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
12	小学校中学年モデル指導案（2）の実践練習 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（3）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
14	小学校中学年モデル指導案のポイント 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（4）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
16	小学校中学年モデル指導案（3）（4）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（5）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
18	小学校中学年モデル指導案（5）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（6）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
20	小学校中学年モデル指導案（6）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（7）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
22	小学校中学年モデル指導案（7）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（8）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
24	小学校中学年モデル指導案（8）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（9）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
26	小学校中学年モデル指導案（9）の実践練習 期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表グループワーク	EF 活動全体の省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動の省察を受けて総括 期末課題作成

テキスト	『CROWN Jr. 5 年生』『CROWN Jr. 6 年生』（三省堂）、文部科学省『Let’s Try! 1』『Let’s Try! 2』『Let’s Try! 1 指導編』『Let’s Try! 2 指導編』（東京書籍） 文部科学省『小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　平成 29 年告示』
参 考 書	小川隆夫・東仁美（著）、吉田研作（監修）『小学校英語 はじめる教科書 改訂版 外国語科・外国語活動指導者養成のために』（mpi 松香フォニックス）
履修条件、前提科目	この科目を履修する学生は、イングリッシュフレンド・サービスラーニング活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中は他の授業を履修することはできない。この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを履修済みであることを条件とする。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	EDU301: 児童英語教育演習 B					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	月 1・2 限			研究室	4203
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-②

キーワード	児童英語教育、言語習得、サービスラーニング活動、アクティブラーニング
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校での使用を想定した指導案と映像教材を作成し模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング枠で行うイングリッシュフレンド（EF）活動に参加し小学生への授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。
達成目標（授業の目的）	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつけることがこの授業の目的である。サービスラーニング活動での実践の機会を活用し主に小学校高学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿い、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成をする。それを用いてサービスラーニング活動に向けた模擬指導実践を行う。さらに小学校での実践をもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。
到達目標（学修成果）	児童英語教育の基礎知識を活かし、主に小学校高学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿う指導案と教材、教具等を作成し、小学校での指導に備えて模擬指導実践を行うことができる。グループでの授業準備のプロセスを経験し、小学校での実践を踏まえた相互評価と講評による省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢（30%）②指導案・教材・教具作成（20%） ③アクティビティ演習・模擬授業（20%）④各回の省察をもとにした期末課題（30%）
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映したリフレクションを評価する。②児童特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ構成、準備と練習の成果を評価する。④各回の省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育・小学校外国語（英語）教育とは：これまでの学習内容の確認	講義、指導実践 グループワーク	既習科目の内容復習 Moodle 登録・活用方法確認
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導に有用な素材集め
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案作成の準備
4	テキスト概観：学習指導要領に照らして小学校外国語（英語）教育を考える	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導案・教材・教具作成
6	小学校高学年への指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
7	小学校高学年における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
8	小学校高学年への指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
9	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（1）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに発表準備と実践練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	小学校高学年モデル指導案（1）の実践練習 Classroom English の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（2）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
12	小学校高学年モデル指導案（2）の実践練習 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（3）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
14	小学校高学年モデル指導案のポイント 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（4）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
16	小学校高学年モデル指導案（3）（4）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（5）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
18	小学校高学年モデル指導案（5）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（6）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
20	小学校高学年モデル指導案（6）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（7）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
22	小学校高学年モデル指導案（7）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（8）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
24	小学校高学年モデル指導案（8）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（9）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
26	小学校高学年モデル指導案（9）の実践練習 期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表グループワーク	EF 活動全体の省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動の省察を受けて総括 期末課題作成

テキスト	『CROWN Jr. 5 年生』『CROWN Jr. 6 年生』（三省堂）、文部科学省『Let’s Try! 1』『Let’s Try! 2』『Let’s Try! 1 指導編』『Let’s Try! 2 指導編』（東京書籍） 文部科学省『小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　平成 29 年告示』
参 考 書	小川隆夫・東仁美（著）、吉田研作（監修）『小学校英語 はじめる教科書 改訂版（外国語科・外国語活動指導者養成のために ―コア・カリキュラムに沿って―）』（mpi 松香フォニックス）
履修条件、前提科目	この科目を履修する学生は、イングリッシュフレンド・サービスラーニング活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中は他の科目を履修することはできない。この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかの単位を修得済みであることを条件とする。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	EDU206:　児童英語指導者養成講座					担当教員	仲沢　淳子
開講期	秋	開講時限	月木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑤, 5-②
キーワード	児童英語教育、小学校英語活動、言語習得、英語教授法、レッスンプラン						
授業の概要	小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）認定による「小学校英語指導者資格」の取得を目指し、児童英語指導者として求められる基礎的な知識と実践経験を得る。子どもの言語習得理論、児童心理学、認知発達理論など、指導者として必要な理論の基礎を学び、児童英語指導者に求められる英語力を身につけるためのトレーニングを行う。模擬授業や実践を通して授業スキルやレッスンプランの書き方を体得する。						
達成目標（授業の目的）	児童英語教師として小学校での英語指導や指導補助を行うことを目指し、児童英語に関する基礎知識、教授技術の基本を理解し、英語のみで指導が行える指導技術と英語力を修得することを目標とする。						
到達目標（学修成果）	①児童英語指導者に必要な英語力の体得に加え、言語習得理論や児童心理、認知発達理論等、児童英語教育の理論の基礎を修得する。②レッスンプランを作成し、アクティビティを実践することを通して、効果的に児童への指導が行えるようになる。③小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の認定による「小学校英語指導者準認定資格」の取得を目指す。						
評価方法	①宿題・課題の提出（30%）、②アクティビティ発表（20%）、③レッスンプラン作成（30%）、④リアクションペーパー（20%）						
評価基準	①学習した内容を踏まえて宿題・課題に取り組んでいるか。②アクティビティ発表：レッスンプランに即して講義で学んだ教授技術を実践に生かすことができたか。③レッスンプラン作成：作成手順に即し子どもの発達段階に合った適切なプランになっているか。④通信講座の振り返りチェックを行い、自らの学びや気づきなどを主観的・客観的な視点から言語化できているか。						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教師とは	講義、グループワーク、DVD 視聴	『基礎知識 1』Week1,2 の予習振り返りチェック
2	子どもと英語―児童英語教育の意義・目的	講義、グループワーク、DVD 視聴	『基礎知識 1』Week3 の予習振り返りチェック
3	児童心理学（1）―幼児期の心理―	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 1』Week4 の予習
4	児童心理学（2）―児童期の心理―	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 1』Week4 の予習振り返りチェック
5	言語習得理論	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 1』Week5 の予習振り返りチェック
6	認知発達理論	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 1』Week6 の予習振り返りチェック
7	バイリンガル教育	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 1』Week7 の予習振り返りチェック
8	国際理解教育	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 1』Week8 の予習振り返りチェック

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	小学校英語活動の位置づけ（1）―小学校「外国語活動・外国語」の目標と内容―	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 2』Week1 の予習
10	小学校英語活動の位置づけ（2）―小学校「外国語活動・外国語」の留意点―	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 2』Week1 の予習 振り返りチェック
11	小学校英語活動の意義と課題	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 2』Week2 の予習 振り返りチェック
12	小・中・高の連携	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 2』Week3 の予習 振り返りチェック
13	求められる英語活動指導者とは	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 2』Week4 の予習 振り返りチェック
14	クラスルーム・イングリッシュ	講義、グループワーク、リア・ペ	『英語力トレーニング 2』Week13～15 の予習
15	語彙力のトレーニング	講義、グループワーク、リア・ペ	『英語力トレーニング 2』Week16～18 の予習
16	パラフレーズ力のトレーニング	講義、グループワーク、リア・ペ	『英語力トレーニング 2』Week19～21 の予習
17	状況設定力のトレーニング	講義、グループワーク、リア・ペ	『英語力トレーニング 2』Week22～24 の予習
18	カリキュラムとレッスンプラン	講義、グループワーク リア・ペ	『基礎知識 3』Week6 の予習
19	教材・教具	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 3』Week7 の予習 振り返りチェック
20	レッスンを構成するアクティビティ（1）―レッスンに適したアクティビティ―	講義、グループワーク、リア・ペ	『基礎知識 3』Week8 の予習
21	レッスンを構成するアクティビティ（2）―代表的なアクティビティ例―	講義、グループワーク、リア・ペ	基礎知識 3』Week8 の予習 振り返りチェック
22	レッスンプランの書き方	レッスンプランの作成、リアペ	『レッスンプラン作成ガイド』Week9 の予習
23	レッスンプランの作成（1）―はじめの挨拶とウォーミングアップ―	レッスンプランの作成、リア・ペ	レッスンプランの作成
24	レッスンプランの作成（2）―テーマに関する単語や表現の導入―	レッスンプランの作成、リア・ペ	レッスンプランの作成
25	レッスンプランの作成（3）―繰り返し慣れ親しむための活動―	レッスンプランの作成、リア・ペ	レッスンプランの作成
26	アクティビティ発表（1）	学生発表、相互評価、講評、リア・ペ	発表の準備と練習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	アクティビティ発表（2）	学生発表、相互評価、講評、リア・ペ	発表の準備と練習
28	アクティビティ発表（3）まとめ・振り返り	学生発表、相互評価、講評、リア・ペ	発表の準備と練習

テキスト	「アルク児童英語教師養成コース」（アルク）で使用するテキスト（『基礎知識編』『英語力トレーニング編』『レッスンプラン編』）およびその他のプリント配付物。
履修条件、前提科目	本講はアルクの通信講座「アルク児童英語教師養成コース」をベースとする授業のため、別途費用がかかる。金額の詳細については『履修要覧』p.54 や担当教員に確認すること。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。授業で使用するテキストに改訂が加わった場合は、改定版の内容に即して授業を行う。

科目名	SLE201:　サービスラーニング入門講座					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）木 2 限 （秋）火 4 限			研究室	4217
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①, 5-②

キーワード	サービスラーニング、キリスト教ヒューマニズム、秦野市、多文化共生
授業の概要	サービスラーニング参加を希望している学生に対して、サービスラーニングとは何か、本学のサービスラーニングの精神や歴史、フィールドである秦野市について、公教育で求められるボランティアの役割、子どもの発達など、毎回異なる講師により多様な視点から講義を聴く。講義のあと、グループディスカッションや全体での意見交換を行う。
達成目標（授業の目的）	本科目は、サービスラーニングに参加することを前提に、地域貢献の精神や活動する秦野市に関する基礎知識、教育現場でのニーズについて学ぶことができる。また、様々な立場の人々から話を聞くことで視野を広げ、多文化共生的な視点を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	本学のサービスラーニングの内容やそれぞれの特徴を理解し、具体的にどのサービスラーニングに参加を希望するかというイメージが掴めるようになる。また、その活動のもつ社会貢献としての意味や、自分自身にどのような学びが得られるか、どのように関わっていきたいかを主体的に考えられるようになる。
評価方法	①　ディスカッション、プレゼンへの積極的参加：25% ②　リアクションペーパー：25% ③　レポート：50%
評価基準	①　ディスカッション、プレゼンへの積極的参加：講義の後半にあるグループディスカッションに積極的に参加しているか、最終回のグループごとのプレゼンに積極的に参加していたかを評価する。 ②　リアクションペーパー：毎回期限内に提出できているか等を評価する。 ③　レポート：本学のサービスラーニングの精神について理解し、自分が参加する際にどのような貢献をしたいか具体的に考えているかを評価する。 ＊成績評価はパス／フェイルのみ
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	サービスラーニングとは何か：サービスラーニングの歴史、目的、本学の伝統	講義、ディスカッション、質疑応答	講義用ノートを準備する。
2	キリスト教とボランティア：社会に尽くす活動をした人々	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで関連する事柄を調べる。
3	異文化理解：言語や文化の異なる人々との協働	講義、ディスカッション、質疑応答	インターネット等で南米の国々を調べる。
4	特別な個性を持つ子どもたち：多様なこどもたちの捉え方	講義、ディスカッション、質疑応答	関連するトピックについて、リサーチしてみる。
5	はだの学：サービスラーニングを行う秦野市はどのような都市か。	講義、ディスカッション、質疑応答	関連する記事やサイトを探してみる。
6	秦野市に学校におけるボランティアの役割：開かれた学校教育の現場とは	講義、ディスカッション、質疑応答	レポートと最終回のプレゼンの準備。
7	みんなで考えるサービスラーニング：サービスラーニングの意味と目的	講義、ディスカッション、質疑応答	レポートを書く。

テキスト	ハンドアウトを Moodle で共有、またはパワーポイントスライドを用いての講義となる。
その他 特記事項	本科目は、サービスラーニング（小中学校日本語支援ＡB）とサービスラーニング（地域日本語支援ＡB）の前提科目となっている。サービスラーニングへの参加を希望する学生は本科目を先に履修する。 ※授業実施日は以下のとおりである。 【春学期】1 回目（4/14）、2 回目（4/21）、3 回目（4/28）、4 回目（5/12）、5 回目（5/19）、6 回目（5/26）、7 回目（6/2） 【秋学期】1 回目（9/27）、2 回目（10/4）、3 回目（10/11）、4 回目（10/18）、5 回目（10/25）、6 回目（11/8）、7 回目（11/15）

科目名	SLE301: サービスラーニング（小中学校日本語支援A）					担当教員	大山　美佳
開講期	春	開講時限	月木2限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	年少者日本語教育、学校とボランティア、多文化共生、アクティブラーニング
授業の概要	本講は、サービスラーニング（カレッジフレンド）に参加し、学期中に秦野市の小中学校に在籍する外国につながる児童生徒の日本語および教科学習の支援を行う。サービスラーニングでは、決められた学校で木曜日の2限に支援活動を行い、月曜日には学内で年少者への日本語支援の方法や外国につながる子どもの発達について学ぶ。
達成目標（授業の目的）	グローバル化が進む現代社会における外国につながる児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解できるようになる。特に日本の学校で学ぶ外国につながる児童生徒の言語の発達について、理論を理解し、当事者の立場からも考察できるようになる。地域の課題を理解し、多文化共生に向けて自ら行動できるようになる。
到達目標（学修成果）	①支援対象者の言語的ニーズをつかみ、相手に合わせた指導の工夫ができるようになる。 ②地域の課題に対する理解が進み、多文化共生的な視点から意見を発表し、文章にまとめられるようになる。 ③サービスラーニングを通して、社会人として成長する。
評価方法	①授業への積極参加　35% ②カレッジフレンドへの参加　35% ③プレゼンテーションとレポート　30%
評価基準	①授業への積極的参加：ディスカッションに積極的に参加し、意見を述べているか。 ②カレッジフレンドへの参加：活動に参加し、振り返りを記述しているか。 ③プレゼンテーションとレポート：1学期間の活動をまとめ、テーマに従って活動内容を分析しているか。 ※成績評価パス / フェイルのみ
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	外国につながる児童生徒とその保護者、その多様性を豊かさに変える	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書8-24頁を読んで、ノートにまとめる。
2	秦野市における多文化化の現状	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、ノートにまとめる。
3	グローバル化と日本の学校文化	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書26-39頁を読んで、ノートにまとめる。
4	多用な先生、多様な児童 支援の方法	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書42-52頁を読んで、ノートにまとめる。
5	発達段階の違いを考えた支援方法	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、支援方法をまとめる。
6	言語能力を考慮した支援方法	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、支援方法をまとめる。
7	教科学習の支援方法 支援効果を上げるリソースルームの利用	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、支援方法をまとめる。
8	実習①：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	実習①：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
10	実習②：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
11	実習②：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
12	実習③：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
13	実習③：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
14	実習④：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
15	実習④：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
16	実習⑤：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
17	実習⑤：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
18	実習⑥：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
19	実習⑥：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
20	実習⑦：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
21	実習⑦：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
22	実習⑧：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
23	実習⑧：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
24	実習⑨：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
25	実習⑨：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
26	実習⑩：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。プレゼンテーション準備をする。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	全体の振り返り、プレゼンテーション	全体の振り返り、プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備をする。
28	プレゼンテーション、総括	ディスカッション、質疑応答	レポートを書く。

テキスト	松永典子『学校と子ども、保護者をめぐる多文化・多様性ハンドブック』（金木犀舎）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE302: サービスラーニング（小中学校日本語支援B）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	月木2限			研究室	4217
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	年少者日本語教育、バイリンガリズム、多文化共生、アクティブラーニング
授業の概要	この授業では、サービスラーニング（カレッジフレンド）に参加し、学期中秦野市の小中学校に在籍する外国人児童生徒の日本語及び教科学習支援を行う。サービスラーニングでは、決められた学校で木曜日の 2 限（学期中 11 回）に活動を行い、月曜日は学内で年少者への日本語支援の方法やバイリンガル環境の子どもの発達について学ぶ。
達成目標（授業の目的）	グローバル化が進む現代社会における外国人児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解できるようになる。特に日本の学校で学ぶ外国人児童生徒の言語の発達について、理論を理解し、当事者の立場からも考察できるようになる。地域の課題を理解し、多文化共生に向けて自ら行動できるようになる。
到達目標（学修成果）	① 支援対象の言語的ニーズを掴み相手に合わせた指導の工夫ができるようになる。 ② 地域の課題に対する理解が進み、多文化共生的な視点からの意見が持てるようになる。 ③ サービスラーニングを通して社会人として成長する。
評価方法	① 授業への積極参加：20% ② 実習：30% ③ 中間発表：10% ④ プレゼンテーションとレポート：40%
評価基準	① 授業への積極参加：授業への積極的参加やディスカッションへの貢献を評価する。 ② 実習：実習に積極的に参加し、毎回の振り返りを期限内に提出しているか、また活動において工夫や成長があるかを評価する。 ③ 中間発表：それまでの支援での工夫や学びを評価する。 ④ プレゼンテーションとレポート：自己の学びを客観的に分析できているかを評価する。 ※成績評価はパス／フェイルのみ
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	外国につながる児童生徒とその保護者 その多様性を豊かさに変える	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 8~24 頁を読んでノートにまとめる。
2	秦野市における多文化化の現状：グローバル化の影響と外国籍市民の増加	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる。
3	バイリンガルの言語発達と教育課題：モノリンガルの子どもとの違い	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる。
4	グローバル化と日本の学校文化：言語文化の多様性を持つ人々への対応	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 26~39 頁を読んでノートにまとめる。
5	実習①：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
6	実習①の振り返りと報告 多様な先生、多様な児童	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 42~52 頁を読んでノートにまとめる。
7	実習②：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	実習②の振り返りと報告 学校に行って気づいたこと	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
9	実習③：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
10	実習③の振り返りと報告 外国人保護者がとらえる日本の学校文化	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。 教科書 54~60 頁を読む。
11	外国人保護者がとらえる日本の学校文化 学校行事、保護者との交流	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 61~66 頁を読む
12	実習④：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
13	実習④の振り返りと報告 言語とアイデンティティ	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
14	実習⑤：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
15	中間発表：これまでの活動を振り返って サービスラーニングの社会貢献を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	発表の準備
16	実習⑥：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
17	実習⑥の振り返りと報告 多様性を持つ子どものクラス運営の課題	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。 教科書 66~85 頁を読む。
18	実習⑦：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
19	実習⑦の振り返りと報告 子どもたちをエンパワーすることの意味	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
20	実習⑧：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
21	実習⑧の振り返りと報告	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
22	実習⑨：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
23	実習⑨の振り返りと報告	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
24	多言語環境の子どもの発達と教育	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む。
25	実習⑩：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
26	実習⑩の振り返りと報告 日本の教育政策の課題	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習⑪：小中学校での外国人児童生徒への日本語及び教科学習の支援	入り込み、又は個別支援実習の巡回指導	支援の振り返りを書く。
28	プレゼンテーション、まとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備。 レポートを書く。

テキスト	松永典子編著『学校と子ども、保護者をめぐる多文化・多様性理解ハンドブック』（金木犀舎）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE303: サービスラーニング（地域日本語支援A）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	火金5限			研究室	4217
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	多文化共生、やさしい日本語、社会参加、居場所、参加型学習
授業の概要	日本に住む外国籍の人々に対して、日本語や教科学習支援を行うために必要な知識やスキルを講義で学び、実習では担当する外国につながりのある学習者に継続して支援を行う。実習の中で遭遇した疑問や課題について、授業の中で振り返り解決方法を考える。
達成目標（授業の目的）	本科目は、グローバル化により多文化が進む日本社会において「多文化共生社会」実現のために、地域社会における外国籍市民の課題について理解し、課題解決に向けた行動を起こせる人材を育成することが目的である。
到達目標（学修成果）	日本語非母語話者の日本語のニーズを理解し、相手に合わせてコミュニケーションを図ることができるようになる。支援活動の計画・実践・振り返り・改善という一連の行動を自主的に続けることができるようになる。又、外国籍市民を含む地域社会に目を向け、当事者として考え行動することができるようになる。
評価方法	① 授業への積極参加：20% ② 実習（火曜日のコミュニティフレンド）：30% ③ 中間発表：10% ④ プレゼンテーションとレポート：40%
評価基準	① 授業への積極参加：授業での話し合いに積極的に参加し貢献できているかを評価する。 ② 実習：実習に積極的に参加し、毎回の振り返りを期限内に提出しているか、また活動において工夫や成長があるかを評価する。 ③ 中間発表：それまでの支援での工夫や学びを評価する。 ④ プレゼンテーションとレポート：活動をまとめ自己の学びを分析できているか。 ※成績評価はパス／フェイルのみ
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本で育つ外国人家庭の子ども 言語と教育問題、リソースルーム利用方法	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書8~24頁を読んでノートにまとめる。
2	グローバル化と日本の学校文化 秦野市の多文化化の状況について考える	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書8~24頁を読んでノートにまとめる。
3	居場所としての地域日本語教室 振り返りの意味	講義、ディスカッション、質疑応答	リソースルームで子ども用教材を閲覧する。
4	多様な子どもたちと日本語支援 支援方法、教材	講義、ディスカッション、質疑応答	リソースルームで成人用の教材を閲覧する。
5	多様な保護者 成人への日本語支援、教材	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書42~52頁を読んでノートにまとめる。
6	支援相手を知る：人間関係の構築 支援計画をたてる	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
7	実習①：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
8	実習①の振り返りと報告 コミュニティフレンド参加者について	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	実習②：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
10	実習②の振り返りと報告 子どもの言語習得	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
11	実習③：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
12	実習③の振り返りと報告 子どもの支援方法	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
13	実習④：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
14	実習④の振り返りと報告 家庭言語を使った活動、多言語読み聞かせ	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
15	実習⑤：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
16	実習⑤の振り返りと報告 成人学習者の教え方	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
17	実習⑥：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
18	中間発表	講義、ディスカッション、質疑応答	中間発表の準備。
19	実習⑦：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
20	実習⑦の振り返りと報告 やさしい日本語とは	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
21	実習⑧：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
22	実習⑧の振り返りと報告 七夕会の計画	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
23	実習⑨：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
24	実習⑨の振り返りと報告 学習者の成長を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
25	実習⑩：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
26	実習⑩の振り返りと報告 居場所は作れたか	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習⑪：コミュニティフレンドでの日本語支援	講義、ディスカッション、質疑応答	支援の振り返りを書く。
28	プレゼンテーションとまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備。 レポートを書く。

テキスト	咲間まり子『保育者のための外国人保護者支援の本』（かもがわ出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE304: サービスラーニング（地域日本語支援B）					担当教員	大山　美佳
開講期	秋	開講時限	火金5限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	地域日本語教室、「生活者としての外国人」、多文化共生、社会参加、居場所
授業の概要	本講では、サービスラーニング（コミュニティフレンド）活動への参加を通じて、学校外での外国人家庭の子どもたちや保護者に対する日本語および教科学習支援を行う。火曜午後6時から7時半まで「はだのこども館」におけるコミュニティフレンド活動に参加する。金曜日5限には学内において日本で育つ外国につながる子どもたちおよびその保護者を巡る現状や社会課題について学ぶとともに活動方法の向上について考える。
達成目標（授業の目的）	地域に増える外国につながる子どもたちを取り巻く状況について理解し、それぞれに合った支援活動を考えられるようになる。実際の活動を通した経験を振り返り、課題を発見して、必要な解決行動を模索し、実践に移すという省察行動ができるようになる。一対一の活動に留まらず周囲の人々との協働を心がける広い視野を持つことを目指す。
到達目標（学修成果）	①　支援対象者の言語的ニーズをつかむことができる。 ②　準備外の事態が起きたときの対応ができ、目前の事象にとらわれずに子どもの将来を考えた支援活動ができるようになる。 ③　多文化共生社会づくりを担う人材として成長する。
評価方法	①　授業への積極的且つ協力的な参加　30% ②　コミュニティフレンドへの継続的な参加　30% ③　学期末イベントの企画・実施　40%
評価基準	①　授業への積極的且つ協力的な参加：授業内のディスカッションに積極的に参加し、意見を述べているか。ディスカッションが活性化するように、協力しているか。 ②　コミュニティフレンドへの継続的な参加：活動に継続的に参加し、自らの活動を省察しているか。 ③　学期末イベントの企画・実施：1学期間の活動のまとめとして、子どもの学びと成長を目指したイベントを企画・実施したかどうか。 ※成績評価はパス / フェイルのみ
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本の多文化化とこれからの外国人保護者支援、外国人保護者支援と「ことば」	講義、グループワーク、質疑応答	教科書6-28頁を読んで、ノートにまとめる。
2	外国人保護者支援の実際、「やさしい日本語」	講義、グループワーク、質疑応答	教科書30-46頁を読んで、ノートにまとめる。
3	園の多文化化のために知っておきたいこと、居場所としての地域日本語教室	講義、グループワーク、質疑応答	教科書48-64頁を読んで、ノートにまとめる。
4	コミュニケーションのためのリソース、人間関係の構築、次回に向けた計画と準備	講義、グループワーク、質疑応答	教科書66-87頁を読みノートにまとめ、実習準備をする。
5	実習①：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
6	実習①：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
7	実習②：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
8	実習②：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	実習③：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
10	実習③：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
11	クリスマスイベント（実習⑩）と学期末イベント（実習⑫）の素案作成	講義、グループワーク、質疑応答	活動への準備をしておく。アイデアを出す。
12	実習④：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
13	実習④：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
14	実習⑤：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
15	実習⑤：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
16	実習⑥：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
17	実習⑥：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
18	実習⑦：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
19	実習⑦：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
20	実習⑧：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
21	実習⑧：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
22	実習⑨：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
23	実習⑨：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
24	実習⑩：クリスマスイベントの実施（「はだのこども館」における日本語教科支援）	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
25	実習⑪：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。活動記録を書く。
26	実習⑩⑪：振り返り、報告 今学期の支援全体を振返り、イベント準備	講義、グループワーク、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習⑫学期末イベントの実施	コミュニティフレンド参加	子どもへの「あゆみ」（コミフレ版）を作成しておく。
28	全体の振り返り、講評	ディスカッション、質疑応答	活動を振り返り、学びを深める。

テキスト	咲間まり子『保護者のための外国人保護者支援の本』（かもがわ出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	EDU322:　リテラシーと多文化教育					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	火金 5 限			研究室	4206
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19～P.20 を参照

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	literacy education, multicultural education, cross-cultural education, teaching young learners
授業の概要	The course is taught in English and introduces the principles of reading and writing instruction used in kindergarten through elementary school grade 5 in the United States and then analyzes videos of classroom teaching in the United States to understand how these principles are applied. Students can use the knowledge gained in this course to improve their skills as language tutors of English. They will also gain awareness of cross-cultural differences between the American and Japanese education systems.
達成目標（授業の目的）	Course goals are: To understand the basic principles of teaching how to read and write in monolingual, bilingual, and multilingual classrooms. To become familiar with methods and materials used to teach literacy skills at the elementary school level. To become aware of cross-cultural similarities and differences in approaches to literacy education.
到達目標（学修成果）	Students will aim to do the following: (1) Understand and give examples of the key components of teaching reading and how they are carried out in the elementary school classroom. (2) Write clear and organized texts of 300 words or more in English on a regular basis. (3) Summarize and critique the contents of video case studies in small and large group discussion. (4) Compare their own learning experiences with those depicted in the videos and readings.
評価方法	Participation and discussion 50% Reaction papers 50%
評価基準	(1) Participation and discussion: Demonstrate accurate comprehension of the readings and videos as well as show ability to reflect on the contents by responding effectively to the instructor's questions orally or through in-class tasks including small-group and whole-group discussions. Demonstrate understanding of the definition of vocabulary, keywords and key components of literacy by using them to answer the instructor's questions. (2) Reaction papers: Punctuality, completeness (meets required length of 300 words), organization, and detail in describing, analyzing, and evaluating the video case studies of teaching. Ability to think critically about the video contents (basic components of reading, key terminology, and concepts of literacy instruction as demonstrated in the videos and readings). Ability to compare one's own learning experiences with those depicted in the videos.
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Basic reading skills, oral language, phonological awareness, phonics, fluency, vocabulary	video, lecture, reading	preview the textbook
2	Grades K-2: Video 1: Becoming readers and writers	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
3	Present reaction paper. Textbook reading: "Oral Language" p.8	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
4	Grades K-2: Video 2 Writer's Journal" (level appropriate independent writing)	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
5	Present reaction paper. Textbook reading: "Phonological Awareness" p.9	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
6	Grades K-2: Video 3: Building oral language	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Present reaction paper. Textbook reading: “Fluency” p.11	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
8	Grades K-2: Video 4: Thalia learns the details Bilingual schools	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
9	Present reaction paper. Textbook reading: “Learning Vocabulary” p.12	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
10	Grades K-2: Video 5: Assessment driven instruction.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
11	Present reaction paper. Textbook reading: “Prior Knowledge” p.13	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
12	Grades K-2: Video 6: Cassandra becomes a fluent reader. Using visual clues.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
13	Present reaction paper. Textbook reading: “Comprehension” p.14	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
14	Grades K-2: Video 7: Connecting Skills to Text Phonics	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
15	Present reaction paper. Textbook reading: “Motivation” p.15	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
16	Grades K-2: Video 8: Promoting readers as leaders	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
17	Present reaction paper. Textbook reading: “Integrated Reading” p.16	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
18	Grades K-2: Video 11: Staying on Topic Autonomy	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
19	Present reaction paper. Textbook reading: “Assessment” p.18	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
20	Grades 3-5: Workshop 1: Creating contexts for learning.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
21	Present reaction paper. Textbook reading: “Culture factor” p.19	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
22	Grades 3-5: Workshop 2: Fluency and word study.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
23	Present reaction paper. Textbook reading: “The Role of Practice” p.20	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
24	Grades 3-5: Workshop 3: Building comprehension	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
25	Present reaction paper. Textbook reading: “Conclusion” p.21	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
26	Grades 3-5: Workshop 4: Writing (reading and writing connection).	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Present reaction paper. Discussion.	group work, video, discussion	write a reaction paper
28	Review and individual consultations.	lecture, one-on-one consultations	read video description handout

テキスト	1. Elizabeth Pang and others. *Teaching Reading* (UNESCO International Bureau of Education, PDF). 2. Videos and handouts from http://learner.org and other sources.
参 考 書	Banks, James. *An Introduction to Multicultural Education* (Pearson). Horn, Martha, and Mary Ellen Giacobbe. *Talking, Drawing, Writing* (Stenhouse).